

藤沢市新総合計画  
～「私たちの政府」が創る，藤沢づくり～

# 実施計画書

2011年度（平成23年度）版  
〔2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）〕

藤沢市

## 目 次

<b>第1章 実施計画の目的</b> .....	<b>1</b>
1 実施計画の概要.....	2
2 実施計画の位置づけと役割.....	2
3 実施計画の目的.....	2
4 実施計画の定義.....	3
5 市域全体と地域の計画.....	3
<b>第2章 まちづくり事業の前提</b> .....	<b>5</b>
1 将来像と理念, 目標の継承.....	6
2 まちづくり事業の定義.....	6
3 まちづくり事業の進め方.....	7
4 政策仕分けによるまちづくり行政事業の選定.....	7
<b>第3章 短期財政計画</b> .....	<b>9</b>
1 計画期間における展望.....	10
2 短期財政計画の位置づけ.....	10
3 短期財政計画.....	11
<b>第4章 市域全体のまちづくり 実施計画</b> .....	<b>15</b>
市域全体のまちづくり実施計画体系.....	17
1 まちづくり実施計画の見方.....	30
2 まちづくり情報.....	30
3 まちづくり市民連携事業.....	30
4 まちづくりアイデア提案事業.....	30
5 戦略目標に関する指標等.....	30
<b>第5章 地区別まちづくり 実施計画</b> .....	<b>259</b>
地区別まちづくり実施計画体系.....	261
1 まちづくり実施計画の見方.....	280
2 まちづくり情報.....	280
3 まちづくりアイデア提案事業.....	280
4 地域まちづくり目標に関する指標等.....	280
片瀬地区まちづくり実施計画.....	283
鵜沼地区まちづくり実施計画.....	309
辻堂地区まちづくり実施計画.....	333
村岡地区まちづくり実施計画.....	353
藤沢地区まちづくり実施計画.....	377
明治地区まちづくり実施計画.....	403
善行地区まちづくり実施計画.....	431
湘南大庭地区まちづくり実施計画.....	455
六会地区まちづくり実施計画.....	477
湘南台地区まちづくり実施計画.....	503
遠藤地区まちづくり実施計画.....	537
長後地区まちづくり実施計画.....	559
御所見地区まちづくり実施計画.....	593
<b>第6章 参考</b> .....	<b>621</b>

# 第1章

## 実施計画の目的

## 1 実施計画の概要

藤沢市新総合計画実施計画は、「“実施”するための計画」です。

基本構想の理念、基本計画のふじさわ未来課題\*や目標等に向かっての活動集であり、行動体系です。

活動とは、市民、地域と行政の力や知恵、予算等の資源をもとに、一定の結果を生み出すことであり、実施計画においては、この活動を集め、協働や連携のきっかけづくりや相乗効果の発揮、より高い成果を生む活動への転換、新しい事業への発展などを図ります。

また、活動が着実に進んでいるか、基本構想や基本計画の理念や方向性に沿っているか、その結果として暮らしやすさが実現しているか、といった点検や成果の確認も行っています。

## 2 実施計画の位置づけと役割

実施計画は、基本構想の理念、目標などにに基づき、基本計画の情報をもとに行動と成果を結びつけるための、活動のネットワークをつくるものです。

また、具体的にどんな活動をしたことで目標が達成され、ふじさわ未来課題の状態に向けた改善がなされているかを表し、点検する役割を担います。

さらに、行政の予算を伴う活動（事業）については、短期財政計画として、活動が確実に実行できるかの見通しを予測します。

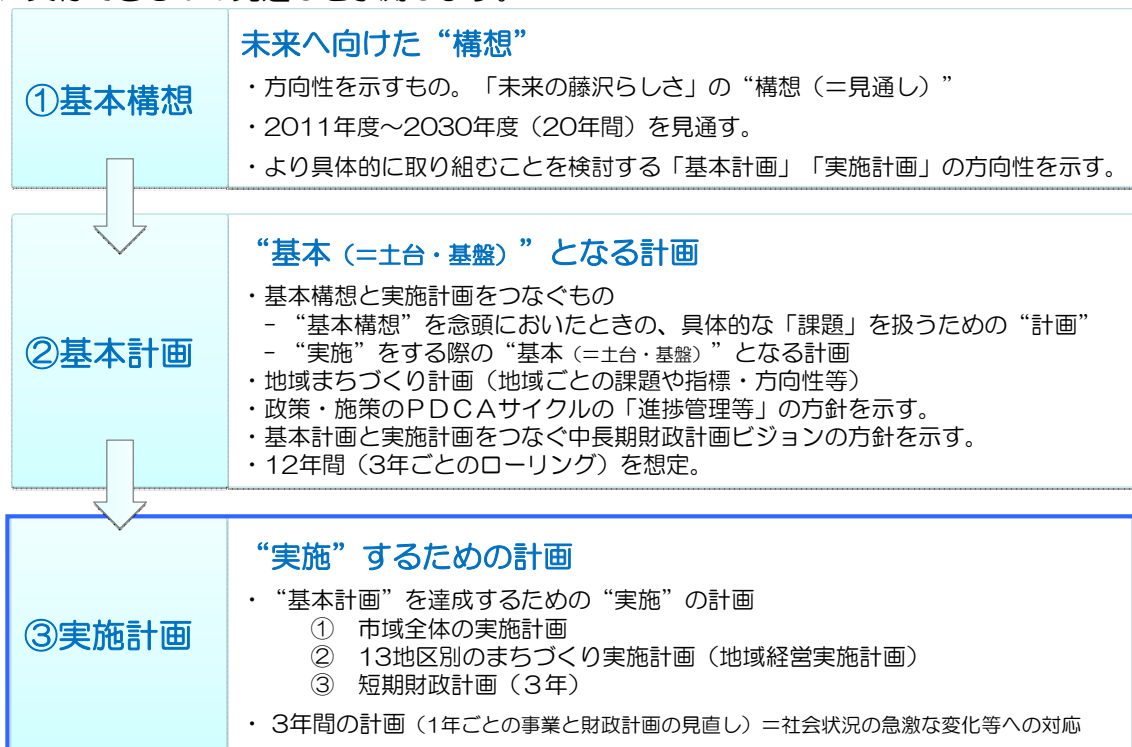


図 1 総合計画の構造

## 3 実施計画の目的

実施計画は、活動を実行することが目的ではなく、基本構想、基本計画を具現化するための活動を位置づけ、将来像、ふじさわ未来課題、目標等がより良い状態になることを目

\* ふじさわ未来課題 市民への「気づき」調査などから、将来像を実現する9つの「藤沢づくり」のめざす方向性と3つの活動領域を具体化したもので、各地区での行動と全市の行動の相乗効果を促す、まちづくりの共通課題として位置づけた基本計画の大きなテーマとなっています。

的としています。

実施計画は、総合計画に位置づけられた事業を方向性ごとに体系づけたデータベースです。

また、未来に向けて様々な活動を行っている市民、地域と行政が共有し、それぞれの主体が行う活動間での相互の連携や、協働等のきっかけとなることや、活動のための予算の適正化や事業手法の転換、新しい活動を創出することを目的としています。

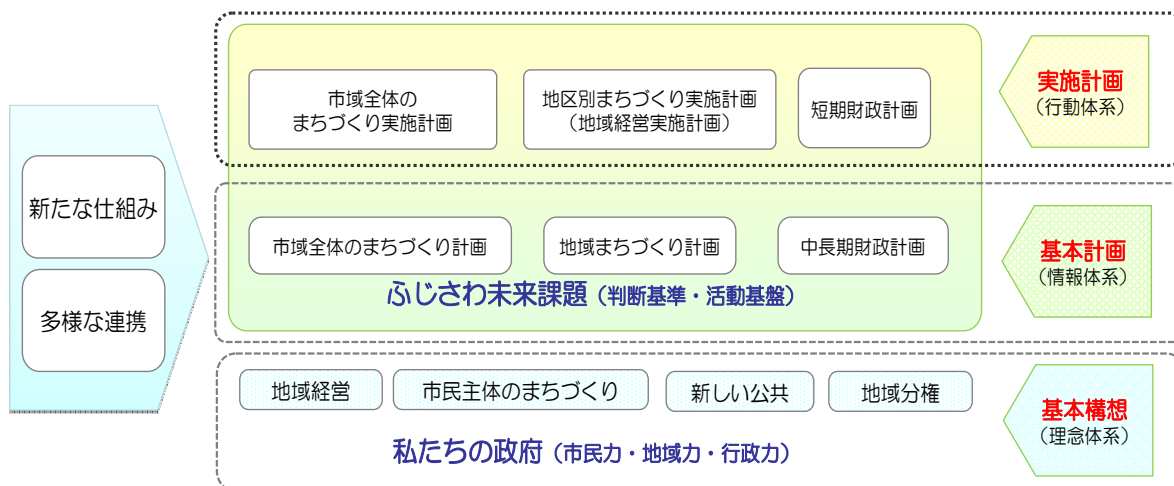


図 2 総合計画の体系

#### 4 実施計画の定義

実施計画は、計画期間を3年（2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度））とし、毎年ローリング\*を行います。

このローリングにより、社会経済情勢に柔軟に対応し、現状把握と投入できる資源、活動期間、検討スケジュール、新たな可能性等を模索しながら、事業の点検を行います。

#### 5 市域全体と地域の計画

実施計画は、短期財政計画と市域全体のまちづくり実施計画、地区別まちづくり実施計画（地域経営実施計画）により構成します。

\* ローリング 計画の実行→分析・評価→計画の修正・実行というサイクルを繰り返していく方法をいいます。



## 第2章

# まちづくり事業の前提

## 1 将来像と理念，目標の継承

基本構想に掲げられた将来像，都市ビジョン，藤沢づくりのめざす方向性，基本計画に掲げられた，ふじさわ未来課題，目標，成果の視点等を引き継いで，これらに効果を与える活動をまちづくり事業（総合計画事業）として位置づけます。

### (1) 将来像

基本構想では，「私たちの政府」が創る，いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」を掲げています。

### (2) 総合計画の理念

総合計画の前提となる理念は，次の2つです。

#### ア 新しい公共

市民，市民ボランティア，NPO，大学，企業等の知恵と力を集め，民間と行政とのパートナーシップを強化し，それぞれの持つ資源やノウハウを活用しながら，多様な主体との公民連携による「新しい公共」を実現します。

#### イ 地域分権

市の権限と予算等を市民センター・公民館に委譲する「市内分権」，地域経営会議と市民センター・公民館が連携して地域のめざす方向を明らかにし，自助，共助，公助によって地域づくりを進める「地域内分権」を，総称して「地域分権」といいます。

## 2 まちづくり事業の定義

まちづくり事業は，その活動を実施する主体や活動の目標，連携・協働先等により6つの事業に分類します。

その中には，多様な主体への提案や協働のための期待や働きかけも含まれていますが，第一には，生活実感に基づく暮らしやすさを，様々な活動から築いていくという前提があります。

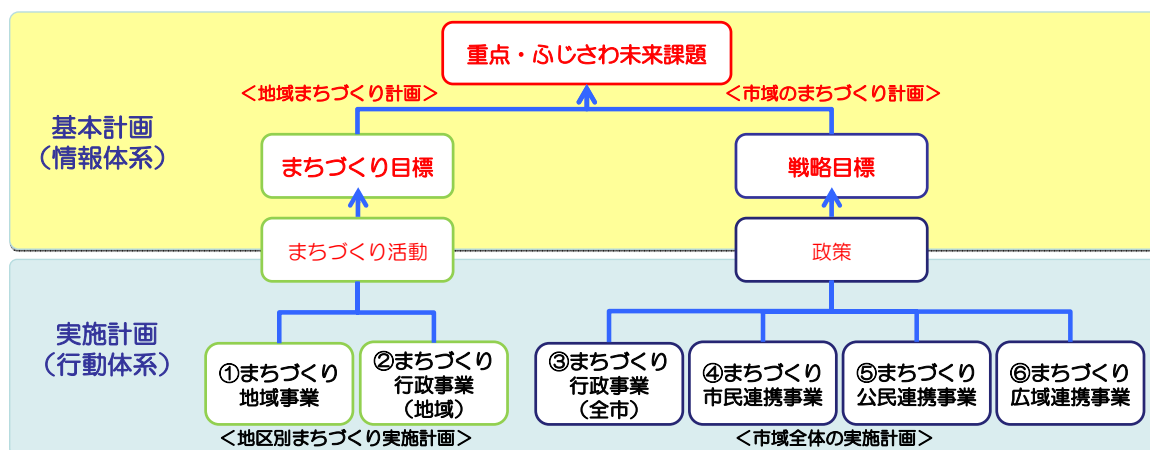


図3 まちづくり事業の分類

### (1) まちづくり地域事業

各地区の様々な組織・団体・個人が主体となり，地域経営会議が連携・協働・調整を促しながら推進する事業

### (2) まちづくり行政事業（地域）

地域経営会議と市民センター・公民館が連携して，地域の声を聞きながら，地域の様々な組織・団体・個人と協力して，行政責任で推進する事業

### (3) まちづくり行政事業（全市）

全市的な観点から，行政の様々な部署において，各地区の実態やニーズ，全市的な課題を踏まえて，行政責任で推進する事業



- (4) まちづくり市民連携事業  
全市的な観点から、市民団体・NPO・企業・学校・行政など、多様な主体が連携し、または、地区間での連携を促しながら推進する事業
- (5) まちづくり公民連携事業  
全市的な観点から、様々な市民団体・NPO・企業・学校などと行政とが協働して、推進する事業
- (6) まちづくり広域連携事業  
全市的な観点から、藤沢市と国・県・周辺市町などが広域で連携して、推進する事業

### 3 まちづくり事業の進め方

まちづくり事業は、多様な主体がそれぞれの力で進めていきますが、その進め方のポイントは次のとおりです。

- (1) まちづくり行政事業（全市・地域）  
行政が責任を持って実施するものとして、行政評価や進捗管理ができるようにし、市民、地域の声を聞きながら、様々な地域組織・市民団体などの協力関係も構築して推進します。
- (2) まちづくり地域事業  
地域の様々な組織・団体が主体的に取り組むものとして、点検と試行錯誤によって、少しずつ追加・修正・変更をしながら推進します。
- (3) まちづくり連携事業（市民連携・公民連携・広域連携）  
全市的な観点から、様々な組織・団体・行政機関が連携して取り組むものとして、連携による効果的かつ効率的な成果を模索しながら、知恵と工夫によって、多くの団体・組織等が関わることのできる持続的な仕組みづくりを進めていくものとして推進します。

### 4 政策仕分けによるまちづくり行政事業の選定

- (1) まちづくり行政事業の選定の前提  
基本計画で示された目標とするあるべき姿としての目標を実現するために、状況の分析から導かれた、目標をより具体化した活動の指針としての「政策」と「地域まちづくり活動」から、具体的な活動としてまちづくり行政事業を設定します。
- (2) 政策仕分け  
実施計画と中長期財政計画及び短期財政計画の整合性と関連性をより明確にするために、政策から実施計画への移行に当たっては、戦略性をもって「選択と集中」を図るための政策仕分けを行います。
- (3) 政策仕分けの視点  
政策仕分けの視点は、次のとおりです。
  - ア 行政経営資源の有効配分の視点
  - イ 基本計画を具体化する優先度、緊急性と政策の波及効果の視点
  - ウ 新しい公共と地域分権の視点
  - エ 公民連携事業化提案制度に基づく民間等のノウハウ、技術、資金導入の視点
  - オ 「ふじさわ未来課題」により市民ニーズが高く、新総合計画の実現に先導的役割を持つ事業の視点



# 第3章

## 短期財政計画

## 1 計画期間における展望

近年は、100年に1度と言われる深刻な世界的景気後退により、企業の破綻や、それに伴う雇用不安・失業者の増大という多くの問題を生み出しています。

世界経済においては、景気後退から脱却し回復に向かっていていると言われておりますが、これは中国やインドを中心とするアジアの新興国の成長によるところが大きく、欧米等の先進国の回復力は依然として脆弱であると言われております。

国内経済においては、2008年（平成20年）8月の月例経済報告で「景気は、このところ弱含んでいる。」と下方修正され、2002年（平成14年）から始まった戦後最長と言われた経済成長に終止符が打たれました。そして経済状況の悪化、危機的な状況により、企業の雇用調整や生産調整などが本格化し、政府は、雇用対策をはじめとする緊急経済対策を実施しましたが、円高傾向も継続しており、市民生活は大変厳しい状況となりました。

藤沢市においても、経済活動の低迷や個人所得の減少によって市税収入が減少しています。企業誘致による税収増という要因もありますが、全体的には引き続き厳しい歳入の状況下での事業実施が求められます。

また、歳出については、生活保護や医療等の社会保障に関する費用（扶助費）が非常に高い伸びで推移しており、他の事業経費を圧迫する状況が今後も続くと思われられます。

## 2 短期財政計画の位置づけ

基本計画では、計画期間（12年間）の歳入と政策的経費の財源見込を中長期財政計画として示しましたが、実施計画では、3年間の歳入・歳出見込を短期財政計画として示します。

短期財政計画は、各年度における実施計画の計画事業に要する事業費を積み上げ、財源不足については、事業の見直しによる事業費の圧縮、実施年度の見直し、事業手法の見直しによる歳出の平準化などで対応します。また、短期財政計画の初年度については、予算編成と連動して進めます。

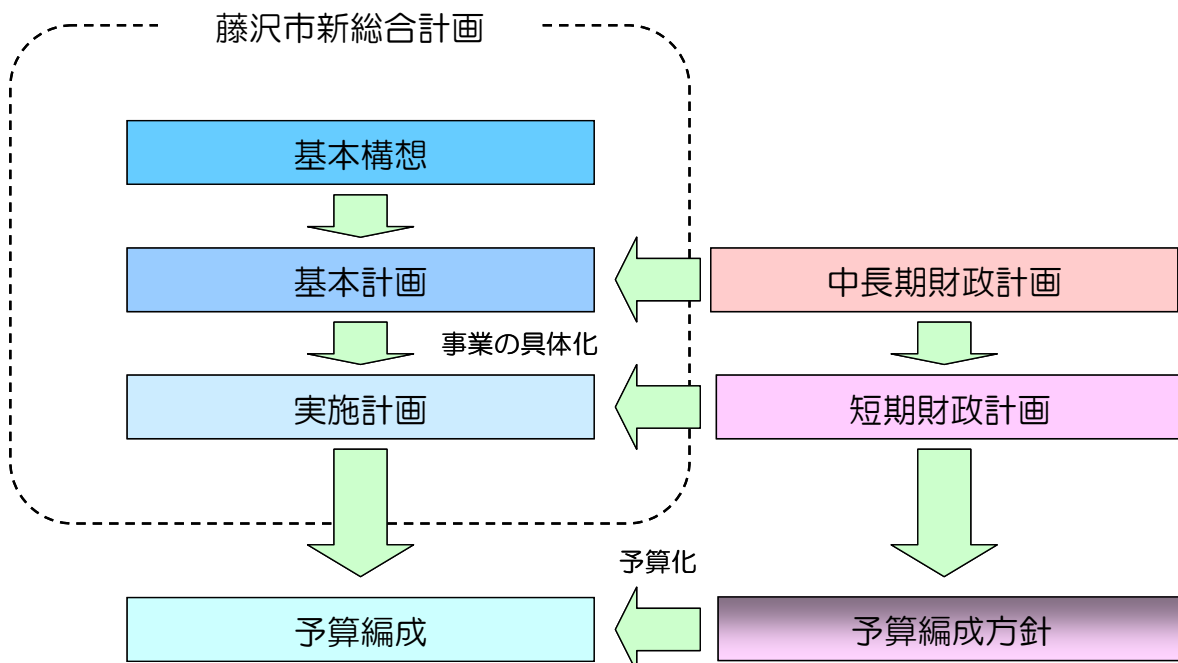


図4 総合計画と財政計画、予算のフロー

### 3 短期財政計画

#### 新総合計画短期財政計画(総括表)

(単位:百万円)

(歳入見込)	平成23年度計画額		平成24年度計画額		平成25年度計画額		計画期間総額	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
市税	71,012	71,012	73,365	73,365	72,629	72,629	217,006	217,006
その他	14,235	4,929	12,041	4,324	12,511	4,871	38,787	14,124
自主財源計	85,247	75,941	85,406	77,689	85,140	77,500	255,793	231,130
地方譲与税等	5,254	5,254	5,474	5,474	5,474	5,474	16,202	16,202
国庫支出金	20,817	0	20,832	0	21,051	0	62,700	0
県支出金	6,505	0	6,402	0	6,846	0	19,753	0
その他	6,838	2,531	9,221	4,395	8,047	4,995	24,106	11,921
依存財源計	39,414	7,785	41,929	9,869	41,418	10,469	122,761	28,123
合計 ①	124,661	83,726	127,335	87,558	126,558	87,969	378,554	259,253

(歳出見込)		平成23年度計画額		平成24年度計画額		平成25年度計画額		計画期間総額	
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
経常的経費	人件費	26,203	24,837	26,396	25,604	26,747	25,945	79,346	76,386
	扶助費	22,361	4,340	24,150	4,688	24,875	4,829	71,386	13,857
	公債費	10,137	9,137	10,309	9,979	10,453	10,119	30,899	29,235
	その他	20,638	15,998	20,585	16,870	20,271	16,660	61,494	49,528
	経常的経費計 ②	79,339	54,312	81,440	57,141	82,346	57,553	243,125	169,006
政策的経費投入可能財源③(①-②)		45,322	29,414	45,895	30,417	44,212	30,416	135,429	90,247

総合計画事業費	平成23年度計画額		平成24年度計画額		平成25年度計画額		計画期間総額	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
市域全体のまちづくり計画(本庁)	23,554	10,979	25,524	12,147	23,781	12,086	72,859	35,212
地域まちづくり計画(13地区)	110	78	235	235	295	295	640	608
総合計画事業費合計 ④	23,664	11,057	25,759	12,382	24,076	12,381	73,499	35,820
その他政策経費 ⑤	21,658	18,357	20,136	18,035	20,136	18,035	61,930	54,427
歳出合計 ②+④+⑤	124,661	83,726	127,335	87,558	126,558	87,969	378,554	259,253

1. 上段 中長期財政計画(歳入)
2. 中断 中長期財政計画(歳出)
3. 下段 総合計画事業費(市域全体/地域/総合計画事業費合計)

※百万円単位に四捨五入しているため合計金額が異なる場合があります。

新総合計画短期財政計画(市域全体のまちづくり計画 部別集計)

(単位:千円)

部名	H23		H24		H25		計画期間総計	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
市長室	22,308	0	59,411	32,629	54,861	32,629	136,580	65,258
総務部	128,967	25,517	102,173	101,909	111,036	110,772	342,176	238,198
経営企画部	149,432	36,940	555,800	483,259	398,933	192,908	1,104,165	713,107
財務部	33,672	287	33,672	33,672	33,672	33,672	101,016	67,631
市民自治部	151,833	142,321	128,939	119,427	264,064	254,552	544,836	516,300
保健福祉部	7,973,951	4,194,423	8,090,238	4,258,126	8,252,209	4,326,332	24,316,398	12,778,881
子ども青少年部	5,321,316	3,675,444	5,186,183	3,979,373	5,323,140	4,092,028	15,830,639	11,746,845
経済部	2,319,366	496,534	2,323,142	501,272	2,460,950	618,960	7,103,458	1,616,766
環境部	1,794,141	181,779	3,278,194	408,288	1,601,839	593,548	6,674,174	1,183,615
計画建築部	2,093,938	427,415	474,360	182,929	460,380	139,394	3,028,678	749,738
土木部	681,960	380,100	1,321,095	523,343	1,650,790	465,374	3,653,845	1,368,817
まちづくり推進部	1,798,785	762,993	1,402,837	446,277	995,519	285,631	4,197,141	1,494,901
消防本部	144,516	27,904	393,168	38,696	168,604	25,046	706,288	91,646
教育総務部	518,472	312,697	1,445,491	514,877	1,443,833	446,792	3,407,796	1,274,366
生涯学習部	420,962	314,254	729,656	523,152	561,131	468,377	1,711,749	1,305,783
合計	23,553,619	10,978,608	25,524,359	12,147,229	23,780,961	12,086,015	72,858,939	35,211,852

新総合計画短期財政計画(地域まちづくり計画 13地区別集計)

(単位:千円)

市民センター・公民館	H23		H24		H25		計画期間総計	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
片瀬市民センター	4,780	4,780	12,073	12,073	23,180	23,180	40,033	40,033
鶴沼市民センター	516	516	7,243	7,243	7,243	7,243	15,002	15,002
辻堂市民センター	6,791	6,791	20,532	20,532	26,668	26,668	53,991	53,991
村岡公民館	15,571	15,571	14,305	14,305	13,805	13,805	43,681	43,681
藤沢公民館	8,139	8,139	10,451	10,451	14,880	14,880	33,470	33,470
明治市民センター	33,386	1,086	5,381	5,381	3,341	3,341	42,108	9,808
善行市民センター	4,336	4,336	8,903	8,903	41,583	41,583	54,822	54,822
湘南大庭市民センター	13,658	13,658	39,100	39,100	39,100	39,100	91,858	91,858
六会市民センター	1,520	1,520	2,150	2,150	5,950	5,950	9,620	9,620
湘南台市民センター	5,707	5,707	44,022	44,022	56,382	56,382	106,111	106,111
遠藤市民センター	119	119	28,222	28,222	12,320	12,320	40,661	40,661
長後市民センター	4,479	4,479	7,212	7,212	14,142	14,142	25,833	25,833
御所見市民センター	11,480	11,480	35,359	35,359	36,559	36,559	83,398	83,398
全地区合計	110,482	78,182	234,953	234,953	295,153	295,153	640,588	608,288

新総合計画短期財政計画(市域全体と地域の「藤沢づくり」のめざす方向性別集計)

(単位:千円)

藤沢づくりのめざす方向性	H23		H24		H25		計画期間総計	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	161,594	96,099	209,899	203,502	229,060	219,284	600,553	518,885
2 明日の藤沢を担う「藤沢のこどもたち」を育む環境	5,558,900	3,834,405	6,290,837	4,257,107	6,471,744	4,357,077	18,321,481	12,448,589
3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	8,916,434	4,549,865	9,418,501	4,712,954	9,232,063	4,720,577	27,566,998	13,983,396
4 共に生き、共に創る地域社会の創出	343,379	298,054	498,806	458,252	628,199	591,102	1,470,384	1,347,408
5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	271,121	78,523	201,165	77,871	227,136	85,391	699,422	241,785
6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	1,896,214	209,770	3,340,313	415,510	1,714,953	657,166	6,951,480	1,282,446
7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	6,043,570	1,722,371	4,637,008	1,287,329	4,647,832	1,225,990	15,328,410	4,235,690
8 公共資産の維持管理と有効活用	357,994	239,989	997,055	903,727	805,124	486,236	2,160,173	1,629,952
9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	114,895	27,714	165,728	65,930	120,003	38,345	400,626	131,989
合計	23,664,101	11,056,790	25,759,312	12,382,182	24,076,114	12,381,168	73,499,527	35,820,140



# 第4章

## 市域全体のまちづくり 実施計画

## 第4章の目次

### ■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	
7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	33
5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること	43
2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	
8 市民自ら、人にやさしい手をさしのべること	53
14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること	67
3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	
23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	79
18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	109

### ■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市

4 共に生き、共に創る地域社会の創出	
24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること	131
34 地域で支え合い暮らせる環境であること	137
32 人々が交流して、平和でぬくもりのある社会であること	143
5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	
37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	149
45 地域の未来の担い手が育成されていること	159
6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	
49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	163

### ■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	
62 産業の活力を高め、地域が元気になること	181
63 地域の人材が働ける機会を創造すること	213
61 観光により地域が元気になること	217
8 公共資産の維持管理と有効活用	
71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること	225
67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道路や施設であること	231
69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	235
9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	
76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	247
81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること	253

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～ 20年後までの藤沢を めざして、いまから始める 「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
<p>■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市</p>	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 未来を拓く「藤沢づくり」を支える新しい公共のまち	1 新しい公共の視点に立った「公民連携」の推進	1 藤沢づくり推進事業 2 国県資産活用推進事業 3 4 大学コンソーシアム・官学連携推進事業 4 公民連携推進事業
				2 地域分権と広域連携の推進	1 引地川水系利活用事業
				3 行財政改革の推進	1 職員研修事業
					2 人材確保対策事業
					3 職員政策イノベーション事業
					4 都市制度広域行政システム研究事業
					5 行政経営改革戦略推進事業
					6 税・料収入確保対策事業
					7 道路台帳GIS整備推進事業
				4 クリーンな市政運営の推進	1 (仮称)公正職務執行確保条例等検討事業
					2 公文書等情報管理のあり方に関する調査研究事業
				5 地域交流と暮らしやすさの推進	1 市民活動団体の多様な協働の推進事業
		5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること	02 市民、地域と行政が育む、暮らしやすさを実感できるまち	6 地区ごとの市民主体のまちづくりの推進	1 市民活動推進センター分館整備運営事業
					2 公益的市民活動助成事業
					3 地域経営会議支援事業
				4 地域まちづくり基金積立事業	
				5 「出張！市長室」等充実事業	
			7 市民の目線による情報化の推進	1 地域情報サイト活性化事業	
				2 市民IT活用推進事業	
				3 ふじさわサイネージ事業	
				4 IT活用の広域連携推進事業	
				5 コンビニ等証明交付推進事業	

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
				8 多様なメディアを活用 した情報発信の推進	1 シティプロモーション推 進事業 2 地域情報推進事業 3 藤沢ブランド推進事業
	2 明日の藤沢を担う「藤沢 の子どもたち」を育む環境	8 市民自ら、人にやさしい 手をさしのべること	03 子どもを安心して産み 育てられるまち	9 親子の健康増進の推進	1 小児医療費助成事業 2 乳幼児健診等事業 3 こんにちは赤ちゃん事業 4 特定不妊治療費助成事業
				10 援助が必要な児童への 支援の充実	1 ひとり親家庭等支援事業 2 児童虐待防止対策事業 3 こども発達支援事業
				11 すべての子育てで家庭へ の支援の充実	1 地域子育て支援拠点事業 2 市民との協働による子育 て支援事業
				12 子どもを安心して育て られる環境の充実	1 庁内託児所設置事業 2 幼児二人同乗用自転車購 入助成事業 3 ショートステイ・トワイ ライトステイ事業 4 ファミリー・サポート・ センター事業 5 地域ぐるみ子育て応援団 事業 6 特別保育推進事業 7 待機児童解消対策事業 8 認可外保育施設利用者支 援事業 9 幼稚園等就園奨励費補助 事業 10 幼稚園等預かり保育推 進事業 11 市立保育所整備事業 12 家庭的保育等推進事業 13 「子ども・子育て新シ ステム」対応準備事業

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～ 20年後までの藤沢を めざして、いまから始める 「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
		14 学校・家庭・地域のつ ながりを育む活動が活発で あること	04 生きる力を育む学校教 育と未来を担う青少年を育 成するまち	13 青少年の豊かな心を育 む環境の整備  14 児童生徒の健やかな成 長を地域で支援する活動の 推進  15 生きる力を育む学校教 育の推進	1 こども知・遊・育プラザ 事業 2 子ども・若者育成支援推 進事業 3 青少年会館整備事業  1 放課後子どもプラン推進 事業 2 思春期青少年の居場所つ くり事業 3 学校支援事業  1 特別支援教育整備事業 2 学校給食を通しての食育 推進事業 3 学校給食食器改善事業 4 中学校給食実施研究事業 5 就学援助拡充事業 6 教育情報機器整備事業 7 学校図書館管理運営事業 8 学校教育相談センター事 業 9 ふじさわティーチャーズ カレッジ「学びあい」事業  16 誰でも楽しく学べる学 校教育環境の充実 1 学校給食単独校化推進事 業 2 学校防犯事業 3 学校施設環境整備事業
	3 市民力・地域力による 安全で安心して暮らせるま ち	23 福祉が充実し、子ども から高齢者まで守られてい ること	05 保健、医療、福祉、健 康などの生活環境が整った まち	17 障がいのある人への支 援の充実	1 障がい者等医療費助成事 業 2 障がい者福祉手当支給事 業 3 心身障がい者介護手当支 給事業 4 地域作業指導等助成事業 (地域活動支援センター助 成事業) 5 障がい者等歯科診療運営 事業 6 障がい者等福祉タクシー 助成事業 7 共同生活援助事業

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
					8 障がい者介護給付等事業 (自立支援給付事業)
					9 地域生活支援事業
					10 福祉拠点整備事業
					11 太陽の家整備事業
					12 障がい者施設整備支援 事業
				18 ゆとりある高齢期を平 穩に暮らせるまちづくりの 推進	1 福寿医療費助成事業
					2 介護保険サービス推進事 業
					3 介護人材育成支援事業
					4 認知症サポーター養成事 業
					5 紙おむつ支給事業
					6 高齢者いきいき交流事業
					7 高齢者見守りネットワー ク事業
					8 養護老人ホーム湘風園施 設整備助成事業
					9 老人福祉施設建設助成事 業
					10 介護老人保健施設建設 助成事業
				19 生涯にわたる健康づく りの推進	1 健康づくり推進事業
					2 食育推進事業
					3 がん検診事業
					4 子宮頸がんワクチン予防 接種事業
					5 細菌性髄膜炎予防接種事 業
					6 高齢者肺炎球菌ワクチン 予防接種事業
					7 歯科健康診査事業
					8 歯・口腔の健康づくり推 進事業
					9 精神保健対策事業
					10 ふれあい入浴事業

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
				20 健康危機管理体制の充 実	1 健康危機管理対策事業 2 生物安全検査室事業 3 ウイルス等病原体検査事 業
				21 医療体制の充実、整備 の推進	1 健康と文化の森 高度医 療機能整備推進事業 2 医師会立看護学校整備支 援事業 3 将来にわたる健全経営の 推進事業 4 医療の質と地域医療水準 の向上事業 5 命を守る救急医療の充実 事業 6 産科医療スタッフの充実 事業 7 市民病院再整備事業 8 電子カルテシステム(医 療総合情報システム) 整備 事業
				22 安全・安心な住宅セー フティネットの充実	1 住宅環境整備事業 2 借上公共賃貸住宅整備事 業
				23 湘南藤沢の地域特性を 活かした生涯スポーツ活動 の推進	1 スポーツ環境整備事業 2 スポーツノーマライゼー ション事業 3 ビーチバレー大会開催事 業 4 市民マラソン開催事業 5 スポーツバリアフリー事 業 6 生涯スポーツ活動促進事 業 7 市民スポーツサポート事 業
		18 災害に対して、市民が 不安なく暮らせるまちであ ること	06 災害や犯罪に対して不 安なく暮らせるまち	24 市民の防災意識と救命 意識の高揚による自主的災 害活動の強化、推進	1 藤沢市救急ワークステー ション事業 2 応急手当強化推進事業
				25 防災活動と地域防災力 の強化・充実	1 防災リーダー等育成強化 事業 2 災害時要援護者支援事業 3 消防団待機宿舍改築事業

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
					4 地域災害連携事業
				26 防犯対策の強化・充実	1 防犯対策強化事業
					2 消費者保護事業
				27 災害に強いまちづくり の推進	1 防災行政無線(固定系)デ ジタル化事業
					2 備蓄資機材整備事業
					3 災害協定締結事業
					4 市民センター非常用自家 発電設備整備事業
					5 土砂災害防止事業
					6 建築物等防災対策事業
					7 消防自動車等整備事業
					8 大規模震災対策強化事業
					9 消防水利整備事業
					10 消防団充実強化推進事 業
					11 防災まちづくり支援事 業
				28 安全・安心な都市基 盤・都市環境づくりの推進	1 プレジャーボート対策事 業
					2 柄沢特定土地区画整理事 業
					3 防災調整池設置事業
					4 かながわの川づくり計画 促進事業
					5 準用河川滝川改修事業
					6 準用河川白旗川改修事業
					7 準用河川一色川改修事業
					8 貯留管整備事業
					9 下水道総合浸水対策事業
					10 下水道総合地震対策事 業
					11 消防体制マネジメント 事業



市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)			
					12 消防救急基地局無線デ ジタル化事業 13 北部方面消防力等強化 整備事業 14 地域防火安全対策推進 事業 15 消防無線等整備事業 29 広域連携による消防体 制の強化・充実	1 湘南東部消防広域化推進 事業 2 水難救助体制強化事業		
■ 都市ビジョン2 地域 から地球に広がる環境行動 都市	4 共に生き、共に創る地 域社会の創出	24 挨拶や声かけによる市 民同士のコミュニケーション がとれていること	07 一人ひとりの個性を尊 重し認め合う、心の通うま ち	30 人権を尊重する社会の 推進	1 人権啓発推進事業			
					2 多文化共生推進事業			
					3 成年後見制度利用支援事 業			
					31 男女共同参画ネット ワークの充実	1 男女共同参画推進事業		
					2 ワーク・ライフ・バラン ス推進事業			
					34 地域で支え合い暮らせ る環境であること	08 地域で支えあう共生す るまち	32 自治会活動等の地域コ ミュニティ活動の育成、支 援	1 地域コミュニティ拠点施 設整備支援事業
					2 外国人相談窓口等拡充事 業			
					3 ぜんぎょう里山づくり支 援事業			
					33 地域で支えあうための ネットワークづくりの推進	1 地区ボランティアセン ター事業		
					2 介護ボランティアポイン ト制度事業			
					34 多様な主体による生涯 学習の推進とネットワーク の構築	1 公民館運営事業		
					2 総合市民図書館市民運営 事業			
3 次世代図書館構築事業								
32 人々が交流して、平和 でぬくもりのある社会であ ること	09 人々が交流して、平和 でぬくもりのあるまち	35 多様な担い手との協働 による国際交流の推進	1 市民主体の国際化推進事 業					
2 多様な国際交流推進事業								
3 国際貢献都市推進事業								
36 平和都市宣言に基づく 平和事業の推進	1 平和都市宣言推進事業							
37 航空機騒音解消に向け た対策の推進	1 航空機騒音対策推進事業							
38 県内自治体連携による 基地対策の推進	1 基地対策連携推進事業							

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～ 20年後までの藤沢を めざして、いまから始める 「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)		
	5 豊かな地域資源の次世 代への継承・発展	37 市民、地域、行政が協 力し、快適な生活が実現し ていること	10 豊かな自然環境と地域 資源を守り発展させ、次世 代に継承するまち	39 湘南海岸の美化と維 持・保全の推進	1 養浜対策事業		
					2 海岸管理研究事業		
					40 自然豊かな田園環境の 維持・保全の推進	1 農業用水路等改修事業	
						2 水田保全奨励事業	
						3 農業体験型等市民農園開 設支援事業	
					41 多様な動植物の生息・ 生育環境の保全・再生の推 進	1 自然環境共生推進事業	
						42 谷戸や緑地等自然環境 の保全・再生の推進	1 グリーンネットワーク構 築事業
							2 三大谷戸の保全事業(都 市連携による川名緑地の保 全)
							3 三大谷戸の保全事業(石 川丸山緑地)
					4 三大谷戸の保全事業(遠 藤笹窪)		
					11 愛着と誇りの持てる景 観の保全と創造するまち	43 地域の特性を活かした 市民主体の景観まちづくり の推進	1 景観資源推進事業
							44 新たな都市拠点に相応 しい土地利用・景観の誘導 と保全
45 地域の未来の担い手が 育成されていること	12 地域づくりの未来の担 い手が育つまち	45 地域づくりの担い手を 育成する多世代が交流する 生涯を通じた学習の推進	1 生涯学習推進事業				
			2 多様な世代による地域づ くり推進事業				
			3 子ども読書活動推進事業				
6 地球温暖化防止など未 来の地球環境への投資	49 人々の環境への意識が 高く、快適なまちであるこ と	13 環境への負荷を軽減 し、未来につなげる循環型 社会の実現に取り組むまち	46 地域と協働したきれい で住みよい環境づくりの推 進	1 サステイナブル・スマー ト・タウン推進事業			
				2 不法投棄防止等対策事業			
				3 ボランティア清掃事業			
				47 広域連携による廃棄物 の適正処理及び環境啓発の 推進	1 リサイクルセンター運営 事業		
					2 リサイクルセンター整備 事業		
					3 環境施設整備事業		
					4 バイオガス化施設整備事 業		
				48 廃棄物の減量と有効利 用及びリサイクルの推進	1 資源有効利用促進事業		
					2 生ごみ堆肥化推進事業		
					3 資源品目別戸別収集事業		

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
					4 商品プラスチック資源化 事業
					5 ごみ減量推進事業
				49 水、空気、土壌等の環 境の保全と、環境負荷低減 の推進	1 1尿処理施設整備関係事 業
					2 水、空気、土壌等の環境 保全事業
					3 汚水処理施設整備・普及 促進事業
			14 地域から低炭素社会を めざし、行動するまち	50 環境にやさしい交通手 段の促進	1 バイオマス燃料利用促進 事業
					2 自転車走行環境整備計画 策定事業
					3 地域公共交通システム充 実促進事業
				51 環境に配慮した建築物 の普及の推進	1 長期優良住宅等促進事業
					2 公共工事等環境配慮事業
				52 地球温暖化防止活動の 推進	1 地球温暖化対策普及啓発 事業
					2 温室効果ガス発生抑制事 業
					3 温室効果ガス吸収促進事 業
					4 ヒートアイランド対策推 進事業
					5 再生可能エネルギー利用 促進事業
					6 地球温暖化対策率先行動 事業
					7 地球温暖化対策広域連携 推進事業
					8 建物緑化事業
■ 都市ビジョン3 さら なる可能性を追求する創造 発信都市	7 「藤沢づくり」を支える 都市構造の再構築と地域経 済の活力再生	62 産業の活力を高め、地 域が元気になること	15 新しい産業の興る活力 あるまち	53 広域連携による都市ビ ジネスモデルの構築	1 中小企業国際展開支援事 業
				54 研究開発拠点や研究開 発力の高い企業の集積をめ ざす企業立地促進	1 中小企業金融対策事業
					2 企業立地等促進事業
					3 新産業の森整備事業
				55 産学官連携による起業 支援・新産業創出の推進	1 新産業創出事業
					2 健康と文化の森整備事業
			16 市民生活を支える産業 の活性を高めるまち	56 コミュニティの核とし て地域に密着した「商店街」 づくりの推進	1 商店街活性化支援事業

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
					2 拠点駅等周辺商業活性化 事業
					3 商店街経営基盤整備事業
					4 産業拠点施設整備補助事 業
					5 地域密着型商業まちづく り推進事業
				57 地産地消の推進による 市内農水産業の活性化	1 環境保全型農業推進事業
					2 地産地消推進事業
					3 産地強化特別対策事業
					4 つくり育てる漁業推進事 業
					5 水産物地産地消促進事業
					6 畜産経営環境整備事業
				58 都市農業の維持・発展	1 遊休農地解消事業
					2 宮原地域活性化事業
					3 担い手育成支援事業
			17 産業や生活基盤を支え る、都市構造を構築するま ち	59 都市計画制度の活用に よる住環境整備や産業の活 性化	1 都市計画制度の活用によ る規制誘導事業
					2 大規模土地利用転換に伴 う誘導事業
					3 線引き等見直し事業
					4 片瀬山風致公園新設事業
					5 御所見地区整備事業
					6 川べりの遊歩道(引地川 緑地)新設事業
				60 総合交通ネットワーク の充実による交通体系の確 立	1 相鉄いずみ野線延伸整備 事業
					2 都市交通基礎調査事業
					3 バス交通支援事業
					4 新南北線推進事業
					5 新幹線新駅設置促進事業
				61 安全で快適な地域まち づくりの推進	1 近隣・街区公園新設事業

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
					2 ドッグラン施設設置事業
					3 秋葉台公園第2期新設事業
					4 公園愛護会育成事業
					5 北部第二(三地区)土地区画整理事業
					6 市道新設改良事業
					7 バリアフリー化推進道路特定事業
				62 都市形成に資する道路ネットワークの構築	1 遠藤宮原線新設事業
					2 遠藤葛原線新設事業
					3 (仮称)用田丘陵公園線新設事業
					4 長後地区整備事業
					5 主要幹線道路整備促進事業
					6 鵜沼奥田線街路新設事業
					7 石川下土棚線街路新設事業
					8 (仮称)南北線街路新設事業
					9 亀井野二本松線街路新設事業
					10 藤沢石川線(善行南工区)街路新設事業
					11 善行長後線(六会工区)街路新設事業
				63 都心の活動を創生する都市機能の再構築の推進	1 辻堂駅周辺地域都市再生事業
					2 辻堂駅南口再整備事業
					3 藤沢都心部再整備事業
					4 藤沢北口駅前地区整備事業
					5 村岡地区都市拠点総合整備事業
		63 地域の人材が働ける機会を創造すること	18 地域の人材を活かした雇用機会を創出するまち	64 多様な市民ニーズに対応する就労支援事業の推進	1 就労支援(仮称「JOBカフェ藤沢」)事業
					2 技能職育成支援事業
				65 障がい者等の自立支援の推進	1 障がい者就労支援事業

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
					2 障がい者雇用促進事業
		61 観光により地域が元気 になること	19 多様な地域資源を活か した観光立市のまち	66 新たな観光資源の開発 と外国人誘客による、地域 活性化の推進	1 誘客宣伝事業 2 外国人観光客誘致事業 3 広域観光圏推進事業
				67 多様な地域資源を活か した、観光立市のまちづく りの推進	1 湘南藤沢フィルム・コ ミッション事業 2 観光施設整備事業 3 通年型観光推進事業 4 海上観光活性化事業 5 観光拠点施設推進事業 6 湘南江の島魅力アップ事 業
	8 公共資産の維持管理と 有効活用	71 多様な連携を通じて、 市民が望むサービスが提供 されていること。	20 多様な主体が広域連携 するまち	68 湘南広域都市行政協議 会における広域行政の推進	1 湘南広域都市行政推進事 業 2 パスポートセンター開 設・運営事業
				69 近隣市との都市連携の 推進	1 広域行政推進関係事業 2 中小企業勤労者福祉サー ビスセンター事業
		67 移動や利用に当たり、 誰でも利用できる道路や施 設であること	21 誰にでも優しいユニ バーサルデザインのまち	71 人と環境にやさしい都 市空間の構築	1 自転車対策事業
				72 公共交通のユニバーサ ルデザインの推進	1 鉄道駅エレベーター設置 事業
	69 市民が利用する身近な 施設が大切にされているこ と	22 未来に引き継ぐ公有財 産と社会資本を有効活用す るまち	22 未来に引き継ぐ公有財 産と社会資本を有効活用す るまち	73 都市基盤施設の長寿命 化対策の推進	1 公園長寿命化改修事業 2 下水道施設再生事業 3 橋りょう長寿命化推進事 業 4 引地川水系橋りょう架替 事業 5 都市基盤施設一括維持管 理手法研究事業
				74 公共資産の有効活用 の推進	1 公共資産有効活用推進事 業
				75 公共施設の長寿命化と 再構築の推進	1 公共建築物の長寿命化と 利活用の推進事業 2 市庁舎等公共施設再整備 事業

市域全体のまちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす 20年後までの藤沢の姿～ 藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向 性～ 20年後までの藤沢 をめざして、いまから始め る「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題 (住み続けたいまちを実現 するための課題等)	戦略目標 (未来課題が実現された状 態)	政策 (目標の実現のため想定さ れる活動の方向性)	実施事業名 (政策を実現するための具 体的事業)
					3 元藤沢北高等学校敷地の 利活用推進事業
					4 藤沢都心部地区等の公共 施設再構築推進事業
					5 市民センター改築事業
					6 大庭台墓園立体墓地整備 事業
					7 最終処分場整備事業
					8 消防署所改築整備事業
					9 学校施設長寿命化事業
					10 藤沢公民館改築事業
					11 村岡公民館改築事業
				76 学校教育施設の有効活 用の推進	1 学校教育施設の有効活用 推進事業
	9 「藤沢ライフスタイル」 と「湘南カルチャー」の創出	76 訪れる人・住む人に配 慮した心遣いや工夫がある こと	23 地域の伝統や文化を継 承、多様なライフスタイル が生まれるまち	77 歴史・文化財の保存・ 継承活動の推進	1 保存民家復原公開事業 2 歴史・文化財資料公開活 用事業
				78 伝統文化の保存・継承 活動の推進	1 映像資料整備公開事業
				79 地域の市民文化活動の 支援	1 市指定史跡耕余塾の跡整 備事業 2 江の島歴史遺産保存整備 活用事業
		81 地域の記憶や文化が継 承され、発展すること	24 市民一人ひとりが豊か な心を育む文化に触れ合う 交流発信のまち	80 市民主体の市民文化を 創造する芸術文化普及振興 活動の推進	1 芸術文化振興事業 2 文化活動支援事業 3 芸術文化活動広域ネット ワーク事業 4 市民文化創造事業
				81 クリエイティブシティ (文化芸術創造都市)の創 出	1 文化資料展示施設開設事 業

## 1 まちづくり実施計画の見方

まちづくり実施計画では、まちづくり事業を、都市ビジョン・藤沢づくりのめざす方向性・ふじさわ未来課題・戦略目標（地域まちづくり目標）・政策（地域まちづくり活動）で分類しています。

また、その中で、各事業をまちづくり地域事業・まちづくり行政事業（全市・地域）・まちづくり市民連携事業・まちづくり公民連携事業・まちづくり広域連携事業に分類しています。

## 2 まちづくり情報

まちづくり事業の内容は、実施する主体または地域経営会議によって検討されていますが、参考となる活動や今後まちづくり事業に発展する可能性のあるものについても「まちづくり情報」として掲載しています。

## 3 まちづくり市民連携事業

この計画書には、行政計画として、まちづくり行政事業とまちづくり市民連携事業のうち行政が中心となり、行政責任で行う事業を掲載しています。

市民団体、NPO等の皆さんが主体となって活動されるまちづくり市民連携事業は別冊にまとめます。

## 4 まちづくりアイデア提案事業

まちづくりのための活動のうち、アイデアとして提案されたもの、様々な主体の協力が必要なものについては、アイデア提案事業として別冊にまとめます。

## 5 戦略目標に関する指標等

### (1) 成果指標・現状値・めざそう値

成果指標は、戦略目標について、この指標が改善されれば、良くなったと考えられる状態を示しています。現状値はその値をアンケート等により測定したもので、めざそう値は実際に活動をしている皆さんの声をアンケート調査により集約したものです。

### (2) 役割の担い手

役割の担い手は、「めざそう値」実現に向けた、取り組む主体の多様性を示すもので、2010年（平成22年）8月21日から9月3日にかけて実施した「めざそう値」調査の項目として調査しました。計1,367件の5段階評価（役割は、大きい、やや大きい、やや小さい、小さい、ない）の回答を集計後、各主体ごとの割合を求めたものです。それぞれの割合は、責任の大きさではなく、実現に向け行動する主体としての期待を示しています。

「まちづくり計画」では、紙面とページ数から、凡例により表示します。

#### 【凡例】

A：市民（個人・家庭） B：市民団体（含市民ボランティア）・NPO  
C：地域団体（自治会・町内会等） D：企業等（民間企業・財団法人等）  
E：子育て機関（学校・幼稚園・保育園等） F：行政 G：その他

### (3) 政策・成果の視点・主要な指標

政策は、戦略目標を改善された状態にするためにどのような活動の方向性があるかを示したものです。成果の視点は、政策が実現されたと考えられる状態を示しています。

主要な指標は、成果の視点の実現度を測定するベンチマークとして定めています。



## 表の見方（例）

事業名	藤沢づくり推進事業						①
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					②
1-1-7-01-1-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	社会経済情勢の急激な変化と将来の少子化、高齢化による人口構成の変化に対応するために策定した新総合計画を推進します。実施計画事業を事業評価を基に見直しを行うことにより、適切な進捗管理を図るとともに、基本構想の重要な理念である、「新しい公共」「地域分権」「地域経営」を推進する体制を整備します。 1 基本計画・実施計画の進捗管理、見直し(ローリング) 2 市民推進体制・行政推進体制の整備 3 成果指標充足度・ふじさわ未来課題の実現度に関するアンケート調査の実施						
活動指標	現状値が改善された目標の数の割合						③
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、市域全体のまちづくり計画について、その実行、進捗管理、ローリングなどを市民、地域と連携、協働して実施します。また、地域経営会議は、地域まちづくり活動について、13地区の市民センター・公民館の支援のもとに、地域市民の声を聞きながら、多様な主体との連携・協働に基づいて計画の実行、進捗管理、ローリングを実施します。						④
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施・計画	→	→	→	→	→	⑤
期待される事業の成果	「ふじさわ未来課題」を中心とした市民、地域と行政の連携と協働による活動が進むことにより、「新しい公共」が推進されるとともに、地域での担い手の増加や目標に向けた取り組みが進むことによって、一層の「地域分権」「地域経営」の推進が図られ、生活実感のある、暮らしやすいまちの実現に寄与します。						
担当部課	経営企画部経営企画課						

- ① 事業名と総合計画上の区分（体系コード・事業区分）を示します。
- ② 事業の内容について示します。
- ③ その事業がどの程度行われたかを示す活動指標と、その目標値、役割期待（活動を担う主体の役割と期待）を示します。
- ④ 事業の進捗と関係する地域の活動スケジュールを示します。
- ⑤ 事業の成果として期待される内容を示します。
- ⑥ 担当部課を示します。



## 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市

### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源\*を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

#### ～まちづくり情報～

- ① 国では、「新しい公共」の推進に向けた取り組みが進められています。
- ② 藤沢市では、コカ・コーラセントラルジャパン（株）との災害に関する協定や、（株）セブン-イレブン・ジャパンとの地域活性化に関する包括協定、市内4大学との連携協定をはじめ企業、協同組合との連携を進めています。



- ③ 藤沢市では、公民連携事業化提案制度として、市民・市民団体・NPO・企業などからの事業提案を募集しています。
- ④ 藤沢市では、茅ヶ崎市、寒川町と湘南広域都市行政協議会を設置し、様々な行政課題の広域的解決に向けた検討を行っています。
- ⑤ 藤沢市では、鎌倉市、大和市、綾瀬市と個別に行政課題の広域的解決に向けた活動を行っています。

\*地域資源：藤沢市内や各地域に存在する、自然環境や景観、文化や伝統、歴史、建造物、お祭り、団体や人的資源、大学や産業などを広い範囲で地域資源と呼んでいます。

## 【戦略目標】

### 01 未来を拓く「藤沢づくり」を支える新しい公共のまち

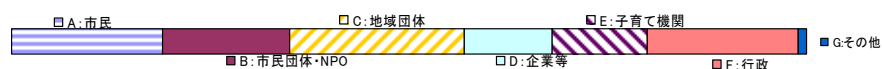
#### 【成果指標】

- ① 「新しい公共」が浸透している割合
- ② 市民活動に参加したい人の割合

【現状値】 ①38% ②38%

【めざそう値】 3年後：①45% ②45% 6年後：①55% ②50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:22% D:11% E:12% F:19% G:1%



②A:20% B:18% C:20% D:11% E:11% F:19% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-1》 新しい公共の視点に立った「公民連携」の推進

＜成果の視点＞ 新しい公共の視点に立った，市民，市民ボランティア，NPO，大学，企業等と行政の協働が進められていること

〔主要な指標〕 実施計画事業のうち、「まちづくり公民連携事業」の割合

《政策-2》 地域分権と広域連携の推進

＜成果の視点＞ 地域分権の視点に立った，地区間や近隣市町等との連携が進められていること

〔主要な指標〕 実施計画事業のうち「まちづくり広域連携事業」の割合

《政策-3》 行財政改革の推進

＜成果の視点＞ 経営戦略プラン等に基づき，経営という新たな視点で，限られた経営資源を効果的，効率的に活用し，公共サービスの充実が図られていること

〔主要な指標〕 実質公債費比率・将来負担比率が適正であること

《政策-4》 クリーンな市政運営の推進

＜成果の視点＞ クリーンな市政運営が進められていること

〔主要な指標〕 法令等に基づく適正な事務執行が行われていること

《政策-5》 地域交流と暮らしやすさの推進

＜成果の視点＞ 地区のまちづくり目標に対して，多様な主体が支援をしていること

〔主要な指標〕 まちづくり地域事業において活動指標の目標値を達成した割合

事業名 <b>藤沢づくり推進事業</b>						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>社会経済情勢の急激な変化と将来の少子化、高齢化による人口構成の変化に対応するために策定した新総合計画を推進します。実施計画事業を事業評価を基に見直しを行うことにより、適切な進捗管理を図るとともに、基本構想の重要な理念である、「新しい公共」「地域分権」「地域経営」を推進する体制を整備します。</p> <p>1 基本計画・実施計画の進捗管理、見直し(ローリング)  2 市民推進体制・行政推進体制の整備  3 成果指標充足度・ふじさわ未来課題の実現度に関するアンケート調査の実施</p>					
活動指標	現状値が改善された目標の数の割合					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市域全体のまちづくり計画について、その実行、進捗管理、ローリングなどを市民、地域と連携、協働して実施します。また、地域経営会議は、地域まちづくり活動について、13地区の市民センター・公民館の支援のもとに、地域市民の声を聴きながら、多様な主体との連携・協働に基づいて計画の実行、進捗管理、ローリングを実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施・計画	→	→	→	→	→
(地域)	実施・計画	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	「ふじさわ未来課題」を中心とした市民、地域と行政の連携と協働による活動が進むことにより、「新しい公共」が推進され、また、地域での担い手の増加や目標に向けた取り組みが進むことにより、一層の「地域分権」「地域経営」が推進され、あわせて生活実感のある、暮らしやすいまちの実現が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名 <b>国県資産活用推進事業</b>						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-1-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>本市老朽化公共施設の更新、再構築及び多様化する市民ニーズ、市民活動に資する用途として、市内に存する未利用国有資産、県有資産の活用推進に向けた事業を実施します。</p> <p>1 藤沢都心部活性化の都心西端部藤沢本町コアゾーンとして、元県立藤沢高校の移管に向けた県との調整  2 藤沢公民館改築計画及び市民運営による芸術・歴史・民俗等の情報発信や活動拠点の整備計画等の庁内調整等  3 通称「グリーンハウス」(県有資産)の保存、利活用に関する県、地元団体等との協議  4 老朽化公共施設の再整備に当たり、活用可能な国県資産の調査研究</p>					
活動指標	国県資産の活用件数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	1件	6年後目標値	2件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	国県保有資産の活用に当たっては、既存施設の有効活用や市施設との機能のあり方の検討が必要となるため、市は、地域での意見、考え方、市民意識等の地域経営会議を通じた提案について、地域と協働して検討し、市民ニーズに合致した資産の有効活用を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	計画	実施	→	→
(地域)	検討	→				
期待される事業の成果	元県立藤沢高校の移管を受けることにより、藤沢都心部活性化を図る都心西端部藤沢本町コアゾーンとして、老朽化施設の機能や市民ニーズの高い機能等の整備が可能となります。また、市内の国有地、県有地の活用を図ることにより、新しい公共の視点に立った公民連携の推進の可能性の拡大が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	4大学コンソーシアム・官学連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-1-7-01-1-3	地域分権区分					
事業内容	<p>新しい公共の視点に立った公民連携の推進をめざし、2009年度(平成21年度)に市内4大学と締結した地域活性化等に係る連携等協力協定に基づき、「知の宝庫」としての大学との連携、協働により、次の事業を実施します。</p> <p>1 藤沢市と4大学による定期的な「知のサミット」の開催  2 4大学コンソーシアムの設立検討  3 IT技術、バイオ、環境などの国際的課題に対する官学連携による研究フィールドの協議  4 官学連携による地域活性化とまちづくりの推進  5 小学校外国語活動の支援、市民講座の開設等の検討</p>					
活動指標	4大学コンソーシアムの設立進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と本市に所在する4大学が、包括的提携に基づき、新しいアイデアや技術を用いた起業や市域の活性化につながる活動を推進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	4大学コンソーシアムにおいて、人や組織のつながりを高める活動を推進することにより、官学の発展と市民生活の質的向上が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	公民連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-1-7-01-1-4	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>「新しい公共」を実現するため、多様な主体との公民連携を推進し、公共サービスの効率的・効果的な提供と社会資本の効率的整備及び有効活用、財政支出の平準化を図ります。公民連携の推進に当たっては、①市民力・地域力の活用、地域経済の活性化と地域が持つ技術・ノウハウの活用②事業の目的、趣旨等に基づく技術力・対応力等の適応性③民間資金活用の必要性等の視点に基づき、最もふさわしいサービスの提供主体、資産の有効活用や複合化、財政支出の軽減・平準化や民間からの収入の確保等を考慮して進めます。</p> <p>1 公民連携事業化提案制度の実施  2 公民連携の推進に係る制度、及びその運用に関するモニタリングの実施</p>					
活動指標	公民連携事業化提案制度事業化検討数(年間)					
目標値	現状値	30件	3年後目標値	30件	6年後目標値	30件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公民連携の推進に当たって、公民連携事業化提案制度への応募主体及び事業の担い手としての役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	公民連携により公共サービスの効率的・効果的な提供、社会資本の効率的な整備及び有効活用、財政支出の平準化及び新しい公共の実現が図られます。					
担当部課	経営企画部市民経営推進課					

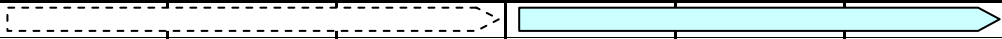
事業名	引地川水系利活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
1-1-7-01-2-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>藤沢市と大和市の広域連携施策により、引地川水系の源流である泉の森から河口までの環境保全や、緑道などを活用したスポーツ利用・サイクリング利用の健康づくりに取り組み、引地川を利活用した地域活性化を図ります。</p> <p>1 「引地川検討部会」による利活用に向けた検討 2 下土棚遊水池の上部利用に向けた検討、県との調整</p>					
活動指標	引地川水系に関わるネットワークの構築進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民ぐるみでの健康づくり、自然の保全等を行うため、六会地区及び市民団体等と連携して取り組みを進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	活動の推進により、市民の健康づくり、自然環境の保全が推進され、健康都市の実現、地域分権及び広域連携の一層の推進が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	職員研修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>経営資源の一つである「人材」の資質を高め有効活用することで、行政経営における生産性の向上を図るため、行政経営に求められる経営的感覚の養成及び専門性の向上に関する研修を実施するとともに、戦略的な人事配置と連携することにより組織力の強化をめざします。</p> <p>1 民間企業・海外派遣研修の実施(公益財団法人東京財団等) 2 専門能力を有するスペシャリスト育成講座の実施 3 受講後職員の戦略的な人事配置(異動)の実施</p>					
活動指標	受講者数及び資格取得者数(累計)					
目標値	現状値	6人	3年後目標値	25人	6年後目標値	70人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	研修計画については、受け入れ企業の確保及び拡充、組織強化に有効な専門能力の選定、受講対象者の選定などを行政主体で実施しますが、経営感覚養成及び専門能力習得に関する研修の実施内容は民間企業・研修機関等により検討された内容で実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	優秀な経営感覚を備えた職員が育成されるとともに、研修受講者を戦略的に人事配置することにより、組織力の向上が図られます。					
担当部課	総務部職員課					

事業名	人材確保対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-3-2	地域分権区分					
事業内容	<p>優秀な人材を求めるために、受験資格である年齢制限や学歴要件を撤廃するなど、受験対象を拡大した採用試験を実施し、また職員全体の健康の保持、増進を図るため、メンタルヘルスキアの充実・向上を図ります。</p> <p>1 年齢制限や学歴の撤廃など受験対象を拡大した採用試験の実施  2 職員メンタルヘルス調査の実施及び検証  3 庁内健康相談体制の推進  4 庁外資源を活用した相談体制の確保  5 心の健康計画の策定</p>					
活動指標	①受験者数(年間) ②病気休職者数					
目標値	現状値	①826人 ②26人	3年後目標値	①2,000人②20人	6年後目標値	①2,000人②15人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	優秀な職員の採用を推進するとともに、職員に対するメンタルヘルスキアの増進に向けた事業の実施及び全体の進捗管理を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	多様な経験を持った優秀な人材を確保することで、組織力の向上が図られ、多様な市民ニーズに的確に対応していくとともに、庁内健康相談体制等の充実を図ることで、職員のメンタルヘルスの向上、休職者及び退職者の減少が図られます。					
担当部課	総務部職員課					

事業名	職員政策イノベーション事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-3-3	地域分権区分					
事業内容	<p>少子高齢社会の進展と先行が不透明な経済社会状況の中、社会資本の老朽化、財政構造の逼迫、地方分権の潮流など本市が抱える様々な課題への対応を図るため、職員力を発揮し、柔軟かつ斬新な発想による政策提案を行い、事業化を図るとともに、短期財政計画に反映させ計画的に実施することで、着実な課題解決を図り、魅力的な藤沢づくりを進めます。</p> <p>1 事業アイデア提案の募集  2 採択事業アイデアの具体化・実施  3 職員研修との連携  4 広域における課題解決に向けた近隣市町との連携の検討</p>					
活動指標	延べ参加人数(年間)					
目標値	現状値	203人	3年後目標値	350人	6年後目標値	500人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、事業の推進に当たり、職員研修と連動して職員力のさらなる発揮を図るとともに、地域における課題解決に向けた地域との連携や、広域における課題解決に向けた近隣市町との連携を含めた取り組みを進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	職員の課題解決能力と見識、モチベーションを向上し、自己の業務の枠にとらわれない市民目線での活動を進めることにより、職員の政策形成能力の向上、行財政改革の推進、藤沢の魅力の向上が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					



事業名	都市制度広域行政システム研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-3-4	地域分権区分					
事業内容	<p>地域主権改革が進展する中で、住民に身近な自治体による権限・事務の拡大を図ることにより、公共サービスの充実を図り、住民サービスの向上をめざします。また、中核市への移行を視野に入れながら、地域主権改革及び大都市制度について調査検討を行います。</p> <p>1 中核市事務の調査研究及び県との連絡調整 2 地域主権改革及び大都市制度の調査研究</p>					
活動指標	中核市移行に係る調査の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民、地域の声を聴きながら、地方公共団体としての効率性、市民の目線での効果の最大化を念頭に検討を進めます。また、公共サービスの充実においては、新しい公共の理念を踏まえ、公共社会における豊かさを追求した市民、市民団体などの多様な主体による活動が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	→	→	実施	→	→
期待される事業の成果	県から移譲される事務については、市民生活に密着する事務であるため、公共サービスの向上が図られ、暮らしやすいまちづくりが図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	行政経営改革戦略推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-3-5	地域分権区分					
事業内容	<p>行政システムのスリム化を図るとともに、「多様な主体との公民連携による新しい公共の実現」、「地域主体のまちづくりの実現」、「ひと・もの・財源を対象としたスクラップ・アンド・ビルド改革」の3つの視点から生産性の高い組織を構築し、市民満足度の向上と行財政の効率化に立脚した行政経営を推進します。</p> <p>1 「藤沢市経営戦略基本方針」に基づく、効率的・効果的な行政経営の推進 2 事務事業のスクラップ・アンド・ビルドの推進 3 組織改正の実施 4 出資団体改革の推進 5 行政評価等の実施</p>					
活動指標	経営戦略プラン取り組み項目実施計画数					
目標値	現状値	63実施計画	3年後目標値	全事業	6年後目標値	全事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民自らできることは市民に任せるとともに、事務事業の委託化及び民間移管等の方策により、事業の低コスト化・効率化及び行政のスリム化を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	「新しい公共」の実現、健全財政の維持、効果的・効率的な公共サービスの提供、市民満足度の向上が図られます。					
担当部課	経営企画部市民経営推進課、総務部行政総務課					

事業名 <b>税・料収入確保対策事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-1-7-01-3-6	地域分権区分						
事業内容	市税・国民健康保険料等すべての市債権の収入確保を図り、収入未済額の縮減の推進を図ります。 1 税・料等全体の滞納整理手法の体系化に基づく滞納処分のノウハウの共有化、相互連携の実施 2 併任辞令方式を活用し、困難案件に特化した税・料等の一体的な徴収体制の強化 3 効果を検証しながら、滞納整理強化に向けた研究・検討を継続 4 現年度課税分未納額増大と新規滞納者発生を抑制するため、債権回収の実施に際し、民間事業者へ委託し、電話及び訪問による納付催告業務を実施						
	活動指標	収入未済額(年間)					
	目標値	現状値	78億円	3年後目標値	76億円	6年後目標値	73億円
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、市税の徴収確保手法を料等すべての市債権で共有化し、様々な手法により収入確保対策に取り組めます。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→				
(地域)							
期待される事業の成果	市税滞納整理に関するプロセスを料等の担当課に提供し、相互に連携することにより、税・料等一体となった収入未済額の縮減が図られます。また、料等は滞納処分等のノウハウを取得することにより、収入未済額を縮減させることができ、税も自らのスキルアップが図られます。						
担当部課	財務部納税課						

事業名 <b>道路台帳GIS整備推進事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-1-7-01-3-7	地域分権区分						
事業内容	道路法第28条に基づき調製・保管し、閲覧に供している道路台帳の整備に当たり、多数の台帳の情報を効率的に取得し活用するために、GIS(地理情報システム)により一元化を図ります。 これにあわせて道路管理に必要となる土地の権原に関する情報、道路・水路の占用システムの統合や災害時の復旧の役割、過去の経過や維持管理上の情報等を集積し、各種業務における多角的活用を進めます。 1 GISを活用した道路台帳の一元化 2 各種情報の統合による多角的活用と事務効率の向上						
	活動指標	システム構築の進捗率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	GISによる台帳整備は、市が主体となって取り組めます。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→			
(地域)							
期待される事業の成果	電子情報による台帳管理となることで、サービスの向上及び効率性の高い情報の整理が図られます。また情報の蓄積により維持補修計画の透明化、明確化が図られ効率的な事務処理が可能になります。さらに沿道の土地所有者の財産管理、上下水道・電気・ガス等の企業者、建築関係者などが道路に関するベースマップとして利活用が可能になります。						
担当部課	土木部道路管理課						

事業名	(仮称)公正職務執行確保条例等検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>コンプライアンス改革(法令の遵守)として、行政職務の執行に当たって、法令遵守はもとより、透明かつ公平、公正で、しかも誠実な執行の求めに応じられるよう、クリーンな市政運営の推進を図ります。</p> <p>また、インターナル・コントロール改革(内部統制)として、行政の事務執行について、効率性及び有効性の観点から適切な執行を行うため、管理、監視、保証を行える仕組みづくりとしての所定の基準や手続きを定めます。</p> <p>1 (仮称)公正職務執行確保条例の制定 2 内部統制制度の構築</p>					
活動指標	①(仮称)公正職務執行確保条例の制定進捗率 ②庁内への内部統制制度の導入進捗率					
目標値	現状値	①30%②20%	3年後目標値	①②100%	6年後目標値	①②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は条例案の策定、市民及び職員への周知、コンプライアンス委員会の運営等について、その役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	(仮称)公正職務執行確保条例の制定により、行政職務の執行に当たっては、法令遵守はもとより、透明かつ公平、公正で誠実に業務に取り組むことにより、クリーンな市政運営が図られます。また、内部統制制度の導入により、行政事務の執行が適法かつ正確に行われるだけでなく、効率性及び有効性の観点からも適切に執行されます。					
担当部課	総務部行政総務課					

事業名	公文書等情報管理のあり方に関する調査研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-7-01-4-2	地域分権区分					
事業内容	<p>市の公文書等の適正な情報管理のあり方について、総合的、多角的な調査研究を推進し、改善指針案等を作成します。あわせて、情報公開制度等との整合性を踏まえ、MLA連携(ミュージアム・図書館・文書館)を含む情報提供のあり方について検討します。</p> <p>1 先進事例の情報収集及び実態調査 2 現行文書取扱規程の運用状況実態調査及び公文書作成等に関する職員意識調査 3 情報公開・情報管理等の課題に関する調査及び情報公開制度等との整合性の検討 4 歴史的公文書公開システム・MLA連携による情報提供の研究及び公文書等デジタル化 5 調査報告書(改善指針案)及び条例化案の作成</p>					
活動指標	①調査報告書(改善指針案)・条例化案の作成進捗率 ②公文書等のデジタル化枚数(累計)					
目標値	現状値	①0%②0枚	3年後目標値	①50%②20,000枚	6年後目標値	①100%②50,000枚
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、より公平・迅速、効率的でクリーンな市政運営を行うため、その基礎的要件である適正な公文書等情報管理のあり方について再検討する役割を担います。 また、有識者は、市の諮問等に基づき、条例化案の検討などの役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	公平、迅速、適正文書の作成、文書等情報の管理保存、提供、公開が徹底され、クリーンで透明な信頼される市政の実現につながるのと同時に、職員の公文書作成、情報管理意識やリスクマネジメント、行政サービスが向上し、将来にわたり市の説明責任を果たすことが可能になります。					
担当部課	市民自治部市民相談情報センター文書館					

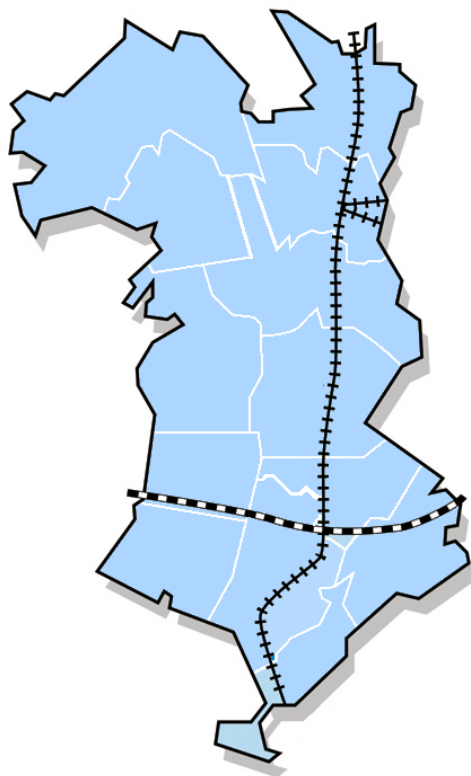
事業名	市民活動団体の多様な協働の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-1-7-01-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市民活動団体提案型協働事業を継続して行うとともに、市民活動団体が自立し持続可能な活動ができるように育てていくための事業のあり方を検討します。</p> <p>また、市民活動団体と行政、民間企業、大学、他の市民活動団体等、多様な主体との協働を推進するための仕組みづくりを行い、新しい公共の担い手の拡充を図ります。</p> <p>1 市民活動団体提案協働事業 2 協働コーディネーター事業 3 地域まちづくりパートナーシップ事業</p>					
活動指標	市民活動団体提案協働事業申請数(年間)					
目標値	現状値	5件	3年後目標値	10件	6年後目標値	15件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民活動団体提案型協働事業については、市民活動団体が行政と協働して事業を実施するため、新しい公共の担い手として期待されます。また、協働コーディネーター事業及び地域まちづくりパートナーシップ事業の実施により、市民活動団体と多様な主体との協働が推進され、新しい公共の担い手が拡充されることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施・検討	→	実施	→	→	→
期待される事業の成果	市民活動団体提案協働事業、協働コーディネーター事業及び地域まちづくりパートナーシップ事業の実施に伴い、市民活動団体の多様な協働が行われることにより、新しい公共の担い手である市民活動団体の支援・育成が図られます。					
担当部課	市民自治部市民自治推進課					

## 5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること

～まちづくり情報～

- ① 地域では、「新しい公共」の推進に向けた地域経営会議を中心とした地域づくりの取り組みが進められています。
- ② 地域経営会議が提案した「地域まちづくり計画(案)」「地区別まちづくり実施計画(案)」がこの新総合計画に反映されています。
- ③ 藤沢市では、13地区ごとに地域団体が様々な取り組みを実施しています。
- ④ 市内には、地域の団体として、地域の自治会・町内会の交流と意見交換等によって自治活動を推進する「自治町内会連合会」をはじめ、自治会・町内会と諸団体との連携によって生活環境の改善向上をめざす「生活環境協議会」、自主活動によって地区から交通事故をなくすため広く交通安全運動を推進することを目的とした「交通安全対策協議会」、防犯活動の推進と防犯意識の高揚を目的とした「防犯協会」、青少年の健全な育成を目指すことを目的とした「青少年育成協力会」などがあります。

また、高齢化に伴い福祉への関心も高まる中、地域福祉の推進を目的に様々な活動を行っている「社会福祉協議会」や、社会奉仕の精神で地域の皆さんの立場に立って活動をしている「民生委員児童委員協議会」も活発な活動をしています。



## 【戦略目標】

### 02 市民、地域と行政が育む、暮らしやすさを実感できるまち

#### 【成果指標】

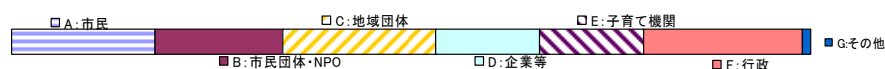
- ① 暮らしやすさを感じている人の割合
- ② 自治会活動への支援に対する満足度
- ③ 市民主体のまちづくりへの市の支援に対する満足度

【現状値】 ①58% ②16% ③12%

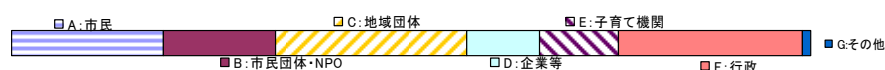
【めざそう値】 3年後：①65% ②25% ③20.5%

6年後：①70% ②35% ③31.5%

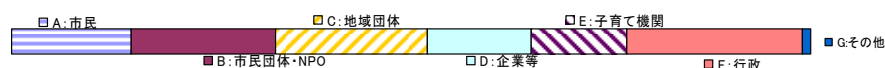
【役割の担い手】 ①A:18% B:16% C:19% D:13% E:13% F:20% G:1%



②A:19% B:14% C:24% D:9% E:10% F:23% G:1%



③A:15% B:18% C:19% D:13% E:12% F:22% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-6》 地区ごとの市民主体のまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 地区ごとに地域経営会議による地域まちづくり等で、市民ボランティア、NPO、地域団体等が連携して活発に活動すること

〔主要な指標〕 まちづくり地域事業の総数

《政策-7》 市民の目線による情報化の推進

＜成果の視点＞ ITによる市民サービスの向上

〔主要な指標〕 電子申請等のオンライン利用率

《政策-8》 多様なメディアを活用した情報発信の推進

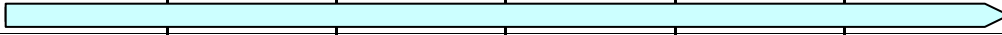
＜成果の視点＞ 必要なときに必要な情報を入手できること


〔主要な指標〕 藤沢市Webサイト「電縁都市ふじさわ」のページビュー（PV）\*

\* ページビュー（PV）：インターネットのホームページが閲覧された回数、アクセス数をいいます。

事業名	市民活動推進センター分館整備運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-1-5-02-6-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>市民活動推進センターの登録団体数や利用者数の増加により、今後の公民連携の推進に当たって、市民活動団体の活動の場や作業スペースの確保が必要となっています。</p> <p>このことから、地区ボランティアセンター等との連携を通じて、13地区における市民活動団体の活動が活性化することをめざし、公共施設の有効活用を含め、市民活動推進センターの分館としての拠点施設を北部方面に整備するとともに、NPO等による自主的な運営管理を行います。</p> <p>1 市民活動推進センター分館の整備</p>					
活動指標	市民活動推進センター分館の利用者数(年間)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	3,000人	6年後目標値	7,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民活動団体の新たな拠点施設については市が整備を進めるとともに、NPO等には、弾力性や柔軟性のある施設の運営管理を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->		----->			
	検討	→	実施	→	→	→
(地域)	検討	→				
期待される事業の成果	市民活動推進センター分館を整備することで、活動の場や作業スペースが拡充することにより、市民活動が活性化され、新しい公共の担い手である市民活動団体の支援・育成が図られます。					
担当部課	市民自治部市民自治推進課					

事業名	公益的市民活動助成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-1-5-02-6-2	地域分権区分					
事業内容	<p>新しい公共の担い手となる市民活動団体を育成支援するため、市民活動団体が行う公益的的事业に対して、初期コースと発展コースの2種類のコースを設け、公開プレゼンテーションを実施する中で審査選考を行い、選考された事業に助成します。</p> <p>1 公開プレゼンテーションによる審査選考 2 公開による報告会及び事業の評価 3 市民活動への効果の検証及び助成方法の見直し</p>					
活動指標	助成申請数(年間)					
目標値	現状値	19件	3年後目標値	28件	6年後目標値	37件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民活動団体の公益的市民活動については、行政の助成・支援により活動が活性化され、市民活動団体が新しい公共の担い手となることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->					
	実施・検討	実施	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	公益的市民活動助成事業の実施に伴い、市民活動団体が自立した運営を行えるようになります。					
	また活発な活動が行われることにより、市民活動団体の育成が図られ、新しい公共の担い手としての活動が推進されます。					
担当部課	市民自治部市民自治推進課					

事業名	地域経営会議支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-1-5-02-6-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域分権及び地域経営の理念に基づき、持続的な市民主体の「藤沢づくり」を推進するため、地域市民によって地域自治としての課題解決に向けた意思決定を行うために組織された13地区の「地域経営会議」による新しい公共、地域分権及び地域経営の推進、並びに地域主体のまちづくりの推進に向けた取り組みに対する支援を行います。</p> <p>1 「藤沢市地域経営会議運営費補助金交付要綱」に基づく、補助金の交付</p>					
活動指標	地域経営実施計画の事業数(累計)					
目標値	現状値	0事業	3年後目標値	335事業	6年後目標値	363事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>地域経営会議は、地域自治としての課題解決に向けた意思決定と、地域の特性に応じた持続的な地域のまちづくりの推進に努め、市は、地域分権・地域経営の推進に関する必要な施策の総合的・計画的な実施と、市民、公共的団体及び地域経営会議と連携・協働した地域内分権の推進、並びに市民主体のまちづくりの推進に必要な支援を行います。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>地域経営会議の運営・活動に対して補助を行うことにより、市民、公共的団体、地域経営会議、及び市の連携・協働等による新しい公共、地域分権及び地域経営の推進、並びに持続的な地域づくりと藤沢づくりの推進が図られます。</p>					
担当部課	市民自治部市民自治推進課					

事業名	地域まちづくり基金積立事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-5-02-6-4	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>市内13地区の地域主体のまちづくりを進めるに当たり、地域主体のまちづくりを応援する市民、団体等からの寄附金と市民センター・公民館が行う自主財源確保の取り組みによって得た歳入を積み立て、地域経営会議によりその活用を図ります。</p> <p>1 「藤沢市地域まちづくり基金条例」に基づく「藤沢市地域まちづくり基金」の設置及び運用</p>					
活動指標	地域特性を活かした独自事業数(年間)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	13件	6年後目標値	13件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>地域主体のまちづくりを応援する市民、団体等からの寄附金と、市民センター・公民館が行う自主財源確保の取り組みにより得た歳入を活用し、地域経営会議による地域の特性を活かした個性豊かなまちづくりの推進を図ります。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>地域主体のまちづくりを応援する市民・団体等からの寄附金等を積み立て、地域経営会議がその活用を図ることにより、個性豊かなまちづくりが推進されます。</p> <p>また、市民センター・公民館が自主財源確保の取り組みを行うことにより、公共施設等の有効活用が図られます。</p>					
担当部課	市民自治部市民自治推進課					



事業名	「出張！市長室」等充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-5-02-6-5	地域分権区分					
事業内容	<p>市民目線による市民経営を推進するため、市長及び幹部職員が直接現地現場に出向き、市政の現状や今後の取り組み等について説明するとともに、市民・団体等と、地域の課題や身近な話題などを一緒に考え、話し合っていく「出張！市長室」及び「出張！部長室」等の充実を図り、市民主体・地域主体のまちづくりの実現をめざします。</p> <p>1 「出張！市長室」及び「出張！部長室」の戦略的实施 2 地域経営会議との定期協議の推進</p>					
活動指標	「出張！市長室」実施回数(累計)					
目標値	現状値	18回	3年後目標値	54回	6年後目標値	108回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、市民ボランティア、NPO、企業、大学等との意見交換を通じ、地域の課題等について相互に認識を共有することで、新しい公共の担い手が拡充されることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	市民・団体等との意見交換を通じ、地域の課題やニーズを把握することができるとともに、市政の現状や今後の取り組みについて相互に認識を共有することにより、市民目線による市民経営が推進されます。					
担当部課	藤沢市市民自治部市民自治推進課					

事業名	地域情報サイト活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-1-5-02-7-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域ポータルサイトの拡充、市民ボランティア等人材の育成を図るため、市域における地域の魅力や市民生活に役立つ情報等の発信を推進することを目的に、2012年度(平成24年度)以降については地域情報サイトを活性化することで事業収益を確保し、NPOによる自立運営を行います。</p> <p>1 「えのしま・ふじさわポータルサイト」のコンテンツ開発・作成及び運営経費の確保 2 映像情報を活用した地域の活性化</p>					
活動指標	WEBサイト年間ページビュー数(年間)					
目標値	現状値	50万件	3年後目標値	80万件	6年後目標値	100万件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	NPOが主体となって地域ポータルサイトの運営を行い、市民ボランティア、企業、団体等が各々の力や知恵を持ち寄り、運営支援を行っていくことから、新しい公共としての役割が期待できます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	NPOが自立的、持続的な運営を行うことによって、新しい公共としての役割を果たしていきます。また、市民にとって利便性が高く、生活を豊かにする情報や、動画を活用した情報を入手できるようになり、情報発信の担い手であるNPOや市民ボランティア等の人材育成や、市民やNPO等が主体となったシティプロモーション活動につながります。					
担当部課	総務部IT推進課					

事業名	市民IT活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-1-5-02-7-2	地域分権区分					
事業内容	<p>市民がITを安心して利用し、その利便性を実感できるようにするため、市民のIT活用能力や情報発信能力の向上を目的に、パソコン相談・学習コーナー「Let'sふじさわ」及びインターネット安全教室、パソコン出前病院の運営等を、市民ボランティアやNPOと協力、連携しながら実施します。</p> <p>1 Let'sふじさわ:市民ボランティアの相談講師によるパソコン相談コーナー  2 インターネット安全教室:インターネットや携帯電話の安心、安全な使い方講座  3 パソコン出前病院:NPOとの協働によるパソコンの不具合等の相談会</p>					
活動指標	インターネットを使っていない人のうち「使いたいが使えない」人の割合					
目標値	現状値	57.4%	3年後目標値	51.0%	6年後目標値	42.0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民ボランティアやNPOが主体となって市民等のIT活用支援を行うものであることから、新しい公共としての役割が期待できます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市民ボランティア、NPOが運営、実施主体となっていることから、市民が市民をサポートする仕組みが確立しており、新しい公共としての役割を果たしていきます。 また、市民のIT活用を総合的に支援することにより、デジタルデバイト(情報格差)の解消や、地域からの情報発信の充実が図られます。					
担当部課	総務部IT推進課					

事業名	ふじさわサイネージ事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-1-5-02-7-3	地域分権区分					
事業内容	<p>地域情報や行政情報を内容に応じて地域に配信する仕組みである「地域電子掲示板(ふじさわサイネージ)」について、地域まちづくり、地域活動等より地域に密着した情報を発信することを目的に、市民、NPO、大学、企業、行政等で構成する協議会及び運営推進委員会を組織し、運営します。</p> <p>1 市民、NPO、大学、企業、行政等で構成する協議会及び運営推進委員会の組織化  2 「地域電子掲示板(ふじさわサイネージ)」の運営</p>					
活動指標	配信コンテンツ数(月間)					
目標値	現状値	50件	3年後目標値	130件	6年後目標値	260件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	NPO、大学、企業、行政等により構成される協議会が、自立的、持続的な運営を行っているもので、市民ボランティアやNPO等が主体となり、地域情報の発信を担っていることから、新しい公共としての役割が期待できます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	地域経営会議、自治会、公民館サークル等の地域活動団体が自発的に情報発信を行うことが可能となる新しいメディアの提供が図られます。					
担当部課	総務部IT推進課					

事業名	IT活用の広域連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
1-1-5-02-7-4	地域分権区分					
事業内容	<p>市民目線による市民サービスの向上を図るため、より効率的なIT運用の手法の確立をめざし、広域連携による事業を推進します。</p> <p>1 神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会等の広域連携組織の活用  2 共同運営、クラウドコンピューティングなど情報システム運営形態の共同化の推進  3 全国どこからでもオンラインで行政手続等が利用できる行政ワンストップサービスの構築</p>					
活動指標	市民のIT活用満足度					
目標値	現状値	60.7%	3年後目標値	65.0%	6年後目標値	70.0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	民間企業とのシステム連携や、システム提供事業者の協力を得て事業展開することから、新しい公共としての役割を期待できます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	システムの共同化による業務の効率化や経費の削減が図られます。また、各種手続窓口の一本化や、自宅等からのオンライン手続の充実など、市民の目線による利便性の高い市民サービスが提供されます。					
担当部課	総務部IT推進課					

事業名	コンビニ等証明交付推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-5-02-7-5	地域分権区分					
事業内容	<p>コンビニ等事業者が設置する証明書発行機器による住民票の写し及び印鑑登録証明書の交付を推進することで、市民サービスの向上と事務の効率化及び人的・物的経費の削減を図ります。</p> <p>また、2012年(平成24年)7月の外国人登録法の廃止に伴い、外国人が住民基本台帳に登録されるため、さらなるサービスの拡大を図ります。</p> <p>1 住民基本台帳カードの普及促進  2 コンビニ等証明交付事業者の拡大  3 事業実施市町村の拡大による経費負担軽減</p>					
活動指標	①コンビニ等での住民票の写し・印鑑登録証明書交付率 ②住民基本台帳カード発行枚数(累計)					
目標値	現状値	①0%②44,000枚	3年後目標値	①13%②80,000枚	6年後目標値	①20%②110,000枚
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民サービスの向上と事務の効率化及び人的・物的経費の削減等を図るため、住民基本台帳カードの普及促進、機器を設置するコンビニ等事業者の拡大及び事業実施市町村の拡大に向けた取り組みを進める役割を担います。また、コンビニ事業者等には、機器設置の拡大及び運営の役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	住民票の写し・印鑑登録証明書の取得にかかる利便性の向上及び住民異動手続きの簡素化、並びに行政の事務の効率化及び人的・物的経費の削減等が図られます。					
担当部課	市民自治部市民窓口センター					

事業名	シティプロモーション推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-5-02-8-1	地域分権区分					
事業内容	従来の広報戦略を転換し、本市の魅力や政策の優位性等について、多様なメディアを活用して市内外に発信し、シティプロモーション活動を推進します。 1 多様なメディアを活用した戦略的PRの実施 2 藤沢の魅力・政策優位性に関する広報刊行物の発行 3 広域的視点からの情報発信の推進 4 市民参加型シティプロモーションの推進 5 海外への情報発信の推進					
活動指標	シティプロモーション情報発信数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	50回	6年後目標値	200回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、藤沢市の魅力・政策優位性(シティブランド)等を市内外に発信します。市民及び市内の団体、企業等には、情報発信主体等としての役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	計画・実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	シティプロモーション活動を推進することで、市民一人ひとりに地域への誇り・愛着や帰属意識の醸成が図られ、いまま未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」の実現に寄与するとともに、人や企業の集積による都市力の向上が図られます。 また、広域的に活動を展開することにより、湘南地域全体の価値の向上が図られます。					
担当部課	市長室広報課					

事業名	地域情報推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-1-5-02-8-2	地域分権区分					
事業内容	地域分権の考え方に基づき、地域まちづくり計画や地域の特色ある情報などを、多様なメディアを活用して、地域から自主的に情報発信できる体制づくりを支援し、各地域の施策や地域の魅力・生活密着情報等を発信します。 1 地域版広報紙による情報発信 2 地域情報ポータルサイトによる情報発信 3 地域における情報資産の活用による情報発信 4 地域団体等の情報発信の支援 5 広聴機能との連携強化(出張！市長室・部長室等との連携)					
活動指標	ポータルサイト閲覧数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	27万回	6年後目標値	82万回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民及び地域団体等には、地域の情報を発信していく情報発信主体等としての役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	計画・実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	多様なメディアを活用し、地域から自主的に情報発信できる体制を構築することにより、地域住民の地域内情報の共有化が図られ、市民力・地域力を活かした地域分権の推進が図られます。					
担当部課	市長室広報課					

事業名	藤沢ブランド推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-1-5-02-8-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>藤沢には江の島をはじめとする名所、旧跡が多数あるとともに、湘南ブランドを有しています。今後はさらに政策の優位性に基づく「藤沢」という都市のブランド力を向上させ、市内外からの信頼・好感・期待を恒常的に獲得するため、他自治体との差別化を誘引する藤沢市独自の価値や優位な政策を創出し、ブランドメッセージとして多様なメディアを通じて発信します。</p> <p>1 (仮称)藤沢ブランド戦略プランの策定 2 (仮称)藤沢ブランド戦略プランに基づく藤沢ブランド戦略の推進</p>						
	活動指標	藤沢ブランド発信回数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民、市民団体、企業、大学等と連携して、藤沢への愛着力をさらに高め、情報発信などの活動を進めます。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	検討・実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	市民一人ひとりの地域への誇り・愛着の醸成、藤沢のアイデンティティの浸透、地元企業における商品、サービスの販売促進などから、人や企業の集積による都市力の向上が図られます。						
担当部課	経営企画部経営企画課						



都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携等、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

8 市民自ら、人にやさしい手をさしのべること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、安心して子育てができるよう支援をするため、生後4カ月までの赤ちゃんのいるご家庭を全戸訪問し、育児情報の提供や相談を行う「こんにちは赤ちゃん事業」を実施しています。
- ② 藤沢市では、0歳から小学6年生までの入院及び通院、中学生の入院にかかる医療費を助成しています。
- ③ 市内には、認可保育所が公立と法人立と合わせて39園（分園2園含む）、私立幼稚園が36園あります。（2011年（平成23年）1月1日現在）
- ④ 藤沢市では、育児の援助を受けたい「おねがい会員」と育児の援助ができる有償ボランティアの「まかせて会員」からなる市民相互援助の「ファミリー・サポート・センター事業」を実施しています。



## 【戦略目標】

### 03 子どもを安心して産み育てられるまち

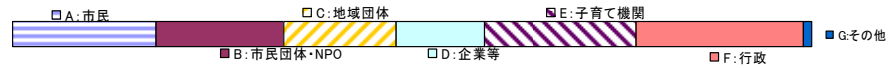
#### 【成果指標】

- ① 子育て支援への様々な取り組みへの満足度
- ② 市内の合計特殊出生率

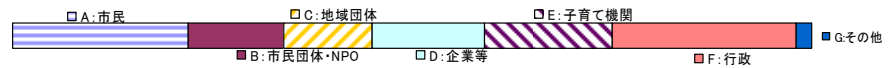
【現状値】 ①17% ②1.25人

【めざそう値】 3年後：①30% ②1.3人 6年後：①40% ②1.4人

【役割の担い手】 ①A:18% B:16% C:14% D:11% E:19% F:21% G:1%



②A:22% B:12% C:11% D:14% E:16% F:23% G:2%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

#### 《政策－9》 親子の健康増進の推進

＜成果の視点＞ 安心して妊娠、出産、子育てができること

〔主要な指標〕 年間出生数

#### 《政策－10》 援助が必要な児童への支援の充実

＜成果の視点＞ 悩みや困ったことに対する支援が充実されていること

〔主要な指標〕 必要な支援につながった相談の割合

#### 《政策－11》 すべての子育て家庭への支援の充実

＜成果の視点＞ 必要な人に子育ての人的支援がなされていること

〔主要な指標〕 子育て支援センターの年間延べ利用者数

#### 《政策－12》 子どもを安心して育てられる環境の充実

＜成果の視点＞ 必要な人に子育ての環境に関する支援がなされていること

〔主要な指標〕 待機児童数




事業名	小児医療費助成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-8-03-9-1	地域分権区分					
事業内容	<p>次世代を担う子どもの健康増進と子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、小児の通院・入院に係る医療費(保険診療の自己負担額)の助成を行います。</p> <p>1 0歳から小学校卒業までの通院に係る医療費の助成 (保護者の所得による制限なし)</p> <p>2 0歳から中学校卒業までの入院に係る医療費(入院時標準負担額を除く)の助成 (中学生のみ保護者の所得による制限あり)</p> <p>3 医療費助成の対象を中学校卒業まで拡大</p>					
活動指標	医療費助成の対象					
目標値	現状値	小学校卒業前	3年後目標値	中学校卒業前	6年後目標値	中学校卒業前
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、医療機関の協力を得て、次世代を担う子どもの健康増進と子育てにかかる経済的負担の軽減を図るため、小児医療費の助成事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	医療機関への受診機会の多い子どもの医療費を助成することで、子どもたちが健やかに育ち、安心して子どもを産み育てることができる環境が整います。					
担当部課	こども青少年部子育て支援課					

事業名	乳幼児健診等事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-8-03-9-2	地域分権区分					
事業内容	<p>すべての子どもが健やかに成長できるように、妊婦の健康及び乳幼児の発育・発達の確認を行う健康診査を実施します。また、疾病及び発達の状態、運動機能等の障がいや早期に発見し、適切な保健指導を行うとともに、養育や発達過程に応じた相談及び発達支援の体制を整備します。</p> <p>1 妊婦健診(14回の公費助成)</p> <p>2 乳幼児健診(4か月児・9～10か月児・1歳6か月児・2歳児(歯科)・3歳6か月児健康診査)</p>					
活動指標	妊婦及び乳幼児健診の平均受診率(年間)					
目標値	現状値	87%	3年後目標値	89%	6年後目標値	91%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、医師会、指定医療機関の協力を得て、妊婦健診及び乳幼児健診を実施します。また、医療機関には、かかりつけ医として健診の受診勧奨を行うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	安全・安心な出産と妊婦の健康の確保を図るとともに、乳幼児の発育・発達・育児の状況把握や疾病の早期発見等により、乳幼児の健康の保持増進が図られます。					
担当部課	こども青少年部こども健康課					

事業名	こんにちは赤ちゃん事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-2-8-03-9-3	地域分権区分						
事業内容	<p>子どもの健やかな成長・発達を促すため、すべての家庭を訪問し、育児に困っている家庭について、継続した支援を行います。また、地域の多様な人材の活用を図るなど、支援体制を充実します。</p> <p>訪問終了後のフォロー事業を、保健センター等の公共施設だけでなく、地域の身近な場所で行い、保護者が安心して子育てに取り組めるよう支援します。</p> <p>1 生後4か月までの乳児がいる家庭を対象としたハローベビィ訪問員等による保健指導と育児情報の提供</p>						
	活動指標	こんにちは赤ちゃん事業の訪問率(年間)					
	目標値	現状値	97%	3年後目標値	98%	6年後目標値	99%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市が行う支援や育児情報の提供等について、地域の多様な人材の協力が期待されます。訪問終了後のフォロー事業の実施場所として、民間施設等の協力が期待されます。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	訪問事業及びフォロー事業としての各種相談・教室を行うことにより、母子の健康の確保、育児不安の軽減、育児の孤立化等の防止が図られます。						
担当部課	こども青少年部こども健康課						

事業名	特定不妊治療費助成事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-2-8-03-9-4	地域分権区分						
事業内容	<p>少子化が進む中で、子どもを持ちたいと願い、特定不妊治療(体外受精・顕微授精)を受けた夫婦に対し、その治療に要した費用を、通算5年間助成します。</p> <p>1 1回の治療につき10万円まで、1年度当たり2回を限度に助成(所得制限付)</p> <p>2 所得制限を超えた夫婦についても、1年度当たり1回、10万円を限度に助成</p>						
	活動指標	特定不妊治療費助成を受けた者の妊娠率(年間)					
	目標値	現状値	—	3年後目標値	10%	6年後目標値	20%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	専門医療機関で特定不妊治療を実施し、市は、その費用の一部を助成します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	子どもを持ちたいと願う夫婦の精神的・経済的な負担の軽減が図られ、少子化対策の一助としての効果が期待されます。						
担当部課	こども青少年部こども健康課						

事業名	ひとり親家庭等支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-8-03-10-1	地域分権区分					
事業内容	<p>母子家庭の経済的自立を促進するため、就職に有利となる資格取得に必要な支援を行います。また、日常生活に支障が出ているひとり親家庭等に支援員を派遣するなどの家事・育児支援を充実させます。</p> <p>1 自立支援教育訓練給付金の支給(教育訓練講座受講料の支援)  2 高等技能訓練促進給付金の支給(訓練期間中の生活費の支援)  3 ひとり親家庭等の日常生活支援の拡充</p>					
活動指標	受講後の就労率(年間)					
目標値	現状値	64%	3年後目標値	67%	6年後目標値	70%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、給付金の支給等により、母子家庭の自立を側面から支援します。また、NPO法人等との協働・連携により、ひとり親家庭等への多様な支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	母子家庭の自立促進とひとり親家庭等の生活や精神面の安定が図られます。					
担当部課	こども青少年部子育て支援課・こども青少年相談課					

事業名	児童虐待防止対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-8-03-10-2	地域分権区分					
事業内容	<p>児童虐待の予防を図るとともに、啓発活動や虐待の早期発見と適切な支援を行うことにより、虐待の悪化・再発の防止をめざします。</p> <p>1 児童虐待に関する相談への迅速な対応  2 子どもを守る地域ネットワークを構成する様々な機関による児童虐待への連携した対応  3 虐待の発生につながる可能性のある要因を抱えた家庭に対する訪問支援の充実  4 不適切な養育環境にある子どもに安心して過ごせる場を提供する事業の検討・実施</p>					
活動指標	援助活動チームによる支援内容検討会議の実施回数(年間)					
目標値	現状値	110回	3年後目標値	120回	6年後目標値	130回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、子どもを守る地域ネットワークとして設置した「藤沢市要保護児童対策地域協議会」において調整を行います。また、協議会を構成する他の機関と連携し、児童虐待防止に向けた取り組みを行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	子どもが家庭において安心して生活できるとともに、適切な養育環境の確保が図られます。					
担当部課	こども青少年部こども青少年相談課					


事業名	こども発達支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-8-03-10-3	地域分権区分					
事業内容	<p>障がい児や発達障がい児等がライフステージに応じた適切な支援が受けられるよう、保護者と関係機関とで情報を共有するファイルを配布し、活用を進めます。また、障がいの早期発見や早期支援を行うための事業を拡充します。</p> <p>1 「こども成長記録ノート」と「こどもサポートファイル」の普及・活用の推進  2 巡回相談事業及び小集団療育事業の実施  3 保護者及び支援者向け研修講座の開催  4 法改正及び新法制定にあわせた事業の検討</p>					
活動指標	子どもの発達についての相談が支援につながった割合(年間)					
目標値	現状値	90%	3年後目標値	95%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、情報共有ファイルの配付や支援事業を行い、保護者や教育・福祉等の関係機関との連携の中で、子どもの発達に応じた支援の充実を図る役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施・検討	→	→	実施	→	→
期待される事業の成果	巡回相談により保護者が子どもの障がいに気づき、発達の記録や情報を支援機関と共有することで、教育・福祉・保健等の連携した適切な支援が図られます。					
担当部課	こども青少年部こども青少年相談課					

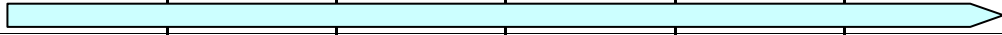
事業名	地域子育て支援拠点事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-8-03-11-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域の中で安心して子育てができるように、子育てアドバイザーを配置し、子育てひろばの開設や子育て支援講座など、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として、子育て支援センターとつどいの広場の整備・運営を行います。</p> <p>1 子育て支援センターを湘南C-X内に開設  2 つどいの広場を中里子供の家内に開設  3 中部方面に暫定的な4か所目の子育て支援センターの整備  4 善行地区まちづくり実施計画とあわせ、4か所目の子育て支援センターの再整備  5 基幹保育所の改築にあわせ、狭あいな藤沢・湘南台子育て支援センターの再整備</p>					
活動指標	子育て支援センターの施設数(累計)					
目標値	現状値	2か所	3年後目標値	4か所	6年後目標値	4か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、社会福祉法人やNPO法人、市民団体等と連携して、拠点施設における子育て支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	提案				実施
期待される事業の成果	地域における子育て支援事業に関する情報の提供・子育て相談・交流など、子育て家庭への支援の充実が図られます。					
担当部課	こども青少年部子育て支援課					

事業名	市民との協働による子育て支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-2-8-03-11-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域の中で安心して子育てができるよう、市民との協働・連携により、親子の交流促進や育児相談などの子育て支援事業を充実していきます。</p> <p>1 子育てサポータークラブ事業の拡充  2 藤沢版つどいの広場事業の拡充  3 子育てふれあいコーナー あいあい事業の実施  4 子育て応援メッセinふじさわ・地域版子育て応援メッセの拡充  5 地域まちづくり実施計画の子育て支援事業への支援</p>					
活動指標	活動場所数(累計)					
目標値	現状値	32か所	3年後目標値	43か所	6年後目標値	47か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民団体や市民ボランティアと協働・連携し、地域における子育て支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	検討・実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	地域の人たちとのふれあいの中で、子育てに関する不安の軽減と地域での子育て支援の強化が図られます。					
担当部課	こども青少年部子育て支援課					

事業名	庁内託児所設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-8-03-12-1	地域分権区分					
事業内容	<p>2005年(平成17年)に策定された「すこやか子育て支援プラン(事業主行動計画)」では、職員の執務環境の整備のため、庁内託児所の設置が検討項目として位置づけられています。</p> <p>庁内託児所は、安心して子育てができ、働きやすい職場環境の整備につながり、円滑な業務執行や優秀な人材の確保が図られるとともに、待機児童解消の一助になります。来庁者向けの一時預かり施設としての期待もできることから、庁内託児所を設置します。</p> <p>1 新庁舎整備計画にあわせた庁内託児所設置の検討  2 新庁舎完成までの間の仮設託児所の設置</p>					
活動指標	育児休業復職期間の短縮					
目標値	現状値	511日	3年後目標値	450日	6年後目標値	400日
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民病院の院内託児所と同様に、運営主体は民間事業者による実施を予定しています。市は、開設までは利用時間等の細部の仕様作成を行い、開設後は希望者の将来見込みや単年度の委託契約事務等を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	計画	実施	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	子どもを安心して育てる環境が充実することで、育児休業期間の短縮や優秀な人材の確保が期待され、円滑な業務執行による市民サービスの向上が図られるとともに、待機児童解消の一助となります。					
	また、来庁者向け一時預かりの実施により来庁者の利便性が向上します。					
担当部課	総務部職員課					

事業名 <b>幼児二人同乗用自転車購入助成事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-2-8-03-12-2	地域分権区分						
事業内容	子育てに自転車を利用している親子の交通安全の確保及び子育て中の家庭の経済的負担の軽減をするために、幼児二人同乗用自転車を購入する市民に対して協力販売店と連携して助成します。 1 未就学児までの幼児を2人以上養育している世帯に対して、店頭販売価格の1/2の額で最大40,000円を助成(販売時の割引分を市が販売店に補助) 2 幼児二人同乗用自転車を安全に利用するための講習会を実施						
	活動指標	幼児二人同乗用自転車補助台数(累計)					
	目標値	現状値	0台	3年後目標値	300台	6年後目標値	600台
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、市内自転車販売店が加盟している団体と連携して、子育て中の家庭への支援を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	子どもが安心して育てられる環境の充実とあわせ、市内自転車販売店の活性化が図られます。						
担当部課	こども青少年部子育て支援課						

事業名 <b>ショートステイ・トワイライトステイ事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-2-8-03-12-3	地域分権区分						
事業内容	子育て中の保護者の病気・出産・出張・残業などの理由により、家庭で子どもの養育が困難になった場合に、実施施設において短期間の子どもの養育・保護を行うことを目的に、早期に1か所目を開設するとともに、需要動向を見極めたうえで2か所目の開設の検討を進めます。 1 ショートステイ事業 宿泊を伴う短期の預かり 2 トワイライトステイ事業 生活指導や夕食の提供を行う夕方から夜間の預かり						
	活動指標	施設数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	1か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、社会福祉法人等と連携して、子育て中の家庭への支援を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
(地域)	検討	実施	→	実施・検討	実施	→	
期待される事業の成果	子どもと保護者の生活の安定と精神的な負担軽減により、子育て支援の充実が図られます。						
担当部課	こども青少年部子育て支援課						

事業名	ファミリー・サポート・センター事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-2-8-03-12-4	地域分権区分					
事業内容	<p>安心して子育てができるよう、育児の援助を受けたい「おねがい会員」と、育児の援助ができる有償ボランティアの「まかせて会員」からなる会員組織の運営を行うファミリー・サポート・センターの事業を充実させます。さらに、子育て支援センターの再整備にあわせ、施設整備について検討します。</p> <p>1 「おねがい会員」を対象とした、「まかせて会員」による幼稚園・保育園等の送迎や預かり等の実施</p>					
活動指標	まかせて会員数(累計)					
目標値	現状値	735人	3年後目標値	860人	6年後目標値	1,020人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、より多くのボランティアの協力を得て、安心して子育てができる環境整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	市民同士の助け合いにより、子育てに関する不安の軽減と地域での子育て支援の強化が図られます。					
担当部課	こども青少年部子育て支援課					

事業名	地域ぐるみ子育て応援団事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-2-8-03-12-5	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の中で安心して子育てができるよう、小学校6年生以下の子どもや妊娠中の方がいる世帯を対象として、協賛店舗による商品割引や優待サービスなど、子育て中の家庭に向けた様々なサービスの提供を促進します。</p> <p>1 利用登録者の拡大 2 協賛店舗登録数とサービスの拡充の促進 3 広域化の検討</p>					
活動指標	利用登録者数(累計)					
目標値	現状値	8,297人	3年後目標値	10,000人	6年後目標値	15,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	企業、店舗等には協賛の拡大とサービスの提供、充実する役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	地域ぐるみで子育て中の家庭を応援する社会的気運の醸成が期待されます。					
担当部課	こども青少年部子育て支援課					

事業名	特別保育推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-2-8-03-12-6	地域分権区分					
事業内容	<p>多様な保育ニーズに対応するために、法人立保育所を中心とした特別保育(夜間保育・休日保育・病後児保育・一時預かり)の拡充を図ります。</p> <p>1 夜間保育 保護者の就労時間の長時間化などへの対応  2 休日保育 日曜・祝日の保護者の勤務などへの対応  3 病後児保育 病気回復期にあり集団保育が困難な児童への対応  4 一時預かり(一時保育) 一時的に家庭での保育が困難な児童への対応</p>					
活動指標	特別保育事業助成件数(年間)					
目標値	現状値	15件	3年後目標値	21件	6年後目標値	22件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	法人立保育所は、特別保育(夜間保育・休日保育・病後児保育・一時預かり)の実施など、今後も保育行政の重要な要素を担うことが期待されます。市は法人に対して特別保育運営費用を助成するとともに、公立保育所における一時預かり事業を実施する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	多様な保育ニーズに対応することにより、保護者の就労支援及び子育て支援の充実が図られます。					
担当部課	こども青少年部保育課					

事業名	待機児童解消対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-2-8-03-12-7	地域分権区分					
事業内容	<p>待機児童の解消及び安全で良好な保育環境を確保するために、法人立保育所における既存施設の増改築や新規施設の整備を進め、保育所の定員拡大を図ります。</p> <p>また、運営費・賃借料の助成を行うことにより、良好な保育環境の確保と施設運営の安定化を図ります。</p> <p>1 保育所の新設による定員拡大  2 既存保育所の改修による定員拡大  3 分園の新設による定員拡大</p>					
活動指標	法人立保育所定員数					
目標値	現状値	2,305名	3年後目標値	2,872名	6年後目標値	3,232名
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、社会福祉法人等に対して国・県の補助制度を活用しながら整備費用を助成します。社会福祉法人等には、行政と連携しながら施設整備を進める役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	法人立保育所の施設整備を支援することにより、保育所の定員数を拡大して待機児童の解消を図るとともに、既存施設の老朽化にも対応でき、子育て環境の整備が図られます。					
担当部課	こども青少年部保育課					



事業名	認可外保育施設利用者支援事業						
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-2-8-03-12-8	地域分権区分						
事業内容	認可保育所に入園できない待機児童が急増する中で、認可外保育施設を利用する児童及び保護者の支援を行うために、市独自の助成制度を検討し、認可外保育施設の充実を図ります。 1 認可外保育施設利用者の保育料の一部助成 2 市独自の基準による(仮称)藤沢市認定保育施設の設置・運営に関する助成制度の新設 3 事業所内保育施設の設置・運営に関する助成制度の新設						
	活動指標	認可外保育施設利用児童数(年間)					
	目標値	現状値	585人	3年後目標値	665人	6年後目標値	750人
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、保育料や施設運営費の助成を行います。施設の設置者には、保育環境を充実する役割が期待されます。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	▶						
	実施・検討	→	実施	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	保育料の一部助成により、保護者の経済的負担の軽減が図られます。助成制度の新設により認可外保育施設を充実させることで、入所児童の増加が見込まれ、待機児童の解消につながります。						
担当部課	こども青少年部保育課						

事業名	幼稚園等就園奨励費補助事業						
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-2-8-03-12-9	地域分権区分						
事業内容	地域における子育ての支援及び保護者の経済的負担の軽減を図るために、私立幼稚園等の設置者が、園児の保育料を保護者の所得状況に応じて減免を図るよう、他の子育て支援策との整合性を図りながら、当該設置者に対して補助を行います。 1 国の基準額に市費を上乗せして助成						
	活動指標	4・5歳児の幼稚園等就園率					
	目標値	現状値	74%	3年後目標値	74%	6年後目標値	74%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	私立幼稚園等の設置者は、保育料を軽減し、市はその費用を助成を行います。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	▶						
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	保護者の経済的負担を軽減することで幼稚園等の就園を奨励し、幼児教育の推進が図られます。						
担当部課	こども青少年部保育課						

事業名	幼稚園等預かり保育推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-2-8-03-12-10	地域分権区分					
事業内容	<p>地域における子育ての支援及び保育サービスの充実を図るため、専任職員を置いて在園児の預かり保育(延長保育)を実施する私立幼稚園に対して助成し、実施園の拡大を図ります。</p> <p>1 開園日の預かり保育 2 休園日(土日祝日)の預かり保育 3 長期休園日(夏休み等)の預かり保育</p>					
活動指標	補助対象実施園(年間)					
目標値	現状値	19園	3年後目標値	30園	6年後目標値	35園
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、保育サービスの向上を図るため、私立幼稚園の協力を得て、預かり保育を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	助成を行うことにより、保育料の軽減と短時間就労をする保護者への支援の充実が図られます。					
担当部課	こども青少年部保育課					

事業名	市立保育所整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-2-8-03-12-11	地域分権区分					
事業内容	<p>将来を担う子どもたちに安全で良好な保育環境を提供するため、老朽化した市立保育所の建て替え等を、他の公共施設整備計画とあわせて検討し実施していきます。</p> <p>1 保育所整備計画に基づく基幹保育所の整備 2 公民連携による整備・運営の検討・実施 3 園庭の芝生化</p>					
活動指標	建て替え整備実施施設数(累計)					
目標値	現状値	0園	3年後目標値	1園	6年後目標値	2園
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、民間による資金やノウハウを活用して、市立保育所の建て替えを実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	基幹保育所としての市立保育所を整備することにより、地域における子育て支援の充実が図られます。					
担当部課	こども青少年部保育課					

事業名	家庭的保育等推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-2-8-03-12-12	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域における子育ての支援を図るとともに、市民や地域、事業者の活力により多様な保育形態の導入を図ります。</p> <p>1 市が認定した家庭的保育者が自宅等で行う家庭的保育事業の実施  2 空き店舗等地域の資源を有効利用した保育事業の導入  3 地域が人材・資源を活かして児童を預かる事業に対する支援</p>					
活動指標	保育・預かり児童数(年間)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	30人	6年後目標値	45人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	潜在化している保育士や地域の人材が、地域における保育・預かりを担っていくことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	検討	→	検討・実施	→	→	→
期待される事業の成果	地域の人材を活かし、待機児童の解消に寄与することが期待されます。					
担当部課	こども青少年部保育課					

事業名	「子ども・子育て新システム」対応準備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-8-03-12-13	地域分権区分					
事業内容	<p>国が次世代育成のための包括・一元的な新たな基本制度として、2013年度(平成25年度)施行に向けて検討を進めている「子ども・子育て新システム」への対応準備を進めます。</p> <p>1 子ども・子育ての新たな「システム」(制度、財政、体制、事業のあり方など)の検討・構築  2 「藤沢市次世代育成支援行動計画」をはじめとする関係計画等の見直し、改定</p>					
活動指標	制度・計画・サービスの再構築進捗率(累計)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、新たな「システム」の構築のため、地域団体、社会福祉法人、学校法人、NPO法人等との情報交換や連携を図りながら検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→				
(地域)						
期待される事業の成果	新たな「システム」を構築することにより、子ども・子育てを社会全体で支援する、藤沢らしい施策展開が図られます。					
担当部課	こども青少年部子育て支援課					

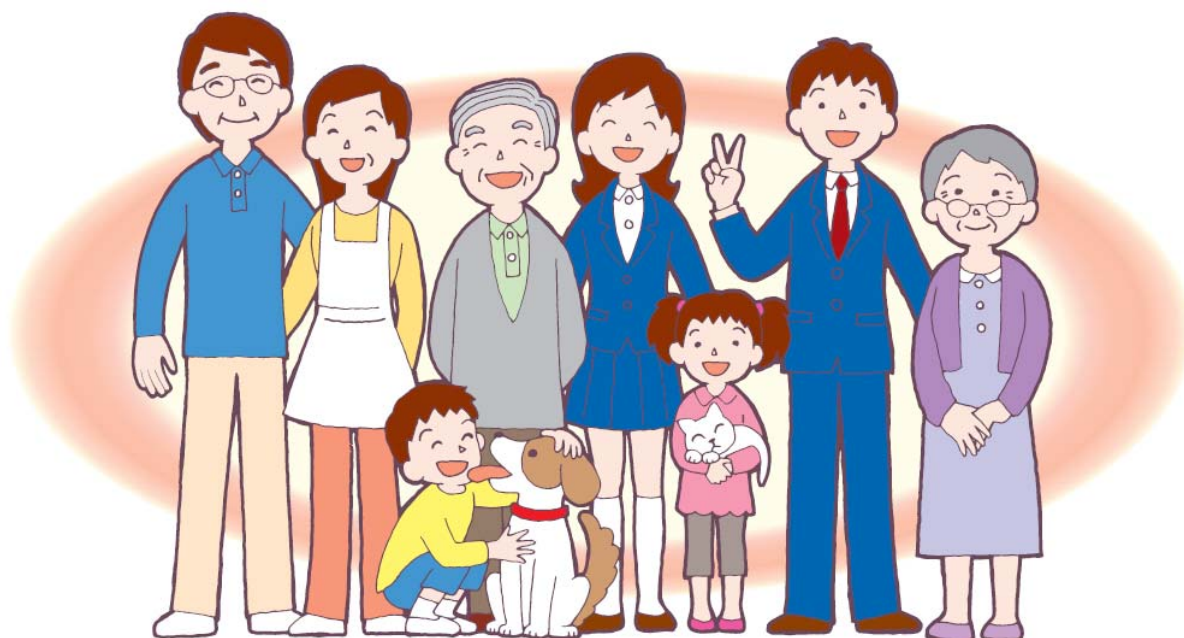


## ふじさわ未来課題

### 14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

～まちづくり情報～

- ① 市内 13 地区には、14 の青少年育成協力会があり、青少年の健全育成を目的とした様々な活動を実施しています。
- ② 藤沢市では、地域や財団法人藤沢市みらい創造財団などと連携し、様々な青少年事業を展開しています
- ③ 市内 13 地区では、児童・生徒の「すこやかな成長」のために、市内全域に中学校区を基本とした 15 の地域協力者会議を開催しています。
- ④ 市内にある慶應義塾大学、日本大学、湘南工科大学、多摩大学と藤沢市は、2009 年（平成 21 年）に包括的な連携に関する協定を締結し、その中で、人材育成や地域振興において連携していくことを相互に確認しています。



## 【戦略目標】

### 04 生きる力を育む学校教育と未来を担う青少年を育成するまち

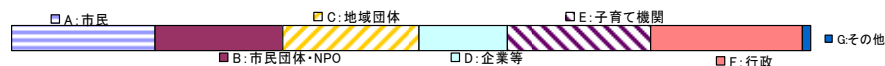
#### 【成果指標】

- ① 地域の団体が子育てに関わっていると感ずる割合
- ② 個性豊かな児童生徒の育成や開かれた学校づくりへの満足度

【現状値】 ①28% ②13%

【めざそう値】 3年後：①35% ②20% 6年後：①40% ②30%

【役割の担い手】 ①A:18% B:16% C:17% D:11% E:18% F:19% G:1%



②A:18% B:14% C:16% D:10% E:21% F:20% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－13》 青少年の豊かな心を育む環境の整備

＜成果の視点＞ 青少年の健全な育成を支援する環境があること

〔主要な指標〕 青少年会館の利用者数

《政策－14》 児童生徒の健やかな成長を地域で支援する活動の推進

＜成果の視点＞ 地域ぐるみで児童生徒の成長が支援されていること

〔主要な指標〕 児童クラブ入所申込み児童の入所率

《政策－15》 生きる力を育む学校教育の推進

＜成果の視点＞ 小・中・特別支援学校に在籍する児童生徒に対し、生きる力を育む学校教育が進められていること

〔主要な指標〕 学校評価で保護者等の関係者が学校の重点目標に対して充実した取り組みができているとA評価をした人の割合

《政策－16》 誰でも楽しく学べる学校教育環境の充実

＜成果の視点＞ 安全で楽しい学校教育環境が充実していること

〔主要な指標〕 個性豊かな児童生徒の育成や開かれた学校づくりについて満足している人の割合（30歳～40歳代）


事業名	こども知・遊・育プラザ事業						
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-2-14-04-13-1	地域分権区分						
事業内容	<p>「こども知・遊・育プラザ」を湘南C-X内(仮称)アーバンライフサポートプラザの3つのコア機能の1つとして設置します。</p> <p>本プラザは、子どもの職業・社会体験をテーマに、子どもたちの創造あふれる活動を支援する教育と遊びを合わせた“知・遊・育”の体験学習拠点として、将来の藤沢を担う子どもたちに、生きる目標や働く喜び、地域コミュニティの大切さを見つけ出し、「社会で主体的に生きていく力」を身につける施設として、民間の力と知恵と資金を導入しながら施策を実施します。</p> <p>1 こども知・遊・育プラザの構成イメージの検討 2 こども知・遊・育プラザの活性化支援</p>						
	活動指標	こども知・遊・育プラザの整備率					
	目標値	現状値	10%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	こども知・遊・育プラザのテナントとして民間事業者、NPO等の参画を進めることにより、民間活力の導入や行政経費の効率化が期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→			→			
	検討・計画	→	実施	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	公民連携の先導的藤沢モデルとして、青少年の豊かな心を育む環境の整備を図ることにより、将来の藤沢を担う子どもたちが、生きる目標や働く喜び、地域コミュニティの大切さを見つけ出し、社会で主体的に生きていく力が身につきます。						
担当部課	経営企画部経営企画課						

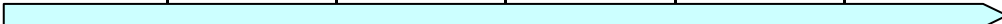
事業名	子ども・若者育成支援推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-2-14-04-13-2	地域分権区分						
事業内容	<p>児童虐待、いじめ、有害情報の氾濫など子ども・若者をめぐる環境が悪化するとともに、ニート、ひきこもり、発達障がい等の子ども・若者の抱える問題が深刻化している状況を受け、2010年(平成22年)4月に施行された「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、藤沢市におけるすべての子ども・若者の育成支援施策を総合的に推進するため、支援の枠組みづくりを進めます。</p> <p>1 子ども・若者計画の策定(関係する計画の見直しと改定) 2 子ども・若者育成支援地域協議会の設置と関係機関等とのネットワークの整備</p>						
	活動指標	支援の枠組みづくり進捗率(累計)					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、家庭、地域、関係団体、学校、企業、関係行政機関と連携・協力し、子ども・若者の育成を支援する施策を推進します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→			→			
	検討	→	計画	実施	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	すべての子ども・若者育成支援に関する教育、福祉、雇用等関連分野の施策を総合的に推進することで、社会生活を円滑に営むことが難しい子ども・若者に対しても支援が図られます。						
担当部課	こども青少年部子育て支援課・青少年課・こども青少年相談課						

事業名		青少年会館整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-2-14-04-13-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>青少年の居場所・活動拠点・情報発信地となる青少年会館(藤沢・辻堂)の整備については、他の公共施設の整備計画にあわせ、既存施設の有効活用や施設の複合化など様々な手法を検討し、進めます。</p> <p>1 藤沢青少年会館 市庁舎・市民会館などの公共施設の再整備にあわせた検討・実施 2 辻堂青少年会館 まちづくり地域事業の計画にあわせた地域との協議・検討</p>						
活動指標	青少年会館の整備計画数(累計)						
目標値	現状値	0件	3年後目標値	0件	6年後目標値	1件	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、青少年の声を十分に反映させるとともに、建設検討委員会や運営委員会などにおいて、市民や関係団体の参画を得て検討し、青少年会館の再整備を進めます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	----->			----->			
	検討	→	→	計画	実施	検討	
(地域)	検討	→	→	→	→	提案	
期待される事業の成果	青少年のニーズに対応できる施設を整備することにより、スポーツ・レクリエーション活動、文化活動、ボランティア活動などに参加する機会が増え、様々な人との交流、活動体験などを通じ、心豊かな青少年の育成が図られます。						
担当部課	こども青少年部青少年課						

事業名		放課後子どもプラン推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-2-14-04-14-1	地域分権区分						
事業内容	<p>放課後に子どもたちが安心して活動できる遊び場・生活の場を確保し、児童の健全育成を図るため、保護者が就労等の理由により放課後不在となる児童を対象とした放課後児童健全育成事業(児童クラブ)、及び小学校の余裕教室等を活用し、小学校区的全児童を対象とした放課後子ども教室推進事業を実施します。</p> <p>1 児童クラブ入所基準による障がい児等の受け入れや待機児童を出さないための取り組み 2 児童クラブの入所料について、兄弟姉妹で入所している場合の減額の検討 3 放課後子ども教室推進事業について、地域や学校との連携協力により実施を拡大</p>						
活動指標	児童クラブ入所児童数						
目標値	現状値	2,318人	3年後目標値	2,632人	6年後目標値	2,883人	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、財団法人や市民団体等と連携し、国の放課後子どもプランに基づき、放課後児童の安全・安心な居場所づくりを進めます。今後はNPOとの連携が期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	----->						
	実施・検討	→	→	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	放課後児童に安全・安心な居場所が提供でき、異年齢交流などを通じて社会性、自主性、創造性が育まれます。また、保護者の就労支援、子育て支援に寄与します。						
担当部課	こども青少年部青少年課						



事業名	思春期青少年の居場所づくり事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-2-14-04-14-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域における人間関係の希薄化やコミュニティ意識の低下などの状況を踏まえ、人との関わりが少ない青少年に地域の多様な人と交流する機会を提供するため、市民ボランティアの参画により、公民館・児童館・学校などの既存施設の活用を検討し、将来コミュニティを担う思春期青少年のための居場所づくりを各地区で進めていきます。</p> <p>1 青少年サポーター養成講座の実施 2 地域と連携した居場所の開設</p>					
活動指標	居場所の開設(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	3か所	6年後目標値	6か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、青少年サポーターを養成するとともに、各地区の青少年育成団体や市民ボランティアと協働し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	青少年同士及び地域の大人との関わりによって、青少年の社会性、協調性、自主性などが育まれます。また、地域住民によるボランティアや様々な地域団体に関わることにより、青少年が地域社会の中で健全に育成される環境づくりが図られます。					
担当部課	こども青少年部青少年課					

事業名	学校支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-14-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>児童生徒及び教職員を取り巻く教育環境の向上を図るため学校支援事業を実施します。</p> <p>1 地域のボランティア力をより活かすため、学校と地域を結ぶ役割を果たす学校支援コーディネーター事業の推進 2 いじめ・暴力の防止や自尊感情を持って生きることの大切さを学ぶ「いじめ防止プログラム」の推進 3 基礎的・基本的な学力の定着を図るため、「地域力」「市民力」を活用した「学習指導員」による中学校学習支援事業の推進</p>					
活動指標	学校支援コーディネーターの配置校(累計)					
目標値	現状値	4校	3年後目標値	18校	6年後目標値	33校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、学校支援コーディネーター配置についての役割を担います。また、地域の市民力、教育力との協働により、事業が推進されることが期待できます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
	実施	→	→	→	→	→
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	学校ボランティア活動が活発になり、より開かれた学校づくりと信頼される学校運営が推進されます。また、いじめをなくそうとする環境づくりが進み、豊かな心を育む教育が推進されます。そして、基礎学力の習得、学習意欲の向上につながり、確かな学力の育成が図られます。					
担当部課	教育総務部教育政策推進課					

事業名	特別支援教育整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-1	地域分権区分					
事業内容	<p>特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行います。</p> <p>1 医療的ケアを必要とする児童生徒に対する看護介助員制度の実施  2 特別支援学級設置計画に基づき、特別支援学級の未設置校における開設  3 支援を必要とする通常級在籍児童に対する通級指導教室の新設</p>					
活動指標	特別支援学級設置校					
目標値	現状値	小15校・中10校	3年後目標値	小18校・中11校	6年後目標値	小19校・中12校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する環境整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	各小中学校における特別支援教育がより充実するとともに、特別支援学級、通級指導教室を計画的に整備することにより、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、教育的ニーズに応じた指導や支援を受けることができます。また、医療的ケアを必要とする児童生徒が、安全で安心な学校生活を送ることができ、保護者の負担も軽減されます。					
担当部課	教育総務部教育指導課					

事業名	学校給食を通しての食育推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-2	地域分権区分					
事業内容	<p>学校給食や授業等を通じた食育により、児童に正しい食習慣を身に付けさせるとともに、地元の生産者との交流により、食生活が多くの人々に支えられていることを学び、食に対する感謝の気持ちを育てます。</p> <p>1 「湘南ふじさわ産」の利用量・利用品目の拡大  2 生産者との交流を通じた、「食」と「農・漁」への理解の深化  3 「藤沢市学校給食における食物アレルギーの対応について」に基づいた市内全小学校での統一的な対応の実施</p>					
活動指標	学校給食における「湘南ふじさわ産」の使用品目の拡大					
目標値	現状値	27品目	3年後目標値	30品目	6年後目標値	33品目
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、学校給食における食育推進に対する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	地元産農水産物を利用した学校給食は児童にとって「見える教材」であり、食育に資することができます。また、生産者の顔が見える食材を利用した給食を食べながら、その食材の説明を聴いたり、生産者の苦労などを知ることにより、食料の生産に関わる人々への感謝の心が育まれます。					
担当部課	教育総務部教育総務課					


事業名	学校給食食器改善事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-3	地域分権区分					
事業内容	<p>現在、学校施設の状況から磁器食器化できずアルマイト食器を利用している小学校が8校あります。アルマイト食器は熱伝導の関係から、献立によっては食事のマナーに沿った食べ方ができず、正しい食習慣を身に付けさせることが困難になることから、8校についてアルマイト食器から樹脂食器への改善を実施します。</p> <p>1 アルマイト食器から樹脂食器への改善 2 樹脂食器化に伴う給食設備の更新</p>					
活動指標	食器改善実施校(累計)					
目標値	現状値	28校	3年後目標値	36校	6年後目標値	36校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、学校給食における設備の整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→			
(地域)						
期待される事業の成果	成長期にある児童の心身の健全な発達のため、栄養バランスがとれた学校給食を提供することにより、健康の保持増進、体位の向上が図られるとともに、学校における食育を推進するための効果的な教材である「給食」を通して、正しい食習慣を身に付けることができますようになります。					
担当部課	教育総務部教育総務課					

事業名	中学校給食実施研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-4	地域分権区分					
事業内容	<p>身体の成長の著しい中学生期に、栄養バランスの良い食事を摂ることは重要ですが、就業形態や家庭環境の多様化などにより、弁当を持参させることについての状況の変化がみられるため、中学校給食の実施についての長所・短所や費用対効果の研究を進めるなど、中学校給食のあり方について検討を進めます。</p> <p>1 中学校給食先進市における実施方法のメリット・デメリットの検証 2 費用対効果などの研究</p>					
活動指標	中学校給食実施検討会議の開催回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、中学校給食における課題検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→		
(地域)						
期待される事業の成果	中学校給食のあり方についての検討を行うことにより、中学校における給食実施の諸課題の確認、及びその解決に向けた取り組みの推進が図られます。					
担当部課	教育総務部教育総務課					

事業名	就学援助拡充事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-5	地域分権区分					
事業内容	<p>経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、保護者の経済的負担の軽減、義務教育の円滑な推進を図るため、就学援助の拡充について検討を進めます。</p> <p>1 現行制度の検証 2 就学援助拡充についての検討実施</p>					
活動指標	拡充された援助の項目					
目標値	現状値	0項目	3年後目標値	1項目	6年後目標値	2項目
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、支援を必要とする児童生徒に対し、教育の機会均等を確保する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	就学援助を拡充することにより、保護者の経済的負担の軽減、経済的な理由による未就学の解消が図られ、義務教育の円滑な推進が図られます。					
担当部課	教育総務部学務保健課					

事業名	教育情報機器整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-6	地域分権区分					
事業内容	<p>学校における情報モラル教育やパソコン技能の習得が求められることに伴い、教育情報環境及び機器の整備を図るとともに、児童の学習の多くの場面において、教育情報機器を活用した学習の充実を図ります。</p> <p>1 小学校・特別支援学校校内LAN整備 2 パソコン教室照度改善</p>					
活動指標	①小学校・特別支援学校校内LAN整備校数 ②パソコン教室照度改善校数					
目標値	現状値	①0校②45校	3年後目標値	①24校②55校	6年後目標値	①36校②55校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、教育情報機器整備の一環である、小学校・特別支援学校校内LAN整備とパソコン教室照度改善による環境整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	教育情報機器の活用により、児童の学習に対する意欲を向上させ、教科に対する理解を深めることができます。					
担当部課	教育総務部教育指導課					

事業名	学校図書館管理運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-7	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市立小・中学校全校の学校図書館に学校図書館専門員を配置し、各小中学校の学校図書館整備と図書館業務の円滑な運営を支援することにより、児童生徒と学校図書館、図書ボランティア、公立図書館をつなぎ、学校図書館の活性化を図り、利用しやすい環境を整えます。</p> <p>1 藤沢市立小・中学校全校への学校図書館専門員配置</p>					
活動指標	学校図書館専門員配置校数					
目標値	現状値	7校	3年後目標値	54校	6年後目標値	54校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、学校図書館専門員の募集・選考・配置及び学校との連絡調整と連絡会等の開催を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	<p>学校図書館に、図書館業務を専門に行う人を配置することにより、図書館と児童生徒をつなぐ役割を果たし、図書館の活性化が図られます。さらに、児童生徒が学校図書館を学びの場として活用するようになり、図書への興味をかきたたせるとともに、考える力と感性を豊かにし、学習意欲の向上が図られます。</p>					
担当部課	教育総務部教育指導課					

事業名	学校教育相談センター事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-8	地域分権区分					
事業内容	<p>各小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒及び担任・保護者に相談支援を行うほか、学校教育相談センターにおいて、電話・来所による教育・就学相談と相談支援教室での不登校児童生徒に対する支援を行います。</p> <p>1 スクールカウンセラーによる全小中学校への派遣相談  2 次年度就学予定児童に対する就学及び就学後の教育的支援に関する相談  3 相談支援教室での不登校児童生徒に対する集団適応指導及び保護者相談  4 スクールソーシャルワーカーによる学校、地域と連携した児童生徒や家庭環境への支援  5 特別支援教育専門カウンセラーによる学校巡回</p>					
活動指標	スクールソーシャルワーカーの活動日数					
目標値	現状値	週1日	3年後目標値	週2.5日	6年後目標値	週3.5日
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、支援を必要とする児童生徒に対し、生きる力を育むための相談支援の役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	<p>スクールカウンセラーによる早期の相談対応により生活改善が図られるとともに、就学前の相談内容を保護者、学校と共有することにより、スムーズな学校生活のスタートが図られます。また、学校復帰や卒業後の自立にむけた支援、学校だけでは解決の難しいケースへのカウンセリングと様々な関係機関との連携により、児童生徒の生きる力が育まれます。</p>					
担当部課	教育総務部教育指導課					

事業名	ふじさわティーチャーズカレッジ「学びあい」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-15-9	地域分権区分					
事業内容	<p>今後の藤沢市の教育を担う人材を育成するため、藤沢市立小・中学校の教師をめざす者に対し、教師としての心構えや教師に必要な知識、技能の習得を図る研修を実施します。</p> <p>1 宿泊研修を含む年間20回程度の基本講座の実施 2 教員採用試験に向けた、論文・面接指導等の特別講座の実施</p>					
活動指標	県教員採用試験合格者累積数					
目標値	現状値	34名	3年後目標値	112名	6年後目標値	190名
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、教育力の向上を図るため、知識、意欲、責任のある人材を育成する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	実践的な知識や技能を習得することにより、教師としての資質と技量を高め、今後の藤沢市の教育を担う人材の育成と確保につながります。また、藤沢の教師をめざしている学生等の意欲、意識の向上につながり、専門家としての責任とプライドをもった教師の育成が図られます。					
担当部課	教育総務部教育政策推進課					

事業名	学校給食単独校化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-16-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「温かく顔が見える給食」により、衛生管理における施設設備の一層の強化と食育を推進し、食物と食事、栄養の大切さを学ぶことを目的として、学校給食調理場の単独校化を推進します。</p> <p>1 滝の沢小学校、駒寄小学校の学校給食単独調理校化</p>					
活動指標	学校給食単独調理校数					
目標値	現状値	34校	3年後目標値	36校	6年後目標値	36校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、学校給食における教育施設整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	単独調理場方式の学校給食が実施されることによって、児童生徒の身近な場所で給食が調理され、温かい給食が提供されることから、食に対する意識や関心を高め、食育の一層の推進が図られます。					
担当部課	教育総務部教育総務課					

事業名	学校防犯事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-16-2	地域分権区分					
事業内容	藤沢市立小・中・特別支援学校児童生徒の登下校時の安全確保及び授業中の学校内の安全確保と防犯を図るため、学校防犯事業を実施します。 1 藤沢市立小・特別支援学校全校に、学校安全協力員の配置を検討 2 地域安全マップづくりの推進 3 藤沢市立小・中・特別支援学校の正門から玄関までの導線表示等の設置					
活動指標	学校安全協力員が配置された小・特別支援学校数					
目標値	現状値	0校	3年後目標値	36校	6年後目標値	36校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、児童生徒の安全確保を図るため、学校安全にかかる整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	児童生徒の安全確保が実施され、安全・安心な環境での学習活動が図られます。					
担当部課	教育総務部教育指導課・学校施設課					

事業名	学校施設環境整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-2-14-04-16-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	省エネルギー化や低炭素化といった時代に対応した学校施設をめざし、2010年度(平成22年度)に全校に太陽光発電施設を設置しました。さらに環境に配慮した学校施設をめざして、老朽化した施設の改修工事を計画的に進めるとともに、各種環境整備の充実を図ります。					
活動指標	空調設備を保有する学校数					
目標値	現状値	11校	3年後目標値	41校	6年後目標値	55校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、児童生徒の学習環境の改善を図るため、学校施設の環境整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	トイレ改修整備については、和便器の一部を節水型の洋便器へ交換、壁・天井の塗装、照明の増設などを低コストで多くの学校を改修することにより、臭い、明るさ、汚れの問題や家庭トイレとの環境格差の解消が期待できます。空調設備整備については、短期的・集中的に設置することにより、児童生徒に快適な教育環境の提供が図られます。					
担当部課	教育総務部学校施設課					





都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康等の生活環境と、犯罪や災害への不安解消等による、安全で安心できる地域社会を創り上げることがめざします。また、病気の予防やスポーツ等を通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市の65歳以上の高齢者の比率は、19.85%（2010年（平成22年）4月1日現在）、人口に占める障がい者の割合は、3.36%です。（2010年（平成22年）4月1日現在）
- ② 高齢化が進む中で、市内には、特別養護老人ホームが10施設、介護老人保健施設が5施設あります。（2010年（平成22年）4月1日現在）
- ③ 藤沢市では、障がいのある人への支援の充実を図るため、居宅や施設において、様々な福祉サービスを実施し、障がいのある人の自立と社会参加を推進します。
- ④ 藤沢市では、2010年（平成22年）に、市制施行70周年を記念して「私たちの藤沢 健康都市宣言」を施行しました。



## 【戦略目標】

### 05 保健, 医療, 福祉, 健康などの生活環境が整ったまち

#### 【成果指標】

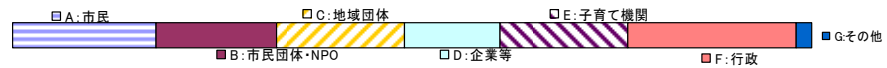
- ① 健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合
- ② 健康診査・検診の受診者数
- ③ いつでも安心して受けられる医療の充実への満足度
- ④ 在宅サービスの満足度
- ⑤ 介護保険施設サービスの満足度

【現状値】 ①26% ②48千人 ③26% ④79% ⑤86%

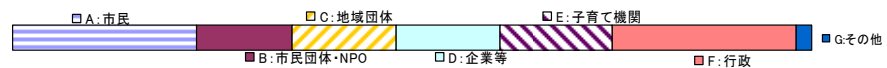
【めざそう値】 3年後: ①35% ②69千人 ③35% ④83% ⑤90%

6年後: ①46% ②75千人 ③45% ④85% ⑤92%

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:16% D:12% E:16% F:21% G:2%



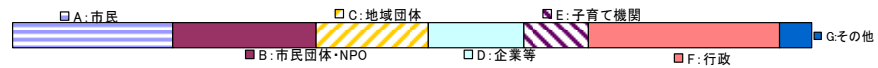
②A:23% B:12% C:13% D:13% E:14% F:23% G:2%



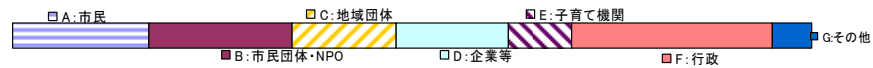
③A:16% B:13% C:13% D:13% E:14% F:25% G:6%



④A:20% B:18% C:14% D:12% E:8% F:24% G:4%



⑤A:17% B:18% C:13% D:14% E:8% F:25% G:5%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-17》 障がいのある人への支援の充実

＜成果の視点＞ 障がいのある人が安心して生活できる支援が整っていること

〔主要な指標〕 市内のグループホーム入居者数

《政策-18》 ゆとりある高齢期を平穏に暮らせるまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 高齢者が平穏な暮らしを実感できるまちであること

〔主要な指標〕 在宅サービスの満足度（60歳代～）

《政策-19》 生涯にわたる健康づくりの推進

＜成果の視点＞ 生涯を通じた様々な活動がなされ、心も身体も健康を実感できるまちであること

- [主要な指標] 特定健康診査及び後期高齢者等健康診査の受診率
- 《政策-20》 健康危機管理体制の充実
- <成果の視点> 感染症等健康を脅かす事態に対し不安のないまちであること
- [主要な指標] ノロウイルス等感染症研修会受講者累積人数
- 《政策-21》 医療体制の充実, 整備の推進
- <成果の視点> 病気や怪我のときにも不安なく医療を受診できること
- [主要な指標] 市内の医療施設数
- 《政策-22》 安全・安心な住宅セーフティネットの充実
- <成果の視点> 生活を営むための安心な基盤があること
- [主要な指標] 市営住宅応募倍率
- 《政策-23》 湘南藤沢の地域特性を活かした生涯スポーツ活動の推進
- <成果の視点> 自然や教育環境等を活かした生涯にわたるスポーツ活動がなされること
- [主要な指標] 財団法人藤沢市みらい創造財団でのイベント参加者総数

事業名	障がい者等医療費助成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-17-1	地域分権区分					
事業内容	障がいのある人や65歳以上のねたきりの人に対し、医療に係る経済的な負担を軽減し、保健の向上を図るため、所得制限なしで医療費の助成を行います。 1 入院・通院の医療費の自己負担分(入院時の標準負担額を除く)の助成					
活動指標	障がい者等医療受給者数					
目標値	現状値	9,544人	3年後目標値	11,000人	6年後目標値	12,500人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、障がいのある人等へ医療費を助成し、安心して生活することができる環境づくりを推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	対象となる障がいのある人等が医療費の心配をすることなく、安心して生活することができますようになります。					
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課					

事業名	障がい者福祉手当支給事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-17-2	地域分権区分					
事業内容	障がいのある人の地域生活の充実を図るため、重度な障がいのある人に福祉手当を支給し、経済的な負担の軽減を図り、地域で自立した生活を営むことができるよう支援を進めます。 1 国制度による障がい児者への福祉手当の支給 2 市制度による障がい児者への福祉手当の支給					
活動指標	国制度による障がい者への福祉手当支給延べ人数(年間)					
目標値	現状値	1,994人	3年後目標値	2,500人	6年後目標値	3,100人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、障がいのある人の地域生活の充実を図るため、福祉手当を支給し、生活を支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	重度な障がいのある人に福祉手当を支給することにより経済的な負担軽減が図られ、重度な障がいのある人が、地域で自立した生活を営むことができるようになります。					
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)					

事業名	心身障がい者介護手当支給事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-17-3	地域分権区分					
事業内容	障がいのある人の地域生活の充実を図るため、重度な障がいのある人を介護している家族等に対して介護手当を支給し、介護者の精神的・経済的な負担の軽減を図り、障がいのある人の地域生活の充実を推進します。 1 心身障がい者介護手当の支給					
活動指標	重度心身障がい者介護手当支給延べ人数(年間)					
目標値	現状値	2,755人	3年後目標値	2,800人	6年後目標値	2,800人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、障がいのある人の地域生活の充実を図るため、家族等に介護手当を支給し、生活を支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	検討・実施	→
期待される事業の成果	重度な障がいのある人を介護する家族等に介護手当を支給することにより、介護者の精神的・経済的な負担軽減が図られ、障がいのある人の地域生活の充実が図られます。					
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)					

事業名	地域作業指導等助成事業(地域活動支援センター助成事業)					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-3-23-05-17-4	地域分権区分					
事業内容	障がいのある人の地域生活の充実を図るため、地域作業所(地域活動支援センター)へ運営費等の助成を行い、障がいのある人の就労意欲の高揚と社会参加を促進します。また、地域作業所は2012年度(平成24年度)には地域活動支援センターへの移行が予定されていますが、移行後も運営助成を行うことにより、運営全体の財政基盤の強化を図り、個別給付事業への転換を推進します。 1 地域作業所運営費等の助成 2 施設等通所交通費の助成					
活動指標	地域活動支援センター施設数					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	14か所	6年後目標値	14か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域作業所(地域活動支援センター)と連携して、障がいのある人の就労と社会参加を支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	地域で生活する障がいのある人の就労意欲の向上と社会参加の促進が期待できます。地域活動支援センターへの移行後も運営費等の助成を継続することにより運営主体の財政基盤を強化し、将来的に個別給付事業への移行が期待できます。					
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)					

事業名	障がい者等歯科診療運営事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-23-05-17-5	地域分権区分						
事業内容	障がいのある人の保健医療体制の充実を図るため、一般の開業医では対応が困難な障がいのある人及び要介護高齢者のための歯科診療事業を実施します。 1 障がいのある人、高齢者の歯科治療(静脈内鎮静法を含む)の実施 2 訪問歯科健診、訪問口腔衛生指導の充実 3 摂食嚥下相談事業の充実 4 障がいのある人を受け入れられる1次歯科診療医師の育成 5 障がい者等歯科診療所等への整備支援						
	活動指標	受診者数(年間)					
	目標値	現状値	3,332人	3年後目標値	3,400人	6年後目標値	3,500人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、歯科医師会と協力して障がいのある人の歯科の保健医療体制の充実を図ります。また、障がいのある人を受け入れられる1次歯科診療医師の育成を支援します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	障がい児者歯科診療や訪問歯科健診、口腔衛生指導等を充実させることにより、障がいのある人のより健康で充実した生活に寄与します。						
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課・障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)						

事業名	障がい者等福祉タクシー助成事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-23-05-17-6	地域分権区分						
事業内容	障がいのある人の地域生活の充実を図るため、福祉タクシー利用券を交付し、障がいのある人の行動範囲の拡大や社会参加を促進をします。また、人工透析を行っている人に対して支援の充実を図ります。 1 障がい者等福祉タクシー利用券の助成						
	活動指標	福祉タクシー利用券交付者数(年間)					
	目標値	現状値	6,770人	3年後目標値	7,900人	6年後目標値	9,300人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、タクシー利用券を助成し、障がいのある人の行動範囲の拡大や社会参加を支援します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	福祉タクシー利用券を交付することにより、社会生活における行動範囲が広がり、障がいのある人の自立と社会参加の推進が図られます。						
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)						

事業名	共同生活援助事業						
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-3-23-05-17-7	地域分権区分						
事業内容	障がいのある人の地域生活の充実を図るため、グループホーム等の設置を推進し、障がいのある人が地域において、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援します。また、重度な障がいのある人の受け入れを促進するため、看護師等の配置を行う事業所に対して助成を行います。 1 グループホーム等運営・設置助成 2 家賃助成 3 重症心身障がい者ケアホーム看護師等助成						
	活動指標	グループホーム等の設置数(累計)					
	目標値	現状値	30か所	3年後目標値	37か所	6年後目標値	43か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、グループホーム・ケアホームの設置や運営等がスムーズに行えるよう事業者に対する支援を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	グループホーム等の整備を推進することにより、障がいのある人が地域において、自立した日常生活や社会生活を営むことに寄与します。						
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)						

事業名	障がい者介護給付等事業(自立支援給付事業)						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-23-05-17-8	地域分権区分						
事業内容	障がいのある人への支援の充実を図るため、居宅や施設において様々な福祉サービスを実施し、障がいのある人の自立と社会参加を推進します。また、児童デイサービスや短期入所の利用において、重度な障がいのある人の受け入れを促進するため、看護師等の配置を行う事業所に対して助成を行います。 1 居宅介護等、短期入所、児童デイサービス、施設等での入・通所サービス 2 重度障がい児者受入加算(看護師等の配置助成) 3 入・通所施設への重度障がい者処遇費加算						
	活動指標	入・通所等利用実人数(年間)					
	目標値	現状値	1,271人	3年後目標値	1,350人	6年後目標値	1,450人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、障がいのある人が必要な福祉サービスを利用できるよう、サービス提供事業者と連携し体制強化を図るとともに、運営の助成を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	居宅や施設において様々な福祉サービスを実施することにより、障がいのある人の自立と社会参加の推進が図られます。						
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)						

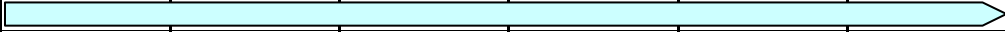
事業名	地域生活支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-17-9	地域分権区分					
事業内容	<p>障がいのある人の地域生活の充実を図るため、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を実施し、地域で生活する障がいのある人の自立と社会生活を推進します。</p> <p>1 相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業  2 移動支援事業  3 日中一時支援事業</p>					
活動指標	手話通訳者等派遣件数(年間)					
目標値	現状値	722件	3年後目標値	800件	6年後目標値	850件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、障がいのある人が個々の障がいの状況に応じて様々な福祉サービスが受けられるよう、サービス提供事業者と連携し体制強化を図るとともに運営の助成を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を実施することにより、地域で生活する障がいのある人の自立と社会参加の推進が図られます。					
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)					


事業名	福祉拠点整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-17-10	地域分権区分					
事業内容	<p>障がい者団体等の活動支援や情報発信を行うことを目的として、高次脳機能障がい者、発達障がい者等の活動スペースや成年後見制度の窓口及び老朽化が著しい福祉施設の一部機能の移転も含めた総合福祉センター機能を有した福祉拠点の整備に向けた検討を進めます。</p> <p>1 高齢者・障がい者・子育て団体等の交流サロン・団体コーナーの設置  2 成年後見相談センターの設置  3 高次脳機能障がい者及び発達障がい者の活動スペース等の設置</p>					
活動指標	福祉拠点整備に係る進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、障がい者団体等からの要望に沿って福祉拠点整備を行い、障がい者が安心して生活できるよう活動を支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	高齢者・障がい者・子育てをする市民が集う拠点が整備されることにより、活動の活性化、情報交換、人材育成、自立支援等が図られます。					
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課					



事業名		太陽の家整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-3-23-05-17-11	地域分権区分						
事業内容	障がい者福祉施策を展開するための基盤整備を図るため、老朽化が進む太陽の家について、障がいのある人が安心して福祉サービスが受けられるよう再整備を検討し、実施します。 1 太陽の家の再整備						
	活動指標	太陽の家の整備計画に対する進捗率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、施設の再整備に当たり民間活力の活用も含めた検討を行い、施設の再整備を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
	(地域)	検討	実施	→			
期待される事業の成果	施設を再整備することにより、長期間にわたり、利用者が安全で安心して施設を利用するための環境整備が図られます。						
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)						

事業名		障がい者施設整備支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-3-23-05-17-12	地域分権区分						
事業内容	障がい者福祉施策を展開するための基盤整備を図るため、様々な障がいのある人が必要な福祉サービスを受けられるよう施設の整備を推進します。地域の中で、日中活動の場と地域生活を支援する機能を備えた施設整備の支援と、重症心身障がい児者への支援のため、関係機関等と協議して、湘南東部圏域に施設を誘致することを積極的に推進します。 1 障がい者の地域生活を支援し、日中活動の拠点となる中核施設の整備 2 重症心身障がい児者の入所施設等の整備(誘致)						
	活動指標	施設数(地域中核施設・重症心身障がい者入所施設)(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	2か所	6年後目標値	3か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、様々な障がいのある人が必要な福祉サービスを利用することができるよう、社会福祉法人による施設整備に対する支援を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
	(地域)	検討	実施	検討・実施	→	→	→
期待される事業の成果	障がいのある人の地域生活を支援し、日中活動の拠点となる中核施設を整備することにより、生涯安心して「住み」、「働ける」自活の場を創出します。また、今まで湘南東部圏域になかった重症心身障がい児者の施設を整備することにより、入所が必要な人や地域で生活する人の生活の充実が図られます。						
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)						

事業名	福寿医療費助成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-18-1	地域分権区分					
事業内容	<p>将来にわたって安心して暮らせる福祉社会の実現をめざすため、100歳以上の高齢者に対し、所得制限なしで医療費の助成を行います。</p> <p>1 入院・通院の医療費の自己負担分(入院時の標準負担額を除く)の助成</p>					
活動指標	福寿医療受給者数					
目標値	現状値	99人	3年後目標値	130人	6年後目標値	160人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、100歳以上の高齢者へ医療費を助成し、生活の支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	将来にわたって安心して暮らせる福祉社会の実現に寄与します。					
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課					

事業名	介護保険サービス推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-18-2	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者が住み慣れた地域において、安全で安心した生活を送ることができるまちづくりを実現するため、介護保険法に基づき、3年を一期とする高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)を策定し、居宅(予防)サービス・地域密着型(予防)サービス・施設サービスの量及び質の確保を図るなど、介護保険サービスの適切な提供体制の推進を図ります。</p> <p>1 介護保険サービスの適切な提供体制の推進</p> <p>2 地域に根ざした生活支援体制の推進</p>					
活動指標	介護保険サービス利用者数(月平均)					
目標値	現状値	10,425人	3年後目標値	12,200人	6年後目標値	13,900人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、介護保険サービス提供事業者との連携により、高齢者の尊厳・個別性の尊重を基本として、安定した質の高い介護保険サービスを提供する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	介護を必要としている高齢者や介護をしている人の不安や負担を軽減し、高齢者が住み慣れた地域等でゆとりある高齢期を平穏に暮らせるまちづくりの推進が図られます。					
担当部課	保健福祉部介護保険課					

事業名	介護人材育成支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-18-3	地域分権区分					
事業内容	<p>市内介護職場における人材不足の解消をめざして、ホームヘルパー2級養成研修受講者が当該研修終了後に市内介護事業所等に6か月以上就労した場合の受講料の助成、及び市内の特別養護老人ホーム等における職員の資格取得や研修参加、職員募集に要する費用の助成を行います。なお、本事業は、3年を一期とする高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)の策定にあわせ、見直しを行います。</p> <p>1 ホームヘルパー養成研修受講料助成事業 2 特別養護老人ホーム等人材育成定着事業</p>					
活動指標	①受講料助成者数(累計) ②介護福祉士等資格取得者数(累計)					
目標値	現状値	①71人②20人	3年後目標値	①280人②110人	6年後目標値	①400人②190人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、研修実施団体や介護事業所等との連携により、介護資格取得者の就労促進や介護職員の資質・モチベーションの向上に伴う人材の定着化を実現し、安定した介護サービスを提供する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	<p>少子高齢化の進行や労働力人口の減少が見込まれる中で、高齢者一人ひとりの状況に応じた適切な介護サービスが提供できる体制づくりを支援することにより、ゆとりある高齢期を平穏に暮らせるまちづくりの推進が図られます。</p>					
担当部課	保健福祉部介護保険課・高齢福祉課					

事業名	認知症サポーター養成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-3-23-05-18-4	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、認知症を正しく理解し、地域において認知症の高齢者とその家族を温かく見守る「認知症サポーター」の養成事業を実施します。また、ボランティアで講師役となるキャラバンメイトとの協働により、市民、企業、事業所、学校など、あらゆる職域に対して講座を開催します。現在、年間1,000人以上の認知症サポーターの養成を目標としていますが、今後、サポーターの輪のさらなる拡大に向けて取り組みます。</p> <p>1 認知症サポーターの養成</p>					
活動指標	サポーター養成人数(累計)					
目標値	現状値	2,743人	3年後目標値	7,500人	6年後目標値	12,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>講座の講師はキャラバン・メイトと呼ばれる市民ボランティアであり、「新しい公共」の担い手となっています。また、地域住民、企業、学生、商店など、高齢者の生活に密接に関わる人々が認知症サポーターとなることで、認知症の高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの一翼を担うことが期待されます。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	<p>認知症の高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの推進が図られます。</p>					
担当部課	保健福祉部高齢福祉課					

事業名	紙おむつ支給事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-18-5	地域分権区分					
事業内容	<p>寝たきりや認知症などにより常時おむつが必要な60歳以上の高齢者に対し、精神的、身体的、経済的負担の軽減を目的に紙おむつを給付します。この事業は現在、60歳以上で要介護4及び5の認定を受けている方、また65歳以上で要支援から要介護3の認定を受けている住民税非課税世帯に属する方を対象としています。今後、要介護4及び5の方については年齢要件を40歳以上に引き下げ、対象者の拡大を図ります。</p> <p>1 紙おむつの支給</p>					
活動指標	利用件数(年間)					
目標値	現状値	8,524件	3年後目標値	10,200件	6年後目標値	11,200件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、社会福祉法人や介護サービス事業者と協働し、高齢者への支援制度としてサービスを提供する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	おむつが必要な高齢者の精神的、身体的、経済的負担を軽減し、健康で衛生的な生活に寄与します。					
担当部課	保健福祉部高齢福祉課					

事業名	高齢者いきいき交流事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-3-23-05-18-6	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者の外出を促進することによる閉じこもりの防止や、施設等を利用することによる健康の増進及び介護予防を推進するため、市内在住の70歳以上の高齢者を対象に、市指定のはり・きゅう・マッサージ治療院、公衆浴場、老人福祉センター浴室及びスポーツ施設等で利用できる助成券を交付します。</p> <p>1 高齢者いきいき交流助成券の交付</p>					
活動指標	交付申請者数(年間)					
目標値	現状値	22,885人	3年後目標値	28,000人	6年後目標値	32,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、制度実施のための手続などを主体的に行います。実際のサービスの担い手は指定はり・きゅう・マッサージ治療院、公衆浴場、老人福祉センター及びスポーツ施設等となるため、市は連携をとりながら利用の促進に努めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	各施設を利用することにより、高齢者の閉じこもりの予防、健康増進、介護予防が図られ、高齢者のいきいきとした生活に寄与します。					
担当部課	保健福祉部高齢福祉課					

事業名	高齢者見守りネットワーク事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-18-7	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるため、2011年度(平成23年度)から13地区に拡充する地域包括支援センターが中心となり、地域の民生委員や福祉関係機関、地域団体等の連携により、支援を必要とする高齢者の的確な把握と見守りが行えるネットワークを構築し、各地域ごとの特性を活かした支援体制を強化します。</p> <p>1 高齢者見守りネットワークの構築 2 各地域における支援体制の充実強化</p>					
活動指標	市域全体における新たな「見守りネットワーク」の構築度					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域包括支援センターと各関係機関等が密に連携できるよう支援を行い、地域の特性を活かした形で、支援を必要とする高齢者の把握と見守りが行える地域ネットワークの構築を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	各地域ごとの特性ある高齢者の見守り等の支援を充実させることにより、高齢者が安心して暮らすことができる地域づくりの推進が図られます。					
担当部課	保健福祉部高齢福祉課					

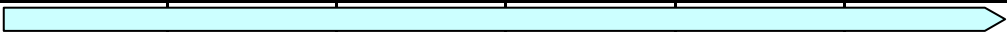
事業名	養護老人ホーム湘風園施設整備助成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
1-3-23-05-18-8	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるため、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)の広域連携により設立した社会福祉法人が運営する養護老人ホーム「湘風園」(定員100人)の施設整備事業を実施します。また、同ホームの本館棟は1972年(昭和47年)に建築され老朽化が進んでいるため、今後、建て替えや特別養護老人ホームの併設等を検討します。</p> <p>1 湘風園施設整備費の助成 2 施設整備手法の検討</p>					
活動指標	施設入所者数(藤沢市措置分)					
目標値	現状値	60人	3年後目標値	60人	6年後目標値	60人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、施設運営者である社会福祉法人に対し整備費の助成を行い、安全で安心なサービスの提供を支援する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	老朽化が進んだ施設の修繕、備品等機器の更新を実施することで、入所者の安全・安心と快適な生活に寄与します。					
担当部課	保健福祉部高齢福祉課					


事業名	老人福祉施設建設助成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-3-23-05-18-9	地域分権区分					
事業内容	<p>老人福祉施設(特別養護老人ホーム)入所待機者の解消を図るため、市内13地区のうち未整備地区を中心に整備を進めます。2022年度(平成34年度)までに新たに8施設を整備し、入所定員数780人の増員を目標としますが、具体的には3年ごとに見直しを行う高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)の中で設定します。また、施設を建設する社会福祉法人に対し、市がその建設費の一部を助成します。</p> <p>1 施設建設費の助成 2 施設整備目標の設定</p>					
活動指標	老人福祉施設(特別養護老人ホーム)入所定員数					
目標値	現状値	710人	3年後目標値	1,090人	6年後目標値	1,290人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、施設整備計画の策定及び進捗管理を主体的に行い、施設整備の担い手となる社会福祉法人と連携をとりながら、建設費を助成する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	社会福祉法人の負担を軽減することにより、計画的な老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の施設整備が進み、入所待機者の早期解消に寄与します。					
担当部課	保健福祉部高齢福祉課					

事業名	介護老人保健施設建設助成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-3-23-05-18-10	地域分権区分					
事業内容	<p>介護を必要とする高齢者の生活機能の維持・向上を総合的に支援する介護老人保健施設の整備を計画的に進めます。2022年度(平成34年度)までに新たに4施設を整備し入所定員数400人の増員を目標としますが、具体的には3年ごとに見直しを行う高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)の中で設定します。また、施設を建設する医療法人等に対し、市がその建設費の一部を助成します。</p> <p>1 施設建設費の助成 2 施設整備目標の設定</p>					
活動指標	介護老人保健施設入所定員数					
目標値	現状値	500人	3年後目標値	600人	6年後目標値	700人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、施設整備計画の策定及び進捗管理を主体的に行い、施設整備の担い手となる医療法人等と連携をとりながら、建設費を助成する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	介護老人保健施設の整備において、その直接の担い手である医療法人等の負担軽減を行うことで、計画的な施設整備が推進され、介護保険制度における適切な施設サービスの提供体制の構築が図られます。					
担当部課	保健福祉部高齢福祉課					

事業名		健康づくり推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-23-05-19-1	地域分権区分						
事業内容	健康都市宣言及び健康増進計画に基づき、藤沢市医師会等との連携、市民との協働などにより、市民、地域、行政が連携して健康づくりを推進します。また、身近な13地区での地域ごとの特性を踏まえた健康づくりの推進について支援します。						
	1 健康メッセの開催 2 健康相談及び健康教育 3 健康づくり支援事業 4 健康づくり人材育成、市民団体育成事業						
	活動指標	地域での健康教育の参加人数(年間)					
	目標値	現状値	2,300人	3年後目標値	2,500人	6年後目標値	2,650人
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、普及啓発活動や健康づくりに関わる人材、市民団体を育成するとともに、地域や家庭、関係団体と連携し、健康づくりを推進する役割を担います。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	すべての市民が生涯を通して健康づくりに取り組み、藤沢市医師会等をはじめ、市民団体、関係課等と協力することにより、市民の健康の保持増進が図られます。						
担当部課	保健福祉部地域保健課						

事業名		食育推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-23-05-19-2	地域分権区分						
事業内容	食育推進計画に基づき、「市民一人ひとりが生涯健康であるために、自分に適した食生活を送る力を育む」ことをめざすとともに、地産地消推進計画と連携しながら食育を推進します。						
	1 食育の普及啓発 2 食育推進の人材・市民団体育成						
	活動指標	食生活改善推進員数					
	目標値	現状値	110人	3年後目標値	125人	6年後目標値	140人
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、普及啓発活動や食育推進に関わる人材、市民団体を育成するとともに、地域や家庭、企業等と連携し、食育を推進する役割を担います。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	藤沢市医師会等をはじめ、市民団体、関係課と協力し、普及啓発活動や人材育成を行うことにより、健全な食生活の実践が図られます。						
担当部課	保健福祉部地域保健課						

事業名	がん検診事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-19-3	地域分権区分					
事業内容	<p>がん対策の一層の充実を図るため、「がん対策基本法」に基づき、がんの早期発見に資するよう、各種がん検診を実施します。実施に当たっては、検診方法の検討など受診率の向上を図るため必要な施策の充実を図ります。</p> <p>1 肺がん、大腸がん、胃がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん検診の実施  2 女性特有のがん検診推進事業の継続  3 前立腺がん検診の精度管理の充実(2010年度(平成22年度)から実施)  4 胃がん検診について、新たにペプシノーゲン検査及びピロリ菌抗体検査の導入を検討</p>					
活動指標	①乳がん検診受診率 ②前立腺がん検診受診率					
目標値	現状値	①17%②0%	3年後目標値	①30%②25%	6年後目標値	①②50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	がん検診の実施に当たっては、市民自らが「自分の健康は自分で守る」という意識を持つことが重要であるため、市は、医療機関等の協力により、がんに対する正しい知識の普及と検診の必要性について、啓発する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	がんの早期発見・早期治療により、生涯にわたる健康づくりが図られます。					
担当部課	保健福祉部地域保健課					

事業名	子宮頸がんワクチン予防接種事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-19-4	地域分権区分					
事業内容	<p>子宮頸がんは若年女性に多く発生するがんで、20～30歳代の女性に発生する悪性腫瘍のうち第1位を占めています。ワクチンと検診で予防できる唯一のがんと言われています。女性の生命と健康を守る観点から、中学1年生から高校1年生に相当する年齢の女性を対象に子宮頸がんワクチンの個別接種費用の全額公費助成を実施します。</p> <p>1 子宮頸がんワクチン接種費用の全額公費助成</p>					
活動指標	子宮頸がんワクチン接種率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	60%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、予防啓発、接種体制の整備を行うとともに、藤沢市医師会等と連携して、ワクチン接種を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	ヒトパピローマウイルスによる感染を防ぐことで、子宮頸がんの発生を抑制し、生涯にわたる女性の健康づくりに寄与します。					
担当部課	保健福祉部地域保健課					



事業名	細菌性髄膜炎予防接種事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-19-5	地域分権区分					
事業内容	<p>初期症状が風邪の症状と似ているため、早期診断が難しく、乳幼児の重症化率が高い細菌性髄膜炎の感染を予防し、次代を担う子どもたちの命を守るため、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン予防接種者に対し、1人4回を限度に接種費用を全額助成します。</p> <p>1 生後2か月～5歳未満(誕生日の前々日まで)の小児を対象に、接種開始年齢に応じて1回から4回までの助成を実施</p>					
活動指標	乳幼児の「細菌性髄膜炎」の市内報告件数(年間)					
目標値	現状値	2件	3年後目標値	0件	6年後目標値	0件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、藤沢市医師会等と連携して、ワクチン接種を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	自己負担となっている予防接種の接種費用を全額助成することで、接種できる環境が確保され、子どもたちの命が守られます。					
担当部課	こども青少年部こども健康課					

事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-19-6	地域分権区分					
事業内容	<p>肺炎による死亡者は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患に次いで多く、全国で肺炎により死亡する人のうち75歳以上の高齢者が約9割を占めています。また、高齢者の肺炎は肺炎球菌によるものが多く、肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンの接種を併用することで、より高い予防効果があると言われていています。高齢者の生命と健康を守る観点から、肺炎の予防と重篤化を防ぐため、75歳以上の方を対象にワクチンの個別接種を公費助成で実施します。</p> <p>1 肺炎球菌ワクチン接種費用の公費助成</p>					
活動指標	肺炎球菌ワクチン接種率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	35%	6年後目標値	40%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、予防啓発、接種体制の整備を行うとともに、藤沢市医師会等と連携して、ワクチン接種を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	高齢者の肺炎の予防と重篤化を防ぎ、高齢者の生命と健康を守ることにより、高齢者の健康な生活に寄与します。					
担当部課	保健福祉部地域保健課					

事業名	歯科健康診査事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-19-7	地域分権区分					
事業内容	生涯にわたる健康づくりの推進を図り、市民の健康維持に欠かせない、歯、口の健康を守るため、藤沢市歯科医師会との連携により、歯科健康診査等を実施します。 1 成人歯科健康診査 2 口腔がん検診、口腔がん検診診断医の養成 3 8020運動の推進プロジェクトの設置					
活動指標	成人歯科健康診査受診人数(年間)					
目標値	現状値	5,091人	3年後目標値	5,620人	6年後目標値	5,870人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、関係団体と連携し普及啓発活動を推進することにより、市民自らが歯の健康の維持増進に努めることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	歯科疾患、口腔がんの予防と早期発見を図るとともに、歯、口の健康づくりを支援することにより、高齢になっても自分の歯で何でもおいしく食べられる、市民の健康づくりの推進が図られます。					
担当部課	保健福祉部地域保健課					

事業名	歯・口腔の健康づくり推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-19-8	地域分権区分					
事業内容	生涯にわたる健康づくりを推進し、全身の健康維持に欠かせない歯、口の健康を守るために、藤沢市歯科医師会等と協働して、市民の歯・口腔の健康づくりの推進を図ります。また、神奈川県では「(仮称)神奈川県民の歯・口腔の健康づくり推進条例」の制定を予定していることから、県と連携して市民の歯・口腔の健康づくりの推進を図ります。 1 歯科医師会をはじめ関係機関、団体等と協働した歯・口腔の健康づくりの推進 2 県と連携した市民への周知、普及啓発、キャンペーン等の実施					
活動指標	市の成人歯科健康診査を受ける人の割合(年間)					
目標値	現状値	9.4%	3年後目標値	9.8%	6年後目標値	10.1%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、藤沢市歯科医師会をはじめ県、関係機関、団体等と協力して、市民の歯・口腔の健康づくりを推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	すべての市民が生涯を通して歯・口腔の健康づくりに取り組み、県、関係機関、団体、関係課等が協力することにより、市民の健康の保持増進が図られます。					
担当部課	保健福祉部地域保健課					

事業名	精神保健対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-19-9	地域分権区分					
事業内容	<p>地域社会における総合的な自殺対策を進めるとともに、精神保健福祉の普及啓発及び精神障がい者の自立と社会参加、社会復帰を推進します。</p> <p>1 自死の可能性がある人、精神障がいのある人や家族、市民を対象とした相談支援  2 うつ病、統合失調症等について、本人、家族、一般市民を対象とした普及啓発  3 自死の可能性がある人を支援する「こころサポーター養成講座」等の人材育成  4 自死遺族が安心して相談や情報交換ができる「自死遺族 支えあいの会」の開催</p>					
活動指標	自死の可能性がある人への個別支援の実施(年間)					
目標値	現状値	560人	3年後目標値	600人	6年後目標値	650人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、自殺対策庁内連絡会、自殺対策協議会等の関係団体と連携して、自死の可能性がある人に対して個別支援を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	自死に気持ちが傾いた人の相談支援や人材育成、普及啓発等を関係機関が連携して行うことで、自殺対策の総合的な推進や自死遺族の心のケアが図られます。					
担当部課	保健福祉部保健予防課					

事業名	ふれあい入浴事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-3-23-05-19-10	地域分権区分					
事業内容	<p>公衆衛生の確保や地域交流の活性化を図るために、市内公衆浴場における様々な世代の利用促進に向けた取り組みを実施します。</p> <p>1 高齢者サービスデー(毎週)  2 親子ふれあい入浴デー(毎週)  3 イベントデー(毎月)</p>					
活動指標	ふれあい入浴事業での入浴者数(月間平均)					
目標値	現状値	2,700人	3年後目標値	2,900人	6年後目標値	3,100人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢浴場組合には、市と連携を取りながら、各浴場での公衆衛生の確保や地域交流の活性化を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	高齢者や様々な世代が公衆浴場を利用することにより、公衆衛生の向上や地域交流の活性化が図られます。					
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課					

事業名	健康危機管理対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-20-1	地域分権区分					
事業内容	<p>食中毒、感染症、毒物・劇物、各種災害等により、市民の生命、健康を脅かす事態に備え、平常時より関係機関と連携し、健康危機管理体制の充実を図ります。</p> <p>1 健康危機管理保健所協議会の開催 2 市民への情報提供</p>					
活動指標	食品衛生講習会受講者数(累計)					
目標値	現状値	2,805人	3年後目標値	11,200人	6年後目標値	19,600人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、健康危機管理体制を充実し、市民への迅速な情報提供に努め、生命、社会の安全を確保する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市民の生命、健康を脅かす事態の発生予防、拡大防止を図ることにより、市民が安全で安心して暮らせる環境づくりの推進が図られます。					
担当部課	保健福祉部地域保健課					

事業名	生物安全検査室事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-20-2	地域分権区分					
事業内容	<p>保健所における病原体への検査対応力向上のため、バイオセーフティーレベル3の病原体を安全に取り扱うための施設を整備します。</p> <p>また、施設の整備や検査体制の充実により、健康危機発生時において神奈川県及び県内保健所設置市との間に、応援体制を構築します。</p> <p>1 生物安全検査室の整備 2 神奈川県及び県内保健所設置市との応援体制の構築</p>					
活動指標	生物安全検査室の設置(進捗率)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、検査環境を整備するとともに、神奈川県及び県内保健所設置市との連携を図ることで、迅速で多様な病原体検査体制を構築します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)		実施				
期待される事業の成果	発生が危惧されている新型(鳥型)インフルエンザウイルス等への検査対応などにより、感染症に対する不安のないまちづくりの実現に寄与します。					
担当部課	保健福祉部衛生検査課					

事業名	ウイルス等病原体検査事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-20-3	地域分権区分					
事業内容	<p>現在、神奈川県衛生研究所等に依頼しているウイルス検査を本市で実施することにより、健康危機被害発生時等において、より迅速な検査対応を図ります。</p> <p>また、健康危機被害が広域にわたる場合において、神奈川県及び県内保健所設置市との間に、応援体制を構築します。</p> <p>1 新型インフルエンザウイルスなど現状では未対応な病原体検査の実施 2 神奈川県及び県内保健所設置市との応援体制の構築</p>					
活動指標	病原体検査レベルの向上					
目標値	現状値	BSL2	3年後目標値	BSL3	6年後目標値	BSL3
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、健康危機管理体制を充実させ、安全な生活環境の確保を科学的に推進するとともに、神奈川県及び県内保健所設置市との連携を図ります。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	健康危機被害発生時における迅速な検査対応や他自治体衛生検査機関との相互応援によって、広域的な健康危機管理体制の強化を図り、感染症に対する不安のないまちづくりの実現に寄与します。					
担当部課	保健福祉部衛生検査課					

事業名	健康と文化の森 高度医療機能整備推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-3-23-05-21-1	地域分権区分					
事業内容	<p>健康と文化の森地区において、慶應義塾大学の総合力を活かし、高度専門的医療技術、包括的な医療サービス技術、ICT(情報通信技術)を活用した保健・福祉支援システム技術等による、高度医療、予防医療、健康管理に関する高度で専門的な先端医療、健康・福祉の拠点機能の実現に向けて、公民連携で整備事業を推進します。</p> <p>1 高度医療施設整備に向けた環境整備の推進 2 高度医療施設整備方針の検討</p>					
活動指標	高度医療機能施設整備の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	20%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、高度医療機能の集積を進めるために、西北部地域の都市基盤整備、相模鉄道いずみ野線延伸の推進を図る中で、高度医療機能施設の整備に当たり、慶應義塾大学と連携、協働して進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)		検討	→	計画	計画・実施	→
期待される事業の成果	予防医療、高度専門的医療の包括的な質の高い医療サービスの提供が図られることにより、暮らしやすいまちの形成が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	医師会立看護学校整備支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
1-3-23-05-21-2	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南東部医療圏における看護師不足が続いている状況を踏まえ、2013年度(平成25年度)に藤沢市医師会が新たな看護学校として開設を予定している「(仮称)湘南看護専門学校」に対する建設費等の支援について、自治体と湘南東部医療圏の医師会が連携して取り組みます。</p> <p>1 建設費に対する助成 2 運営費に対する助成</p>					
活動指標	看護学校施設整備に係る進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、看護専門学校の建設費等を補助し、看護専門学校には市域に根付く質の高い看護師を養成することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	計画	実施	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	新たな看護専門学校が湘南東部医療圏に設置され、質の高い看護師が養成されることにより、医療、福祉の充実が図られ、地域の安全・安心の暮らしに寄与することが期待されます。					
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課					

事業名	将来にわたる健全経営の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-21-3	地域分権区分					
事業内容	<p>市民病院が将来にわたり公立病院としての使命・役割を果たせるよう持続的な健全経営を推進するため、コンサルティングを導入した戦略的な病院運営を進めるとともに、他の経営形態に転換した病院を視察するなど、より具体的な事例研究を行います。</p> <p>1 コンサルティングの導入等による健全経営の推進 2 経営形態を転換した病院の視察等による調査・事例研究</p>					
活動指標	経常収支比率					
目標値	現状値	100%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公立病院として地域に不足している医療に積極的に取り組み、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供し、地域住民の健康の維持・増進を図り、地域の発展に貢献するため、コンサルティングを導入した戦略的な病院運営を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	公立病院としての使命・役割を果たせるよう経常収支比率100%以上を確保することにより、「医療の質と地域医療水準の向上」、「命を守る救急医療の充実」をはじめ、持続可能な医療の提供を行う経営体制の構築が図られます。					
担当部課	市民病院事務局病院総務課					

事業名	医療の質と地域医療水準の向上事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-21-4	地域分権区分					
事業内容	<p>市民病院の医療の質を高め、医療・看護体制の充実を図るとともに、地域医療水準の向上を目的として、地域医療機関との連携を深めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 登録医や合同研究会などの充実による地域医療機関からの紹介・逆紹介数の向上</li> <li>2 質の高い医療をめざしたチーム医療の充実・拡大</li> <li>3 外来化学療法室、緩和医療の推進など地域がん診療連携拠点病院の機能強化</li> <li>4 市民向けの公開講座・健康教育講座の定期的な開催(月1回、年12回程度)</li> <li>5 がん相談・健康相談をはじめとする医療相談センターの開設</li> <li>6 より安全に医療が受けられるよう院内感染や医療事故防止対策の強化</li> </ol>					
活動指標	地域医療機関からの紹介数・逆紹介数(年間)					
目標値	現状値	31,500件	3年後目標値	32,130件	6年後目標値	32,760件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>公立病院として地域に不足している医療に積極的に取り組み、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供し、地域住民の健康の維持・増進を図り、地域の発展に貢献するため、登録医や合同研究会の充実などにより地域医療機関との連携を図ります。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>医療の質を高め、医療・看護体制の充実を図るとともに、地域医療水準の向上のため、地域医療機関との連携をさらに深めることにより、紹介・逆紹介数などの拡大が図られます。また、市民向けの公開講座・健康教育の定期的な開催や医療相談センターの開設により医療相談窓口の充実が図られます。</p>					
担当部課	市民病院事務局病院総務課					

事業名	命を守る救急医療の充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-21-5	地域分権区分					
事業内容	<p>安全で安心して暮らせるまちをめざすため、市民が24時間にわたって医療の提供が受けられるよう救急医療体制のさらなる充実を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 救命救急センター、小児救急医療拠点病院、周産期救急医療中核病院としての充実</li> <li>2 消防救急隊との連携の強化及び救急救命士の研修支援による地域救命体制の強化</li> <li>3 (仮称)藤沢市救急ワークステーション事業化支援に向けた検討</li> </ol>					
活動指標	救急延べ患者数(年間)					
目標値	現状値	31,000人	3年後目標値	31,000人	6年後目標値	31,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>公立病院として地域に不足している医療に積極的に取り組み、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供し、地域住民の健康の維持・増進を図り、地域の発展に貢献するため、24時間の救急医療体制のさらなる充実を図ります。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>安全で安心して暮らせるまちをめざすに当たり、救命救急センター、小児救急医療拠点病院、周産期救急医療中核病院として、24時間にわたり医療の提供が受けられる救急医療体制の充実が図られます。</p>					
担当部課	市民病院事務局病院総務課					

事業名	産科医療スタッフの充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-21-6	地域分権区分					
事業内容	<p>安心して子どもを生み育てる環境をつくるため、産科医師や助産師など産科医療スタッフの充実を図り、妊婦検診から分娩まで助産師外来を含めた医師と助産師の連携による市民病院独自の産科医療システムの実施をめざして、助産師の資格取得を希望する看護師に対する学費支援などにより、助産師を育成して増員を図ります。</p> <p>1 助産師資格取得のための学費支援 2 助産師の育成による医師と助産師の連携による産科医療システムの構築</p>					
活動指標	助産師育成数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	3人	6年後目標値	6人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>公立病院として地域に不足している医療に積極的に取り組み、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供し、地域住民の健康の維持・増進を図り、地域の発展に貢献するため、産科医療スタッフの充実を図ります。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>助産師の資格取得を希望する職員に対して、資格取得のための学費の支援を行い、1年1人を目標とした助産師の育成により増員を確保することで、周産期医療や分娩施設としての使命・役割が果たされます。</p>					
担当部課	市民病院事務局病院総務課					

事業名	市民病院再整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-21-7	地域分権区分					
事業内容	<p>東館の建て替えを中心とする市民病院の再整備を進め、患者がより安全で快適な医療が受けられるよう療養環境の整備を図ります。</p> <p>1 設計施工一括発注方式によるコストの削減と工期短縮をめざした整備 2 より高度で質の高い医療を提供できる施設整備 3 より安全で快適な医療を提供できる療養環境整備 4 公民連携の視点に立ったコンビニ、カフェ、患者図書室、癒しの空間等の整備 5 市民ボランティアの活動範囲を広げる環境整備</p>					
活動指標	市民病院再整備事業進捗率(計画全体の事業費ベース)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	61%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>病院再整備に当たり、公民連携の活用を視野にいれ、設計施工一括発注方式によるコストの削減及び工期短縮を図るとともに、地域経済活性化と地域技術やノウハウの有効活用の視点にも留意し、より効率的、効果的な手法により安全で快適な医療提供できる整備を実施します。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>患者がより安全で快適な医療を受けられる療養環境の整備を図るに当たり、公民連携の活用を視野にいれ、設計施工一括発注方式によるコストの削減及び工期短縮を図り、より効率的、効果的な手法で整備が図られます。</p>					
担当部課	市民病院事務局病院総務課					



事業名	電子カルテシステム(医療総合情報システム)整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-21-8	地域分権区分					
事業内容	<p>これまで構築してきた診療・看護・検査・処方・会計など院内の医療総合情報システムをさらに推進し、電子カルテシステムを導入することで、患者の診療情報を一元管理し、集約・共有された情報をもとにチーム医療・安全管理・地域医療連携の充実など医療の質を高め、患者サービスの一層の向上を図ります。</p> <p>1 チーム医療・安全管理・地域医療連携の充実を目標とした電子カルテシステムの設計・構築・導入</p>					
活動指標	電子カルテシステム(医療総合情報システム)推進事業費進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	48%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	患者さんの診療情報を一元管理し、集約・共有された情報をもとにチーム医療・安全管理・地域医療連携など医療の質を高めた電子カルテシステムをはじめ、医療総合情報システムの整備を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	電子カルテシステムの推進は、診療情報を一元管理し、集約・共有された情報をもとにチーム医療・安全管理・地域医療連携など医療の質を高め、患者サービスの一層の向上が図られます。					
担当部課	市民病院事務局病院総務課					

事業名	住宅環境整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-22-1	地域分権区分					
事業内容	<p>国の指針による市営住宅等長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減を図りながら、既存市営住宅の有効活用を図るため、住環境整備を実施し、市営住宅の居住環境の向上に取り組みます。</p> <p>あわせて、市営住宅と共に、住宅セーフティネットとしての役割を果たしてきたUR都市再生機構等の他の公的賃貸住宅との連携により、市民の居住の安定確保に努めます。</p> <p>1 市営住宅浴室ユニット化工事 2 市営住宅外壁等改修工事 3 市営住宅給排水施設改修工事等</p>					
活動指標	市営住宅における浴槽(ユニットバス)設置率					
目標値	現状値	66%	3年後目標値	80%	6年後目標値	93%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、公営住宅法により、国及び県と協力して、健康で文化的な生活に資する住宅を整備し、低額所得者に安定的に住宅を供給します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	市営住宅の整備を行い、健康で文化的な生活に資する住宅を供給することにより、自力での住宅確保が困難な住宅確保要配慮者を中心とした市民生活の安定と、社会福祉の増進が図られます。					
担当部課	計画建築部住宅課					

事業名	借上公共賃貸住宅整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
1-3-23-05-22-2	地域分権区分					
事業内容	<p>市が、民間の土地所有者等の建設する賃貸住宅を20年間借り上げ、住宅困窮者に市営住宅を供給する場合に、その事業費の一部を建築主に補助することにより、市営住宅の整備を促進します。</p> <p>1 民間活力を導入した市営住宅の供給  2 高齢者・障がい者にも対応できる良質な住宅の確保  3 市民ニーズの高い市街地への市営住宅の供給  4 市営住宅の需要に対して、柔軟かつ的確な対応</p>					
活動指標	整備対象応募戸数(平成23年度からの累計戸数)					
目標値	現状値	0戸	3年後目標値	18戸	6年後目標値	18戸
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	民間土地所有者が借上公共賃貸住宅の建設を行い、市は、建築主に建築費用の一部を補助するとともに、当該住宅を借上げて、市民に市営住宅として供給します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	民間事業主が所有する土地の有効・高度利用を活用することにより、高齢者や障がい者及び子育て世帯など多様な世代が、より利便性の高い市街地等への居住が可能となり、市民ニーズへの対応が図られます。					
担当部課	計画建築部住宅課					


事業名	スポーツ環境整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-23-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市民のだれもが気軽にスポーツに親しめる環境を整備するため、屋内体育施設やスポーツ広場等の整備拡充を図ります。また、学校体育施設等の有効活用をさらに充実させるとともに、自然を活かしたビーチレクリエーションゾーン等の整備や、ニュースポーツの場の確保に努めます。</p> <p>1 スポーツ広場の増設  2 葛原スポーツ広場野球場整備  3 秋葉台公園球技場整備  4 遊水地(池)上部整備</p>					
活動指標	スポーツ施設数					
目標値	現状値	16施設	3年後目標値	21施設	6年後目標値	22施設
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市はスポーツ施設の整備を図るとともに、スポーツを通じた健康づくりを推進する役割を担います。整備に当たっては市民の意見を十分に取り入れるとともに、市民力・地域力・民間活力との積極的な協働により進めることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施・検討	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市民のスポーツ活動の場を確保し、また利用機会を拡大することで、スポーツライフが多様化し、スポーツ・レクリエーション活動の促進や振興が図られ、心身の健康増進が図られます。					
担当部課	生涯学習部スポーツ課					


事業名	スポーツノーマライゼーション事業						
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-3-23-05-23-2	地域分権区分						
事業内容	スポーツノーマライゼーションを推進するため、統括的な障がい者スポーツ団体を組織化し、障がい者がスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。 また、子どもから高齢者まで、様々な年代の市民がスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境づくりに取り組みます。 1 統括的な障がい者スポーツ団体の組織化 2 指導者・ボランティアの育成 3 財団法人やNPO、プロスポーツチームを母体としたスポーツクラブなど様々な機関との連携						
	活動指標	障がい者スポーツ団体の組織化(加入・連携団体数)					
	目標値	現状値	未設置	3年後目標値	3団体	6年後目標値	5団体
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	障がい者スポーツの核となる団体が市民により組織化され、市民との協働や民間との連携が期待されます。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施・検討	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	統括的な障がい者スポーツ団体を組織し、活動が促進されることで障がい者スポーツ環境の充実、スポーツノーマライゼーションの促進が図られます。障がい者や高齢者を含む様々な市民がスポーツ・レクリエーション活動に参加し、健康の維持増進が図られます。						
担当部課	生涯学習部スポーツ課						

事業名	ビーチバレー大会開催事業						
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
1-3-23-05-23-3	地域分権区分						
事業内容	湘南の地域特性を活かしたスポーツ活動を推進するため、各種ビーチバレー大会を開催します。また、国内ビーチバレー発祥地というブランドと、湘南藤沢の風光明媚な地域特性を活かし、藤沢の夏の風物詩として広く市内外に発信し、観るスポーツの提供とビーチバレーの普及拡大を図ります。中学生の全国大会については、参加チームの増加を図るなど、大会の充実化を進めます。 1 ビーチバレージャパン大会の開催 2 神奈川県中学生ビーチバレー大会の開催 3 全国中学生ビーチバレー大会の開催						
	活動指標	全国中学生ビーチバレー大会参加チーム数					
	目標値	現状値	33チーム	3年後目標値	60チーム	6年後目標値	94チーム
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	大会運営に当たり、市民団体や企業からの協賛を受けることが期待されるとともに、市は、多様な主体と協働、連携しながら、大会の運営、地域での「定着から愛着へ」に向けた取り組みを進める役割を担います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	「観るスポーツ」として市民に観戦機会を提供することにより、スポーツへの興味や意識の啓発が図られます。また、湘南藤沢の「夏の風物詩」の一つとして広く国内の注目を得ており、湘南藤沢の魅力を発信・PRすることで、観光・経済等への効果も期待されます。中学生大会を実施することにより競技の普及、振興が図られます。						
担当部課	生涯学習部スポーツ課						

事業名	市民マラソン開催事業						
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業					
1-3-23-05-23-4	地域分権区分						
事業内容	<p>「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気軽にスポーツを楽しめる多様なスポーツ事業を提供し、湘南の地域特性を活かしたスポーツ活動を推進するため、江の島を主会場とする市民マラソン大会を開催します。</p> <p>1 多様な種目の設定と魅力あるコースづくり  2 藤沢ブランドと、湘南藤沢の風光明媚な地域特性の市内外への発信  3 藤沢市の冬季における最大のスポーツイベントとしての発展  4 隣接他市(鎌倉市など)との連携による広域開催の検討  5 フルマラソン(42.195Km)への発展や、障がい者や高齢者も参加しやすい運営方法の検討</p>						
	活動指標	市民マラソン大会参加者数					
	目標値	現状値	6,500人	3年後目標値	8,000人	6年後目標値	10,000人
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、関係機関との調整、参加者、ボランティア募集等について支援を行います。市民団体やボランティア、企業等の様々な主体の参加や協力が期待されます。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	市民マラソンを開催することで、マラソンを通じて市民の健康の増進と生涯スポーツの振興及び経済や観光の側面からも周辺地域の活性化が図られます。また、広域開催することで、スポーツ行政の分野でも近隣他市との連携の強化が図られます。						
担当部課	生涯学習部スポーツ課						

事業名	スポーツバリアフリー事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-23-05-23-5	地域分権区分						
事業内容	<p>市民の誰もが安心してスポーツ・レクリエーション活動に利用できるスポーツ施設を適切に維持するため、スポーツ施設のバリアフリー化を計画的に実施します。</p> <p>1 より多くの市民が快適で安全にスポーツ施設を利用できるよう、施設改修等の整備を実施  2 効果的な管理方法による利用の拡大、促進</p>						
	活動指標	バリアフリー化対応施設数(累計)					
	目標値	現状値	5施設	3年後目標値	6施設	6年後目標値	6施設以上
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は多くの市民が安心して施設を利用できるよう、施設整備の役割を担います。市民や各種スポーツ団体には、施設整備に当たっての要望や意見提案を行うなどの役割が期待され、指定管理者等には、利用時間の拡大などのサービス向上や各種事業実施などの役割が期待されます。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施・検討	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	施設の適切な維持とバリアフリー化の推進により、障がい者や高齢者を含む様々な層の多くの市民が安心してスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるようになります。						
担当部課	生涯学習部スポーツ課						

事業名	生涯スポーツ活動促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-23-6	地域分権区分					
事業内容	<p>スポーツ活動や健康づくりに関する情報を広く市民に提供し、スポーツや健康に関する意識の向上を図ります。</p> <p>1 スポーツ活動や健康づくりに関する情報の収集や発信  2 スポーツ活動の習慣化を促すため、多様なスポーツ活動の機会の創出  3 未来を担う子どもたちの体力向上を推進するため、体力テストの実施とその結果に基づく体力向上策の検討  4 高齢者、障がい者にも配慮した健康・体力づくりの多様な事業の開催と、地域や関係団体との連携</p>					
活動指標	スポーツ施設延べ利用者数(年間)					
目標値	現状値	1,350,000人	3年後目標値	1,365,000人	6年後目標値	1,380,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、スポーツに関する情報収集と提供の役割を担います。様々なスポーツ市民団体は積極的な情報発信の役割が期待されます。また、地域においては体力テスト等への協力や結果に基づく効果的な方策の検討、地域に密着した事業への協力についての役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
実施・検討	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	スポーツや健康・体力づくりに関する情報を提供・発信し、各年代においてスポーツを習慣化し、健康に対する意識を啓発することで多くの市民の健康や体力の維持増進が図られます。					
担当部課	生涯学習部スポーツ課					

事業名	市民スポーツサポート事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-23-05-23-7	地域分権区分					
事業内容	<p>市民がスポーツ・レクリエーション活動を行う際に、その支えとなる指導者を養成、活用することで、より多様な活動が安全に、効果的に促進されます。また、競技力の向上をめざし、市内競技選手の支援を行うとともに、各団体との連携、協働を進め、長期的な展望に立った競技スポーツ指導体制の確立に取り組み、スポーツへの動機付けや関心を高めるため、トップアスリートの活用を検討、実施します。</p> <p>1 地域スポーツを支える体育指導委員の充実と地域指導者やボランティアの養成  2 スポーツ振興基金を活用した競技選手の支援と競技会参加機会の提供  3 ジュニア期からの一貫指導体制の確立とトップアスリートの活用促進</p>					
活動指標	スポーツサポーターバンク登録者数(累計)					
目標値	現状値	280人	3年後目標値	320人	6年後目標値	360人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民のスポーツ活動を支える指導者やボランティア等の養成と活用の役割を担います。財団法人や市民団体、地域団体には、人材の発掘や養成・育成事業の実施、活用の方法についての提案や専門的なノウハウの発揮などの役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
実施・検討	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	各分野においてスポーツ活動を支える指導者及びボランティア等を養成し活用することで、市民のスポーツ・レクリエーション活動が促進され、技術や知識、また、意欲を持った指導者が活動を支援することで、活動効果の向上が図られます。また、一貫指導体制の確立により、ジュニア期からの継続的なスポーツ活動が促進されます。					
担当部課	生涯学習部スポーツ課					



ふじさわ未来課題

18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、地区防災計画を策定し、いざというときのための地域での迅速な対応のための準備をし、訓練を行っています。
- ② 高齢化が進む中で、災害時における要援護者（避難等に援助を必要とする人）の支援のための活動の備えが必要となっています。
- ③ 2009年（平成21年）の市内の刑法犯発生件数は、1,151件、窃盗犯発生件数は3,455件となっています。
- ④ 2009年（平成21年）の市内の火災件数は109件で、うち放火（疑いを含む。）が44件となっています。
- ⑤ 2009年（平成21年）の市内の総救急件数は18,015件で、1日平均で約50件の出動をしています。



## 【戦略目標】

### 06 災害や犯罪に対して不安なく暮らせるまち

#### 【成果指標】

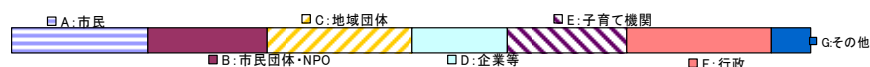
- ① 市内で犯罪の危険を感じた人の割合
- ② 地域で災害への備えができていて感じる人の割合
- ③ 市内の人口1万人当たりの出火率
- ④ 市内の犯罪発生件数（刑法犯認知件数）

【現状値】 ①28% ②17% ③3件 ④1,151件

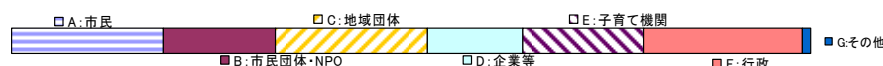
【めざそう値】 3年後：①25% ②30% ③2件 ④900件

6年後：①20% ②40% ③1件 ④608件

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:18% D:12% E:15% F:18% G:5%



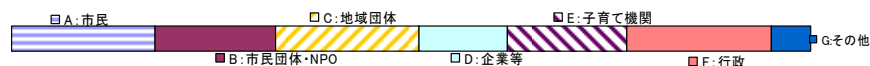
②A:19% B:14% C:19% D:12% E:15% F:20% G:1%



③A:23% B:12% C:19% D:12% E:15% F:18% G:1%



④A:18% B:15% C:18% D:11% E:15% F:18% G:5%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-24》 市民の防災意識と救命意識の高揚による自主的災害活動の強化、推進

＜成果の視点＞ 市民の意識の高まりによって、自主的な災害活動がなされる地域になること

〔主要な指標〕 市民が行う応急手当の実施率

《政策-25》 防災活動と地域防災力の強化・充実

＜成果の視点＞ 地域の活動によって、防災の強化・充実がなされること

〔主要な指標〕 市内各地区での防災訓練等の延べ参加者数

《政策-26》 防犯対策の強化・充実

＜成果の視点＞ 市民、地域と行政によって犯罪から守られる地域になること

〔主要な指標〕 市内での防犯パトロールの延べ参加者数

《政策-27》 災害に強いまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 災害が発生したときにも被害を抑えるまちであること

〔主要な指標〕 大規模災害時の建物焼損床面積（㎡）

《政策-28》 安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進



<成果の視点> 安全で安心なまちと環境が整っていること

[主要な指標] 災害（地震・風水害）による被害件数

《政策-29》 広域連携による消防体制の強化・充実

<成果の視点> 市内のどこでも安心できる消防・救急体制が整っていること

[主要な指標] 救急出場の平均現場到着時間が短縮された割合

事業名	藤沢市救急ワークステーション事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-24-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市民の救急要請内容の変化により、激増することが予測される救急需要対策として、市民病院救命救急センターに隣接する場所に、通常の出場機能を有した施設を設置し、待機時の病院実習体制を兼ねた救急ワークステーションについての検討を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 救命救急センターに近接する場所に、救急ワークステーションの設置</li> <li>2 待機中の救急隊員に対する病院実習等の研修体制、教育プログラムの確立</li> <li>3 有事の際に使用する救急活動資器材の備蓄</li> <li>4 消防・医療・市民が一体となる、応急手当普及啓発の拠点化</li> </ol>					
活動指標	救急ワークステーション施設整備進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	20%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、救急ワークステーションを設置することにより、救急隊員の知識・技術の持続的な向上に努め、市民の身体、生命の安全を確保するための救急体制を整備します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→			→		
	検討	→	→	実施	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	救急隊員の知識・技術の向上による安心・安全体制の強化を図ることにより、地域医療を充実し、救急力の強化に伴う救命率の向上を図り、安心なまちの形成に寄与します。					
担当部課	消防本部救急救命課					

事業名	応急手当強化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-24-2	地域分権区分					
事業内容	<p>救命講習の受講率目標(人口の20%)達成後の応急手当普及啓発のさらなる充実強化を図るとともに、民間事業所へのAED設置を促進し、地域のセーフティネットを構築する救急セーフティステーションの拡充を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 受講者のニーズを分析し、応急手当の実施率向上に直結する講習プログラムの策定</li> <li>2 既受講者の再講習を促進するために地域を活用した定期的な再講習のシステムの構築</li> <li>3 講習指導に市民活動団体の普及員が指導する機会を上げ、指導体制の充実強化</li> <li>4 救急セーフティステーション標章の交付施設拡充に向けAEDの設置促進</li> <li>5 コンビニエンスストア等の容易に設置場所が把握できる民間事業所へAED設置促進</li> </ol>					
活動指標	救命講習受講率					
目標値	現状値	15%	3年後目標値	20%	6年後目標値	25%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>市は、市民活動団体の応急手当普及員が指導しやすい環境を整えるとともに、市民の受講者が充実した救命講習を受講できる講習環境を構築します。</p> <p>また、救命講習の受講促進及びAEDの設置促進によって救急セーフティステーションを拡充し、市民力・地域力を活用します。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→			→		
	検討	→	計画	実施	→	→
(地域)		検討	計画	実施	→	→
期待される事業の成果	<p>市民による救急車到着前の応急手当の実施率が増加し、救命率が向上が図られます。また、応急手当の普及啓発を介し、市民力・地域力の活性化が図られます。</p> <p>さらに、応急手当に関わることにより、救急車の利用方法が認識され、不適切な救急車の利用が軽減され、軽症救急の抑制効果が期待されます。</p>					
担当部課	消防本部救急救命課					

事業名	防災リーダー等育成強化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-3-18-06-25-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「防災活動と地域防災力の強化・充実」を図るため、ジュニア防災リーダー及び防災リーダーを育成し、自主防災組織及び藤沢災害救援ボランティアネットワーク、防災組織連絡協議会等と連携を図ることにより、災害時における地域防災力の強化・充実につなげます。</p> <p>1 ジュニア防災リーダーの自主防災組織内での位置づけの確立及び育成強化 2 防災リーダーの育成強化(ボランティアコーディネーター等の育成)</p>					
活動指標	ジュニア防災リーダーを位置づけた自主防災組織の率					
目標値	現状値	10%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	ジュニア防災リーダーの位置づけの確立や防災リーダーの育成により、自主防災組織の活性化が図られることから、新しい公共としての役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	ジュニア防災リーダー及び防災リーダーの育成だけでなく、自主防災組織、藤沢災害救援ボランティアネットワーク及び防災組織連絡協議会等への参画のあり方を明確にすることにより、地域において防災の担い手の連絡調整の方法が明確になり、災害時における被害を最小限に抑え、市民の安全・安心が確保されます。					
担当部課	総務部災害対策課					

事業名	災害時要援護者支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-3-18-06-25-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>防災活動と地域防災力の強化・充実及び災害時要援護者支援の体制整備の実現を図るため、市民センター・公民館と連携を取りながら、自主防災組織に対し災害時の避難支援体制づくりの構築に対する支援を行います。また、市内各地区の自主防災組織に対して、災害時の避難支援体制づくりの要請を行うとともに、支援体制が整った自主防災組織に対して、災害時要援護者名簿を提供することで、地域におけるともに支え合う体制づくりの構築を推進します。</p> <p>1 地区別説明会の実施 2 自主防災組織に対する災害時要援護者名簿の提供 3 情報提供・相談対応</p>					
活動指標	災害時要援護者名簿提供自主防災組織数					
目標値	現状値	210団体	3年後目標値	380団体	6年後目標値	430団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民には、災害から身体と生命を守るため、地域での共助による支え合いを行うことが期待されます。市は、そのための体制づくりを支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	災害発生時もしくは発生の恐れが生じた際に、障がい等により自力で避難したり、自ら救出を求めたりすることが困難な災害時要援護者の安全度・安心感の増加が図られます。また、緊急時における地域体制の備えの充実が図られます。					
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課					

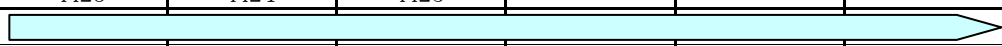
事業名	消防団待機宿舎改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-25-3	地域分権区分					
事業内容	<p>老朽化した消防団待機宿舎を、耐震、耐火性を考慮した鉄骨造へ改築し、地域の消防防災拠点として強化するとともに、老朽化が進む消防機能の向上をめざします。</p> <p>1 現存する木造構造の消防団待機宿舎改築整備</p>					
活動指標	消防団待機宿舎整備計画に基づく整備進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	20%	6年後目標値	40%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域防災拠点の強化を図ることを目的とする施設整備を担い、地域での消防団活動を支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	消防団待機宿舎を強化することにより、市民の生命・身体及び財産を火災等から保護するとともに、火災または地震等の災害による被害の軽減を図り、安全・安心なまちに寄与します。					
担当部課	消防本部消防総務課					


事業名	地域災害連携事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-25-4	地域分権区分					
事業内容	<p>市内31か所の消防団待機宿舎(消防団拠点施設)を活用し、消防団待機宿舎(消防団拠点施設)近隣の自治会・町内会等と連携して災害時の地域防災力を強化します。</p> <p>1 各消防分団と消防団待機宿舎近隣自治会・町内会等との意見交換会 2 各消防分団と消防団待機宿舎近隣自治会・町内会等との訓練実施 3 各消防分団による消防団待機宿舎近隣自治会・町内会等への研修会実施</p>					
活動指標	各消防分団と地域住民との連携事業数(31個分団平均値)(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	3回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	各消防分団は、消防団待機宿舎(消防団拠点施設)近隣の自治会・町内会を軸として働きかけを行い、意見交換や訓練等を実施します。市は、消防団が訓練指導等をするために必要な技術・知識の伝達を行います。近隣の自治会・町内会は災害に備え連携の強化及び知識や技術を習得するために、事業へ参加することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・計画	計画・実施	実施	→	→	→
期待される事業の成果	消防分団と地域の連携・交流が図られ地域防災力が向上するとともに、消防団待機宿舎(消防団拠点施設)の地域災害拠点としての活用が図られます。また、地域の人材発掘など、消防団の活性化が図られます。					
担当部課	消防本部警防課					

事業名		防犯対策強化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-26-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>本市の安全・安心まちづくりアドバイザーの支援を受けながら、犯罪機会論に基づく安全・安心なまちづくりをめざすため、防犯ガイドラインに沿った公共施設等における防犯対策の充実を図るとともに、安全・安心ステーションを13地区に設置するなど、市民と行政・警察が連携・協力した取り組みにより、防犯対策の強化・充実を図ります。</p> <p>1 犯罪分析に基づく防犯対策事業の推進      2 藤沢市防犯計画指針の策定  3 犯罪のない安全・安心まちづくり対策事業の推進      4 暴力追放活動の支援  5 携帯電話を活用した防犯対策システム運用・研究      6 街頭犯罪抑止環境整備  7 安心みまもりステーション事業の継続・拡充      8 LED防犯灯整備計画の策定</p>						
活動指標	①安全・安心ステーション設置地区数(累計) ②防犯カメラ設置件数(累計)						
目標値	現状値	①4地区②104件	3年後目標値	①8地区②144件	6年後目標値	①11地区②189件	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地域と全市の連携による防犯活動を推進するため、市民、地域、市が協働・連携して取り組むことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			→	
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	市民、地域と行政が協働・連携し、防犯活動を推進することで、犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部市民自治推進課						

事業名		消費者保護事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-26-2	地域分権区分						
事業内容	<p>多様化する消費生活における被害を未然に防ぎ、消費生活の安定と向上を図るため、消費者行政に関する市の指針等を策定するとともに、相談事業や市民への情報提供の充実・強化を図ります。</p> <p>1 消費者行政に関する市の指針等の策定  2 相談事業の充実・強化  3 情報提供の推進(高齢者に対する出前講座の開催、小・中学生に対する消費者教育副読本の作成・活用、消費生活情報紙の作成・配布)</p>						
活動指標	①出前講座実施回数(年間) ②消費者教育副読本活用冊数(累計)						
目標値	現状値	①0回②0冊	3年後目標値	①16回②39,000冊	6年後目標値	①16回②63,000冊	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、消費生活に関する相談事業や市民への情報提供を行い、消費生活の安定と向上を図る役割を担います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			→	
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	消費者行政に関する市の指針等を策定するとともに、相談事業の充実・強化と消費生活における生活弱者である高齢者と子どもに対する情報提供を推進することにより、消費者行政に関する市等の責務が明確になり、市民の安全で安心な消費生活の充実が図られます。						
担当部課	市民自治部市民相談情報センター						

事業名	防災行政無線(固定系)デジタル化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-27-1	地域分権区分					
事業内容	<p>総務省では、「周波数再編アクションプラン」を改定し、現行のアナログ無線システムについては「周波数の有効利用の観点から、デジタル化を推進」との基本的な方針が示されています。その具体的な取り組みとして、災害時における住民の安全確保のための重要な情報伝達手段である防災行政無線の固定局について、機器の更新時期にあわせてデジタル化への移行を推進します。</p> <p>1 防災行政無線固定系親局改修 1局 2 子局改修 248局 3 増設子局新規 63局 4 戸別受信機 479局</p>					
活動指標	固定系親局, 子局, 戸別受信機フルデジタル化率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市には、災害時における身体、生命の安全を確保するために情報伝達手段を確保する役割があります。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	デジタル方式へ移行することにより、データ通信、文字情報の表示、FAXによる災害情報の送信、子局から子局への再送信など伝達方法が広がり、市民への災害情報の伝達手段の充実、強化が図られます。また、市民の自助・共助の意識が高まり、自主的な災害復旧活動の実施が拡大されます。					
担当部課	総務部災害対策課					

事業名	備蓄資機材整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-27-2	地域分権区分					
事業内容	<p>災害に強いまちづくりの推進のため、県が発表した被害想定調査結果・減災計画及び県地域防災計画等に基づき、備蓄資機材整備計画の見直しを行うとともに、災害協定による資機材の調達を推進を図ります。</p> <p>1 備蓄資機材整備計画の見直し 2 災害協定による資機材調達の推進</p>					
活動指標	災害協定による資機材の調達率					
目標値	現状値	36%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	災害協定による資機材の調達の推進を図るため、多くの協定締結先との連携活動が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	備蓄資機材整備計画を見直し、災害協定による資機材調達の推進により、災害時に安心して被災生活を送ることが可能になるとともに、災害発生後の被害の抑制が図られます。					
担当部課	総務部災害対策課					

事業名	災害協定締結事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
1-3-18-06-27-3	地域分権区分					
事業内容	<p>災害に強いまちづくりの推進をするために、避難施設として指定している高校・大学等との連携を図り、災害時における避難施設の運営支援を中心に、学生の協力・支援が得られるよう現協定の見直しを図ります。</p> <p>また、県内近隣市との災害時相互応援協定を締結し、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>1 高等学校、大学との協定の見直し(避難施設) 18校 2 県内近隣市と災害時相互応援協定の締結(海老名市・綾瀬市等)</p>					
活動指標	避難施設の高校・大学との協定の見直しの割合					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	避難施設である高校・大学との協定の見直しにより、避難施設開設支援等の協力が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	避難施設として指定している高校・大学等と避難施設運営支援を中心に、学生の協力・支援が得られるよう現協定の見直しを図るとともに、近隣市との災害時相互応援協定を締結し、相互応援態勢を確立することにより、災害に強いまちの形成が図られます。					
担当部課	総務部災害対策課					

事業名	市民センター非常用自家発電設備整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-27-4	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>災害に強いまちづくりの推進と地域防災力の充実を図るため、災害時に電力が復旧されるまでの3日間程度稼働可能で、拠点としての最低限の機能を維持できる非常用自家発電設備を各地区防災拠点本部に整備します。</p> <p>1 受水槽ポンプ用電源(エレベーターを除く) 2 1F(事務所・ホール)の最低限の照明及びコンセント用電源等</p>					
活動指標	非常用自家発電設備の整備拠点数(累計)					
目標値	現状値	3拠点	3年後目標値	13拠点	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、災害時における地区防災拠点本部の使命・役割を果たすための整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	非常用自家発電設備を各地区防災拠点本部に整備することにより、地区防災拠点本部としての使命と役割を果たすことができ、被災時における市民の安全安心な生活の確保が図られます。					
担当部課	総務部災害対策課					

事業名	土砂災害防止事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-27-5	地域分権区分						
事業内容	<p>災害に強いまちづくりの推進を図るため、県による土砂災害が生じる恐れのある区域の指定に基づき、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地を抑制、既存住宅の移転促進等の対策を推進し、土砂災害による人的被害等を防止します。</p> <p>また、大地震により大きな被害が生じる恐れのある大規模盛土造成地の被害を軽減するため、変動予測調査(宅地ハザードマップの作成)を実施し、住民への情報提供を行います。</p> <p>1 土砂災害警戒区域等の指定 2 造成宅地防災区域の指定</p>						
	活動指標	土砂災害警戒区域の指定進捗率					
	目標値	現状値	10%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>市は、県と連携して危険箇所、避難体制等の情報提供を行います。</p> <p>また、市民には、情報提供を受け、土砂災害防止に向けた意識の高揚が期待されます。</p>						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)							
期待される事業の成果	土砂災害による人的被害等の防止と造成宅地の減災対策が図られることにより、市民の安全・安心、被災時の被害の軽減につながります。						
担当部課	計画建築部開発業務課, 総務部災害対策課						


事業名	建築物等防災対策事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-27-6	地域分権区分						
事業内容	<p>「藤沢市耐震改修促進計画」の目標年度である2015年度(平成27年度)までに、住宅等の耐震化率90%以上をめざし、耐震化の促進を図ります。</p> <p>また、被災建築物の応急危険度判定士講習会・演習への職員派遣を行い、判定業務を迅速かつ的確に実施できるように体制づくりを進めます。</p> <p>1 木造住宅の耐震診断・耐震改修工事・簡易耐震改修工事に要する費用の一部を補助 2 分譲マンションの耐震診断に要する費用の一部を補助 3 耐震シェルター等の一部屋耐震化支援策の調査・研究 4 耐震化の重要性や地震に対する意識向上を図るための啓発活動を実施 5 被災建築物の応急危険度判定実施本部及びコーディネーター業務を把握</p>						
	活動指標	①住宅耐震化率 ②応急危険度判定士の確保(現状維持)					
	目標値	現状値	①73%②628人	3年後目標値	①80%②628人	6年後目標値	①90%②628人
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>市は、建物所有者に自らが耐震化を実施する必要性について理解を求めるとともに、所有者の負担軽減を図るための補助を実施して耐震化を促進します。</p> <p>また、災害時における地区防災拠点本部での応急危険度判定等の役割を担います。</p>						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)							
期待される事業の成果	<p>耐震化の重要性や地震に対する意識向上が図られ、住宅の耐震化が促進されます。</p> <p>また、応急危険度判定士業務及び実施本部業務・コーディネーター業務に対する職員の資質を向上することで、市民の安全・安心、被災時の迅速な対応につながります。</p>						
担当部課	計画建築部建築指導課						



事業名	消防自動車等整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-27-7	地域分権区分					
事業内容	少子高齢化等の社会環境の変化に伴う救急需要の増加等が見込まれるため、老朽化が著しい消防・救急車両を計画的に更新するとともに、複雑多様化する災害事象や大規模地震災害等から、市民の安全・安心を確保するため、消防車両を計画的に更新し、万全な消防体制の確立を図ります。 1 消防車両等の整備					
活動指標	車両更新計画達成率(更新台数/年間更新計画台数)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、消防・救急車両の整備を進め、市民意識啓発に努めるとともに、市民は、救急車等の適正利用等を進めることで、車両の長寿命化を図ることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	消防・救急体制の充実・強化を図るとともに、近隣市町等との消防相互応援体制をより強化し、災害連携活動を実施することにより、万全な体制が確保され災害時における被害を軽減できます。このことにより、市民生活の安定が図られ、「市民が不安なく暮らせるまち」「災害に強いまちづくり」に寄与することが期待されます。					
担当部課	消防本部警防課					

事業名	大規模震災対策強化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-27-8	地域分権区分					
事業内容	大規模震災に対し火災防衛・救助体制を強化するため、阪神淡路大震災の教訓から整備した小型動力ポンプ及び救助資器材の老朽化を踏まえ、計画的な機能更新を図ります。 さらに、大規模震災対策訓練として、従来の救助法に加え、近年国際消防救助隊が導入している新たな技術等を駆使した人命救助訓練を実施し、救助活動体制の向上を図ります。 1 老朽化した震災対策資器材の再整備 2 大規模震災時に活用可能な新たな救助法の導入					
活動指標	資器材整備に係る計画に対する進捗率(整備数/整備計画数:累計)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	40%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、高度かつ特殊な技術・資器材を活用した消火・救助活動の強化を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	大規模地震災害による倒壊建物内から要救助者を救出するために必要な資器材を整備するとともに、新しい高度な技術を取り込むことにより、安全・迅速・的確な救助活動を行うことが可能となり、市民の安全安心、災害時における被害の軽減が図られます。					
担当部課	消防本部警防課					

事業名							消防水利整備事業							
体系コード			事業区分		まちづくり行政事業(全市)									
1-3-18-06-27-9			地域分権区分											
事業内容							<p>地勢や立地上火災防御が困難な江の島島内に、1987年度(昭和62年度)から5か年かけて設置された江の島屋外消火栓設備は、塩害等の影響による劣化が予想されるため、計画的に機能更新を行い、設備性能の維持を図ります。</p> <p>また、市内の水利が充足していない地域に対し、火災防ぎよ用、特に震災対策用として計画的に40t耐震性防火水槽を整備します。</p> <p>1 江の島屋外消火栓設備の再整備 2 耐震性防火水槽の新設</p>							
活動指標							江の島屋外消火栓整備計画達成率(実施数/整備計画数:累計値)							
目標値			現状値		0%		3年後目標値		0%		6年後目標値		40%	
実績値			H23				H24				H25			
役割期待							市は、市民のニーズに即したこれらの整備を継続的に行うことで、火災に対する機動力及び初期対応能力を向上させ、火災による被害の軽減を図ります。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(市域全体)			H23		H24		H25							
														
(地域)			実施		→		→		→		→		→	
期待される事業の成果							計画的な整備により、継続的に市内の消防水利を有効に活用可能となります。災害時の機動力及び初期対応能力の向上・維持が図られ、市民の安全安心、災害時における被害の軽減が図られます。							
担当部課							消防本部警防課							

事業名							消防団充実強化推進事業							
体系コード			事業区分		まちづくり行政事業(全市)									
1-3-18-06-27-10			地域分権区分											
事業内容							<p>消防団員の入団減少により、今後、消防団員の確保が困難になることが見込まれることから、大規模災害等に対する消防団機能を拡充し、通常の消防団員の他に「特定の活動や役割のみに参加する団員(機能別消防団員)」を確保するために、新たに機能別消防団制度の導入及び推進を図ります。</p> <p>また、本市に積極的に協力している事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付することにより、消防団と最先端の専門的なノウハウを持った事業所等との連携・協力を一層強化します。</p> <p>1 機能別消防団制度の導入・推進 2 消防団協力事業所制度の推進</p>							
活動指標							確保人員計画における達成率(確保人数/年間計画人数)							
目標値			現状値		0%		3年後目標値		0%		6年後目標値		100%	
実績値			H23				H24				H25			
役割期待							市は、消防団と協力し機能別消防団員の確保を進めることにより、消防団員の役割が強化され、市民に直結した消防行政を確立することが期待されます。また、協力事業所(民間)が消防団へ協力することにより、社会貢献を果たしていることを社会的に評価され、将来的な消防団員の確保及び協力が期待されます。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(市域全体)			H23		H24		H25							
														
(地域)			検討		→		計画		実施		→		→	
期待される事業の成果							機能別消防団、協力事業所表示制度が推進され、特定の活動や役割に特化した消防団員を確保することにより、大規模地震災害対応を含むあらゆる消防団活動の強化が図られます。							
担当部課							消防本部警防課							

事業名	防災まちづくり支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
1-3-18-06-27-11	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>2003年度(平成15年度)に策定した都市防災基本計画に基づき、住民自らが地域の災害に対する危険性への認識を深め、地区ごとに防災面からのまちづくりを推進するため、各地区における防災まちづくり活動を支援します。</p> <p>1 地区防災まちづくり改善計画の策定 2 災害危険度再判定の実施</p>					
活動指標	防災まちづくりモデル地区数(累計)					
目標値	現状値	2	3年後目標値	3	6年後目標値	5
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区の防災まちづくり計画を住民自らが策定するに当たり、市は計画づくりを支援するとともに、防災まちづくり計画に基づく事業を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市街地の防災性が向上するとともに、地域住民の防災意識の向上が図られます。					
担当部課	計画建築部都市計画課					

事業名	プレジャーボート対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>境川のプレジャーボートは、県が2012年度(平成24年度)までの期間で暫定係留を認めているところですが、係留船は洪水の流下の阻害等の治水上の支障のほか、騒音の発生や景観の阻害等様々な面で河川管理や流域住民の生活に支障を引き起こします。</p> <p>これらの対策として、県と連携し、良好な河川環境の維持に努めます。</p> <p>1 県が実施するプレジャーボート対策の推進要望 2 県、市、地域住民が連携した境川不法係留船対策協議会の開催</p>					
活動指標	暫定係留船舶数					
目標値	現状値	221隻	3年後目標値	0隻	6年後目標値	0隻
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は地域からの要望を踏まえた中で、対策協議会の開催も含め、県と連携をして取り組みます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	提案・実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	県のプレジャーボート対策への推進を支援することにより、台風や津波等による被害の軽減が図られます。					
担当部課	計画建築部建設総務課					

事業名		柄沢特定土地区画整理事業					
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-2		地域分権区分					
事業内容		<p>周辺地域の都市基盤整備の進展に伴い宅地化が進行する中で、無秩序な市街化の進行を防ぐため、土地区画整理事業により災害に強い安心安全な市街地の形成をめざし、事業を推進します。</p> <p>1 都市計画道路の新設をはじめ、区画道路・公園4か所等の都市基盤施設の整備改善 2 健全、快適で良好な住宅系市街地として49.6haにわたる区域を総合的に整備</p>					
活動指標		土地区画整理事業進捗率					
目標値		現状値	88%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、地域と協働し土地区画整理事業を実施することにより、快適で良好な住宅地を整備するとともに災害に強い安心安全な市街地の形成を図ります。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→			
期待される事業の成果		道路整備によるネットワークの形成、公共施設立地の確保、供給処理施設の整備などにより、土地の有効活用が図られ、生活利便性の向上に寄与します。 また、消防車・救急車などの緊急車両のアクセスが確保され、地域全体の安全性・防災性の向上に寄与します。					
担当部課		まちづくり推進部村岡地区整備事務所					

事業名		防災調整池設置事業					
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-3		地域分権区分					
事業内容		<p>水害に強い安全・安心な都市基盤、市街地環境づくりを推進するため、総合治水対策に基づき整備が必要な貯留施設のうち、北部第二(三地区)土地区画整理事業地区内の雨水流出抑制のため防災調整池を整備します。</p> <p>また、村岡地区の近隣公園(宮ノ下公園)内に、県の環境アセスメント条例に基づき、豪雨時の浸水対策として調整池を整備します。</p> <p>1 北部第二(三地区)土地区画整理事業の防災調整池設置 2 村岡地区内の防災調整池設置</p>					
活動指標		調整池整備進捗率					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	20%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、土地区画整理事業を実施することにより、災害に強い安心安全な市街地形成を図ります。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		計画	実施	→	→	計画	実施
期待される事業の成果		水害時に区画整理事業区域内から河川へ放流される雨水排水量を抑制することで、河川下流域における水害の発生の軽減が図られます。					
担当部課		まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

事業名	かながわの川づくり計画促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-4	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	安全・安心な都市基盤・都市環境づくりの推進及び河川整備や流域対策、ソフト対策等の取り組みによる「かながわの川づくり計画(2010年(平成22年)3月神奈川県策定)」の推進を図るため、当該川づくり計画における河川氾濫を防止するためのハード対策として、都市河川重点整備計画(新セイフティリバー事業を促進し、また河川流域における流出抑制対策を進めます。 1 市民生活の安全・安心度の向上を図る境川、引地川等の整備事業の促進 2 浸水被害から市民を守る総合治水対策等の関連諸計画の策定及び推進 3 地域の魅力づくり等のための遊水地(池)上部有効利用に関する神奈川県との調整						
	活動指標	洪水調節施設整備箇所数(累計)					
	目標値	現状値	1か所	3年後目標値	2か所	6年後目標値	3か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、近年の都市化の進展やゲリラ豪雨の頻発、さらには今後予測される地球温暖化の影響に対処し、当該河川治水対策促進事業を推進することにより、市民を浸水被害から守る雨につよい都市づくりを推進します。また、遊水地(池)の上部利用の促進や河川改修に伴う河川沿線整備により、潤いのある都市環境づくりを推進します。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	提案						
期待される事業の成果	河川整備事業等の促進と総合治水対策等に関する諸計画の推進により、治水安全度が高まり、市民生活の安全・安心に寄与します。 また、遊水地(池)の上部有効利用により、地域の魅力づくりと活力の向上が図られます。						
担当部課	土木部土木経営課						

事業名	準用河川滝川改修事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-5	地域分権区分						
事業内容	近年の都市化の進展やゲリラ豪雨等に伴う河川の氾濫を防ぎ、滝川流域市民の生命・財産を水害から守るため、未改修区間の整備方針や整備手法等の検討を進めます。 準用河川滝川の治水安全度を向上させるため、二級河川境川の改修事業にあわせて河川改修事業の事業化を進めます。 1 事業化に向けた基本計画の策定 2 効果的・効率的な河川改修事業の推進						
	活動指標	基本計画策定の進捗率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、河川管理者として、計画的な整備を推進します。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	検討	→	計画	実施	→	
期待される事業の成果	未改修区間の治水安全度を向上することにより、流域に住む市民を水害から守る安全・安心な都市基盤・都市環境づくりが計画的に進められます。						
担当部課	土木部下水道整備課						

事業名	準用河川白旗川改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-6	地域分権区分					
事業内容	<p>近年の都市化の進展やゲリラ豪雨等に伴い浸水被害が発生している白旗川流域市民の生命・財産を水害から守るため、未改修区間の浸水状況等を踏まえた河川改修事業の見直しを行い、下水道計画とも連携した未改修区間の整備方針や整備手法等の検討を進めます。</p> <p>準用河川白旗川の治水安全度を向上させるため、河川改修事業の事業化を進めます。</p> <p>1 事業化に向けた実施計画の策定 2 効果的・効率的な河川改修事業の推進</p>					
活動指標	実施計画策定の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、河川管理者として、計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	検討	→	計画・実施	実施	→
(地域)						
期待される事業の成果	未改修区間の治水安全度を向上することにより、流域に住む市民を水害から守る安全・安心な都市基盤・都市環境づくりが計画的に進められます。					
担当部課	土木部下水道整備課					

事業名	準用河川一色川改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-7	地域分権区分					
事業内容	<p>近年の都市化の進展やゲリラ豪雨等に伴う河川の氾濫を防ぎ、一色川流域市民の生命・財産を水害から守るため、事業実施に向けた整備手法等の検討を進めます。</p> <p>準用河川一色川の治水安全度を向上させるため、二級河川引地川の改修事業にあわせて河川改修事業の事業化を進めます。</p> <p>1 事業化に向けた実施計画の策定 2 効果的・効率的な河川改修事業の推進</p>					
活動指標	実施計画策定の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、河川管理者として、計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	計画・実施	実施	→
(地域)						
期待される事業の成果	未改修区間の治水安全度を向上することにより、流域に住む市民を水害から守る安全・安心な都市基盤・都市環境づくりが計画的に進められます。					
担当部課	土木部下水道整備課					

事業名		貯留管整備事業				
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-8	地域分権区分					
事業内容	<p>近年の都市化の進展やゲリラ豪雨等に伴う雨水流出量の増大に対し、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、雨水管整備等との連携により浸水被害を軽減し、また南部処理区の合流式下水道区域における、河川沿いに設置された吐口からの雨天時越流水を削減し、海・川の水質改善を図るため、貯留管の整備を推進します。</p> <p>1 貯留管の整備(鵜沼東部, 鵜沼南部, 鵜沼西部, 浜見山及び山野神排水区)</p>					
活動指標	対策実施排水区数(累計)					
目標値	現状値	3排水区	3年後目標値	4排水区	6年後目標値	5排水区
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、貯留管整備を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	
(地域)						
期待される事業の成果	雨水管整備と連携した貯留管の整備により、浸水被害及び合流式下水道からの雨天時越流水を軽減し、治水安全度の向上や海・川の水質改善が図られます。					
担当部課	土木部土木経営課・下水道整備課					

事業名		下水道総合浸水対策事業				
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-9	地域分権区分					
事業内容	<p>近年の都市化の進展やゲリラ豪雨等に伴う雨水流出量の増大による浸水被害に対し、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、被害発生地区における雨水幹線等の整備を推進するとともに、浸水等情報の提供による市民の防災・避難活動を支援する総合的な浸水対策事業を実施します。</p> <p>1 重点対策地区における雨水幹線等の整備による浸水対策の実施(山野神ほか7排水区)  2 道路、公園等他事業との連携や市民等による雨水流出抑制施設設置の促進  3 内水ハザードマップの作成・公表による浸水等情報の提供</p>					
活動指標	対策実施排水区数(累計)					
目標値	現状値	7排水区	3年後目標値	9排水区	6年後目標値	10排水区
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、雨水幹線等の施設整備を実施するとともに、他事業や市民等の協力により雨水流出抑制施設設置を促進します。また、地域市民には内水ハザードマップの浸水想定や避難関連情報により、自助・共助の意識が高まることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	
(地域)						
期待される事業の成果	雨水幹線等の整備により、浸水被害の軽減や治水安全度が向上します。また、浸水想定や避難関連情報を把握することで、地域住民の防災意識の向上及び豪雨時における避難活動の円滑化が図られます。					
担当部課	土木部土木経営課・下水道整備課					

事業名	下水道総合地震対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-10	地域分権区分					
事業内容	<p>被災時において二次災害を防止し、最低限の下水道機能を確保するため、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、下水道施設の段階的な耐震化を図る防災と、被災した場合であっても被害の最小化を図る減災を組み合わせた総合的な地震対策事業を実施します。</p> <p>1 被災時において、市民生活に重大な影響を与える下水道施設や下水処理に必要な最低限の施設の耐震診断・耐震化の実施  2 防災拠点・避難所等と浄化センターを結ぶ重要度が高い管路等の耐震化の実施  3 被害最小化と最低限の処理機能確保と復旧のため下水道台帳等の情報管理の推進</p>					
活動指標	耐震化実施施設数(累計)					
目標値	現状値	18施設	3年後目標値	19施設	6年後目標値	31施設
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、下水道施設の耐震化を実施するとともに、被災時の被害最小化等のため下水道台帳等の整備により危機管理体制を充実・強化します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	下水道施設の耐震化により被災時における二次災害防止、下水処理機能の確保により市民生活の安全と公衆衛生の保全が図られます。また、危機管理体制の充実・強化により被害の最小化と早期復旧が図られます。					
担当部課	土木部土木経営課・土木維持課・下水道施設課					

事業名	消防体制マネジメント事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-11	地域分権区分					
事業内容	<p>都市化する社会環境の変化など、消防行政を取り巻くあらゆる変化に対応できる体制を整備していくため、職員育成や効率的な人員の編成、配置などマネジメントシステムの構築を図ります。</p> <p>1 研修等で得た知識と技術の還元を目的とした職員育成システムの構築  2 消防体制の向上を目的とした再任用制度の利活用及び効果的な組織改編の検討  3 学識経験者や地域住民等をメンバーとした消防問題研究懇話会の発足による、消防防災体制のあり方の検討</p>					
活動指標	職員育成システム整備率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	-
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、消防体制の強化を目的とした知識と技術の伝承や各種研修のフィードバック体制を構築します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	高まる市民ニーズと社会情勢等の変化に適確に対応していくことにより、消防体制の強化が図られます。					
担当部課	消防本部消防総務課					



事業名	消防救急基地局無線デジタル化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
1-3-18-06-28-12	地域分権区分					
事業内容	<p>法改正により、現在使用している消防救急アナログ無線の使用が、2016年(平成28年)5月31日までとされたため、消防救急無線のデジタル化整備(共通波・活動波)に向け、神奈川県整備計画に基づき県内各自治体と調整を行いながら、共同整備を進めます。</p> <p>2015年度(平成27年度)の運用開始を目途に事業を推進します。</p> <p>1 共通波整備:横浜市が整備主体となり県下26市町等が共同で整備</p> <p>2 活動波整備:市の独自の情報網として共通波整備と同時に整備</p>					
活動指標	無線デジタル化整備進捗率					
目標値	現状値	20%	3年後目標値	80%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が、県内他自治体と共同で、広域的に整備します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→		
期待される事業の成果	患者の傷病情報等の伝送を行う際などに、個人情報の保護の観点から通信の秘匿性向上が図れるデジタル化は効果的であり、データ伝送による確実かつ効率的な災害活動の支援が図られ、市民が安心して暮らせるまちに寄与します。					
担当部課	消防本部消防総務課					

事業名	北部方面消防力等強化整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-28-13	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台、六会、遠藤地区における北部方面消防力及び救急力の強化を目的に、消防署所の新設や部隊再編等を含めた「北部方面消防力強化整備計画」を策定し、消防体制の充実強化を図ります。</p> <p>1 消防署所の新設や部隊再編等を含めた「北部方面消防力強化整備計画」の策定</p> <p>2 「北部方面消防力強化整備計画」に基づく北部方面消防署所の整備及び部隊配置等の再構築</p> <p>3 北部方面消防署所の整備及び部隊配置等に伴う消防ポンプ車、救急車等の整備</p>					
活動指標	北部方面消防体制強化整備進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	20%	6年後目標値	80%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、北部方面地域における市民の安全を確保するために、消防体制を整備を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・計画	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	市北部方面の消防力、救急力の強化により、北部方面を中心とした市民の安全の確保が図られます。					
担当部課	消防本部消防総務課					

事業名	地域防火安全対策推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-14	地域分権区分						
事業内容	<p>災害時の被害軽減や災害を未然に防ぐため、高齢化社会を見据えた新たな取り組みとして、地域と社会福祉施設との共助体制づくりや、各種団体と協力して地域防火安全活動を実施します。</p> <p>1 社会福祉施設等の入所者の安全を守るための体制づくりとして、防火協議会の設立や地域団体との避難安全協力体制の覚書等の締結を推進</p> <p>2 各種団体との協力体制による火災予防広報の充実</p> <p>3 法令改正等に即した積極的な査察の強化</p>						
	活動指標	社会福祉施設と地域団体との覚書締結率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域防火安全に関することを提案・助言することにより、社会福祉施設や企業及び地域住民の自主性を育て、災害時の被害の軽減を図ります。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	計画	提案	実施	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	社会福祉施設、企業、市民の協力体制を確立することにより、災害時の被害を軽減することができ、市民の安全・安心の向上が図られます。						
担当部課	消防本部予防課						

事業名	消防無線等整備事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
1-3-18-06-28-15	地域分権区分						
事業内容	<p>法改正により、現在使用している消防救急アナログ無線の使用が、2016年(平成28年)5月31日までとされたことにより、消防救急用無線機(署活動用無線機を除く。)のデジタル化が義務づけられ、県整備計画に基づく共通波基地局の共同整備に伴い、活動波を含めて移動局無線機の整備を進めます。</p> <p>1 消防車や救急車等に搭載する車載型デジタル無線機の整備</p> <p>2 隊員が携行する携帯型デジタル無線機の整備</p>						
	活動指標	消防・救急デジタル無線機更新台数(年間)					
	目標値	現状値	0台	3年後目標値	0台	6年後目標値	278台
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、法改正に伴う整備を図り、市民サービス維持向上を図ります。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討・計画	→	→	実施	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	消防・救急活動における患者の傷病情報等個人情報保護の観点から、デジタル無線機整備により通信の秘匿性の向上が図られるとともに、大規模災害時の対応など、広域的な災害時の連携活動も強化され市民の安全・安心の向上が図られます。						
担当部課	消防本部通信指令課						

事業名	湘南東部消防広域化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
1-3-18-06-29-1	地域分権区分					
事業内容	<p>効率的な消防体制の充実強化による住民サービスの一層の向上を図るため、藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市、寒川町の3市1町において、将来の消防の広域化及び広域連携等のあり方、相互応援協定等の強化、消防救急無線のデジタル化等への対応、指令室の共同運用等について検討を進めます。</p> <p>1 将来の消防の広域化及び広域連携等のあり方  2 相互応援協定等の強化  3 消防救急無線のデジタル化等への対応  4 指令室の共同運用等について</p>					
活動指標	広域化推進進捗率					
目標値	現状値	5%	3年後目標値	50%	6年後目標値	60%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、近隣市町と消防相互応援体制のさらなる強化を図り、消防活動の機能向上を図る役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→			
(地域)						
期待される事業の成果	広域化による3市1町の消防体制の強化及び消防施設等の充実整備を進めることにより、自治体の行政運営の効率化及び住民の安全・安心を支える基盤の強化を図り、安全・安心なまちの形成に寄与します。					
担当部課	消防本部消防総務課					

事業名	水難救助体制強化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
1-3-18-06-29-2	地域分権区分					
事業内容	<p>消防本部が主催する「海岸(海辺)地域人命救助活動実施機関連絡会議」を活用し、本市海岸付近の水難事故や水難事故防止に対応するための調査・研究・検討を進め、海岸地域の安全安心の向上及び日本一安全な海岸を構築します。</p> <p>1 本市、海上保安署(海上保安庁)、横浜水上警察署・藤沢警察署(神奈川県警)、及びライフセーバー団体との災害発生時(水難事故等)における連携活動の強化  2 水難事故を未然に防ぐ施策の構築を、上記機関及び市経済部や教育委員会と協働して推進  3 ライフセーバーへの支援策の調査・研究・検討</p>					
活動指標	水難救助体制整備率					
目標値	現状値	20%	3年後目標値	100%	6年後目標値	-
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、海岸(海辺)地域における市民の安全を確保するために、水難救助体制を整備します。また、NPO団体等と連携して公的救助機関としての役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→			
(地域)						
期待される事業の成果	海岸(海辺)地域の水難救助体制の環境整備を推進し、人命救助体制の機能強化を図り、安全・安心なまちの形成に寄与します。					
担当部課	消防本部消防総務課					



## 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市

### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者等も積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること

#### ～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、2007年（平成19年）に「人権施策推進方針」を定め、お互いの人権を尊重し、違いを認め合い、人を思いやるころをもつて、共に生きる社会を築くことをめざしています。
- ② 藤沢市と茅ヶ崎市、寒川町による、湘南広域都市行政協議会では人権・男女共同参画連携推進会議を置き、同じ生活圏域の中での特性を活かした広域連携による研修会やキャンペーン等に取り組んでいます。
- ③ 藤沢市では「ふじさわ男女共同参画プラン2020」を策定し、男女がともに担う社会づくりとそのための環境整備を推進しています。



## 【戦略目標】

### 07 一人ひとりの個性を尊重し認め合う、心の通うまち

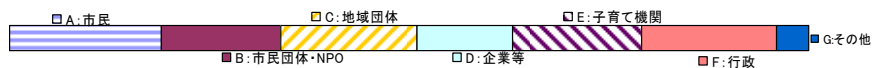
#### 【成果指標】

- ① 個性が尊重されていると感じている市民の割合
- ② 近所で挨拶や声かけをする人の割合

【現状値】 ①28% ②56%

【めざそう値】 3年後：①40% ②65% 6年後：①50% ②75%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:17% D:12% E:16% F:17% G:4%



②A:22% B:13% C:19% D:10% E:20% F:12% G:4%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

### 《政策-30》 人権を尊重する社会の推進

＜成果の視点＞ 差別や偏見のない、互いに理解し、尊重される地域社会になること

〔主要な指標〕 人権出前講座の実施回数と参加者数

### 《政策-31》 男女共同参画ネットワークの充実

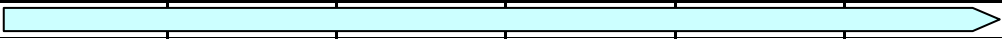
＜成果の視点＞ 男女共同参画の場がひろがり、様々な場面で協力して活動がなされること

〔主要な指標〕 藤沢市における審議会等の女性登用比率

事業名	人権啓発推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-24-07-30-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市人権施策推進指針」の基本理念である「人権を大切にし、人権文化を育むまちづくり」を推進し、「ふじさわ男女共同参画プラン2020」に示す「人権を尊重した男女共同参画社会づくり」に基づき、人権を尊重した啓発事業を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権擁護委員会と連携し、学校ぐるみの子どもの人権教育の推進</li> <li>2 地域密着型の人権啓発を推進するため市民団体・NPO等と連携し人権出前講座を実施</li> <li>3 企業等と連携しながら、自発的な人権啓発を推進</li> <li>4 周辺自治体とのネットワークを強化・拡大し、「人権啓発講演会」等の連携事業を実施</li> <li>5 犯罪被害者の人権確保のため、かながわ犯罪被害者サポートセンター・警察等との連携</li> </ol>					
活動指標	人権に関する研修会参加者数(年間)					
目標値	現状値	732人	3年後目標値	800人	6年後目標値	1,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	共に生き、共に創る地域社会の創出のため、市民一人ひとりの個性と人権が尊重されなくてはならず、人権啓発を中心に大学、企業、NPO等々と連携し人権施策を推進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	学校ぐるみや地域密着型の人権啓発を行うことや広域都市連携によるネットワークを構築することにより、市民一人ひとりの人権意識の高揚が図られ、藤沢市人権施策推進指針の基本理念である「人権を大切にし、人権文化を育むまちづくり」の実現が図られます。					
担当部課	経営企画部共生社会推進課					

事業名	多文化共生推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-24-07-30-2	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市多文化共生のまちづくり指針」で、「外国人市民と一般市民が『共に生きる』地域社会づくり」を掲げ、「ふじさわ男女共同参画プラン2020」では、「外国人市民との多文化共生の推進」を施策に位置づけ、すべての人の人権が守られる暮らしやすい社会をめざします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 外国人市民への意識調査の実施による支援施策の推進</li> <li>2 市内大学等の協力による外国人会議の設置</li> <li>3 外国人市民との共生を考える市民の会の開催と多文化共生セミナーの実施</li> <li>4 多言語による生活支援ガイドの充実</li> <li>5 (仮称)外国人交流サロンの設置と居場所づくりの推進</li> </ol>					
活動指標	外国人市民の会議への参加人数(年間)					
目標値	現状値	9人	3年後目標値	12人	6年後目標値	20人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	すべての人が、より暮らしやすい社会の実現に向け、市民団体、NPO等との連携が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	多文化共生推進事業を実施することで、「藤沢市多文化共生のまちづくり指針」の基本目標である「生活支援とともに隣に住む人として国籍や民族・生活習慣の違いを認め合い、人権を尊重し、交流を深め、外国人市民と一般市民が『共に生きる』地域社会づくり」の実現が図られます。					
担当部課	経営企画部共生社会推進課					

事業名	成年後見制度利用支援事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-4-24-07-30-3	地域分権区分						
事業内容	<p>社会生活において、判断能力が十分でない人が不利益を被ることのないよう、法的な手続きや財産管理を支援するために、市民を対象に、成年後見制度の普及・啓発に努めるとともに、専門の相談員による支援や市民力を活かした市民後見人制度の検討を進めます。</p> <p>1 成年後見制度の普及・啓発 2 市民後見人制度の検討 3 成年後見制度の相談体制の充実</p>						
	活動指標	相談件数(年間)					
	目標値	現状値	337件	3年後目標値	500件	6年後目標値	650件
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、成年後見制度の普及啓発及び相談支援体制の充実を図るとともに、市民後見人制度の創設により、判断能力が不十分な市民に対する支援の充実を図ります。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
	検討	計画・実施	実施	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	成年後見制度についての市民の理解が深まり、市民の権利が守られた安心して暮らせる社会の形成が図られます。						
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課						

事業名	男女共同参画推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-4-24-07-31-1	地域分権区分						
事業内容	<p>「ふじさわ男女共同参画プラン2020」の将来像に「男女で共に創ろう豊かなまち『湘南ふじさわ』」を位置づけ、その重点目標の1つである「あらゆる分野への男女共同参画社会の促進」を進めることにより、男女共同参画社会の実現をめざします。</p> <p>1 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進 2 男女が平等に働くことができる労働環境の整備 3 地域での男女共同参画の推進</p>						
	活動指標	本市独自の審議会等の女性の登用比率					
	目標値	現状値	39.2%	3年後目標値	40%	6年後目標値	42%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民にとっては、男女の人権が尊重され、男女の個性と能力が発揮できる社会の実現が望まれます。そのためには、大学、企業、NPO等々と連携し女性登用比率の向上など、「ふじさわ男女共同参画プラン2020」により男女共同参画社会を推進することが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	「ふじさわ男女共同参画プラン2020」を着実に推進するとともに、「藤沢らしさ」である市民力・地域力を活かした地域連携や啓発促進を行い、さらに広域都市連携を進めることで、男女共同参画社会の実現が図られます。						
担当部課	経営企画部共生社会推進課						



事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-24-07-31-2	地域分権区分					
事業内容	<p>国は、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」や行動指針を策定し、仕事だけに偏重せず、生活とのバランスのとれた生き方をめざすとしています。</p> <p>市民一人ひとりが就労により経済的に自立し、健康で豊かな生活を送り、多様な働き方や生き方を選択できる社会を構築できるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進に総合的に取り組みます。</p> <p>1 労働者団体、経済団体、企業等との協働による会議の設置  2 労働者団体、経済団体、企業等との具体的事業の実施・連携・強化  3 県及び周辺自治体、企業等との連携による啓発事業の取り組みと情報の共有</p>					
活動指標	次世代育成支援事業行動計画の策定団体数(累計)					
目標値	現状値	6団体	3年後目標値	9団体	6年後目標値	12団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民が就労により経済的に自立し、健康で豊かな生活を送り、多様な働き方や生き方を選択できる社会を構築する必要があります。そのためには、一人ひとりがやりがいを持ちながら、仕事上の責任を果たしていく社会を実現していくために、企業、大学、NPO等と連携し検討していくことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	国、県、広域都市連携及び企業等との協働によるワーク・ライフ・バランス推進の総合的な取り組みを行うことにより、一人ひとりがやりがいや充実感を得ながら働くことができ、家庭や地域生活などでも多様な生き方を選択することが可能となり、仕事と生活が調和した社会の実現が図られます。					
担当部課	経営企画部共生社会推進課					



## ふじさわ未来課題

### 34 地域で支え合い暮らせる環境であること

#### ～まちづくり情報～

- ① 藤沢市には現在、約5,800人の外国人の方が住んでいます。(2011年(平成23年)1月1日現在)
- ② 藤沢市には、13の公民館と2つの分館があります。また、図書館は4つの市民図書館と11の市民図書室があり、小学校区に1か所以上、計41か所の地域市民の家があります。
- ③ 市内には475の自治会(町内会)があり、平均で290世帯が加入しています。藤沢市の自治会加入率は80.2%です。(2009年(平成21年)9月1日現在)
- ④ 藤沢ボランティアセンターには、総人数5,681人、団体として127団体が登録しています。(2010年(平成22年)4月1日現在)
- ⑤ 藤沢市市民活動推進センターには、425団体の市民活動団体、NPO法人が登録しています。(2010年(平成22年)12月14日現在)



藤沢市市民活動推進センターホームページ <http://npocafe.f-npon.jp/>

#### ～NPOとは～

「NPO (Non Profit Organization)」とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称です。

したがって、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることになります。

このうち「特定非営利活動法人」とは、特定非営利活動促進法に基づき法人格\*を取得した法人です。

法人格の有無を問わず、様々な分野(福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など)で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されています。(内閣府NPOホームページより)

\*法人格：個人以外で権利や義務の主体となり得るものをいいます。

## 【戦略目標】

### 08 地域で支えあう共生するまち

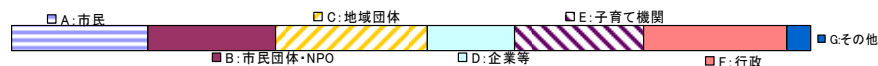
#### 【成果指標】

- ① 地域に支えられていると実感する人の割合
- ② 普段、近隣や地域の方とお付き合いする高齢者の割合

【現状値】 ①27% ②50%

【めざそう値】 3年後：①40% ②60% 6年後：①50% ②70%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:19% D:11% E:16% F:18% G:3%



②A:21% B:16% C:21% D:10% E:12% F:17% G:3%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-32》 自治会活動等の地域コミュニティ活動の育成、支援

＜成果の視点＞ 地域でのコミュニティ活動が盛んであること

〔主要な指標〕 自治会加入率

《政策-33》 地域で支えあうためのネットワークづくりの推進

＜成果の視点＞ 地域で支え合うための仕組みが整っていること

〔主要な指標〕 ふじさわボランティアセンター・地区ボランティアセンターの登録者数

《政策-34》 多様な主体による生涯学習の推進とネットワークの構築

＜成果の視点＞ 地域と地球の自然を大切に共有するための学びの環境があること

〔主要な指標〕 公民館のサークル登録団体数

事業名	地域コミュニティ拠点施設整備支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-34-08-32-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域住民の福祉と自治意識の向上に寄与するため、自治会・町内会が行う地区集会所(自治会館・町内会館)の新築、増改築、修繕及び用地の取得等に要する経費の一部を補助します。</p> <p>また、市内41か所に設置されている地域市民の家との整合性や有効活用の視点も踏まえながら、地域に開かれたコミュニティ拠点施設としての有効活用と、施設の計画的な設置及び修繕に対する助成を行うため、市内全施設の実態把握によるデータベース化等を行い、新たな助成制度を検討・策定するとともに、計画的な設置・修繕計画等を策定します。</p> <p>1 集会所の新築・修繕等に関する補助金の交付 2 集会所の現状や要望等にかかる調査の実施</p>					
活動指標	補助金交付件数(新築・修繕)(年間)					
目標値	現状値	9件	3年後目標値	9件	6年後目標値	9件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域の活動に必要な不可欠な施設である地区集会所の充実により、自治会・町内会による地域主体の活動の役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	→				
期待される事業の成果	地域の活動に必要な不可欠な施設である地区集会所の充実により、地域住民の福祉と自治意識の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部市民自治推進課					

事業名	外国人相談窓口等拡充事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-32-2	地域分権区分					
事業内容	<p>様々な国籍・言語の住民が言語の障壁により地域生活や活動から阻害されることなく共生できるよう、需要の多いスペイン・ポルトガル語による相談事業の拡充を図ります。</p> <p>また、住民基本台帳法の改正を踏まえ、外国人に対するワンストップサービスの拡充を図るための地域窓口の体制のあり方について検討を行います。</p> <p>1 本庁と湘南台相談室との情報共有化を図るための相互交流及び相談員のスキルアップ 2 湘南台相談室の相談日の増設 3 外国人に対する地域窓口の体制のあり方についての検討</p>					
活動指標	相談件数(年間)					
目標値	現状値	5,500件	3年後目標値	6,000件	6年後目標値	6,500件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、外国人に対する相談事業の拡充を図るとともに、ワンストップサービスの拡充を図るための地域窓口の体制のあり方について検討を行い、外国人が言語の障壁なく、行政手続きや市民生活ができるよう支援する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	国籍・言語の違う住民が地域の中で孤立することなくコミュニティ活動に参加することで、多文化共生の地域づくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部市民相談情報センター・市民窓口センター・市民自治推進課					

事業名	ぜんぎょう里山づくり支援事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-4-34-08-32-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	善行地区地域経営会議が市民センターと連携して実施する「ぜんぎょう里山づくり事業」の支援を行います。 1 提言に基づく一体的整備計画の策定 2 一体的整備計画に基づく整備						
	活動指標	一体的整備の進捗率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	善行地区地域経営会議は、市民センターと連携する中で、一体的整備やグリーンネットワークの構築に向けた検討等を行い、市は、善行地区の実施する「ぜんぎょう里山づくり事業」の支援を行います。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	検討・実施	→	→	実施			
期待される事業の成果	地域主体のまちづくりの推進、地域コミュニティ活動の活発化、高齢者等の生きがいがづくり、並びに地区内の緑地の保全形成等が図られます。						
担当部課	市民自治市民自治推進課						

事業名	地区ボランティアセンター事業						
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業					
2-4-34-08-33-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	地域でのボランティア活動を推進して互いに助けあい支えあいながら安心して暮らしやすいまちづくりを進めるため、ボランティア活動の拠点整備を市民センター・公民館と連携しながら進め、地区ボランティアセンターの運営主体に、運営費等を助成します。 1 市内14か所に地区ボランティアセンターの設置						
	活動指標	地区ボランティアセンター設置数					
	目標値	現状値	6か所	3年後目標値	14か所	6年後目標値	14か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、各地域において高齢者や障がいのある人等に対して、身近な所でボランティア活動を行う場を確保するため、運営費等の補助を行います。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	「地域で支えあうためのネットワークづくり」及び「地域で支えあう共生するまちづくり」の実現に寄与します。						
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課						

事業名	介護ボランティアポイント制度事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-4-34-08-33-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域で助けあい支えあいながら暮らしやすいまちづくりをめざして、高齢者の生きがいづくりと介護予防のために、65歳以上の元気な高齢者が行う一定の活動(福祉施設等での福祉ボランティア活動)に対して、ポイントを付与し、年間のポイント数に応じて支援金に転換して交付します。今後、制度周知により活動者数の充実を図るとともに、対象施設等の充実を図ります。</p> <p>1 事業の周知 2 事業参加者数の充実 3 事業参加施設の充実</p>					
活動指標	ボランティア登録者数(年間)					
目標値	現状値	100人	3年後目標値	500人	6年後目標値	700人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、施設等での福祉ボランティア活動を推進します。高齢者には、社会参加活動を通じた介護予防に資する役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	元気な高齢者の介護予防と健康維持を図りながら、市民ボランティアの活性化と地域福祉のまちづくりの推進が図られます。					
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課					

事業名	公民館運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
2-4-34-08-34-1	地域分権区分					
事業内容	<p>社会教育・生涯学習拠点施設として、社会教育法の目的及び「生涯学習ふじさわプラン」の各施策の方向性に基づき、地域の人々や社会教育関係団体等、様々な主体が連携、協力して地域資源を活用しながら公民館事業を推進します。</p> <p>1 市民団体による公民館運営業務により、市民や利用者の視点での公民館運営や地域の実情に応じた事業を展開 2 より一層地域に根ざした拠点施設の実現 3 より多くの市民・団体等が施設を利用できるための施設利用運営の検討</p>					
活動指標	公民館事業における市民等との協働の割合(年間)					
目標値	現状値	34%	3年後目標値	40%	6年後目標値	45%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、運営の指導・検証、公民館運営審議会事務等の役割を担い、市民運営団体には、各公民館において地域の特性やニーズにマッチした公民館事業の企画・実施や窓口業務などの役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	公民館を「学習施設としての側面」と「地域づくりの拠点としての側面」の両面から捉え、地域の人々や多様な主体が関わり合いながら地域の課題や特性に目を向け、学び、知恵を出し合い、協働し、助け合いながら解決を図る場として充実させることで地域で支え合う環境の醸成が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	総合市民図書館市民運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
2-4-34-08-34-2	地域分権区分					
事業内容	<p>2011年度(平成23年度)より辻堂市民図書館の図書館サービス業務をNPO法人に業務委託します。管理業務、企画業務は総合市民図書館が担当します。「新しい公共」の手法により、図書館業務の経験者等を中心に組織されたNPO法人による「市民主体の図書館運営」を行い、サービスのさらなる充実をめざします。</p> <p>2011年度(平成23年度)に検証を行い、次年度以降に残りの2市民図書館と総合市民図書館にも段階的にNPO法人による図書館運営を検討していきます。</p> <p>1 辻堂市民図書館の図書館サービスの業務委託の実施 2 他の市民図書館におけるNPO法人による図書館運営の検討</p>					
活動指標	貸出件数(年間)					
目標値	現状値	430万件	3年後目標値	433万件	6年後目標値	436万件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、図書館行政の方向性を示し、条件整備を行い、NPO法人を助言・評価する役割を担います。NPO法人には、行政との協働・連携により、質の高い図書館サービス業務を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	NPO法人による図書館運営は、従来の市民協働の実績のうえに、これまで以上に市民参加が進み、市民・地域に密着したレファレンス等図書館サービスのさらなる拡大・発展が図られます。					
担当部課	生涯学習部総合市民図書館					

事業名	次世代図書館構築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-34-08-34-3	地域分権区分					
事業内容	<p>今までの図書館サービスの実績のうえに、新しい時代のニーズに対応した「次世代図書館」を構築し、NPOとの協働・連携により、図書館サービスのさらなる拡大と充実を図ります。</p> <p>1 南市民図書館再整備の際に、従来の「貸出型」の図書館から「滞在型」「交流型」「情報発信型」の図書館に機能拡充と4市民図書館の役割分担と差別化の検討 2 印刷資料とインターネット等を組み合わせた高度な情報提供(図書館のハイブリッド化) 3 市民の生活、仕事、行政、学校、産業などの課題解決を支援 4 視覚障がい者や図書館利用が困難な人たちへの図書館サービスの拡充 5 図書館の広域利用や大学図書館との連携の拡充</p>					
活動指標	登録率(図書館の登録者数/人口)					
目標値	現状値	42%	3年後目標値	44%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、次世代図書館の方向性を示し、条件整備を担います。NPO法人には、行政との協働・連携により、次世代図書館のサービス業務を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	新しい時代のニーズに対応した次世代図書館のサービス展開により、従来の市民満足度の高さに加え、市民や地域の課題解決や交流が図られます。					
担当部課	生涯学習部総合市民図書館					



## ふじさわ未来課題

### 32 人々が交流して、平和でぬくもりのある社会であること

#### ～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では核兵器のない平和な世界をめざして1982年（昭和52年）に「核兵器廃絶平和都市宣言」を施行しています。また、「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」を1995年（平成7年）に制定しています。
- ② 藤沢市では、平和意識の高揚と相互理解の促進を目的とした平和学習・長崎派遣事業を市民との連携によって実施しています。2010年（平成22年）には、長崎市から頂いた被爆したクスノキを、平和の象徴として市民の皆様とともに育て、幾代にも平和が続くようにと願いを込めて植樹をしました。



- ③ 藤沢市の姉妹友好都市は、松本市（長野県）、マイアミビーチ市（アメリカ合衆国フロリダ州）、昆明市（中華人民共和国雲南省）、ウィンザー市（カナダ オンタリオ州）、保寧市（大韓民国忠清南道）です。
- ④ 公共交通機関では、多言語の表記を採用して、外国人にも分かりやすい情報の提供を行っています。



## 【戦略目標】

### 09 人々が交流して、平和でぬくもりのあるまち

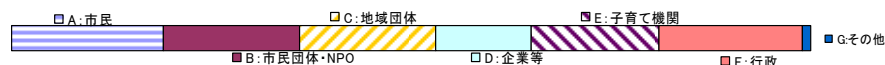
#### 【成果指標】

- ① 日常生活において平和な社会を実感する人の割合
- ② 日常生活において外国の人たちと交流している人の割合

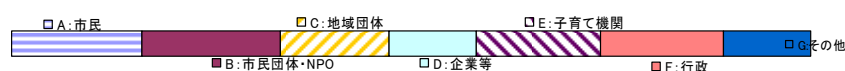
【現状値】 ①51% ②17%

【めざそう値】 3年後：①60% ②20% 6年後：①70% ②30%

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:17% D:12% E:16% F:18% G:1%



②A:18% B:19% C:15% D:12% E:17% F:17% G:2%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-35》 多様な担い手との協働による国際交流の推進

＜成果の視点＞ 様々な人が協力して、いろいろな国や文化、人との交流がなされること

〔主要な指標〕 国際交流事業実施事業数

《政策-36》 平和都市宣言に基づく平和事業の推進

＜成果の視点＞ 戦争やテロ等の不安がなく、平和なまちと世界であること

〔主要な指標〕 平和基金に寄付をされた方の数

《政策-37》 航空機騒音解消に向けた対策の推進

＜成果の視点＞ 航空機の騒音が軽減され、安心して穏やかなまちであること

〔主要な指標〕 70dB以上の騒音継続時間（1ヶ月平均）

《政策-38》 県内自治体連携による基地対策の推進

＜成果の視点＞ 県内自治体と連携して基地の課題解消に向けて取り組んでいること

〔主要な指標〕 NLP\*の年間回数

\* NLP（Night Landing Practice）：夜間連続離着陸訓練のことをいいます。

事業名	市民主体の国際化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-35-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市民、関係団体、企業、大学等と連携・協力した国際貢献、産業・経済交流など様々な分野での人的交流、都市親善のさらなる推進及び多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進め、国際色豊かな魅力ある藤沢づくりのために、(仮称)藤沢市国際化協会を設立します。</p> <p>1 (仮称)藤沢市国際化協会の設立 2 市民主体の国際化推進事業の支援</p>					
活動指標	(仮称)藤沢市国際化協会の自主事業参加者数(年間)					
目標値	現状値	-	3年後目標値	400人	6年後目標値	600人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、団体は、協会を通じて相互に連携するとともに、多様な主体との協働により、これまでの活動をさらに発展させ、藤沢市の国際化の推進の担い手となることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施 → → → → →					
期待される事業の成果	藤沢の魅力国内外にPRし、外国人市民との交流の促進、各団体活動、都市間交流の活性化により、国際色豊かな藤沢づくりが推進されます。					
担当部課	市長室国際課					

事業名	多様な国際交流推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-4-32-09-35-2	地域分権区分					
事業内容	<p>市民、関係団体、企業、大学等と連携・協働し、産業・経済など様々な分野での国際交流、都市親善及び多文化共生を推進することを目的に「(仮称)国際戦略ビジョン」を策定します。</p> <p>なお、策定に当たっては、(仮称)国際化協会設立準備会等との協働により計画づくりを進めます。</p> <p>1 (仮称)国際戦略ビジョンの策定 2 (仮称)藤沢市国際化協会設立に向けた支援及び多様な都市との国際交流、多文化共生事業に関する業務のスクラップアンドビルド実施 3 平成24年度以降は、(仮称)国際戦略ビジョンに基づく多様な国際交流事業を実施</p>					
活動指標	(仮称)国際戦略ビジョンに基づく多様な国際交流事業数(年間)					
目標値	現状値	-	3年後目標値	150事業	6年後目標値	180事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	新たに策定する(仮称)国際戦略ビジョンのもと、国際交流に関する市民・関係団体・企業・大学などの活動の拡大が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施 → → → → →					
期待される事業の成果	行政、市民、団体の役割や国際交流事業の取り組み内容及び姉妹友好都市交流、多文化共生事業の一体的推進など市としてめざすべき方向性が示され、国際色豊かな藤沢づくりが推進されます。					
担当部課	市長室国際課					

事業名	国際貢献都市推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
2-4-32-09-35-3	地域分権区分					
事業内容	<p>(仮称)国際戦略ビジョンに基づき、市民、活動団体、NPO、大学、企業等と行政が協働して、世界諸都市における大災害被災地への支援、開発途上国への支援など具体的行動へ向けた仕組みや情報提供、啓発活動、人材の育成など国際貢献活動に向けた事業を実施します。</p> <p>1 (仮称)藤沢市国際化協会と連携した効果的な国際貢献都市推進事業の実施 2 国際貢献、人材育成事業の実施</p>					
活動指標	国際貢献活動事業数(年間)					
目標値	現状値	—	3年後目標値	30事業	6年後目標値	60事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民・市民ボランティア・NPO・企業・行政が協働し、藤沢の資源・技術等を活用した公民連携による国際貢献活動が推進されることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	「国際協力・貢献」を行うことで、市民一人ひとりの行動が世界各地の貧困・地球温暖化等、国際問題の解消につながります。藤沢の資源・技術等を活用した公民連携による国際貢献活動を推進していくことにより、市民の国際貢献に向けた啓発が図られます。					
担当部課	市長室国際課					

事業名	平和都市宣言推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-4-32-09-36-1	地域分権区分					
事業内容	<p>日本非核宣言自治体協議会、平和市長会議と連携して2010年(平成22年)に開催した「平和の輪をひろげる湘南・江の島会議」の成果を踏まえ、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」等に基づき、市民、NPO、市民団体等と連携し、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた取り組みを進めます。</p> <p>1 平和教育事業の推進 子どもたちを被爆地へ派遣、語り部との交流事業等 2 市民と行政との協働事業の推進 「平和の輪をひろげる実行委員会」による平和活動 3 かながわ自治体平和アピールを踏まえた県市長会による平和推進会議等の開催 4 日本非核宣言自治体協議会、平和市長会議との連携強化、「平和の灯」モニュメント設置</p>					
活動指標	平和事業に参加した市民数(累計)					
目標値	現状値	7,210人	3年後目標値	7,500人	6年後目標値	8,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	2020年(平成32年)までに核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざしていく必要があり、より一層の市民団体、NPO等との連携が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	核兵器の廃絶及び恒久平和の実現のために、子どもたちへの平和教育事業や市民と行政による協働の平和事業を着実に実施し、また、日本非核宣言自治体協議会、平和市長会議の関係団体を含め多くの自治体と連携することで、核兵器のない平和な世界をめざした活動の輪がさらに大きく広がります。					
担当部課	経営企画部共生社会推進課					

事業名	航空機騒音対策推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-4-32-09-37-1	地域分権区分					
事業内容	<p>県及び関係市との広域連携や本市独自による航空機騒音問題の解消に向けた要請活動、住宅防音区域の拡大に向けた取り組みを強化します。</p> <p>1 厚木基地騒音対策協議会や県市連絡協議会を通じた騒音解消に向けた要請活動の実施</p> <p>2 住宅防音工事の円滑な実施と防音区域が全市域に適用となるよう国への要請活動の実施</p>					
活動指標	航空機騒音苦情対応件数(年間)					
目標値	現状値	269件	3年後目標値	200件	6年後目標値	150件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	航空機による騒音は、市民生活にとっても大変深刻な全市的な課題であり、この課題を解決するために、県及び関係市との広域連携が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	県及び関係市との広域連携や本市独自による航空機騒音の解消や住宅防音区域の拡大に向けた要請活動を継続的に政府機関等へ実施することで、諸問題解決に向けた活動が推進されます。					
担当部課	経営企画部共生社会推進課					

事業名	基地対策連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-4-32-09-38-1	地域分権区分					
事業内容	<p>広域連携として県及び関係市により、厚木基地騒音対策協議会や神奈川県基地関係県市連絡協議会の基地問題に関する要請活動を通して、日米両政府が示す日米軍再編の最終報告(ロードマップ)が着実に実施されるよう基地対策連携推進事業に取り組みます。</p> <p>1 空母艦載機を2014年(平成26年)までに厚木基地から岩国基地へ確実に移駐させるための要請活動</p>					
活動指標	防衛省・外務省への要請行動件数(年間)					
目標値	現状値	24件	3年後目標値	20件	6年後目標値	16件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	基地問題は、市民共通の苦しみであり、市民生活にとっても大変深刻な全市的な課題であり、この課題を解決するために、県及び関係市との広域連携が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	日米両政府が示す日米軍再編の最終報告(ロードマップ)が着実に実施されるよう空母艦載機の岩国基地への移駐要請など、政府関係機関等に対して、関係する自治体等と連携して取り組むことで、諸問題の解決に向けた活動が推進されます。					
担当部課	経営企画部共生社会推進課					



## 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産等、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

### 37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、「藤沢市ビオトープネットワーク基本計画」を策定し、藤沢らしい生物とのふれあいが市域全体で展開されるよう、ビオトープ空間とそのネットワークの構成などについて検討しています。
- ② 市内には、特別緑地保全地区が 35.8ha（東京ドーム約 7.6 個分）、保存樹林は 126.3ha（東京ドーム約 27 個分）あります。（2010 年（平成 22 年）3 月 31 日現在）
- ③ 市内の 1 人当たりの公園は 5.39 m<sup>2</sup>です。（2010 年（平成 22 年）4 月 1 日現在）
- ④ 藤沢市では、景観条例を 1989 年（平成元年）に制定し、特別景観形成地区を 2 地区、景観形成地区を 3 地区指定しています。（2011 年（平成 23 年）1 月 1 日現在）
- ⑤ 藤沢市では、市民の共有財産としての藤沢の景観を「市民目線」で発掘・再認識するとともに、藤沢の良好なまちなみの維持保全や魅力ある景観づくりを進めていくため、2010 年（平成 22 年）に「わがまちふじさわ景観ベストテン」を実施しました。



2010

大切にしていきたい・守っていただきたい・創っていただきたい  
わがまちふじさわ景観ベストテン

藤沢市

## 【戦略目標】

### 10 豊かな自然環境と地域資源を守り発展させ、次世代に継承するまち

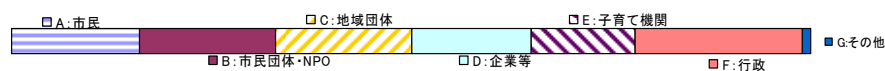
#### 【成果指標】

- ① 自然環境が豊かであると感じる人の割合
- ② 湘南海岸や川など自然景観の保全への満足度
- ③ 斜面緑地や樹木など緑の保全への満足度

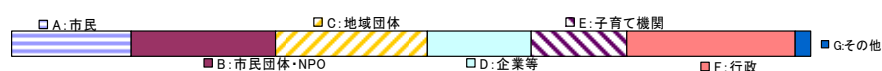
【現状値】 ①54% ②39% ③37%

【めざそう値】 3年後：①60% ②50% ③45% 6年後：①70% ②55% ③50%

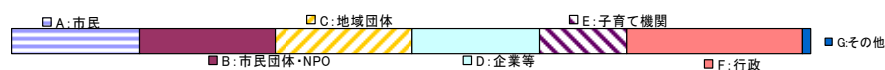
【役割の担い手】 ①A:16% B:17% C:17% D:15% E:13% F:21% G:1%



②A:15% B:18% C:19% D:13% E:12% F:21% G:2%



③A:16% B:17% C:17% D:16% E:11% F:22% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-39》 湘南海岸の美化と維持・保全の推進

＜成果の視点＞ 世界に誇れる湘南海岸であること

〔主要な指標〕 海水浴客数（毎年7～8月）

《政策-40》 自然豊かな田園環境の維持・保全の推進

＜成果の視点＞ 田園が維持・保全され、緑と治水、食の恵みの環境があること

〔主要な指標〕 水田の面積

《政策-41》 多様な動植物の生息・生育環境の保全・再生の推進

＜成果の視点＞ 生物多様性の維持された、海、川、みどりの生息・生育環境があること

〔主要な指標〕 ビオトープの数

《政策-42》 谷戸や緑地等自然環境の保全・再生の推進

＜成果の視点＞ 三大谷戸や緑地等が大切に守られていること

〔主要な指標〕 三大谷戸の整備進捗率



事業名 <b>養浜対策事業</b>						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-39-1	地域分権区分					
事業内容	2010年度(平成22年度)に県が策定した相模湾沿岸海岸浸食対策計画に基づき、県が実施する養浜事業の推進を図り、藤沢海岸の養浜と保全に取り組みます。 1 藤沢海岸の養浜の必要性を県に要望 2 観光資源の保全のため、本市の海岸浸食緊急時対応マニュアルの作成					
活動指標	緊急時対応マニュアル作成進捗率					
目標値	現状値	10%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢海岸の養浜対策は県が実施する事業ですが、市は県と連携して事業に取り組む役割を担います。また、台風等の緊急時の海岸浸食対応についても、県と連携して取り組みます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	湘南の顔である江の島・湘南海岸の観光資源の保全等が図られるとともに、観光シーズン等における緊急浸食時の影響の軽減が期待されます。					
担当部課	計画建築部建設総務課、経済部観光課					

事業名 <b>海岸管理研究事業</b>						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-39-2	地域分権区分					
事業内容	現在、県が管理している藤沢海岸を、多様な海浜活動の展開や地域に密着した海岸管理の充実に向け、近隣自治体との広域連携により、県からの権限移譲も視野に入れた検討を行います。 1 本市での海岸管理の課題について整理・検討 2 近隣市との広域的な研究 3 海岸管理者である県との調整					
活動指標	海岸管理の課題整理・検討の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	海岸管理の課題の整理・検討に当たって、市は近隣市との連携による広域的な研究に取り組みます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→				
期待される事業の成果	市で海岸管理を行うことにより、海岸でのイベント等の手続きの簡素化や新たな海岸活用が期待されます。					
担当部課	計画建築部建設総務課、経済部観光課					

事業名	農業用水路等改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-40-1	地域分権区分					
事業内容	<p>水田への安定した用水の確保は、農業生産の維持を図るうえで必要不可欠なものであるため、水田の農業生産者で組織した水利組合が実施する老朽化の著しい取水堰等の補修及び用水路・排水路の改修などに対して支援を行います。</p> <p>1 用水路・排水路の嵩上げや土留め設置などの改修に対する助成 2 取水堰や取水ポンプのオーバーホール等の施設改修に対する助成</p>					
活動指標	水路改修事業による受益面積(累計)					
目標値	現状値	6.5ha	3年後目標値	8.2ha	6年後目標値	10.7ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	水利組合が水路の改修などを行います。市は水利組合に対する支援並びに技術的指導及び助言を行い、関係機関との調整を図ります。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	水田への安定した用水の確保により農業生産の維持が図られます。また、継続的な水田の耕作によって、自然豊かな田園環境の維持・保全を推進し、大切な地域資源の次世代への継承が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	水田保全奨励事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-40-2	地域分権区分					
事業内容	<p>水田は、食料生産の場だけではなく、生物の多様性の確保や、癒しを与える景観面、雨水を貯留し河川への急激な流入を緩和する治水面での役割など、多様な機能を果たしています。水田の保全・拡大と環境保全型水稲栽培などに取り組む水田耕作者に対して支援を行います。</p> <p>1 水稲栽培奨励金の交付</p>					
活動指標	水田の面積(累計)					
目標値	現状値	107.6ha	3年後目標値	110ha	6年後目標値	113ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、JAさがみ、藤沢市水田農業推進協議会等と連携して水田耕作者に奨励金による支援を行います。農業者のほか援農ボランティア、農業生産法人等、後継者不足に対応する担い手が水田の耕作などを行い保全を図ります。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	水田が保全されることにより、洪水の緩和、緑豊かな環境の維持など多面的な機能を持つ水田を次世代に引き継ぐことができます。また、安全・安心でおいしい米が市内に流通することにより地産地消が推進され、豊かな市民生活の実現が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	農業体験型等市民農園開設支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-40-3	地域分権区分					
事業内容	耕作放棄地増加の未然防止や農家の安定的な経営及び自然環境の維持・保全のため、農家が農業経営の一環として開設する体験型農園で、畑の耕作から種や苗の準備までを農家が行い、本格的な野菜づくりなどの農業体験ができる「栽培収穫体験型市民農園」や、自ら耕作を行うことが困難な土地所有者等が農園利用を希望する市民に土地の区画貸しを行う「特定農地貸付法に基づく市民農園」について、その開設などに対し支援を行います。 1 「栽培収穫体験型市民農園」の開設に対する支援 2 「特定農地貸付法に基づく市民農園」の開設に対する支援					
活動指標	市民農園開設箇所数(累計)					
目標値	現状値	5か所	3年後目標値	10か所	6年後目標値	16か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、土地所有者による「栽培収穫体験型市民農園」の開設などに対し支援を行い、農業者が栽培から収穫までの指導を行います。「特定農地貸付法に基づく市民農園」については、市が土地所有者に対して農地の適正管理などの働きかけをし、土地所有者やNPO法人等が市民農園を開設します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	農業者が耕作できない農地を利用して市民農園として貸し出すことにより耕作放棄地となる農地の増加を未然に防ぐことができます。さらに、「栽培収穫体験型農園」の開設は、農家が継続して相続税の納税猶予を受けることができるため、農家の経営が安定し、市内の自然環境の維持・保全が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	自然環境共生推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-5-37-10-41-1	地域分権区分					
事業内容	貴重な自然環境を、広域的な連携を図りながら次世代に継承するとともに、市民を対象に自然保護意識の高揚、普及・啓発を図るため、自然環境実態基礎的調査を行い、市民への情報提供やビオトープネットワーク事業、生物多様性施策策定への活用を図ります。 また、みどりの広域的ネットワークづくりを進めるため、大和市との都市連携による自然環境実態調査及び自然観察会の実施に取り組みます。 1 ビオトープの整備及びビオトープ管理者養成講座の開催 2 自然環境実態調査の実施 3 生物多様性基本法に基づいた施策策定、「生物多様性保全の拠点づくり」の検討					
活動指標	①ビオトープ推進組織の設立進捗率 ②市民協働による自然環境実態調査実施進捗率					
目標値	現状値	①20%②0%	3年後目標値	①90%②70%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	多様な主体が役割を持ち協働体制でビオトープ事業の推進を図り、また、市民、市民団体、企業のCSR(社会的責任)活動など協働体制で自然環境実態調査を行い、調査データの構築・更新を図ります。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	自然保護意識の高揚、普及・啓発、自然環境の先進状況の把握、市民への情報提供やビオトープネットワーク事業等への活用、生物多様性の普及・啓発及び市域全体における藤沢らしい生物とのふれあいの展開が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

事業名	グリーンネットワーク構築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-37-10-42-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域経営会議から提案されている「みどりの保全」や「里山づくり」に対して全市的な「みどりの保全」に関する方針と地域まちづくり計画との整合を図り、実現に向けた地域まちづくり活動への支援を行います。</p> <p>さらに、地区ごとだけでなく、地域間の交流・連携により、みどりのネットワークを図ります。</p> <p>検討地区 御所見地区(里山・樹木の育成事業) 長後地区(貴重なみどりを守り残そう！事業) 善行地区(ぜんぎょう里山づくり事業) 藤沢地区(地域緑化運動事業) 辻堂地区(みどり保全事業)</p>					
活動指標	保全活動延べ人数(年間)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	1,000人	6年後目標値	2,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、複数の地域から提案されているみどりの保全、里山づくり等の地域まちづくり活動に対して地域特性を活かし、支援します。また、全市的な「みどりの保全」に関する方針と整合を図り、基盤整備が必要な場合は市が役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	地区ごとでの地域まちづくり活動の実現のみならず、地域間の交流・連携を図ることにより、みどりのネットワークを形成し、地域まちづくり活動の連携が図られます。					
担当部課	計画建築部建設総務課, まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

事業名	三大谷戸の保全事業(都市連携による川名緑地の保全)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-2	地域分権区分					
事業内容	<p>「川名清水谷戸」は、市街地に残された貴重な緑地であり、農地を含めた里地里山を市民共有財産として保全・継承するため、都市計画道路横浜藤沢線との共存を図るとともに、鎌倉市との都市連携による手広緑地・川名緑地の一体的な緑地保全をめざし、第1期期間内を目途に特別緑地保全地区等の都市計画決定を行います。</p> <p>また緑地部分は従来からみどり基金等による買収を進めていますが、今後も地権者からの要請に基づく一定程度の買収を実施し、早期に特別緑地保全地区等の指定・拡大を行い、市民管理協定の締結など民有緑地の維持管理に努め、貴重な緑地の保全を推進します。</p> <p>1 相続が発生した土地及び外周部分の土地の取得 2 鎌倉市との都市連携による緑地保全(特別緑地保全地区等の指定・拡大)</p>					
活動指標	用地取得(公有地)率					
目標値	現状値	43%	3年後目標値	43%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、特別緑地保全地区等の指定、用地の取得等を行い、多様な主体が役割を持って持続可能な体制を構築することにより、川名緑地の保全を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	藤沢駅至近部に位置し、新林公園、鎌倉市民有林に挟まれ、それらを併せると約50ヘクタールの広大な緑地を鎌倉市等との広域連携により保全することで、川名清水谷戸の特徴的な生物の保全、無秩序な市街化の防止、谷戸内を縦断する都市計画道路との共生が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

事業名	三大谷戸の保全事業(石川丸山緑地)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-3	地域分権区分					
事業内容	<p>「石川丸山谷戸」は、里地里山空間が残された貴重な自然環境を市民共有の財産として、都市緑地や特別緑地保全地区の指定等によって、後世に継承します。</p> <p>1 ゾーニングによる保全計画の策定及び都市緑地としての都市計画決定・用地取得  2 引地川特別緑地保全地区の拡大及び都市計画決定(石川色子地区10ha)  3 「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」適用地域の拡大</p>					
活動指標	用地取得(公有地)率					
目標値	現状値	30%	3年後目標値	30%	6年後目標値	40%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、事業説明、法的な手続等を担い、多様な主体が役割を持って持続可能な体制を構築することにより、石川丸山緑地の保全を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	石川丸山谷戸周辺地域は、市内において、特に生態系が多様な場所であるため、ビオトープネットワークの核エリアとしてその自然環境を保全することにより、石川丸山谷戸の特徴的な生物の保全とともに、次世代への継承が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

事業名	三大谷戸の保全事業(遠藤笹窪)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-37-10-42-4	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>2010年(平成22年)8月に策定した健康の森基本構想において、遠藤笹窪谷(谷戸)の保全を基調とすべき区域と都市機能の集積を図る区域のゾーニングに基づき、地域住民や自然保護団体との協働により基本計画を策定するとともに、地域活性化に資する施設整備を進めます。</p> <p>1 散策路整備及び里山再生  2 地域振興策、健康プログラム、環境教育プログラム等の検討・実施  3 公民連携による谷戸環境や緑地空間の保全及び管理手法の検討・実施  4 必要に応じて緑地の取得</p>					
活動指標	第2期整備区域内の事業用地取得率					
目標値	現状値	53%	3年後目標値	54%	6年後目標値	55%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、保全に向けた体制や手法の検討について、主体的な役割を担います。市民団体やNPO等には、管理運営の担い手として、主体的な役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	緑地の取得や散策路(フットパス)等整備、また公民連携による管理運営を推進することで、緑地及び里地里山・谷戸景観の保全が図られるとともに、地域振興及び市民の憩いの場としての利活用が図られることで「谷戸や緑地等自然環境の保全・再生の推進」に寄与します。					
担当部課	まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					

## 【戦略目標】

### 1.1 愛着と誇りの持てる景観の保全と創造するまち

#### 【成果指標】

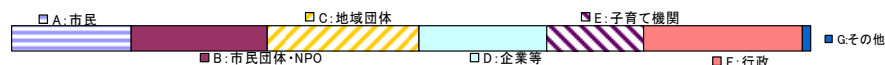
① 市内にお気に入りのまちなみや景観がある人の割合

② 美しい街並みなど、都市景観の形成への満足度

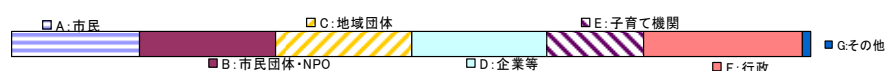
【現状値】 ①78% ②20%

【めざそう値】 3年後：①80% ②30% 6年後：①88% ②40%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:19% D:16% E:12% F:20% G:1%



②A:16% B:17% C:17% D:17% E:12% F:20% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-43》 地域の特性を活かした市民主体の景観まちづくりの推進

＜成果の視点＞ 地域の誇りとなる景観やまちを形成するためのルールづくりや、保全・整備により個性と風情があること

〔主要な指標〕 市内にお気に入りのまちなみや景観がある人の割合（20歳～40歳代）

《政策-44》 新たな都市拠点に相応しい土地利用・景観の誘導と保全

＜成果の視点＞ 新しいまちの象徴となる景観、まちのかたちがあること

〔主要な指標〕 景観構造ゾーンにおける地区での景観形成に関する活動数

事業名		景観資源推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業					
2-5-37-11-43-1	地域分権区分						
事業内容	<p>良好な都市景観の形成を図るために景観ベストテンを活用した景観意識の啓発を行うとともに、市民が主体となり、地域の特性を活かした景観まちづくりへの支援と推進を図ります。</p> <p>また、鎌倉市と藤沢市の都市連携により、湘南海岸地域の魅力を図るためのルールづくりを進めます。</p> <p>1 都市景観の意識啓発 2 市民が主体となった景観まちづくりの推進 3 景観重要公共施設、景観重要建造物、景観重要樹木の指定等 4 鎌倉市・藤沢市の都市連携による景観のルールづくり</p>						
活動指標	景観啓発イベントに参加した人数の累計						
目標値	現状値	130人	3年後目標値	500人	6年後目標値	1,000人	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	良好な地域の景観を維持保全し、新たな景観を形成していくには、市民の景観への関心と自主的な取り組みが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	地域の特性を活かした景観まちづくりの推進の実現に寄与します。						
担当部課	計画建築部景観課						

事業名		景観形成推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-5-37-11-44-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>景観計画に、本市の都市景観を構成する景観ゾーンとして、史跡名勝地の江の島をはじめ、藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅の各駅周辺や遠藤・御所見地区を位置づけており、その良好な景観の形成に向けて重点的に事業を展開します。</p> <p>また、工場などの移転などによる大規模な土地利用の転換が行われる場合には、周辺と調和した景観に誘導を図ります。</p> <p>1 特別景観形成地区／景観形成地区の指定及び景観形成基準の設定 2 景観形成協議会の設立・運営 3 景観法に基づく届出・認定申請における事前協議による景観誘導</p>						
活動指標	景観形成協議会の開催回数(累計)						
目標値	現状値	4回	3年後目標値	15回	6年後目標値	30回	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	景観形成地区の指定あるいは景観形成基準の策定に当たっては、地域住民・地権者・事業者などが主体となり、協議しながら定めます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	それぞれの地域にふさわしい景観形成の実現に寄与します。						
担当部課	計画建築部景観課						





## ふじさわ未来課題

### 45 地域の未来の担い手が育成されていること

～まちづくり情報～

- ① 市内各地区の公民館では、地域の伝統や風習などを学ぶ講座を実施しています。この講座では、高齢者から教えを受け、子どもたちが学ぶという、世代を超えた交流が行われています。
- ② 生涯学習においては、専門的知識だけではなく、地域性や活動経験など、幅広い能力が求められるため、藤沢市では社会教育コーディネーターを養成し、地域の課題や特性、ニーズに応じた学習事業の実施に向けた取り組みを進めています。
- ③ 世代間交流事業は、保育園や介護事業所によって定期的に行われています。
- ④ 藤沢市では、すべての子どもたちが本に親しむことができるよう、家庭・地域・学校で市民ボランティアと協働して、子ども読書活動を進めています。



## 【戦略目標】

### 12 地域づくりの未来の担い手が育つまち

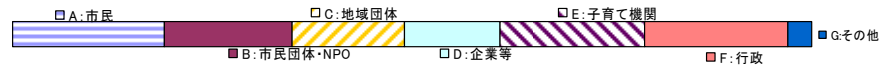
#### 【成果指標】

- ① 藤沢の未来を担う担い手が育っていると感じる人の割合
- ② 気軽に利用できる学習施設の充実への満足度

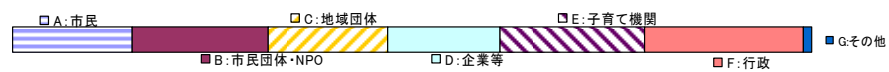
【現状値】 ①11% ②19%

【めざそう値】 3年後：①20% ②30% 6年後：①30% ②35%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:14% D:12% E:18% F:18% G:3%



②A:15% B:17% C:15% D:14% E:18% F:20% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-45》 地域づくりの担い手を育成する多世代が交流する生涯を通じた学習の推進

〈成果の視点〉 地域力を継承・発展するための気づきや学びの場があること

〔主要な指標〕 地域の課題や特性、ニーズに応じた学習事業の数

図書館・図書室を利用する人の割合

事業名	生涯学習推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-45-12-45-1	地域分権区分					
事業内容	<p>生涯学習ふじさわプランに基づき、市民主体の生涯学習の推進を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生涯学習に関わる多様な主体等と連携した生涯学習ネットワークの強化</li> <li>2 ボランティアによる生涯学習情報の収集・発信の検討</li> <li>3 市民人材の育成に向けた生涯学習大学事業の運営</li> <li>4 学習成果や知識・経験を発揮できる場づくりを推進する生涯学習人材バンクの運営</li> <li>5 学習権保障のための支援、社会教育関係団体等への支援のメニュー化の検討</li> <li>6 利用しやすい施設予約システム等の検討</li> <li>7 生涯学習ふじさわプランの推進と進捗管理</li> </ol>					
活動指標	講座受講後の活動者数(年間)					
目標値	現状値	376人	3年後目標値	400人	6年後目標値	450人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民の自主的な活動を促進するための環境整備を担います。市民や社会教育関係団体には、学習成果や知識・経験を、公民館の市民運営、社会教育及び生涯学習の振興に主体的に発揮することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	社会教育関係団体、公民館を運営する市民団体やボランティア団体、市内外の大学、カルチャーセンターなど、市民の生涯学習に関わる多様な主体が役割分担し連携しながら、生涯学習の推進を図ることができる環境と、学習成果や経験・知識を発揮でき市民力を活かせる仕組みづくりの構築が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	多様な世代による地域づくり推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-5-45-12-45-2	地域分権区分					
事業内容	<p>子どもの健やかな成長をめざすために実施してきた「PTA育成事業」「学校・家庭・地域連携推進事業」「おやじの会設置促進事業」を相互に関連づけながら、地域の教育力の向上と世代を超えた交流によって未来の地域社会の担い手を育成し、学校支援につなげます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 おやじの会の設置促進</li> <li>2 市民力・地域力向上のための事業の検討・実施</li> <li>3 地域の教育力の向上と学校支援に向けた事業の検討・実施</li> </ol>					
活動指標	「PTA」「地域協力者会議」「おやじの会」の協働による事業参加者数(年間)					
目標値	現状値	18,277人	3年後目標値	25,000人	6年後目標値	30,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	多世代が主体的に関わり合う活動の中で、各地域の様々な活動・組織の担い手となる後継者を発掘・育成することや、持続可能な地域活動及び学校支援の推進が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	子どもを軸とした多様な世代の連携により、地域づくりや地域の教育力の向上、学校支援が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	子ども読書活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-5-45-12-45-3	地域分権区分					
事業内容	<p>「ふじさわ子ども読書プラン2015(第2次藤沢市子ども読書活動推進計画)」に基づき、さらに子どもの読書環境の整備と読書機会の拡充を図ります。</p> <p>1 学校、保育園、地域子供の家などへの団体貸出の充実による子どもの読書環境の整備  2 本と子どもを結びつける司書教諭、学校図書館専門員や様々な市民ボランティアとの交流・研修の推進  3 学校図書館の運営等への支援</p>					
活動指標	子ども(0歳～18歳)の登録率					
目標値	現状値	39%	3年後目標値	42%	6年後目標値	45%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、子ども読書活動推進事業の方向性を示し、条件整備を担います。市民、市民ボランティア、NPOには、行政との協働・連携による、様々な子ども読書活動の実施が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	子どもの読書環境の整備や読書機会が拡大されることで、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につける」(子どもの読書活動の推進に関する法律)ことに寄与します。					
担当部課	生涯学習部総合市民図書館					

## 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

### 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化等の環境問題やエネルギー・食糧等の資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

### 49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市と茅ヶ崎市、寒川町は、湘南広域都市行政協議会で「湘南エコウェーブプロジェクト」として、電気自動車の導入促進、公共施設の緑化、レジ袋削減／マイバック持参キャンペーンなどを実施しています。
- ② 藤沢市では、2010年（平成22年）4月から、片瀬地区・鵜沼地区をモデル地域に、賛同店舗事業者・消費者団体等各種団体・市の三者でレジ袋削減に向けた具体的な取り組みを開始するため、活動母体として「藤沢市レジ袋削減推進モデル地域協議会」を設置しています。
- ③ 藤沢市では、2010年（平成22年）4月から、辻堂地区をモデル地区として、資源戸別収集を実施しています。



## 【戦略目標】

### 13 環境への負荷を軽減し、未来につなげる循環型社会の実現に取り組むまち

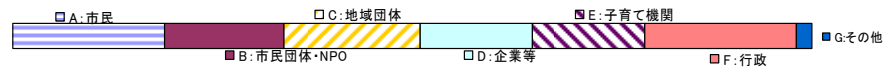
#### 【成果指標】

- ① ごみの分別や節電など、環境を意識した行動をしている人の割合
- ② リサイクルされているゴミの割合

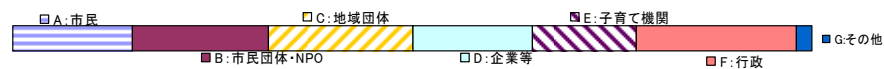
【現状値】 ①71% ②29%

【めざそう値】 3年後：①80% ②40% 6年後：①90% ②50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:17% D:14% E:14% F:19% G:2%



②A:15% B:17% C:18% D:15% E:13% F:20% G:2%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-46》 地域と協働したきれいで住みよい環境づくりの推進

＜成果の視点＞ 地域で暮らしやすい環境を守り育てていること

〔主要な指標〕 キャンペーン活動、ボランティア活動の延べ参加者数

《政策-47》 広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進

＜成果の視点＞ 近隣市町と連携して廃棄物が適正に処理されていること

〔主要な指標〕 廃棄物の資源化率

《政策-48》 廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進

＜成果の視点＞ ごみが少なくなり、資源が大切にされていること

〔主要な指標〕 廃棄物の減量率

《政策-49》 自然環境の保全と、環境負荷低減の推進

＜成果の視点＞ 自然環境が汚染されておらず、環境に負担の少ない処理がされていること

〔主要な指標〕 境川、引地川水系のBOD年平均値

事業名	サステナブル・スマート・タウン推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
2-6-49-13-46-1	地域分権区分					
事業内容	旧松下電器産業グループ事業所跡地(面積約19ヘクタール)について、公民連携により日本初の環境創造まちづくり拠点「FUJISAWAサステナブル・スマート・タウン」のまちづくりを推進します。					
	1 低炭素社会をリードする「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」による公民連携のまちづくり					
	2 太陽光発電, EV(電気自動車), 急速充電器ネットワーク, カーシェアリングの利用促進					
	3 住宅, 福祉・健康・教育施設, 生活支援機能から成る新たな地域再生					
	4 JR東海道本線を挟んだ南北地区間の交通円滑化を図る(仮称)南北線等の整備 5 タウン・エネルギー・マネジメントシステムの導入					
活動指標	タウン内におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	53%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市とパナソニック株式会社が主体的に事業を進める中で、福祉・健康・教育ゾーンにおける民間活力の導入が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	計画	実施	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	「環境創造まちづくり拠点」として、市内はもとより、国内各都市また世界に向け、「地域から地球に広がる環境行動都市・藤沢モデル」を発信するとともに、少子高齢社会に対応する施設導入を進めることで、環境に優しい新時代の都市形成が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課・環境都市政策課					

事業名	不法投棄防止等対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
2-6-49-13-46-2	地域分権区分					
事業内容	効果的な夜間パトロールや巡回, 指導・啓発の手法を検討・強化していくとともに、不法投棄をされない環境づくりと不法投棄されたごみに速やかに対応するため、各地区生活環境協議会及び自治(町内)会との協働により、パトロール・通報体制の充実を図ります。					
	1 夜間パトロールや巡回, 指導・啓発の手法検討					
	2 関係団体との協働によるパトロール・通報体制の充実化					
	活動指標	不法投棄件数・不法投棄量(年間)				
	目標値	現状値	1,522件	3年後目標値	1,400件	6年後目標値
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、不法投棄されやすい区域を重点監視区域と位置づけ、住民、警察等と連携して効果的なパトロール体制、通報体制の充実を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	良好な生活環境が保全され、不法投棄の防止の推進の実現に寄与します。					
担当部課	環境部環境事業センター					

事業名	ボランティア清掃事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-13-46-3	地域分権区分					
事業内容	<p>地域で暮らしやすい環境を守り育てることを目的に、ボランティア清掃事業を実施します。現在、市内各地区においては、生活連絡協議会が中心となり、ボランティア清掃が実施されています。今後も、市民・地域団体・NPO団体を中心としたボランティア清掃活動をさらに充実させるため、周知・啓発及び支援活動の推進を図ります。</p> <p>1 ボランティア清掃活動の周知・啓発 2 ボランティア清掃活動に係る支援活動の推進</p>					
活動指標	ボランティア清掃実施回数(年間)					
目標値	現状値	490回	3年後目標値	550回	6年後目標値	610回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、ボランティア清掃活動を充実させるための周知・啓発及び支援を行うとともに、市民団体や企業等と連携してボランティア清掃の充実化を図り、地域コミュニティの形成を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	地域内で、ボランティア清掃活動の充実により、地域住民、団体による自主的な環境美化活動が活発化し、環境美化に対する意識の普及・啓発が図られることにより、「地域と協働したきれいで住みよい環境づくりの推進」の実現に寄与します。					
担当部課	環境部環境事業センター					

事業名	リサイクルセンター運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-6-49-13-47-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「神奈川県ごみ処理広域化計画」による、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町で構成する「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」で策定した、「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」及び「藤沢市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ処理の広域連携を図り、藤沢地域の総合的な資源循環施設として(仮称)藤沢市リサイクルセンターを、PFI的手法(DBO+DBM方式)を用いて整備した後、特別目的会社(SPC)により20年間の良好な運営・維持管理を行います。</p> <p>1 ごみ処理の広域連携の推進 2 (仮称)藤沢市リサイクルセンターの運営・維持管理</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理率(年間)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	80%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、茅ヶ崎市・寒川町との広域連携を図るとともに、公民の連携による廃棄物の適正な処理及び環境啓発を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	広域連携を基本とした廃棄物処理の相互協力等、循環型社会形成の実現に寄与します。また、施設の運営に関して、公設公営方式と本事業方式(DBO+DBM方式)を比較し、VFM(費用対効果)で施設運営費の財源縮減効果が見込めます。					
担当部課	環境部資源廃棄物対策課					



事業名	リサイクルセンター整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-6-49-13-47-2	地域分権区分					
事業内容	<p>「神奈川県ごみ処理広域化計画」による、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町で構成する「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」で策定した、「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」及び「藤沢市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ処理の広域連携を図り、複合的な機能を持った総合的な資源循環施設として、(仮称)藤沢市サイクルセンターをPFI的手法(DBO+DBM方式)により整備します。</p> <p>1 市内より収集される不燃・大型ごみの処理を行う破碎処理施設の整備  2 ビン、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装等の処理を行う資源化施設の整備  3 リサイクル展示場の整備  4 ごみの減量・資源化に効果的な環境学習の拠点機能を備えた環境啓発施設の整備</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理率(年間)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、茅ヶ崎市・寒川町との広域連携を図るとともに、公民の連携による廃棄物の適正な処理及び環境啓発を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→			
(地域)						
期待される事業の成果	広域連携を基本とした廃棄物処理の相互協力等、循環型社会形成の実現に寄与します。また、施設整備に関して、公設公営方式と本事業方式(DBO+DBM方式)を比較し、VFM(費用対効果)で施設整備費の財源縮減効果が見込めます。					
担当部課	環境部資源廃棄物対策課					

事業名	環境施設整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-6-49-13-47-3	地域分権区分					
事業内容	<p>「神奈川県ごみ処理広域化計画」による、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で構成する「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」で策定した、「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」及び「藤沢市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ処理の広域連携を図り、藤沢地域の焼却施設として2021年度(平成33年度)まで稼働するために、2012年度(平成24年度)にかけて焼却設備の延命化工事を実施します。また、焼却設備の老朽化に伴う焼却炉の更新(更新工事は2019年度(平成31年度)から実施予定)を行います。</p> <p>1 施設の延命化  2 廃棄物の適正処理  3 余熱利用</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理率(年間)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、茅ヶ崎市・寒川町との広域連携を図るとともに、廃棄物の適正処理及びエネルギーの有効利用を図る役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	「広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進」と「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」による循環型社会の実現に寄与します。					
担当部課	環境部石名坂環境事業所					


事業名	バイオガス化施設整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-47-4	地域分権区分					
事業内容	<p>環境負荷の軽減及びCO2削減効果を期待できる環境に配慮したバイオガス化施設の整備を進めます。</p> <p>1 バイオガス化施設整備基本計画検討 2 施設整備基本設計業務及び事業方式の検討 3 生活環境影響調査及びアドバイザー業務 4 北部旧1号炉, 2号炉の解体工事及びバイオガス化施設の建設工事</p>					
活動指標	広域連携による廃棄物の適正処理率(年間)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、廃棄物の適正処理及びエネルギーの有効利用を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	「広域連携による廃棄物の適正処理及び環境啓発の推進」と「湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画」による循環型社会の実現に寄与します。					
担当部課	環境部資源廃棄物対策課					

事業名	資源有効利用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」で掲げた温室効果ガス削減目標の達成に向け、「基礎的取組」と「発展的取組」により、循環型社会の実現をめざします。</p> <p>《基礎的取組》 1 資源回収の推進, レジ袋削減の取り組み 2 エコキャップの回収, 資源率向上のための広報活動</p> <p>《発展的取組》 1 焼却灰の熔融化, ゴミ焼却発電の利用 2 雨水貯留槽設置補助の実施</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23.4%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、資源の有効利用を促進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	身近なところからできる資源物の有効利用とさらなる分別, 処分場の延命化を目的とする焼却灰の熔融化など「発展的取組」を推進することで、温室効果ガスの削減が図られます。					
担当部課	経営企画部環境都市政策課					

事業名	生ごみ堆肥化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
2-6-49-13-48-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域レベルでのごみの減量化・資源化を推進し、もって循環型社会の形成をめざすために、地域団体と連携した生ごみ堆肥化推進事業を実施します。</p> <p>1 50世帯程度の戸建ての住宅と50世帯程度の集合住宅を対象に、大型生ごみ処理機を各1台設置し、各家庭の生ごみを持ち寄り堆肥化を推進</p> <p>2 生成された堆肥の有効活用</p>					
活動指標	参加する世帯数(年間)					
目標値	現状値	0世帯	3年後目標値	100世帯	6年後目標値	100世帯
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域レベルにおける生ごみの堆肥化及び有効利用について、地域・市民の声を聴きながら、周知・啓発を行うとともに、市民団体等と連携して生ごみ堆肥化を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→			
期待される事業の成果	地域レベルにおける生ごみの資源化を図ることによって、環境負荷の軽減並びに循環型社会の形成の推進が図られます。					
担当部課	環境部資源廃棄物対策課					

事業名	資源品目別戸別収集事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-3	地域分権区分					
事業内容	<p>廃棄物の減量、有効利用及びリサイクルを推進するため、ごみ処理有料化3年後の検証にあわせ「負担に感じている資源の分別当番」、「資源集積所までの資源の運搬」、「集合住宅を中心とした家庭内における資源ストック場所の問題」、「資源集積所の諸課題」等の市民負担の軽減及び資源収集に対する課題を解消するとともに、さらなる分別徹底による資源の品質向上と回収量の増加に向けて資源の出しやすい環境づくりのため、資源の品目別戸別収集を実施します。</p> <p>1 資源品目別戸別収集の実施</p>					
活動指標	①資源化率(年間) ②減量率(年間)					
目標値	現状値	①29%②29%	3年後目標値	①30%②25%	6年後目標値	①35%②30%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、収集計画の立案並びに市民への減量及び資源化促進の啓発を行うとともに、地域住民や事業者等と協働、連携して資源品目個別収集を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施(一部)	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	「廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進」と「循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムの構築」の実現に寄与します。					
担当部課	環境部環境事業センター					

事業名	商品プラスチック資源化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-4	地域分権区分					
事業内容	<p>廃棄物の減量、有効利用及びリサイクルの推進とさらなる分別徹底による資源の品質向上と回収量の増加を目的とし、現在有料で収集している不燃ごみの品目から一部を資源品目に追加指定し、市民負担の軽減を図ります。</p> <p>1 商品プラスチックの資源化</p>					
活動指標	①資源化率(年間) ②減量率(年間)					
目標値	現状値	①29%②29%	3年後目標値	①30%②25%	6年後目標値	①35%②30%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、収集計画の立案並びに市民への減量及び資源化促進の啓発を行うとともに、地域住民や事業者等と協働、連携して商品プラスチック資源化を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	「廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進」と藤沢市一般廃棄物処理基本計画の基本方針「循環型社会にふさわしい最適なごみ処理システムの構築」の実現に寄与します。					
担当部課	環境部環境事業センター					

事業名	ごみ減量推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-48-5	地域分権区分					
事業内容	<p>廃棄物の減量、有効利用及びリサイクルを推進するため、住民・事業者へごみの減量・資源化の必要性や重要性を広報し、減量・資源化に関する事業を実施します。</p> <p>1 ごみ処理有料化による減量・資源化効果の継続維持 2 効率的な指定収集袋制度の運営及び住民・事業者への広報 3 小学生へのごみ体験学習の実施 4 資源とごみの分け方・出し方、「ごみNEWS」の作成・配布 5 レジ袋削減に向けた取り組みの促進 6 藤沢市廃棄物減量等推進審議会の開催 7 コンポスト容器、電動生ごみ処理機の斡旋、購入費補助 等</p>					
活動指標	①資源化率(年間) ②減量率					
目標値	現状値	①29%②29%	3年後目標値	①30%②25%	6年後目標値	①35%②30%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、収集計画の立案並びに減量及び資源化を促進するための啓発・広報を行うとともに、地域住民や事業者と協働、連携してごみの減量、資源化を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	「廃棄物の減量と有効利用及びリサイクルの推進」並びに「地球温暖化防止の推進」の実現に寄与します。					
担当部課	環境部環境事業センター・資源廃棄物対策課					

事業名	し尿処理施設整備関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-49-1	地域分権区分					
事業内容	<p>し尿・浄化槽汚泥の処理量は、公共下水道の普及に伴い処理量が減少していること及び県道菖蒲沢戸塚線の拡幅により、処理施設が道路用地にかかることから、将来のし尿処理量にあわせ処理能力や処理方法及び事業手法を検討し、施設再整備を行うことによって、適正規模の運転による処理と施設の長寿命化を実現します。</p> <p>1 し尿処理施設の処理能力、処理方法及び事業手法の検討 2 施設整備</p>					
活動指標	施設整備に係る進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、環境に負担の少ない廃棄物処理と施設の長寿命化を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	施設規模の縮小や処理方法の見直しにより、効率的な施設運営と環境負荷低減の推進に寄与します。					
担当部課	環境部北部環境事業所					

事業名	水、空気、土壌等の環境保全事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-49-2	地域分権区分					
事業内容	<p>環境基本計画の環境像「環境に優しく空気や川のきれいな藤沢」を達成するため、施策の方向性にある大気・地下水・土壌汚染等の監視体制の整備や大気の発生源対策、水質汚濁対策を進めるとともに、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、土壌汚染対策法等の法令に基づき行う常時監視及び事業所等の指導により環境保全を図り、未来につなげる循環型社会の実現に取り組みます。また、新たに微小粒子状物質が環境基準に追加指定されたため、大気汚染防止法に基づき微小粒子状物質(PM2.5)を測定監視するための機器の整備を行い、大気汚染の常時監視の強化を図ります。</p> <p>1 常時監視及び事業場等への指導 2 微小粒子状物質も監視対象に加え、大気汚染常時監視の強化</p>					
活動指標	環境基準達成率(年間)					
目標値	現状値	94%	3年後目標値	97%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、土壌汚染対策法等の法令に基づき行う常時監視及び事業所等の指導等により市内の環境保全を図るとともに、市民の健康保護及び生活環境保全のため、環境基準項目の状況を把握し、市民に公表する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	→	計画	実施	→	→
期待される事業の成果	「地域から地球に広がる環境行動都市」及び「地球温暖化防止など未来の地球環境への投資」の実現に寄与します。					
担当部課	環境部環境保全課					

事業名	汚水処理施設整備・普及促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-13-49-3	地域分権区分					
事業内容	<p>市民の生活排水を適切に処理し、快適な生活環境を実現するため、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、公共下水道全体計画区域を見直し、下水道整備区域と合併処理浄化槽設置促進区域を区分し、効率的な汚水処理施設の整備を推進します。</p> <p>1 汚水管渠の整備・普及による河川等の公共用水域の環境保全 2 合併処理浄化槽設置促進による河川等の公共用水域の環境保全</p>					
活動指標	整備面積(累計)					
目標値	現状値	約4,620ha	3年後目標値	約4,680ha	6年後目標値	約4,710ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>市は、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、下水道整備区域における公共下水道(汚水管渠)の整備を進めます。合併処理浄化槽設置促進区域については、補助制度の活用により地域市民による合併処理浄化槽設置が期待されます。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>汚水管渠の整備・普及や合併処理浄化槽の設置促進により生活排水が適切に処理され、水環境の保全が図られます。</p>					
担当部課	土木部土木経営課・下水道整備課・土木維持課					

## 【戦略目標】

### 14 地域から低炭素社会をめざし、行動するまち

#### 【成果指標】

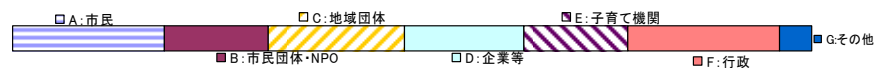
- ① 大気・水・土壌などの環境汚染防止への満足度
- ② レジ袋を辞退する割合
- ③ 藤沢市内住宅用太陽発電系統連携普及率

【現状値】 ①19% ②36% ③1.5%

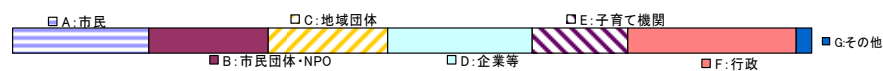
【めざそう値】 3年後：①30% ②50% ③3.0%

6年後：①40% ②55% ③6.0%

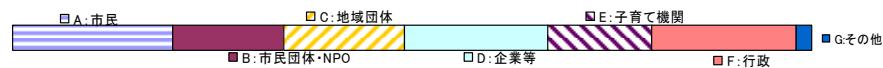
【役割の担い手】 ①A:19% B:13% C:17% D:15% E:13% F:19% G:4%



②A:17% B:15% C:15% D:18% E:12% F:21% G:2%



③A:20% B:14% C:15% D:18% E:13% F:18% G:2%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-50》 環境にやさしい交通手段の促進

＜成果の視点＞ 環境に負担の少ない交通手段で移動していること

〔主要な指標〕 主要駅の乗車客数の合計

《政策-51》 環境に配慮した建築物の普及の推進

＜成果の視点＞ 環境に負担の少ない建物の維持管理と、その建設開発誘導がすすんでいること

〔主要な指標〕 公共施設におけるLED化率

《政策-52》 地球温暖化防止活動の推進

＜成果の視点＞ 地球温暖化防止に市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等と行政が連携して取り組んでいること

〔主要な指標〕 温室効果ガス削減累積量

事業名	バイオマス燃料利用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-50-1	地域分権区分					
事業内容	<p>環境にやさしい交通手段の促進及び循環型社会にふさわしい最適ごみ処理システムを構築するため、廃棄物の再生利用及びその成果物の利用を推進します。</p> <p>1 各家庭から収集した廃食用油をバイオディーゼル燃料として再生し、塵芥収集車への利用実験の実施</p> <p>2 各家庭から収集した廃食用油を塗料、石けん等への原料に再利用</p> <p>3 植物資源由来の石油代替燃料の利用研究</p>					
活動指標	CO2削減量(年間)					
目標値	現状値	37,000kg/CO2	3年後目標値	37,000kg/CO2	6年後目標値	37,000kg/CO2
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、塵芥収集車への使用実験及びリサイクルの普及・啓発を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→			
(地域)						
期待される事業の成果	バイオディーゼル燃料使用によるCO2削減効果が見られます。また、塵芥収集車にバイオディーゼル燃料を使用することで、地球温暖化防止等への啓発効果が図られます。					
担当部課	環境部環境事業センター					

事業名	自転車走行環境整備計画策定事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-6-49-14-50-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市都市マスタープランでは、都市づくりの基本方針として掲げる「低炭素社会構築に向けた都市づくり」の中で、公共交通網の強化とともに、歩行者や自転車が移動しやすい交通環境の充実が位置づけられています。</p> <p>その実現を図るために、自転車利用の実態調査を実施し、自転車によるネットワークの構築や自転車走行環境の改善、バイクシェアリングと連動したモデルケースの検討、利用者のマナー向上に関するソフト施策等に関する研究を行うとともに、隣接市等とも連携しながら、自転車走行環境の整備に関する計画を策定し、それに基づき各事業主体が連携して事業を実施します。</p> <p>1 自転車走行環境の整備計画の策定</p>					
活動指標	自転車走行環境の整備計画の策定					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は隣接市等と連携しながら考え方をまとめ、バイクシェアリングなどの実施に当たっては企業の協力を得ながら進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→				
(地域)						
期待される事業の成果	自転車走行環境の整備に関する市の考え方を都市交通体系策定に含め検討を図ることで、低炭素型交通環境の形成や環境と共生する都市づくりが期待されます。					
担当部課	計画建築部都市計画課					



事業名	地域公共交通システム充実促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-6-49-14-50-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	地域における身近な交通手段の確保に関しては、様々な交通システムに関する意見や要望が強くあることから、地域に適した公共交通システムの導入を図ります。 検討に当たっては、市民と協働・連携して研究を進め、具体的な課題について整理を行ったうえで、公共交通システムの導入について、市民や企業が実施することに関し、必要な施策の支援を行います。 1 公共交通システムの調査及び研究 2 公共交通システム導入のための地域における試運行支援 3 公共交通システム導入のための地域における実証運行支援						
	活動指標	地域公共交通の課題解決に取り組む地区数(累計)					
	目標値	現状値	0地区	3年後目標値	2地区	6年後目標値	4地区
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域における様々な交通課題の解決に向けては、地域特性に応じたより身近な視点から地域が主体的に取り組むことが期待され、市はその取り組みを支援します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討・計画	計画・実施	→	→	→	→	
(地域)	検討・計画	計画・実施	→	→	→	→	
期待される事業の成果	地域が主体的に取り組むことで、持続性のある地域公共交通システムの構築が図られます。						
担当部課	計画建築部都市計画課						

事業名	長期優良住宅等促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
2-6-49-14-51-1	地域分権区分						
事業内容	環境に配慮した建築物の普及及び促進の実現に向け、低炭素社会の実現に寄与する住宅として長期優良住宅の普及及び促進を図ります。 1 低環境負荷・省エネルギー性等の住宅の良さや、税の優遇制度があることを紹介するなどの啓発活動の実施 2 低炭素社会に向けた建築物の促進のため、神奈川県建築物環境性能表示制度の普及に向けた検討の実施						
	活動指標	長期優良住宅認定件数の建築確認件数に対する割合(年間)					
	目標値	現状値	10%	3年後目標値	15%	6年後目標値	20%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	長期優良住宅の建築は市民等建築主の自己投資が必要となります。 そこで市は、長期優良住宅が環境に優しいことをアピールするとともに、優遇制度の紹介を行うことで普及促進を図る役割を担います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	環境に配慮した住宅・建築物の普及及び促進が期待されます。						
担当部課	計画建築部建築指導課						

事業名	公共工事等環境配慮事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-51-2	地域分権区分					
事業内容	<p>公共建築物の建設に当たっては、環境コストの削減を重視し、施設におけるエネルギー消費量や温室効果ガス排出量の削減効果を検証し、データの蓄積とともに新たな施設建設の削減目標の設定を行い、環境に配慮した公共施設の実現を図ります。</p> <p>また、新たな環境施策としての新技術・新工法等の動向を把握し、継続的に研究を進めます。</p> <p>1 高性能断熱材・高日射遮蔽窓ガラスの採用や緑化の推進等による熱負荷の低減  2 環境負荷の少ない材料の使用や再生資材等を有効利用した省資源対策の実施  3 自然採光・自然通風・太陽光発電・雨水利用等の自然エネルギーの活用  4 空調設備・照明器具等の高効率設備機器の積極的な導入</p>					
活動指標	公共建築物の建設において設計・施工段階での環境保全への取り組みの実施率					
目標値	現状値	50%	3年後目標値	75%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、環境コストの削減に積極的に取り組みます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	公共建築物における環境への寄与が図られるとともに、市が環境コストの削減に積極的に取り組むことで、民間建築物への波及も期待されます。					
担当部課	計画建築部公共建築課					

事業名	地球温暖化対策普及啓発事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」で掲げた温室効果ガス削減目標の達成に向け、新しい公共の視点に立ち、様々な主体の役割を明確にしながら地球温暖化対策の普及啓発を中心とした「基礎的取組」を推進します。</p> <p>1 環境フェアや環境大賞事業の推進による家庭における実践活動や事業活動の推進  2 ふじさわエコ日和によるエコライフチェックの拡大や環境情報の提供  3 エコポイント制度の拡充や「環境モニター制度」の創設による市民意識の向上の促進  4 環境ハンドブックの全戸配付による家庭における実践活動の推進  5 サステナブル・スマート・タウンの実施結果を活用した啓発施策の推進</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、普及啓発事業を推進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	普及啓発事業により、エアコンの温度設定(冷房28度、暖房20度)、こまめな消灯、冷蔵庫の最小限の開閉、エコドライブ運転などの「基礎的取組」を実践することで、温室効果ガスの削減が図られます。					
担当部課	経営企画部環境都市政策課					

事業名	温室効果ガス発生抑制事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-2	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」で掲げた温室効果ガス削減目標の達成に向け、「基礎的取組」と「発展的取組」により、温室効果ガスの削減を図ります。</p> <p>《基礎的取組》</p> <p>1 イルミネーションライトダウンの実践, アイドリングストップ・ノーカーデーの実践</p> <p>《発展的取組》</p> <p>1 電気自動車導入助成制度の実施</p> <p>2 省エネ・創エネ・蓄エネ技術を活かした「サステナブル・スマート・タウン」の実現</p> <p>3 バイクシェアリング拡大, EVシェアリングの検討, EVバス実証実験の導入検討</p> <p>4 地産地消の推進による運送のエネルギーの削減</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、市だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、「基礎的取組」の実践及び「発展的取組」を推進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	イルミネーションライトダウン, アイドリングストップ, ノーカーデーの実践といった「基礎的取組」, 電気自動車導入, エネルギーの地産地消, 自転車利用の促進などによる「発展的取組」を推進することで、温室効果ガスの発生抑制が図られます。					
担当部課	経営企画部環境都市政策課					

事業名	温室効果ガス吸収促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-3	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」で掲げた温室効果ガス削減目標の達成に向け、「基礎的取組」と「発展的取組」により、温室効果ガスの吸収源となる緑地の保全を進めます。</p> <p>《基礎的取組》</p> <p>1 三大谷戸など良好な緑地における保全活動</p> <p>2 屋上緑化の推進, 間伐材を利用したマイ箸運動の推進</p> <p>3 市民力, 地域力を活用した広域連携による里山保全</p> <p>《発展的取組》</p> <p>1 持続的な環境を維持するため緑地取得, 広域連携による共同植林の実施</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、市だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、「基礎的取組」の実践及び「発展的取組」を推進し、温室効果ガスの吸収源である緑地の保全を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	三大谷戸をはじめとする緑地の保全, 屋上・壁面緑化が推進されることで、温室効果ガスの吸収が図られます。					
担当部課	経営企画部環境都市政策課					

事業名	ヒートアイランド対策推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-4	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」で掲げた温室効果ガス削減目標の達成に向け、「基礎的取組」と「発展的取組」により、ヒートアイランド対策を推進します。</p> <p>《基礎的取組》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公共施設等への「緑のカーテン」の設置拡大</li> <li>2 新設する公共施設へ「屋上緑化」を設置、打ち水の市内全域への拡大実施</li> </ol> <p>《発展的取組》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公立保育園全園の園庭及び市立小・中学校全校の校庭の芝生化の実施</li> <li>2 ビオトープや水田の保全</li> </ol>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、市だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、「基礎的取組」の実践及び「発展的取組」を推進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	公共施設への「緑のカーテン」の設置や屋上緑化の推進で室内温度上昇の緩和や温室効果ガスの吸収などが図られます。					
担当部課	経営企画部環境都市政策課					

事業名	再生可能エネルギー利用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-5	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」に掲げた温室効果ガス削減目標の達成に向け、「発展的取組」である、太陽光・バイオマス・大気熱等の再生可能エネルギーの普及とマネジメントの確立を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住宅用太陽光発電システムの補助制度の実施</li> <li>2 事業用施設への太陽光発電システムの導入誘導</li> <li>3 家庭用ヒートポンプ導入への補助制度の創設</li> <li>4 家庭用燃料電池導入への補助制度の創設</li> <li>5 バイオガス化施設での発電</li> </ol>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、市だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図り、再生可能エネルギーの普及を推進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	住宅用太陽光発電システム、家庭用ヒートポンプ、家庭用燃料電池、バイオマス発電などが普及促進されることにより、温室効果ガスの削減が図られます。					
担当部課	経営企画部環境都市政策課					

事業名	地球温暖化対策率先行動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-6	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」で掲げた温室効果ガス削減目標の達成に向け、「基礎的取組」と「発展的取組」により、市も一事業者として率先して取り組みを強化します。</p> <p>《基礎的取組》</p> <p>1 公共施設の緑化事業(壁面・屋上)実施, 公用車のエコドライブの実践</p> <p>2 新たな環境マネジメントシステムの実施</p> <p>《発展的取組》</p> <p>1 公用車へ電気自動車など環境配慮型車両の導入, 公共施設へLED照明管の導入</p> <p>2 公共施設の建て替え及び改修時に省エネ機器の導入</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は一事業者として地球温暖化を防止するために、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体と連携を図りながら、先導的な取り組みを実践します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市も一事業者として、藤沢市地球温暖化対策実行計画と整合を図りながら、先導的に取り組みを実践していくことで、市域温室効果ガスの削減が図られます。					
担当部課	経営企画部環境都市政策課					

事業名	地球温暖化対策広域連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
2-6-49-14-52-7	地域分権区分					
事業内容	<p>「藤沢市地球温暖化対策実行計画」で掲げた温室効果ガス削減目標の達成に向け、近隣自治体と連携し、温室効果ガスの削減策を推進します。</p> <p>1 EV(電気自動車)ネットワークの推進</p> <p>2 緑の保全の共同推進</p> <p>3 環境イベントの連携開催</p> <p>4 啓発のための広報活動</p> <p>5 都市連携による緑地の保全及びバイクシェアリングのネットワーク拡大</p>					
活動指標	1990年(平成2年)比-40%に向けた温室効果ガス削減量					
目標値	現状値	-23%	3年後目標値	-28%	6年後目標値	-32%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地球温暖化を防止するために、国・県・近隣自治体と連携し、また、市だけでなく、市民・事業者・NPO等活動団体・大学など様々な主体が連携を図ることにより、広域的に地球温暖化対策を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	近隣自治体と連携し温室効果ガス削減を図るため、各種プログラムを実践・PRすることで市域内から隣接する自治体区域内の温室効果ガスの削減が図られます。					
担当部課	経営企画部環境都市政策課					

事業名	建物緑化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
2-6-49-14-52-8	地域分権区分					
事業内容	<p>緑豊かな都市景観の創出及びヒートアイランド現象の緩和を図るため、建物緑化への助成、商業地域・近隣商業地域における建築行為の際の建物緑化の義務化に伴う助成実施とともに、市内の優れた建物緑化の表彰を行います。</p> <p>また、緑のカーテン用種子の配布、公共施設における建物緑化(緑のカーテン含む)の設置、公共施設におけるPR用看板・ポスター等の掲示、商業施設や集合住宅に対する各種PRの実施に努め、さらなる普及・啓発を図ります。</p> <p>1 建物緑化助成事業の実施(3年ごとに面積ベースでおおむね50%増をめざす)  2 建物緑化賞の表彰  3 建物緑化の普及・啓発事業の実施(緑のカーテン用種子配布、公共施設建物緑化等)</p>					
活動指標	①建物緑化助成面積(累計) ②建物緑化助成件数(累計)					
目標値	現状値	①1,203㎡②41件	3年後目標値	①1,827㎡②128件	6年後目標値	①2,451㎡②215件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	建物緑化の普及には、市民・事業者・大学など各主体の自己投資が必要となります。そのため、行政は、助成及び技術的な情報提供等を含め、普及啓発に努めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市民及び事業者に対する建物緑化施設整備への助成、普及啓発を推進することにより、ヒートアイランド現象の緩和、過剰乾燥防止、省エネルギー(夏期の温度上昇軽減、冬期の保温等)、及び生物の生息空間の確保やビオトープネットワークの創出等が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

都市ビジョン3  
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化等、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業等、市民力、地域力、大学力、企業力等の連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

～まちづくり情報～

- ① 市内では、近年の経済情勢により、企業の転出が進み、産業構造の変化が生じています。
- ② 市内の大学と財団法人藤沢市産業振興財団によるインキュベーション事業によって、起業が進みつつあります。
- ③ 藤沢市では現在、辻堂駅北口地区で湘南C-X(シークロス)都市再生事業により、広域連携都市拠点の整備が進められています。
- ④ 藤沢市の都市計画においては、市街化区域が約67%、市街化調整区域が33%となっています。
- ⑤ 藤沢市の年間観光客数は、2009年度(平成21年度)に、海水浴客を含め、約1,380万人となっています。



## 【戦略目標】

### 15 新しい産業の興る活力あるまち

#### 【成果指標】

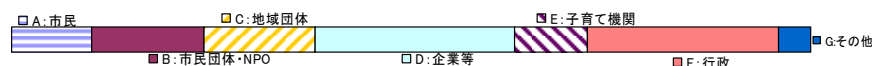
① 新しい産業の立地への満足度

② 事業所税額（決算収入済額）

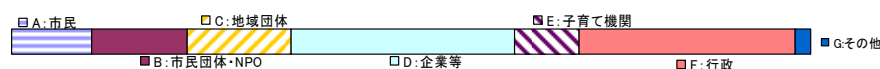
【現状値】 ①11% ②2,120百万円

【めざそう値】 3年後：①15% ②2,220百万円 6年後：①22% ②2,500百万円

【役割の担い手】 ①A:10% B:14% C:14% D:25% E:9% F:24% G:4%



②A:10% B:12% C:13% D:28% E:8% F:27% G:2%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-53》 広域連携による都市ビジネスモデルの構築

＜指標の視点＞ 市町の連携による、交通ネットワーク等の特性を活かしたビジネスモデルがあること

〔主要な指標〕 リビングラボの利用件数

《政策-54》 研究開発拠点や研究開発力の高い企業の集積をめざす企業立地促進

＜成果の視点＞ 企業誘致や既存企業の再投資の誘発によって、研究開発機能が集積した都市への転換が促進され、活力のあるまちであること

〔主要な指標〕 企業立地等事業計画認定企業の税收効果

《政策-55》 産学官連携による起業支援・新産業創出の推進

＜成果の視点＞ ベンチャー企業や既存企業の新事業進出が増え、新たな活力があること

〔主要な指標〕 インキュベーション施設卒業企業の市内定着率



事業名	中小企業国際展開支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-53-1	地域分権区分					
事業内容	<p>中小企業の販路拡大に向けた支援として、フィンランドオウル市等との技術や産業を通じた都市連携のもと、ベンチャー企業をはじめとする中小企業と海外の企業とのビジネスマッチングを日本貿易振興機構(ジェトロ)等と連携し促進します。</p> <p>1 中小企業と海外の企業とのビジネスマッチングの促進  2 広域連携によるICT等を活用したリビングラボ事業等、新製品・新社会システムのフィールド実証実験を行うための環境整備や支援の実施  3 中国や韓国をはじめとするアジア圏との産業を中心とした国際都市連携の推進</p>					
活動指標	国際展開支援の累計件数					
目標値	現状値	9件	3年後目標値	40件	6年後目標値	70件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、国際展開支援を希望する中小企業を日本貿易振興機構(ジェトロ)や神奈川県が実施する支援策への橋渡しを行います。(財)藤沢市産業振興財団は、海外の企業とのビジネスマッチングの企画や参加企業の呼びかけなどを行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	中小企業と海外の企業とのビジネスマッチングの促進やリビングラボ事業等、新製品・新社会システムのフィールド実証実験を行うための環境整備や支援を行うことで、地域経済の活力再生と雇用の創出や税収増が見込まれます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	中小企業金融対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-54-1	地域分権区分					
事業内容	<p>中小企業の経営の安定と振興を図るため、低利な公的融資(以下「制度融資」)を取扱金融機関・神奈川県信用保証協会と連携し実施します。また、制度融資活用時の利用企業の負担を軽減するための助成を行います。中小企業融資制度の根幹である「中小企業支援資金」については、融資限度額等の拡充を行います。</p> <p>1 中小企業支援資金の融資  2 事業協同組合育成資金の融資  3 景気対策特別資金の融資  4 雇用安定対策特別資金の融資  5 小規模企業緊急資金の融資  6 中小企業融資制度利子補給・信用保証料補助  7 代位弁済発生時の保証協会への補助  8 金融対策関係事務(パンフレット・申請書の作成)</p>					
活動指標	①延べ融資件数(百件) ②延べ融資金額(億円)					
目標値	現状値	①10②92.3	3年後目標値	①14②123.7	6年後目標値	①17②147.4
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	制度融資は、市・金融機関・信用保証協会の3者連携により事業展開します。市は、年度ごとに制度の構築を行い、金融機関・信用保証協会は、制度に基づき融資・保証を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	制度融資の充実により、中小企業の経営の安定と振興が図られるとともに、神奈川県制度融資のうち、「創業支援融資」・「スタートアップ融資」を利用した事業者を対象に利子補給等の充実した補助制度を実施することにより、起業家育成・ベンチャー支援の充実が図られます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	企業立地等促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-54-2	地域分権区分					
事業内容	<p>産業の活性化と雇用機会の拡大を図り、本市の経済発展と市民生活の向上に寄与するため、中小企業に重点を置いた企業立地等支援施策により、新産業の森への企業誘致の促進と市内工業系地域における既存企業の再投資の誘発を図ります。</p> <p>1 税制上の支援措置 2 企業立地雇用奨励補助金 3 企業立地促進融資利子補助金 4 企業立地に関する情報収集や誘致活動の実施</p>					
活動指標	企業立地等事業計画の認定数(累計)					
目標値	現状値	52件	3年後目標値	70件	6年後目標値	80件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、産業用地の創出及び企業誘致、既存企業の再投資の誘発を図るための支援策を実施し、立地企業等により雇用創出など産業の活性化を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施		→	→	→	→	→
期待される事業の成果	企業誘致や既存企業の再投資の誘発を図ることにより、産業の活性化による雇用の創出や税収増が見込まれます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	新産業の森整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-54-3	地域分権区分					
事業内容	<p>研究開発企業の集積や市内中小企業の移転を進めることにより地域経済の活性化、雇用の安定創出を図るため、西北部地域総合整備における重点プロジェクトの一つである新産業の森において、地域住民との協働による組合土地区画整理事業を実施し、新たな産業ゾーンの創出を図ります。</p> <p>計画整備区域 約23ha(葛原地区特定保留区域)</p> <p>1 新産業の森北部地区組合土地区画整理事業(第1期整備) 約9.2ha 2 第7回線引き見直しにおける特定保留区域の設定(区域拡大)</p>					
活動指標	新産業の森北部地区の整備率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	60%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、企業誘致やまちづくりへの支援等の役割を担います。土地区画整理組合等には、都市基盤整備の事業主体としての役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
検討・計画		実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	本市における新たな産業拠点を周辺自然環境と調和しながら基盤整備を進めることで、地域活性化、並びに雇用の安定確保が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					

事業名	新産業創出事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-55-1	地域分権区分					
事業内容	<p>21世紀にふさわしい新産業、新事業の創出を図るため、市内4大学及び近隣大学と市内企業や起業家等との産学官連携を進めるとともに、コンテンツ産業などのベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業の進出及び展開を支援します。</p> <p>1 「湘南ビジネスコンテスト」等の湘南新産業創出コンソーシアム事業の推進  2 産学・産産連携や知財活用の促進を支援する中小企業イノベーション支援事業の実施  3 市内インキュベーション施設における入居者支援事業の実施  4 (財)藤沢市産業振興財団の広域展開による新産業創出の促進</p>					
活動指標	①ビジネスコンテスト応募者数(累計) ②イノベーション支援事業の支援企業数(累計)					
目標値	現状値	①195人②14法人	3年後目標値	①270人②45法人	6年後目標値	①345人②75法人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、企業が大学や関係機関等との連携を促進するためのビジネスマッチングや技術提携の場の提供、ベンチャー企業育成のための助成を行い、(財)藤沢市産業振興財団が主体となり新産業創出のための事業を実施します。企業は、産学・産産連携の促進による新産業の創出を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	中小企業やベンチャー企業の抱える技術課題や知的財産課題を掘り起こし、研究機関や大学への橋渡しを行うことで技術革新の進展に寄与し、新事業の創出や販路拡大など中小企業の活性化が図られます。また、ベンチャー企業の育成支援により起業家による新たなビジネス展開の創出を促進し、地域経済の活性化が図られます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	健康と文化の森整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-15-55-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>産学官連携による起業支援・新産業創出の推進と都市拠点地区「健康と文化の森」の整備を推進します。また、健康の森地区において、高度医療機能の誘致を進めるとともに、谷戸地を含む緑地環境の良好な保全を図ります。</p> <p>1 市街化区域編入に向けた周辺まちづくりの検討  2 相鉄いずみ野線延伸プロジェクトと連携し、慶應義塾大学の知的資源を活用しての産学官連携による産業創出  3 研究開発機能集積の促進  4 地域住民の生活利便性向上と活力創造の場の創出</p>					
活動指標	①第1期整備事業区域用地取得率 ②研究施設等立地進捗率					
目標値	現状値	①98%②0%	3年後目標値	①98%②30%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、都市機能集積の検討・誘導、また、必要な都市基盤整備、技術的支援等の役割を主体的に担います。市民団体や大学には、市との連携協力のパートナーとしての役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	計画・実施	→	→	実施	→	→
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市街化区域編入を視野に入れた都市的土地利用を誘導することで、周辺地区の自然環境、景観と共生・調和した活力創造拠点として都市機能の集積が図られるとともに、生活利便性の向上や地域活性化が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					

## 【戦略目標】

### 16 市民生活を支える産業の活性を高めるまち

#### 【成果指標】

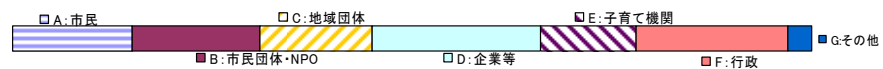
- ① 地場産品品目別取扱高合計数量
- ② 市内の工業に元気があると感じている市民の割合
- ③ 市内の商業に元気があると感じている市民の割合
- ④ 市内の農水産業に元気があると感じている市民の割合

【現状値】 ①2,408t ②8% ③15% ④13%

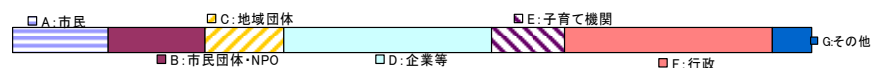
【めざそう値】 3年後：①2,600t ②10% ③20% ④20%

6年後：①2,850t ②20% ③30% ④25%

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:14% D:21% E:12% F:19% G:3%



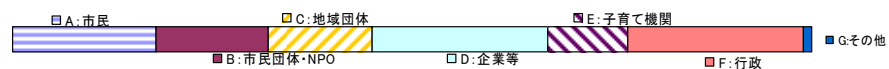
②A:12% B:12% C:10% D:26% E:9% F:26% G:5%



③A:17% B:14% C:13% D:22% E:10% F:19% G:5%



④A:18% B:14% C:13% D:22% E:10% F:22% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-56》 コミュニティの核として地域に密着した「商店街」づくりの推進

＜成果の視点＞ 商店街に賑わいがあり、地域での交流の場ともなること

〔主要な指標〕 市内の商業に元気があると感じている市民の割合（20歳～30歳代）

《政策-57》 地産地消の推進による市内農水産業の活性化

＜成果の視点＞ 地産地消を大切にし、安全安心な市内産の農水産物が身近で手に入ること

〔主要な指標〕 地産地消講座・食育講座の参加者数

《政策-58》 都市農業の維持・発展

＜成果の視点＞ 担い手不足の解消や新たな取り組みにより都市農業が維持され、発展していくこと

〔主要な指標〕 耕地面積の合計

事業名	商店街活性化支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-56-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域商店街は、市民生活を支える「地域コミュニティの核」としての期待も高いことから、消費者ニーズに対応した「生活街」としての活性化を図るとともに、空洞化対策を進めます。</p> <p>1 空き店舗を効率的に活用する商店街団体等に対し、事業費の一部を助成  2 商業チャレンジャー(起業家を志す学生・若者・シニア等)の育成・支援  3 「ご当地グルメ」を用いたプロモーション活動に係る事業費の一部を負担  4 商店街団体が行う販売促進に向けた研究や実施事業にかかる費用の一部を助成  5 商店街や個店の活性化を図るため後継者対策を推進</p>					
活動指標	①空き店舗活用件数(累計) ②商店街ホームページアクセス数(年間)					
目標値	現状値	①29件②37,313件	3年後目標値	①35件②42,000件	6年後目標値	①41件②45,000件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、各種助成や情報発信等を通じて、商店街団体等による集客力向上のため効果的な取り組みを支援するとともに、商店街と地域との橋渡しや調整を行うことにより、各種団体や事業者による商店街の空き店舗活用を推進し、生活街としてふさわしい商店街の賑わいの創出を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	消費者ニーズに対応し、市民(消費者)が生活を送る上で必要な様々な物・サービスを提供する「生活街」としての商業集積が進み、「地域コミュニティの核」として、地域商業の活性化が図られます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	拠点駅等周辺商業活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-56-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢駅、辻堂駅、湘南台駅等の拠点駅等周辺の課題解決を図り、本市の主要な都市拠点にふさわしい玄関口として、これら拠点駅等周辺の商業集積の実現を図るため、地域商店街を主な対象とした各種施策に加えて、回遊性向上や観光の視点を取り入れ、拠点駅等周辺商業の活性化を図ります。</p> <p>1 地域資源やバイクシェアリングを活用した回遊性まちづくりの推進  2 拠点駅周辺における商店街活性化調査と活性化対策の実施  3 観光産業と連携した商業活性化の推進</p>					
活動指標	①回遊性向上に取り組む拠点駅商店街数(累計) ②商店街活性化調査実施数(累計)					
目標値	現状値	①0商店街②18件	3年後目標値	①3商店街②20件	6年後目標値	①10商店街②21件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域資源等を活用した回遊性向上を図るまちづくりの推進に当たっては、拠点駅周辺の商業活性化を効果的に図るため、商店街団体や地域経済団体に加えて、大学や企業、NPO法人等とも連携して進めることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	「地域コミュニティの核」としてその活性化を図ることに加えて、地域資源の活用や観光産業との連携などを通して、拠点駅周辺に特化した事業を実施することにより、本市の主要な都市拠点にふさわしい藤沢の顔・玄関口としての商業集積が図られ、地域経済の活力再生につながるのと同時に、本市のブランド力やイメージの向上が図られます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	商店街経営基盤整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-56-3	地域分権区分					
事業内容	<p>地域商店街は、市民生活を支える「地域コミュニティの核」としての期待も高いことから、商店街を維持するための街路灯の設置・改修など、商店街が設置する共同施設への助成及び安全安心なまちづくりに寄与する街路灯電灯料への助成を中心とした基盤整備事業を進め、商店街経営基盤の安定を図ります。</p> <p>1 街路灯等の商店街共同施設設置にかかる事業費の助成  2 商店街街路灯LED化にかかる事業費の助成  3 商店街街路灯改修にかかる事業費の助成  4 商店街街路灯電灯料等にかかる事業費の助成</p>					
活動指標	(社)藤沢市商店会連合会の会員数					
目標値	現状値	2,060人	3年後目標値	2,100人	6年後目標値	2,150人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、商店街の基盤整備に当たって、商店街の負担軽減を図るため、補助金による直接支援を行うとともに、商店街団体と連携して、国・県等の補助制度の活用に努めます。商店街団体は、基盤整備を進めることにより、会員の増強と買い物環境の維持を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	商店街の健全経営が図られ、従来の物販だけではなく、消費者ニーズに対応し、市民(消費者)が生活を送る上で必要な様々な物・サービスを提供する「生活街」としての商業集積が進み、「地域コミュニティの核」として地域商業の活性化が図られます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	産業拠点施設整備補助事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-7-62-16-56-4	地域分権区分					
事業内容	<p>景気の低迷に伴い地域経済が厳しい状況に置かれる中で、経済3団体である藤沢商工会議所、(財)藤沢市産業振興財団、(社)藤沢市商店会連合会のさらなる連携強化と商工業者の利便性の向上を図り、複雑、高度化している商工業者のニーズに対しワンストップで対応・支援できる施設として、藤沢商工会議所が設置する産業拠点施設の建設に伴う事業への助成を行います。</p> <p>1 産業拠点施設の建設に伴う事業費の助成</p>					
活動指標	産業拠点施設建設に伴う建設費助成の執行率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	20%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市内産業の健全な発展をめざして藤沢商工会議所が主体となって拠点となる施設を建設します。市は、建設を推進するため、建設に伴う事業費の一部を助成します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
検討	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	産業振興の拠点機能のほか、市民や来街者が気軽に利用し、交流できる機能を合わせ持つ施設として、藤沢駅周辺の賑わいの創出とともに産業の活性化が図られます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	地域密着型商業まちづくり推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-16-56-5	地域分権区分						
事業内容	地域商店街は、市民生活を支える「地域コミュニティの核」としての期待が高いことから、地域貢献性を有するコミュニティビジネスの推進や地域との連携による商店街づくりの推進など、地域に密着した商業まちづくりを進めます。 1 コミュニティビジネスの推進 2 消費者ニーズに対応した商店街づくりの推進 3 買い物困難者対策など地域貢献を通じた商業活性化の推進 4 専門家派遣による指導事業の実施						
	活動指標	①コミュニティビジネス経営相談実施数(年間) ②アドバイザー派遣回数(年間)					
	目標値	現状値	① 7件 ② 6回	3年後目標値	①15件 ②15回	6年後目標値	①20件 ②20回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、各種事業及びその成果の広報やアドバイザー派遣などを実施するとともに、商店街と地域との橋渡しや調整を行います。商店街団体は地域ニーズを把握し新しい物・サービスの提供に努めます。地域住民は地域全体で商店街を支えていくことが期待されます。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	消費者ニーズに対応し、市民(消費者)が生活を送る上で必要な様々な物・サービスを提供する「生活街」としての商業集積が進み、「地域コミュニティの核」として、地域に密着した商業の活性化が図られます。						
担当部課	経済部産業振興課						

事業名	環境保全型農業推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業					
3-7-62-16-57-1	地域分権区分						
事業内容	藤沢市地産地消推進計画の取り組み施策である「環境保全型農業の取り組み支援」を図り、市民が健康的な生活を送るため、農薬散布回数を削減するなど生産コストを抑えて環境への負荷を減らす資材・設備等を導入する農業者に対して支援を行い、より安全、安心な農産物の安定供給を推進します。 1 農薬散布回数を削減するための資材・設備等の導入に対する支援 2 化学肥料使用量を削減するための資材・設備等の導入に対する支援 3 その他の環境保全型資材・設備等の導入に対する支援						
	活動指標	環境保全型農業に取り組む農業者(累計)					
	目標値	現状値	40戸	3年後目標値	330戸	6年後目標値	422戸
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、JAさがみと連携して、農業者が環境保全型資材・設備を導入する際の支援を行います。農業者には、より安全、安心な農作物の生産が期待されます。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	農薬や化学肥料の使用量を削減し、環境への負荷を軽減することで、より安全、安心な農産物が消費者に供給されます。						
担当部課	経済部農業水産課						

事業名	地産地消推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-62-16-57-2	地域分権区分					
事業内容	<p>生産者と消費者が信頼関係を構築し、顔が見え、話ができる直接の交流を通じて「食」と「農」の原点を見つめ直す地産地消の取り組みを進めます。</p> <p>1 湘南ふじさわ産の食材等を活用した地産地消講座等による普及啓発  2 「湘南ふじさわ産」の農水産物を取り扱う量販店・利用推進店の拡大及びPRと流通促進  3 空き店舗活用による地産地消の推進  4 学校給食等に使用する湘南ふじさわ産農水産物の品目数の拡大  5 農水産物加工食品の開発  6 産学連携等による農水産物のブランド化</p>					
活動指標	地産地消講座・食育講座の開催(年間)					
目標値	現状値	22回	3年後目標値	50回	6年後目標値	50回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域団体や消費者団体等と連携して地産地消講座等の企画、講師の依頼・企画内容の打ち合わせなどを行うほか、量販店と農水産業者との関係づくり、利用推進店の募集やPRなどを行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市内全地区での市内産の農水産物を使用した料理教室を通して、旬の時期やおいしい食べ方、生産者と顔の見える関係づくりによって農水産業の理解が広がります。また、生産者の安定的な経営が図られるとともに、地元農水産物を使用したレストランなどをPRすることにより、商店街の活性化が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	産地強化特別対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-62-16-57-3	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市地産地消推進計画取り組み施策である「都市農業の強みを活かした農産物の生産推進」を図り、市民が市内産の農産物を安定的に入手できるよう、地産地消に適した品目や、病虫害に対し耐性・抵抗性を持った品種を農業者が導入する際に支援を行い、産地競争力の強化を図ります。</p> <p>1 病虫害に強い品種や食味の優れた有望品種導入の推進(施設野菜)  2 出荷量の少ない時期に対応できる品目や病虫害に強い品種等導入の推進(露地野菜)  3 販売期間を長くできる品目構成や加工特性に優れた品種導入の推進(果樹)</p>					
活動指標	有望品種の導入品種数(累計)					
目標値	現状値	—	3年後目標値	25品種	6年後目標値	50品種
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、JAさがみと連携して農業者が有望品種の種苗等を導入する際の費用について支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	病虫害に強い品種や食味の優れた有望品種を導入することで、産地競争力を高め、農業所得の向上が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					



事業名	つくり育てる漁業推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-16-57-4	地域分権区分					
事業内容	<p>水産資源の保護・育成を行うことにより、生産性の向上や経営の安定化など本市の水産業振興を図るための事業を実施するほか、漁業協同組合が主体的に実施する事業に対する支援等を行い、「つくり育てる漁業」を推進します。</p> <p>1 将来の漁獲向上をめざして付加価値の高い魚を放流する魚介類放流事業  2 イセエビ礁設置効果を調査するイセエビ礁設置効果調査事業  3 イセエビの漁獲向上をめざして魚礁を設置するイセエビ礁設置事業</p>					
活動指標	放流した魚介類の数量(年間)					
目標値	現状値	23,875尾	3年後目標値	69,000尾	6年後目標値	69,000尾
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、漁業協同組合や神奈川県栽培漁業協会と連携して放流事業の魚種の選定及び放流を実施します。また、イセエビ礁の設置及び効果の調査を実施し、定置網漁業など漁業協同組合による主体的な漁業活動に対して支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	水産資源を保護・維持し、「つくり育てる漁業」を推進することにより、漁業者の安定した収入につながり、市内水産業の振興が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	水産物地産地消促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-62-16-57-5	地域分権区分					
事業内容	<p>漁業協同組合と市が連携し、水産物の地産地消を推進し、販路拡大、高付加価値化などによる漁業経営の安定化を図るための事業を実施します。</p> <p>1 片瀬漁港での直売、市内の農産物直売所での出張販売等  2 水産物の市内流通の仕組みの構築及び市の支援  3 「地引き網体験」「ワカメ養殖体験」などの漁業体験型普及啓発事業</p>					
活動指標	漁業協同組合販売部の売上高(年間)					
目標値	現状値	39,152千円	3年後目標値	56,000千円	6年後目標値	56,000千円
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	漁業協同組合が水産物等の直売や市内への流通等を担い、市は、その支援及び啓発・PRのほか、イベントについてはその内容の設計・漁業協同組合との調整及び市民への周知などを行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	漁業協同組合が独立した経営体として運営され、組合員や組合職員の雇用の確保・生活の向上を図ることができると同時に、本市の地産地消推進計画に沿って、湘南ふじさわ産の水産物が市民の食卓に供されるようになります。あわせて市民の魚や漁業に対する理解を深め、水産物の地産地消が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	畜産経営環境整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-62-16-57-6	地域分権区分					
事業内容	<p>畜産農家周辺の環境の向上を図り、畜産農家の経営安定と神奈川県下最大の飼育数を有する養豚業を中心とした本市の畜産業のさらなる発展のため、畜産施設の改修等を支援します。</p> <p>1 ふん尿処理施設の公共下水道への接続に対する助成  2 豚舎分娩施設の改修に対する助成  3 浄化槽施設の改修に対する助成  4 その他畜産施設の改修等に対する助成</p>					
活動指標	改修施設の数(累計)					
目標値	現状値	—	3年後目標値	8件	6年後目標値	14件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、畜産農家の行う畜舎環境の整備に対して支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	施設改修等を支援することにより、周辺環境の向上を図り、周辺住民の理解を得ることで、畜産業に対する理解が図られます。また、畜産農家の経営安定化につながり、飼育頭数の増加により、「湘南ふじさわ産」の畜産物のさらなる普及拡大が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	遊休農地解消事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-62-16-58-1	地域分権区分					
事業内容	<p>遊休・荒廃農地の解消を図るため、意欲ある農業者や農業生産法人など新たな担い手が行う、遊休・荒廃農地を農地に復元する作業への支援などを推進します。</p> <p>1 新たな担い手による遊休・荒廃農地の農地への復元に対する支援  2 復元した農地で小麦や大豆を生産して学校や保育園給食等へ供給する団体への支援  3 耕運できない人の代わりに農地を耕し、適正に保全、管理する団体への支援  4 復元した農地でバイオ燃料の原料となる作物の栽培や景観を保全する団体への支援</p>					
活動指標	遊休農地面積(累計)					
目標値	現状値	47ha	3年後目標値	45.5ha	6年後目標値	44ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、遊休農地解消のために活動する農業者、農業生産法人等新たな担い手や関係団体等との連携・調整を行い、その活動を支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	遊休・荒廃地化した農地を解消することで環境と景観悪化を防ぎ、良好な農地として多面的に有効活用することができます。また、遊休荒廃地を利用した生産を市が支援することにより地産地消の推進が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	宮原地域活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-62-16-58-2	地域分権区分					
事業内容	<p>宮原地域は市内でも農業が盛んな地域であり、荒廃地解消や農業を通じた地域の活性化に住民自らが主体的に取り組んでいるという特色を持っています。この地域の活動を市が支えることにより、地域の課題の解消や他地区への波及効果なども期待できることから、宮原地域が取り組む荒廃地解消事業や、さらなる活性化のための事業に対し支援を行います。</p> <p>1 荒廃地解消事業に対する支援 2 「宮原地域活性化拠点施設(「宮原コミュニティかわせみ」)」運営事業に対する支援</p>					
活動指標	減少した荒廃地の面積(累計)					
目標値	現状値	0.78ha	3年後目標値	1.08ha	6年後目標値	1.38ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	宮原地域では、荒廃地の解消対策や「宮原コミュニティかわせみ」の運営について市民自らが主体性を持って取り組みます。市は、それらの活動に対して支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	宮原地域住民の活動を市が支えることにより、荒廃地の減少や荒廃地化の防止が図られます。また、地域で宮原コミュニティかわせみを継続して活用することにより、地域の活性化が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

事業名	担い手育成支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-62-16-58-3	地域分権区分					
事業内容	<p>次世代の市内農業を担う後継者の確保・育成を行うために、農業後継者や新規参入する新たな担い手、市民ボランティア等を支援することで、市内農業の継続・発展と市民の地元農業への理解促進を図ります。</p> <p>1 農業アカデミー就学、農業経営の向上に向けた研修費用の助成 2 新規就農者利用権設定奨励金の交付 3 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施 4 援農ボランティア養成講座 5 企業やNPO等の法人の円滑な就農整備支援</p>					
活動指標	新規就農者数(累計)					
目標値	現状値	7人	3年後目標値	22人	6年後目標値	37人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、かながわ農業アカデミーなどの関係機関や団体と連携し、新規就農者の円滑な就農整備支援等を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	担い手の育成支援事業については、新規参入する新たな担い手や企業、NPO等の法人、市民ボランティア等に支援することで、市内農業の継続・発展と市民の方の地元農業への理解促進が図られます。					
担当部課	経済部農業水産課					

## 【戦略目標】

### 1.7 産業や生活基盤を支える、都市構造を構築するまち

#### 【成果指標】

- ① 交通などの都市基盤が充実していると感じている市民の割合
- ② 市内主要駅の乗車客数

【現状値】 ①37% ②301千人

【めざそう値】 3年後：①40% ②320千人

6年後：①50% ②350千人

【役割の担い手】 ①A:14% B:13% C:15% D:20% E:10% F:25% G:3%



②A:15% B:10% C:8% D:23% E:15% F:24% G:5%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-59》 都市計画制度の活用による住環境整備や産業の活性化

＜成果の視点＞ 計画的なまちづくりによって、暮らしやすさと活気があること

〔主要な指標〕 交通などの都市基盤が充実していると感じている市民の割合（20歳～50歳代）

《政策-60》 総合交通ネットワークの充実による交通体系の確立

＜成果の視点＞ 誰でも、どこにでもスムーズに行くことができる交通であること

〔主要な指標〕 交通などの都市基盤が充実していると感じている市民の割合（60歳代～）

《政策-61》 安全で快適な地域まちづくりの推進

＜成果の視点＞ 安全で快適なまちづくりを進める仕組みがあること

〔主要な指標〕 区画整理区域面積の市街化区域に対する割合

《政策-62》 都市形成に資する道路ネットワークの構築

＜成果の視点＞ 安全で暮らしやすいまちを支える道路が整っていること

〔主要な指標〕 都市計画道路の計画延長に対する整備済延長の割合

《政策-63》 都心の活動を創生する都市機能の再構築の推進

＜成果の視点＞ 新しい時代に即した活力と活気のある都市に変わっていること

〔主要な指標〕 辻堂駅・藤沢駅の乗客数

事業名	都市計画制度の活用による規制誘導事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-59-1	地域分権区分					
事業内容	<p>近年の高層マンション需要の増加を背景に、特に用途地域の境界部等で建物高さによる日照障害や圧迫感などの理由から近隣トラブルが発生していることや、駅周辺や幹線道路沿道におけるパチンコ店立地などから、土地利用の秩序化を図るための規制誘導策として都市計画制度の活用が求められており、トラブルを未然に防ぎ、調和の取れた街並みを形成し、良好な市街地環境の維持・保全を図るため、都市計画制度の活用を推進します。</p> <p>1 高度地区の指定 2 地区計画の指定</p>					
活動指標	高度地区指定面積(累計)					
目標値	現状値	0ha	3年後目標値	2,300ha	6年後目標値	2,300ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民の良好な生活環境の形成に向けて、高度地区の都市計画決定の推進を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	高度地区を指定することにより、建物高さによる日照障害や圧迫感などの理由による近隣トラブルを未然に防ぐほか、調和の取れた街並み形成、良好な市街地環境の維持・保全が図られます。また地区計画制度により、地域特性に応じたまちづくりを総合的、一体的にきめ細かく定めることが可能となります。					
担当部課	計画建築部都市計画課					

事業名	大規模土地利用転換に伴う誘導事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-59-2	地域分権区分					
事業内容	<p>産業構造の変化や既存施設の老朽化などに伴う大規模な土地利用転換は、周辺の交通・土地利用に大きな影響を与え、市の財政や教育施設などへの影響が生じるため、経済・産業界の動向に着目し、機敏に対応することが求められます。</p> <p>大規模土地利用の転換に当たっては、都市マスタープラン等に基づき、地域再生に寄与する土地利用を図るため、特別用途地区や地区計画制度の活用を図りながら、土地利用誘導を進めていきます。</p> <p>1 サステナブル・スマートタウンにおける土地利用計画調整と地区計画の決定 2 企業・関係機関からの大規模土地利用転換に関する情報収集 3 大規模団地等の再整備に当たっての土地利用誘導</p>					
活動指標	大規模土地利用転換に伴う地区計画指定数(累計)					
目標値	現状値	1件	3年後目標値	3件	6年後目標値	4件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、特別用途地区、地区計画制度等の活用を図りながら、地域再生に寄与するまちづくりを誘導します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
期待される事業の成果	経済情勢や企業の経営状況等により突然発生する工場撤退や土地利用転換に適切に対処し、それらによって引き起こされる可能性がある周辺土地利用への影響緩和、新たな用途混在の防止、急激な交通量増加の抑止、急激な児童数増加による教育問題発生防止などが図られます。					
担当部課	計画建築部都市計画課					

事業名	線引き等見直し事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-59-3	地域分権区分					
事業内容	<p>市街化区域及び市街化調整区域の区域区分の見直しについては、相鉄いずみ野線の延伸など、西北部地域で計画されるプロジェクト等の進捗を見据えながら、今後の定期的な線引き見直しにあわせ、必要に応じ特定保留区域設定及び市街化区域編入などを計画的に行います。また、2022年(平成34年)には指定から30年を迎える生産緑地地区の買い取り申し出が可能となることから、その対応策を線引き見直しにあわせ検討します。</p> <p>1 線引き見直しに向けた検討  2 新規特定保留区域設定、市街化区域編入の検討  3 新産業の森北部地区市街化編入に向けた調整  4 生産緑地地区買い取り申し出に対する対応策の検討</p>					
活動指標	市街化区域変更面積(累計)					
目標値	現状値	0ha	3年後目標値	約17ha	6年後目標値	約37ha
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、線引き見直しに関する都市計画変更等手続きを行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	「線引き」制度は基盤整備を効率的に行い、かつ良質な市街地の形成を図るもので、西北部地域など市街化調整区域における都市的土地利用に制限を加え、将来的なまちづくり計画と連動した定期的な見直しによる市街化区域編入により、新たな産業用地など、市の活力維持・創出が図られます。					
担当部課	計画建築部都市計画課					

事業名	片瀬山風致公園新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-59-4	地域分権区分					
事業内容	<p>片瀬山公園は、藤沢市唯一の風致公園として、また国道134号線沿道の景観整備の一環として、現在用地の取得が完了している1.01ヘクタールについて整備を行います。</p> <p>事業は、本市の緑とオープンスペースの総合的な計画である「藤沢市緑の基本計画」における整備の方針に基づき、本計画の緑化重点地区(片瀬・村岡地区)内の事業として、都市計画公園として未供用部分の整備を図ります。</p> <p>1 住民参加によるワークショップの実施  2 風致公園としての施設整備  3 未供用区域における整備のあり方検討</p>					
活動指標	片瀬山公園整備進捗率					
目標値	現状値	30.2%	3年後目標値	30.2%	6年後目標値	40.8%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民・地域の意見を十分反映しながら、市が設計・施工を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	検討	→
期待される事業の成果	沿道景観のシンボルとして、また地域コミュニティーの形成の場、市民に潤いと安らぎを与える緑豊かなオープンスペース、災害時の避難場所などとしての防災拠点、余暇空間の確保などが図られ、市民の安全・安心、豊かな生活空間の確保に寄与します。					
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

事業名		御所見地区整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-59-5	地域分権区分						
事業内容	<p>都市計画制度の活用による住環境整備や産業の活性化及び御所見地区の中心地にふさわしいまちづくりを進めるため、2010年(平成22年)5月に策定された御所見中心地区まちづくり基本構想に基づき地域住民との協働によるまちづくりを推進するとともに、都市計画の保留区域制度を活用し、田園環境と調和した都市基盤施設整備の実施により市街化区域への編入を図ります。</p> <p>また、交通危険箇所の解消を図ります。</p> <p>1 御所見中心地区形成事業 2 御所見地区の生活基盤の整備</p>						
活動指標	①御所見中心地区組合土地地区画整理事業の整備率 ②宮原古里線道路築造事業進捗率						
目標値	現状値	①0%②76%	3年後目標値	①0%②100%	6年後目標値	①35%②100%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、まちづくりへの支援について役割を担います。土地地区画整理組合等には、都市基盤整備の事業主体としての役割が期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	実施	検討	計画	実施	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	地区内生活道路等の整備を行うことにより、地域住民の生活利便性の向上及び安全性の確保が図られます。また、御所見中心地区における商業機能、居住機能の充実を図ることで、周辺の市街化区域と一体となった地域活力の創造の場として、周辺環境と調和した中心地区にふさわしいまちが形成されます。						
担当部課	まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所						

事業名		川べりの遊歩道(引地川緑地)新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-59-6	地域分権区分						
事業内容	<p>引地川緑地は、本市の「みず・みち・みどりの基幹軸」として位置づけ、地域コミュニティ・レクリエーションなどの場として、また災害時の避難路として整備を進めてきました。</p> <p>県の下土棚遊水地事業との連携や大和市との都市連携(引地川活用)を図る中で、新たに大庭鷹匠橋から上流、大和市境までの事業化に向けて都市計画決定を行い、大庭鷹匠橋から石川橋と下土棚遊水地から大和市境までの先行整備を図ります。</p> <p>1 都市計画決定に向けた測量の実施 2 都市計画決定及び事業認可の取得 3 大庭鷹匠橋～石川橋間の用地取得・施設整備 4 下土棚遊水地(池)～大和市境間の事業着手</p>						
活動指標	引地川緑地整備計画進捗率						
目標値	現状値	0%	3年後目標値	20%	6年後目標値	100%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地域の意見を十分反映しながら、市が事業を実施します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	検討	→	→	計画	実施	→	
(地域)							
期待される事業の成果	地域コミュニティの形成の場、市民に潤いと安らぎを与える緑豊かなオープンスペース及び余暇空間の確保、また災害時における避難路としての活用、自転車走行空間としての活用などが図られ、市民の安全・安心、豊かな生活空間の確保に寄与します。						
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課						

事業名	相鉄いずみ野線延伸整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-7-62-17-60-1	地域分権区分					
事業内容	<p>都市間相互の交通ネットワークの形成を図るため、相模鉄道いずみ野線の湘南台駅以西への延伸については、湘南台駅～慶應義塾大学SFCまでの区間(約3.2km)を第1期として、「いずみ野線延伸の実現に向けた検討会」において、その実現に向け具体的な検討を進め、事業化を図ります。</p> <p>1 事業者の選定 2 基本計画や整備計画の策定 3 環境アセスメントの実施 4 都市計画を含めた各種法手続きの実施</p>					
活動指標	整備進捗率(事業費ベース)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	1%	6年後目標値	12%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	「最先端の研究成果」や「鉄道事業者としての知識や経験」を結集させるとともに、「沿線地域のまちづくり」についても検討する必要があるため、神奈川県・藤沢市・慶應義塾大学・相模鉄道(株)の4者による、それぞれの得意分野を活かした産学官の協働が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	計画	→	実施	→	→
期待される事業の成果	いずみ野線を延伸することで広域交通ネットワークが充実するとともに、沿線のまちづくりが図られます。					
担当部課	計画建築部都市計画課					

事業名	都市交通基礎調査事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-60-2	地域分権区分					
事業内容	<p>東京都市圏パーソントリップ調査結果の解析及び道路交通情勢調査や他の調査結果に基づき、市内の人と物の動きについて分析を行うとともに将来交通需要予測を行い、幹線道路網や公共交通機関の将来の整備の方向を見定め、望ましい総合交通体系のあり方を検討します。</p> <p>また、この事業による成果は、街路新設事業・藤沢駅周辺地区再整備事業・村岡地区都市拠点総合整備事業・相鉄いずみ野線延伸整備事業・新南北線推進事業・都市計画道路の見直し等、今後の事業実施のための導入検討・基本計画・設計等に活用します。</p> <p>1 都市交通体系策定</p>					
活動指標	都市交通体系の策定進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、東京都市圏交通計画協議会と調整を図りながら事業を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市の交通特性及び将来交通需要予測が成果として得られます。 また、この成果を基に相鉄いずみ野線延伸、村岡新駅の需要予測や駅周辺の交通計画の検討、都市計画道路の見直しや事業化に向けた断面構成・構造等の検討、自転車走行環境整備計画の策定、地域交通の検討等に向けた基礎資料等として活用が図られます。					
担当部課	計画建築部都市計画課					



事業名	バス交通支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-7-62-17-60-3	地域分権区分					
事業内容	<p>市民の移動利便性の向上に向け、バス事業者や関係機関との定期的な協議を継続しながら市民ニーズを踏まえたバス路線の再編等を進め、バス交通の充実強化を図ります。</p> <p>1 柄沢地区内への路線バス導入に向けた調整  2 綾瀬市との広域的な連携による綾瀬市域からの長後駅へのバス乗入れ等の検討  3 バスロケーションシステムについて、導入未対応のバス事業者に対する働きかけ  4 バスロケーションシステム情報表示器について、市民病院の再整備にあわせた導入  5 新南北線に計画する連節バスの導入にあわせて、交通不便地域の解消等に向けた支線(フィーダー)バスの効果的な導入</p>					
活動指標	①新たな路線バス導入地区数(延べ) ②支線(フィーダー)バス導入割合					
目標値	現状値	①0地区 ②0%	3年後目標値	①1地区 ②0%	6年後目標値	①1地区②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>市は、バス事業者や関係機関と協調し、市民ニーズにかなったバス路線の再編等を進めます。</p> <p>また、支線(フィーダー)バスの導入に当たっては、路線の継続に向けた地域住民の主体的関与が期待されます。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	<p>バスロケーションシステムの導入により、道路事情や天候等に伴う遅延によるイライラ感が解消するとともに、バス路線の再編等により利便性が向上し、市民の円滑な移動が可能となります。また、連節バスとあわせて支線(フィーダー)バスを導入することで、交通不便地域の解消が図られます。</p>					
担当部課	計画建築部都市計画課					

事業名	新南北線推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-7-62-17-60-4	地域分権区分					
事業内容	<p>JR辻堂駅から湘南ライフタウンを經由し、本市西北部方面に向かう鉄軌道系公共交通機関である(仮称)新南北線の推進に当たっては、中短期的な計画として、連節バス導入について事業化を図ります。</p> <p>また、長期的な計画となるLRTの導入については、相鉄いずみ野線延伸計画の検討結果等を踏まえながら計画を進めます。</p> <p>1 地域の住民等との調整  2 導入検討委員会の設置等による検討  3 交通管理者等関係機関との協議・調整  4 走行環境整備</p>					
活動指標	新たな公共交通機関の導入割合					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>市は、連節バスの導入に当たって、バス事業者・道路管理者等との協議や地域の住民と調整を図りながら事業を進めます。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	<p>連節バスを導入することで、都市拠点間(「辻堂駅」と「健康と文化の森」)の公共交通ネットワークが強化され、低炭素型交通環境の形成が進みます。</p>					
担当部課	計画建築部都市計画課					

事業名	新幹線新駅設置促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業					
3-7-62-17-60-5	地域分権区分						
事業内容	寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の設置促進のため、神奈川県及び関係市町、県内経済団体等で組織する「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」において、国やJR東海に対し要望活動を推進します。 また、リニア中央新幹線の実現により、東海道新幹線の輸送力に余裕が生じ、新駅設置の可能性が高まることから、リニア中央新幹線(東京～名古屋間)の開業にあわせた新駅設置をめざし、本市も参画する「リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会」において、国やJR東海に対し要望活動を推進します。 1 同盟会による、国やJR東海に対しての要望の実施 2 県・関係市町との調整・情報収集						
	活動指標	関係機関への要望活動回数(累計)					
	目標値	現状値	3回	3年後目標値	9回	6年後目標値	18回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、神奈川県及び関係市町、県の経済団体で組織する「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」において、国やJR東海へ要望活動を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	新幹線新駅が設置されることで、広域的に円滑な移動が可能となるとともに、経済波及効果なども期待されます。						
担当部課	計画建築部都市計画課						

事業名	近隣・街区公園新設事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-61-1	地域分権区分						
事業内容	地域コミュニティ形成の場、災害時の一時避難場所などの役割を担い、かつ市民に潤いと安らぎを与える身近な緑の空間として、未整備の都市計画公園(近隣・街区公園)及び「藤沢市緑の基本計画」の施策に基づく身近な公園の整備推進を図ります。 事業の実施に当たっては、本市の緑とオープンスペースの総合的な計画である「藤沢市緑の基本計画」における整備の方針に基づき推進します。 1 都市計画公園の整備(近隣公園及び街区公園) 2 「藤沢市緑の基本計画」の施策に基づく身近な公園の整備(街区公園)						
	活動指標	1人当たり公園整備面積(累計)					
	目標値	現状値	1.62㎡	3年後目標値	1.66㎡	6年後目標値	1.74㎡
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市民・地域の意見を十分反映させながら、市が設計・施工を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	地域コミュニティの形成の場、市民に潤いと安らぎを与える緑豊かなオープンスペース、災害時の避難場所などとしての防災拠点及び余暇空間の確保などが図られ、市民の安全・安心、豊かな生活空間の確保に寄与します。						
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課						

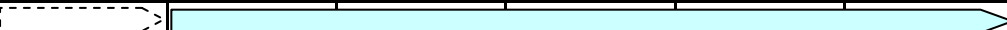
事業名	ドッグラン施設設置事業						
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
3-7-62-17-61-2	地域分権区分						
事業内容	安全で快適な地域まちづくりの推進を図るため、また動物愛護や適正な飼育の普及のため、遊水地(池)の上部や広場などを活用したドッグラン施設を南部(湘南海岸)・中部(大庭)・北部(下土棚)地域にそれぞれ設置を進め、動物と共生するまちをめざします。 1 ドッグラン施設の設置(中部) 2 ドッグラン施設の設置(南部) 3 ドッグラン施設の設置(北部)						
	活動指標	施設の設置率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、主体となって工事の発注、施工監理を行い、運営管理はNPO等市民団体が行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)							
期待される事業の成果	ドッグラン施設の設置により、動物愛護や適正な飼育の普及が図られます。また、一般の公園利用者と区分することで、公園利用者の安全確保や近年増加している犬に対する苦情の減少につながる効果が期待されます。						
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課						

事業名	秋葉台公園第2期新設事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-61-3	地域分権区分						
事業内容	市北部のレクリエーションの拠点としての完成をめざし、市民ニーズに応える施設計画の見直しを行い、野球場・テニスコート・駐車場等、運動公園としての施設整備を、北部第二(三地区)土地区画整理事業の進捗にあわせて進めます。 事業の実施については、市の緑とオープンスペースの総合的な計画である「藤沢市緑の基本計画」における整備の方針に即して行います。 1 施設計画の見直し 2 測量及び基本設計の実施 3 事業認可の取得 4 実施設計及び施設整備の実施						
	活動指標	秋葉台公園全体整備進捗率					
	目標値	現状値	57.6%	3年後目標値	57.6%	6年後目標値	57.6%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、主体となって関連団体の意見を反映した設計・施工を行います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)							
期待される事業の成果	市民に潤いと安らぎを与える緑豊かなオープンスペース、災害時の避難場所としての防災拠点及び余暇空間の確保などが図られ、市民の安全・安心、豊かな生活空間の確保に寄与します。						
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課						

事業名							公園愛護会育成事業													
体系コード			事業区分		まちづくり市民連携事業															
3-7-62-17-61-4			地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)															
事業内容							地域に身近な街区公園等において市民の手による公園管理を推進するため、公園愛護会の設立を促進し、市と市民との協働による維持管理を進め、地域と密着した公園管理をめざします。 また、各地区に公園愛護会連絡協議会を設置し、横断的な情報交換を行い、公園愛護会のより一層の充実、発展をめざします。 1 公園愛護会設立の促進 2 公園愛護会への支援(補助金、交付金、用具支給等)													
							活動指標							公園愛護会設置率(公園愛護会設置公園数/活動対象公園数)						
							目標値		現状値		57%		3年後目標値		66%		6年後目標値		77%	
							実績値		H23		H24		H25							
							役割期待							市は、公園愛護会の設立及び活動の支援を行うとともに、公園愛護会間の連携を支援します。 公園愛護会は、日常の清掃活動(清掃・除草等)や花植えなどの公園美化活動の推進などの公園維持管理活動の一翼を担います。						
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期							
(市域全体)							H23		H24		H25									
実施							→		→		→		→							
(地域)							実施		→		→		→							
期待される事業の成果							公園愛護会による日常の清掃活動(清掃・除草等)や花植えなどの公園美化活動の推進により、快適な公園利用環境づくりが図られます。 また、地域住民自らが公園の維持管理活動の一翼を担うことにより、地域に身近な公園としての親しみの醸成や、地域コミュニティ利用の場としての活用の推進が図られます。													
担当部課							まちづくり推進部まちづくりみどり推進課、市民自治部各市民センター、生涯学習部各公民館													

事業名							北部第二(三地区)土地区画整理事業													
体系コード			事業区分		まちづくり行政事業(全市)															
3-7-62-17-61-5			地域分権区分																	
事業内容							安全で快適な地域まちづくりを推進するため、産業と住宅が共存できる土地利用を誘導し、都市計画道路等の整備による交通体系の確立、公園、下水等の都市基盤の整備による健全な市街地形成を目的に、275ヘクタールにわたる区域の土地区画整理事業を推進します。 1 県道藤沢厚木線他6路線の都市計画道路等の整備 2 秋葉台運動公園など12か所の公園の用地の確保 3 区画街路等、生活道路の整備 4 下水道の整備													
							活動指標							①都市計画道路整備率(石川下土棚線) ②事業区域内下水道普及率						
							目標値		現状値		①35%②42%		3年後目標値		①100%②50%		6年後目標値		①100%②75%	
							実績値		H23		H24		H25							
							役割期待							市は、地域と協働して土地区画整理事業を実施します。						
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期							
(市域全体)							H23		H24		H25									
実施							→		→		→		→							
(地域)																				
期待される事業の成果							都市計画道路等の整備による交通ネットワークの強化、及び区画道路・公園・下水道等の都市基盤施設の整備による工業系市街地と豊かな住環境を有する住居系市街地の整備により、防災・衛生・交通機能等の向上による安全で安心して暮らせるまちが形成されます。													
担当部課							まちづくり推進部北部地区整備事務所													

事業名	市道新設改良事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-61-6	地域分権区分					
事業内容	市民の利便性・安全性の向上及び車両交通の円滑化などの道路環境の快適性向上を図るため、市道の新設や拡幅改良等を実施します。 1 市道の新設 2 市道の拡幅改良 3 交差点改良等 主な実施路線名： 藤沢652号線、藤沢駅辻堂駅線、戸中橋線、村岡17号線、藤沢191号線、中学通り線、六会554号線ほか1路線、宮原百石線、鶴沼585号線、藤沢403号線、高根浜見山線、本鶴沼6号踏切、鶴沼29号線ほか2路線、(仮称)日大南側通り線、立石西俣野線ほか					
活動指標	道路新設及び改良延長(累計)					
目標値	現状値	0km	3年後目標値	1.5km	6年後目標値	3.0km
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域の協力を得ながら、道路管理者として計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
	計画・実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	市民の利便性・安全性の向上及び車両交通の円滑化が図られるとともに、地域の防災性の向上及び災害時の円滑な救助活動に寄与します。					
担当部課	土木部道路整備課					

事業名	バリアフリー化推進道路特定事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-61-7	地域分権区分					
事業内容	障がい者をはじめとした歩行者の移動の利便性及び安全性の向上を図るため、駅や公共施設等を結ぶ道路を選定しバリアフリー化を推進します。 1 歩道の勾配の緩和 2 歩道の段差の解消 3 視覚障がい者誘導用ブロックの設置など 実施地区: 藤沢駅周辺、六会日大前駅周辺、善行駅周辺					
活動指標	市道のバリアフリー化延長(累計)					
目標値	現状値	4.2km	3年後目標値	4.35km	6年後目標値	5.2km
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域の協力を得ながら、道路管理者として計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
	計画	計画・実施	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	歩道のバリアフリー化事業を行うことにより、障がい者をはじめとした歩行者が安全で安心して移動できる歩行空間が確保され、誰もが生活しやすいまちの実現に寄与します。					
担当部課	土木部道路整備課					

事業名 遠藤宮原線新設事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-1		地域分権区分					
事業内容		<p>都市形成に資する道路ネットワークの構築を図るため、湘南台方面から都市拠点「健康と文化の森」地区と御所見地区を結ぶ東西交通を担う幹線道路として、遠藤宮原線を整備します。</p> <p>また、県道丸子中山茅ヶ崎線以西に計画されている(仮称)湘南台寒川線の早期実現に向け、寒川町と連携を図りながら継続的に神奈川県への要望活動を実施します。</p> <p>あわせて、地区計画制度や開発許可制度を活用した幹線道路沿道地域の土地利用の検討を進めます。</p> <p>1 遠藤宮原線全面開通に向けた整備 2 農を主体とした地域活性化施設の検討(道の駅、農業公園等)</p>					
活動指標		遠藤宮原線の整備率					
目標値		現状値	65%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、主体となって、道路整備を進めます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(地域)							
期待される事業の成果		<p>西北部地域の交通利便性の向上と周辺生活道路の安全性の向上が図られます。</p> <p>また道路ネットワークの構築により、湘南台から都市拠点「健康と文化の森」、寒川方面(ツインシティ、さがみ縦貫道)への連絡交通の強化が図られます。</p>					
担当部課		まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					

事業名 遠藤葛原線新設事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-2		地域分権区分					
事業内容		<p>遠藤葛原線は、都市拠点「健康と文化の森」と新産業の森地区を結ぶ南北軸として、また既存幹線道路と地域内を連絡する都市内幹線道路として位置づけられている路線です。本路線は、西北部地域総合整備マスタープランの重点プロジェクトである新産業の森構想の実現並びに地域活性化を図るための重要路線として整備を実施します。</p> <p>1 測量及び地質調査等の実施 2 事業用地の取得 3 道路整備の実施</p>					
活動指標		遠藤葛原線・葛原工区の事業進捗率					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	28%	6年後目標値	49%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域住民の協力を得て、市が主体となって道路整備を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
		検討・計画	実施	→	→	→	→
(地域)							
期待される事業の成果		都市拠点「健康と文化の森」と新産業の森地区を結ぶ路線を整備することで、地域活力の創造につながります。					
担当部課		まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					

事業名	<b>(仮称)用田丘陵公園線新設事業</b>					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-3	地域分権区分					
事業内容	都市形成に資する道路ネットワークの構築を図るため、御所見中心地区と遠藤宮原線を結ぶ南北軸として、また周辺地域との連携強化を担う地区内幹線道路として位置づけている(仮称)用田丘陵公園線の整備を実施します。 1 測量及び地質調査等の実施 2 事業用地の取得 3 道路整備の実施					
活動指標	(仮称)用田丘陵公園線の整備率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	0%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民の協力を得て、市が主体となって道路整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
				検討	計画・実施	実施
(地域)						
期待される事業の成果	御所見の中心地区に集中する業務・商業・教育等施設へのアクセシ性・安全性の向上が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					

事業名	<b>長後地区整備事業</b>					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-4	地域分権区分					
事業内容	駅周辺の交通渋滞の解消や交通ネットワークの強化を図るため、高倉下長後線など都市計画道路の整備を図り、災害に強いまちづくりを推進します。 1 長後駅西口及び周辺道路の渋滞解消のため、西口駅前広場の暫定改修 2 高倉下長後線の整備 3 善行長後線, 長後座間線, 長後駅西口駅前通り線の整備と災害に強いまちづくりの検討 4 長後駅東口駅前通り線の整備					
活動指標	①西口駅前広場暫定改修の事業進捗率 ②高倉下長後線の事業進捗率					
目標値	現状値	①0%②0%	3年後目標値	①100%②10%	6年後目標値	①100%②20%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民との協働により整備計画を策定し、事業を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	長後地区の喫緊の課題である駅周辺の交通渋滞の解消や、災害に強いまちの創造に寄与します。 また、近隣都市との交通ネットワークを構築することにより、産業や生活基盤を支える都市構造や都市拠点の再構築にも寄与します。					
担当部課	まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所					

事業名	主要幹線道路整備促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業					
3-7-62-17-62-5	地域分権区分						
事業内容	産業活動や市民活動を支え、都市間連携に資する広域幹線道路網の形成のため、国や県との事業調整、地元調整、沿道自治体との連携、関係機関への要望活動を行い、都市形成に資する道路ネットワークの構築に向けた整備を促進します。 1 高規格幹線道路ネットワークの整備促進 （横浜湘南道路、さがみ縦貫道路、新東名高速道路） 2 東名高速道路へのアクセス向上に資する(仮称)綾瀬インターチェンジの整備促進 3 主要幹線道路である県道(横浜藤沢線、藤沢厚木線、横浜伊勢原線)の整備促進						
	活動指標	完成目標路線数					
	目標値	現状値	0路線	3年後目標値	1路線	6年後目標値	3路線
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、主要幹線道路の整備促進に向けた国及び県との事業調整、地元調整の役割を担います。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	提案・実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	高速道路へのアクセスが格段に向上し、都市間の連携強化や、市内に集中している渋滞が緩和され環境改善が図られます。 地域の産業や観光振興に寄与し、沿道の土地利用による新たな商産業の発展や、災害時における消防・救急活動等の緊急輸送路の確保が図られます。						
担当部課	土木部土木経営課						

事業名	鶴沼奥田線街路新設事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-62-6	地域分権区分						
事業内容	都市形成に資する道路ネットワークの構築を図るため、鶴沼奥田線街路新設事業を実施します。 本路線は、主要地方道戸塚茅ヶ崎線、国道467号とともに藤沢駅周辺地区の外郭を環状に形成する路線であり、未整備区間約1,100mについて、地域の意見を聴きながら道路計画を策定し、小田急線の西側、東側、小田急線横断部の整備を順次進めます。 1 道路計画策定 2 測量等調査 3 事業用地取得 4 工事施工						
	活動指標	事業用地取得率(道路数含む)					
	目標値	現状値	26%	3年後目標値	26%	6年後目標値	41%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、地域の協力を得ながら、道路管理者として計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
(地域)	検討	計画	→	実施	→	→	
期待される事業の成果	鶴沼奥田線の整備により藤沢駅周辺地区の外郭が環状に形成され、中心市街地における効率的な移動を可能とするとともに、慢性的な交通混雑が緩和されます。さらに、中心市街地の商業活性化等の都心再生や災害時の救助活動空間、避難路としての機能を有するなど都市基盤の強化に寄与します。						
担当部課	土木部道路整備課						



事業名	石川下土棚線街路新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-7	地域分権区分					
事業内容	<p>都市計画道路藤沢厚木線を起点に同横浜伊勢原線と交差し、綾瀬市・大和市へと連絡する広域的な道路ネットワークを形成するため、石川下土棚線街路新設事業を実施します。</p> <p>本路線は、藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業で横浜伊勢原線北側区間については整備を進めていますが、綾瀬都市計画道路並塚笹山線に接続する未着手区間延長約130mについても、綾瀬市と連携して事業化を図り、藤沢厚木線から都市計画道路長後座間線までのネットワークを構築します。また、本路線に続いて大和市へと連絡する都市計画道路上谷台山王添線の事業化についても検討を進めます。</p> <p>1 測量等調査 2 橋梁設計 3 事業用地取得 4 道路・橋梁工事施工</p>					
活動指標	①事業用地取得率 ②整備率(延長)					
目標値	現状値	①0%②0%	3年後目標値	①100%②0%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、綾瀬市、大和市との広域連携により、計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	→	実施	→		
期待される事業の成果	石川下土棚線の整備により藤沢厚木線から長後座間線までの新たな南北方向の道路ネットワークが構築され、長後駅周辺に集中する自動車交通の分散化等が図られます。					
担当部課	土木部道路整備課					

事業名	(仮称)南北線街路新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-8	地域分権区分					
事業内容	<p>都市形成に資する道路ネットワークの構築を図るため、(仮称)南北線街路新設事業を実施します。</p> <p>本市は、構造的にJR東海道線による市域の南北分断という課題を抱えており、パナソニック工場跡地の土地利用転換の機会を捉え、JR横断路線である本路線を整備することにより、南北地域間の連絡強化を図ります。</p> <p>1 道路計画・設計(鉄道立体交差含む) 2 事業用地取得 3 工事施工</p>					
活動指標	①事業用地取得率 ②整備率(延長)					
目標値	現状値	①0%②0%	3年後目標値	①100%②10%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地権者などの協力を得ながら、道路管理者として計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	計画・実施	実施	→	→	→
期待される事業の成果	JR東海道線による南北地区分断の課題への対応が図られ、効率的な自動車交通環境が実現するとともに、踏切の廃止により、歩行者・自転車の安全性の向上が図られます。					
担当部課	土木部道路整備課					

事業名	亀井野二本松線街路新設事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-62-9	地域分権区分						
事業内容	都市形成に資する道路ネットワークの構築を図るため、県道藤沢平塚線から国道467号を結ぶ地区幹線道路として、亀井野二本松線街路新設事業を実施します。 本路線は、藤沢市中央部における東西交通を担う地区幹線道路であり、北部第二(一地区)土地区画整理事業区域境以東の未整備区間について、地域の協力を得ながら順次整備を進めます。 1 道路計画策定 2 橋梁設計 3 事業用地取得 4 工事施工						
	活動指標	①事業用地取得率 ②整備率(延長)					
	目標値	現状値	①0%②0%	3年後目標値	①0%②0%	6年後目標値	①0%②0%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、地域の協力を得ながら、道路管理者として計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→		計画	実施	→	
(地域)							
期待される事業の成果	亀井野二本松線の整備により、県道藤沢平塚線から国道467号を結ぶ地区幹線道路として、藤沢市中央部の東西道路ネットワークが確立し、鉄道駅へのアクセス性が向上するとともに、都市計画道路土棚石川線及び高倉遠藤線の交通負荷軽減が図られます。						
担当部課	土木部道路整備課						

事業名	藤沢石川線(善行南工区)街路新設事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-62-17-62-10	地域分権区分						
事業内容	都市形成に資する道路ネットワークの構築を図るため、藤沢地区と善行地区及び大庭地区を結ぶ地区幹線道路として、藤沢石川線(善行南工区)街路新設事業を実施します。 本路線は、県道藤沢厚木線から石名坂立石線交差点までは整備済みであり、残る未整備区間約230mについて、周辺住宅地の環境に配慮し、快適な市民生活の形成をめざして整備を進めます。 1 道路計画策定 2 測量等調査 3 事業用地取得 4 工事施工						
	活動指標	①事業用地取得率 ②整備率(延長)					
	目標値	現状値	①0%②0%	3年後目標値	①0%②0%	6年後目標値	①0%②0%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、地域の協力を得ながら、道路管理者として計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	計画	実施	→	
(地域)							
期待される事業の成果	藤沢石川線は県道藤沢厚木線から石名坂立石線までの整備が完了しており、本工区の整備により、藤沢本町駅以北の整備が完了し、大庭地区(ライフタウン)から小田急線藤沢本町駅、善行駅へのアクセス性が向上するとともに、歩行者の安全性の確保が図られます。						
担当部課	土木部道路整備課						

事業名	善行長後線(六会工区)街路新設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-62-11	地域分権区分					
事業内容	<p>都市形成に資する道路ネットワークの構築を図るため、小田急線善行駅から湘南台駅を結ぶ地区幹線道路として、善行長後線(六会工区)街路新設事業を実施します。</p> <p>本路線の未整備区間約140mを整備することで、国道467号を補完する市内南北交通機能を確保し、既に整備が完了している善行地区・六会地区と、湘南台地区の交通の円滑化を図るための整備を進めます。</p> <p>1 測量等調査 2 事業用地取得 3 工事施工</p>					
活動指標	①事業用地取得率 ②整備率(延長)					
目標値	現状値	①0%②0%	3年後目標値	①100%②100%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域の協力を得ながら、道路管理者として計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→				
期待される事業の成果	善行長後線は小田急線善行駅から県道菖蒲沢戸塚線及び北部区画整理区域内の整備が完了しており、本工区の整備により、小田急線善行駅から湘南台駅が結ばれ、鉄道駅へのアクセス性が向上するとともに、歩行者の安全性の確保、国道467号の交通の分散化が図られます。					
担当部課	土木部道路整備課					

事業名	辻堂駅周辺地域都市再生事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-1	地域分権区分					
事業内容	<p>辻堂駅前の大規模工場跡地を中心とする駅北口地区において、都市再生緊急整備地域の地域整備方針やまちづくり方針に沿って、都市再生に資するまちづくりを進めます。</p> <p>1 JR辻堂駅改良事業(本屋口自由通路・西口跨線橋改良、本屋口・西口駅舎改良等) 2 明治13号線道路拡幅改良事業(道路延長:90.6m 道路幅員:6.0m) 3 都市再生機構直接施行(街路・道路事業)立替償還金事業 4 都市拠点にふさわしい魅力ある街並みの形成 5 環境への負荷を低減するまちづくりの推進 6 湘南C-Xを持続可能な街として維持、発展させていくためのタウンマネジメントの推進</p>					
活動指標	①まちづくり形成度 ②JR辻堂駅改良事業事業進捗度					
目標値	現状値	①85.3%②66%	3年後目標値	①100%②100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、都市基盤施設の整備及び進出事業者の施設建設に対し、土地利用計画・デザイン誘導、環境負荷低減の協議・調整について役割を担います。 また、JR辻堂駅改良事業に係る工事の進捗に対する調整及び管理について役割を担います。タウンマネジメントの推進に当たっては、民間事業者等の意欲・活力が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	→					
実施	→	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	都市基盤施設の完成が近づき、進出事業者による施設建設も進められ、地区全体で調和のとれた魅力ある街並みの形成、環境にも配慮した多様な機能が集積する新たな都市拠点としての再生が図られます。					
担当部課	計画建築部建設総務課					

事業名	辻堂駅南口再整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-2	地域分権区分					
事業内容	<p>辻堂駅南口地区において、都市再生緊急整備地域の地域整備方針等に沿って、駅南北の回遊性を確保する歩行者ネットワークの構築及び歩行者の安全性の向上や交通の円滑化を図るため、南北自由通路と再開発ビルを結ぶデッキや駅前広場の整備を行います。また、辻堂駅南口再整備計画に基づき、駅前広場周辺街区の老朽化した建物の建て替えにあわせて、民間活力を基本とした再開発等の誘導や支援を行い、段階的に回遊デッキ整備の誘導を進めていきます。</p> <p>1 辻堂駅南口立体横断施設整備事業(デッキ延長:47.6m 有効幅員:4.0m)  2 辻堂駅南口駅前広場改良事業(整備面積:4,350㎡)  3 辻堂駅南口駅前広場周辺の再開発等の誘導と支援</p>					
活動指標	①交通管理者・交通事業者協議進捗率 ②デッキ・広場整備事業進捗率					
目標値	現状値	①50%②10%	3年後目標値	①100%②100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、工事の施行に伴う交通管理者、交通事業者や道路管理者との協議、辻堂駅南口デッキ及び南口駅前広場の整備について役割を担います。また、民間ビル等の建て替え計画の実現に向けた再開発等の制度を調査・研究し、支援について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	歩行者の安全性の向上及び交通の円滑化、駅南北交流軸の強化、回遊性の確保が図られるとともに、駅南口地区の機能強化、既存商店街の活性化にもつなげることが期待されます。					
担当部課	計画建設部建設総務課					

事業名	藤沢都心部再整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-3	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>湘南の玄関口として、藤沢駅南北地区の交通結節点の機能強化、土地利用及び駅直近街区の老朽化した民間ビルの再整備などによる都市再生を図るため、藤沢駅周辺地区再整備計画を策定し、具体的な個別整備事業の実施に向けた検討を進めます。</p> <p>1 藤沢駅周辺地区再整備計画の策定</p>					
活動指標	来街者数(万人/日)					
目標値	現状値	36万人	3年後目標値	36万人	6年後目標値	39.6万人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	交通事業者による駅施設の改良、行政による交通結節点機能・南北交流機能強化に資する都市基盤の再整備とともに、駅直近民間建築物の建て替え、藤沢駅北口通り線沿道の土地利用転換を含めた民間活力の導入、地元組織によるタウンマネジメント等により、まちの魅力づくり・機能強化が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	→	→	実施	→	→
期待される事業の成果	藤沢の都市拠点にふさわしい風格を備えたシンボルとなる都市空間が形成され、商業・業務・文化・都心居住機能等が充実し、活力とにぎわいのあるまちとして再生が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部藤沢駅周辺地区整備担当					

事業名	藤沢北口駅前地区整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-62-17-63-4	地域分権区分					
事業内容	藤沢北口駅前地区全体の活性化及び防災性の向上を図るため、都市基盤整備を進め、駅前にふさわしい街区の形成を図るとともに、周辺土地利用の誘導を進めます。 1 市道藤沢駅北口通り線整備 2 市道藤沢駅北口東西線整備 3 市道藤沢83号線道路改良					
活動指標	来街者数(万人/日)					
目標値	現状値	36万人	3年後目標値	36万人	6年後目標値	37万人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区内の地権者や関係企業、経済団体とともに策定したまちづくり整備計画に基づき、市は地区内の都市基盤整備とまちづくりの誘導を行い、地権者や関係企業、経済団体は、沿道の賑わいを創出する駅前にふさわしい土地利用の検討、展開を図ることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	藤沢駅北口通り線他2路線の整備を行うことにより、藤沢市の都市拠点にふさわしい街区形成が図られるとともに、地域経済の振興と防災力の強化が図られます。					
担当部課	まちづくり推進部藤沢駅周辺地区整備担当					

事業名	村岡地区都市拠点総合整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-62-17-63-5	地域分権区分					
事業内容	本事業は、新駅を中心とする村岡地区と鎌倉市深沢地区との一体的なまちづくりによる新たな都市拠点の形成を図るため、神奈川県、鎌倉市との広域連携や、きめ細かな地元対応を図りつつ、村岡・深沢地区全体整備構想の事業化を図ります。 1 市長提言を受けた村岡地区まちづくり計画を基本とした整備計画の策定 2 広域連携による新駅設置に向けたJR東日本への要望活動の強化 3 都市計画決定などまちづくりの具体化に向けた地元、関係機関との調整 第2期以降 4 新駅設置をはじめ、駅前広場、シンボル道路、公園等の都市基盤整備 5 新駅周辺にふさわしい土地利用転換などまちづくりの具体化					
活動指標	①整備計画等の策定進捗率 ②新駅設置促進期成同盟会の発足状況					
目標値	現状値	①50%②50%	3年後目標値	①80%②100%	6年後目標値	①100%②100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、県、鎌倉市との広域連携による整備計画、事業計画の策定・推進についての役割を担います。 また、まちづくりの具体化に当たっては、きめ細かな地元調整を進めることにより、地域ニーズを踏まえたまちづくりの推進を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	村岡地区都市拠点総合整備事業の実施により、公共交通の利便性の向上、藤沢駅周辺に集中する交通混雑の緩和、村岡地区の交通利便性向上、二酸化炭素削減など環境負荷の軽減、地域経済の活性化、次世代の暮らしを支える新たな拠点の形成に資する効果が期待されます。					
担当部課	まちづくり推進部村岡地区整備事務所					



## 63 地域の人材が働ける機会を創造すること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市の昼夜間人口比率は、94.9%となっています。1日の流出入人口をみると、市民の約26%は、昼間、通勤・通学等で市外に流出しています。そのうち、約30%は、東京への通勤・通学者です。一方、昼間人口の約22%は市外からの通勤・通学者で、市内へ流入しています。（2005年（平成17年）国勢調査）
- ② 藤沢公共職業安定所管内の有効求人倍率は、2010年（平成22年）8月に0.31倍となっており、全国、県内と比較して低い状況です。
- ③ 派遣労働者、ニート、フリーターの増加が近年社会問題化しています。
- ④ 県内の民間企業（常用労働者数56人以上規模の企業、2010年（平成22年）6月調査）の障がい者実雇用率は前年より0.05ポイント上昇し、1.62%となりました。同じく法定雇用率を達成している企業の割合は、2.3ポイント上昇して、45.8%となりました。障がい者の雇用状況は、改善の方向にあります。しかし法定雇用率1.8%に比べると0.18ポイントの隔たりがあり、取り組みの強化が求められています。



## 【戦略目標】

### 18 地域の人材を活かした雇用機会を創出するまち

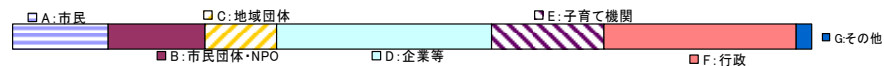
#### 【成果指標】

- ① 有効求人倍率
- ② 新たな産業集積と雇用の創出に満足している人の割合

【現状値】 ①0.35 ②10%

【めざそう値】 3年後：①0.88 ②15% 6年後：①1.10 ②30%

【役割の担い手】 ①A:12% B:12% C:9% D:27% E:14% F:24% G:2%



②A:13% B:16% C:8% D:25% E:10% F:25% G:3%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-64》 多様化した市民ニーズに対応する就労支援事業の推進

＜成果の視点＞ 若者から高齢者まで、ニーズに沿った働きのあること

〔主要な指標〕 新たな産業集積と雇用の創出に満足している人の割合（20歳～30歳代）

《政策-65》 障がい者等の自立支援の推進

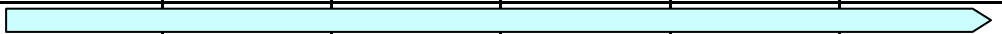
＜成果の視点＞ 障がい者にとって働きやすさと働きがいのある職場があること

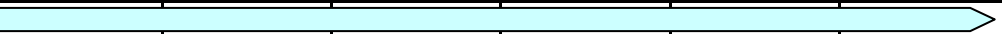
〔主要な指標〕 障がい者実雇用率



事業名	就労支援(仮称「JOBカフェ藤沢」)事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-63-18-64-1	地域分権区分					
事業内容	<p>ハローワークを補完し、市内の求職者に対してより一層丁寧な相談を行い、就労の長期定着を図るとともに、市内企業に求職者を紹介することで、労働力を確保し市内産業の活性化を図ります。2013年度(平成25年度)には、(仮称)JOBカフェ藤沢との一体化を図ります。また、ハローワーク藤沢管内の3市1町で広域連携を図り、ハローワーク藤沢、商工会議所等と連携し、就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施します。</p> <p>1 無料職業紹介事業(藤沢しごと相談システム)の実施 2 若年者雇用対策事業の実施 3 湘南就職面接会の実施</p>					
活動指標	①若年者雇用対策カウンセリング回数(年間) ②湘南就職面接会における面接回数(年間)					
目標値	現状値	①756回②382回	3年後目標値	①1,872回②390回	6年後目標値	①2,340回②390回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、無料職業紹介事業におけるカウンセリング・マッチング及び市内企業の求人開拓等について、調整管理を行うとともに、就職困難者の支援の強化を図るため、若者サポートステーション等関係機関との連携などの調整管理を行います。また、広域連携事業として実施する湘南就職面接会の企画及び関係機関との調整を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	総合的な就労支援を行うことにより、雇用のアンマッチが解消され、就労の長期定着及び就職率の改善が図られます。また、ニート・フリーターを含めた若年者就労に関するワンストップサービスの実施が図られます。					
担当部課	経済部勤労市民課					

事業名	技能職育成支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-63-18-64-2	地域分権区分					
事業内容	<p>技能職の後継者の育成・確保及び技能の継承を図るとともに、技能職の社会的地位の向上をめざします。また、湘南C-Xに開設予定の(仮称)JOBカフェ藤沢と連携し、ニート・フリーター等の若年者支援施策としても検討を進めます。</p> <p>1 (仮称)藤沢版マイスター制度の検討 2 新たな職人版インターンシップ事業(JOBカフェ事業との連携)の検討</p>					
活動指標	①マイスター認定者数(年間) ②新たな職人版インターンシップへの参加者数(年間)					
目標値	現状値	①0人②0人	3年後目標値	①5人②8人	6年後目標値	①5人②16人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、(仮称)藤沢版マイスター制度を創設し、技能職者の地位の向上が図られるよう調整管理を行います。また、(仮称)JOBカフェ藤沢と連携し、マイスターによる技術指導等により後継者の育成を図るとともに、若年者の新たな就労支援施策となるよう関係機関と調整を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	後継者不足に悩む技能職者の地位の向上をめざすとともに、若年者を中心とした地域の人材を活かした雇用機会の創出が図られます。					
担当部課	経済部勤労市民課					

事業名	障がい者就労支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-63-18-65-1	地域分権区分					
事業内容	障がいのある人の自立の促進を図るため、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町との広域連携により湘南地域就労援助センターへ助成を行い、障がいのある人の就労の場の確保並びに就労支援及び職場定着支援を推進します。また、障がいのある人の就労の場の拡大を図るため、市及び市出資法人内での障がいのある人の働く場の拡大に努めるとともに、民間企業において就労が促進されるよう支援を推進します。 1 2市1町の広域連携による湘南地域就労援助センターへの助成 2 市及び市出資法人内等で働く場の拡大、民間企業における就労の促進支援					
活動指標	湘南地域就労援助センター就労者数(累計)					
目標値	現状値	141人	3年後目標値	180人	6年後目標値	210人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町は、広域連携により湘南地域就労援助センターに助成し、障がいのある人の就労支援を促進します。					
事業スケジュール				第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	障がいのある人の就労の場の確保並びに就労支援及び職場定着支援を行うことにより、障がいのある人の就労促進が図られます。					
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)					

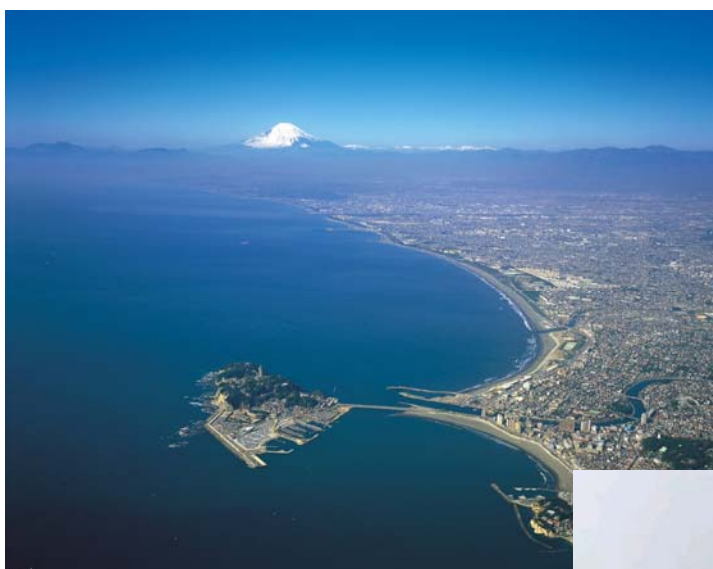
事業名	障がい者雇用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-63-18-65-2	地域分権区分					
事業内容	事業所及び市民に対し障がい者雇用についての理解と協力の促進を図ります。 1 障がい者合同面接会の実施 2 障がい者雇用促進事業所訪問の実施 3 障がい者雇用促進街頭キャンペーンの実施 4 障がい者雇用優良事業所・障がい者支援優良事業所感謝状贈呈式の実施 5 湘南地区障がい者卓球大会の実施 6 障がい者を対象とした就職支援セミナーの検討					
活動指標	①障がい者合同面接会採用決定者数(年間) ②障がい者雇用促進事業訪問事業所数(年間)					
目標値	現状値	①20人②15事業所	3年後目標値	①22人②16事業所	6年後目標値	①24人②17事業所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、各種事業について事業所や関係機関と調整を図り、実施に向けた調整を行うとともに、各種事業の運営に携わります。また、障がい者の雇用促進に向けた事業所訪問では藤沢公共職業安定所、市障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)との連携・調整を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	障がい者の求人を予定する事業主と、就職を希望する障がい者の出会いの場を提供することで、雇用の促進が図られます。また、障がい者の雇用促進と定着に向けた要請を随時行うことによって、雇用状況の改善が図られます。					
担当部課	経済部勤労市民課					

## ふじさわ未来課題

### 61 観光により地域が元気になること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市への観光客数は、海水浴客を含め、年間約 1,380 万人におよびます。  
(2009年(平成21年))
- ② 藤沢には江の島や湘南海岸のほかにも、歴史ある史跡が多くあり、地域の大切な資産となっています。
- ③ 近年、市内北部でも、お祭りやイベントを核にした誘客が進みつつあり、多くの観光客による賑わいをみせています。例えば、不法投棄などで汚染の進む小出川を彼岸花の植栽を通じてきれいにしようという活動の中で進められてきた「小出川彼岸花まつり」は、茅ヶ崎市、寒川町の住民と連携して開催されています。



## 【戦略目標】

### 19 多様な地域資源を活かした観光立市のまち

#### 【成果指標】

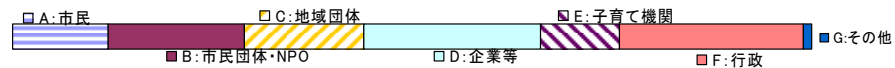
① 江の島や湘南海岸の観光地としての魅力に満足している人の割合

② 藤沢市観光客数（海水浴客を除く。）

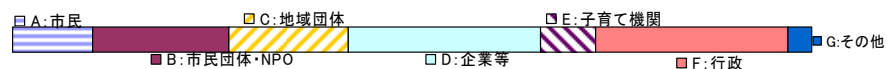
【現状値】 ①34% ②963万人

【めざそう値】 3年後：①40% ②980万人 6年後：①50% ②1,000万人

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:15% D:22% E:10% F:23% G:1%



②A:10% B:17% C:15% D:24% E:7% F:24% G:3%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-66》 新たな観光資源の開発と外国人誘客による、地域活性化の推進

＜成果の視点＞ 観光の魅力を高め、国内外からの観光者が訪れていること

〔主要な指標〕 外国からの来藤観光客数


《政策-67》 多様な地域資源を活かした、観光立市のまちづくりの推進


＜成果の視点＞ 観光を起点とした活気あるまちであること

〔主要な指標〕 観光案内件数（片瀬江の島観光案内所・藤沢駅前案内所 他）

事業名	誘客宣伝事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-66-1	地域分権区分					
事業内容	<p>広く観光客を集客するため、観光宣伝事業の実施、民間団体等が実施するイベントへの参画、観光ホームページの更新により、誘客宣伝事業を実施します。</p> <p>1 観光宣伝事業(観光親善大使事業、観光キャラバン事業、観光マップ各種作成等)</p> <p>2 観光イベントへの支援(湘南・江の島手づくりボートレース、新春江の島歴史散歩事業等)</p> <p>3 観光振興計画に掲げる新規及び拡充事業(湘南C-Xの活用促進の研究等)</p>					
活動指標	年間観光客数(海水浴客除く)					
目標値	現状値	963万人	3年後目標値	1,040万人	6年後目標値	1,070万人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、誘致活動や観光客の受入のおもてなし等を(社)藤沢市観光協会、民間事業者、地域団体等と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	実施	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	観光資源の有効活用と地域の特性を活かした観光事業により魅力ある観光地へとつながり、観光客の増加による地域の活性化が図られます。また、各分野における専門団体等様々な主体による観光イベントへの支援により、効果的に観光客誘致が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	外国人観光客誘致事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-66-2	地域分権区分					
事業内容	<p>中国、韓国をはじめ東南アジアなどの諸国を誘客重点地域として、様々なニーズを捉えた観光商品の開発・推進を図り、効果的な海外プロモーションを展開するとともに、外国語案内表記や観光客向け店舗の多言語化、観光ガイドの育成・活用等、受入体制の整備を行い、外国人観光客の誘致を図ります。</p> <p>1 外国人観光客の受入体制整備</p> <p>2 教育旅行誘致の促進</p> <p>3 外国人観光客の市場動向の把握</p> <p>4 市場特性に応じた観光プロモーションの展開</p>					
活動指標	外国人観光客数(年間)					
目標値	現状値	84,000人	3年後目標値	94,000人	6年後目標値	103,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、外国人観光客の誘致活動や受入のおもてなし等を(社)藤沢市観光協会、民間事業者、地域団体等と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・実施	実施	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	外国人観光客来訪者の現状分析や外国人旅行社との商談会など、有効な観光プロモーションの展開により外国人観光客数の増加や教育旅行誘致の促進が図られます。また、受入体制の充実により、来訪する外国人観光客が気軽に気持ちよく観光できるようになり、再来訪のきっかけとなり観光リピーターへとつながります。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	広域観光圏推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-61-19-66-3	地域分権区分					
事業内容	<p>神奈川県及び県内観光都市(横浜市, 鎌倉市, 箱根町等)で構成する各協議会や県外観光都市など各自治体の特性を活かした広域連携を図ることにより, 圏域内の観光地を結ぶ周遊型商品の開発により相互の消費観光の促進を図ります。また, JR東日本等との連携による宣伝活動及び情報発信の広域での実施により観光客の誘致を図ります。</p> <p>1 広域での観光魅力づくりの推進 2 多様な主体と連携した宣伝活動の展開 3 鎌倉市との都市連携による新たな周遊型観光商品の開発</p>					
活動指標	一人当たりの平均消費額					
目標値	現状値	4,230円	3年後目標値	4,400円	6年後目標値	4,520円
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, 周遊型商品開発や宣伝活動について近隣自治体, 民間事業者と協働, 連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	広域観光圏の推進により, 近隣自治体が一体となって事業を実施することで, 観光地において交通の拠点や通過拠点としての日帰り滞在だけでなく, 宿泊を伴う滞在型観光の促進が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-1	地域分権区分					
事業内容	<p>本市を舞台とする映画・ドラマ・CM等のロケ誘致に積極的に取り組むとともに, 市内全域におけるさらなる撮影環境の整備を図り, 観光地藤沢の情報発信及び撮影隊による直接的経済効果を図ります。</p> <p>1 本市が舞台となる映像作品制作の誘致 2 フィルム・コミッション(FC)フォーラムの開催やHPの充実による市民啓発の推進 3 FC事業から新たな観光振興及びシティセールスを図り, さらなる観光客誘致への促進</p>					
活動指標	間接的経済効果(年間)					
目標値	現状値	91億円	3年後目標値	100億円	6年後目標値	110億円
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, (社)藤沢市観光協会との調整について役割を担います。また, 事業主体の(社)藤沢市観光協会が民間事業者及び市民等の協力を得て撮影環境整備の役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	本市舞台の映像作品の誘致により, 観光地藤沢の情報発信をすることで観光誘客が図られます。また, 撮影隊による直接的経済効果が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

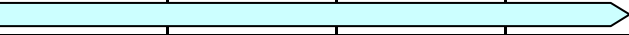
事業名		観光施設整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-61-19-67-2	地域分権区分						
事業内容	<p>観光地における観光客の利便性の向上による誘客を図るために、観光等案内サインの充実や稚児ヶ淵レストハウス等の観光施設の整備及び維持管理を実施します。</p> <p>1 稚児ヶ淵レストハウス改築工事 2 江の島島内電源供給工事 3 中津宮広場トイレ整備事業 4 観光等案内サインの充実</p>						
活動指標	年間観光客数(海水浴客除く)						
目標値	現状値	963万人	3年後目標値	1,040万人	6年後目標値	1,070万人	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、観光施設の整備及び維持管理を主体的に実施します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	検討・計画	計画・実施	実施	→			
(地域)							
期待される事業の成果	観光施設の整備及び維持管理を実施することで、観光地における観光客の利便性の向上及び市民サービスの向上による誘客が図られます。						
担当部課	経済部観光課						

事業名		通年型観光推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-7-61-19-67-3	地域分権区分						
事業内容	<p>観光客数の増加傾向を維持するために、四季折々の誘客イベントの実施、花、富士見スポット、農園・果樹園等の地域資源を活用した誘客事業や女性をターゲットとした観光プログラムを開発することで通年型の観光地化の推進を図ります。</p> <p>1 湘南江の島フェスティバル事業 2 北部観光事業 3 花火大会 4 観光振興計画に掲げる新規及び拡充事業</p>						
活動指標	新規・拡充事業の年間実施数(事業)						
目標値	現状値	2事業	3年後目標値	6事業	6年後目標値	6事業	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、イベントの検討や実施及びPRについて民間事業者、観光関係団体、観光協会等と連携して実施します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	検討・実施	実施	→	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	秋・冬・春のシーズンにも誘客イベントを実施することで、四季を通じた観光客の誘致が図られ、通年型の観光地づくりの推進が図られます。						
担当部課	経済部観光課						

事業名	海上観光活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-7-61-19-67-4	地域分権区分					
事業内容	相模湾における海上交通を利用した新たな観光資源開発について、神奈川県や近隣都市などと連携を図り、葉山港・大磯港・湘南港・真鶴港を中心とする相模湾クルーズの実施や箱根町等との広域連携による観光振興を図ります。また、千葉市等との連携による東京湾クルーズなどの観光資源の開発を実施します。 1 東京湾・相模湾クルージング事業					
活動指標	海上観光ルート数					
目標値	現状値	1ルート	3年後目標値	2ルート	6年後目標値	3ルート
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、企画、広報等について近隣自治体や民間事業者と連携して実施し、事業実施については民間事業者が役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->			----->		
	検討	→	検討・実施	実施	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	都市間の相互交流での観光客誘致が図られます。クルージング事業の実施に伴い、地場産業を活用した事業展開に結びつけることで、地域の活性化が図られます。また、事業実施については、民間海上交通事業者が行うため民間力の活用が図られます。					
担当部課	経済部観光課					

事業名	観光拠点施設推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-5	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	湘南海岸における観光機能、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能と付帯機能としてマリン・ビーチスポーツ機能を合わせもつ施設として、観光客の滞在時間の延長や消費行動に結びつける際の中心的役割を果たす観光拠点施設の推進を図ります。 1 観光拠点施設の整備、推進					
活動指標	観光拠点施設の整備進捗度					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、観光拠点施設の検討について鶴沼地区地域経営会議や企業等と連携することにより、それぞれの役割に応じた事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->			----->		
	検討	→	→	計画	実施	→
(地域)	検討	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	市南部の観光拠点施設として、観光情報発信や地産地消等の地域連携機能を持つ施設の設置により、消費観光につなげることで地域の活性化が図られます。					
担当部課	経済部観光課					



事業名	湘南江の島魅力アップ事業				
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)			
3-7-61-19-67-6	地域分権区分				
事業内容	<p>本市の観光拠点である「湘南江の島」の魅力を高め、さらなる観光拠点としての充実を図るため、次の事業を実施します。</p> <p>1 片瀬江ノ島駅再整備の検討  2 湘南海岸から江の島までの交通システムの検討  3 県施設の建て替え事業との連携・誘導</p>				
活動指標	片瀬江ノ島駅再整備の方向性検討の進捗率				
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値
実績値	H23		H24		H25
役割期待	片瀬江ノ島駅再整備については、神奈川県・小田急と協議し、その方向性について検討します。				
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25		
					
(地域)	実施	→	→	→	
期待される事業の成果	市には、年間1,300万人以上の観光客が訪れていますが、その多くが「湘南江の島」を訪れており、今後さらに、外国人観光客の大幅な増加が見込まれる中、片瀬江ノ島駅再整備、江の島への新たな交通システムの整備促進等により対応を図ることで、「湘南江の島」の魅力がさらに高まることが期待されます。				
担当部課	計画建築部都市計画課				



## 都市ビジョン3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地等の公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新等、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

##### ～まちづくり情報～

- ① 藤沢市と茅ヶ崎市，寒川町は，1962年（昭和37年）から任意の協議会として「湘南広域都市行政協議会」を設立し，様々な活動を行ってきました。2009年（平成21年）には，常設事務局を設置し，協議会の運営体制について検討した結果，基盤強化を図るため，2010年（平成22年）4月に地方自治法252条の2の規定に基づく法定協議会として「湘南広域都市行政協議会」を設立しました。住民サービスの向上，地域の活性化，行政の効率化をめざし，積極的な活動を進めています。
- ② 神奈川県と平塚市，伊勢原市，秦野市，茅ヶ崎市，藤沢市，二宮町，大磯町，寒川町の5市3町は，広域での課題を調査研究し，また，解決の方法を探るため，湘南地区市町連絡協議会を設置し，活動しています。
- ③ 藤沢市は，市民サービスの向上や地域活性化などの特定の課題について，より効果的な解決を図るため，鎌倉市，綾瀬市，大和市，南足柄市等と連携した活動を行っています。



## 【戦略目標】

### 20 多様な主体が広域連携するまち

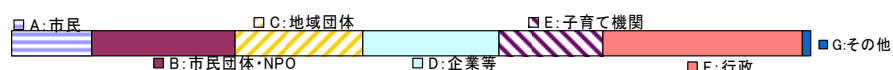
#### 【成果指標】

① 近隣市町との連携と協力による広域行政運営の推進への満足度

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:10% B:18% C:16% D:17% E:13% F:25% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－68》 湘南広域都市行政協議会における広域行政の推進

＜成果の視点＞ 法定協議会の仕組みを通じた連携・協力によって、広域行政サービスや地域活性化につなげていくこと

〔主要な指標〕 湘南広域都市行政協議会の年間事業参加者数

《政策－69》 近隣市との都市連携の推進

＜成果の視点＞ 藤沢市と鎌倉市、綾瀬市、大和市、海老名市との都市連携を通じて、共通する行政課題を解決して、広域行政サービスや地域活性化につなげていくこと

〔主要な指標〕 広域行政課題の検討数

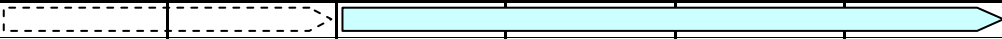
《政策－70》 市域を越えた活動主体間の連携の仕組みづくりの推進

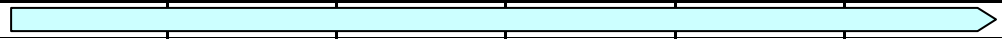
＜成果の視点＞ 行政だけでなく、市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等が市域を越えて様々な連携をおこなうこと

〔主要な指標〕 藤沢市と南足柄市の市民交流事業参加者数

事業名	湘南広域都市行政推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-68-1	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で構成する湘南広域都市行政協議会は、市町で連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域活性化を推進します。</p> <p>1 関係市町の市民サービスの向上に資する施策の立案・実施  2 地方分権の推進に関する調査研究  3 環境保全、就農支援、新産業の創出等地域活性化施策の推進</p>					
活動指標	2市1町による連携施策の数(年間)					
目標値	現状値	16施策	3年後目標値	18施策	6年後目標値	20施策
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広域的な市町民ニーズに基づき、住民サービスの向上、地域の活性化、行政の合理化及び能率化につながる様々な施策の実現を図るため、新たな自治モデルとなる広域連携施策について検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	広域連携の成果として、幅広く住民サービスの向上が図られると同時に、行政の合理化、効率化が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	パスポートセンター開設・運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-68-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町では、広域的市民サービスの向上や地域活性化を推進するため、一定規模以上の圏域に対して権限移譲が受けられる旅券事務について、広域連携により共同処理するパスポートセンターの湘南C-X・広域連携都市機能ゾーン内での開設・運営を進めます。</p> <p>1 旅券申請受付と審査(旅券作成と検査は神奈川県が実施)  2 旅券交付</p>					
活動指標	2市1町のパスポート取得希望者の新設パスポートセンター利用率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	95%	6年後目標値	97%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	2市1町が連携して、権限移譲に向けた県との連絡調整及び権限移譲を行い、パスポート発給業務を運営します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	広域連携の成果として、幅広く住民サービスの向上が図られると同時に、地域経済の活性化が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	広域行政推進関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-69-1	地域分権区分					
事業内容	<p>自治体個々では限界のある都市基盤，広域交通ネットワークやそれを活用した新産業の創出，経済，観光，緑地保全，防災等の共通する課題について，本市と大和市・綾瀬市・鎌倉市等の近隣市，神奈川県が連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域活性化を推進します。</p> <p>1 広域行政課題の解決に向けた施策の立案・実施 2 広域行政等に係る調査研究</p>					
活動指標	都市連携協定事業の数(累計)					
目標値	現状値	0事業	3年後目標値	1事業	6年後目標値	3事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は，近隣市との都市連携により，効果的・効率的に広域的なサービスを向上させるため，市民，地域と協働・連携しながら主体的に活動します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	検討	→	実施	→	→	→
期待される事業の成果	本市と近隣市，神奈川県が連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域活性化の推進が図られます。					
担当部課	経営企画部経営企画課					

事業名	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-69-2	地域分権区分					
事業内容	<p>中小企業の福利厚生の向上と従業員の定着化に向け，(財)藤沢市産業振興財団を中心として，中小企業事業主と市が連携し，勤労者福祉サービスセンター事業(中小企業従業員等福利共済事業)を充実・発展させます。</p> <p>神奈川県内の勤労者福祉共済実施自治体・団体等との連携を強化し共同事業の充実を図るとともに，勤労者福祉サービスセンター未設置の近隣市町との新たな連携により勤労者福祉サービスセンターの広域化を推進し，多様な連携を通じた勤労者向けサービスの向上を図ります。</p> <p>1 勤労者福祉サービスセンター事業の充実・発展 2 勤労者福祉サービスセンターの広域化</p>					
活動指標	勤労者福祉サービスセンターの会員数					
目標値	現状値	7,100人	3年後目標値	9,000人	6年後目標値	10,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	(財)藤沢市産業振興財団が中小企業勤労者福祉サービスセンター事業を運営します。中小企業事業主は会費を負担し，市は管理的経費に対する助成，神奈川県・近隣市町との連携の推進などの役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
						
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	中小企業が独自に行うことが難しい福利共済事業を充実することにより，中小企業勤労者の福祉の向上，従業員の定着化，中小企業の経営安定が図られます。					
担当部課	経済部産業振興課					

事業名	多様な主体による広域連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-71-20-70-1	地域分権区分					
事業内容	<p>広域交通ネットワークや経済、観光等の課題について、県内の市町村との広域連携によって広域的市民サービス機能の向上や都市間交流を推進します。</p> <p>1 南足柄市の旧北足柄中学校を活用した学習体験交流  2 本市の遊行の盆と南足柄市の金太郎祭への相互参加などを踏まえた文化・市民交流  3 新たな都市連携施策の検討、調査</p>					
活動指標	他市町との連携施策の数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	1件	6年後目標値	5件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>市は学習体験交流の調査研究を行い、関係機関との調整をする役割を担います。また、実施に当たっては、市民との協働により、市民交流の場としての役割も機能するように主体的に活動します。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	<p>学習体験交流を行うことにより、県内郷土の愛着心を育み、親子自然体験や学習体験が図られます。祭、イベント等への相互参加を図ることにより、市民レベルでの文化交流が促進されます。</p>					
担当部課	経営企画部経営企画課					





～まちづくり情報～

- ① 国土交通省では、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、今後、身体的状況、年齢、国籍等を問わず、可能な限りすべての人が、人格と個性を尊重され、自由に社会に参画し、いきいきと安全で豊かに暮らせるよう、生活環境や連続した移動環境をハード・ソフトの両面から継続して整備・改善していくという理念に基づき、2005年（平成17年）に「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定しています。
- ② 藤沢市では、2002年（平成14年）に「藤沢市交通バリアフリー化基本構想」を定め、重点整備地区の特定経路から順次バリアフリー化の整備を進めています。



## 【戦略目標】

### 2.1 誰にでも優しいユニバーサルデザインのまち

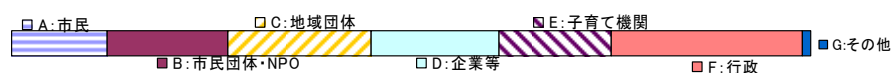
#### 【成果指標】

① 市のバリアフリー化ができていると感じる人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:15% C:18% D:16% E:14% F:24% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-71》 人と環境にやさしい都市空間の構築

＜成果の視点＞ 環境に配慮がなされているが、利便性を損なわないまちであること

〔主要な指標〕 公園愛護会の数・参加人数

《政策-72》 公共交通のユニバーサルデザインの推進

＜成果の視点＞ 誰でも不安や困難のない公共交通であること

〔主要な指標〕 市のバリアフリー化ができていると感じる人の割合（60歳代～）

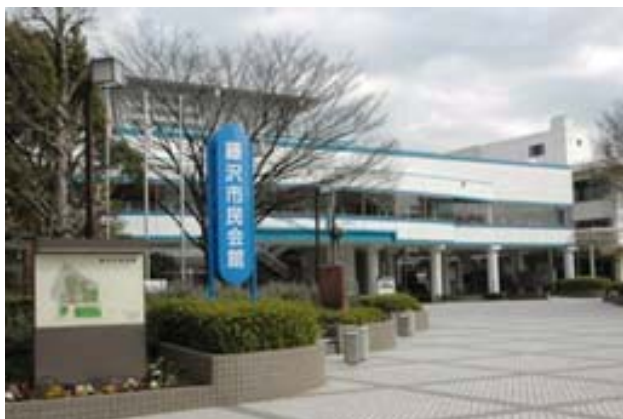
事業名	自転車対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-67-21-71-1	地域分権区分					
事業内容	<p>駅周辺の自転車等駐車場の確保やバイクシェアリング事業との連携及び街頭指導・撤去等の放置防止対策を行い、良好な駐輪環境、駅周辺環境を確保します。</p> <p>1 藤沢駅周辺を中心とした放置防止や駐輪施設の確保  2 民間活力を導入した駐輪場整備に対する助成  3 自転車等駐車場のバイクシェアリングステーションとしての活用検討  4 駅前広場や道路の放置自転車等の対策(街頭指導、撤去、保管、返還、処分等)  5 市営駐輪場の「藤沢市防犯ガイドライン」に沿った安全確保及び運営に対する管理・指導</p>					
活動指標	駐輪場 収容台数(自転車・バイク)					
目標値	現状値	18, 854台	3年後目標値	18, 950台	6年後目標値	19, 350台
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	鉄道事業者や商店会等が顧客等の駐輪場を確保することは、顧客に対するサービスの提供とともに施設設置者の責務でもあることから、役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	駅周辺の自転車等駐車場の確保及び街頭指導・撤去等の放置防止対策等を行うことで、放置台数の減少、良好な環境の確保、駅利用者の利便性向上、自転車利用の促進等が図られます。					
担当部課	土木部土木維持課					

事業名	鉄道駅エレベーター設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-67-21-72-1	地域分権区分					
事業内容	<p>人にやさしい社会づくりの推進を図るため、鉄道駅へのエレベーター設置を推進します。国の運用方針に基づき、対象となる駅すべてにエレベーターを設置していますが、運用方針の変更に伴い新たに対象となった湘南モノレール湘南江の島駅について、エレベーター設置を検討し、支援を行います。</p> <p>1 鉄道駅エレベーター設置に対する支援</p>					
活動指標	市内のエレベーター設置駅数					
目標値	現状値	8駅	3年後目標値	9駅	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、障がいがある人が安全で安心して湘南モノレール湘南江の島駅を利用できるよう、事業者と連携しエレベーターの設置を検討、実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討・計画	→	実施			
期待される事業の成果	エレベーターを設置することにより、障がいのある人や高齢者等が安全・安心に乗降できるようになり、障がいのある人や高齢者等の社会参加の推進が図られます。					
担当部課	保健福祉部障がい福祉課(2011年(平成23年)4月からの課の名称となります。)					



～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、NPM（ニュー・パブリック・マネジメント＝新たな公共経営）の考え方を施設マネジメントの基本に置きながら、本市施設の現状を積極的に公開するとともに、今後の公共施設のあり方について幅広い議論を進めることが重要と考え、その基礎的な資料となる「公共施設マネジメント白書」を作成しました。
- ② 藤沢市が保有する公共施設約 78.4 万㎡（小・中学校、市民センター、公民館、図書館、市民の家、保育園、湘南台文化センター、市民会館、市庁舎、児童館、地域子供の家等）の約 57%の約 44.6 万㎡が旧耐震基準で建設され、全体の約 54%の約 42 万㎡が建設から 20～39 年が経過しています。さらに、一般に建築物の寿命とされる築 30 年以上の施設は全体の 52.3%の約 41 万㎡であり、老朽化施設が全体の半数以上を占めています。



## 【戦略目標】

### 22 未来に引き継ぐ公有財産と社会資本を有効活用するまち

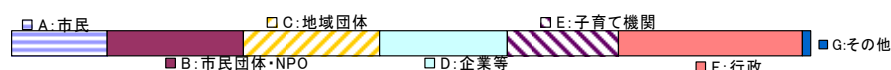
#### 【成果指標】

①次世代に社会資本が適正な状態で引き継げると思う市民の割合

【現状値】 ①13%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:17% D:16% E:14% F:23% G:1%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-73》 都市基盤施設の長寿命化対策の推進

＜成果の視点＞ 都市インフラの質は維持されながら、安定して使い続けられること

〔主要な指標〕 次世代に社会資本が適正な状態で引き継げると思う市民の割合（60歳代～）

《政策-74》 公共資産の有効活用の推進

＜成果の視点＞ 土地や建物等の公共資産が、公民連携により有効に活用されるなど、長期安定的な財源確保が追及されていること。特に施設については、利用率や必要性を十分検討のうえ、維持・廃止・統合等について方針が示されていること

〔主要な指標〕 再整備に当たっての有効活用が検討されている施設数

《政策-75》 公共施設の長寿命化と再構築の推進

＜成果の視点＞ 公共施設によるサービスが、安定して提供されていること

〔主要な指標〕 公共施設の機能停止による重大なサービスの停止期間

《政策-76》 学校教育施設の有効活用の推進

＜成果の視点＞ 学校教育施設が有効に活用され、地域の暮らしやすさにつながること

〔主要な指標〕 学校教育施設の有効活用数

事業名	公園長寿命化改修事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-1	地域分権区分						
事業内容	公園・緑地の施設を市民に安心して、安全に利用してもらうため、施設を点検調査するとともに、計画的な維持管理を図るための公園施設長寿命化計画を策定し、順次既存施設の長寿命化を図ります。 また、防犯ガイドラインを踏まえ、老朽化に伴う施設の改築・更新とバリアフリー化を実施し、より一層魅力的な、誰にでもやさしい公園として利用の促進を図ります。 1 公園施設長寿命化計画の策定 2 大規模施設修繕工事の実施 3 公園リニューアル工事の実施 4 遊具保守点検及び遊具塗装等修繕工事の実施						
	活動指標	公園施設の改修率					
	目標値	現状値	25.3%	3年後目標値	44.3%	6年後目標値	62.0%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公園の改修時には、整備内容について地域住民(公園利用者・地域市民公園愛護会)の意見を地域主体で取りまとめるなどして、地域のニーズにあわせた公園の再整備を進めます。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	より多くの市民が安全・安心に利用することが可能となり、公園が地域のふれあい、憩いの場として有効活用が図られます。 また、公園利用者が増え、公園に対する親しみ、愛着を持ってもらうことで、公園愛護会活動への参加が促進されます。						
担当部課	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課						

事業名	下水道施設再生事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-73-2	地域分権区分						
事業内容	健全な下水道事業経営を図るとともに、下水道施策として環境保全を進めるため、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、下水道施設の計画的な修繕・改築等の長寿命化対策事業を実施し、効率的かつ効果的な施設再生を推進します。 1 下水道施設の長寿命化計画策定及び長寿命化対策(修繕・改築)事業の実施 2 浄化センター・ポンプ場における高効率・省エネルギー型機器の導入、新エネルギー導入等の検討						
	活動指標	長寿命化対策設備数(累計)					
	目標値	現状値	0設備	3年後目標値	6設備	6年後目標値	33設備
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、下水道施設の計画的な修繕・改築等の長寿命化対策事業を実施します。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(地域)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	計画的な下水道施設再生を進めることにより、下水処理に伴う都市機能の維持並びに資源・エネルギー循環の推進が図られます。						
担当部課	土木部土木経営課・土木維持課・下水道施設課						

事業名	橋りょう長寿命化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-73-3	地域分権区分					
事業内容	<p>耐用年数が集中して到来する橋りょうの架け替えによる財政支出を抑制するため、橋梁長寿命化計画に基づき予防保全的な維持管理を展開し、事業費の平準化を図ります。</p> <p>また、橋りょうの耐震性向上を図るため、緊急輸送路及び避難路に関する橋りょうと、利用者が多い藤沢駅ペDESTリアンデッキを対象として、耐震化工事を実施します。</p> <p>1 橋りょうの長寿命化を図るため、修繕計画を策定し点検と予防保全的な修繕工事の実施</p> <p>2 橋りょうの耐震対策を図るため、耐震補強と落橋防止装置の設置</p>					
活動指標	①橋りょう長寿命化点検橋数(累計) ②橋りょう耐震対策済橋数(累計)					
目標値	現状値	①98橋②18橋	3年後目標値	①189橋②20橋	6年後目標値	①189橋②26橋
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、道路管理者として、計画的な整備を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	橋りょうの長寿命化により事業費の平準化が図られるとともに、橋りょうの耐震性の向上により震災時における市民の生命が守られ、震災被害を最小限にとどめることに寄与します。					
担当部課	土木部土木維持課					

事業名	引地川水系橋りょう架替事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-8-69-22-73-4	地域分権区分					
事業内容	<p>神奈川県による引地川及び蓼川の総合治水対策特定河川事業に伴う橋りょうの架替事業として、県、大和市、綾瀬市との広域連携で取り組みます。</p> <p>河川改修事業の中で架替を実施することで橋りょうの長寿命化・架替費用の分散化を図るとともに、計画道路の幅員にあわせた橋りょうの拡幅を行い、車両交通の円滑化と歩行者の安全性を確保します。</p> <p>事業化の時期については、神奈川県の河川改修計画の進捗にあわせて進めます。</p> <p>1 神奈川県との協議</p> <p>2 関係機関(大和市、綾瀬市)との協議</p> <p>3 架替工事施工</p>					
活動指標	橋りょうの架替工事進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	43%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、神奈川県、大和市、綾瀬市との協議を行い、架替工事を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	河川改修事業の中で架替を実施することにより、橋りょうの更新と架替費用の分散化が図られます。 <p>また、神奈川県施工の引地川河川改修事業の進捗にあわせ、改修計画に整合した橋りょう架替を行うことで水害対策の向上が図られます。</p>					
担当部課	土木部土木維持課					

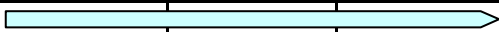


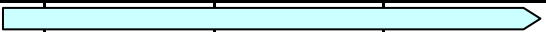
事業名	都市基盤施設一括維持管理手法研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-73-5	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>都市基盤施設(道路・橋りょう・公園等)の維持管理は、各所管部署(土木維持課・まちづくりみどり推進課・市民センター・公民館)でパトロール、点検、清掃、修繕、剪定等を行っており、これらの維持管理業務を、公民連携により効率的に実施することをめざし、そのための手法を研究します。</p> <p>1 各所管部署の既存業務の整理 2 一括維持管理手法の課題整理 3 一括維持管理手法の方向性の検討</p>					
活動指標	都市基盤施設一括維持管理手法研究の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	-
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、公民連携による都市基盤施設一括維持管理手法の研究を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→			
(地域)	実施	→	→			
期待される事業の成果	道路・橋りょう・公園等の公民連携による一括維持管理手法の導入によって、都市基盤施設の効率的な維持管理やトータルコストの縮減が図られます。					
担当部課	土木部土木維持課、まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					

事業名	公共資産有効活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-74-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市が保有する土地面積約404.7万㎡、建物延べ床面積約78.4万㎡の公共資産について、さらなる市民サービスの向上や有効活用することによる財政への寄与をめざし、施設の利用目的・利用率・利用状況を精査し有効活用の検討を行います。</p> <p>また、適切な維持管理と資産の有効活用策を構築するため、資産台帳整備の検討を行います。</p> <p>1 公共施設の有効活用の推進 2 資産台帳の整備</p>					
活動指標	資産の有効活用検討件数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	3件	6年後目標値	5件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、有効活用策の方法として公募による民間からのアイデア提案により、民間の資金とノウハウを活用し、公共資産の有効活用を促進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	財産の把握と適切な維持管理、換価を含めた資産の有効活用の促進が図られ、また資産台帳システムの導入整備による資産の有効活用策の迅速な調査・検討が推進されます。					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	公共建築物の長寿命化と利活用の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「公共施設マネジメント白書」を改訂し、広く市民に情報提供し、施設の有効利用を推進するための事業啓発をするとともに老朽化した施設については、公民連携提案制度により計画的な整備を実施します。</p> <p>また、公共建築物の長寿命化をめざして、維持保全をより計画的に行うため、紙台帳のシステム化を行い、維持保全費の支出の平準化に取り組みます。</p> <p>1 老朽化した施設の公民連携提案制度による計画的な整備の実施 2 維持保全台帳のシステム化</p>					
活動指標	維持保全事業実施施設進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	15%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、公共施設マネジメント白書を活用した機能更新や再編について、地域経営会議や民間の資金とノウハウを活用した公民連携を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	<p>2008年度(平成20年度)に発行した白書の改訂により施設の利用実態等を市民に情報提供し、施設のあり方を市民の目線で検討できる資料として使用が可能となるとともに、施設の維持修繕費の平準化と予防保全による修繕費の縮減が図られます。</p>					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	市庁舎等公共施設再整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-2	地域分権区分					
事業内容	<p>市庁舎エリア、市民会館エリア及び湘南C-X C-1街区の3つの土地を活用し、庁舎、市民会館及び南市民図書館等の再整備に向けて民間事業者からのアイデア提案を募集するなど、公共施設を再構築していきます。</p> <p>さらに、公共施設整備や藤沢駅周辺地区再整備などの諸課題については、庁内に設置した、「藤沢市公共施設再整備等推進本部会議」により、全庁的な様々な課題に対し総合調整を図りながら、整備計画の推進を図ります。</p> <p>1 庁舎、市民会館及び南市民図書館等の再整備に向けた民間事業者からのアイデア提案募集要綱の整備 2 「藤沢市公共施設再整備等推進本部会議」を活用とした課題の検討</p>					
活動指標	庁舎等の建設の進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	80%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市庁舎等の再整備に対し、敷地活用等について公募により民間からアイデアを募り、民間の資金とノウハウの活用や、公共施設の余剰床面積への民間施設の導入等を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
期待される事業の成果	<p>老朽化、耐震性能の低下による市庁舎を建て替えることにより、中枢指令機能を大規模災害発生時にも機能させるとともに、多様な市民ニーズに応えるための施設整備の実施が図られます。</p>					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	元藤沢北高等学校敷地の利活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-3	地域分権区分					
事業内容	<p>元藤沢北高等学校敷地の利活用を推進していきます。</p> <p>現在、校舎棟がある市街化部分と市街化調整区域の一部については、土地の有効活用を図ります。特に、市街化区域(第一種低層住居専用地域)約13,000㎡については、市民の要望・提案を踏まえ有効活用の検討を行い、総合計画に基づき資産の利活用の具体化を図っていきます。</p> <p>1 市民の要望・提案を踏まえた敷地の利用計画の検討・作成</p>					
活動指標	換価を含めた土地の有効活用					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	90%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	敷地の有効利用または活用について、住民自らの検討によりその方策を導き出すことが期待されます。市は、その方策を踏まえて利用計画を検討・作成します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→			
(地域)						
期待される事業の成果	消防防災訓練センターが整備されることで、市の防災機能が強化がされ、それ以外の敷地について有効活用を図ることにより敷地全体の利用が確定されます。					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	藤沢都心部地区等の公共施設再構築推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-4	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢都心部地区に市が所有する土地面積は、約4.4万㎡あり、老朽化・機能更新時期を迎えた建物の再整備とあわせて、エリア内の資産の有効活用を図ります。また、市が民間ビルを賃貸している床面積が約4千㎡あり、公共施設再構築の中で集約を図ります。</p> <p>1 中長期の推進計画の中でエリア内の土地活用を含めたスクラップ・アンド・ビルドの実施(藤沢公民館、村岡公民館、労働会館、シルバー人材センター、元藤が岡寮、保育園等)</p>					
活動指標	再整備検討件数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	2件	6年後目標値	4件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、老朽化により機能更新を迎える施設の再整備において、公民連携による事業の推進を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→			
(地域)						
期待される事業の成果	民間の資金とノウハウを活かした公民連携提案制度を活用し、財政支出の平準化が図られるとともに、施設の統廃合に向けた整備が推進されます。					
担当部課	経営企画部資産経営課					

事業名	市民センター改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-5	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>利用実態や老朽化、機能更新の時期及び地域分権を実現するための拠点施設としてのあり方等を踏まえ、計画的に市民センター等の改築等を行います。</p> <p>改築等に当たっては、公共資産の有効活用と公民連携の視点に立って整備を進めます。</p> <p>1 六会市民センターの改築 2 石川分館の機能強化に向けた整備 3 善行市民センターの改築 4 遠藤市民センター青少年ホールの改築 5 辻堂市民センターの改築 6 鶴沼市民センター分館設置の検討</p>					
活動指標	改築等を行った施設数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	1件	6年後目標値	3件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議は、市民センター・公民館と連携する中で、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った検討等を行い、市は、民間事業者のノウハウや資金等を活用しながら施設整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(地域)	検討	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	地域経営会議と市民センター・公民館が連携し、公共施設等の利用実態や老朽化、機能更新の時期及び地域分権を実現するための拠点施設としてのあり方等の検討を踏まえ、計画的な市民センター等の改築等を行うことにより、地域主体のまちづくりが推進されるとともに、公共資産の有効活用が図られます。					
担当部課	市民自治部市民自治推進課					

事業名	大庭台墓園立体墓地整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-6	地域分権区分					
事業内容	<p>市民の墓地需要に対応するため、大庭台墓園立体墓地納骨壇の増設工事を行います。</p> <p>1 大庭台墓園立体墓地納骨壇増設工事(地下2階 1,847区画)</p>					
活動指標	立体墓地納骨壇整備数					
目標値	現状値	2,853基	3年後目標値	4,700基	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、未整備となっている立体墓地地下2階の納骨壇の整備を行い、墓地を持たない市民の墓地需要への対応を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	計画	実施				
(地域)						
期待される事業の成果	立体墓地の納骨壇の整備を行い将来にわたり墓地の貸付を可能とすることにより、市民の墓地需要に応えることができます。					
担当部課	保健福祉部保健医療福祉課					

事業名		最終処分場整備事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
3-8-69-22-75-7		地域分権区分					
事業内容		<p>「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「藤沢市環境基本計画」に基づき、廃棄物の適正な処理を行うため、浸出水処理施設の機器等の修繕や機能更新工事及びのり面保護等工事を実施します。</p> <p>また、地域と協働して最終処分場の上部利用の検討を進めます。</p> <p>1 浸出水処理施設の機器等の修繕、更新工事及びのり面保護等工事の実施</p> <p>2 最終処分場の上部利用の検討</p>					
活動指標		残余容量の確保及び適正な維持管理率					
目標値		現状値	70%	3年後目標値	70%	6年後目標値	80%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市は、最終処分場廃止までの適正な維持管理と、市民の上部利用等将来計画を含めた整備を推進する役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
期待される事業の成果		最終処分場の機器を整備することにより、施設の機能を維持し、浸出水等を適正に処理することができ、環境汚染の防止及び市民の安全・安心を確保が図られます。また、地域の実情に応じた最終処分場の上部利用が図られます。					
担当部課		環境部資源廃棄物対策課					

事業名		消防署所改築整備事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
3-8-69-22-75-8		地域分権区分					
事業内容		<p>災害拠点施設の充実強化を目的とした老朽化の進む既存庁舎の改築整備について、効率的に計画の推進を図ります。</p> <p>また、事業の必要性や優先順位などを精査するとともに、整備手法にあってもPFI事業や公民連携提案事業制度の検討を視野に入れ、効果的に消防体制を構築します。</p> <p>1 本町出張所改築整備</p> <p>2 荇田出張所改築整備</p>					
活動指標		消防庁舎整備計画に基づく整備率					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	25%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市が主体となって、市民の安全・安心を確保するため、消防体制の充実強化を目的とした施設整備を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)							
期待される事業の成果		災害拠点施設として位置づけられる消防署所の整備を推進することにより、初動体制の確保及び市内全域における消防体制の機能強化が図られます。					
担当部課		消防本部消防総務課					

事業名	学校施設長寿命化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-9	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>学校施設の老朽化が進行するなか、建築物以外で老朽化している設備について、建築年数を考慮したうえで、計画的な更新を図り、学校施設の長寿命化をめざします。</p> <p>1 小・中・特別支援学校エレベータ改修整備事業  2 小・中・特別支援学校給排水設備改修整備事業  3 小・中・特別支援学校放送設備改修整備事業  4 小・中・特別支援学校プール改修整備事業</p>					
活動指標	改修実施校数(累計)					
目標値	現状値	0校	3年後目標値	23校	6年後目標値	43校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、義務教育諸学校の設置者として、学校施設の設備整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
期待される事業の成果	施設を整備することで、将来を担う子どもたちに安全で良好な教育環境の提供が図られます。					
担当部課	教育総務部学校施設課					

事業名	藤沢公民館改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-8-69-22-75-10	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>藤沢地区における市民の地域活動、学習文化活動及び防災等の拠点として1964年(昭和39年)に建築され老朽化が著しい藤沢公民館の改築を、2011年度(平成23年度)に検討し、2012年度(平成24年度)から事業を実施します。</p> <p>1 県立藤沢高校跡地利用の検討  2 地域経営会議において、地域の意見・要望等を集約  3 市民センター化も含めた複合施設としての機能を備えた施設整備の検討  4 公有資産としての有効活用を視野に入れた整備内容の検討</p>					
活動指標	整備状況進捗度					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	40%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>地域経営会議等の市民(地域)団体と公民館が連携して、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った改築事業の検討が行われることが期待されます。</p> <p>改築手法については、民間事業者のノウハウや資金等を活用した施設整備が期待されます。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→		
(地域)	検討・提案					
期待される事業の成果	駐車場の完備、バリアフリー化等、利用者にとって利便性が図られ、市民サービス向上につながるるとともに、災害時に地域防災拠点としてより適した施設となります。また、地域経営会議と連携し、地域特性や要望等を踏まえて検討を行うことにより、地域主体のまちづくりが推進され、公共資産の有効活用が図られます。					
担当部課	生涯学習部藤沢公民館					

事業名		村岡公民館改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業					
3-8-69-22-75-11	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	<p>村岡地区における市民の地域活動、学習文化活動及び防災等の拠点として、多様化する行政サービスの身近な窓口や高齢者、子育て支援に対応した機能の併設も含め、1966年(昭和41年)に建築され老朽化が著しい村岡公民館の改築を、2011年度(平成23年度)に検討し、2012年度(平成24年度)から事業を実施します。</p> <p>1 村岡地区まちづくり計画との調整  2 地域経営会議をはじめ地域団体等地域の意見・要望等の集約  3 市民センター化を含めた複合施設としての機能を備えた施設整備の検討  4 公有財産としての有効活用を視野に入れた整備内容の検討</p>						
活動指標	整備状況進捗度						
目標値	現状値	0%	3年後目標値	40%	6年後目標値	100%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	<p>地域経営会議等の市民(地域)団体と公民館が連携して、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った改築事業の検討等が行われることが期待されます。</p> <p>改築手法については、民間事業者のノウハウや資金等を活用した施設整備が期待されます。</p>						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→			
(地域)	検討・提案						
期待される事業の成果	<p>駐車場の完備、バリアフリー化など利用者にとって利便性が図られ、市民サービス向上につながるるとともに、安心安全な施設提供ができ、災害時に地域防災拠点としてより適した施設となります。また、地域経営会議と連携し、地域特性や要望等を踏まえて検討を行うことにより、地域主体のまちづくりが推進され、公共資産の有効活用が図られます。</p>						
担当部課	生涯学習部村岡公民館						

事業名		学校教育施設の有効活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-76-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>学校は、児童生徒が「生きる力」を育むために安心して学習できる教育環境であるとともに、地域の生涯スポーツ・地域コミュニティの拠点としての役割も求められています。このため、地域に開かれた学校づくりが重要であり、その一つとして学校等教育施設の有効活用についての検討を進めます。</p> <p>1 現行の利用方法の見直し  2 新たな活用方法の検討</p>						
活動指標	活用可能な普通教室を有効活用している学校の割合						
目標値	現状値	66%	3年後目標値	70%	6年後目標値	100%	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	<p>市は、地域に開かれた学校づくりを積極的に進めていく役割を担い、地域・市民には、市と協働・連携して学校教育施設の運営を担うことが期待されます。</p>						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25				
	検討	→	→				
(地域)	検討						
期待される事業の成果	<p>学校教育施設の有効活用について、課題を洗い出し、具体的な活用方法を検討することにより、学校が地域コミュニティの拠点施設としての活用が図られます。</p>						
担当部課	教育総務部教育総務課						





都市ビジョン3  
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力等の地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流等を通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげていくことをめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市には、国登録有形文化財が3件、国指定文化財が9件、県指定文化財が14件、市指定文化財が67件あります。
- ② 藤沢市では、考古資料約21,200点、民俗資料約7,170点、歴史資料約2,630点等を保管しています。
- ③ 市内13地区では、毎年公民館まつりが行われ、約12万人の市民が参加しています。地域で市民と文化が交流し、楽しむイベントとして愛され続けています。
- ④ 毎年開催している市民まつりも37回を数え、約18万人の市民が来場しています。また、湘南台ファンタジアも12回開催されています。



## 【戦略目標】

### 23 地域の伝統や文化を継承，多様なライフスタイルが生まれるまち

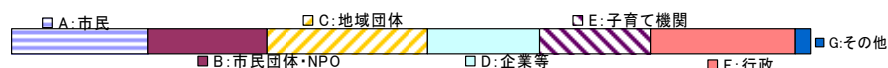
#### 【成果指標】

① 伝統行事への参加割合

【現状値】 ①39%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①56%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:20% D:14% E:14% F:18% G:2%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－77》 歴史・文化財の保存・継承活動の推進

＜成果の視点＞ 歴史，文化財等が保存され，次世代に引き継がれること

〔主要な指標〕 保存民家復原計画の策定件数と文化財建物のネットワーク件数

《政策－78》 伝統文化の保存・継承活動の推進

＜成果の視点＞ 伝統文化が保存され，次世代に引き継がれること

〔主要な指標〕 整備された映像資料の件数

《政策－79》 地域の市民文化活動の支援

＜成果の視点＞ 地域で市民文化活動が継承・発展・創造されていること

〔主要な指標〕 史跡等の指定や整備の進捗状況

事業名	保存民家復原公開事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-77-1	地域分権区分					
事業内容	<p>博物館資料として保管している広文堂店蔵、下土棚農家、江の島漁師の家、村岡の土蔵の4軒の解体保存建物の移築復原を順次実施します。これらの建物は、東海道沿いの商家、市域北部の農家、江の島の漁師(大海士)を活用し、民家園を構成して公開活用を図り、市民利用に供します。</p> <p>1 復原に当たっては、建物の文化財的価値を損なわないようにしたうえで、地域の要望を踏まえながら、伝統的な行事や生活文化を体験できる体験学習施設として整備</p> <p>2 市内に点在する文化財建物を市民団体等による管理に委ね、回遊性を持った歴史ふれあいルートでネットワーク化し、公開活用</p>					
活動指標	復原計画の策定件数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	0件	6年後目標値	2件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域や市民からの学習要望に応えた保存民家の活用方法を把握し、復原整備を担います。市民団体等には、市内に点在する文化財建物の管理を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	復原された建物を市民の利用に供し、文化財建物をネットワーク化することで、より多くの体験学習の機会を提供することが図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	歴史・文化財資料公開活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-77-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市の歴史・文化に関する調査研究の成果や市民の共有財産である歴史・文化財資料等、地域文化資料を広く市民等に公開し、利活用を図ります。</p> <p>1 寄贈美術・工芸作品等の保管・公開</p> <p>2 公民館・図書館等の地域施設における展示事業の実施</p> <p>3 収蔵資料目録の整備・公開と市民等への提供</p> <p>4 展示会の成果を再活用できるよう展示図録の作成と内容の充実</p> <p>5 学校等における博物館講座の実施</p>					
活動指標	展示会開催延べ日数(年間)					
目標値	現状値	230日	3年後目標値	300日	6年後目標値	400日
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域や市民からの学習要望に応え、保有する文化資産を保存、継承、公開します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	展示会開催等により、地域の歴史文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	映像資料整備公開事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-78-1	地域分権区分					
事業内容	<p>保有する映像資料を劣化から救うため、新たなメディアに保存するなど整備を進め、次世代へ映像資産を引き継ぎます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 フィルムの点検・清掃・修復</li> <li>2 修復済みフィルムのデジタル化・映像補正, フィルム(保存用)・DVD(公開用)作成</li> <li>3 修復が完了したフィルムを利用した, 市民との協働による上映会の開催</li> <li>4 市民団体等との協働による, 市内に所在する映像資料の調査, 収集, 公開</li> <li>5 映像により記録保存すべき対象を検討し, 記録映画等を制作して地域文化を継承</li> </ol>					
活動指標	整備された映像資料の本数(累計)					
目標値	現状値	0本	3年後目標値	4本	6年後目標値	10本
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, 映像メディアを適正に保管し, 修復を施し, 市民に公開します。また, 市民との協働により映像記録を調査・収集し, 保存・活用を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	保有する映像資料を新たなメディアに保存することで劣化から救い, 次世代へ引き継ぐとともに, 復原された鮮やかな映像によって, 地域社会の記憶が再生され, 地域文化の継承が図られます。また, 市民との協働によって映像記録の収集・公開を行うことで, 市民の生涯学習の向上が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	市指定史跡耕余塾の跡整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>明治地区にある藤沢市指定史跡「耕余塾の跡」を整備し, 安全かつ適切に管理し, 歴史の継承と郷土愛の育成を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 外周フェンスの設置</li> <li>2 石碑の移設及び敷地内整備</li> <li>3 敷地入り口の門の設置</li> <li>4 整備後の明治地区地区別まちづくり実施計画での活用</li> </ol>					
活動指標	整備に係る進捗率					
目標値	現状値	20%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, 市指定史跡である「耕余塾の跡」の史跡整備を担います。整備事業計画に地域の方々が参画することにより, 地域の要望を具現化し地域との協働が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	「耕余塾の跡」に近接したところには「旧三觜八郎右衛門家住宅」が残り, 地域の方々の協力により公開されています。本市が誇る史跡, ゆかりの深い歴史的建物等の豊かな地域資源を次世代へと継承・発展させていくことで, 郷土愛の育成が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					

事業名	江の島歴史遺産保存整備活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-2	地域分権区分					
事業内容	<p>サムエル・コッキングやエドワード・モースに代表される、江の島に遺存する歴史的資産を適正に保存・活用することで、史跡としての江の島の文化財的価値の維持・向上を図るとともに、観光資源としても活用できるよう整備します。</p> <p>1 コッキング温室遺構の国指定史跡化 2 戦争遺跡の調査、整備・活用</p>					
活動指標	整備に係る進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は遺構の文化財的価値の調査、文化財指定・登録、保存活用計画策定を担います。事業検討に地域住民や関係機関が参画することで、地域要望を具現化し地域との協働が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	----->		→			
(地域)	検討	計画	実施	→	→	→
期待される事業の成果	文化財的価値についての評価を得ることで、文化の薫る観光地としての価値が加わり、今後の歴史・文化の継承や地域の特性を活かした文化の発展が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					



## ふじさわ未来課題

### 81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、「藤沢市展」「藤沢音楽祭」「ロビーコンサート」等を開催しています。
- ② 「藤沢市民オペラ」は、優れた芸術の普及と地域に根ざした市民文化の創造を目的に市民参加の自主事業として過去 20 回以上の公演を行っています。
- ③ 学生・地域住民・商店街・企業・行政等が協力して、イルミネーション・ツリーの装飾やイベントの開催を通じて、湘南台の冬を演出する「イルミネーション湘南台」も地域の風物詩となっています。



## 【戦略目標】

### 24 市民一人ひとりが豊かな心を育む文化に触れ合う交流発信のまち

#### 【成果指標】

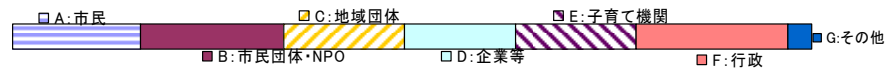
① 市域に文化があふれていると感じている市民の割合

② 市民による芸術文化活動の充実

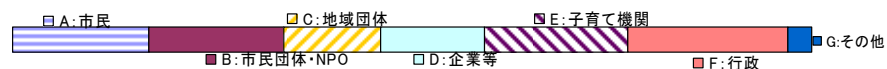
【現状値】 ①25% ②32%

【めざそう値】 3年後：①35% ②40% 6年後：①45% ②45%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:15% D:14% E:15% F:19% G:3%



②A:17% B:17% C:12% D:13% E:18% F:20% G:3%



## 政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-80》 市民主体の市民文化を創造する芸術文化普及振興活動の推進

＜成果の視点＞ 新たな市民文化が市民の手で育てられ、広まること

〔主要な指標〕 藤沢音楽祭の来場参加者数

《政策-81》 クリエイティブシティ（文化芸術創造都市）の創出

＜成果の視点＞ 文化・芸術活動が様々なところでくりひろげられ、創造文化の溢れるまちであること

〔主要な指標〕 施設整備の進捗状況



事業名		芸術文化振興事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-9-81-24-80-1	地域分権区分						
事業内容	ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現のため、芸術鑑賞事業(音楽・演劇)や体験発表事業などを実施し、芸術文化の鑑賞機会や活動機会のさらなる充実を図るとともに、市民とのパートナーシップによる芸術文化の振興や、魅力ある文化創造の発信に向けた総合的な芸術文化事業を展開します。						
	1 市民オペラなどの音楽事業		2 観劇などの演劇事業				
	3 若い世代の育成のためのアウトリーチ事業		4 文化芸術団体による文化事業				
	5 文化振興基金積立事業						
	活動指標						
目標値	現状値	3,423人	3年後目標値	3,700人	6年後目標値	3,800人	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	芸術文化推進の中心的な担い手である財団法人や文化芸術団体など、多くの市民や文化関係団体とのパートナーシップによる芸術文化の振興が期待されます。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	様々な文化・芸術事業の展開により、市民一人ひとりが心豊かに文化と触れあえ、文化芸術創造都市として、市民が誇れる文化の創造・発信が図られます。						
担当部課	生涯学習部文化推進課						

事業名		文化活動支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業					
3-9-81-24-80-2	地域分権区分						
事業内容	市民の主体的な文化活動を促進し本市の文化芸術水準の向上を図るために、様々な文化・芸術団体への助成制度等多様な方法による支援を実施します。						
	1 団体助成制度の充実						
	2 行政の後援等の活用						
	3 活動場所の優先的な提供						
	活動指標						
目標値	現状値	5団体	3年後目標値	10団体	6年後目標値	15団体	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市民、NPO・ボランティアや文化芸術団体等が支援制度を利用することで、より活発な活動になることが期待されます。						
事業スケジュール (市域全体)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→						
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
期待される事業の成果	文化芸術団体の自主的な活動を支援することにより、文化芸術団体の多様な活動が促進され、本市の文化芸術水準の向上が図られます。						
担当部課	生涯学習部文化推進課						

事業名	芸術文化活動広域ネットワーク事業					
体系コード	事業区分	まちづくり広域連携事業				
3-9-81-24-80-3	地域分権区分					
事業内容	本市の優れた芸術文化の地域資源を再認識・再発掘し、一層広域的・横断的なネットワークを構築します。 1 藤沢・茅ヶ崎・寒川による、湘南広域文化交流会事業 2 他市の市民文化会館等で活動している団体との交流					
活動指標	湘南広域文化交流事業入場者数					
目標値	現状値	1,000人	3年後目標値	1,200人	6年後目標値	1,500人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	芸術文化が活性化するために、文化芸術団体や市民などが広域的・横断的な交流を図ることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	広域的文化交流や活動団体との交流により、多様な文化活動が促進され、芸術文化の推進が図られます。					
担当部課	生涯学習部文化推進課					

事業名	市民文化創造事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-81-24-80-4	地域分権区分					
事業内容	文化芸術団体をはじめ市民、NPO、ボランティアや企業等と行政が連携・協働して、芸術文化の人づくりや場づくりを進め、子どもから青少年も含めた将来の藤沢の芸術文化を担う人材の育成や、多種多様な文化芸術の推進を図ります。 1 藤沢音楽祭 2 こころの劇場小学生等招待事業 3 市民シアター第九演奏会 4 市民力・地域力向上のための事業の検討・実施 5 藤沢市30日美術館等					
活動指標	藤沢音楽祭入場者数					
目標値	現状値	1,575人	3年後目標値	1,800人	6年後目標値	2,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	芸術文化と次世代育成の推進や新しい文化の創造のため、市民、NPO、ボランティアや企業等の文化創造への協力が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	魅力ある文化は、人々の豊かな感性や想像力を通じて生まれ、市民に元気を与え地域社会を活性化させ、魅力ある社会づくりが図られます。また、子どもや若者たちの未来へ継承され、新たな芸術文化の創造発信が図られます。					
担当部課	生涯学習部文化推進課					

事業名	文化資料展示施設開設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり公民連携事業				
3-9-81-24-81-1	地域分権区分					
事業内容	<p>市の保有する歴史・文化資料とともに、市民からの要望も踏まえて、美術資料や自然系資料など地域に関連する文化資料を総合的に展示し、市民の活用の場としての文化資料展示施設を整備します。</p> <p>1 県立藤沢高校跡地利用を前提に、「施設整備のあり方」について市民を交えた検討  2 公民館等との複合施設としての施設整備の検討  3 施設整備  4 展示公開開始</p>					
活動指標	施設整備に係る進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	40%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、保有する文化資産を公開し、市民の活用に供します。また、市民や市民団体には、市と共に事業を検討し、市民の要望に即した施設運営を行うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→		
(地域)						
期待される事業の成果	文化資料展示施設を開設することで、市民(地域)の歴史・文化情報に対するニーズに応え、郷土愛の醸成が図られます。					
担当部課	生涯学習部生涯学習課					



第5章  
地区別まちづくり  
実施計画

## 第5章の目次

片瀬地区まちづくり実施計画	283
鵜沼地区まちづくり実施計画	309
辻堂地区まちづくり実施計画	333
村岡地区まちづくり実施計画	353
藤沢地区まちづくり実施計画	377
明治地区まちづくり実施計画	403
善行地区まちづくり実施計画	431
湘南大庭地区まちづくり実施計画	455
六会地区まちづくり実施計画	477
湘南台地区まちづくり実施計画	503
遠藤地区まちづくり実施計画	537
長後地区まちづくり実施計画	559
御所見地区まちづくり実施計画	593

片瀬地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)	
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 みんなにやさしい 思いやりのまち片瀬	1 みんなが知っている、参加している、連携している地域活動の推進	1 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業	
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること	02 つなげよう！学校・家庭・地域の輪	2 子どもたちを見守り、育む地域づくりの推進	1 片瀬寺子屋事業 2 プレイパーク設置事業	
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち		18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	03 地域力最大 被害最小 災害に負けないまち片瀬	3 災害にも安全なまちづくりの推進	1 プレジャーボート対策事業 2 災害等危険箇所把握事業
					4 地域力による災害対策の推進	1 災害時要援護者支援事業 2 地区防災活動推進事業
					5 地域で支え合う福祉活動の推進	1 生活支援ボランティア推進事業 2 ひとり暮らし高齢者見守り事業 3 青少年お掃除隊事業 4 まちかど相談事業
						6 活動の場、安らぎの場があるまちづくりの推進
	19 治安の良い環境であること		05 お年寄りも安心！子どもも安全！住みよい片瀬	7 犯罪のない安心なまちづくりの推進	1 地域安全マップ事業 2 環境浄化事業	
				8 交通事故のない安全なまちづくりの推進	1 生活道路の安全向上対策事業 2 交通ルール、マナー向上事業	
				■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	34 地域で支え合い暮らせる環境であること
	5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	40 地域にある様々な地域資源が活かされていること	07 活かそう！守ろう！つなげよう！片瀬の資源		10 地域の歴史・文化や伝統行事を発展、継承するまちづくりの推進	1 民俗文化財等継承事業 2 片瀬三大まつり等支援事業
11 地域の自然や緑を守り、つなげるまちづくりの推進					1 片瀬の自然調査・研究事業 2 緑と花いっぱい推進活動事業	
6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	08 キレイがいちばん！片瀬のまち	12 地球環境保全につなげる地域環境活動の推進		1 レジ袋削減推進活動事業 2 クリーン活動推進事業	
					■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市	7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)
	8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	10 利用しよう！片瀬にあるいろいろなサービス	14 地域の公共資産の有効活用等の推進	1 公的資産有効活用推進事業
		67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道路や施設であること	11 でかけよう！安全安心片瀬のまちへ	15 誰でも、安心して移動できるまちづくりの推進	1 バリアフリーの推進事業 2 便利な交通体系のあり方検討事業
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	73 活気があり、開放的で温かいまちであること	12 世界へ発信！湘南の魅力	16 湘南の魅力を世界に発信するまちづくりの推進	1 片瀬・江の島芸術フォーラム事業 2 江の島道の整備事業



鶴沼地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)			
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して地域活動を進めるまち	1 地域活動の充実と人材の育成	1 シニア支援事業			
					2 広報紙「緑と海と人」の発行事業			
	■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること	02 学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち	2 オール鶴沼で子どもを育てる	2 鶴沼地区ポータルサイト運営事業		
						3 子どもの遊び場対策事業		
		3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと	03 高齢者が生き生きとすごせるまち	3 高齢者を取り巻く環境の向上	1 高齢者生き生き推進事業	4 情報統合紙事業	
							2 特養誘致促進研究事業	
			18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	19 治安の良い環境であること	04 市民力、地域力で災害に強いまち	4 防災活動の充実	1 災害時要援護者対策事業	2 学習・生活塾事業
								3 子どもの遊び場対策事業
								4 地域で子どもを育てよう事業
								5 子育て道しるべプラン事業
05 市民力、地域力で犯罪ゼロのまち		06 交通事故のない安全安心のまち	5 防犯活動の充実	6 交通安全対策の充実	1 防犯活動推進事業	4 地域で子どもを育てよう事業		
						1 交通危険箇所マップ事業		
■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること	07 地域住民の間で交流が盛んで、支え合うまち	7 地区内交流活動の充実	2 子育て道しるべプラン事業			
					1 世代を超えたふれあい促進事業			
	5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	39 身近にある緑が適切に保全されていること	08 景観が守られ、緑が保全されているまち	8 景観と緑の保全の推進	1 住民協定促進事業	5 子育て道しるべプラン事業		
						1 エコチャリティタウン協力事業		
	6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること	09 豊かな自然(海、川、緑)の中で憩えるまち	9 環境保全活動の充実	10 商店街活性化の推進	2 観光PR活動事業		
						1 駐輪場対策による本鶴沼駅周辺活性化研究事業		
2 観光PR活動事業								
3 新地産品の開発拡販事業								
7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	59 安全で安心な食べ物が身近で得られること	10 魅力あふれる元気な商店街が多いまち	11 地産品があふれる元気な観光のまち	11 地産地消・観光の推進	4 鶴(くぐい)市場事業			
					1 観光拠点(海の駅等)開発研究事業			
8 公共資産の維持管理と有効活用	67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道路や施設であること	12 すべての人が安心して移動、利用できるまち	12 住民と協働したまちづくりの推進	1 市民センター・公民館分館研究事業	2 鶴沼海岸駅周辺混雑解消研究事業			
					3 江ノ電鶴沼駅バリアフリー化研究事業			
					4 公園見直し事業			
					5 道路見直し事業			
					9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	73 活気があり、開放的で温かいまちであること	13 鶴沼ライフスタイルと鶴沼カルチャーを発信するまち	13 鶴沼情報発信の促進

辻堂地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～ 20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 みんなが思いやりを持ち、お互いに尊重しあい安全・安心に暮らせるまち	1 生活マナー啓発活動の推進	1 生活マナーアップ啓発事業
				2 小さな思いやりなどの親切活動の推進	1 小さな思いやり親切推進事業
				3 子ども見守り活動の推進	1 子ども見守り活動推進事業
	4 青少年育成活動の推進	1 青少年育成推進事業			
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	13 地域が子どもを見守り育てる環境であること	02 子どもが活き活きと育つまち	5 バリアフリー改善活動の推進	1 バリアフリー推進事業
				6 身体を動かす習慣を普及させる活動の推進	1 健康推進事業
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	03 人・まちのバリアフリーと福祉が充実しているまち	7 子育て支援活動の推進	1 子育て支援推進事業
				4 共に生き、共に創る地域社会の創出	26 子育て世代を支える環境が充実していること
	■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	45 地域の未来の担い手が育成されていること	06 地域ブランド情報を発信するまち	9 みどりの保全に関する活動の推進
10 環境美化のための運動の推進					1 環境美化キャンペーン事業
6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資		49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	08 美しい自然とまちなみを守り、育てるまち	11 風致地区の住環境を守る活動の推進	1 風致地区住環境保全事業
				12 エコ活動に積極的に取り組むまち	1 エコ活動推進事業
7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生		64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること	10 暮らしやすさを支える商店のあるまち	13 商店街活性化イベントの充実	1 商店街活性化イベント事業
				14 商店街の情報発信活動の推進	1 商店街情報発信事業
8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	11 公共施設とサービスが充実しているまち	15 地域拠点施設建替に伴う再編プランの提言	1 地域拠点施設再編プラン提言事業	
			12 人・自転車に優しい道路のあるまち	1 道路問題箇所改善事業	
			16 道路の問題箇所解消の推進	1 辻堂グリーン回廊事業	
9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道路や施設であること	12 人・自転車に優しい道路のあるまち	17 辻堂の歴史文化についての情報発信の推進	1 辻堂グリーン回廊事業	
			13 伝統文化を保存・継承するまち	1 伝統文化継承事業	
9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること	13 伝統文化を保存・継承するまち	18 伝統文化の情報発信と伝承活動の推進	1 伝統文化継承事業	

村岡地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)	
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 明るく、清潔で、思いやりのあるまち	1 マナー向上のための活動の推進	1 マナーアップ啓発事業	
				2 地域活動への参加、協力意識の向上	1 自治町内会加入促進事業	
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること	02 地域力で、子どもを見守り・育むまち	3 子どもたちの健全育成のための環境整備	1 村岡あいさつ運動事業	
					2 健全育成のための公園環境整備事業	
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	03 福祉が地域で支えられ、安心して暮らせるまち	4 子どもから高齢者まで世代を超えた福祉環境の充実	1 健康づくり推進事業	
				5 防犯対策の強化・充実	1 公園防犯対策LED設置事業 2 防犯パトロール体制充実事業	
			18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	05 地域住民のつながりと備えて災害に強いまち	6 安心できる防災体制の強化	1 地域防災ネットワークづくり事業
						2 防災力強化事業
	■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	26 子育て世代を支える環境が充実していること	06 みんなでつくろう「子育て環境の充実したまち」	7 子育て世代に優しい環境の充実	1 子育て支援環境づくり調査事業 2 村岡子育て支援館開設検討事業
					31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること	07 みんなで見守り、助けあうまち
		5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	45 地域の未来の担い手が育成されていること	08 地域で支える人材が育つまち		
					6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること
■ 都市ビジョン3 さらなる可能性を追求する創造発信都市		7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること	11 みんなが個性を活かし活躍できるまち		
					8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	13 歴史と文化と自然に親しみ、活かすまち 14 訪れる人を優しく迎えてくれるまち	15 地域に残された歴史・自然資源の保存・継承・活用の推進 16 通行に配慮した環境の整備		

藤沢地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～ 20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)		
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 みんなでつくり、共に歩む明るいまち	1 あいさつがかわせる環境づくり	1 地域環境向上事業		
				2 マナー向上活動の推進	1 公共マナー向上事業		
		5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること	02 多様な協働が育む、暮らしやすさを実感できるまち	3 地域活動の活発化	1 地域活動推進事業		
				4 郷土愛の普及活動	1 郷土愛普及活動事業 2 地域人材育成事業		
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	9 子どもを安心して育てられる環境があること	03 子育てにやさしいまち	5 子どもの見守り活動の実施	1 子どもの見守り活動事業		
				6 地域と子どもの交流の場の確保	1 地域子ども交流事業		
				3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	19 治安の良い環境であること	04 みんなでつくる安心・安全なまち	7 地域安全活動の充実
	8 地区内の交通事故多発地点の改善	2 安全・安心マップ作成事業 1 交通事故多発地点検証事業					
	■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること	05 思いやりと助け合いのまち	9 社会的弱者の方に配慮した必要施設等(特別養護老人ホーム・地域作業所を含む)の検証	1 地域生活改善事業	
					10 ボランティア活動の推進	1 ボランティア活動推進事業	
		5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	36 誰もが快適に暮らせ、居心地のいいまちであること	06 みんなが気持ちよく快適に移動できるまち	11 みんなが気持ちよく移動するための環境の推進	1 横須賀水道路検証事業	1 横須賀水道路検証事業
						2 藤沢バイパスの降り口検証事業	2 藤沢バイパスの降り口検証事業
3 高齢者等移動支援事業						3 高齢者等移動支援事業	
6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資		49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	07 昔ながらの歴史と文化が息づくまち	12 昔ながらのまちなみの保存	1 地域の歴史的資産発信事業	1 地域の歴史的資産発信事業	
					2 地域の歴史的資産保存環境整備事業	2 地域の歴史的資産保存環境整備事業	
		48 豊かな緑に囲まれた生活が出来ていること	08 こころやすらぐ緑豊かな環境のまち	14 緑豊かな環境の推進	14 緑豊かな環境の推進	1 地域緑化運動事業	1 地域緑化運動事業
						2 河川周辺整備事業	2 河川周辺整備事業
■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市		7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	62 産業の活力を高め、地域が元気になること	09 みんながいきいきと元気に暮らせるまち	15 いきいき元気な魅力ある商店街づくり	1 地域経済活性化事業	
					16 駅前(藤沢駅北口・藤沢本町駅)周辺のあり方の検証	1 藤沢駅北口周辺検証事業 2 藤沢本町駅周辺検証事業	
		8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	10 公共施設が充実しているまち	17 公共施設の建て替えによる公共施設のあり方についての検証	1 公共施設のあり方検証事業	1 公共施設のあり方検証事業
	11 行って楽しい 見て楽しい いつも新しい発見があるまち					1 地域の魅力発見事業 2 地域おもてなし運動事業	
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	12 自然や生き物とふれあい、楽しい体験ができるまち	19 地域の自然とふれあう機会の創出	1 大清水親水公園検証事業	1 大清水親水公園検証事業	
					2 西富憩いの森検証事業	2 西富憩いの森検証事業	

明治地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)												
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 住んでいることに誇りと喜びを感じ住み続けたいと思えるまち	1 安心できれいな道路の維持・ウォッチング活動の推進	1 歩行喫煙防止運動推進事業 2 木障切り推進事業												
				2 安心安全で誰もが利用しやすい道路の維持推進	1 マナー向上PR活動強化事業 2 明治中学校前道路路側帯カラー化事業 3 不法駐輪、放置自転車対策事業												
				3 子どもたちがみんなで屋外活動する機会の提供を推進	1 世代間及び地区外各校との交流推進事業 2 小中学校グラウンド常緑芝生化事業												
					4 子どもたちが昼間安心して活動できる場所の確保を推進	1 安全マップの活用促進事業											
				5 地域の歴史や史跡を大切に活動の推進	1 歴史講座開催・歴史ガイド養成事業												
					6 学びながら史跡巡りができる情報提供活動の推進	1 歴史散策・南北縦断観光事業											
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと	04 持続可能性を実現できるまち	7 明治を医療・健康などの中核地区として推進	1 高齢者向け医療マップ作成事業 2 医療機関等循環コミュニティバス運行事業 3 災害時要援護者支援体制推進事業												
					■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	26 子育て世代を支える環境が充実していること	05 コミュニケーションに参加できる機会があるまち	8 地域ぐるみで進める子育て支援や施設の誘致	1 民間保育施設誘致活動事業 2 子育て支援室充実事業							
										30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること	06 挨拶、声かけ、清潔で思いやりのあるまち	9 世代間での挨拶、声かけ、清掃活動の推進	1 ベットの排泄処理徹底とゴミのポイ捨て禁止運動事業 2 自転車マナーアップ運動強化推進事業 3 声かけ運動推進事業				
													5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	45 地域の未来の担い手が育成されていること	07 明治育ちを自慢できるまち	10 世代を超えて学習できる機会の推進	1 市内大学生と小中学校生との交流推進事業
																	11 高齢者と子どもが共に学び伝える昔の暮らしと遊び活動の推進
										6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	09 美化運動やエコ活動が実践できるまち	13 環境にやさしい地域、緑や花いっぱい活動の推進	1 環境問題のウォッチング及び情報共有化推進事業			
■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市	7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	65 市内の交通・物流がスムーズに行われること	10 常に交通問題や道路事情に関心もてるまち	14 交通問題について情報を収集、発信する活動の推進										1 交通問題検討事業			
						8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	11 地域資源が有効活用されているまち	15 施設の情報を共有化し有効に活用する活動の推進	1 羽鳥消防跡地活用促進事業 2 安全安心ステーション設置・運営事業 3 ボランティアセンター設立・運営事業 4 市民の家有効活用推進事業							

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)
					5 健康プラザ改修事業
				16 地域ぐるみで商店街問題を検討する活動の推進	1 商店街空き店舗対策検討事業
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	12 オープンで親切で怨(おも)いやりのあるまち	17 バリアフリー(外国語表記含む)化活動の推進	1 道路バリアフリー化促進事業 2 狭あい道路の解消化促進事業
				18 いつでもどこでも意見を聴くことのできる活動の推進	1 なんでも気づき箱設置事業

善行地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～ 20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)	
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること	01 さりげないサポートの「まち」	1 暮らしに活かす地域の力	1 「ぜんぎょう」を知ろう事業 2 善行市民活動サポートセンター開設・運営事業 3 地域活動ネットワーク事業 4 善行ささえあいマップ作成事業 5 高齢者ミニデイサロン事業	
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	13 地域が子どもを見守り育てる環境であること	02 子どもを守りはぐくむ「まち」	2 まるごと遊べる楽しい地域	1 コミュニティひろば事業 2 善行ファミリーサポート事業 3 はばたけ！ぜんぎょうの子どもたち事業	
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	19 治安の良い環境であること	03 みんなで作る安全安心な「まち」	3 防犯意識が高まる地域	1 みんなで取り組む防災事業 2 防犯パトロール強化事業	
	■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること	04 笑顔でふれあう「まち」	4 出会うよろこび感じる地域	1 あいさつ運動推進事業
		5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること 43 子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること	05 坂道とやさしくつきあう「まち」 06 郷土や自然を愛する「まち」	5 らくらく動ける便利な地域 6 心をつなぐ地域の資産	1 善行の坂道対策事業 2 高齢者等移動支援事業 1 「ぜんぎょう」を知ろう事業(再掲) 2 「ぜんぎょうの坂に愛称を！」事業
		6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	07 善い行いがあふれる「まち」	7 つくって守る地域のルール	1 「きれいなまち、みんなでつくる善行」クリーン推進事業
		■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市	7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること 62 産業の活力を高め、地域が元気になること 63 地域の人材が働ける機会を創造すること	08 みんながつどう楽しい「まち」 09 大地のめぐみを育てる「まち」 10 いきがい、やりがい、ささえあいの「まち」	8 力が集まる地域の拠点 9 「食」と「農」とをつなげる地域 10 だれもがいきいき地域の一人
	8 公共資産の維持管理と有効活用		68 日常生活に安らぎや豊かさを与えてくれる場所があること	11 自然とふれあう健康な「まち」	11 みんなでつくる癒しの地域	1 ぜんぎょう里山づくり事業 2 まちに花いっぱい事業
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出		73 活気があり、開放的で温かいまちであること	12 活気あふれる元気な「まち」	12 出かけたくなるワクワク地域	1 たのしい商店街事業

湘南大庭地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～ 20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)	
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 人と人がつながり、近所力が発揮されるまち	1 あいさつ・声かけ運動の推進	1 地域見守り隊事業 2 地域交流コミュニティプラザ開設事業	
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	13 地域が子どもを見守り育てる環境であること	02 地域の育みがあり、親子が安心して健やかな子育てができるまち	2 子育てに関する人の交流と情報交換の場の拡充	1 ニコニコ子育て応援隊事業 2 子育てサロン拡充事業 3 中高生プラザ開設事業	
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	03 地域に根ざした身近な保健・福祉・医療・健康のあるまち	3 保健・福祉・医療が連携するネットワークの推進	1 健康なんでも相談事業	
■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること	04 誰でも安心して暮らしやすいまち	4 要援護者支援体制の推進	1 要援護者把握促進支援事業	
			34 地域で支え合い暮らせる環境であること	05 地域の安全・安心を地域の活動で支え合えるまち	5 高齢者・障がい者が暮らしやすい環境の推進	1 歩行空間バリアフリー事業 2 中高層住宅エレベーター設置事業
				06 地域の人の顔と顔がわかるふれ合いのまち	6 安全・安心のまちづくり実践活動の充実と推進	1 安全安心活動推進事業
	5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	35 まちと自然環境の調和がとれていること	07 自治会と様々な地域まちづくり活動が連携しているまち	7 地域住民が多数参加するイベント・事業の充実	7 地域住民が多数参加するイベント・事業の充実	1 ふれあい活動推進事業
			08 住民参加で自然環境が守られているまち	8 自治会と地域団体との連携事業の推進	8 自治会と地域団体との連携事業の推進	1 地域団体参加者増加事業
			09 エコタウンの実現が地域力・市民力で実践されるまち	9 地区防災活動事業(共助)の推進	9 地区防災活動事業(共助)の推進	1 防災活動推進事業
6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	10 花と緑あふれるまちづくり活動の推進	10 花と緑あふれるまちづくり活動の推進	10 花と緑あふれるまちづくり活動の推進	1 街路樹景観保全事業	
		11 CO2排出量削減に向けての啓蒙啓発活動の推進	11 CO2排出量削減に向けての啓蒙啓発活動の推進	11 CO2排出量削減に向けての啓蒙啓発活動の推進	1 エコタウン化啓発事業 2 ハイブリッド発電導入事業	
		12 環境美化の向上が地域住民の高い意識で進められるまち	12 環境美化活動への参加の促進	12 環境美化活動への参加の促進	1 地域のゴミゼロ運動推進事業	
■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市	7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること	11 若い人が住みたい、住み続けたいまち	13 住宅環境・生活利便性・子育て環境等の向上	1 住まいの環境等調査研究事業	
			8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	12 様々な公共施設が誰からも親しまれ、守られ、活用されるまち	14 市民の家、自治会館等を利用した新たな地域コミュニティ活動の推進
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	13 地域住民が活用できる憩いのある公園のあるまち	15 地域に親しまれ、憩える公園としての維持・整備・活用の推進	15 地域に親しまれ、憩える公園としての維持・整備・活用の推進	1 二番橋公園再整備事業 2 健康増進公園改修事業
14 湘南大庭のライフスタイルが感じられるまち			16 地域資源を活用した魅力ある事業の推進	16 地域資源を活用した魅力ある事業の推進	1 地域魅力発掘事業	
			15 人に優しい交通アクセスによって訪れたい・住みたいまち	17 効率的でまちに優しい新たな交通システムの検討の促進	1 地域交通システム検討事業	



六会地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)			
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 みんなが公共のマナーを守るまち	1 迷惑行為撲滅活動の推進	1 迷惑行為撲滅活動事業			
				2 歩行者、自転車、車の通行ルール遵守活動の推進	1 人・自転車の事故を無くす活動事業			
				3 身近で安心して子どもを産み育てやすい環境づくりの推進	9 子どもを安心して育てられる環境があること	02 子どもたちがのびのびと育っているまち	3 子育て教室充実事業	1 子育て教室充実事業
							4 子どもたちが安心して遊べる環境の充実	1 モデル公園提案事業
							5 子どもたちの個々の能力を引き出し、高める教育の充実	1 学校支援活動充実事業
				3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	03 すべての世代がいきいきと活躍しているまち	6 福祉に関するコミュニティビジネスの創出	1 福祉に関するコミュニティビジネス創出事業
	7 高齢者や障がい者がいらっしゃる家庭への支援の充実	1 高齢者や障がい者がおられる家庭への支援充実事業						
	8 高齢者が活躍できる環境づくりの推進	1 高齢者の地域活動推進事業						
	■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	34 地域で支え合い暮らせる環境であること	04 地域で支え合うあたたかいまち	9 地域の人たちの連帯感と信頼関係醸成活動の推進	1 地域活動の広報・宣伝活動の推進事業		
					10 ボランティア活動の推進	1 ボランティアセンターの設立と組織化事業		
						2 まちづくりボランティアセンターの設立事業		
					11 六会日大前駅周辺のにぎわいの創出	1 六会日大前駅周辺まちおこし事業		
12 地域の目と声で創る防犯活動の推進					1 犯罪を減少させる活動事業			
13 ともに助け合う災害への備えの充実					1 要援護者対策の活動事業			
		2 公園バリアフリー化提案事業						
5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展		37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	05 豊かな自然と文化を守り育てるまち	14 自然、景観の保全	1 引地川及び支流水質向上事業			
					2 引地川自然環境向上事業			
					3 石川丸山谷戸の保全事業			
				15 文化的史跡の保全	1 六会の名所・旧跡保全事業			
					2 六会の伝統文化と歴史調査事業			
					6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること	06 みんなでつくろうきれいなまち	16 エコタウンむつあいの実現
2 レジ袋削減事業								
17 住民による自主清掃活動の推進		1 地域清掃活動推進事業						
18 地域の美化活動の推進		1 花の植栽活動による美しいまちづくり事業						
■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市		7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	65 市内の交通・物流がスムーズに行われること	07 生活しやすい交通環境ができています	19 高齢者、障がい者も安心して通行できる交通環境づくりの推進	1 バリアフリー化支援活動事業		
						20 交通の利便性と安全性の充実	1 踏み切り安全対策事業	
	2 交通不便地区解消検討事業							

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)
	8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	08 市民センターによる効率的なサービス提供がされるまち	21 市民センターを中心とした多機能化の推進	1 市民センター多機能化事業
				22 公共資産の有効活用の推進	1 公共施設の有効活用事業
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること	09 住んでいることを自慢できるまち	23 地域活動情報受発信の充実	1 地区ポータルサイトの受発信の充実事業
				24 地区内団体との連携をベースにした地域経営会議の充実	1 地区内団体との連携事業

湘南台地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)		
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること	01 幅広い年齢層が声を掛け合い、地域活動に参加するまち	1 若者、学生、来街者を含め、いろいろな人の参加交流の促進	1 人が集える環境づくり事業		
				2 企業と住民との間の情報やイベントの交流促進	1 企業交流促進事業		
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	9 子どもを安心して育てられる環境があること	13 地域が子どもを見守り育てる環境であること	02 安心して子育てができるまち	3 保育や医療などの子育て環境の充実	1 子育てネットワーク事業	
					03 子どもたちが安全に暮らせるまち	4 地域で見守り育てる環境の推進	1 子ども安全ネットワーク事業
					04 子どもが自然とともに育つまち	5 地域活動に子どもや若者が参加し、一緒に楽しむ環境の推進	1 子ども地域参加事業
						6 子どもたちへの環境教育の推進	1 子ども環境教育事業
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと	05 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまち	7 医療(病院)と福祉(介護施設)のネットワークの推進	1 医療・福祉ネットワーク推進事業		
				06 夜間でも安全に歩行できるまち	8 地域防災体制の充実	1 災害時要援護者支援事業	
					07 地域で声を掛け合い犯罪に遭わないまち	9 街路照明等による明るい環境の推進	1 防犯灯LED化実験事業
	■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること	08 みんなが交通ルールを守り、安全に生活できるまち	11 誰でも安全に通行できる道路環境の充実	1 道路安全対策事業	
12 交通ルールを守る意識啓発の推進					2 高倉遠藤線の延伸事業		
					09 高齢者や障がい者にやさしいまち	13 高齢者も障がい者もいつでも誰でも楽しく集える環境の充実	1 高齢者・障がい者カフェ事業
5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展						45 地域の未来の担い手が育成されていること	11 いろいろな世代の人が交流する場が豊富にあるまち
		15 多言語メディアによる広報の充実	17 市民活動団体相互の交流の推進	1 湘南台コミュニティールーム活用促進事業			
			16 多文化共生をはじめ新しい文化の創造	18 若い世代の地域活動への参加促進	1 若者参加促進事業(湘南台検定事業)		
		6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資		49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	13 住民の環境への意識が高く、豊かな自然環境と調和したまち		
20 住民の環境意識の向上への取り組みの促進			21 良好な自然環境の保全と緑化の促進			1 環境意識啓発事業	
			22 地域・家庭での地球温暖化防止への取り組みの推進			1 緑の回遊路整備事業(レインポータウン湘南台計画)	
23 住民と企業の参加・交流の推進						63 地域の人材が働ける機会を創造すること	14 地域貢献する企業と地域と一緒に活動するまち
	2 24 企業の地域貢献が活発化する施策の推進		2 コミュニティサイクル(バイクシェアリング)事業				
■ 都市ビジョン3 さらに可能性を追求する創造発信都市	7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生		62 産業の活力を高め、地域が元気になること			15 楽しく集い、ほしい物が身近に揃うまち	24 企業の地域貢献が活発化する施策の推進
		25 消費者ニーズを把握した個性ある楽しい商店街の充実		1 魅力ある商店街づくり事業			

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)
	8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	16 公共施設が有効に活用され、市民活動が活発に行われているまち	26 公共施設有効活用方策の推進	1 湘南台駅地下の壁面広告看板設置事業
				27 市民活動に対する支援の充実	2 公共施設有効活用事業
			17 明るく快適な駅があり、ふれあいのイベントが常に行われている利便性の高いまち	28 利用者の立場に立った湘南台駅の充実	1 市民活動支援のための環境整備事業
			29 ふれあいイベントによるまちの活性化推進	1 駅地下への店舗設置検討事業	2 駅地下休憩場所(ベンチ)増設事業
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	18 街並みの景観が整い、水と緑があるまち	30 住民が憩える公園や緑地等の確保と利用の推進	1 公園ユニバーサル化事業
				31 個性ある景観形成の推進	1 個性ある景観形成検討事業
			19 産・学・地域の交流が盛んなまち	32 湘南台を中心とした産業・大学・地域の交流促進	1 産・学・地域研究事業

遠藤地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)	
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 助け合いの輪が広がる夢のあるまち遠藤	1 地域活動の充実と人材育成	1 ボランティア活動推進事業	
					2 地域活動の広報充実事業	
					2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	19 治安の良い環境であること	03 住民同志の交流が活発で安全なまち遠藤	03 住民同志の交流が活発で安全なまち遠藤	3 防犯活動の充実	2 世代間交流事業
						1 防犯活動推進事業
						2 安全安心ステーション設置事業
	4 地域力による防災活動の充実	19 治安の良い環境であること	03 住民同志の交流が活発で安全なまち遠藤	03 住民同志の交流が活発で安全なまち遠藤	3 防犯活動の充実	3 地域安全マップ作成事業
						1 地区自主防災組織強化推進事業
						5 交通安全対策の推進
■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること	04 みんなの心がかよう夢のあるまち遠藤	6 地域市民交流の促進	1 地域総ぐるみ挨拶・声かけ運動事業	
					2 地域イベントへの参加促進事業	
	5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	45 地域の未来の担い手が育成されていること	05 豊かな自然を将来まで受け継いでいく夢のあるまち遠藤	05 豊かな自然を将来まで受け継いでいく夢のあるまち遠藤	7 緑地空間の保全・継承の推進	1 観光農業推進事業
						2 地場産物直売促進事業
	6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること	06 きれいで住みよい夢のあるまち遠藤	06 きれいで住みよい夢のあるまち遠藤	8 地域環境美化活動の促進	1 環境意識向上推進事業
						2 不法投棄防止対策事業
7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	65 市内の交通・物流がスムーズに行われること	07 便利な交通ネットワークのある活気あふれる豊かなまち遠藤	07 便利な交通ネットワークのある活気あふれる豊かなまち遠藤	9 新交通等の早期実現に向けた活動の促進と地域活性化の推進	3 花・木いっぱい運動推進事業	
					1 生活交通路改良事業	
8 公共資産の維持管理と有効活用	66 市民の財産である自然を守り、育てられていること	08 自然環境を守り、育てるみんなのまち遠藤	08 自然環境を守り、育てるみんなのまち遠藤	11 健康づくり活動の推進	2 集团的狭あい道路整備事業	
					1 健康の森整備促進事業	
					2 公園・緑の広場活用推進事業	
9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	73 活気があり、開放的で温かいまちであること	09 開放的な世代間交流があるまち遠藤	09 開放的な世代間交流があるまち遠藤	12 多種多様なイベント活動の充実	3 相鉄いずみ野線延伸計画促進事業	
					1 バス便増加促進事業	
					1 伝統文化継承事業	
					2 三大祭り継承事業	
					3 北部観光広域連携推進事業	

長後地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)				
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること	01 快適で円滑な交通移動をめざす長後(まち)	1 駅付近に集中する車両交通渋滞を緩和し、円滑な移動を推進	1 長後地区コミュニティバス路線開設事業				
			02 みんなが安全に安心して歩くことのできる長後(まち)	2 安全に安心して通行できるよう道路歩行環境を向上	1 長後地区道路安全確保事業 2 長後地区歩道等交通安全施設整備事業 3 長後地区狭あい道路解消推進事業 4 長後地区道路交通誘導推進事業				
			03 地域の情報が大切に扱われる長後(まち)	3 地域情報の充実	1 地域情報発信事業				
			04 子育てをみんなで支える長後(まち)	4 地域で安心して子育てができる環境の推進	1 長後すくすく応援事業(再掲) 2 放課後子ども支援事業(再掲)				
			05 学校・家庭・地域が手を結び子どもを育む長後(まち)	5 学校・家庭・地域とのネットワークの推進	1 長後子ども安全ネットワークの充実 2 地域世代間交流事業の推進				
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	9 子どもを安心して育てられる環境があること	13 地域が子どもを見守り育てる環境であること	06 誰もが健康でいきいきと暮らせる長後(まち)	6 健康維持の推進	1 体育活動支援事業 2 健康増進策の調査・研究事業			
				07 子どもから高齢者まで安心して暮らせる長後(まち)	7 地域医療体制の推進	1 医療提供体制支援事業			
				08 犯罪を防ぐ、起こさない長後(まち)	8 地域に密着した介護サービスの推進	1 介護サービス基盤整備支援事業			
				09 子どもから高齢者まで安心して暮らせる長後(まち)	9 防災・交通安全活動の拡充	1 防災知識の普及啓発事業 2 交通安全知識の普及啓発事業			
				10 防犯活動の拡充	1 安全・安心ステーションの設置運営事業 2 防犯活動の強化推進事業				
	3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと	18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	19 治安の良い環境であること	11 地域で安心して子育てができる環境の推進	1 長後すくすく応援事業 2 放課後子ども支援事業			
							12 地域で支える高齢者の生活支援の推進	1 長後システム構築事業	
							13 共生に関わる地域ボランティア団体等の活動の推進	1 長後ボランティアセンター設置事業	
							14 環境美化活動の拡充	1 ペットの飼い主のマナー普及啓発事業 2 ボイ捨て・不法投棄の防止事業	
							15 公園及び広場等の充実と維持管理の向上	1 長後地区良好な緑地保全事業 2 長後地区公園愛護会等公園維持管理活動推進事業	
■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	26 子育て世代を支える環境が充実していること	34 地域で支え合い暮らせる環境であること	11 さわやかなまち「マナーUP長後」	13 地域活動の継承と促進				
						37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	12 親しみやすいみどりの空間がある長後(まち)	16 地域活動の継承と促進	1 地域人材育成事業
						45 地域の未来の担い手が育成されていること	13 未来にバトンが引き継がれる長後(まち)	16 地域活動の継承と促進	1 地域人材育成事業

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)
	6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること	11 さわやかなまち‘マナーUP長後‘	17 環境美化活動の拡充	1 ペットの飼い主のマナー普及啓発事業(再掲) 2 ボイ捨て・不法投棄の防止事業(再掲)
■ 都市ビジョン3 さらなる可能性を追求する創造発信都市	7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	62 産業の活力を高め、地域が元気になること	15 「長後宿」がよみがえる長後(まち)	18 ひととモノの行き交う賑やかな長後への再生	1 地産地消推進事業 2 観光資源開拓事業 3 地域ブランド育成事業
		64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること	16 商店街と地域が連携して生活が営まれる長後(まち)	19 活き活きとした商店街を持つ長後への推進	1 商店街活性化事業
	8 公共資産の維持管理と有効活用	71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること。	17 未来にバトンが引き継がれる長後(まち)	20 地域活動の継承と促進	1 地域人材育成事業(再掲)
		66 市民の財産である自然を守り、育てられていること	18 みどりを増やし育む長後(まち)	21 みどりの保全及び継承の推進	1 長後地区身近なみどりをふやそう！事業 2 長後地区身近なみどりを守り残そう！事業
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	19 快適で円滑な交通移動をめざす長後(まち)	22 駅付近に集中する車両交通渋滞を緩和し、円滑な移動を推進	1 長後地区コミュニティバス路線開設事業(再掲)
		81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること	20 歴史・文化の継承と活動支援のある長後(まち)	23 地域が有する様々な歴史や伝統ある芸術文化活動の推進	1 長後カルチャー創造事業

御所見地区まちづくり実施計画体系

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～ 20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)			
■ 都市ビジョン1 市民の力が育てる生活充実都市	1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	01 交通事故のない安全運転のまち	1 自転車・歩行者もマナーを守って安全に	1 ボランティアを活用した自転車・歩行者のマナーアップ推進事業 2 安全・安心な道路点検改修事業			
				2 身近な街並みと緑の保全の推進	1 緑と花いっぱい運動推進事業 2 里山・樹木の育成事業			
					3 日常の買い物に便利な環境整備の促進	1 買い物利便性向上推進事業		
	2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	10 子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること	03 地域文化を守り育てるまち	4 伝統文化の継承の推進	1 地元文化の継承と育成事業			
				3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること	04 地域で見守る安全・安心のまち	5 夜間の安全確保など防犯対策の推進	1 犯罪抑止力の強化推進事業 2 くらし防犯対策事業
	6 自助・共助による災害への備え	1 実践活動等による防災意識の高揚事業 2 家具転倒防止対策推進事業 3 くらし防災対策事業						
		7 福祉・医療ネットワークの構築	1 身近な福祉活動の推進事業					
	8 地域の人材が活かされるコミュニティの形成	1 全員参加の地域活動促進事業						
	■ 都市ビジョン2 地域から地球に広がる環境行動都市	4 共に生き、共に創る地域社会の創出	34 地域で支え合い暮らせる環境であること	05 健全なコミュニティが形成されているまち	9 人々がいきいきと活躍できる、世代を超えた交流の促進	1 地域交流の場づくり推進事業		
					10 地域における身近な情報提供の充実	1 情報伝達手段の拡大推進事業		
5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展		45 地域の未来の担い手が育成されていること	06 地域ぐるみで青少年を育成するまち	11 家庭・学校・地域の連携の推進	1 三者連携の強化推進事業 2 四季の遊び・工作と食べ物作り教室事業			
					6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること	07 子どもから高齢者まで誰にも優しいまち	12 身近な場所でバリアフリーの推進
49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること		08 身近な環境を自ら守るまち	13 不法投棄のないクリーンなまちの実現	1 きれいな生活環境の推進事業 2 人力と機械の目で不法投棄撲滅推進事業				
			14 心安らぐ景観の整備・保全の推進	1 景観保全の推進事業 2 宮原中川あじさいロード整備事業				
7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生		57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること	63 地域の人材が働ける機会を創造すること	09 新たなコミュニティを形成するまち	15 地域の祭礼等を通じた世代間の交流の促進	1 祭りを活かした世代間の交流の場づくり推進事業		
					65 市内の交通・物流がスムーズに行われること	11 北部新中心拠点の形成	16 ファーマーズマーケットの充実	1 ファーマーズパーク構想推進事業
							17 混雑なく移動しやすい交通環境の整備	1 (仮称)綾瀬スマートインターチェンジ設置促進事業
					62 産業の活力を高め、地域が元気になること	12 活気あふれる商店街の創出	18 商店街を知ってもらおう	1 商業環境整備事業



市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿～藤沢の都市ビジョン～	「藤沢づくり」のめざす方向性～20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～	ふじさわ未来課題(住み続けたいまちを実現するための課題等)	地域まちづくり目標(未来課題が実現された状態)	地域まちづくり活動(まちづくり目標実現のため想定される活動の方向性)	実施事業名(政策を実現するための具体的事業)
					2 誘客宣伝事業
	8 公共資産の維持管理と有効活用	69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	13 みんながつどう公共施設があるまち	19 使いたい、使いやすい施設とするための活用方策の推進	1 自主財源確保推進事業
2 公共施設有効活用事業					
20 環境など地域に配慮した施設整備の推進					1 地域に配慮した施設整備促進事業
	9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出	76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること	14 地域資源を活かした観光の振興に取り組むまち	21 主産業である農業を活かした集客の実現	1 地場資源を活かした地域活性化推進事業
2 収穫祭イベント及びコンテスト事業					
3 総合案内マップ作成事業					

## 1 まちづくり実施計画の見方

まちづくり実施計画では、まちづくり事業を、都市ビジョン・藤沢づくりのめざす方向性・ふじさわ未来課題・戦略目標（地域まちづくり目標）・政策（地域まちづくり活動）で分類しています。

また、その中で、各事業をまちづくり地域事業とまちづくり行政事業（地域）に分類しています。

## 2 まちづくり情報

まちづくり事業の内容は、実施する主体または地域経営会議によって検討されています。参考となる地区のあらまし、特色等について掲載しています。

## 3 まちづくりアイデア提案事業

まちづくりのための活動のうち、アイデアとして提案されたもの、様々な主体の協力が必要なものについては、アイデア提案事業として別冊にまとめます。

## 4 地域まちづくり目標に関する指標等

### (1) 成果指標・現状値・めざそう値

成果指標は、地域まちづくり目標について、この指標が改善されれば、良くなったと考えられる状態を示しています。現状値はその値をアンケート等により測定したもので、めざそう値は実際に活動をしている皆さんの声をアンケート調査により集約したものです。

### (2) 役割の担い手

役割の担い手は、「めざそう値」実現に向けた、取り組む主体の多様性を示すもので、2010年（平成22年）8月21日から9月3日にかけて実施した「めざそう値」調査の項目として調査しました。計1,367件の5段階評価（役割は、大きい、やや大きい、やや小さい、小さい、ない）の回答を集計後、各主体ごとの割合を求めたものです。それぞれの割合は、責任の大きさではなく、実現に向け行動する主体としての期待を示しています。

「まちづくり計画」では、紙面とページ数の点から、凡例により表示します。

#### 【凡例】

A：市民（個人・家庭） B：市民団体（含市民ボランティア）・NPO  
C：地域団体（自治会・町内会等） D：企業等（民間企業・財団法人等）  
E：子育て機関（学校・幼稚園・保育園等） F：行政 G：その他

### (3) 地域まちづくり活動・成果の視点・主要な指標

地域まちづくり活動は、地域まちづくり目標を改善された状態にするために、どのような活動の方向性があるかを示したものです。成果の視点は、地域まちづくり活動が実現されたと考えられる状態を示しています。

主要な指標は、成果の視点の実現度を測定するベンチマークとして定めています。

## 表の見方

事業名	プレジャーボート対策事業						①
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					②
1-3-18-03-3-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	河川(境川)におけるプレジャーボートの不法係留は、地震による津波などの際、流失災害や火災を引き起こす恐れがあり、周辺の住民に大きな不安を与えています。 河川管理者である神奈川県は、2013年(平成25年)3月31日までの間、不法係留船の河川への係留を暫定的に認めているところですが、この暫定係留期間終了にあわせて、河川からの撤去が速やかに行われるよう、地域住民・県・関係機関との協議体制を構築し、災害に対する不安の解消・安全な環境づくりを推進します。						③
活動指標	会議開催回数(年間)						
目標値	現状値	0回	3年後目標値	年2回(2年終了)	6年後目標値	—	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深めます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	④
(地域)	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→					
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等とともに取り組むことにより、安全な環境づくりが推進されます。						⑤
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						⑥

- ① 事業名と総合計画上の区分(体系コード・事業区分)を示します。
- ② 事業の内容について示します。
- ③ その事業がどの程度行われたかを示す活動指標と、その目標値、役割期待(活動を担う主体の役割と期待)を示します。
- ④ 事業の進捗と関係する地域の活動スケジュールを示します。
- ⑤ 事業の成果として期待される内容を示します。
- ⑥ 担当部課を示します。

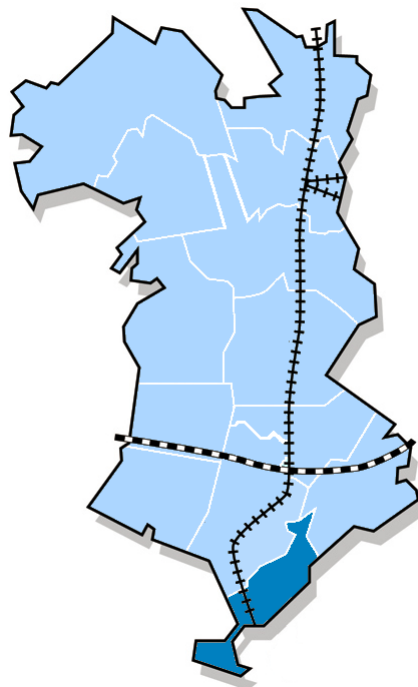


# 藤沢市新総合計画

## 片瀬地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

歴史の薫りと潮の香りがたがふふれあいのまち 片瀬・江の島



---

## 地区のあらまし

---

片瀬に最初に人が住んだのは、縄文・弥生時代からとされています。鎌倉時代には幕府と京をつなぐ要所となり、江の島はこの頃から信仰の地となっています。明治期、境川の東側に位置する片瀬・江の島は鎌倉郡に属していましたが、1947年（昭和22年）に藤沢市に編入されました。

人口は、2010年（平成22年）12月1日現在で20,712人となっており、全市の5.1%を占めています。市内13地区では3番目に少ない人口となっています。65歳以上の人口の占める割合は24.9%で、市内で一番の高齢化率となっています。また0～14歳の年少人口は13地区で3番目に少ない割合となっています。

片瀬地区の地勢としては、藤沢市の南東部の海岸線に位置し、面積は3.02km<sup>2</sup>で全市の4.3%を占めています。湘南の海と山に恵まれ、東は鎌倉市に隣接し、南海上の江の島、海岸に面した片瀬海岸、境川東岸の片瀬、山林を宅地造成した片瀬山・片瀬目白山など様々な特徴を持った地形となっています。

---

## 地区の特色

---

市内でも早くから市街化が進行した地区であり、市街地は海岸部の商業地を除き、そのほとんどが住宅地となっています。

県内有数の観光地『江の島』があり、夏の海水浴、花火大会では片瀬海岸は大きなにぎわいとなります。江の島展望灯台、サムエル・コッキング苑、江の島岩屋、新江ノ島水族館などの観光資源が多数あり、年間約1,250万人の観光客が訪れます。



地区内を縦断するように住宅の庭先を「江ノ電」が走り、藤沢から「小田急」が、大船からは「湘南モノレール」も乗り入れています。

歴史ある神社・仏閣が多数あり、史跡も多く存在する旧街道“ゑのしま道”は、歴史と文化を感じる地域の生活道路のひとつとなっています。片瀬山の住宅は高台に位置し、富士山や箱根の連山を望むことができます。

日常生活の中で、海・磯・砂浜・川・林などが身近な自然として親しまれています。

また、片瀬漁港では、江の島沖からその日に水揚げされた鮮魚の直売が行われています。

市無形文化財の「片瀬餅つき唄」が子どもたちに受け継がれており、長い歴史を誇る片瀬諏訪神社例大祭、江の島八坂神社例大祭、龍口寺法難会などの祭りでは、地域をあげたにぎわいとなります。

---

## 片瀬地区地域経営会議（片瀬・江の島まちづくり協議会）

---

地域活動団体等からの推薦委員と公募委員で構成し、福祉や防犯の活動拠点として、ボランティアセンター、安全・安心ステーションを開設し、ボランティアの育成や、乳幼児からお年寄りまでの居場所づくりなどの福祉事業、また子どもの通学時間帯の見守りなど防犯事業などを実施しています。

今後は、さらに広く地域の課題に取り組んでいきます。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなにやさしい 思いやりのまち片瀬

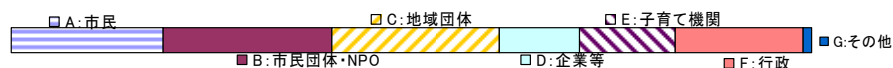
【成果指標】

①地域活動に参加したことがある人の割合

【現状値】①7%

【めざそう値】3年後：①10% 6年後：①15%

【役割の担い手】①A:19% B:21% C:21% D:10% E:12% F:16% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 みんなが知っている、参加している、連携している地域活動の推進

<成果の視点> 地域活動が活発で、助け合うまちづくりがなされていること

〔主要な指標〕人材バンクの活用件数

○実施事業 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 つなげよう！学校・家庭・地域の輪

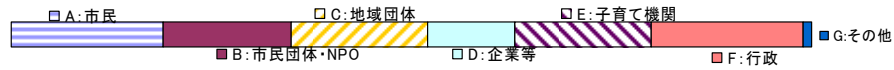
【成果指標】

①地域が子育てに積極的に関わっていると感じている市民の割合

【現状値】①34%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:19% B:16% C:17% D:11% E:17% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－2》 子どもたちを見守り，育む地域づくりの推進

＜成果の視点＞ 学校・家庭・地域が連携して子どもを見守り，育む活動をしていること

〔主要な指標〕 寺子屋の参加者数

- 実施事業 片瀬寺子屋事業
- プレイパーク設置事業

藤沢づくりのめざす方向性

**3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち**

コミュニティを維持・発展させ，市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と，犯罪や災害への不安解消などによる，安全で安心できる地域社会を創り上げることがめざします。また，病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず，心も健やかであるために，生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

**18 災害に対して，市民が不安なく暮らせるまちであること**

【地域まちづくり目標】

**03 地域力最大 被害最小 災害に負けないまち片瀬**

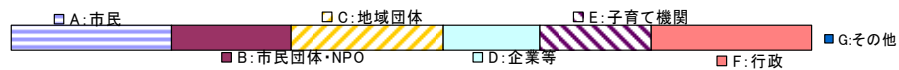
【成果指標】

①災害対策がしっかりとできていると感じている人の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:19% D:12% E:14% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－3》 災害にも安全なまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 災害に安全な環境づくりがされていること

〔主要な指標〕 災害危険箇所（物）解消数

- 実施事業 プレジャーボート対策事業
- 災害等危険箇所把握事業

《活動－4》 地域力による災害対策の推進

＜成果の視点＞ 地域で防災活動などの対策が進められていること

〔主要な指標〕 地域における防災活動の開催数・参加数

- 実施事業 災害時要援護者支援事業
- 地区防災活動推進事業



## ふじさわ未来課題

### 23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

#### 04 みんなで支え、みんなで守る片瀬の暮らし

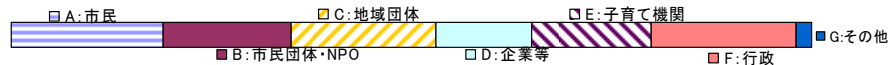
【成果指標】

①地域に支えられて暮らしていると実感している人の割合

【現状値】①28%

【めざそう値】3年後：①33% 6年後：①40%

【役割の担い手】①A:19% B:16% C:18% D:12% E:15% F:18% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－5》 地域で支え合う福祉活動の推進

<成果の視点> 地域に必要な福祉的な活動が行われていること

〔主要な指標〕 地域に支えられて暮らしていると実感している30歳未満と70歳以上の人の割合

- 実施事業 生活支援ボランティア推進事業
- ひとり暮らし高齢者見守り事業
- 青少年お掃除隊事業
- まちかど相談事業

《活動－6》 活動の場、安らぎの場があるまちづくりの推進

<成果の視点> 地域に福祉活動の拠点やいつでも集える場等が整っていること

〔主要な指標〕 居場所の開設日数

- 実施事業 地域の居場所あり方検討事業
- 青少年居場所事業

## ふじさわ未来課題

### 19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

#### 05 お年寄りも安心！子どもも安全！住みよい片瀬

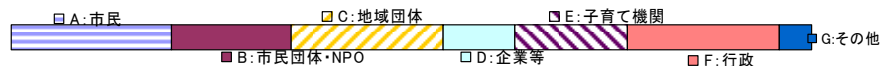
【成果指標】

①安心安全なまちと感じている人の割合

【現状値】①33%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:20% B:15% C:19% D:9% E:14% F:19% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 犯罪のない安心なまちづくりの推進

<成果の視点> 犯罪が少なくなっていくこと

〔主要な指標〕 地区内の犯罪発生数対前年比

- 実施事業 地域安全マップ事業
- 環境浄化事業

## 《活動－8》 交通事故のない安全なまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 交通事故の危険がないまちづくりが進められていること

〔主要な指標〕 地区内の交通事故発生数対前年比

- 実施事業 生活道路の安全向上対策事業  
交通ルール，マナー向上事業

### 都市ビジョン2

#### 地域から地球に広がる環境行動都市

#### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

#### ふじさわ未来課題

#### 34 地域で支え合い暮らせる環境であること

【地域まちづくり目標】

#### 06 えがおで暮らそう！明るい片瀬

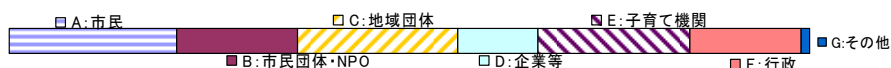
【成果指標】

①日常の挨拶ができていると思う人の割合

【現状値】 ①64%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①80%

【役割の担い手】 ①A:21% B:15% C:20% D:10% E:19% F:14% G:1%



#### 《地域まちづくり活動》

《活動－9》 世代を超えたコミュニケーションとふれあいのあるまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 地域に挨拶があふれ、世代を超えたふれあいがあること

〔主要な指標〕 あいさつ運動参加者数

- 実施事業 まちかどミニベンチ設置事業  
あいさつ運動推進事業

#### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

#### ふじさわ未来課題

#### 40 地域にある様々な地域資源が活かされていること

【地域まちづくり目標】

07 活かそう！守ろう！つなげよう！片瀬の資源

【成果指標】

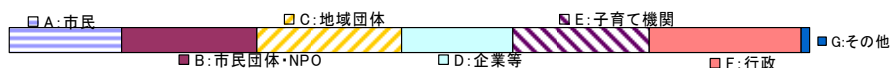
①歴史などの地域資源が活かされていると思う人の割合

②自然などの地域資源が活かされていると思う人の割合

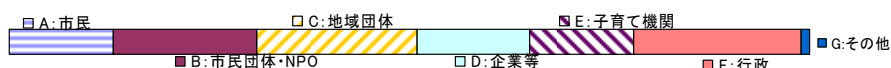
【現状値】 ①34% ②41%

【めざそう値】 3年後：①40% ②50% 6年後：①50% ②60%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:18% D:14% E:17% F:19% G:1%



②A:13% B:18% C:20% D:14% E:13% F:21% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－10》 地域の歴史・文化や伝統行事を発展，継承するまちづくりの推進

<成果の視点> 地域の歴史や文化が発展・継承される対策がされていること

〔主要な指標〕 発展・継承対策事業参加者数

○実施事業 民俗文化財等継承事業

片瀬三大まつり等支援事業

《活動－11》 地域の自然や緑を守り，つなげるまちづくりの推進

<成果の視点> 地域の自然が守られる対策がなされていること

〔主要な指標〕 地域の自然を守る対策事業参加者数

○実施事業 片瀬の自然調査・研究事業

緑と花いっぱい推進活動事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

08 キレイがいちばん！片瀬のまち

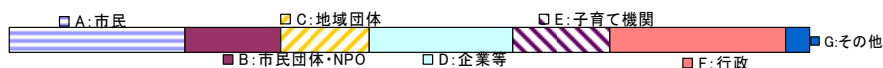
【成果指標】

①日常生活の中で、循環型社会の実現に向けた行動を実践している市民の割合

【現状値】 ①71%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①86.5%

【役割の担い手】 ①A:22% B:12% C:11% D:18% E:12% F:22% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 地球環境保全につながる地域環境活動の推進

<成果の視点> 地域や地球の環境を考えた生活や活動をしていること

〔主要な指標〕 地域が行う環境対策事業参加者数

- 実施事業 レジ袋削減推進活動事業
- クリーン活動推進事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

09 やさしい！うれしい！たのしい！片瀬のまち

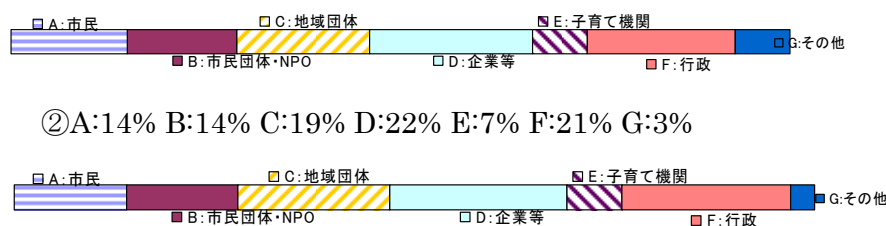
【成果指標】

- ①地域の商業に元気があると感じている市民の割合
- ②地域の農水産業に元気があると感じている市民の割合

【現状値】 ①13% ②21%

【めざそう値】 3年後：①20% ②29% 6年後：①25% ②30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:14% C:17% D:21% E:7% F:19% G:7%



《地域まちづくり活動》

《活動－13》 商店街や漁港と共に進める地域の活性化

<成果の視点> 片瀬の商店や漁港が発展し、地域が元気であること

〔主要な指標〕 地域イベントの参加者数

- 実施事業 買い物マップ作成事業
- 片瀬・江の島海岸イベント事業

## 藤沢づくりのめざす方向性

### 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

#### ふじさわ未来課題

### 71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

#### 10 利用しよう！片瀬にあるいろいろなサービス

【成果指標】

①地区内公共施設の利用率

【現状値】①42.9%

【めざそう値】3年後：①50% 6年後：①55%

【役割の担い手】①A:18% B:18% C:23% D:8% E:9% F:20% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 地域の公共資産の有効活用等の推進

＜成果の視点＞ 地域の公共資産が地域ニーズに合った利用がされ、市民主体の事業が行われていること

〔主要な指標〕 行政への検討結果の提案施設数

○実施事業 公的資産有効活用推進事業

#### ふじさわ未来課題

### 67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道路や施設であること

【地域まちづくり目標】

#### 11 でかけよう！安全安心 片瀬のまちへ

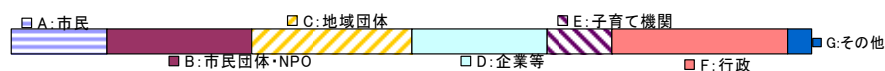
【成果指標】

①移動や利用に不便を感じていない市民の割合

【現状値】①40%

【めざそう値】3年後：①45% 6年後：①55%

【役割の担い手】①A:12% B:18% C:20% D:17% E:8% F:22% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－15》 誰でも、安心して移動できるまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 子どもから高齢者まで、誰でも外出し易い環境が整っていること

〔主要な指標〕 バリア対策の実施及び提言箇所数

○実施事業 バリアフリーの推進事業

便利な交通体系のあり方検討事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

ふじさわ未来課題

### 73 活気があり，開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

#### 12 世界へ発信！湘南の魅力

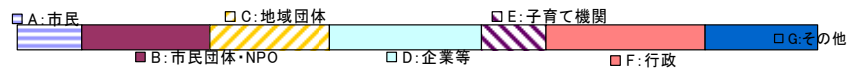
【成果指標】

①片瀬・江の島を訪れる人数（海水浴客を除く）

【現状値】①8,265 千人

【めざそう値】3年後：①8,300 千人 6年後：①9,000 千人

【役割の担い手】①A:8% B:16% C:15% D:19% E:8% F:20% G:14%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 湘南の魅力を世界に発信するまちづくりの推進

<成果の視点> 湘南の魅力にあふれ，世界の人々が交流するまちであること

〔主要な指標〕 フォーラム参加者数

○実施事業 片瀬・江の島芸術フォーラム事業  
江の島道の整備事業

事業名	片瀬地区人材・情報バンクセンター事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>現在、地域のまちづくり活動が一部の地域市民に偏って負担となっている状況があり、事業の推進や新たな事業の展開には、新たな人材の発掘が不可欠です。</p> <p>地区の人材・情報バンクセンターを設け、コーディネーターを核として、人材養成講座、地域活動やボランティアの情報発信、活動希望者登録、ボランティアが必要な事業(人)等の登録、活動者と事業等の調整・地域活動等のネットワークづくり・地域活動のシステムづくり等を推進します。</p> <p>1 片瀬地区人材・情報バンクセンターの設置 2 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業の推進(多様な地域活動者の参加)</p>					
活動指標	人材バンクの登録者数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	100人	6年後目標値	200人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、コーディネーターを核として、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に取り組むことにより、地域における担い手の拡大が図られます。					
担当部課	市民自治部片瀬市民センター					

事業名	片瀬寺子屋事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-14-02-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の子どもは地域で育て、子どもたちが健やかに成長していくことを目的に、地区内の小学生(中学生は、教育政策推進課の学校支援事業で対応)を対象に、地域の子育て経験の豊かな大人や学生が、勉強会を実施します。</p> <p>初年度は、指導に当たる指導者や会場の確保を図るとともに、支援体制の仕組みづくりを検討します。</p> <p>1 会場、指導者等事業運営体制の整備 2 小学生を対象とした勉強会の実施</p>					
活動指標	寺子屋の授業数(年間)					
目標値	現状値	0授業	3年後目標値	48授業	6年後目標値	48授業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校等と共に取り組むことにより、地域で子どもたちを育む環境づくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部片瀬市民センター					

事業名		プレイパーク設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-2-14-02-2-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>地域内でボール遊びできる公園が少ないため、地域の子どもたちが元気に外遊びをする場や、高齢者が安全に楽しむ場を提供します。</p> <p>子どもたちの体力向上と運動能力を高め、仲間づくりや心の発達につなげるとともに、高齢者とのふれあいの場とすることを目的に、地区内公園や緑の広場、あるいは公園予定地などの活用も視野に入れ調査研究し、プレイパーク設置に向けて関係機関との連携を図ります。</p> <p>1 緑の広場等、ボール遊びができる場の調査・調整・整備 2 公園予定地の整備にかかるワークショップへ参加(地域の意見調整・市への意見提案)</p>						
	活動指標	ボール遊びできる場の箇所数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	2か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	検討	実施	→			
(市域全体)		検討	実施	→			
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に取り組むことにより、地域で子ども達を育む環境づくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		プレジャーボート対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-18-03-3-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>河川(境川)におけるプレジャーボートの不法係留は、地震による津波などの際、流失災害や火災を引き起こす恐れがあり、周辺の住民に大きな不安を与えています。</p> <p>河川管理者である神奈川県は、2013年(平成25年)3月31日までの間、不法係留船の河川への係留を暫定的に認めているところですが、この暫定係留期間終了にあわせて、河川からの撤去が速やかに行われるよう、地域住民・県・市・関係機関との協議体制を構築し、災害に対する不安の解消・安全な環境づくりを推進します。</p> <p>1 地域住民と県、市、関係機関による境川の不法係留船対策を協議する会の開催</p>						
	活動指標	会議開催回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	年2回(2年終了)	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→					
(市域全体)	実施	→					
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に取り組むことにより、安全な環境づくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						



事業名		災害等危険箇所把握事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-18-03-3-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>片瀬地区は、海と山と川に囲まれた市内でも自然環境に恵まれた地域です。県が2011年度(平成23年度)に実施する予定の土砂災害警戒区域調査やハザードマップ等も参考としながら、集中豪雨や地震、津波などの自然災害時による被害が心配される箇所を調査把握します。</p> <p>また、災害時の避難施設のトイレ等設備のあり方などを含め、事前の対応策を検討し、関係者(機関)との協議を進めます。なお、6年間で災害等危険箇所把握事業を一区切りとし、再度必要により検討します。</p> <p>1 自然災害時に被害が心配される箇所の調査、事前対策の検討、関係機関との協議・調整</p>						
	活動指標	危険対策協議をした箇所数					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	5か所	6年後目標値	10か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→			
(市域全体)	実施	→	→	→			
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に取り組むことにより、災害に強い安全な環境づくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		災害時要援護者支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-18-03-4-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>災害時に自ら避難することが困難と思われる高齢者等の安否確認、救出体制など避難支援の仕組みを整備することが地域防災の大きな課題となっていることから、地域の自主防災組織と関係機関等との連携などによる仕組みづくりを推進します。</p> <p>また、中高層集合住宅居住者に対する方策の検討や特別な医療処置が必要となる難病患者等の個別の避難支援計画づくりの仕組みを保健・医療・福祉機関等と連携して検討する等の新たな取り組みを推進します。</p> <p>1 地域の自主防災組織と関係機関等との連携などによる避難支援の仕組みづくりの推進 2 中高層集合住宅居住者に対する方策の検討 3 難病患者等個別の避難支援計画づくりの仕組みの検討</p>						
	活動指標	要援護者対策を実施している自主防災組織の数(累計)					
	目標値	現状値	15組織	3年後目標値	22組織	6年後目標値	22組織
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に取り組むことにより、地域防災力の向上が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名	地区防災活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-18-03-4-2	地域分権区分					
事業内容	<p>災害が平日の日中に起きた場合など、片瀬中学校生徒等が被災者救助に大きな役割を果たすことが期待されます。</p> <p>中学生等をジュニア防災リーダーとして養成し、自主防災組織において、その役割を位置づけ、普段から地域の自主防災組織の重要なメンバーとして防災活動に参加するなど次世代を担う人材の育成を図ります。毎年、地区の防災訓練等への中学生の参加を進めます。</p> <p>1 中学生等のジュニア防災リーダーとしての養成 2 中学生等の地域の防災活動への参加 3 ジュニア防災リーダーの自主防災組織における役割の検討</p>					
活動指標	中学生を組み入れている自主防災組織数(累計)					
目標値	現状値	0組織	3年後目標値	22組織	6年後目標値	22組織
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校(生徒)等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校(生徒)等と共に取り組むことにより、地域防災力の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部片瀬市民センター					

事業名	生活支援ボランティア推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>片瀬地区は、藤沢市内において最も高齢化率の高い地域ですが、地区内に住む高齢者等には、公的サービスでは賄えない困りごとがたくさん存在します。</p> <p>公的サービスの適用からは外れますが、手助けを必要としている方、小さな手助けがあれば、まだまだ自立した生活を送ることが可能な方などへの生活支援ボランティアの仕組みを充実させ、高齢者等が安心して暮らせるように、地域で支え合うシステムの推進を検討します。</p> <p>1 地域の実態調査 2 関係機関と協働したあり方の検討 3 生活支援ボランティア事業の推進</p>					
活動指標	生活支援ボランティア活動者数(累計)					
目標値	現状値	38人	3年後目標値	50人(4年後)	6年後目標値	70人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	計画	実施	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関等と共に取り組むことにより、支え合う地域づくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部片瀬市民センター					

事業名	ひとり暮らし高齢者見守り事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-5-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域とのつながりが希薄となっていく現代で、ひとり暮らしの高齢者を地域から孤立させないため、民生委員活動、自主防災会による要援護者支援の仕組み、自治会の班を軸としたコミュニティ活動、老人クラブ友愛チーム、新聞配達員等及び地域包括支援センター・在宅介護支援センター等の専門機関との連携による、ひとり暮らし高齢者の見守り体制など、地域で孤独死が起きないようにシステムを調査研究し、取り組みを進めます。</p> <p>1 地域の見守り等の体制の実態調査 2 地域としての見守り体制のあり方の検討 3 地域としての見守りシステムの開発、実施</p>					
活動指標	ひとり暮らし見守りシステム数(累計)					
目標値	現状値	1システム	3年後目標値	2システム(4年後)	6年後目標値	3システム
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関、企業等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			→		
	検討	→	計画	実施	→	→
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関、企業等と共に取り組むことにより、支え合う地域づくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部片瀬市民センター					

事業名	青少年お掃除隊事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-23-04-5-3	地域分権区分					
事業内容	<p>小田急片瀬江ノ島駅周辺にゴミが多いという現状を踏まえ、地域の青少年による駅前広場の清掃活動を地域ボランティアや周辺の事業所等の協力を得て実施します。</p> <p>清掃活動による社会貢献だけでなく、ボランティア活動や話し合いなどを通して、地域の青少年の成長を応援していくことを目的に実施します。2014年度(平成26年度)に事業を再検証します。</p> <p>1 青少年とボランティアによる清掃活動の実施 2 青少年のボランティア活動に対する支援のあり方の検討 3 その他、青少年の成長を支援する事業の実施</p>					
活動指標	清掃活動の実施回数(年間)					
目標値	現状値	24回	3年後目標値	52回	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→			
(市域全体)						
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校、企業、行政機関等と共に取り組むことにより、支え合う地域づくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部片瀬市民センター					

事業名	まちかど相談事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-23-04-5-4	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所等を活用し、地域包括支援センター・在宅介護支援センター・民生委員・主任児童委員・地域ボランティア・専門資格を持つ臨床心理士等の連携によって実施します。 1 身近な相談場所の設置 2 臨床心理士等による相談の実施						
	活動指標	相談日数(年間)					
	目標値	現状値	61日	3年後目標値	100日	6年後目標値	100日
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関、学校等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、福祉専門機関、学校等と共に取り組むことにより、支え合う地域づくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名	地域の居場所あり方検討事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-3-23-04-6-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	ボランティアセンターで各種居場所事業を実施していますが、もっと身近なところに憩える場があれば、利用しやすいとの声があるため、地区内にある市民の家等公共施設の利用も含め、子育て世代から高齢者まで世代を超えた地域の居場所のあり方について、各地域の意見を踏まえ検討していきます。 また、新たな居場所として4箇所(片瀬山地域、江の島地域、片瀬海岸地域、その他の片瀬地域)を想定して、居場所事業計画を策定します。 1 地域の居場所のあり方の具体的検討 2 地区内の居場所事業の計画策定 3 新たな居場所事業の実施						
	活動指標	居場所の検討を進めた地域数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	4か所	6年後目標値	4か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	計画	実施	→	→	
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に取り組むことにより、支え合う地域づくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		青少年居場所事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-23-04-6-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>近年、地域社会における人間関係の希薄化など人々を取り巻く環境が大きく変化しており、それに伴い青少年が抱える問題も深刻になっています。</p> <p>公民館を利用した青少年の居場所を確保し、話をする、話を聞くなど、青少年を見守るボランティアを配置します。</p> <p>この事業を通じて、次世代育成と地域コミュニティづくりを進めます。この事業は、青少年課が見守りボランティアに対し養成講座を開催するなど、円滑な事業推進を図ります。</p> <p>1 公民館を利用した青少年の居場所の確保 2 青少年を見守るボランティアの配置</p>						
活動指標	居場所開催回数(年間)						
目標値	現状値	0回	3年後目標値	48回	6年後目標値	48回	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25				
	→						
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校、行政機関等と共に取り組むことにより、支え合う地域づくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		地域安全マップ事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-19-05-7-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>犯罪のない安全・安心なまちづくりを進めていく上では、次世代を担う子どもたち自身が地域の危険箇所を把握し、危険回避行動能力の向上を図ることが必要です。</p> <p>地域の幼稚園児、公私立小学生や保護者等を対象として、犯罪機会論に基づく講習会を開催し、「地域安全マップ」の作成等による「地域社会の安全を守る方法」の習得・犯罪予知能力の向上を図るとともに、犯罪や事故のない安全・安心なまちづくりを関係機関と調整をとりながら推進します。</p> <p>1 大学教授による犯罪機会論に基づく講習会等の開催(隔年) 2 学生指導員、地域の指導者等による地域安全マップの作成事業の実施(隔年)</p>						
活動指標	講習会年間開催回数(年間)						
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25				
	→						
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校等と共に取り組むことにより、安全・安心なまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		環境浄化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-19-05-7-2	地域分権区分						
事業内容	<p>地区内の不法投棄や落書き箇所を把握するために、環境浄化パトロールを実施します。不法投棄や落書きを放置することは、その場所に住民の関心のないことの表れであり、そうした場所で犯罪が起きやすいと言われているため、「書かれたら消す」という作業を速やかに行うために、落書き消し隊を結成します。</p> <p>また、あわせて落書きされにくいきれいな景観を保つとともに、地域の安全を守るため、場所に応じて子どもたちを中心に絵を描く事業を進めます。</p> <p>1 環境浄化パトロールの実施 2 落書き消し隊の結成 3 子どもたちを中心とした壁画事業の推進</p>						
活動指標	浄化活動の実施回数(年間)						
目標値	現状値	1回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校、企業等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(地域)	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校、企業等と共に取り組むことにより、環境浄化と安全・安心なまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		生活道路の安全向上対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-19-05-8-1	地域分権区分						
事業内容	<p>地区内の生活道路において、十字路の交差点の優先道路が判断できず、出会い頭の事故やヒヤリとすることが多くなっています。</p> <p>既存事業で行う応急的・緊急的な対応ではなく、計画的に生活道路の安全対策を実施します。</p> <p>1 利用者・住民の視点による地区内生活道路の調査と対応優先順位の設定 2 注意喚起のための交差点のカラー舗装、スコッチシールの設置の実施(カーブミラーの設置は既存事業で継続) 3 外側線による区切りしかない歩道にカラー舗装を実施(通学路を中心に実施)</p>						
活動指標	安全対策実施箇所数(年間)						
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	10か所	6年後目標値	10か所	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(地域)	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、行政機関等と共に取り組むことにより、安全・安心なまちづくりの推が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		交通ルール、マナー向上事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-19-05-8-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>子どもの事故の約4割が自転車に乗っているときに起きているため、子どもの自転車運転マナーを向上させるための交通安全教室を強化します。特に、事故を再現し「恐れ」のイメージを与えることで、自転車の安全な乗り方を効果的にイメージできる「スケアード・ストレイト」を片瀬小学校・中学校の児童・生徒等を対象に実施します。子どもの自転車マナーを徹底することで、地域全体の自転車マナーを向上させ、安全なまちづくりを推進します。また、湘南海岸は、サーフィンの発祥地として季節を問わずたくさんのサーファーたちで賑わう場所ですが、サーフボードを乗せた自転車は危険であり、ルール化の検討を進めます。</p> <p>1 スケアードストレイト手法による自転車マナーの向上を目的とした交通安全教室の強化 2 サーフボードを乗せた自転車のルール化の検討</p>						
活動指標	スケアードストレイト手法による安全教室の開催数						
目標値	現状値	0回	3年後目標値	隔年1回	6年後目標値	隔年1回	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校、行政機関等と共に取り組むことにより、安全・安心なまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		まちかどミニベンチ設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-34-06-9-1	地域分権区分						
事業内容	<p>高齢者や障がい者などの方が外出時にホッと一休みできたり、地域の人や観光で訪れた人がおしゃべりできたりする腰掛けやベンチを、遊休地や緑地などに、地区内の商店や事業者からの協賛を受けて設置し、ふれあいのあるスペースを創出します。また、利用者の意見等を参考に再検討します。</p> <p>1 設置場所の調査・検討 2 地区内商店や事業者の協賛募集 3 腰掛けやベンチの設置</p>						
活動指標	ミニベンチの設置箇所数(累計)						
目標値	現状値	0個	3年後目標値	7個	6年後目標値	22個	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→			
(市域全体)							
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に取り組むことにより、ふれあいのあるまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名	あいさつ運動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-34-06-9-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域における人間関係が希薄になりつつあることが懸念されている中、「あいさつ」は会話のきっかけづくりや思いやりの心が伝えられると同時に、住民同士が世代を超えて交流を図ることができ、温かい地域社会をつくりあげていく上で重要なものです。</p> <p>また、コミュニケーションが豊かな地域には、犯罪者が入りにくいという効果も期待できることから、標語の募集や看板の設置等を含めたあいさつ運動を地域全体で実施し、ふれあいのあるまちづくり・安全なまちづくりを推進します。</p> <p>1 地域全体であいさつ運動を推進 2 標語の募集、表彰や優秀標語の地区内掲示等</p>					
活動指標	あいさつ運動推進事業数(年間)					
目標値	現状値	2件	3年後目標値	5件	6年後目標値	5件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、学校等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、学校等と共に取り組むことにより、ふれあいのあるまちづくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部片瀬市民センター					

事業名	民俗文化財等継承事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-40-07-10-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>片瀬地区で300年前から唄いつがれてきた市無形民俗文化財として指定されている片瀬餅つき唄や、伝統的な片瀬こま、その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図ります。</p> <p>1 片瀬餅つき唄の活性化や片瀬こまの保存会の立ち上げ 2 片瀬餅つき唄と片瀬こまとの共同発表や展示事業等の開催 3 こま材の生産地である大島と藤沢の子どもたちの交流の検討 4 その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図るための事業の実施</p>					
活動指標	こま・餅等共同事業開催数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に取り組むことにより、地域の歴史・文化を活かしたまちづくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部片瀬市民センター					



事業名	片瀬三大まつり等支援事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-5-40-07-10-2	地域分権区分						
事業内容	<p>片瀬地区には、諏訪神社例大祭・江の島八坂神社例大祭・龍口寺法難会の三大祭り等があります。こうした祭りには、例えばお御輿の担ぎ手が少なくなっていることなど課題があります。地域に根づいた大切な祭りについて、主催者や役員との会議を実施し、その中にある課題などを検討し、地域の団体等が支援できる課題が整理できれば、地域の中での支援体制を確立していきます。</p> <p>また、子ども囃子や御輿の担ぎ手など、祭りに参加したい人・見たい人へ情報を提供したり日程を広報するなどの体制を確立していきます。</p> <p>1 三大祭りなど地域の祭りの課題の調査・整理・検討 2 祭りなどに関する情報提供等の支援体制の検討</p>						
	活動指標	主催者・役員との会議開催数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	3回	6年後目標値	3回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に取り組むことにより、地域の歴史・文化を活かしたまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名	片瀬の自然調査・研究事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-5-40-07-11-1	地域分権区分						
事業内容	<p>片瀬地区の生物・植物など豊かな自然を調査・研究し、冊子の作成、研究発表、講座開催を通じて、貴重な自然資源の現状を地域に発信します。</p> <p>また、子どもたちを中心に自然にふれあう機会を設け、自然環境の維持・保全を次世代へ継承していきます。</p> <p>1 地区の自然の調査・研究と自然資源の現状の発信 2 子どもたちを中心に自然にふれあう機会の創設</p>						
	活動指標	自然研究発表・講座の開催数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体等と共に取り組むことにより、地域の自然を活かしたまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名							緑と花いっぱい推進活動事業						
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)		
2-5-40-07-11-2		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)			2-5-40-07-11-2		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)		
事業内容		<p>全国でも有数の観光地である片瀬・江の島地区としてふさわしい景観確保や地域生活のうえで課題となる防犯や環境浄化の観点から、雑草が繁茂してしまう場所を中心に地域ボランティアを募り、草取り・花植えを定期的実施する体制を築きます。</p> <p>1 江の島弁天橋の植栽帯の草取り・花植え活動の拡大発展 2 同様な活動団体との連携 3 他エリアへの拡大発展の検討</p>											
活動指標		花植え活動等実施面積(累計)											
目標値		現状値		60㎡		3年後目標値		100㎡		6年後目標値		150㎡	
実績値		H23		H24		H25		H23		H24		H25	
役割期待		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。											
事業スケジュール		第1期			第2期		第3期		第4期				
(地域)		H23		H24		H25		H23		H24		H25	
(市域全体)		実施		→		→		→		→		→	
期待される事業の成果		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に取り組むことにより、地域の自然を活かしたまちづくりの推進が図られます。											
担当部課		市民自治部片瀬市民センター											

事業名							レジ袋削減推進活動事業						
体系コード		事業区分		まちづくり地域事業			体系コード		事業区分		まちづくり地域事業		
2-6-49-08-12-1		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)			2-6-49-08-12-1		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)		
事業内容		<p>2010年度(平成22年度)に片瀬・鵜沼地区が神奈川県「レジ袋削減推進モデル地域」に指定され、2年間かけて、地球温暖化防止対策の一環として、マイバッグ持参の推奨とレジ袋辞退の呼びかけ等の啓発や学習活動を行っています。これらの活動を地区内に徹底し、役割を明確にして地区全体で取り組むことにより、環境にやさしい生活スタイルの確立をめざします。</p> <p>1 マイバッグ持参の推奨とレジ袋辞退の呼びかけ活動の実施 2 地域のイベント等における実践活動の支援</p>											
活動指標		活動の啓発活動回数(年間)											
目標値		現状値		1回		3年後目標値		3回		6年後目標値		3回	
実績値		H23		H24		H25		H23		H24		H25	
役割期待		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。											
事業スケジュール		第1期			第2期		第3期		第4期				
(地域)		H23		H24		H25		H23		H24		H25	
(市域全体)		実施		→		→		→		→		→	
期待される事業の成果		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等と共に取り組むことにより、環境にやさしいまちづくりの推進が図られます。											
担当部課		市民自治部片瀬市民センター											

事業名		クリーン活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-49-08-12-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>片瀬地区の大切な資源である海岸を地区生活環境協議会が中心となり、毎年1回多くの地区内住民の協力で海岸清掃(クリーン活動)を実施しています。海岸ごみの7割は川から流れてくることから、「海岸が汚い」イコール「陸地が汚い」ということになるため、この活動を発展させ、海岸以外の場所でも清掃活動を展開します。</p> <p>また、片瀬海岸は多くの協力団体によって環境美化活動が行われており、情報交換会などを実施することで、団体間の連携を図り、より効果的な活動に発展させることをめざします。</p> <p>1 海岸清掃活動の発展(海岸以外の場所でも活動) 2 環境美化協力団体間の情報交換会や連携した美化活動を検討</p>						
	活動指標	情報交換会の回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。</p>						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	<p>片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に取り組むことにより、環境にやさしいまちづくりの推進が図られます。</p>						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		買い物マップ作成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-57-09-13-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>片瀬地区は、高齢化率25%になろうとする市内で一番高齢化率が高い地区になっています。特に片瀬山は地区内でも高齢化が一番進んでおり、近隣に利用できる商店も少なく、買い物に苦勞している方が多くいる状況が見られます。</p> <p>こうした現状を踏まえて、多くの商店の協力を得ながら、宅配の情報・お得クーポン・バリアフリー情報等を掲載した生活者のための情報を盛り込んだ、片瀬地区の買い物マップを作成し、地域の中で住民と商店・商店街が共生し、活気のあるまちづくりをめざします。</p> <p>1 現状・ニーズ等の調査 2 商店への協力依頼、サービスの調整等 3 買い物マップの作成、配布</p>						
	活動指標	マップに掲載したサービス情報数(累計)					
	目標値	現状値	0個	3年後目標値	20個	6年後目標値	30個(7年後)
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。</p>						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	<p>片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等とともに取り組むことにより、活力あるまちづくりの推進が図られます。</p>						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名	片瀬・江の島海岸イベント事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-57-09-13-2	地域分権区分						
事業内容	いきいきとした市民生活を送るためには、地域が楽しく、魅力あふれるものであることが必要です。 相模湾に面した片瀬地区特有の自然環境を活かし、商店街や漁業協同組合・ライフセービングクラブ・新江の島水族館等の協力を得て、地曳き網を中心に海岸清掃・漁港朝市のPR・海の安全教室・魚教室・ゲーム大会など、海岸における地域イベントを実施し、活力あるまちづくりの推進、地域の活性化を図ります。 1 片瀬海岸に係わる関係機関との協議・検討 2 海岸等における地域イベントの実施						
	活動指標	イベント開催回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に取り組むことにより、活力あるまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名	公的資産有効活用推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-8-71-10-14-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	市民の家や公園用地をはじめとした地域にある公的資産を地域のニーズにあわせて効果的・効率的に利用・活用できるよう検討を進めます。また、市民主体の地域事業をさらに推進するため地域事業への民間企業からの支援や地域事業への市民提案の仕組みづくりなどの検討を行います。 3年間で市民の家3か所、公園18か所、公園予定地6か所、その後3年間でさらに子供の家、学校2か所、市民センター、しおさいセンター、道路用地などの有効活用方策の検討を行います。 1 公的な施設等に対する地域のニーズの把握と意見の集約 2 公的な施設等の利活用の検討・提案						
	活動指標	検討した公共資産の施設数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	27か所	6年後目標値	34か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)	実施 → → → →						
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等と共に取り組むことにより、公的資産が有効に活かされているまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		バリアフリーの推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-8-67-11-15-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>障がい者、子ども、高齢者など移動に困難を感じる方の移動がしやすくなるように公共施設等のバリアフリー化の調査研究を実施します。</p> <p>また、その結果に基づき、当該施設管理者とバリアの解消の実現に向け協議を進めます。</p> <p>1 湘南モノレール湘南江の島駅へのエレベーターの設置推進など、関係機関との必要な協議の実施</p> <p>2 障がい者や車椅子での利用が可能な地区内の施設やトイレ等のマップの作成、配布(買い物マップと連携)</p>						
	活動指標	バリアフリー対策の協議をした箇所数(年間)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	1か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等と共に取り組むことにより、安心して外出できる環境の整備が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		便利な交通体系のあり方検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-8-67-11-15-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>高齢化が進む片瀬・江の島地区において、高齢者や障がい者などの移動がしやすくなる交通体系について検討します。具体的には、既存バスルートの変更やコミュニティバス、高齢者福祉バス、タクシーのワンコイン乗車、福祉施設の送迎バスの活用などを検討し、関係機関との協議を進めます。</p> <p>1 実態調査と地域の意見の集約</p> <p>2 具体的な交通体系のあり方の検討</p> <p>3 関係機関との協議・調整</p>						
	活動指標	新交通体系の実現箇所数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	2か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等と共に取り組むことにより、安心して外出できる環境の整備が図られます。						
担当部課	市民自治部片瀬市民センター						

事業名		片瀬・江の島芸術フォーラム事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
3-9-73-12-16-1		地域分権区分					
事業内容		<p>文化芸術は、豊かで活力ある社会を形成します。また、片瀬・江の島には、ゆかりの文化人や芸術家が大勢います。</p> <p>そこで、地域の公共施設等を利用し、地元在住やゆかりのある芸術家・音楽家・作家等や、これから活躍するであろう次世代を担う芸術家等若者の発表や情報交換の場として、文化芸術フォーラムを開催し、広く湘南「片瀬・江の島」の魅力を発信します。</p> <p>1 地域の文化芸術に係わる関係機関との協議・検討 2 地域を会場として文化芸術フォーラムの開催</p>					
活動指標		フォーラムの開催数(年間)					
目標値		現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業等と共に取り組むことにより、湘南の魅力を溢れたまちづくりの推進が図られます。					
担当部課		市民自治部片瀬市民センター					

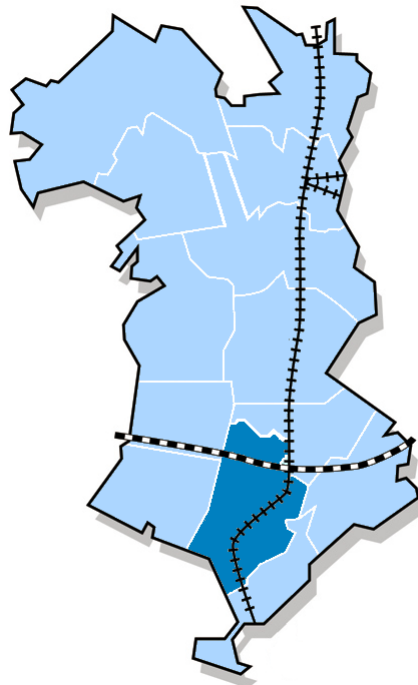
事業名		江の島道の整備事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
3-9-73-12-16-2		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)			
事業内容		<p>旧江の島道を歴史探訪の道としての整備を実施するとともに、生活道路としての安全性の向上をめざします。</p> <p>1 杉山検校の道標をはじめ史跡の整備 2 散策路としてふさわしい道路舗装の工夫 3 沿道の緑化推進 4 シャッターアートの推進 5 生活道路の安全確保の向上・地域の活性化 6 ふるさとマップ片瀬・江の島の作成</p>					
活動指標		史跡の整備箇所数					
目標値		現状値	0か所	3年後目標値	15か所	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターは、地域への情報発信や意見交換等を実施し、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等の主体的な活動との連携を深める役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(市域全体)		実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果		片瀬・江の島まちづくり協議会及び片瀬市民センターが、地域市民、市民団体、地域団体、企業、行政機関等と共に取り組むことにより、湘南の魅力を溢れたまちづくりの推進が図られます。					
担当部課		市民自治部片瀬市民センター					

# 藤沢市新総合計画

## 鵠沼地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

緑と海と人が輝くまち「湘南ふじさわ鵠沼」



---

## 地区の概況

---

鵜沼地区の人口は、55,277人（2010年（平成22年）12月1日現在）で全市の13.6%を占めており、市内13地区で一番人口の多い地区になります。65歳以上の人口の占める割合（高齢化率）は20.9%であり、13地区で5番目に高い地区となっています。

鵜沼地区の地勢としては、藤沢市の南部中央に位置し、面積は5.55km<sup>2</sup>、東の境は境川（片瀬地区）、西の境は引地川（辻堂地区）に挟まれ、南は相模湾に面する南北に長い地形となっています。

昔の鵜沼は湿地が多く、そこに鵜（白鳥の古名）が飛来していたことが「鵜沼」という地名の由来とされています。鵜沼地区は、平安時代から鎌倉時代にかけて鵜沼皇大神宮を中心とした北西部に村落が集中し、そのほかの広い土地は長い間荒地のままでした。明治の半ばごろから南部の海岸が海水浴場として知られるようになり、1902年（明治35年）に江ノ島電鉄が開通すると行楽客は次第に増え、旅館などの設備なども整ってきました。特に鵜沼館や東家、対江館といった旅館には多くの文化人たちが訪れ滞在し、その執筆活動などにより新しい文化が鵜沼から発信されました。

また、海岸部は別荘地としての開発が進み、日本初の計画的別荘地分譲（25万坪）が行われ、1929年（昭和4年）の小田急電鉄の開通は瀟洒な住宅の開発（100万坪）につながり、鵜沼地区の街並みが形成されました。

現在の鵜沼は、北西部も宅地化が進んだこともあり、歴史と文化に育まれた閑静な住宅街地が大半を占める中、藤沢駅南口周辺の市内有数の商業地帯と、全国的にも有名な海水浴場・ビーチバレー会場などを有し、豊かな自然にも恵まれた湘南藤沢を代表する地区となっています。

---

## 地区の特色

---

鵜沼地区は、大半が閑静な住宅街地で占められており、緑豊かな街並みが地区の特色のひとつですが、この豊かな鵜沼の緑を守っていくことが今後の課題となっています。また、地区北部の藤沢の玄関口である藤沢駅南口は市内有数の商業地帯としてにぎわいを見せています。地区南部は全国有数の海水浴場として有名な湘南海岸（鵜沼海岸）を有することから、特に夏には海水浴客をはじめサーフィンやビーチバレーなどを楽しむ多くのお客様でにぎわうエリアとなっています。最近では中国国歌の作曲者である聶耳（ニエアル）氏の記念碑広場に、多くの中国人観光客が訪れることもあり、観光地「鵜沼」としての顔があらためてクローズアップされつつあります。



また、明治後半から大正にかけては特に多くの文化人に愛され、当時の新しい文化が鵜沼から発信されました。2009年（平成21年）に50周年を迎えた鵜沼公民館は、地元の教養文化活動の拠点施設として住民が土地の寄贈を条件に請願し建設された施設で、市民の手で創り上げた藤沢市唯一の公民館です。1969年（昭和44年）にはその先進的な公民館活動が認められ文部大臣賞を受賞しております。

---

## 鵜沼地区地域経営会議

---

当初36人の委員で構成し、地域活動支援部会、まちおこし部会、まちづくり部会、ふれあい・教育部会、広報部会の5部会が発足しました。平成22年度現在、要援護者対策部会も設置され、会議の活動に賛同する「協力員」を部会のメンバーに加え、部会活動を中心に運営しています。



都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して地域活動を進めるまち

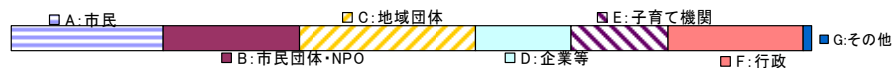
【成果指標】

①地域活動に参加している人の割合

【現状値】 ①36%

【めざそう値】 3年後：①40.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:22% D:12% E:12% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 地域活動の充実と人材の育成

<成果の視点> ボランティアの人数が増えたと感じられること

[主要な指標] 鵜沼地区ボランティアセンター「ささえ」の支援会員数

○実施事業 シニア支援事業

広報紙「緑と海と人」の発行事業

鵜沼地区ポータルサイト運営事業

情報統合紙事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち

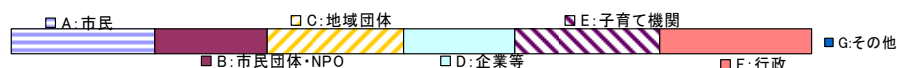
【成果指標】

①鵜沼が子どもにとって良い環境であると感じている人の割合

【現状値】①42%

【めざそう値】3年後：①50% 6年後：①55%

【役割の担い手】①A:18% B:14% C:17% D:14% E:18% F:19% G:0%



#### 《地域まちづくり活動》

《活動－2》 オール鶺沼で子どもを育てる

<成果の視点> 子どもたちが地域で大切にされていること

〔主要な指標〕 子育て支援事業への参加者数

○実施事業 保育園待機児対策事業

学習・生活塾事業

子どもの遊び場対策事業

地域で子どもを育てよう事業

子育て道しるべプラン事業

#### 藤沢づくりのめざす方向性

### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることがめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

#### ふじさわ未来課題

### 17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

#### 03 高齢者が生き生きとすごせるまち

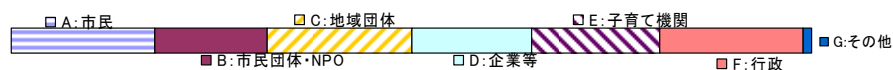
【成果指標】

①鶺沼の地で一生すごしたいと感じる人の割合

【現状値】①68%

【めざそう値】3年後：①80% 6年後：①85%

【役割の担い手】①A:18% B:14% C:18% D:15% E:16% F:18% G:1%



#### 《地域まちづくり活動》

《活動－3》 高齢者を取り巻く環境の向上

<成果の視点> 高齢者が地域で大切にされていること

〔主要な指標〕 高齢者のふれあいの場の利用者数

○実施事業 高齢者生き生き推進事業

特養誘致促進研究事業

#### ふじさわ未来課題

### 18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

【地域まちづくり目標】

## 04 市民力，地域力で災害に強いまち

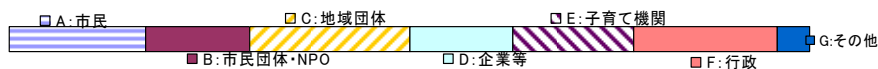
### 【成果指標】

①自主防災組織の結成率

【現状値】①83%

【めざそう値】3年後：①90% 6年後：①95%

【役割の担い手】①A:17% B:13% C:20% D:13% E:15% F:18% G:4%



### 《地域まちづくり活動》

#### 《活動－4》 防災活動の充実

<成果の視点> 防災活動に参加している人が多いこと

〔主要な指標〕 地区総合防災訓練への参加者数

○実施事業 災害時要援護者対策事業

### ふじさわ未来課題

## 19 治安の良い環境であること

### 【地域まちづくり目標】

## 05 市民力，地域力で犯罪ゼロのまち

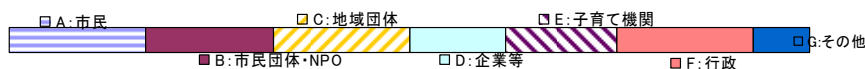
### 【成果指標】

①犯罪件数

【現状値】①1,953件

【めざそう値】3年後：①1,500件 6年後：①1,500件

【役割の担い手】①A:17% B:16% C:17% D:12% E:14% F:17% G:7%



### 《地域まちづくり活動》

#### 《活動－5》 防犯活動の充実

<成果の視点> 防犯活動に参加している人が多いこと

〔主要な指標〕 防犯パトロール延べ参加者数

○実施事業 防犯活動推進事業

### 【地域まちづくり目標】

## 06 交通事故のない安全安心のまち

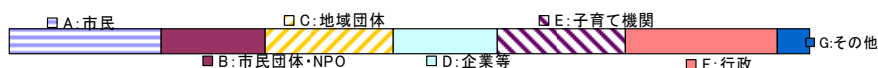
### 【成果指標】

①交通事故の件数

【現状値】①297件

【めざそう値】3年後：①221件 6年後：①175件

【役割の担い手】①A:19% B:13% C:16% D:13% E:16% F:19% G:4%



### 《地域まちづくり活動》

#### 《活動－6》 交通安全対策の充実

<成果の視点> ヒヤリ・ハットを感じない住民が多いこと

〔主要な指標〕 交通危険箇所マップ活用件数

○実施事業 交通危険箇所マップ事業

都市ビジョン2  
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

07 地域住民の間で交流が盛んで、支え合うまち

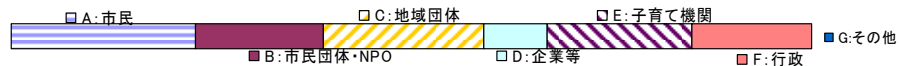
【成果指標】

①住民同士の交流が盛んであると感じている人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①37.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:23% B:16% C:20% D:8% E:18% F:15% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 地区内交流活動の充実

<成果の視点> 地区内で交流活動をしている人が多くいること

〔主要な指標〕 ふれあいイベントの参加者数

○実施事業 世代を超えたふれあい促進事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

39 身近にある緑が適切に保全されていること

【地域まちづくり目標】

08 景観が守られ、緑が保全されているまち

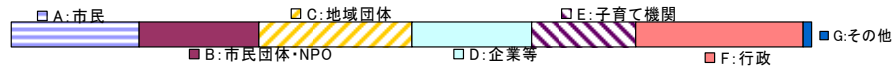
【成果指標】

①緑が豊かと感じる人の割合

【現状値】 ①55%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:19% D:15% E:13% F:21% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－８》 景観と緑の保全の推進

<成果の視点> 鵜沼の緑と景観が守られていること

〔主要な指標〕 勉強会参加者数

○実施事業 住民協定促進事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源に関わる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること

【地域まちづくり目標】

09 豊かな自然（海，川，緑）の中で憩えるまち

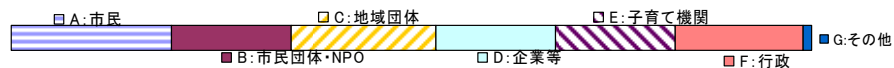
【成果指標】

①環境保全活動に参加している人の割合

【現状値】 ①71%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①88%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:18% D:15% E:15% F:16% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－９》 環境保全活動の充実

<成果の視点> 憩える場所が多くあること

〔主要な指標〕 レンタサイクル利用者数

○実施事業 エコチャリタウン協力事業

都市ビジョン3  
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

59 安全で安心な食べ物が身近で得られること

【地域まちづくり目標】

10 魅力あふれる元気な商店街が多いまち

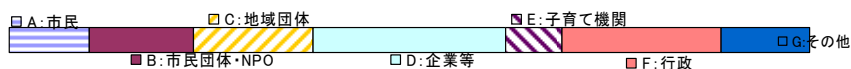
【成果指標】

① 鶴沼の商店街が、魅力があると感じた人の割合

【現状値】 ①17%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:10% B:13% C:15% D:24% E:7% F:20% G:11%



《地域まちづくり活動》

《活動-10》 商店街活性化の推進

<成果の視点> 地域の商店街で消費がされていること

[主要な指標] 本鶴沼商店街加盟数

○実施事業 駐輪場対策による本鶴沼駅周辺活性化研究事業

【地域まちづくり目標】

11 地産品があふれる元気な観光のまち

【成果指標】

① 年間観光客数

【現状値】 ①1,380万人

【めざそう値】 3年後：①1,400万人 6年後：①1,500万人

【役割の担い手】 ①A:11% B:16% C:15% D:22% E:10% F:18% G:8%



《地域まちづくり活動》

《活動-11》 地産地消・観光の推進

<成果の視点> 観光客が多くなっていること

[主要な指標] 鶴（くぐい）市場出店者数

○実施事業 観光拠点（海の駅等）開発研究事業

観光PR活動事業  
 新地産品の開発拡販事業  
 鶺鴒（くぐい）市場事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道路や施設であること

【地域まちづくり目標】

12 すべての人が安心して移動、利用できるまち

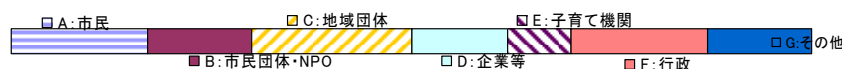
【成果指標】

①公共施設が使いやすいと感じた人の割合

【現状値】 ①28%

【めざそう値】 3年後：①31% 6年後：①42.5%

【役割の担い手】 ①A:17% B:13% C:20% D:12% E:8% F:17% G:13%



《地域まちづくり活動》

《活動-12》 住民と協働したまちづくりの推進

<成果の視点> 公共施設が住民の声を聞いて改善されていること

〔主要な指標〕 通学路の路面表示対策実施件数

○実施事業 市民センター・公民館分館研究事業

鶺鴒沼海岸駅周辺混雑解消研究事業

江ノ電鶺鴒沼駅バリアフリー化研究事業

公園見直し事業

道路見直し事業

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

ふじさわ未来課題

73 活気があり、開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

### 13 鵜沼ライフスタイルと鵜沼カルチャーを発信するまち

#### 【成果指標】

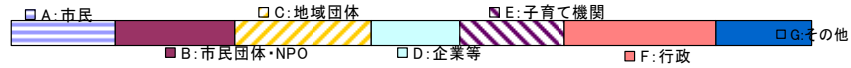
①鵜沼の文化と魅力が広く知られていると感じている人の割合

②鵜沼の歴史と魅力が広く知られていると感じている人の割合

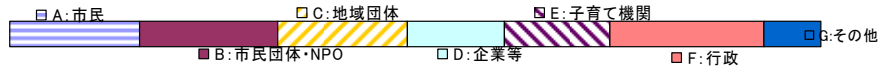
【現状値】 ①14% ②16%

【めざそう値】 3年後：①20% ②25% 6年後：①27.5% ②35%

【役割の担い手】 ①A:13% B:15% C:17% D:11% E:13% F:19% G:12%



②A:16% B:17% C:16% D:12% E:13% F:19% G:7%



#### 《地域まちづくり活動》

##### 《活動－13》 鵜沼情報発信の促進

<成果の視点> 鵜沼ライフスタイルと鵜沼カルチャーが愛されていること

〔主要な指標〕 ポータルサイトへのリンク数

○実施事業 鵜沼ライフスタイル・鵜沼カルチャー発信事業



事業名	シニア支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>鵜沼地区のシニア世代が地域団体活動で活躍できるよう側面的支援を行い、地域団体を支える人材の育成と活動支援及びボランティア活動のきっかけづくりをめざします。</p> <p>また、地域団体、関係機関の協力によるボランティア活動の体験学習等を特色とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域コミュニティ・ボランティア講座の開設</li> <li>2 地域活動相談・あっせん事業の実施</li> <li>3 鵜沼版人材バンクの設置</li> <li>4 生涯学習・ボランティア情報の提供活動の推進</li> <li>5 講座修了者の同窓会の組織化</li> </ol>					
活動指標	講座参加者数(年間)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	20人	6年後目標値	20人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議と行政が協働し設置する運営委員会が主体となり、地域団体と個人から参加者を募ります。また、各地域団体も運営に参画します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	「地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して地域活動を進めるまち」及び「地域活動の充実と人材の育成」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部鵜沼市民センター					

事業名	広報紙「緑と海と人」の発行事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-2	地域分権区分					
事業内容	<p>鵜沼地区地域経営会議の存在を広く地区内に知ってもらい、また、多くの地区内の住民の意見をもらうために広報紙「緑と海と人」を発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 年2回、各25,000部、全戸配付</li> <li>2 地域経営会議情報の周知、住民の意見聴取</li> <li>3 鵜沼地域のホームページ(鵜沼ポータルサイト「くげポータル」)も併用し広報紙の情報を発信</li> </ol>					
活動指標	発行回数(年間)					
目標値	現状値	2回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広報紙「緑と海と人」の発行事業は、地区内の全情報が対象であり、1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となって行います。地域経営会議広報部会が編集、発行します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	「地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して地域活動を進めるまち」及び「地域活動の充実と人材の育成」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部鵜沼市民センター					

事業名	鶴沼地区ポータルサイト運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-3	地域分権区分					
事業内容	<p>鶴沼地区情報の発信の仕組みの1つとして鶴沼地域のホームページ(鶴沼ポータルサイト「くげポータル」)を整備し、運用を行います。</p> <p>1 地域経営会議のホームページを主要な構成要素の1つとして位置づけ  2 情報の発信者を広く地区内の住民から募集  3 情報の発信だけでなく、受信・収集の仕組みの導入</p>					
活動指標	情報の更新回数(1日当たり)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区内の全情報の玄関口となることをめざすものであり、1つの団体に捕らわれず、地域経営会議が主体となって行います。地域経営会議広報部会が、地域全体から情報を受け入れ、発信する仕組みを整えます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	「地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して地域活動を進めるまち」及び「地域活動の充実と人材の育成」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター					

事業名	情報統合紙事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-4	地域分権区分					
事業内容	<p>鶴沼市民センター・公民館が扱う紙媒体は膨大な種類・件数に及び、地区内の回覧・全戸配付・センター内掲示等住民への周知方法は様々であり、よりわかりやすく整理・提供されることが期待されるため、情報統合紙について調査研究します。</p> <p>また、鶴沼地域のホームページ(鶴沼ポータルサイト「くげポータル」)情報として、インターネット上でも配信します。</p> <p>1 各地域団体の発行する定期刊行物を発行日を統一し、同時期にすることを調査、研究  2 市、県、国等からのチラシ、ポスター、回覧等の送付日の統一化に関する調査、研究  3 情報を統合して編集し、情報統合紙として発行することについて調査、研究</p>					
活動指標	参加定期刊行物(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	10件	6年後目標値	20件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	鶴沼市民センター・公民館が扱う全紙媒体情報を把握し、再編、発行することをめざし、1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域全体の情報を統合します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
		検討・計画	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	「地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して地域活動を進めるまち」及び「地域活動の充実と人材の育成」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター					

事業名		保育園待機児対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-2-14-02-2-1	地域分権区分						
事業内容	<p>長引く不況による経済的な理由と、親の子育てについての考え方の変化により、保育園への入園希望者が増え、待機児が増加しており、近い将来の人口減少も考慮しつつ、待機児対策を実施します。</p> <p>1 実態調査(地域内でのアンケート調査, 関係者の意見交換会) 2 市への調査報告, 提言 3 保育ママ制度の普及, 推奨</p>						
活動指標	アンケート・意見交換会の実施回数(年間)						
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地区内のすべての子どもが対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域・市との連携を図り実施します。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(地域)	H23	H24	H25				
	検討・計画	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	「学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち」及び「オール鶴沼で子どもを育てる」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名		学習・生活塾事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-2-14-02-2-2	地域分権区分						
事業内容	<p>中学校に入って勉強についていけない子どもをなくすため、小学校高学年等の基礎学力の定着と、シニアボランティアスタッフとの世代間交流で生活や道徳面での学びを目的とし、鶴沼地区の教育支援施策を実施します。</p> <p>1 小グループ授業の実施(土曜日の午後等, 小学校5・6年生等を対象, 国語・算数等)</p>						
活動指標	開催日数(月間)						
目標値	現状値	0日	3年後目標値	4日	6年後目標値	4日	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地区内のすべての小学校高学年生が対象であり、地域経営会議のメンバー等が参画し、組織・設置される運営団体が主体となり、NPO等と連携し実施することが期待されます。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(地域)	H23	H24	H25				
	検討・計画	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	「学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち」及び「オール鶴沼で子どもを育てられる環境」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名	子どもの遊び場対策事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-2-14-02-2-3	地域分権区分						
事業内容	<p>現在、公園内では人に迷惑がかからないように、球技は事実上することができず、子どもたちが、キャッチボール等をする場所がありません。</p> <p>子どもの健全な成長のため、鶴沼地区の子どもの遊び場確保対策を実施します。</p> <p>1 実態調査(地域内でのアンケート調査、関係者への聞き取り調査)</p> <p>2 市への調査報告、提言</p> <p>3 公園利用のルール再検討をテーマにした意見交換会の実施</p> <p>4 公園利用のルールづくり、実施</p>						
	活動指標	アンケート、意見交換会等の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地区内のすべての子どもが対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域、市との連携を図り実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(地域)	検討・計画	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	「学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち」及び「オール鶴沼で子どもを育てられる環境」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名	地域で子どもを育てよう事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-2-14-02-2-4	地域分権区分						
事業内容	<p>これまで子ども会は地域での子育てに大きな役割を果たしてきましたが、子ども会の結成率が低いこともあり、今後の地域社会の中での子育てについて考えるとともに、子ども会の果たしてきた役割を検証し、「地域で子どもを育てよう事業」を実施します。</p> <p>1 実態調査(地域内でのアンケート調査、関係者の意見交換会)</p> <p>2 市への調査報告、提言</p> <p>3 啓発学習会</p>						
	活動指標	アンケート、意見交換会等の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地区内のすべての子どもが対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域と連携し実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(地域)	検討・計画	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	「学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち」及び「オール鶴沼で子どもを育てられる環境」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名	子育て道しるべプラン事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-14-02-2-5	地域分権区分					
事業内容	<p>現在子育て中の親世代の多くは、核家族化及び地域交流の場の減少のために、家庭教育について学ぶ機会が少なくなってきました。子育て支援施策として「親学・家庭教育」について学び考える場を提供します。</p> <p>1 親になりたい方や親になる方へ誕生学の勉強会、講演  2 親となった方へ親学の勉強会、講演  3 鶴沼地区子育て応援情報冊子を作成し、地域の子育て支援広場やサークルを紹介</p>					
活動指標	勉強会、講演会等の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	8回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区内のすべての子育て世代が対象であり、1つの団体にとらわれず、地域経営会議のメンバーが中心となり組織、設置される運営団体が主体となり、市民団体・NPO・企業と連携し実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	「学校・家庭・地域が手をつなぎ、次世代を担う子どもたちを育むまち」及び「オール鶴沼で子どもを育てられる環境」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター					

事業名	高齢者生き生き推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-17-03-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者にとっては、外出し、人々と触れあうことによる心と体の健康の維持促進が期待されますが、加齢等により外出が困難な高齢者も多くなっている現状もあるため、高齢者支援施策を実施します。</p> <p>1 実態調査(地域内でのアンケート調査、関係者の意見交換会)  2 ふれあいの場づくり、イベント、お茶飲みグループづくり</p>					
活動指標	アンケート、意見交換会、ふれあいの集まり等の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区内のすべての高齢者が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域団体とNPOが連携し実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・計画	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	「高齢者が生き生きとすごせるまち」及び「高齢者を取り巻く環境の向上」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター					

事業名							特養誘致促進研究事業							
体系コード			事業区分		まちづくり地域事業									
1-3-17-03-3-2			地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)									
事業内容							鶴沼地区には、現在、大規模特別養護老人ホーム(特養)がないため、特養誘致促進研究を実施します。 1 鶴沼に望まれる特養についての調査、情報収集 2 市への提言 3 特養誘致後も地域と特養の連携を共に検討し意見交換							
活動指標							調査・情報収集、提言、意見交換会等の実施回数(年間)							
目標値			現状値		0回		3年後目標値		4回		6年後目標値		4回	
実績値			H23				H24				H25			
役割期待							地区内のすべての高齢者が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域・行政・特養の連携を図り実施します。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(地域)			H23		H24		H25							
			提案		→		→		→		→		→	
(市域全体)			計画・実施		実施		→		→		→		→	
期待される事業の成果							「高齢者が生き生きとすごせるまち」及び「高齢者を取り巻く環境の向上」の実現に寄与します。							
担当部課							市民自治部鶴沼市民センター							

事業名							災害時要援護者対策事業							
体系コード			事業区分		まちづくり地域事業									
1-3-18-04-4-1			地域分権区分											
事業内容							地区自治会町内会連合会・社会福祉協議会・2つの民生委員児童委員協議会が協力して、高齢者・身体障がい者・介護保険要介護者等の災害弱者の支援対策を検討し、災害時要援護者対策を実施します。 1 要援護者名簿の活用方法の検討 2 各自治会町内会への説明会の開催							
活動指標							名簿提供活用自治会・町内会数(累計)							
目標値			現状値		18団体		3年後目標値		54団体		6年後目標値		54団体	
実績値			H23				H24				H25			
役割期待							地区内のすべての災害時要援護者が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、各地域団体(自治連・社協・東南両民児協)等・市と連携し実施します。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(地域)			H23		H24		H25							
			実施		→		→		→		→		→	
(市域全体)														
期待される事業の成果							「市民力、地域力で災害に強いまち」及び「防災活動の充実」の実現に寄与します。							
担当部課							市民自治部鶴沼市民センター							

事業名	防犯活動推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-3-19-05-5-1	地域分権区分						
事業内容	地区防犯協会、各自治会町内会パトロール隊、青少年育成協力会、鶴沼おやじパトロール隊、藤沢警察署、安全安心ステーション等が犯罪ゼロをめざし、パトロールや見守り活動に励んでいます。これらの防犯活動を再検討し、より効果的な活動をめざします。 1 犯罪抑止の地域環境づくり 2 学校における防犯対策の充実 3 地区の犯罪特性に対応した施策の推進 4 防犯推進体制の工夫 5 防犯意識の向上、防犯情報の提供 6 防犯ボランティアの育成						
	活動指標	防犯パトロール隊結成数(累計)					
	目標値	現状値	37団体	3年後目標値	57団体	6年後目標値	57団体
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地区内のすべての防犯活動が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域団体(防犯協会等)・学校・市と連携し実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	「市民力、地域力で犯罪ゼロのまち」及び「防犯活動の充実」の達成に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名	交通危険箇所マップ事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-3-19-06-6-1	地域分権区分						
事業内容	地区交通安全対策協議会・交通安全母の会・藤沢警察署・交通安全協会等を中心に、交通事故のないまちづくりに努めており、交通事故ゼロをめざし、鶴沼地区の対策として、交通危険箇所マップを作成します。 また、作成に当たっては、地区交対協・各校外委員等に協力を求め、交通危険箇所を明らかにし、道路等のハード面での改善を図ります。 1 交通危険箇所の調査 2 交通危険箇所マップの作成						
	活動指標	マップ作成の協力者数(累計)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	50人	6年後目標値	50人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地区内のすべての交通安全活動、団体が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域団体(交対協等)・学校・市と連携し実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	検討・計画	実施	→	→	→	→	
期待される事業の成果	「交通事故のない安全安心のまち」及び「交通安全対策の充実」の達成に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名	世代を超えたふれあい促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-31-07-7-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域市民による地区内での日常的なふれあい交流をすることが、より良い共生社会を実現するものと考え、従来より、くらし・まちづくり会議により高齢者と子どもの折り紙作りイベント等が実施されていますが、鶴沼地区では、さらに世代を超えたふれあい促進事業を行います。また、高齢者生き生き推進事業、特養誘致促進研究事業、子育て関連の諸事業との協働事業としても実施します。</p> <p>1 実態調査(地区内でのアンケート調査、関係者の意見交換会) 2 視察研究 3 調査、視察の結果のアイデア集作成 4 モデル町内会でふれあいイベントの実施</p>					
活動指標	アンケート、意見交換会、ふれあいの集まり等の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区内のすべての福祉・交流・教育活動、団体が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域団体(モデル町内会等)・市と連携し実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	「地域住民の間で交流が盛んで、支え合うまち」及び「地区内交流活動の充実」の達成に寄与します。					
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター					

事業名	住民協定促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-5-39-08-8-1	地域分権区分					
事業内容	<p>鶴沼松が岡の自治会の地域は、元々別荘地として開発されたエリアでありましたが、2000年(平成12年)以降の乱開発に危機感を抱いた住民により、古くからの街並みと松等の緑を守るための取り組みを行っています。このような地域主体の景観と緑を保全する活動を住民協定等によりルール化を図るなどの対策を実施します。</p> <p>1 住民協定の勉強会の実施 2 住民意向調査 3 賛同する自治会町内会への働きかけ</p>					
活動指標	勉強会の開催数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区内のすべての環境・町内会自治会活動、団体が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域団体(先進町内会等)・市と連携し実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・計画	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	「景観が守られ、緑が保全されているまち」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター					



事業名	エコチャリタウン協力事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-6-46-09-9-1	地域分権区分						
事業内容	<p>鵠沼の豊かな自然(海, 川, 緑)を守りたいという声は非常に多く, 市地球温暖化対策地域協議会が取り組むエコチャリタウン(自転車活用による地域活性化)事業は, 2009年度(平成21年度)と2010年度(平成22年度)に地域実証実験(2010年度(平成22年度)は11月に, 藤沢駅周辺, 片瀬江ノ島駅周辺, 鵠沼海岸駅周辺の3か所, 自転車15台で実施)が行われ, その結果に基づく事業化に協力し, 環境保全と商店街等の活性化をめざします。</p> <p>1 駐輪場提供協力店のリストアップとアプローチ  2 立ち寄り店の推挙  3 マップ作成への協力  4 市内自転車店への協力要請</p>						
	活動指標	レンタサイクルポート数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	15か所	6年後目標値	15か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民団体(市地球温暖化対策協議会)・企業(商店街等)・市が連携し実施しますが, 地域経営会議もコーディネーターの役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	「豊かな自然(海, 川, 緑)の中で憩えるまち」及び「環境保全活動の充実」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鵠沼市民センター						

事業名	駐輪場対策による本鵠沼駅周辺活性化研究事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-7-59-10-10-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>本鵠沼駅周辺は, 駐輪場が不足しているため, 買い物客, 通勤・通学者は駐輪できない状況にあります。商店街等による自力での設置・運営は難しく, 駐輪場の確保による商店街の活性化をめざし, 駐輪場対策による本鵠沼駅周辺活性化研究を実施します。</p> <p>1 アンケート等の調査, 情報収集  2 市, 関係者との意見交換会  3 地元と市との調整, コーディネート</p>						
	活動指標	調査・情報収集, 意見交換会等の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	直接は本鵠沼駅商店街が対象ではありますが, 周辺各方面に影響しますので, 地域経営会議が主体となり, 企業(本鵠沼商店街), 市が連携し実施します。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	計画	提案	→	→	
(市域全体)	検討	→	計画	実施	→	→	
期待される事業の成果	「魅力あふれる元気な商店街が多いまち」及び「商店街活性化の促進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鵠沼市民センター						

事業名 <b>観光拠点(海の駅等)開発研究事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-7-59-11-11-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>鵜沼海岸は海水浴客・サーファー・ビーチバレー等で賑わっていますが、観光資源として十分に活かされていません。</p> <p>観光振興をめざし、地産品の物販、食事、休憩施設がある観光拠点を作り、鵜沼と藤沢をさらに活性化させることが必要であり、鵜沼地区の観光推進施策を実施します。</p> <p>1 海の駅等の設置に向けた観光拠点の調査、情報収集、研究 2 市への提言、市との意見交換</p>						
	活動指標	調査・情報収集、提言、意見交換会等の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地区内のすべての観光資源が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、市と連携し実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	提案	→	→	→	検討・計画	提案	
(市域全体)	検討・計画	→	→	実施	検討・計画	実施	
期待される事業の成果	「地産品があふれる元気な観光のまち」及び「地産地消・観光の推進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鵜沼市民センター						

事業名 <b>観光PR活動事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-7-59-11-11-2	地域分権区分						
事業内容	<p>鵜沼地区は、鵜沼海岸をはじめとして、鵜沼皇大神宮、松並木、明治以降の文化人の旧跡地等を有し、江の島と並び藤沢の代表的な観光スポットですが、閑静な住宅地と併存していたこともあり、今後積極的なPRの余地があると考えられるため、観光PR施策を実施します。</p> <p>1 鵜沼観光マップ・散策マップ等を市民センター等と協働で作成し、駅等に無料配付 2 観光情報記者を募り、鵜沼地域のホームページ(鵜沼ポータルサイト「くげぽー」)に観光情報を配信</p>						
	活動指標	マップ発行、記事配信の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	12回	6年後目標値	24回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地区内のすべての観光情報が対象であり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域全体からの協力を募り実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討・計画	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	「地産品があふれる元気な観光のまち」及び「地産地消・観光の推進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鵜沼市民センター						

事業名	新地産品の開発拡販事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-7-59-11-11-3	地域分権区分						
事業内容	<p>鵜沼地区では、かつては、桃やカボチャが盛んに栽培されていました。現在は、海産物・海産加工品・鵜沼カボチャが有名ですが、新たな地産品の開発が必要です。</p> <p>観光PR活動事業、観光拠点開発事業と連携し、鵜沼の新地産品開発拡販事業を実施します。</p> <p>また、1つの企業が開発した新地産品を他企業の賛同を得て活用、応用、宣伝し、地域の特産物とすることもめざします。</p> <p>1 既存の地産品の再発見 2 新たな地産品の開発(魚醬等) 3 鵜(くぐい)市場等の場をアンテナショップ的に使い新地産品の試販</p>						
	活動指標	地産品の発見、開発、会合の件数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	10回	6年後目標値	10回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議がコーディネーターとして主体となり、地元企業・市が新地産品の開発拡販をめざして、協働、連携して実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討・計画	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	「地産品があふれる元気な観光のまち」及び「地産地消・観光の推進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鵜沼市民センター						

事業名	鵜(くぐい)市場事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-59-11-11-4	地域分権区分						
事業内容	<p>2009年度(平成21年度)から地産地消、資産の有効活用、まちおこしを目的に、市民センター主催(2010年度(平成22年度)から地域経営会議と共催)で「鵜(くぐい)市場」を開催しています。</p> <p>八部公園を会場とし、テント村を設置し、芝生広場にステージを設け、地場野菜・海産物の物販、サークル・団体のパフォーマンス、屋台の出店等により、多くの来客者があります。</p> <p>2010年度(平成22年度)の、ミニフリーマーケットの実施のように、新たな要素を導入し、地元のイベントとしての定着を図ります。</p> <p>1 鵜(くぐい)市場事業の実施</p>						
	活動指標	鵜(くぐい)市場来客数					
	目標値	現状値	1,800人	3年後目標値	2,000人	6年後目標値	2,200人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域全体の活性化が目的の1つであり、役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域全体と市が連携し実施することが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	「地産品があふれる元気な観光のまち」及び「地産地消・観光の推進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鵜沼市民センター						

事業名	市民センター・公民館分館研究事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-8-67-12-12-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	<p>鶴沼市民センター・公民館は、鶴沼北部の住民からは、離れて位置し、不便さが指摘されています。</p> <p>地域分権の推進とあわせ、北部分館の必要性が生じてきており、鶴沼地区の市民センター・公民館分館研究事業を実施します。</p> <p>1 鶴沼に望まれる分館についての調査、情報収集 2 市への提言 3 分館についての啓発懇談会</p>						
	活動指標	調査・情報収集、提言、懇談会等の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	鶴沼地区の北部が対象ではありますが、関与する役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域全体の意見を聞きながら市と連携し実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	計画	提案	→	→	
(市域全体)	検討	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	「すべての人が安心して移動、利用できるまち」及び「住民と協働したまちづくりの推進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名	鶴沼海岸駅周辺混雑解消研究事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-8-67-12-12-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>小田急鶴沼海岸駅周辺は、朝の通勤・通学時、改札が南口しかなく、また駅前・駅周辺が狭いために、大変混雑しており、危険な状況です。</p> <p>夕方も同様であり、1つの解決策として、北口改札の設置を要望する声もあり、鶴沼海岸駅周辺混雑解消研究を実施します。</p> <p>1 アンケート等の調査、情報収集 2 市、関係者との意見交換会 3 地元と市との調整、コーディネート</p>						
	活動指標	調査・情報収集、意見交換会等の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	直接は鶴沼海岸駅周辺が対象ではありますが、地域全体に影響しますので、担う役割としては各団体の集合体である地域経営会議が主体となり、地域住民・学校・商店街の声を聞き、市と連携し実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	計画	提案	→	→	
(市域全体)	検討	→	計画	実施	→	→	
期待される事業の成果	「すべての人が安心して移動、利用できるまち」及び「住民と協働したまちづくりの推進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名		江ノ電鶴沼駅バリアフリー化研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-8-67-12-12-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	江ノ電鶴沼駅は、高齢者、体の不自由な方も含め、バリアフリー化が望まれていることから、江ノ電鶴沼駅バリアフリー化研究を実施します。 1 アンケート等の調査、情報収集 2 市、関係者との意見交換会 3 地元と市との調整、コーディネート						
	活動指標	調査・情報収集、意見交換会等の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	直接は鶴沼駅周辺が対象ではありますが、地域全体に影響しますので、担う役割としては地域経営会議が主体となり、地域住民・学校・商店街の声を聞き、市と連携し実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	計画	提案	→	→	
(市域全体)	検討	→	計画	実施	→	→	
期待される事業の成果	「すべての人が安心して移動、利用できるまち」及び「住民と協働したまちづくりの推進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名		公園見直し事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-67-12-12-4	地域分権区分						
事業内容	鶴沼地区の32公園は、早期に整備されたこともあり設備等が古く、また小さな規模の公園も多いため、より利用しやすい公園をめざして、再整備を含めた公園利用の見直しを実施します。 1 アンケート等の調査、情報収集 2 市、関係者との意見交換会 3 地元と市との調整、コーディネート 4 バリアフリー化改修工事(出入口、水飲み場等)						
	活動指標	調査・情報収集、意見交換会等の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	公園は多目的に活用されているため、関与する役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域住民・学校・公園関係団体の声を聞き、市と連携し実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討・計画	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	「すべての人が安心して移動、利用できるまち」及び「住民と協働したまちづくりの推進」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部鶴沼市民センター						

事業名 <b>道路見直し事業</b>							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-67-12-12-5		地域分権区分					
事業内容		<p>早期に計画され、整備が進んでいない地区内の都市計画道路については、市の都市マスタープランの進捗にあわせ地域として対応し、生活道路については、地域の様々な実態を市に伝え、道路環境の改善につなげていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>アンケート等の調査、情報収集</li> <li>市、関係者との意見交換会</li> <li>地元と市との調整、コーディネート</li> <li>通学路を中心に路面標示対策(3小学校区を中心に)</li> <li>交通危険箇所マップ事業との連携</li> </ol>					
活動指標		調査・情報収集、意見交換会等の実施回数(年間)					
目標値		現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		道路状況の影響は多方面に渡るため、関与する役割は1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域住民・学校・商店街の声を聞き、市と連携し実施することが期待されます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		検討・計画	実施	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		「すべての人が安心して移動、利用できるまち」及び「住民と協働したまちづくりの推進」の実現に寄与します。					
担当部課		市民自治部鵜沼市民センター					

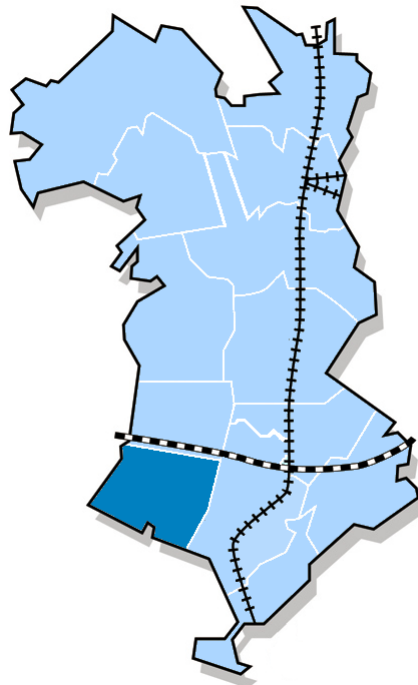
事業名 <b>鵜沼ライフスタイル・鵜沼カルチャー発信事業</b>							
体系コード		事業区分	まちづくり地域事業				
3-9-73-13-13-1		地域分権区分					
事業内容		<p>鵜沼地区は、藤沢の中でもその独自の文化と歴史を持っており、この地域資産を鵜沼地域のホームページ(鵜沼ポータルサイト「くげポー」)等を使い広く市内外に発信することにより、鵜沼のみならず藤沢を盛り上げる「鵜沼ライフスタイル・鵜沼カルチャー発信事業」を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域サークル・地域団体の紹介と情報発信</li> <li>地区内商店街等の紹介と情報発信</li> <li>鵜沼郷土資料展示室と協働し、鵜沼の歴史情報を発信</li> <li>その他の鵜沼の日常の情報を紹介</li> </ol>					
活動指標		参加団体、サークル、個人記者数(年間)					
目標値		現状値	0人	3年後目標値	25人	6年後目標値	50人
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地区内の文化・歴史・日常生活といったすべての分野の情報発信をめざすものであり、1つの団体にとらわれず、地域経営会議が主体となり、地域全体の協力を得て、情報発信します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		「鵜沼ライフスタイルと鵜沼カルチャーを発信するまち」及び「鵜沼情報発信の促進」の実現に寄与します。					
担当部課		市民自治部鵜沼市民センター					

# 藤沢市新総合計画

## 辻堂地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

歴史と緑と潮風のかおる，健やかなまち“湘南辻堂”



---

## 地区の概況

---

辻堂地区は、藤沢市の南西部に位置し、南は湘南海岸を臨み、東は引地川を境に鵠沼地区と、北はJ R東海道本線を境に明治地区と、西は茅ヶ崎市に接する、気候温暖で風光明媚な海沿いの地区です。

地区の面積は、4.46 km<sup>2</sup>、人口は、2010年（平成22年）12月1日現在、38,706人で全市の9.5%を占めています。また、65歳以上の割合（高齢化率）は、20.5%と高い水準となっています。

かつては半農半漁の村でしたが、明治時代に海軍の演習場が設置されてから別荘や住宅が造られ始めました。1916年（大正5年）には、駅舎用地と建設資金を地元有志が提供するという、当時としては先駆的な形で辻堂駅が開設され、それをきっかけに住宅地として開発されるようになりました。

現在の中心は辻堂駅であると言えますが、北口で湘南C-X<sup>シークロス</sup>都市再生事業により大規模商業施設が誘致されたのに対し、南口では大型店との共存をめざした商店街づくりに力を入れています。

地区南西部は演習場跡地から、小・中学校、特別支援学校（養護学校）、湘南工科大学、同附属高等学校が集まる文教地区、辻堂団地など計画的な開発がされた場所です。

地区の大部分は閑静な住宅地で、特に辻堂太平台や辻堂東海岸などは風致地区に指定され、緑豊かな住環境が保たれています。



---

## 地区の特色

---

湘南海岸はサーフィンを楽しむ人で年中にぎわっています。引地川は水鳥が多く生息し、緑道も整備されているため、サイクリング、ジョギング、散歩などのコースとして親しまれています。また、防砂林や屋敷林、点在する松があり、身近な場所に水とみどりのある環境となっています。地区内は比較的平坦な地形となっており、移動には自転車が多く利用されています。

地区内では様々なお祭りが盛んに開催されていますが、中でも毎年7月下旬に開催される諏訪神社の例大祭は、市の有形文化財である東西南北の4つの町内の山車がお囃子とともに神社境内に宮入りする、地区の一大イベントとなっています。

また、正月の風物詩として全国的に楽しまれている箱根駅伝も、地区を横断するコースを通っており、住民が多く応援に訪れ、年始のあいさつの場にもなっています。

---

## 辻堂地域経営会議

---

全委員で構成する全体会議のほか、辻堂（まち）づくり部会、福祉安全部会、地域交流部会、広報委員会の4つの部会などを設置しました。今後は、辻堂地区まちづくり実施計画に位置づけた事業を中心に、辻堂の特性に応じた事業に取り組み、地域主体による辻堂（まち）づくりを推進していきます。



都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなが思いやりを持ち、お互いに尊重しあい安全・安心に暮らせるまち

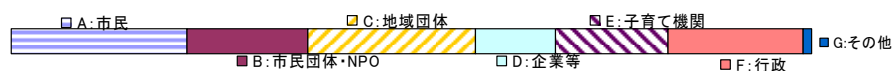
【成果指標】

- ①生活マナーがよくなったと感じる人の割合
- ②思いやりや助けあいがあると感じる人の割合

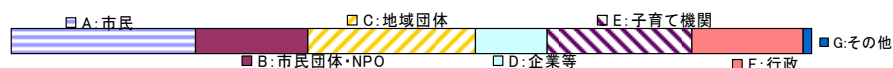
【現状値】 ①29% ②26%

【めざそう値】 3年後：①35% ②35% 6年後：①45.5% ②45%

【役割の担い手】 ①A:22% B:15% C:21% D:10% E:14% F:17% G:1%



②A:23% B:14% C:21% D:9% E:18% F:14% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 生活マナー啓発活動の推進

<成果の視点> 生活マナーが向上し、暮らしやすさを感じられること

〔主要な指標〕 キャンペーンの年間延べ参加者数

○実施事業 生活マナーアップ啓発事業

《活動－2》 小さな思いやりなどの親切活動の推進

<成果の視点> みんなが親切な心を感じられること

〔主要な指標〕 あいさつ・声かけ運動の啓発活動参加者数

○実施事業 小さな思いやり親切推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 子どもが生き活きと育つまち

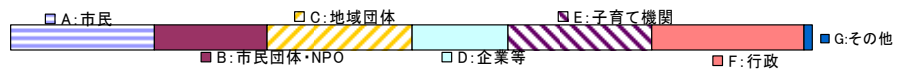
【成果指標】

- ①子どもが地域に見守られていると感じる人の割合
- ②地域の子どもの生き活きと育っていると感じる人の割合

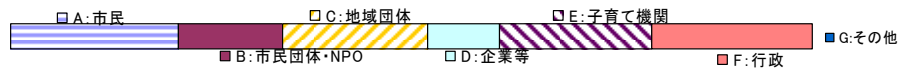
【現状値】 ①29% ②44%

【めざそう値】 3年後：①38.5% ②50% 6年後：①47% ②57%

【役割の担い手】 ①A:18% B:14% C:18% D:12% E:18% F:19% G:1%



②A:21% B:13% C:18% D:9% E:19% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－3》 子ども見守り活動の推進

<成果の視点> 地域の子どもたちが安心して遊んでいられること

〔主要な指標〕 見守りボランティア登録者数

○実施事業 子ども見守り活動推進事業

《活動－4》 青少年育成活動の推進

<成果の視点> 青少年がのびのびと育っていること

〔主要な指標〕 体験学習参加者数

○実施事業 青少年育成推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 人・まちのバリアフリーと福祉が充実しているまち

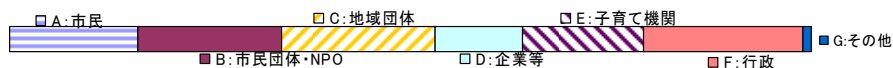
【成果指標】

①福祉が充実し、子どもからお年寄りまで守られていると感じる人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:19% D:11% E:15% F:20% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－5》 バリアフリー改善活動の推進

<成果の視点> 地域の中をストレスを感じることなく移動できること

〔主要な指標〕 整備，要望した件数の未整備箇所に対する割合

○実施事業 バリアフリー推進事業

ふじさわ未来課題

17 保健，医療，福祉，健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

04 保健，医療，福祉が連携しあい，健康が維持されるまち

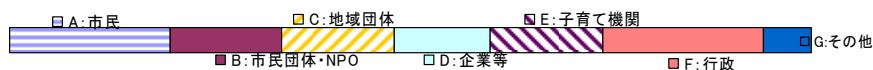
【成果指標】

①健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①36%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:20% B:14% C:14% D:12% E:14% F:20% G:6%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 身体を動かす習慣を普及させる活動の推進

<成果の視点> みんなが身体を動かす習慣を実践していること

〔主要な指標〕 講座の年間延べ参加者数

○実施事業 健康推進事業

都市ビジョン2

地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き，共に創る地域社会の創出

すべての市民が，差別や偏見を持つことなく，互いを認め合い，共に生き，働き，学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため，それぞれの人権を尊重し，男女が共同で参画し，高齢者，若者なども積極的に参画できる，多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

## 26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

### 05 安心して子育てできるまち

【成果指標】

①子育てがしやすいと感じる人の割合

【現状値】 ①45%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①75%

【役割の担い手】 ①A:19% B:14% C:15% D:11% E:21% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 子育て支援活動の推進

<成果の視点> 地域に支えられて子育てができる環境があること

〔主要な指標〕 交流の場の利用者数

○実施事業 子育て支援推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

### 45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

### 06 地域ブランド情報を発信するまち

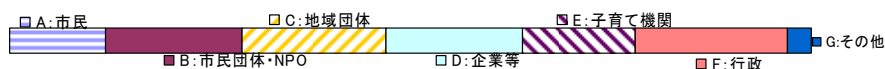
【成果指標】

①地域の良いところが、広く発信されていると感じる人の割合

【現状値】 ①8%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:18% D:17% E:14% F:19% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 地域ブランドの情報発信活動の推進

<成果の視点> 地域ブランドの発信による地域への愛着が醸成されていること

〔主要な指標〕 辻堂朝市の年間利用者数

○実施事業 湘南辻堂地域ブランド情報発信事業

ふじさわ未来課題

### 35 まちと自然環境の調和がとれていること

【地域まちづくり目標】

### 07 みどりあふれる自然環境を保全するまち

【成果指標】

①地域のまちなみと自然環境の調和が取れていると感じる人の割合  
**【現状値】** ①38%  
**【めざそう値】** 3年後：①45% 6年後：①50%  
**【役割の担い手】** ①A:16% B:15% C:17% D:17% E:14% F:20% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 みどりの保全に関する活動の推進

<成果の視点> みどりあふれる自然環境が保全されていること

〔主要な指標〕 講習会参加者数及び相談の年間合計件数

○実施事業 みどり保全事業

藤沢づくりのめざす方向性

**6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資**

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

**49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること**

**【地域まちづくり目標】**

**08 美しい自然とまちなみを守り、育てるまち**

**【成果指標】**

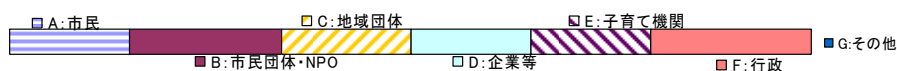
①地域で、自然が守られていると感じる人の割合

②地域住民の環境への意識が高いと感じる人の割合

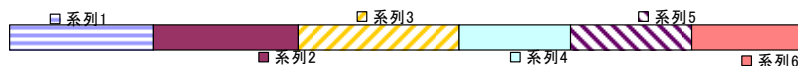
**【現状値】** ①32% ②31%

**【めざそう値】** 3年後：①40% ②40% 6年後：①50% ②50%

**【役割の担い手】** ①A:15% B:19% C:16% D:15% E:15% F:20% G:0%



②A:18% B:18% C:20% D:14% E:15% F:15% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－10》 環境美化のための運動の推進

<成果の視点> いつまでも美しい環境が残されていること

〔主要な指標〕 生活環境協議会キャンペーンへの参加者数

○実施事業 環境美化キャンペーン事業

《活動－11》 風致地区の住環境を守る活動の推進

<成果の視点> 風致地区の住環境や景観が維持されていること

〔主要な指標〕 地域で、自然が守られていると感じる人の割合（40歳代～）

○実施事業 風致地区住環境保全事業

【地域まちづくり目標】

09 エコ活動に積極的に取り組むまち

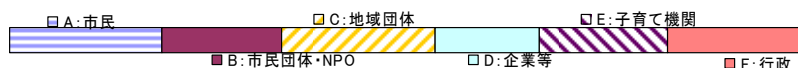
【成果指標】

①ごみの分別や節電など、環境を意識した行動を心掛けている人の割合

【現状値】①94%

【めざそう値】3年後：①95% 6年後：①97%

【役割の担い手】①A:19% B:15% C:19% D:13% E:16% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 エコ活動の推進

<成果の視点> 身近なところからエコ活動に取り組んでいること

〔主要な指標〕 地域住民の環境への意識が高いと感じる人の割合（60歳代～）

○実施事業 エコ活動推進事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること

【地域まちづくり目標】

10 暮らしやすさを支える商店のあるまち

【成果指標】

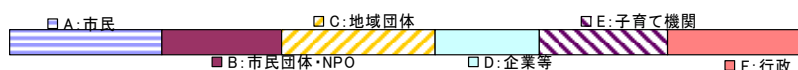
①地域の商店街と大型店舗が共存共栄していると感じる人の割合

②商店街を利用したいと思う人の割合

【現状値】①6% ②12%

【めざそう値】3年後：①15% ②20% 6年後：①30% ②27.5%

【役割の担い手】①A:17% B:9% C:8% D:22% E:7% F:21% G:16%



②A:22% B:12% C:11% D:23% E:9% F:23% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－13》 商店街活性化イベントの充実

＜成果の視点＞ 活気ある商店街があること

〔主要な指標〕 商店街活性化イベントの参加者数

○実施事業 商店街活性化イベント事業

《活動－14》 商店街の情報発信活動の推進

＜成果の視点＞ 商店街の様々な情報が容易に入手できること

〔主要な指標〕 商店街ホームページの更新回数

○実施事業 商店街情報発信事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

11 公共施設とサービスが充実しているまち

【成果指標】

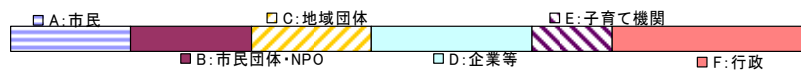
①公共の施設やサービスが充実していると感じる人の割合

②様々な人が地域づくりに関わっていると感じる人の割合

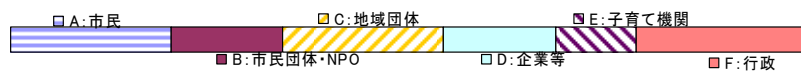
【現状値】 ①28% ②22%

【めざそう値】 3年後：①33% ②25% 6年後：①38% ②30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:15% C:15% D:20% E:10% F:25% G:0%



②A:20% B:14% C:20% D:14% E:10% F:22% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－15》 地域拠点施設建替に伴う再編プランの提言

＜成果の視点＞ 地域住民の意見が十分にプラン策定に活かされていること

〔主要な指標〕 重要な提言に関する再編プランにおける提言採用割合

○実施事業 地域拠点施設再編プラン提言事業

ふじさわ未来課題

67 移動や利用に当たり、誰でも利用できる道路や施設であること

【地域まちづくり目標】

## 12 人・自転車に優しい道路のあるまち

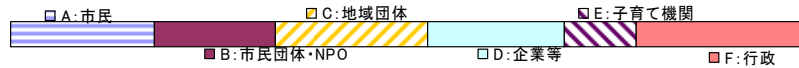
### 【成果指標】

①道路が誰にでも利用しやすい道路であると感じる人の割合

【現状値】 ①22%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①32%

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:19% D:17% E:9% F:22% G:0%



### 《地域まちづくり活動》

#### 《活動－16》 道路の問題箇所解消の推進

<成果の視点> 道路が原因となる問題が適切に改善されていること

〔主要な指標〕 道路問題箇所改善率（実施総延長／要改善延長）

○実施事業 道路問題箇所改善事業

#### 《活動－17》 辻堂の歴史文化についての情報発信の推進

<成果の視点> 歴史や文化などについての情報が容易に得られること

〔主要な指標〕 ホームページの歴史・文化情報の年間アクセス数

○実施事業 辻堂グリーン回廊事業

### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげingことをめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること

### 【地域まちづくり目標】

#### 13 伝統文化を保存・継承するまち

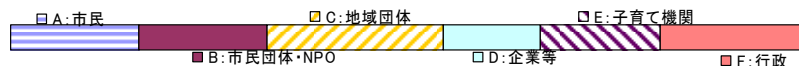
### 【成果指標】

①地域の文化が継承されていると感じる人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①27.5% 6年後：①34%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:22% D:12% E:15% F:19% G:0%



### 《地域まちづくり活動》

#### 《活動－18》 伝統文化の情報発信と伝承活動の推進

<成果の視点> 伝統文化が確実に次世代へと引き継がれていること。

〔主要な指標〕 伝統文化伝承講座の年間延べ参加者数

○実施事業 伝統文化継承事業



事業名	生活マナーアップ啓発事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>現在、自転車・ペット・ごみ等の生活マナーの啓発については地域団体によってチラシの配布、キャンペーンの実施、看板の設置等が行われています。</p> <p>それらの個別的な取り組みから、地区が一体となって総合的な取り組みを実施することによって、地域住民や来訪者(観光客)のマナーの向上を図り、地区の生活環境の向上を図ります。</p> <p>1 チラシ・パンフレット等による啓発活動 2 キャンペーンの実施 3 マナー啓発看板の設置 4 学校でのマナーアップ講座の開催</p>					
活動指標	キャンペーンの実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	3回	6年後目標値	3回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	実施内容によって地区の生活環境協議会、防犯協会、交通安全対策協議会と市民センターが相互に連携し合い、地域市民の声を聞きながら、取り組みを進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	→					
	検討・実施	→	実施	→	→	→
期待される事業の成果	自転車利用者のマナーが向上し、歩道を安心して歩くことができ、また、道路や公園のペットのふんやポイ捨てごみが少なくなり、地域住民等の生活マナーの向上や生活環境の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	小さな思いやり親切推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-7-01-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域市民が、障がい者や高齢者、子どもまですべての人が共に思いやりを持って過ごせるよう、あいさつや声かけ等が積極的に行われる環境づくりをめざして、チラシ・パンフレット等による啓発活動などに取り組みます。</p> <p>1 チラシ・パンフレット等による啓発活動 2 学校での親切運動の教育 3 あいさつ、声かけ運動の推進</p>					
活動指標	あいさつ・声かけ運動の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	実施内容によって地区の生活環境協議会、防犯協会、交通安全対策協議会と市民センターが連携し合い、地域市民の意見を聞きながら取り組みを進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	→					
		検討	実施	→	→	→
期待される事業の成果	地域市民が、障がい者や高齢者を含め子どもから大人まですべての人がともに思いやりを持って過ごせるよう、あいさつや声かけ等が積極的に行われる環境づくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	子ども見守り活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-02-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>子どもが安心して屋外で遊べるような地域で子どもを見守る環境づくりをめざし、講演会の開催や、見守りボランティア等の育成などに取り組みます。</p> <p>また、校庭開放についても調査・検討を進め、実現をめざします。</p> <p>1 放課後や休日に校庭を遊び場として開放することについて検討 2 子どもの見守りに関する講演会の実施 3 子ども見守りボランティアの育成のための講演会等の開催</p>					
活動指標	①ボランティア育成講習会の開催回数(年間) ②校庭開放の学校数					
目標値	現状値	①0回②0校	3年後目標値	①3回②1校	6年後目標値	①3回②2校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>青少年の健全育成については、従来から地区の青少年育成協力会が取り組んでおり、市民センターは、地区の青少年育成協力会と連携した取り組みを進めます。</p> <p>また、実施内容に応じて、その他の地域団体との連携も図ります。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	子どもが安心して屋外で遊べ、地域で子どもを見守る環境づくりを進めることにより、「子どもが生き活きと育つまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	青少年育成推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-02-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>青少年の健全育成については、青少年育成協力会や青少年会館等によって取り組みが進められていますが、さらに体験学習や地域の子どもと中学校や高校の部活動等との交流を進めます。</p> <p>1 子どもと中学校や高校の部活動との交流 2 青少年の健全育成を目的とした体験学習の実施 3 ビーチクリーンやボランティア等地域活動の実施</p>					
活動指標	体験学習の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>青少年の健全育成については、従来から地区の青少年育成協力会が取り組んでおり、市民センターは、地区の青少年育成協力会と連携した取り組みを進めます。</p> <p>また、特に「体験学習の実施」については、辻堂青少年会館との連携も含めた取り組みを進めます。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
			検討	実施・検討	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域と学校が連携した取り組みを進めることにより、「子どもが生き活きと育つまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	バリアフリー推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-23-03-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域経営会議がこれまでに実施したバリアフリー調査によってバリアフリー化が必要であることが明らかになった道路や公共施設について、バリアフリー化を進めます。</p> <p>また、県道・国道等については、県等への要望活動を行います。</p> <p>1 地区内道路・公共施設のバリアフリー化 2 県道・国道等のバリアフリー化の要望活動 3 心のバリアフリーの推進</p>					
活動指標	バリアフリー化実施済み箇所数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	3か所	6年後目標値	3か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>「地区内公共施設のバリアフリー化」は、地域経営会議が問題箇所の現地調査等を行ってきました。工事等改善の実施については、市民センターが整備を行います。また、「心のバリアフリーの推進」は、地区の社会福祉協議会と連携しながら、地域経営会議が実施します。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	<p>地域の住民が安心して安全に地域内を移動することができ、安心して利用することができるよう、公共施設の改善を進めることによって、「人・まちのバリアフリーと福祉が充実しているまち」の実現が図られます。</p>					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	健康推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-17-04-6-1	地域分権区分					
事業内容	<p>「私たちの藤沢 健康都市宣言」を地区内で推進するために、健康に関する講座や、朝の体操の実施など、地域ぐるみで行う健康づくりの取り組みを実施し、地域で健康な生活を続けていくことをめざします。</p> <p>1 身体を動かす講座や手軽に取り組めるスポーツの普及促進講座など健康講座の開催 2 朝の体操及び終了後公園の清掃を実施するといった新たな「辻堂体操」の考案・普及</p>					
活動指標	講座の開催回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	10回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>地域経営会議が主体となって行うことが期待されるが、内容を踏まえ、地区の社会福祉協議会や社会体育振興協議会と連携しながら実施します。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	実施・検討	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	<p>地域住民同士の交流を図るとともに、地域住民の健康づくりを促すことによって、「保健、医療、福祉が連携しあい、健康が維持されるまち」の実現が図られます。</p>					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名		子育て支援推進事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
2-4-26-05-7-1		地域分権区分					
事業内容		<p>地域で子育てを支える環境をつくることをめざし、子育て支援に関する情報の提供や、情報交換の場の設置、保護者の交流の場の設置などの取り組みを行います。</p> <p>また、長期的な視野に立って、保育所や託児所などの子育て施設の誘致をめざし、調査・検討を行います。</p> <p>1 子育て支援情報の提供 2 乳幼児の保護者の交流の場(保育を用意したイベントや講座等を開催)の提供 3 子育て施設の設置要望・誘致の調査・検討</p>					
活動指標		①子育てのホームページアクセス件数(年間) ②交流の場の数					
目標値		現状値	①0件②0か所	3年後目標値	①1,000件②1か所	6年後目標値	①3,000件②3か所
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域経営会議が主体となっていくことが期待されるが、内容を踏まえ、地区の青少年育成協力会と連携しながら実施します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
(市域全体)			検討	実施	→	→	→
期待される事業の成果		地域で子育てを支える環境づくりが進み、「安心して子育てができるまち」の実現が図られます。					
担当部課		市民自治部辻堂市民センター					

事業名		湘南辻堂地域ブランド情報発信事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
2-5-45-06-8-1		地域分権区分					
事業内容		<p>地域への誇りや愛着が育まれるよう、地域ブランド、地域グルメを生み出すための取り組みやイメージキャラクターを創る取り組みを進めます。</p> <p>また、地産地消のきっかけづくりを図るため、2010年(平成22年)度から実施している「辻堂朝市」を引き続き実施します。</p> <p>1 地域ブランド認定組織の立ち上げ、基準策定、認定、情報発信 2 地域グルメの開発・普及 3 地区イメージキャラクターの使用 4 辻堂朝市(地産地消の取り組み)の実施</p>					
活動指標		辻堂朝市の開催回数(開催回数)					
目標値		現状値	11回	3年後目標値	12回	6年後目標値	12回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域の商店会連合会等様々な団体の連携により、地域への誇りや愛着が育まれるよう、地域ブランド、地域グルメを生み出すための取り組みやイメージキャラクターを創る取り組みが期待されます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
(市域全体)		検討・実施	→	実施	→	→	→
期待される事業の成果		様々な形で地域の誇りやよりどころとなるものを創出する取り組みを進め、地域への誇りや愛着のさらなる醸成が図られます。					
担当部課		市民自治部辻堂市民センター					

事業名	みどり保全事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-35-07-9-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地区内、特に住宅地に残るみどりが良好な景観を形成しています。この貴重な宅地内のみどりを保全するために、実態調査を行い、総合的な保全制度の検討を進め、統一のとれたみどり景観が実現されることをめざし、地域の特性に合った緑の基準づくりを進めます。</p> <p>1 景観等の情報発信 2 地区内大木の樹齢調査の検討 3 地区独自のみどり保全制度の検討 4 地区の特性に合った樹種や、樹木の手入れ方法の基準づくりの検討</p>					
活動指標	ホームページのみどりに関するページのアクセス件数(年間)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	500件	6年後目標値	1,000件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センターが中心となり担いますが、調査研究時に地域市民や団体と協働して研究を進め、実施時には地域との協働で役割を担い、事業実施することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地区内で特に住宅地に残るみどりを保全されるよう地区の需要に即した総合的な保全制度の検討により、「みどりあふれる自然環境を保全するまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	環境美化キャンペーン事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-08-10-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地区内の環境の美化を進めるための取り組みとしては、現在、地区生活環境協議会によって様々な取り組みがなされています。その実績を踏まえ、さらに地区内の環境美化を進めるキャンペーン等を行います。</p> <p>あわせて、駅前については、重点的に美化活動を展開するとともに、辻堂駅南海岸線についても、全体の美化計画を検討し、計画的な美化に取り組みます。</p> <p>1 効果的なクリーンキャンペーンの実施方法の検討 2 辻堂駅前再整備を踏まえた辻堂駅前美化活動の検討 3 辻堂駅南海岸線の全体的な美化計画の検討</p>					
活動指標	環境美化キャンペーンの実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	環境美化については、地区生活環境協議会が取り組んできましたが、辻堂地区には美化ネットふじさわに登録している団体が少ないためその増加をめざします。また、公園については、公園愛護会が美化に取り組んでおり、市はこれらの団体と連携した取り組みを進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域住民や地域団体と協働した取り組みによって、「美しい自然とまちなみを守り、育てるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	風致地区住環境保全事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-08-11-1	地域分権区分					
事業内容	<p>風致地区として規制されている場所をはじめとして、地区内に広がる良好な住環境の維持・向上を促進するため、住宅等の緑化運動や、ガーデニング・コンテストの実施など、住民自らの住環境の向上を支援する取り組みを実施します。</p> <p>1 地区独自のみどり保全制度の検討(再掲) (「みどり保全事業」と一体として実施)</p> <p>2 住宅等の緑化運動</p> <p>3 ガーデニング・コンテストの実施</p>					
活動指標	事業計画期間内におけるコンテストの実施回数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	0回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センターが中心となって役割を担います。検討の過程では、地域住民や地域団体の持つ力を活かした取り組みを進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域住民や地域団体と協働した取り組みによって、「美しい自然とまちなみを守り、育てるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	エコ活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-09-12-1	地域分権区分					
事業内容	<p>アンケート調査によると、地区住民のうち「ごみの分別や節電など、環境を意識した行動をしている人の割合」は94%であり、日常生活上、環境に配慮する意識が非常に高いことがうかがえます。</p> <p>このような意識がより効果的なものとなるよう、パンフレットの配布等により正しい知識の普及啓発に取り組みます。</p> <p>また、LEDや太陽光発電など、環境に配慮した設備の普及促進に取り組みます。</p> <p>1 パンフレットの配布やコンテストの実施等によるエコ生活の普及啓発</p> <p>2 環境配慮設備(LED・太陽光発電等)の普及促進</p>					
活動指標	普及啓発活動の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センターが中心となって役割を担います。検討の過程では、地域市民や地域団体の持つ力を活かした取り組みを進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	環境に配慮した生活についての正しい知識の普及啓発や環境配慮設備の普及促進を行うことによって、地域内での、環境への配慮に対する高い意識が醸成され、環境負荷のより効果的な低減が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	商店街活性化イベント事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-64-10-13-1	地域分権区分					
事業内容	生活に密着した商店街を活性化するため、辻堂商店会連合会などと協働し、地区住民が朝市など商店街を利用するきっかけとなるようなイベントを開催します。 1 (仮称)辻堂マルシェの開催					
活動指標	商店街活性化イベントの実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議での検討を進めるとともに、実施に当たっては商店会連合会と連携して検討・実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の商店街を利用するきっかけをつくることによって、利用者の増加による活性化を進め、「暮らしやすさを支える商店のあるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	商店街情報発信事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-64-10-14-1	地域分権区分					
事業内容	地元商店街の活性化を図るため、ホームページの充実をはじめとして、様々な方法による商店街の買い物、イベント等の情報発信を行います。 1 ホームページによる情報発信の充実 2 その他の情報発信の検討					
活動指標	ホームページの商店会に関するページへのアクセス件数(年間)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	12,000件	6年後目標値	24,000件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議での検討を進めるとともに、実施に当たっては商店会連合会と連携して検討・実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)						
期待される事業の成果	商店街の魅力アピールすることによって、利用者の掘り起こしを行い、商店街の活性化が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	地域拠点施設再編プラン提言事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-71-11-15-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>地区における行政サービス提供の拠点となる辻堂市民センター・公民館については、老朽化、駐車スペースが少ないこと、バリアフリーが十分でないこと、センター業務の増加によるスペースの不足など、その機能に様々な課題を抱えています。</p> <p>地域内の他の公共施設についても、老朽化やバリアフリー等の課題があるため、市民センターの建て替えの時期にあわせて複合施設としての整備も視野に入れた再編プランを策定し提言を行います。</p> <p>1 地域拠点施設再編プランの策定・提言</p>					
活動指標	地域拠点施設再編プラン提言数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	0件	6年後目標値	0件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議を中心に公民館利用者、地域団体等により地域拠点施設再編プラン提言のための検討を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	→	→	→
(市域全体)	検討	→	→	→	→	実施
期待される事業の成果	民間の活力を利用し、公民館利用者や地域団体等の意見を反映した、複合的な施設のあり方を提言し、利用者の目線に沿った施設の整備が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					

事業名	道路問題箇所改善事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-67-12-16-1	地域分権区分					
事業内容	<p>既存道路の舗装の打ち換え等の道路改修舗装については、現状では改修が追いつかず、舗装の傷みによる凹凸や段差等が手付かずとなっている路線があり、改修の遅れから表層のみでなく路盤層や路体層にまで傷みが及ぼり、改修のための費用がかさむことが懸念されます。</p> <p>また、「地域まちづくり計画」策定に当たってのアンケート調査の結果によると、辻堂地区の住民のうち「道路が誰にでも利用しやすい」と感じている人の割合は22%であり、地区住民はあまり満足していないことがうかがえます。これらのことから、道路改修舗装について改善を図ります。</p> <p>1 既存道路の舗装の改善</p>					
活動指標	舗装打換工事実施総延長(累計)					
目標値	現状値	0m	3年後目標値	700m	6年後目標値	1,500m
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市の管轄する部分については市民センターにおいて実施するとともに、県の管轄する部分については、市が要望活動を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	道路の舗装の傷みによる凹凸や、段差等を解消することにより、「人・自転車に優しい道路のあるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部辻堂市民センター					



事業名	辻堂グリーン回廊事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-67-12-17-1	地域分権区分						
事業内容	<p>地区の歴史的財産である名所旧跡や辻堂海岸遊歩道、引地川緑道等を自転車や徒歩で巡ることができる「辻堂グリーン回廊」を設定し、その情報発信を行います。</p> <p>現在活用できる地域資源のバイクシェアリングの利活用もあわせて検討を進めます。</p> <p>1 「辻堂グリーン回廊」の設定 2 パンフレット等による情報発信 3 案内サインの設置</p>						
	活動指標	案内板の設置箇所数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	4か所	6年後目標値	10か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議の部会において検討を進めてきたことから、地域経営会議の部会を中心にコース設定や情報発信を進めます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	名所旧跡等地域の歴史的価値を再認識することにより郷土愛の醸成を図るとともに、地域を自転車や徒歩で巡ることにより健康の増進を図られます。あわせて、「人・自転車に優しい道路のあるまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部辻堂市民センター						

事業名	伝統文化継承事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-79-13-18-1	地域分権区分						
事業内容	<p>地区に伝わる伝統文化について、ホームページ等での情報発信や講座の開催などに取り組みます。さらに、地区内に点在する名所旧跡についても地区の財産であることから、それらの場所を記載した「辻堂ふるさとマップ」の作成や、それらについての説明板の新設や更新を行います。</p> <p>1 伝統文化についての情報発信 2 伝統文化伝承講座の開催 3 辻堂ふるさとマップの作成 4 地区内名所旧跡の説明板の新設・更新</p>						
	活動指標	伝統文化継承講座や行事(イベント)の開催回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	5回	6年後目標値	5回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	伝統文化の情報発信については、辻堂地区のホームページの中で地域経営会議による実施を検討します。また、辻堂ふるさとマップについては、現在検討・作成を進めている地域経営会議の部会で検討・作成を進めます。名所旧跡説明板については、関係課との連携により、地域経営会議が主体となって検討・設置を進めます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	地域住民が郷土の良さや歴史を再認識し、ひいては郷土愛の醸成を図ることが期待され、さらに、郷土の伝統文化の担い手として、後世への伝統文化の保存・継承が図られます。						
担当部課	市民自治部辻堂市民センター						

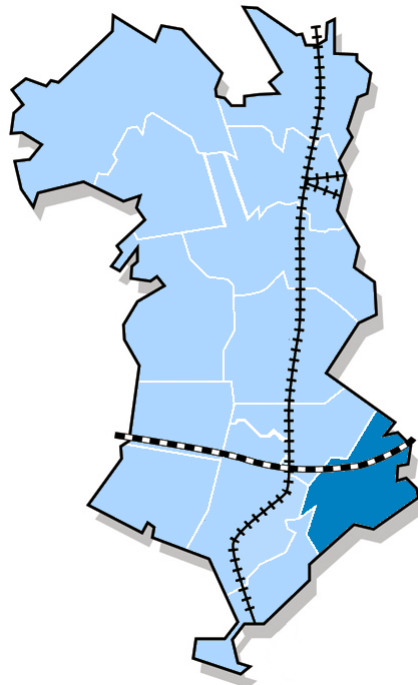


# 藤沢市新総合計画

## 村岡地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “<sup>き</sup>輝<sup>り</sup>ら里” むらおか



---

## 地区の概況

---

村岡地区は、藤沢市の南東部に位置し、西側は藤沢駅周辺地域、東側は鎌倉市に隣接しています。

2010年（平成22年）12月1日現在、人口は26,640人です。65歳以上の人口に占める割合（高齢化率）は18.7%で、市の平均値20.0%より低い状況です。

村岡に人が住み始めたのは6千年ぐらい前と言われています。地区内には、平安の頃平良文が築いた村岡城（現在は城址）や中世に北条氏が建てたと伝えられる二伝寺、天嶽院など多くの史跡があります。

明治に弥勒寺・小塚・宮前・高谷・渡内・川名・柄沢の七ヶ村が合併して現在の村岡の区域が出来あがりました。

昭和30年代以降工場の進出や土地区画整理事業に基づく宅地化が進む一方、川名にはまだ自然が多く残されています。

現在も、柄沢特定土地区画整理事業として、区域の健全な市街地を形成することを目的に、2013年度（平成25年度）の完了をめざした事業が進められています。

2010年（平成22年）3月、「村岡地区まちづくり計画」がまとめられました。この計画は地域住民などから構成される村岡地区まちづくり会議と藤沢市が協働しながら、新駅を設置を前提として策定したものです。今後の村岡新駅を中心としたまちづくりの実現に向けて取り組むための指針です。



---

## 地区の特色

---

古くからの歴史的資源や自然資源が多く残っています。南部の川名にある新林公園は四季を通じて様々な植物を楽しむことができ、多くの市民の憩いの場となっています。

また、弥勒寺、荒神神社、宮前御霊神社、高谷大神宮、日枝神社、川名御霊神社、柄沢神社などには七福神が祀られております。この七福神などを元旦にまわる「元旦歩行大会」は毎年恒例となっており、は市外からの参加者も含め多くの方が参加され参拝されています。

地区内に現在鉄道駅はありませんが、藤沢駅に比較的近く便利な立地となっています。その一方、起伏に富み、坂が多いところですが、1997年（平成9年）から藤が岡と渡内に地域コミュニティバス（ミニバス）が運行され、また2004年（平成16年）から鎌倉市域から宮前を経由して藤沢駅南口へ、地域コミュニティバスが運行され、地区と藤沢駅とをつなぐ便利な足となっています。

自主防災組織の結成率は藤沢市全体の結成率よりも高く、また犯罪発生件数が少ないのも特色です。地区の一層の安全と安心をめざし、2009年（平成21年）3月には地元の会社や個人の寄付・協力により安全・安心ステーション（民間交番）が設立され、防犯及び交通パトロールの拠点となっています。

---

## 村岡地区地域経営会議（村岡いきいきまちづくり会議）

---

地域活動団体等からの推薦委員と公募委員で構成し、これまで地域課題の把握等に取り組みました。

会議の検討内容などを地域経営会議会報や公民館ロビー設置の掲示板で情報発信するとともに、地域の意見を取り入れた村岡地区まちづくり実施計画に位置づけた事業を中心に、住んで良かったと言える村岡のまちづくりに取り組みます。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 明るく、清潔で、思いやりのあるまち

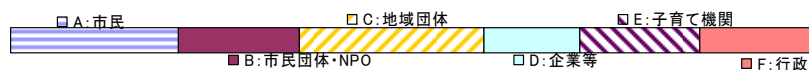
【成果指標】

①地域でマナーが守られていると感じている割合

【現状値】 ①24%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:21% B:15% C:23% D:12% E:15% F:14% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 マナー向上のための活動の推進

<成果の視点> マナー向上のための周知活動が行われていること

〔主要な指標〕 地域でマナーが守られていると感じている割合（60歳代～）

○実施事業 マナーアップ啓発事業

《活動-2》 地域活動への参加、協力意識の向上

<成果の視点> 自治会・町内会への加入世帯率が高い地域であること

〔主要な指標〕 自治町内会加入率

○実施事業 自治町内会加入促進事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 地域力で、子どもを見守り・育むまち

【成果指標】

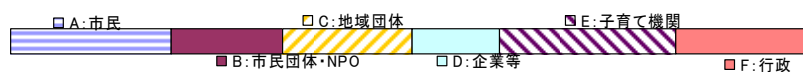
①地域の子どもたちがのびのびと育っていると思う住民の割合

②子どもたちの健全育成のために取り組む事業数

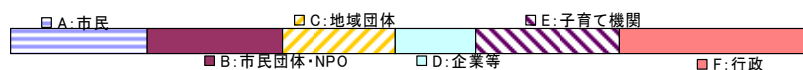
【現状値】 ①33% ②42件

【めざそう値】 3年後：①40% ②48件 6年後：①47.5% ②58件

【役割の担い手】 ①A:20% B:14% C:16% D:11% E:22% F:16% G:1%



②A:17% B:17% C:14% D:10% E:18% F:23% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-3》 子どもたちの健全育成のための環境整備

＜成果の視点＞ 青少年の健全な育成を支援する環境があること

〔主要な指標〕 ボランティア連携事業参加者数

○実施事業 村岡あいさつ運動事業

健全育成のための公園環境整備事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

### 23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 福祉が地域で支えられ、安心して暮らせるまち

【成果指標】

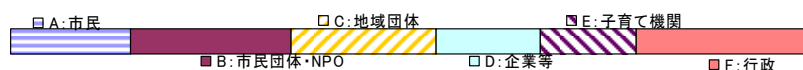
①福祉が充実していると感じている住民の割合

②福祉ボランティアセンターぬくもりの登録者数

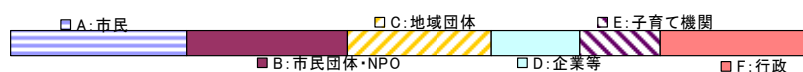
【現状値】 ①12% ②74人

【めざそう値】 3年後：①20% ②100人 6年後：①30% ②120人

【役割の担い手】 ①A:15% B:20% C:18% D:13% E:12% F:22% G:0%



②A:22% B:20% C:18% D:11% E:10% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-4》 子どもから高齢者まで世代を超えた福祉環境の充実

＜成果の視点＞ すべての人が心豊かで安心な生活ができるまちであること

〔主要な成果〕 調査した健康づくり活動数

○実施事業 健康づくり推進事業

【地域まちづくり目標】

04 安全が地域で支えられ、安心して暮らせるまち

【成果指標】

①過去一年間に、地域で犯罪の危険を感じた住民の割合

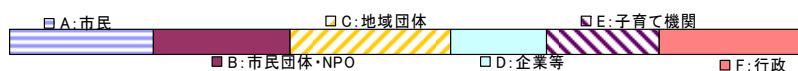
②地域の防犯に対する取り組みが充実していると感じている住民の割合

③地区内の犯罪発生件数

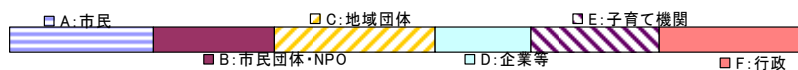
【現状値】①26% ②30% ③168件

【めざそう値】3年後：①20% ②35% ③150件 6年後：①18% ②40% 122.5件

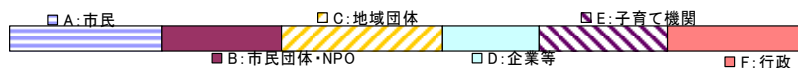
【役割の担い手】①A:18% B:17% C:20% D:12% E:14% F:19% G:0%



②A:18% B:15% C:20% D:12% E:16% F:19% G:0%



③A:19% B:15% C:20% D:12% E:16% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－5》 防犯対策の強化・充実

<成果の視点> 防犯意識の高まりによって、犯罪から守られる地域になること

〔主要な指標〕 下校時の見守り活動年間延べ参加者数

○実施事業 公園防犯対策LED設置事業

防犯パトロール体制充実事業

ふじさわ未来課題

18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

【地域まちづくり目標】

05 地域住民のつながりと備えで災害に強いまち

【成果指標】

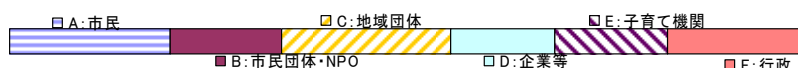
①住民が自主防災に備えるの必要性を感じている住民の割合

②自主防災組織の活動数

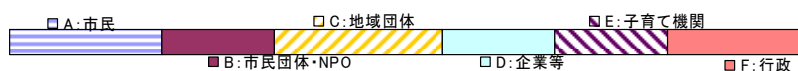
【現状値】①18% ②3回

【めざそう値】3年後：①27.5% ②4回 6年後：①36.5% ②5回

【役割の担い手】①A:20% B:14% C:21% D:13% E:14% F:18% G:0%



②A:19% B:14% C:21% D:14% E:14% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 安心できる防災体制の強化

<成果の視点> 地域の活動によって、地域防災力の強化・充実がなされること

〔主要な指標〕 地区防災訓練の参加者数

- 実施事業 地域防災ネットワークづくり事業  
防災力強化事業

都市ビジョン2

地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

06 みんなでつくろう「子育て環境の充実したまち」

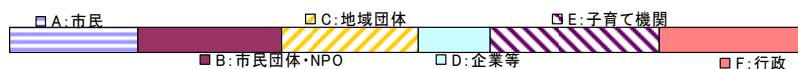
【成果指標】

①子育てに対して優しいまちと感じている住民の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:17% D:9% E:21% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 子育て世代に優しい環境の充実

<成果の視点> 子育て家庭が安心して生活できる環境が充実していること

〔主要な指標〕 調査検討の意見数

- 実施事業 子育て支援環境づくり調査事業  
村岡子育て支援館開設検討事業

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

07 みんなで見守り、助けあうまち

【成果指標】

①社会的弱者の方に配慮した地域であると感じる人の割合

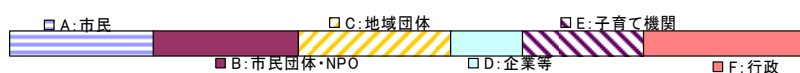
②要援護者への対応に取り組む自治町内会の数

【現状値】 ①15% ②1組織

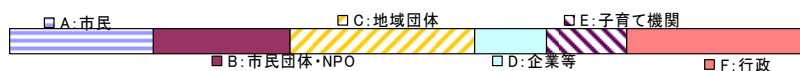


【めざそう値】 3年後：①30% ②3組織 6年後：①50% ②7組織

【役割の担い手】 ①A:18% B:18% C:19% D:9% E:15% F:21% G:0%



②A:18% B:17% C:23% D:9% E:10% F:23% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 みんなで支えあい、見守り活動の推進

<成果の視点> 要援護者への対応が地域で取り組まれていること

〔主要な指標〕 バリアフリー化対応率（施行済箇所／要望箇所）

○実施事業 歩道等バリアフリー化対策事業  
地域共生社会推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

### 45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

08 地域で支える人材が育つまち

【成果指標】

①次代を担う若者が育成されていると思う住民の割合

②世代を超えた交流事業の数

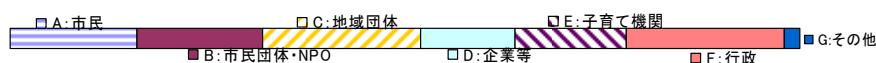
【現状値】 ①14% ②2回

【めざそう値】 3年後：①20% ②5回 6年後：①30% ②7回

【役割の担い手】 ①A:14% B:15% C:13% D:14% E:21% F:20% G:3%



②A:16% B:16% C:20% D:12% E:14% F:20% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 世代を超えた地域活動の継承と促進

<成果の視点> 地域づくりの未来の担い手を育成する仕組みづくりができていていること

〔主要な指標〕 登録者の年間活動回数

○実施事業 地域の担い手登録事業  
地域未来づくり事業

## 藤沢づくりのめざす方向性

### 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

## ふじさわ未来課題

### 49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

#### 【地域まちづくり目標】

#### 09 緑豊かな環境を守り育てるまち

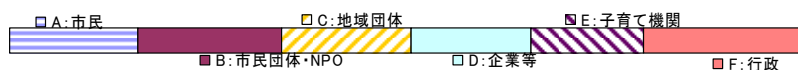
#### 【成果指標】

- ① 緑豊かなまちだと感じる住民の割合
- ② 地区内公園に対する公園愛護会の設置割合

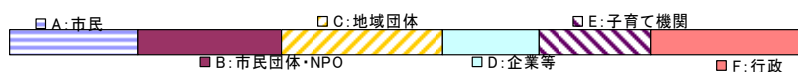
【現状値】 ①42% ②58%

【めざそう値】 3年後：①50% ②70% 6年後：①60% ②85%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:16% D:15% E:14% F:21% G:0%



②A:16% B:18% C:20% D:12% E:14% F:20% G:0%



#### 《地域まちづくり活動》

##### 《活動－10》 緑や花いっぱい活動の推進

<成果の視点> 緑や花を育てることにより、暮らしやすい環境を守り育てること

〔主要な指標〕 事業参加者数

○実施事業 地域みどりや花いっぱいまちづくり推進事業

#### 【地域まちづくり目標】

#### 10 環境美化に対して活発な運動が実践できるまち

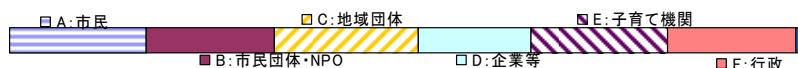
#### 【成果指標】

- ① きれいなまちだと感じる住民の割合

【現状値】 ①43%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:18% D:14% E:17% F:16% G:2%



#### 《地域まちづくり活動》

##### 《活動－11》 環境美化活動の充実

<成果の視点> 地域住民の美化運動への取り組みにより、環境にやさしいまちになること

〔主要な指標〕 一日清掃デー参加者数

○実施事業 村岡クリーンアップ大作戦事業

都市ビジョン3  
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

11 みんなが個性を活かし活躍できるまち

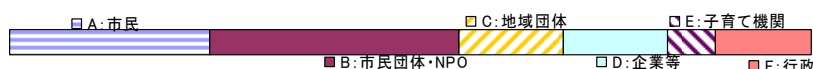
【成果指標】

①元気のあるまちだと感じる住民の割合

【現状値】①22%

【めざそう値】3年後：①23.5% 6年後：①29%

【役割の担い手】①A:25% B:31% C:13% D:13% E:6% F:12% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-12》 誰もが参加でき、交流も図れる事業の推進

<成果の視点> 地域住民が互いにふれあうとともに、地域企業との交流が活発になること

〔主要な指標〕 地域企業・商店会との交流事業参加者数

○実施事業 地域企業・商店会との交流促進事業

藤沢市合併70周年記念事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

12 だれもが利用できる都市基盤の充実したまち

【成果指標】

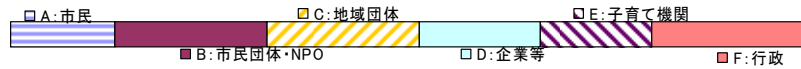
①公民館など地域住民のコミュニティ活動の場の満足度

②鉄道や幹線道路など交通に関する満足度

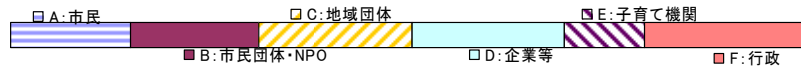
【現状値】①20% ②39%

【めざそう値】3年後：①30% ②45% 6年後：①42.5% ②50%

【役割の担い手】①A:13% B:19% C:19% D:15% E:14% F:20% G:0%



②A:15% B:16% C:19% D:19% E:10% F:21% G:0%



### 《地域まちづくり活動》

《活動－13》 多世代が交流，利用できるコミュニティの活動拠点の充実

<成果の視点> 地域内の公共施設が活発に利用されていること

〔主要な指標〕 地域市民の家等を活用した事業参加者数

○実施事業 地域コミュニティ施設建設案検討事業  
公共施設の有効活用事業

《活動－14》 交通ネットワークの充実

<成果の視点> 交通手段が充実していること

〔主要な指標〕 提言に対する意見交換の回数

○実施事業 公共交通ネットワーク調査事業

### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげていくことをめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

13 歴史と文化と自然に親しみ，活かすまち

【成果指標】

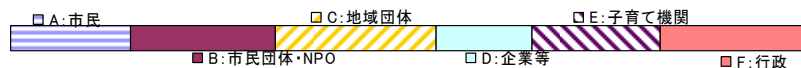
①歴史の保護・継承に関する満足度

②文化遺産の保護・継承に関する満足度

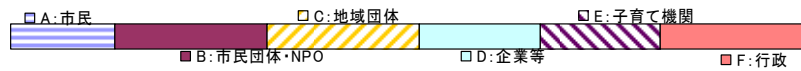
【現状値】①22% ②22%

【めざそう値】3年後：①30% ②30% 6年後：①37.5% ②35%

【役割の担い手】①A:15% B:18% C:20% D:12% E:16% F:19% G:0%



②A:13% B:19% C:19% D:15% E:15% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－15》 地域に残された歴史・自然資源の保存・継承・活用の推進

<成果の視点> 地域で歴史、文化、自然などが保存され、次世代に引き継がれていること

〔主要な指標〕 案内板の周知パンフレット、記事等の件数

○実施事業 史跡案内板設置事業

【地域まちづくり目標】

14 訪れる人を優しく迎えてくれるまち

【成果指標】

①訪れる人を優しく迎えてくれるまちだと感じる住民の割合

【現状値】 ①18%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①35%

【役割の担い手】 ①A:17% B:17% C:21% D:13% E:14% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 通行に配慮した環境の整備

<成果の視点> 誰もが安全・安心に目的地へ行けるように配慮されていること

〔主要な指標〕 歩行者通行環境整備率（施行済箇所／要望箇所）

○実施事業 歩行者通行環境整備事業

事業名	マナーアップ啓発事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>マナーやモラルの低下による迷惑行為を許さないという認識のもと、住民一人ひとりが迷惑行為について自覚し、責任ある行動をとることにより、迷惑行為のない快適で良好な生活環境の実現をめざします。</p> <p>1 自転車の乗り方、煙草のポイ捨て、ペットの飼い方等、地域での生活上のマナー向上事業の実施</p> <p>2 周知活動のためのチラシ、リーフレットの作成・配布</p>					
活動指標	参加団体のPR活動数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民や自治町内会、生活環境等の地域団体等が連携を図り、事業を推進します。地域経営会議は、連携を支援するとともに、市との調整や協議を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	市民や地域活動団体等が主体となって事業活動を進めることにより、マナー向上の促進が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

事業名	自治町内会加入促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>安全・安心、快適な住みよいまちを創造するためには、村岡に関わる地域住民や企業などが共に住みよい地域社会を作っていくという自覚を持つことが大切であり、そのことによって自分の住むまちに誇りと郷土愛が生まれてきます。</p> <p>助け合いの心と協力意識を持ち、マナーやモラルの低下による迷惑行為を許さないという認識のもと、責任ある行動をとることにより、迷惑行為のない快適で良好な生活環境の実現をめざします。</p> <p>自治町内会への加入促進を図り、地域活動への参加、協力意識の向上から、地域の連帯と助け合いの精神を醸成します。</p> <p>1 自治町内会の自助によるリーフレット等の作成・配布</p>					
活動指標	参加団体のPR活動数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	3回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民や自治町内会、生活環境等の地域団体等が連携を図り、事業を推進します。地域経営会議は、連携を支援するとともに、市との調整や協議を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
		検討	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	市民や地域活動団体等が主体となって事業活動を進め、地域活動への参加、協力意識が向上することにより、自律したまちの実現が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

事業名	村岡あいさつ運動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-14-02-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長と、安全・安心な環境づくりのため、これまでの地域住民による登下校時の児童や隣人に対する声掛け運動をさらに充実させるとともに、声掛け・あいさつ運動を地域の中に広げ、根付かせていきます。</p> <p>1 あいさつ運動の拡充 2 ボランティア活動者の連携情報交換や講演会等の開催</p>					
活動指標	ボランティア連携事業回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	学校・家庭・地域が一体となって事業活動を進めることにより、地域に根付いていきます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	ボランティア方々の活動の充実、連携が進むことにより、地域力で、子どもを見守り、育むまちの実現が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

事業名	健全育成のための公園環境整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-14-02-3-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>学校・家庭・地域が一体となり、次世代をにう子どもが健やかに成長できるよう安全で安心できる環境づくりを進めます。</p> <p>地域の子どもたちがのびのびと育つ環境を形成するため、身近な公園の「公園環境整備事業」を実施します。</p> <p>また、地域の意見を聞きながら、公園環境整備に向けた仕様等の作成を行います。</p> <p>1 公園デビュー整備事業…遊具や砂場の整備等 2 公園ののびのび改修事業…子どもたちがのびのびと遊べる環境整備等</p>					
活動指標	公園整備箇所数					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	2か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体等や地域住民などの地域の担い手とともに事業を推進し、青少年の健全な育成の支援を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	この事業によって、地域ぐるみでの子育ての環境と意識が進み、「地域力で、子どもを見守り、育むまち」の実現が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

事業名		健康づくり推進事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
1-3-23-03-4-1		地域分権区分					
事業内容		<p>子どもから高齢者まで地域の誰もが心豊かに安心して生活できるまちづくりをめざします。地域で様々な団体が独自に行っている健康づくり活動を紹介し支援し、また、保健医療・健康・スポーツなどの充実を図り、地域の「元気づくり」を推進します。</p> <p>「私たちの藤沢 健康都市宣言」を地区内で推進するため、「村岡版 健康元気プラン」を策定します。</p> <p>1 健康づくり事業の実施 2 地域に根ざした「村岡版 健康元気プラン」の調査・研究、策定</p>					
活動指標		プランの策定率					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		<p>地域の担い手は、地域団体等や地域住民などで、地域経営会議、市とともに事業を推進します。</p> <p>このことにより子どもから高齢者まで世代を超えた福祉環境の充実を図るため、健康が第一であり、健康づくりのためのプランを策定します。</p>					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		この事業によって、「福祉が地域で支えられ、安心して暮らせるまち」の実現に寄与します。					
担当部課		生涯学習部村岡公民館					

事業名		公園防犯対策LED設置事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
1-3-23-04-5-1		地域分権区分					
事業内容		<p>地域住民、行政が一体となった「地域力」「行政力」を発揮し、地域に生活するすべての人が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>夜間防犯パトロール実施時などに、「公園が暗い」との報告があり、この地域の改善要望の声に応えるため、試行的に公園照明灯を環境に配慮した仕様(シーラーシステムLED照明灯)で、3年間で、3公園、4灯の改修をめざします。以降は、3公園の実績を踏まえ、他の公園への拡大を検討します。</p> <p>1 公園へのソーラーシステムLED照明灯の設置 2 設置した照明灯及び公園に関する評価</p>					
活動指標		LED設置公園数(累計)					
目標値		現状値	0か所	3年後目標値	3か所	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市民団体、地域団体等と調整し、最良な方法により市が事業を推進していきます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		地域の強みである「安全」をさらに伸ばす、防犯対策の強化・充実を進めることにより、地域に生活するすべての人が安全・安心に暮らせるまちづくりの実現が図られます。					
担当部課		生涯学習部村岡公民館					



事業名	防犯パトロール体制充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-5-2	地域分権区分					
事業内容	<p>“地域の安全は地域住民が守る”を合い言葉に、こうした地域の強みをさらに伸ばすべく、行政、地域住民が一体となった「地域力」「行政力」を発揮し、地域に生活するすべての人が安全・安心に暮らせるまちづくりを進め、この活動を継続、充実します。</p> <p>また防犯パトロール隊や安全・安心ステーション、一日移動交番などを充実・有効活用し村岡の地域力を発揮し、地域の安全を守ります。</p> <p>1 児童の下校時における見守り活動を、家庭や自治町内会、ボランティアなどの協力によって地域内の全小学校へ拡大</p>					
活動指標	下校時見守り対象小学校数(累計)					
目標値	現状値	1校	3年後目標値	2校	6年後目標値	4校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、市民団体、地域団体が連携し活動が進められており、今後もこれらの方々の連携により推進していきます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	この活動により地域で、登下校時の見守りを行うことにより、防犯意識が高まり、防犯対策の強化充実が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

事業名	地域防災ネットワークづくり事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-18-05-6-1	地域分権区分					
事業内容	<p>村岡地区の防災訓練は近隣自治町内会の連携によって5か所の避難施設が同時に実施するという市内で唯一の取り組みが行われています。</p> <p>また、各自治町内会でも要援護者対策や自主防災訓練への取り組みが始まっています。いつやってくるか分からない災害に備え、行政主導の防災対策にとどまらず、地域住民や地域団体、民間事業者(NPO・医療機関等)の自助・共助による「地域力」を発揮し、自然災害に対し地域で備えることにより、地域防災力を高め、みんなで減災に取り組みます。</p> <p>1 地域防災の担い手同士が顔の見える密接な関係を構築する「地域防災ネットワークづくり」の推進</p>					
活動指標	ネットワーク事業設置数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	2か所	6年後目標値	4か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	住民、市民団体、地域団体、事業者、医療機関、市などが連携、協働して推進していきます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)			検討	実施	→	→
期待される事業の成果	この事業によって、地域住民同士が考え、行動する機会を増やし、地域の力による災害に強いまちの実現が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

事業名	防災力強化事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-18-05-6-2	地域分権区分						
事業内容	<p>村岡地区内の自治町内会の自主防災組織の組織率も高く、自主防災訓練の取り組みが始まっています。</p> <p>安心できる防災体制の強化を図るため、年次計画をたて、防災資機材の強化を図ります。まず、3か年で通信手段の確保のため配備をします。今後、さらに災害時生活用水の確保など有効な手段を講じるため地域と市が検討・協議します。</p> <p>1 連絡通信手段としての資機材を計画的に配備 2 災害時生活用水の確保検討</p>						
	活動指標	資機材の充足率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	15%	6年後目標値	30%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市民、市民団体、地域団体と市の連携により推進していきます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	この事業によって、地域住民同士が考え、行動する機会を増やし、地域の力による災害に強いまちの実現が図られます。						
担当部課	生涯学習部村岡公民館						

事業名	子育て支援環境づくり調査事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-26-06-7-1	地域分権区分						
事業内容	<p>核家族化が進み、また地域のつながりの希薄化が言われている今日、「地域再生」のため地域での子育て環境の充実が必要となってきています。</p> <p>子育て中の親子が気軽につどえる「活動空間」、相互交流や子育ての不安や悩みを相談できる「場」づくりなど、「地域力」を発揮し、地域全体で子育て家庭を支援する環境づくりを推進します。</p> <p>現在も地域において、様々なサークルや団体が子育て支援活動をしています。今後子育て世代のニーズを的確に捉え、地域力を発揮した子育て支援活動を充実、発展を図ります。</p> <p>1 子育て支援環境づくり調査の実施</p>						
	活動指標	子育て支援環境づくり調査活動					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市民や地域団体等が中心となり事業を推進し、子育て家庭を支援する環境づくりのため、地域主体で事業を推進します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
		検討	実施				
(市域全体)							
期待される事業の成果	この活動により、地域で望まれる、子育て世代に優しい環境を充実し、子育てのしやすい地域のつながり力を発揮されたまちの形成に寄与します。						
担当部課	生涯学習部村岡公民館						

事業名		村岡子育て支援館開設検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-4-26-06-7-2	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	核家族化が進み、また地域のつながりの希薄化が言われている今日、「地域再生」のため地域での子育て環境の充実が必要となってきています。 子育て中の親子が気軽につどえる「活動空間」、相互交流や子育ての不安や悩みを相談できる「場」づくりなど、「地域力」を発揮し、地域全体で子育て家庭を支援する環境づくりを推進します。 1 仮称「村岡子育て支援館」の開設に向けた、他の施設計画等と連動した検討・提言						
	活動指標	提言回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市民、市民団体、地域団体等と行政が協力し、子育て家庭を支援する環境づくりのため、事業を推進します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
		検討	提案				
(市域全体)				検討・実施	→		
期待される事業の成果	この活動により、地域で子育て家庭が安心して生活できる環境の充実が図られます。						
担当部課	生涯学習部村岡公民館						

事業名		歩道等バリアフリー化対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-31-07-8-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	子ども、障がいのある人、外国人、高齢者、小さな子どもをかかえた母親(父親)などすべての人が安全に安心して歩くことができるようまちづくりを進めます。 1 現地調査等の実施 2 バリアフリー化計画の策定 3 計画に基づく主要な道路の歩道のバリアフリー化の実施						
	活動指標	改修施工箇所数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	6か所	6年後目標値	10か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域の担い手は、地域団体等や地域住民などで、市民、地域団体等の参加による現地調査等を行い、必要箇所を市が改修していきます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)		検討・実施	→	→	→	→	
期待される事業の成果	この事業により、社会的弱者に配慮した道路が整備されるとともに、調査活動により社会的弱者への思いやりの心が育まれ、地域全体で支える仕組みづくりが推進されます。						
担当部課	生涯学習部村岡公民館						

事業名	地域共生社会推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-31-07-8-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域共生社会をめざし、地域で暮らし、働き、学ぶすべての人に配慮した地域づくりが必要であり、地域の企業、店舗、公共施設等、地域ぐるみで心のバリアフリーを推進する事業を実施します。</p> <p>1 地域での心のバリアフリー化の推進</p>					
活動指標	参加団体数(累計)					
目標値	現状値	0団体	3年後目標値	5団体	6年後目標値	10団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、市民団体、地域団体、企業などが地域の一員として主体的に実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)		検討	→	検討・実施	→	→
期待される事業の成果	この事業により、社会的弱者を支え、地域で支えあう仕組みづくりが推進され、みんなで見守り、助け合うまちの形成に寄与します。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

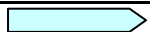
事業名	地域の担い手登録事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-45-08-9-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域のコミュニティを持続していくためには地域を担う人材が大切にされていなければなりません。地域には昔から伝承され、継承しなければならない伝統芸能や、地区住民一人ひとりが職業を通じて培ってきた技術、ノウハウなどがあります。</p> <p>団塊世代の方々が定年退職により地域社会に帰ってきており、知識、経験、ネットワークを持った世代は地域づくりの大きな力となるため、担い手の登録事業を実施します。</p> <p>また、「若い力」と「鍛え上げた力」が世代を超えて地域づくりのプロデューサーとして活躍できる場づくりも行います。</p> <p>1 地域住民の技術、経験等を登録してもらい、地域力として、地域に還元できる事業の実施</p>					
活動指標	登録者数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	10人	6年後目標値	20人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、市民団体、地域団体等が中心となり事業を実施します。市は、中心となる主体の連携、協働を促すよう支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)		実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	この事業を実施することにより、社会的経験、技術などの人の力を地域の方として結集し、地域活動の継承と促進がなされるまちの形成が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					



事業名		地域未来づくり事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
2-5-45-08-9-2		地域分権区分					
事業内容		<p>地域には昔から伝承され、継承しなければならない伝統芸能や、工芸技術などがあり、村岡においても「祭り囃子」など伝統文化が継承されています。</p> <p>次代を担う青少年をそれぞれの分野で育成していくためには、地域の温かい人間関係の中で支援体制を構築し、地域社会への関心と郷土愛を高め、やがて地域づくりの核となる人材育成につなげていくことが大切です。</p> <p>伝承事業などを中心として、次代を担う小・中学生、高校生を対象とした事業を実施します。</p> <p>1 青少年を対象とした地域の伝統に関する講習会、講演会等の実施</p>					
活動指標		事業実施回数(年間)					
目標値		現状値	0回	3年後目標値	3回	6年後目標値	6回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市民、市民団体、地域団体等が中心となり事業を実施します。市は、中心となる主体の連携、協働を促すよう支援します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		この事業により、地域づくりの未来の担い手を育成する仕組みづくりが図られます。					
担当部課		生涯学習部村岡公民館					

事業名		地域みどりや花いっぱいまちづくり推進事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
2-6-49-09-10-1		地域分権区分					
事業内容		<p>緑豊かな環境づくりのためには、公園や道路、公共施設の緑の整備、そして住宅地内や工場・企業用地などの緑化推進に向け地域一丸となって取り組むことが大切です。</p> <p>地域住民の身近な緑への愛着と環境に対する意識の高揚を図り、緑のまちづくりを進めるための事業を実施します。</p> <p>1 公園愛護会未設置公園等を活用した花壇づくりの実践とみどりのまちづくりの推進 2 花壇コンクールの開催</p>					
活動指標		実践活動数(累計)					
目標値		現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市民、市民団体、地域団体、企業等と市が協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		この事業を推進することによって緑や花を育てることにより、身近な自然環境への愛着と地球環境への理解を深め、地球にやさしく暮らしやすい環境づくりが図られます。					
担当部課		生涯学習部村岡公民館					

事業名 <b>村岡クリーンアップ大作戦事業</b>							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-10-11-1		地域分権区分					
事業内容		<p>美化活動を推進し、美しく住みよい地域を築き、環境保全に対する意識の向上を図るための事業を実施します。</p> <p>村岡地区一日清掃デーの実施により、落葉樹に対応し、きれいな地域で年末・年始を迎えられるようにします。また、村岡隧道歩道部分の環境美化向上(防犯対策も含め明るいつトンネル内にする)に向けた取り組みを行います。</p> <p>1 村岡一日清掃デー実施(実施日の増) 2 村岡隧道歩道の壁面清掃、照明のLED設置 3 歩道部分壁画の作成・設置</p>					
活動指標		事業実施活動数(累計)					
目標値		現状値	2回	3年後目標値	9回	6年後目標値	18回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市民、市民団体、地域団体、企業等と行政が協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		この事業により、美しく住みよい地域を築き、環境保全に対する意識の向上が進み、環境にやさしいまちの実現が図られます。					
担当部課		生涯学習部村岡公民館					

事業名 <b>地域企業・商店会との交流促進事業</b>							
体系コード		事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-57-11-12-1		地域分権区分					
事業内容		<p>子どもからお年寄りまであらゆる世代にわたって、また地域住民から民間企業まであらゆる層が、個性豊かな活力あるまちづくりに関わることは、地域を元気にする力になります。</p> <p>地域全体が活力に溢れ、のびのび・いきいきとしたまちを創造するため地域団体の積極的な関わり合いと企業の地域貢献、地域社会活動を促していくことも必要であり、地域団体、企業・商店会が地域の一員として、交流する事業を進めます。</p> <p>1 地域団体、企業・商店会との交流促進事業の実施</p>					
活動指標		事業実施回数(年間)					
目標値		現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	3回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市民、地域団体と、企業、商店などが地域の一員として交流し、地区内にある企業・商店と地域住民等が連携して事業を実施します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		検討	検討・実施	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		この事業により、地域住民が互いにふれあうとともに、地域企業との交流が進み、より多くの人や組織が地域の一員であるという自覚を高めることで、地域の活性化が図られます。					
担当部課		生涯学習部村岡公民館					


事業名	藤沢市合併70周年記念事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-57-11-12-2	地域分権区分					
事業内容	<p>2011年(平成23年)は村岡地区が藤沢市に合併して70周年になります。 この機会を捉え、村岡地区の歩んできた歴史を見つめるとともに、これからの「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」のまちづくりに向けて、「地域力」、「企業力」を全開し、協働した地域活動が行われるよう、記念事業を実施します。</p> <p>1 記念事業の実施</p>					
活動指標	実施回数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民, 地域団体, 企業等が主体となり, 事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施					
期待される事業の成果	この事業により, 地域住民の連帯意識と郷土愛の高揚を図り, 地域の絆が生まれ, 活力ある地域の実現が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

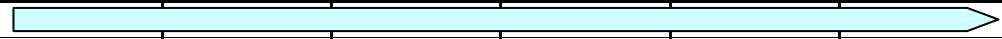
事業名	地域コミュニティ施設建設案検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-71-12-13-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>現在, 村岡新駅を中心としたまちづくり計画が進められていますが, 地域住民が切望している, 村岡地区になかった, 高齢者, 子育て支援に対応した福祉施設の新設, 地域住民の活動拠点施設, 学習文化活動及び防災拠点施設, 多種多様化している行政サービスを身近な場所で提供できる施設を建設する必要があります。</p> <p>現在地域の拠点施設として機能している村岡公民館は建築後44年以上が経過して著しく老朽化しており, 一刻も早く建て替える必要があります。村岡地区まちづくり実施計画として位置づけ, 研究・検討をするとともに, 市関係各課と連携し, 事業を進めます。</p> <p>1 地域の声に基づく必要な機能, 場所等の検討 2 地域からの提案, 提言</p>					
活動指標	提言回数(累計)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民, 市民団体, 地域団体が協力し事業を実施します。市は, 提案を踏まえ建設に関する検討, 協議を地域と共に進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	検討	→	→	→		
期待される事業の成果	この事業により, 多世代が利用できる機能を併設した, 地域の拠点施設としての地域コミュニティ施設の建設に向けて, 地域住民の意見が反映でき, 公共施設の機能への充足と暮らしやすいまちの形成が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

事業名	公共施設の有効活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-71-12-13-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域から、多世代が交流できる拠点の整備要望や交通ネットワークの整備など多岐にわたって様々なサービスが求められている中、今後は「新しい公共」の視点に基づき、地域資源を有効利用した民間施設とコミュニティ施設の連携や、新たな地域拠点施設の整備など多様なサービスの充実を図ります。</p> <p>また既存の地域内の公共施設の利用実態、地区住民のニーズに基づいて活用していくための検討を行います。</p> <p>1 地域市民の家等を活用した、子育て世代や高齢者を対象とした事業の実施 2 地域住民の公共施設等の利用促進</p>					
活動指標	事業の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	3回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、市民団体、地域団体等が主体となり、地域中心の事業として実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業の実施により、地域内の公共施設が活発に利用され、世代間交流やコミュニティの形成が進み、充実した生活とまちの実現が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					

事業名	公共交通ネットワーク調査事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-71-12-14-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>現在藤沢駅から、藤が岡、渡内に循環で地域コミュニティバスが運行され、また鎌倉市域から宮前を経由して藤沢駅へ、地域コミュニティバス(ミニバス)が運行され、藤沢駅とをつなぐ便利な足となっています。ミニバスや交通ネットワークの整備など多岐にわたって様々なサービスが求められています。</p> <p>今後は、地域コミュニティ施設や、新たに計画されている地域拠点施設等を結ぶ公共交通や交通システム、交通ネットワークの整備など多様なサービスの充実を図る必要があります、市関係各課と連携し、事業を進めます。</p> <p>1 公共交通ネットワーク等に関する調査・研究 2 市への提言</p>					
活動指標	提言回数(累計)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、市民団体、地域団体と行政が協力し、事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
		検討	検討・提案	→	実施	→
(市域全体)		検討	→	検討・実施	実施	→
期待される事業の成果	この事業によりコミュニティバス(ミニバス)への意見集約を図り、交通ネットワークの充実が図られます。					
担当部課	生涯学習部村岡公民館					



事業名		史跡案内板設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-76-13-15-1	地域分権区分						
事業内容	<p>村岡地区には周辺地名の由来となった寺院をはじめ、由緒ある神社・仏閣があり、郷土芸能などの文化も受け継がれています。くらし・まちづくり会議が作成した「むらおか歴史の道(名所・史跡ガイド)」は地域を巡るウォーキングマップとして喜ばれ活用されています。</p> <p>こうした歴史的・自然的資源を大切にしながら、村岡を訪れる人や地域住民が地域に関心を持ち愛着を感じてもらえる魅力あるまちを創出していくとともに、訪れる人に優しいまちづくりを進めます。</p> <p>1 史跡等目的地への誘導サインポールの設置 2 史跡等での案内板の設置</p>						
	活動指標	設置本数(累計)					
	目標値	現状値	0本	3年後目標値	30本	6年後目標値	60本
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市民、市民団体、地域団体と行政が協力し、事業を実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	この事業により、地域に残された歴史・自然資源の保存・継承・活用の推進され、住む人に配慮したまちの実現が図られます。						
担当部課	生涯学習部村岡公民館						

事業名		歩行者通行環境整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-76-14-16-1	地域分権区分						
事業内容	<p>住む人、働く人、訪れる人、誰もが安心して快適に過ごせ、行ってみたい、行ってよかった、またこれからも住み続けたいと思えるようなまちづくりのため、交通安全設備や道路環境の整備を行っていきます。</p> <p>子ども、高齢者、障がい者や乳母車の目線にたった歩行者等の安全確保のための歩行者環境整備を進めます。</p> <p>1 U字型側溝安全化整備 2 信号機地名表示修繕</p>						
	活動指標	改修箇所数(年間)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	3か所	6年後目標値	6か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市民、市民団体、地域団体と行政が協力し、事業を実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	この事業により、誰もが安全・安心に目的地へ行けるように配慮され、訪れる人を優しく迎えてくれるまちの実現が図られます。						
担当部課	生涯学習部村岡公民館						

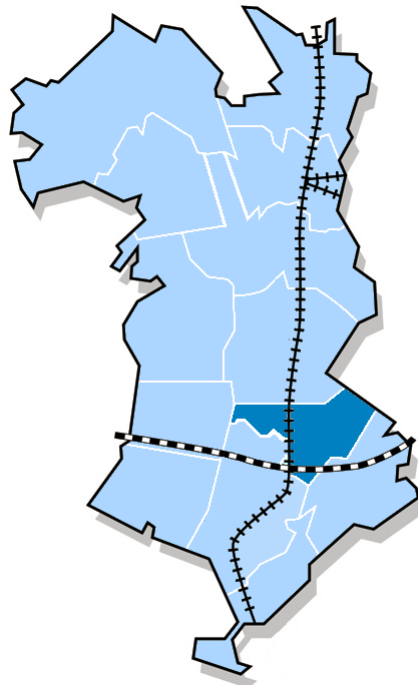


# 藤沢市新総合計画

## 藤沢地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

歴史と文化が息づく，湘南藤沢の都心部拠点



---

## 地区の概況

---

藤沢地区の人口は、2010年（平成22年）12月1日現在、43,355人で、全市の10.6%を占めています。市内13地区では、鶴沼地区について2番目に多い地区になります。

65歳以上の人口は、8,807人で、人口の占める割合（高齢化率）は20.3%で、13地区の真ん中の7番目となっています。

15歳未満の人口は、5,454人で、人口の占める割合は12.6%で、13地区で一番少ない地区になっています。

藤沢地区の地勢としては、藤沢市の中東部に位置し、面積は4.7km<sup>2</sup>、藤沢都市部を含む比較的東西に長い地形になっています。

この地区は、旧東海道を中心として、古くから道路や鉄道の整備が進んでおり、藤沢地区内にはJR藤沢駅と小田急線藤沢本町駅があることから、買い物や通勤・通学などへの利便性も高く、この両駅を拠点として、商店街やオフィスが多数集中しています。

また、藤沢市役所をはじめとして、NTTや郵便局などの公的機関の本局が集中しており、その他、小中高校などの教育施設、遊行寺や白旗神社をはじめとする神社仏閣、藤沢市民病院を代表とする医療施設も他地区に比べて多く、文化・教育・歴史・医療などが調和した地区となっています。

---

## 地区の特色

---

藤沢地区は古くから、遊行寺の門前町として栄え、旧藤沢宿として発展した地区で、旧東海道周辺には遊行寺のほかにも白旗神社など、歴史的価値がある神社仏閣や、宿場町時代の姿を残す建物など歴史的文化財が多く点在しています。

旧藤沢宿を舞台とした遊行寺の「遊行の盆」や源義経を祀る白旗神社での「白旗まつり」などは、古くからの歴史的背景を活かした祭りで、地域の方はもとより、市外からも多くの観光客が訪れ、にぎわいをみせています。

また地区の北東部に位置する大清水地区では、地域住民がアジサイの里親となり、自宅の庭や学校の庭で育成したアジサイを持ち寄って、境川沿いに植栽をする「アジサイまつり」が開催され、模擬店、ミニ蒸気機関車の運行、電気自動車の展示会、起震車による地震体験などに、多くの方の参加がありました。



---

## 藤沢地区地域経営会議

---

藤沢地区地域経営会議は、30人の委員で活動しています。鎌倉時代から遊行寺の門前町として、また、旧東海道の藤沢の宿として栄えた藤沢地区の将来像や課題について、推進部会・活動部会・広報部会の3部会で検討・協議し、藤沢地区の特性に応じた事業に取り組み、地域主体のまちづくりを進めていきます。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなでつくり、共に歩む明るいまち

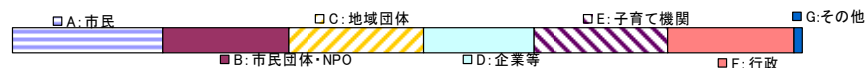
【成果指標】

①マナーが向上してきていると感じている人の割合

【現状値】 ①17%

【めざそう値】 3年後：①29% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:17% D:14% E:17% F:16% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 あいさつがかわせる環境づくり

<成果の視点> 気持ちよいお付き合いができること

【主要な指標】 あいさつ運動、声かけ運動の参加者数

○実施事業 地域環境向上事業

《活動－2》 マナー向上活動の推進

<成果の視点> マナーの向上に関する活動に参加すること

【主要な指標】 自転車の乗り方のマナー教室、清掃活動の参加者数

○実施事業 公共マナー向上事業

ふじさわ未来課題

5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること

【地域まちづくり目標】

02 多様な協働が育む、暮らしやすさを実感できるまち

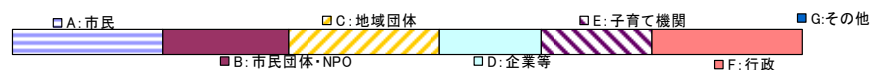
【成果指標】

①暮らしやすさを感じている人の割合

【現状値】 ①64%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①76.5%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:19% D:13% E:14% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－3》 地域活動の活発化

<成果の視点> 地域活動に参加していること

〔主要な指標〕 壁画作成活動の参加者数

○実施事業 地域活動推進事業

《活動－4》 郷土愛の普及活動

<成果の視点> 住んでいる地域に愛着を持って生活していること

〔主要な指標〕 講座受講者等による自主活動数

○実施事業 郷土愛普及活動事業  
地域人材育成事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

【地域まちづくり目標】

03 子育てにやさしいまち

【成果指標】

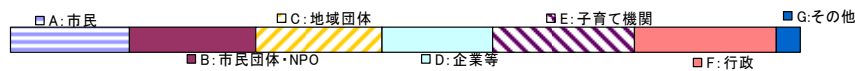
①子育てしやすい環境であると感じる人の割合

②地区内の15歳未満の人口

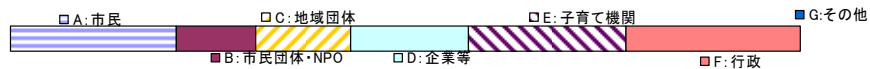
【現状値】 ①28% ②5,346人

【めざそう値】 3年後：①35% ②5,500人 6年後：①40% ②5,800人

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:16% D:14% E:18% F:18% G:3%



②A:21% B:10% C:12% D:15% E:20% F:22% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－5》 子どもの見守り活動の実施

<成果の視点> 子どもたちが地域の人々に支えられていること

〔主要な指標〕 子育てしやすい環境であると感じる人の割合（20歳代～30歳代）

○実施事業 子どもの見守り活動事業

《活動－6》 地域と子どもの交流の場の確保

<成果の視点> 子どもたちが集える場所があること

〔主要な指標〕 学校と地域の交流活動に参加した児童生徒数

○実施事業 地域子ども交流事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

04 みんなでつくる安心・安全なまち

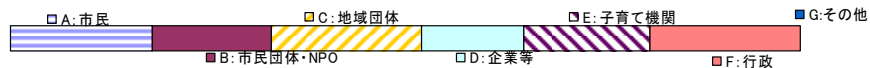
【成果指標】

- ①地区内の犯罪の発生件数
- ②地区内の交通事故の発生件数

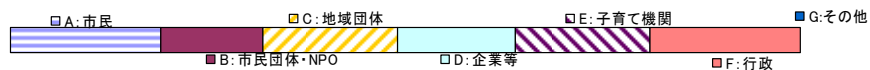
【現状値】 ①833件 ②365件

【めざそう値】 3年後：①700件 ②330件 6年後：①500件 ②300件

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:19% D:13% E:16% F:19% G:0%



②A:19% B:13% C:17% D:15% E:17% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 地域安全活動の充実

<成果の視点> 犯罪や交通事故が少ないこと

〔主要な指標〕 地域の安全に関する危険箇所数

- 実施事業 地域安全活動事業
- 安全・安心マップ作成事業

《活動－8》 地区内の交通事故多発地点の改善

<成果の視点> 地区内の交通事故発生地点が少ないこと

〔主要な指標〕 地区内の交通事故発生地点の数

- 実施事業 交通事故多発地点検証事業

都市ビジョン2  
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

05 思いやりと助け合いのまち

【成果指標】

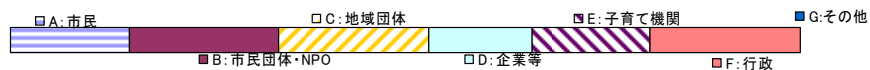
- ①社会的弱者の方に配慮した地域であると感じる人の割合
- ②藤沢地区のボランティアセンターの登録者数
- ③藤沢地区のボランティアセンターの活動件数

【現状値】 ①22% ②64人 ③113件

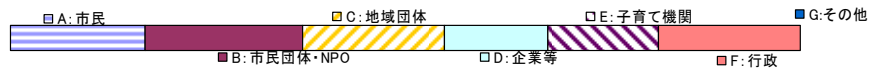
【めざそう値】 3年後：①44.0% ②77.5人 ③121件

6年後：①62.5% ②77.5人 ③125件

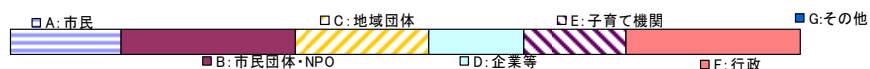
【役割の担い手】 ①A:15% B:19% C:19% D:13% E:15% F:19% G:0%



②A:17% B:20% C:18% D:13% E:14% F:18% G:0%



③A:14% B:22% C:17% D:12% E:13% F:22% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 社会的弱者の方に配慮した必要施設等（特別養護老人ホーム・地域作業所を含む）の検証

<成果の視点> 高齢者や障がい者の方に配慮した施設が整備されていること

〔主要な成果〕 バリアフリー対応が必要な箇所数

○実施事業 地域生活改善事業

《活動－10》 ボランティア活動の推進

<成果の視点> 地域のボランティア活動に多くの人々が参加していること

〔主要な成果〕 ボランティア活動の事業数

○実施事業 ボランティア活動推進事業



## 藤沢づくりのめざす方向性

### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

## ふじさわ未来課題

### 36 誰もが快適に暮らせ、居心地のいいまちであること

#### 【地域まちづくり目標】

#### 06 みんなが気持ちよく快適に移動できるまち

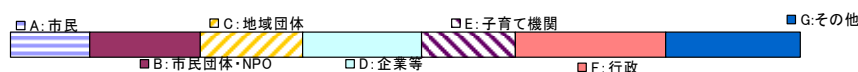
#### 【成果指標】

①道路に不便を感じる人の割合

【現状値】 ①61%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:10% B:14% C:13% D:15% E:12% F:19% G:17%



## 《地域まちづくり活動》

《活動－11》 みんなが気持ちよく移動するための環境の推進

<成果の視点> 道路のインフラ整備がされていること

〔主要な指標〕 事業に関する提言件数

- 実施事業 横須賀水道路検証事業
- 藤沢バイパスの降り口検証事業
- 高齢者等移動支援事業

## 藤沢づくりのめざす方向性

### 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

## ふじさわ未来課題

### 49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

#### 【地域まちづくり目標】

#### 07 昔ながらの歴史と文化が息づくまち

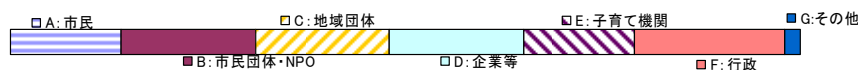
#### 【成果指標】

①昔ながらのまちなみや景観に安らぎを感じている人の割合

【現状値】 ①33%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:17% D:17% E:14% F:19% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 昔ながらのまちなみの保存

＜成果の視点＞ 地域の歴史的資産の保存活動に多くの人が参加すること

〔主要な指標〕 歴史的保存資産を利用したイベント参加者数

- 実施事業 地域の歴史的資産発信事業
- 地域の歴史的資産保存環境整備事業

《活動－13》 地域資源としての有効活用とその活性化

＜成果の視点＞ 地区の歴史的資産が地域で理解されていること

〔主要な指標〕 遊行の盆参加者数

- 実施事業 地域資源活性化事業

ふじさわ未来課題

48 豊かな緑に囲まれた生活が出来ていること

【地域まちづくり目標】

08 ころやすらぐ緑豊かな環境のまち

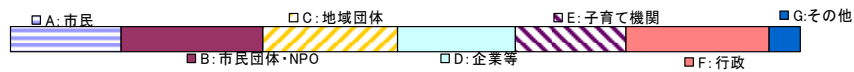
【成果指標】

- ①身近に緑とふれあえる環境が整備されていると感じる人の割合
- ②地区の総面積に占める緑地面積の割合

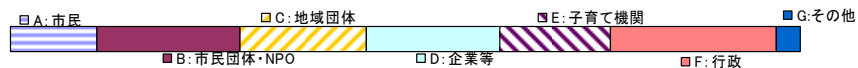
【現状値】 ①37% ②7%

【めざそう値】 3年後：①50% ②17.5% 6年後：①60% ②21%

【役割の担い手】 ①A:14% B:18% C:17% D:15% E:14% F:18% G:4%



②A:11% B:18% C:16% D:17% E:14% F:21% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 緑豊かな環境の推進

＜成果の視点＞ 緑豊かな環境が整備されていること

〔主要な指標〕 地域の緑化活動参加者数

- 実施事業 地域緑化運動事業
- 河川周辺整備事業

都市ビジョン3  
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

【地域まちづくり目標】

09 みんながいきいきと元気に暮らせるまち

【成果指標】

①生きがいをもって生活をしている人の割合

【現状値】①30%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①45%

【役割の担い手】①A:18% B:17% C:14% D:14% E:8% F:17% G:12%



《地域まちづくり活動》

《活動-15》 いきいき元気な魅力ある商店街づくり

＜成果の視点＞ 商店街で買い物をする人が増えるとともに地域との交流が盛んになること

〔主要な指標〕 商店街と地域の交流活動の参加者数

○実施事業 地域経済活性化事業

《活動-16》 駅前（藤沢駅北口・藤沢本町駅）周辺のあり方の検証

＜成果の視点＞ 駅前開発に対する地域での理解があること

〔主要な事業〕 会議結果の地区報等での周知回数

○実施事業 藤沢駅北口周辺検証事業  
藤沢本町駅周辺検証事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

### 71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

#### 10 公共施設が充実しているまち

【成果指標】

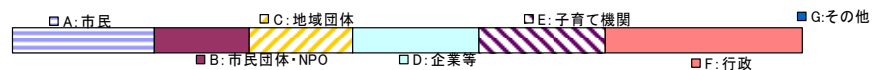
①行政サービスに対する満足度

②藤沢公民館の年間稼働率

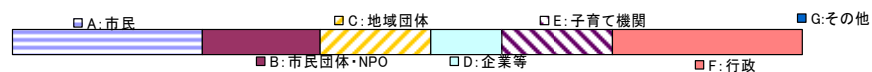
【現状値】 ①24% ②48%

【めざそう値】 3年後：①30% ②55% 6年後：①50% ②64%

【役割の担い手】 ①A:18% B:12% C:13% D:16% E:16% F:25% G:0%



②A:24% B:15% C:14% D:9% E:14% F:24% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-17》 公共施設の建て替えによる公共施設のあり方についての検証

<成果の視点> 公共施設の建て替えにおける地区内の理解度が高まること

〔主要な指標〕 会議結果の地区報等での周知回数

○実施事業 公共施設のあり方検証事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

ふじさわ未来課題

### 76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

#### 11 行って楽しい 見て楽しい いつも新しい発見があるまち

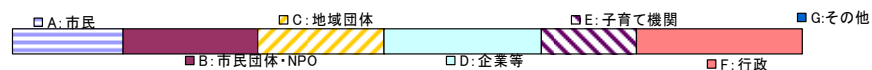
【成果指標】

①地区外からの訪れる人が増えたと感じる人の割合

【現状値】 ①23%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:16% D:20% E:12% F:21% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－18》 まちの顔となる魅力あるスポットの充実

<成果の視点> 地区内のお気に入りの場所が多くあること

〔主要な指標〕 地区外からの訪れる人が増えたと感じる人の割合（20歳代～30歳代）

○実施事業 地域の魅力発見事業  
地域おもてなし運動事業

ふじさわ未来課題

74 いつも自然の豊かさを感じられていること

【地域まちづくり目標】

12 自然や生き物とふれあい、楽しい体験ができるまち

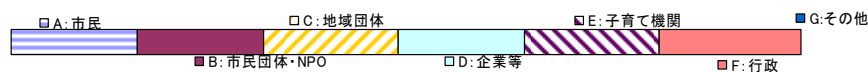
【成果指標】

①自然とのふれあいに楽しさを感じる人の割合

【現状値】 ①50%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①65%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:17% D:16% E:17% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－19》 地域の自然とふれあう機会の創出

<成果の視点> 自然とのふれあいを目的とした催し物に訪れる人の数が増えること

〔主要な指標〕 会議結果の地区報等での周知回数

○実施事業 大清水親水公園検証事業  
西富憩いの森検証事業

事業名	地域環境向上事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>近年、自治会・町内会に加入する世帯が減り、地域間の交流が希薄になりつつあり、公共マナーの低下が指摘されています。</p> <p>地域住民の交流を増やすことにより、連携感の向上を図り、明るく暮らしやすい地域社会の推進を図ります。</p> <p>1 あいさつ・声かけ運動の実施 2 地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体の交流・連携</p>					
活動指標	活動延べ実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	3回	6年後目標値	9回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で連携を図り、あいさつや声かけなどを行うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	各家庭や地域でのコミュニケーション作りの基本として、あいさつや声かけを地域ぐるみで行い、明るい社会の推進が図られます。					
担当部課	生涯学習部藤沢公民館					

事業名	公共マナー向上事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-7-01-2-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>近年、自治会・町内会に加入する世帯が減り、地域間の交流が希薄になりつつあり、公共マナーの低下が指摘されています。</p> <p>特に自転車の乗り方やポイ捨て等が目立っており、公共マナーの向上を図るため、様々な啓発活動を実施します。</p> <p>1 自転車の乗り方マナー教室の実施 2 ポイ捨て防止看板の設置</p>					
活動指標	マナー向上活動延べ実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	5回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)	検討					
期待される事業の成果	地域が一体となって、マナー向上について啓発活動を行うことで、公共マナーの向上が図られます。					
担当部課	生涯学習部藤沢公民館					

事業名	地域活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-5-02-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>バイパス下の地下通路や公園のトイレなど、公共施設へのイタズラ書きなどにより、地域の市民が汚い・暗い・恐いと感じています。地域・学校・NPO・企業との協働により、バイパス下の地下通路などに壁画を作成することにより、地下道等を明るい雰囲気にとともに、壁画のあるきれいな魅力あるまちづくりを推進します。</p> <p>1 地域住民による地下通路・公園のトイレ等の壁画の作成</p>					
活動指標	推進活動延べ実施回数(年間)					
目標値	現状値	2回	3年後目標値	5回	6年後目標値	9回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域・学校・NPO・企業には、相互の交流を図る中で連携を図り、協働しながら地下通路等に壁画を作成することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の多様な主体により地下通路の壁画の作成等を通じて、「多様な協働が育む、暮らしやすさを実現できるまち」の実現に寄与します。					
担当部課	生涯学習部藤沢公民館					

事業名	郷土愛普及活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-5-02-4-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>藤沢地区は鎌倉時代からの門前町として栄え、遊行寺・白旗神社など多くの歴史的財産を受け継がれている魅力あるまちです。しかし、地区の歴史に詳しい住民は限られており、特に若い世代においてはほとんど知られていない状況となっており、地域への愛着が持ちにくくなっています。このため、地域住民はもとより、多くの方に地区の歴史を知ってもらい、地域への思いや地区の歴史的財産への理解を深めるとともに、地域住民と子どもの交流により、地域への愛着を高める活動を推進します。</p> <p>1 地元の小中学生と地域住民による歴史勉強会の開催</p>					
活動指標	歴史勉強会への参加人数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	50人	6年後目標値	200人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、地域により親しみの持てるよう地域の歴史の普及を図ることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)	検討	→				
期待される事業の成果	地域市民自らが地元の歴史に対する知識を得ることにより、地元への愛着が高まります。					
担当部課	生涯学習部藤沢公民館					

事業名		地域人材育成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-5-02-4-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>藤沢地区は鎌倉時代からの門前町として栄え、江戸時代は宿場まちとして活気を呈し、藤沢宿跡には店・蔵が点在し、歴史を今に伝えていきます。しかし、地区の歴史に詳しい住民は限られており、特に若い世代においてはほとんど知られていない状況であり、地域への愛着が持ちにくくなっています。</p> <p>地域の人材を発掘養成し、地域の歴史や文化の伝承活動に携わる人材を確保するとともに、多くの市民が地区の歴史を知り、地域への思いや地区の歴史的財産への理解を深め、地域への愛着を高める活動を推進します。</p> <p>1 地域の歴史に詳しい講師の養成講座等の実施 2 地域の歴史の担い手(語り部)の養成</p>						
	活動指標	人材発掘養成人数(累計)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	20人	6年後目標値	50人
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、各種事業を通じて地域の人材発掘養成を図ることが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	----->			----->			
	検討	→	実施	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)	検討	→					
期待される事業の成果	地域の歴史に詳しい人材を発掘養成することにより、永続的な地元への理解と愛着が高まります。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		子どもの見守り活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-2-9-03-5-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>近年、子どもが事故や犯罪に巻き込まれることが地区内でも生じ、登下校時の子どもの安全についての関心が高まっています。また、繁華街や交通危険箇所での子どもたちの安全・安心の対応が必要となっています。</p> <p>学校・家庭・地域の連携を図り、学校登下校時の子どもの見守り活動や、いきいき・のびのびとした地域交流ができる安全・安心な快適環境を整備し、子育てにやさしいまちづくりを進めます。</p> <p>1 地域見守り隊の結成 2 各種活動を通じた地域と学校との連携の強化</p>						
	活動指標	見守り活動実施回数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	10回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	学校・家庭・地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	----->			----->			
	検討	実施	→	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)	検討						
期待される事業の成果	地域ぐるみで子どもを見守りを行うことにより、学校と地域との交流が生まれ、安全な環境に寄与します。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						



事業名		地域子ども交流事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-2-9-03-6-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	小中学校と地域の交流を図り、学校と地域が、いきいき・のびのびとした交流ができる環境を整備します。 1 地域と学校との交流の場の確保 2 地区ボランティアセンターとの連携						
	活動指標	学校と地域の交流活動実施回数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	8回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	学校・家庭・地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)	検討	→					
期待される事業の成果	学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担い、交流・連携を図ることで豊かな地域社会の実現が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		地域安全活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-3-19-04-7-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	地域の犯罪の発生を少なくするためには、地域の安全や犯罪発生に関する情報を地域で共有し活動することが大切です。 そのため、地域の安全や犯罪発生に関する情報等を地域内で共有し、連携が図られる体制について検証し、整備を進めます。 1 安心・安全コミュニティセンターのあり方の検証 2 地域の安全についての情報共有のあり方の検証						
	活動指標	コミュニティセンター設置に向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	12回	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民、市民団体、防犯協会等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→				
(市域全体)	検討	→	→				
期待される事業の成果	地域ぐるみで地域の安全や防犯について取り組むことにより、防犯意識が高まり、防犯対策の強化充実が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名	安全・安心マップ作成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-04-7-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>地域の交通事故や犯罪の発生を少なくするため、地域の安全や犯罪発生に関する情報を地域で共有するため、地域の危険箇所などを記したマップを作成します。</p> <p>1 地域の危険箇所の検証 2 地域安全・安心マップの作成</p>					
活動指標	安全・安心マップ作成時の配布枚数					
目標値	現状値	0枚	3年後目標値	20,000枚	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、防犯協会等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)	検討	→				
期待される事業の成果	地域ぐるみで地域の安全や防犯について取り組むことにより、防犯意識が高まり、防犯対策の強化充実が図られます。					
担当部課	生涯学習部藤沢公民館					

事業名	交通事故多発地点検証事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-04-8-1	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢地区は長い歴史の中で市街地が形成されてきたために、主要な道路から一步路地に入ると狭い道が多く、見通しが悪い交差点があります。</p> <p>地域の交通事故の発生を少なくするため、地域の交通事故に関する情報を地域で共有し、検証を行い、交通事故危険箇所の改善を図ります。</p> <p>1 地域の危険箇所の見回り活動の実施 2 危険解消に向けた検証作業の実施</p>					
活動指標	危険箇所などの検証活動数(累計)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	10回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、交通安全対策協議会等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域ぐるみで地域の交通事故防止に対する取り組みをすることにより、交通事故の多発地点の事故発生の解消が図られます。					
担当部課	生涯学習部藤沢公民館					

事業名							地域生活改善事業							
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)										
2-4-31-05-9-1		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)										
事業内容							<p>社会的弱者と呼ばれる障がい者や高齢者の方たちが安心してまちなかに外出できる環境を整備するため、歩道の整備、段差の解消、トイレ・ベンチの設置など障がい者や高齢者の外出を阻害している要因を検証し、改善を行います。</p> <p>1 まちなかの検証作業の実施 2 外出しやすい環境の整備</p>							
活動指標							社会的弱者の方に配慮した環境の整備数(累計)							
目標値		現状値		0か所		3年後目標値		2か所		6年後目標値		8か所		
実績値		H23		H24		H25								
役割期待							地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(地域)		H23		H24		H25								
		----->		----->		----->								
		検討		→		実施		→		→		→		
(市域全体)		検討		→										
期待される事業の成果							高齢者等が外出しやすい環境を整備することで、誰でも安心して暮らしやすいまちの実現が図られます。							
担当部課							生涯学習部藤沢公民館							

事業名							ボランティア活動推進事業							
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)										
2-4-31-05-10-1		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)										
事業内容							<p>高齢化社会が進む中で、高齢者や障がい者を支えるボランティアが不足しており、また、ボランティア活動を支える拠点も不足している状況にあります。</p> <p>ボランティア活動の輪を地域に広げるため、障がい者や高齢者が生活しやすい環境を整備するとともに、障がい者や高齢者の生活を支援するボランティアの養成を図ります。</p> <p>1 ボランティア養成講座の実施 2 青少年の社会福祉活動への参加の促進 3 地区ボランティアセンターへの支援</p>							
活動指標							ボランティア活動への参加者数(累計)							
目標値		現状値		64人		3年後目標値		70人		6年後目標値		80人		
実績値		H23		H24		H25								
役割期待							地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。							
事業スケジュール							第1期		第2期		第3期		第4期	
(地域)		H23		H24		H25								
		----->		----->		----->								
		検討		実施		→		→		→		→		
(市域全体)		検討												
期待される事業の成果							地域ぐるみでボランティア育成に向けた取り組みを行うことで、地区のボランティア人口の増加が図られます。							
担当部課							生涯学習部藤沢公民館							

事業名 <b>横須賀水道路検証事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-5-36-06-11-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	<p>藤沢地区は古くから発展してきた歴史ある地区として、古い街並みが形成されています。そのため、旧市街地には、道幅の狭い生活道路が多くあります。特に藤沢バイパスにより、地区が南北に分断されていることもあり、その移動に不自由を感じている市民も多数いる現状があります。</p> <p>分断された地区の交通環境の改善を図るため、西富地区から大清水地区に抜ける唯一の道である横須賀水道路の利用方法を検討します。</p> <p>1 大清水浄化センター付近の有効的な土地利用のあり方や整備方法についての検証  2 関係行政機関等と調整  3 地域からの提案に基づく協議</p>						
	活動指標	整備に向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	→	提案		
(地域)	----->						
(市域全体)	検討	→	→	→	実施	→	
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の交通環境のあるべき方向性を検証することで、地域住民の意見が反映された交通環境の整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名 <b>藤沢バイパスの降り口検証事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-5-36-06-11-2	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	<p>藤沢バイパスには地区内の降り口がないため、わざわざ藤沢橋経由で移動するなど、不自由に感じている市民が多数いる現状があります。また、藤沢橋周辺は江の島方面や辻堂海岸方面へ通過する車と藤沢駅周辺での買い物などの車とが混在し、慢性的な交通渋滞を招いています。</p> <p>藤沢バイパス付近(西富・大清水地区)の交通環境を改善するため、大清水浄化センター付近のバイパス降り口の整備方法について検討を行います。</p> <p>1 大清水浄化センター付近の有効的な土地利用のあり方や整備方法についての検証  2 関係行政機関等と調整  3 地域からの提案に基づく協議</p>						
	活動指標	整備に向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	→	提案		
(地域)	----->						
(市域全体)	検討	→	→	→	実施	→	
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の交通環境のあるべき方向性を検証することで、地域住民の意見が反映された交通環境の整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名	高齢者等移動支援事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-5-36-06-11-3	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>藤沢地区は高低差のある狭い道、路線バスが入れない道が多くあり、自宅からバス停までに距離があるため、障がい者や高齢者にとって外出しにくい環境にあります。</p> <p>障がい者や高齢者が安心して外出できる便利な交通環境を整備するため、交通の利便性を高める手法や費用対効果などについて検証を行います。</p> <p>1 障がい者や高齢者の外出を阻害している要因の検証</p> <p>2 移動しやすい便利な環境整備</p>						
	活動指標	整備に向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	実施	→	→	
(地域)	----->			→			
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→	
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の交通環境のあるべき方向性を検証することで、地域住民の意見が反映された交通環境の整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名	地域の歴史的資産発信事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-49-07-12-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>地域の歴史的資産である神社・仏閣情報の提供を行うことにより、地区にある多くの歴史的財産への理解を深めるとともに、地域への思いや愛着心を育みます。</p> <p>市民が身近に地域の歴史にふれあえるよう、ウォーキングコースでの神社・仏閣情報や経路案内について携帯電話等から簡単に情報が取り出せる仕組みを構築します。</p> <p>1 インターネット・携帯電話(QRコード)等を利用した神社・仏閣情報の提供</p>						
	活動指標	QRコードによる神社・仏閣情報の提供数(累計)					
	目標値	現状値	0件	3年後目標値	15件	6年後目標値	15件
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(地域)	----->			→			
(市域全体)	検討	→					
期待される事業の成果	地区に住む市民やボランティアなど、市民団体等が自ら地区の歴史的財産の広報に携わることにより、地区の魅力を広く発信することに寄与します。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名	地域の歴史的資産保存環境整備事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-49-07-12-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>地域住民をはじめとする多くの市民に地区の歴史を知ってもらうことで、地域の歴史的財産への理解を深めるとともに、地域への思いや愛着心を育みます。</p> <p>そのため、遊行寺・白旗神社・旧モーガン邸・蔵前のまちなみといった地域の歴史的建造物の保存と環境整備を進めます。</p> <p>1 神社・仏閣ツアーの開催 2 神社・仏閣をまわる散策コースの案内板の整備</p>						
	活動指標	案内板の設置箇所数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	10か所	6年後目標値	32か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民, 市民団体, ボランティア団体等の地域団体には, 相互の交流を図る中で市とも連携を図り, 事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(地域)	→		→				
(市域全体)	検討	→					
期待される事業の成果	地区に住む市民やボランティアなど, 市民団体等が自ら地区の歴史的財産の広報に携わることにより, 地区の魅力を多くの人に発信することが図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名	地域資源活性化事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-49-07-13-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>地区の歴史的財産である遊行寺・白旗神社などを舞台にした伝統的なまつりは毎年数多くの見物客が訪れることにより, 盛り上がりを見せています。</p> <p>地区の歴史的財産をより知ってもらうためにも, さらに多くの人が参加できる環境を整えることが必要です。</p> <p>伝統的なまつりを活性化し, 歴史的財産の保存と文化の継承を図るため, 地域のお祭りである遊行の盆・白旗まつりの周知活動や行事への参加の呼びかけを行う「地域資源活性化事業」を推進します。</p> <p>1 地区の伝統的なまつりに対する周知・広報活動の実施</p>						
	活動指標	支援活動実施数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	3回	6年後目標値	6回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民, 市民団体, ボランティア団体等の地域団体には, 相互の交流を図る中で市とも連携を図り, 事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)	→		→				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	市民や自治会・町内会, 市民団体等が地域の催し物に自ら参加することにより, 地域への思いや愛着を深めることが図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		地域緑化運動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-48-08-14-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>藤沢地区は、藤沢市の市街地中心部に位置するため、緑地が不足し、市民が安らげる場が不足しています。現存するみどりの保存を図り、地域の緑化を推進するとともに、地域内の緑地を整備することにより、住民にやすらぎを与えるまちづくりを進めます。</p> <p>1 地域の空き地等を利用した花いっぱい運動の実施 2 地域の緑地の整備</p>						
	活動指標	緑化整備箇所数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	3か所	6年後目標値	9か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施						
期待される事業の成果	町内会・自治会、市民団体等が地区の緑化に自ら関わることにより、地域の緑化についての理解が高深まるとともに、地域住民の思いに即した緑化が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		河川周辺整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-48-08-14-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>藤沢地区は、古い市街地を中心に開発されてきたことから緑地や公園など市民が憩い、安らげる場が不足しています。</p> <p>境川・引地川周辺のみどりの保存を図り、新たな緑化を進めるため、河川の沿堤の緑化整備を進めます。</p> <p>1 河川の沿堤の花壇の整備 2 自転車道・散歩道等の整備</p>						
	活動指標	整備箇所数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	4か所	6年後目標値	16か所
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	検討	→	実施	→	→	→	
期待される事業の成果	町内会・自治会、市民団体等が地区の河川周辺整備に自ら関わることにより、地域により身近で、地域住民の思いに即した環境整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名	地域経済活性化事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-62-09-15-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>藤沢地区は藤沢の都市拠点となっており、市の商業、文化、行政の中心的役割を担っています。一方で、近年郊外型ショッピングモールなどの進出により、市中心部の商店街の空洞化が進んでいる現状があります。</p> <p>そのため、地元商店街と地域との交流を深め地域振興の方策を探るとともに、地域の活性化に向けた取り組みを進めます。</p> <p>1 地元商店街と地域の交流活動の実施 2 (仮称)わいわい買い物市場に向けた検証作業の実施</p>						
	活動指標	地元商店街と地域の交流活動の実施回数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	13回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	実施	→	→	
	(地域)						
(市域全体)	検討	→	→				
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の産業振興について検証することで、地域住民の意見が反映された地域振興が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名	藤沢駅北口周辺検証事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-62-09-16-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	<p>藤沢地区は藤沢の都市拠点として昭和40年代から市街地再開発が行われ、都市機能の集積が図られてきました。しかし都市基盤の老朽化、交通結束拠点の強化、老朽化した民間ビルの再整備等、多くの課題を有しています。</p> <p>そのため、駅周辺と地元商店街を一体とした藤沢駅北口周辺のあり方について検証を行い、その利便性の向上と地域経済の活性化を図ります。</p> <p>1 藤沢駅北口周辺の開発方法等についての検証 2 関係行政機関等と調整 3 地域との協議</p>						
	活動指標	整備に向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	9回	6年後目標値	17回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	提案			
	(地域)						
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→	
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の都市整備のあるべき方向性を検証することで、地域住民の意見を反映した都市整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						



事業名		藤沢本町駅周辺検証事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-62-09-16-2	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	<p>藤沢駅を中心とした地区は藤沢の都市拠点として市の中心的役割を担っています。一方で、藤沢本町駅周辺の地区は、地区住民の交通、買い物などの生活を支える核となっています。しかし、高齢化が進み、昔ながらの商店街が減少していく中で、高齢者にとって日用品の購入にも苦慮している状況があります。</p> <p>藤沢石川線の整備とあわせて、駅周辺と地元商店街を一体とした藤沢本町駅周辺のあり方、まちづくりの方向性を検証し、その利便性の向上と地域経済の活性化を図ります。</p> <p>1 藤沢本町駅周辺の開発方法等についての検証  2 関係行政機関等と調整  3 地域からの提案に基づく協議</p>						
	活動指標	整備に向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	9回	6年後目標値	17回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	提案			
(地域)							
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→	
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の都市整備のあるべき方向性を検証することで、地域住民の意見が反映された地区の都市整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		公共施設のあり方検証事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-71-10-17-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	<p>藤沢公民館は1964年(昭和39年)に建築され、老朽化が進んでおり、藤沢地区の新たな地域の拠点施設が求められています。</p> <p>少子高齢社会に対する地域拠点としての藤沢公民館のあり方について、建て替えの時期・場所・施設の考え方など従前のくらし・まちづくり会議の提案を継承したうえで、コミュニティセンター機能を持つ複合施設としてのあり方を集約していきます。</p> <p>1 藤沢公民館のあり方についての検証  2 関係行政機関等と調整  3 地域からの提案に基づく協議</p>						
	活動指標	公民館建て替えに向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	18回	6年後目標値	24回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討・提案						
(地域)							
(市域全体)	検討	実施	→	→			
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の公共施設のあり方を検証することで、地域住民の意見がより反映された地区の公共施設の整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		地域の魅力発見事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-76-11-18-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>歴史的建造物や文化に恵まれた藤沢地区の魅力をより一層アピールするため、古くから桜の名所として知られている伊勢山公園周辺をはじめとする地域の魅力あるスポットや散歩道の整備を行います。</p> <p>また、新たに地域を訪れる人たちにとってより魅力的な名所として整備することで、地域の活性化を図ります。</p> <p>1 (伊勢山公園)桜の植樹、遊歩道の整備 2 その他、地域の魅力ある名所の整備</p>						
	活動指標	魅力あるスポットとして整備回数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	5回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割が期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	[--->]			[--->]			
	検討	実施	→	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)	検討						
期待される事業の成果	町内会・自治会、市民団体等が自らよく知る地域の魅力の発掘に関わることで、地域住民の思いを反映した地域の魅力的なスポットの整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		地域おもてなし運動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-76-11-18-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>地区を訪れる人に対して、住んでいる人のメッセージが伝えられるような親切でやさしいまちの環境を整備するものです。</p> <p>また、ハード面の整備だけでなく、そこに住む人の人間的な魅力をアピールすることで、地域の魅力を高めるとともに、藤沢地区を訪れる人を温かく迎えることにより、地区への来訪者の増加を図ります。</p> <p>1 地域おもてなし運動の実施 2 のぼり旗・案内板の設置</p>						
	活動指標	環境整備箇所数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	4か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割が期待されます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	[--->]			[--->]			
	検討	→	実施	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)	検討	→					
期待される事業の成果	町内会・自治会、市民団体等が地区への来訪者の立場に立って環境整備を行うことにより、地域住民と来訪者にとって一体的な魅力向上が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		大清水親水公園検証事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-74-12-19-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	藤沢地区には、自然とふれあえる場が少なく、身近に水辺の生き物とふれあえる場が望まれていることから、大清水地区周辺の公園整備のあり方について検証し、利活用に向けて提案を行います。 1 大清水浄化センター付近の有効的な土地利用のあり方や整備方法についての検証 2 関係行政機関等と調整 3 地域との協議						
	活動指標	整備に向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	9回	6年後目標値	17回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	提案			
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→	
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の都市整備のあり方を検証することで、地域住民の意見がより反映された地区の環境整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

事業名		西富憩いの森検証事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-74-12-19-2	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	藤沢地区には、自然とふれあえる場が少なく、身近に自然とふれあえる場の整備が望まれていることから、西富憩いの森周辺の公園(緑地)整備のあり方について検証し、利活用に向けて提案を行います。 1 大清水浄化センター付近の有効的な土地利用のあり方や整備方法についての検証 2 関係行政機関等と調整 3 地域からの提案に基づく協議						
	活動指標	整備に向けた会議開催数(累計)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	9回	6年後目標値	17回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民、市民団体、ボランティア団体等の地域団体には、相互の交流を図る中で市とも連携を図り、事業を推進する役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	提案			
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→	
期待される事業の成果	地域ぐるみで地区の都市整備のあり方を検証することで、地域住民の意見がより反映された地区の環境整備が図られます。						
担当部課	生涯学習部藤沢公民館						

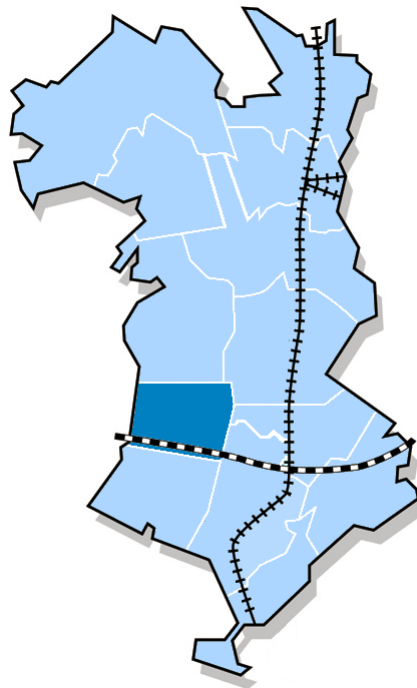


# 藤沢市新総合計画

## 明治地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

明るく楽しい未来を創るまち，めいじ



---

## 地区のあらまし

---

明治地区の人口は、26,140人（2010年（平成22年）12月1日現在）で、全市の6.4%を占めており、13地区別では村岡地区に次いで10番目となります。

地区内の世代別人口構成では65歳以上の高齢者が全人口に占める割合は18.1%となっており全市の20.0%と比較して、現時点では高齢化の進行は遅く、バランスのとれた年齢構成となっています。

しかし、10年後の予測では人口が約26,300人となり、高齢者の割合は22.8%と増大し、高齢化が加速することが見込まれています。

明治地区は藤沢西部の相模原台地、座間・高座丘陵の南端に位置するおおむね平坦な地勢となっており、西は茅ヶ崎市と接し、東は引地川が流れ、大庭南部に広がる引地川緑地ゾーン、城南の斜面緑地が一体となっており、地区のランドマークとなる緑が形成されています。総面積は2.92km<sup>2</sup>で13地区では最も狭い地域となっています。

---

## 地区の特色

---

近年、辻堂駅周辺に大型店の進出が相次ぎ、さらに、関東特殊製鋼跡地の都市再生事業である湘南C-Xによる新たなまちの形成は、今後の明治地区のまちづくりを方向づける大きな要素となります。

歴史的背景としては、本市の教育文化発祥の地として誇ることができる耕余塾をはじめ、藤沢七福神のひとつでもある養命寺、かつての大山詣での起点を記す大山街道道標や鳥居など、歴史的遺産の類は地区の貴重な財産と言えます。



また、市の鳥カワセミを見ることができる引地川遊歩道、せりだした樹木が緑のトンネルをなす城南の小径、城稲荷周辺の田園風景、新装された辻堂駅北口デッキをはじめ多くの場所から望む富士など、自然豊かな一面も持ち合わせています。

各地で行われる祭礼、盆踊りなど伝統行事だけでなく、地域の有志が主体となった新たな祭りも盛大に行われ、地区の活性化に一翼を担っているほか、各種サークル、ボランティア活動も活発な地域です。

---

## 明治地域経営会議

---

各地域団体推薦の委員と公募の委員で構成し、企画広報と推進の2部会が設置され、原則毎月第2火曜日に全体での定例会を開催しています。新総合計画（案）の策定においては、地域独自のアンケート調査も行い、より身近な地域の課題や自慢できることなどについてご意見をいただきました。それら貴重なご意見を集約するとともに、各地域団体から推薦された委員と公募による委員が議論を積み重ね策定に至ったものです。

今後、実施計画の進捗状況については、地区の皆様にご公開して幅広いご意見をいただきながら、地区の特性に応じた、よりよいまちづくりを進めていきます。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 住んでいることに誇りと喜びを感じ住み続けたいと思えるまち

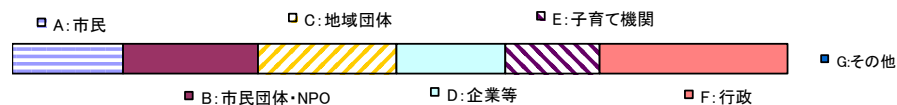
【成果指標】

- ①道路がきれいだと実感できる人の割合
- ②自転車マナーが良いと実感できる人の割合

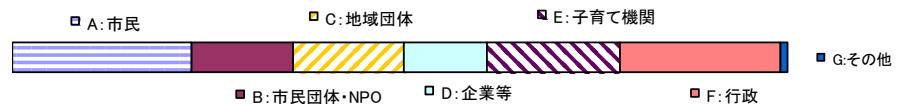
【現状値】 ①24% ②17%

【めざそう値】 3年後：①35% ②28% 6年後：①50% ②40%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:18% D:14% E:12% F:24% G:0%



②A:23% B:13% C:14% D:11% E:17% F:21% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 安心できれいな道路の維持・ウォッチング活動の推進

<成果の視点> 啓発活動やウォッチングへ多くの人が参加すること

〔主要な指標〕 啓発活動やウォッチング活動への参加者数

○実施事業 歩行喫煙防止運動推進事業

木障切り推進事業

《活動－2》 安心安全で誰もが利用しやすい道路の維持推進

<成果の視点> 安全に道路を通行するための知識を習得できること

〔主要な指標〕 マナーアップ教室への参加者数

○実施事業 マナー向上PR活動強化事業

明治中学校前道路路側帯カラー化事業

不法駐輪，放置自転車対策事業

## 藤沢づくりのめざす方向性

### 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

## ふじさわ未来課題

### 13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

#### 【地域まちづくり目標】

#### 02 子どもたちが生き生きとしているまち

#### 【成果指標】

①青少年育成の場や機会の充実度

【現状値】 ①27%

【めざそう値】 3年後：①34% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:18% B:14% C:17% D:10% E:21% F:19% G:1%



#### 《地域まちづくり活動》

《活動-3》 子どもたちがみんなで屋外活動する機会の提供を推進

<成果の視点> 屋外での活動機会が充実していること

〔主要な指標〕 交流推進活動への参加者数

○実施事業 世代間及び地区外各校との交流推進事業  
小中学校グランド常緑芝生化事業

《活動-4》 子どもたちが昼間安心して活動できる場所の確保を推進

<成果の視点> 子どもたちの安全が確保されていること

〔主要な指標〕 安全マップを知っている子どもの数

○実施事業 安全マップの活用促進事業

## ふじさわ未来課題

### 11 地域の歴史文化を教育活動に活用すること

#### 【地域まちづくり目標】

#### 03 教え学ぶ環境施設が整っている地域と市民のまち

#### 【成果指標】

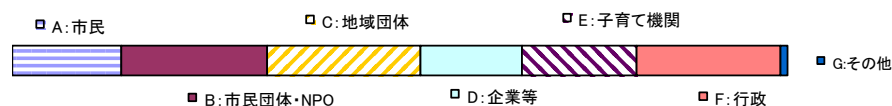
①歴史の保護，継承の認知度

②文化遺産の保護，継承の認知度

【現状値】 ①18% ②16%

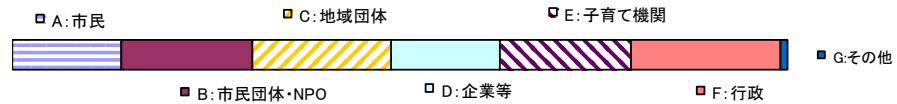
【めざそう値】 3年後：①22.5% ②22% 6年後：①30% ②30%

【役割の担い手】 ①A:14% B:19% C:20% D:13% E:15% F:18% G:1%





②A:14% B:17% C:18% D:14% E:17% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－５》 地域の歴史や史跡を大切にする活動の推進

<成果の視点> 教育活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 講座参加者数

○実施事業 歴史講座開催・歴史ガイド養成事業

《活動－６》 学びながら史跡巡りができる情報提供活動の推進

<成果の視点> 提供された地域の情報が活用されていること

〔主要な指標〕 マップ等を活用した地域の歴史を学ぶための活動数

○実施事業 歴史散策・南北縦断観光事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

04 持続可能性を実現できるまち

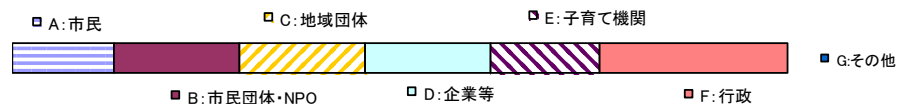
【成果指標】

①いつでも安心して受けられる医療の充実度

【現状値】 ①39%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①57.5%

【役割の担い手】 ①A:13% B:16% C:16% D:16% E:15% F:24% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－７》 明治を医療・健康などの中核地区として推進

<成果の視点> 利用しやすい情報を共有できる健康医療施設があること

〔主要な指標〕 マップに記載された医療機関の数

○実施事業 高齢者向け医療マップ作成事業

医療機関等循環コミュニティバス運行事業

災害時要援護者支援体制推進事業

都市ビジョン2  
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

05 コミュニケーションに参加できる機会があるまち

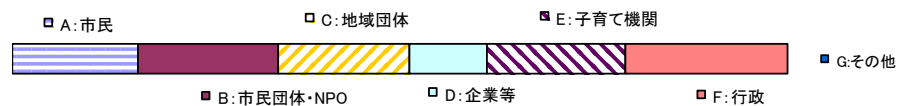
【成果指標】

①子育て支援への様々な取り組みに対する認知度

【現状値】 ①26%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①55%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:17% D:10% E:18% F:21% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 地域ぐるみで進める子育て支援や施設の誘致

<成果の視点> 情報共有化が可能な子育て支援活動が行われていること

〔主要な指標〕 地区内民間保育施設の数

○実施事業 民間保育施設誘致活動事業

子育て支援室充実事業

ふじさわ未来課題

30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること

【地域まちづくり目標】

06 挨拶、声かけ、清潔で思いやりのあるまち

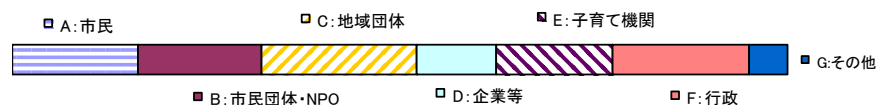
【成果指標】

①住民主体のまちづくり活動への参加度合

【現状値】 ①42%

【めざそう値】 3年後：①50.5% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:20% D:10% E:15% F:18% G:5%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 世代間での挨拶、声かけ、清掃活動の推進

<成果の視点> 世代間交流ができる清掃活動が行われていること

- 〔主要な指標〕 町内会などの地域活動に参加したことがある人の数
- 実施事業 ペットの排泄処理徹底とゴミのポイ捨て禁止運動事業  
自転車マナーアップ運動強化推進事業  
声かけ運動推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

07 明治育ちを自慢できるまち

【成果指標】

①個性豊かに子どもが成長していると感じている人の割合

②小中学校が地域に開かれていると思っている人の割合

【現状値】 ①18% ②22%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①30% ②40%

【役割の担い手】 ①A:14% B:16% C:16% D:10% E:21% F:19% G:4%



②A:17% B:15% C:14% D:10% E:21% F:20% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－10》 世代を超えて学習できる機会の推進

<成果の視点> 世代を超えた学習機会が提供できていること

〔主要な指標〕 講座参加者数

○実施事業 市内大学生と小中学校生との交流推進事業

《活動－11》 高齢者と子どもが共に学び伝える昔の暮らしと遊び活動の推進

<成果の視点> 世代を超えた交流活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 交流活動への小中学生の参加者数

○実施事業 小中学生地域活動参加促進事業

ふじさわ未来課題

43 子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること

【地域まちづくり目標】

08 ふるさと意識がもてるまち

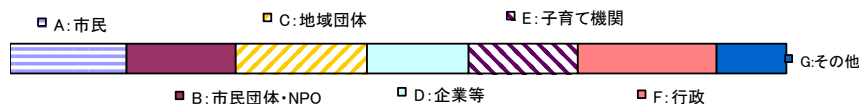
【成果指標】

- ①愛着が持てるまちと実感できる度合
- ②地域活動に参加したいと思っている人の割合

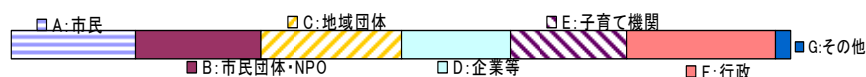
【現状値】 ①56% ②28%

【めざそう値】 3年後：①60% ②35% 6年後：①70% ②45%

【役割の担い手】 ①A:15% B:14% C:17% D:13% E:14% F:18% G:9%



②A:16% B:16% C:18% D:14% E:15% F:19% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 誰もが参加できるイベント等の活動推進

<成果の視点> 地域の企業や市民が参加できるイベントが開催されていること

〔主要な指標〕 イベント参加者数

○実施事業 地区内事業者等と協働によるイベント創設・充実事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

09 美化運動やエコ活動が実践できるまち

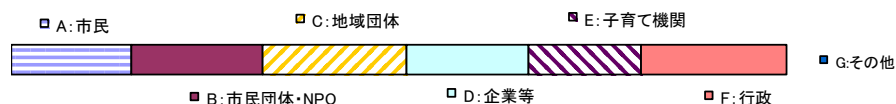
【成果指標】

- ①まちなみが環境に優しいと感じる度合
- ②まちなみがきれいで快適と感じる度合

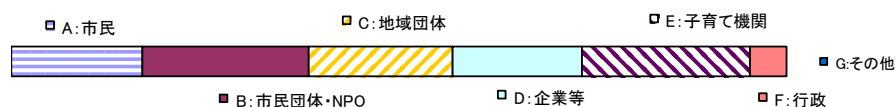
【現状値】 ①23% ②24%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①37.5% ②35%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:19% D:16% E:14% F:19% G:0%



②A:16% B:14% C:18% D:16% E:14% F:18% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－13》 環境にやさしい地域、緑や花いっぱい活動の推進

＜成果の視点＞ 美化運動・エコ活動がみんなに知られていること

〔主要な指標〕 パトロールや声かけなど活動への参加者数

○実施事業 環境問題のウォッチング及び情報共有化推進事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

10 常に交通問題や道路事情に関心のもてるまち

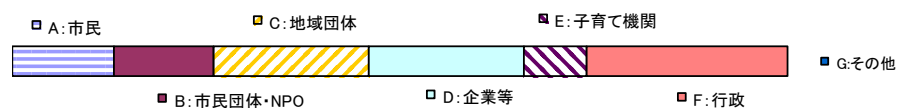
【成果指標】

①地域の道路整備や交通安全対策など、良好な生活環境の維持・整備度合

【現状値】 ①32%

【めざそう値】 3年後：①42% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:13% B:13% C:20% D:20% E:8% F:26% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 交通問題について情報を収集、発信する活動の推進

＜成果の視点＞ 交通問題に関する情報が共有されていること

〔主要な指標〕 交通問題への対策事業提案件数

○実施事業 交通問題検討事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

## ふじさわ未来課題

### 71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

#### 11 地域資源が有効活用されているまち

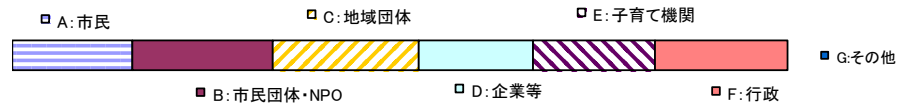
【成果指標】

①連携ネットワーク・情報提供の認知度

【現状値】①9%

【めざそう値】3年後：①19% 6年後：①35%

【役割の担い手】①A:15% B:18% C:19% D:15% E:16% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－15》 施設の情報共有化し有効に活用する活動の推進

＜成果の視点＞ 情報が共有化できる施設があること

〔主要な指標〕 情報の共有化など有効活用されている施設の数

- 実施事業 羽鳥消防署跡地活用促進事業
- 安全安心ステーション設置・運営事業
- ボランティアセンター設立・運営事業
- 市民の家有効活用推進事業
- 健康プラザ改修事業

《活動－16》 地域ぐるみで商店街問題を検討する活動の推進

＜成果の視点＞ 商店街に関する情報が地域で共有されていること

〔主要な指標〕 商店街空き店舗に関して共有化された情報の数

- 実施事業 商店街空き店舗対策検討事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

## ふじさわ未来課題

### 76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

#### 12 オープンで親切で思いやりのあるまち

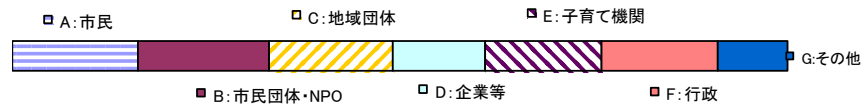
【成果指標】

①訪れた人への配慮や意見要望に対応できた割合

【現状値】①63%

【めざそう値】3年後：①70% 6年後：①80%

【役割の担い手】①A:16% B:17% C:16% D:12% E:15% F:15% G:9%



《地域まちづくり活動》

《活動－17》 バリアフリー（外国語表記含む）化活動の推進

<成果の視点> バリアフリーが進んでいること

〔主要な指標〕 案内板など、表記のバリアフリー化対応件数

○実施事業 道路バリアフリー化促進事業  
狭あい道路の解消促進事業

《活動－18》 いつでもどこでも意見を聴くことのできる活動の推進

<成果の視点> 訪れた人から、多くの意見が寄せられること

〔主要な指標〕 寄せられた気づきの数

○実施事業 なんでも気づき箱設置事業

事業名	歩行喫煙防止運動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地区内のボランティア団体が互いに連携を取りチームを組むことで、現在の運動を強化するとともに、新たに通勤時間帯などに歩行喫煙禁止の呼びかけ運動を行います。</p> <p>地域市民はもとより、コンビニなどとも協力しながらマナーアップを図り、誰もが安心して活動することができる「ポイ捨てゼロのまち」をめざします。</p> <p>1 歩行喫煙禁止の呼びかけ運動の実施 2 他の類似活動との連携、合同開催の研究</p>					
活動指標	運動を行った回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	生活環境改善活動に取り組む関連地域団体は、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し快適なまちづくりを進める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域市民のマナー意識の向上が図られるとともに、まちがきれい快適になります。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	木障切り推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-2	地域分権区分					
事業内容	<p>道路にはみ出していたり、カーブミラーなどを見えにくくしている枝は、安全な歩行や走行の障害となっていますが、個人では指摘しにくいので、地区内ボランティアがチームを作り、地域で認知された事業として、枝のはみ出た家を訪問し剪定等の依頼をすることにより、所有者の協力を得やすくし、安全なまちづくりを推進します。</p> <p>1 パトロールにより道路に枝がはみ出し通行の支障となっている箇所の発見 2 対象となる土地所有者を訪問し、はみ出している木の枝の剪定等を依頼</p>					
活動指標	訪問した家の数(年間)					
目標値	現状値	0軒	3年後目標値	4軒	6年後目標値	4軒
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体は、地域の実情の把握に努め、歩行者などの安全性の向上を図る役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	歩行や走行の安全確保が図られ、安全なまちづくりの形成に寄与します。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					




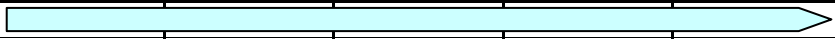
事業名	マナー向上PR活動強化事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-7-01-2-1	地域分権区分						
事業内容	誰もが安心して通行でき、気持ちがよく感じられるまちの実現には、明治地区では散歩する人や自転車に乗る人が多いという特性を踏まえたマナー意識の向上が必要であるため、警察や学校と協働でマナー意識向上運動や交通安全教室を開催します。 また、自分たちの行動を客観的に見てもらうため、子どもたちを自動車の運転席に寄せ、自動車には死角があることや急な飛び出しには対応できないことを体験させる教室を開催します。 1 路上マナー意識向上運動の実施 2 交通安全教室の開催						
	活動指標	教室を開催した数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	関連地域団体には、学校や警察などと連携・協働し、マナー意識向上の役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	----->	----->					
	検討	実施	→	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)							
期待される事業の成果	歩行や自転車走行のマナー意識の向上が図られます。						
担当部課	市民自治部明治市民センター						

事業名	明治中学校前道路路側帯カラー化事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-7-01-2-2	地域分権区分						
事業内容	明治中学校前道路は歩道がなく、特に登下校時には学生を中心として歩行者が増え、危険な状況であるとの声が寄せられています。歩道を新設するためには道路の拡幅が必要であり、容易ではありません。 そのため、歩行者のマナーアップと安全確保の一助として、路側帯をカラー化することにより視覚的効果による改善を図ります。 1 カラー化する道路延長や幅員、実施時期等についての計画策定 2 計画に基づき道路路側帯カラー化事業を実施						
	活動指標	カラー化した道路の長さ(累計)					
	目標値	現状値	0m	3年後目標値	500m	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、近隣住民や学校関係者などと協議し、事業を実施する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	----->	----->					
	検討	実施					
(地域)							
(市域全体)							
期待される事業の成果	カラー化された道路は、通学路の安全確保だけでなく、歩行者・自転車のマナーアップ向上にもつながります。 また、学校・生徒・保護者・周辺住民の連携協力による「住んでいることに誇りと喜びを感じ住み続けたいと思えるまち」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部明治市民センター						

事業名	不法駐輪、放置自転車対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-7-01-2-3	地域分権区分					
事業内容	<p>不法駐輪、放置自転車対策には、不法駐輪や放置自転車が存在しているとの認識と情報共有が欠かせないため、地域団体やボランティアによるパトロールの実施、不法駐輪、放置自転車に対して既存の警告シールを活用し、今まで以上に積極的に生活環境の改善、マナー向上活動を展開します。</p> <p>同時に、地区内駐輪場の利用状況、自転車利用者の駐輪場に対する意見などを聞きながら必要に応じ、駐輪場の増設に取り組みます。</p> <p>1 不法駐輪・放置自転車禁止パトロールの実施  2 他の類似活動との連携、合同開催の研究  3 駐輪場増設について必要性や課題の抽出整理などの検討を推進</p>					
活動指標	事業を行った回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と関連する複数の地域団体には、市民や企業とも連携し地区全域の生活環境の向上に取り組むことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	自転車利用全般のマナーアップの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	世代間及び地区外各校との交流推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-02-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>世代間の交流推進のため小中学生が地区の行事等に気軽に参加できる環境づくりが求められており、地域と学校が連携・協働し、明治地区の新たな象徴である湘南C-X内の施設を活用し、世代や地域を超えて誰もが集えるイベントを開催します。</p> <p>新しくできる湘南C-X内の神台公園にはステージが設けられます。近隣中学校合同合唱祭や運動会など楽しいイベントの会場として利用を図り、新設される公園を地域の人々に愛される公園として定着させるとともに、様々な交流活動の拠点として活用していきます。</p> <p>1 実行委員会を構成する市民や団体等の選定  2 実行委員会によるイベントの企画、実施</p>					
活動指標	イベントの数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体と近隣住民で組織した実行委員会には、市や地元企業とも連携し、世代を超えた交流ができるまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	検討・実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地区外各校との連携も視野に入れ、「子どもたちが生き生きとしているまち」の実現につながります。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	小中学校グランド常緑芝生化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-02-3-2	地域分権区分					
事業内容	<p>小中学校は住民同士の交流の場として活用ができる地域の財産です。グランドの常緑芝生化により、芝刈り・水やりなど地域による定期的な管理が欠かせず、地域全体の理解が必要となりますが、何よりも大切なことは、グランドは土が常識という固定観念を覆し、子どもたちに芝生の美しさと喜びを与えることが可能になります。</p> <p>芝生化を推進する関係団体とも連携を取りながら、地域住民・ボランティア・学校・保護者等が協働し事業実施に向けて検討します。</p> <p>1 小中学校グランドの常緑芝生化についての検討委員会の設立 2 検討委員会において芝生化の可能性、課題の抽出、維持管理方策などを検討</p>					
活動指標	グランドが芝生化されている学校数(累計)					
目標値	現状値	0校	3年後目標値	0校	6年後目標値	1校
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、近隣住民、学校、保護者及びグランドを使用している各団体と調整を密にし、連携しながら芝生化を通して近隣住民の交流が深まるまちづくりを進めていく役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→
期待される事業の成果	常緑芝で遊びふれあう子どもたちを間近に見ることで、地域住民にもやすらぎと地域の協力の大切さが広がり、「子どもたちが生き活きとしているまち」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	安全マップの活用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-02-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>子どもたちが安心して活動できる場所を確保するため、子どもと大人の共同作業で安全マップを作成します。子どもたちの目線で見えた危険な場所を大人の目で安全性などを再点検し、精度が高く使いやすいマップを作成します。</p> <p>作成したマップは地区内全戸に配布し、子どもたちに限らず、誰もが利用できる地区内全体の安全マップとして活用していきます。</p> <p>1 子どもたちからの情報に基づいた安全マップの作成 2 他の地域マップとの統合について検討</p>					
活動指標	完成時に配布したマップ数					
目標値	現状値	0部	3年後目標値	8,500部	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	青少年の育成に取り組む関連地域団体には、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し安全なまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	マップの作成と有効活用により、子どもたちが安心して活動できる場所の確保が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	歴史講座開催・歴史ガイド養成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-11-03-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>歴史・文化継承は自治町内会などが活動・実施の主体となって、住民や子どもたちともに行っていますが、最近では居住年数の浅い住民の増加等もあり各自治会・町内会、住民相互の歴史・文化継承・情報共有化が図られていません。</p> <p>歴史・文化の内容の認識・保存・整備を進め、先人の知識・ノウハウをデータとして集積・成形化するとともに、市民ボランティアガイドを養成するための講座を開催します。また、地区内の歴史に関する講座を住民や子どもたちを対象に開催するほか、小学校の課外授業としても行えるよう学校とも連携した事業として実施を検討します。</p> <p>1 地区内の歴史・文化について情報収集及び収集した情報の一元化と活用 2 ボランティアガイド養成講座実施 3 地区内の歴史や文化を継承に向けた講座実施</p>					
活動指標	開催講座数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>明治郷土史料室運営委員会(地域住民によるボランティア組織)には、連携・協働に基づいた活動を展開し、地域の歴史や文化の継承と周知からふるさと意識の醸成を図る役割を担うことが期待されます。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の歴史文化の周知や認識の広がりが図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	歴史散策・南北縦断観光事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-11-03-6-1	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢の教育発祥の地である「耕余塾」をはじめ「旧三髯八郎右衛門家住宅」「養命寺」など文化・史跡が多くあり、「歴史を、教える」「歴史で、教える」をコンセプトに、歴史的、文化的価値を広く共有できるよう情報の収集、活用方策を充実させ、後世へ継承します。</p> <p>また、散策の移動手段としてバイクシェアリングを活用していき、地理的条件として、辻堂駅、ライフタウン、遠藤、御所見地区が辻堂駅遠藤線によって南北につながっていることから、藤沢西部地域の南北交流に努めます。</p> <p>1 地区内の歴史を散策する事業の実施 2 バイクシェアリングの活用及び南北縦断観光事業の検討</p>					
活動指標	マップ配布数(年間)					
目標値	現状値	0部	3年後目標値	1,000部	6年後目標値	1,000部
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>明治郷土史料室運営委員会(地域住民によるボランティア組織)には、連携・協働に基づいた活動を展開し、地域の歴史や文化の継承と周知からふるさと意識の醸成を図る役割を担うことが期待されます。</p>					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の歴史文化の周知や認識の広がりが図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名		高齢者向け医療マップ作成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-17-04-7-1	地域分権区分						
事業内容	<p>医療・健康等の中核地区として推進することから、安心して受診利用可能な医療・健康機関を住民が選択できる情報を提供するため、誰にでも分かりやすいマップを作成します。</p> <p>マップ作成に関して、文字の大きさや色・形状を考え、高齢者、障がい者等のハンディキャップを軽減する工夫をマップづくりに活かします。</p> <p>1 使いやすさに考慮した医療マップの作成 2 他の地域マップとの統合について検討</p>						
	活動指標	マップ配布数(年間)					
	目標値	現状値	0部	3年後目標値	8,500部	6年後目標値	8,500部
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	医療福祉の充実に取り組む関連地域団体には、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	マップの作成と有効活用の推進が図られ、安心して受診・利用可能な医療・健康機関を住民が選択できる情報提供が図られます。						
担当部課	市民自治部明治市民センター						

事業名		医療機関等循環コミュニティバス運行事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-3-17-04-7-2	地域分権区分						
事業内容	<p>今後C-X内に出来る大型医療・健康機関に備え、高齢者、障がい者などの利便性に資するため、辻堂駅を起点とした民間運営の循環コミュニティバスの運行に向けた検討を進めます。</p> <p>民間主体の事業としての位置づけや関係医療機関との調整・住民ニーズの調査など検討すべき項目は多々あるため、民間業者、行政、地域団体等が協働して取り組みます。</p> <p>また、近隣地域との連携・協働も視野に入れます。</p> <p>1 民間事業者による循環コミュニティバス運行について検討 2 他の地域との連携や多目的な用途について研究</p>						
	活動指標	検討会開催数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体は、地域市民や関連事業者などの声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し安心して便利に暮らせるまちづくりを進める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	高齢者、障がい者などの利便性の向上が図られます。						
担当部課	市民自治部明治市民センター						

事業名	災害時要援護者支援体制推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-17-04-7-3	地域分権区分					
事業内容	<p>「災害時要援護者支援体制」は市が進める施策で、自主防災組織(自治会・町内会)を中心に災害時に自主的避難が難しく周囲の支援が必要とする方に対し、災害時の迅速な支援体制を構築するため、自治会・町内会の防災意識をより一層高めるとともに、医療機関も含め地元の企業や民生委員などとの連携を図ります。</p> <p>1 災害時要援護者支援体制の構築 2 医療機関,地元企業,民生委員などとの調整,役割の確立</p>					
活動指標	支援体制が構築されている自主防災組織の数(累計)					
目標値	現状値	0団体	3年後目標値	32団体	6年後目標値	32団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	自主防災組織(自治会・町内会)は、地域市民や関連各団体の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し住民が助け合うまちづくりを進める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→		
(市域全体)						
期待される事業の成果	制度の確実な定着と運用が図られ、災害時における要援護者の救援体制が構築されます。また、支援者と要援護者との日常のふれあいが生まれます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	民間保育施設誘致活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-26-05-8-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の未来の担い手を育成すべく、地域ぐるみで進める子育て支援施設の誘致活動を行います。保育園待機児は地域にとっても大きな課題であり、湘南C-Xに民間事業者による新保育所の計画がありますが、地域全体で見れば待機児の課題は解消していません。</p> <p>したがって様々な角度から検討し、幅広い事業者を対象に未来を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりのため、民間保育施設の誘致活動を行ってまいります。</p> <p>1 地区内保育施設の現状把握,将来展望などの情報を関係団体などで共有化 2 民間事業者による保育施設増へ向け誘致活動を実施</p>					
活動指標	誘致活動を行った回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と関連地域団体は、地域市民の声を聞き情報を共有しつつ、連携・協働に基づいた活動を展開し安心して子育てできるまちづくりを進める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	幅広く誘致活動を行うことで、保育施設が誘致され、保育園待機児課題の解消が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	子育て支援室充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-26-05-8-2	地域分権区分					
事業内容	<p>明治市民センター内にボランティアが運営している「フリースペースにここ」という子育て支援室があります。月8回程度開かれています。子育て中の親に大変好評で、もっと開いて欲しいという声が多数寄せられています。開催日を増やすためには、支援を行うボランティアの増員と行政の支援が必要です。子育て支援室のPRを、さらに充実させるとともに、支援者の増員を図り、支援室の活動を強化・拡大します。また、地区内の子育て支援施設の情報共有化を推進します。</p> <p>1 子育て支援室のPR活動を充実及び地区内子育て支援室の情報を共有化し市民に提供 2 ボランティアの増員を図り活動日を拡大</p>					
活動指標	発信した情報の数(年間)					
目標値	現状値	0情報	3年後目標値	6情報	6年後目標値	6情報
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	子育て支援室関連ボランティアには、支援室利用者や地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し助け合いの中から子育てできるまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	現状の支援室活動の強化・拡充が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	ペットの排泄処理徹底とゴミのポイ捨て禁止運動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-30-06-9-1	地域分権区分					
事業内容	<p>ペットの排泄処理やゴミのポイ捨て禁止は徹底されておらず、まだまだ地域の課題として取り上げられています。一人ひとりが清潔なまちづくりに関心を持ち、互いに思いやりのある行動を心がけることが大切なため、ポスターやチラシなどで積極的に周知し、住民同士が挨拶・声かけを実践することが、マナー徹底の第一歩につながります。</p> <p>日常の挨拶・声かけはもとより、犬の予防注射時などでも排泄処理徹底を呼びかけ、生活環境の向上を図ります。</p> <p>1 様々な機会を捉えペットの排泄処理の徹底及びゴミのポイ捨て禁止呼びかけ運動の実施 2 他の類似活動との連携、合同開催の研究</p>					
活動指標	呼びかけを行った日数(年間)					
目標値	現状値	0日	3年後目標値	2日	6年後目標値	2日
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体には、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し清潔で気持ちのよいまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	ペット飼育におけるエチケットの徹底により、生活環境の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	自転車マナーアップ運動強化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-30-06-9-2	地域分権区分					
事業内容	<p>自転車と自動車、自転車と歩行者など自転車による事故は大きな社会問題となっており、事故の防止のために世代間での挨拶・声かけの励行を通じ、周囲への思いやりの気持ちを育むとともに、警察の協力によるマナーアップ教室を開催します。</p> <p>また、親がきちんとマナーを守り、子どもの手本となることも大切であるため、親を対象としたマナーアップ教室も開催します。</p> <p>1 自転車マナーアップ教室の開催 2 事故の実例や判例などについての認識を深めるための情報を提供 3 他の類似活動との連携、合同開催の研究</p>					
活動指標	開催した教室の数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体には、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し外出が楽しいまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	歩行や自転車走行のマナーアップが図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	声かけ運動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-30-06-9-3	地域分権区分					
事業内容	<p>安全・清潔と感じられるまちをつくるには、誰もが見られ、見守られていることを意識することから始まります。世代を超えた挨拶・声かけが大切で、空き巣・ひったくり等の犯罪予防へもつながります。</p> <p>「声かけ運動推進事業」は地域住民が中心となって率先して行い、誰もが気軽に挨拶・声かけがしやすい環境づくりを進めます。</p> <p>1 声かけ推進事業の実施 2 他の類似活動との連携、合同開催の研究</p>					
活動指標	呼びかけを行った日数(年間)					
目標値	現状値	1日	3年後目標値	2日	6年後目標値	2日
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体には、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し地域のつながりを深める中から安全で安心なまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域ぐるみの快適なまちづくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					



事業名	市内大学生と小中学校生との交流推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-45-07-10-1	地域分権区分					
事業内容	<p>世代を超えた交流・学習機会を地域・教育機関・行政が協働で創出します。市内大学と協働して理科系講座など小中学校のニーズの掘り起こしから始め、開催へとつなげます。</p> <p>大学生のボランティア活動やサークル活動などの自主的な活動とも連携、協働を検討し、楽しくてためになる講座を開催します。</p> <p>1 市内大学との協働による講座の開催 2 大学生のボランティア活動等との連携</p>					
活動指標	講座開催数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>青少年の育成に取り組む関連地域団体には、連携・協働に基づいた活動を展開し健全な青少年を育むまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→
期待される事業の成果	地域における担い手の拡大が推進されるとともに、健全な青少年を育むまちづくりに寄与します。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	小中学生地域活動参加促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-5-45-07-11-1	地域分権区分					
事業内容	<p>世代を超えて命の大切さを共有するには、交流活動が活発に行われていることが大切です。現状の認識と共有から始め、地域の連携協働と防災意識の向上を図るため、地域の防災訓練に小中学生の参加を検討し早急な実施をめざします。世代を超えた共同訓練により顔と顔がつながり、非常時におけるヒューマンネットワークが形成されます。</p> <p>このほか、世代間の交流活動を研究実施し、地域全体で子どもたちの健全育成に取り組みます。</p> <p>1 地区防災訓練への小中学生参加を推進 2 非常時におけるヒューマンネットワーク構築を検討 3 健全育成につながる交流活動の研究</p>					
活動指標	小中学生が参加した訓練活動数(年間)					
目標値	現状値	0活動	3年後目標値	1活動	6年後目標値	1活動
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	<p>関連地域団体は、連携・協働に基づいた活動を展開し地域ぐるみで命を大切にするまちづくりを進める役割を担います。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討・実施	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	防災意識の養成から地域における担い手の育成に寄与します。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	地区内事業者等と協働によるイベント創設・充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-43-08-12-1	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南C-Xの事業進捗により、明治地区も新しいまちとして生まれ変わろうとしており、地域住民みんなの楽しみが増えてふるさと意識が持てるまちとするため、進出事業者と地域が連携して、新しいイベントを企画します。</p> <p>また、子どもたちにも企画から参加してもらおうとともに、湘南C-X内事業者などと協働で実施します。</p> <p>1 湘南C-X内事業者との協働による体制づくりの検討 2 多分野からの参画を得て実行委員会方式によるイベント開催の推進</p>					
活動指標	イベント開催数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と関連地域団体は、連携・協働に基づいた活動を展開し、住むことを誇りに思えるまちづくりを進める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	従来の地区内住民と湘南C-X内事業者・住民との協働により、さらなる「地域力」「市民力」の発展が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	環境問題のウォッチング及び情報共有化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-09-13-1	地域分権区分					
事業内容	<p>環境保護は、地域団体・住民・行政の情報共有と学校教育により、身近な美化活動やエコ活動を認識することが重要です。</p> <p>タバコのポイ捨て・ゴミの不法投棄などターゲットを絞り込み環境全般のパトロール・声かけを行い、中学生による清掃ボランティア活動の拡充についても検討します。各々の活動の成果や予定、環境問題に関する情報の共有化を推進し、活動への関心を高め、より充実した活動を推進します。</p> <p>1 環境パトロールの実施 2 他の類似活動との連携、合同開催の研究</p>					
活動指標	パトロール実施日数(年間)					
目標値	現状値	0日	3年後目標値	2日	6年後目標値	2日
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	生活環境改善活動に取り組む関連地域団体には、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し快適なまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域ぐるみの快適な環境づくり推進が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名		交通問題検討事業					
体系コード		事業区分		まちづくり地域事業			
3-7-65-10-14-1		地域分権区分					
事業内容		<p>現在の慢性的交通渋滞に加え、湘南C-X完成時に起こりうる交通に関する問題は道路事情など難しい要因が多く、具体的な解決策を見出すためには、地域住民・地元企業・警察・行政など関係各機関が現状を共通認識することが必要です。</p> <p>関係各機関が所有している情報の共有化を進め、解決策を考える交通問題検討会を定期的に開催します。</p> <p>1 関連団体等の参画による交通問題検討会の開催 2 必要に応じ関係各機関への要望や協議、調整を実施</p>					
活動指標		検討会開催数(年間)					
目標値		現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		交通安全活動に取り組む関連地域団体は、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し関係各機関が情報共有化できる環境づくりを進める役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
(市域全体)							
期待される事業の成果		<p>交通問題について関係各機関が同じ席で議論することで、問題点と情報の共有化が図られます。</p> <p>また、共有化された情報は分類整理され、ふじさわ未来課題「市内の交通・物流がスムーズに行われること」への貴重な資料となります。</p>					
担当部課		市民自治部明治市民センター					

事業名		羽鳥消防署跡地活用促進事業					
体系コード		事業区分		まちづくり地域事業			
3-8-71-11-15-1		地域分権区分					
事業内容		<p>旧羽鳥消防出張所跡地は明治地区の中心に位置していることから、コミュニティセンターや防災拠点施設など多機能複合施設の敷地として公有地の有効活用を図ります。</p> <p>どのような施設と機能が求められるのか、検討委員会の設立・地元の意見集約・基本構想の策定と段階的に検討を進め、地域として最適な活用方策をまとめます。</p> <p>1 検討委員会の設置 2 他の地域資産有効活用事業との連携、合同研究を推進 3 有効活用策を策定</p>					
活動指標		検討委員会開催数(年間)					
目標値		現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	—
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		関連地域団体は、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し関係各機関が情報を共有化し集約できる環境づくりの役割を担います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
(市域全体)							
期待される事業の成果		地域資源の有効活用について地元意見の把握と集約が図られます。					
担当部課		市民自治部明治市民センター					

事業名	安全安心ステーション設置・運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-71-11-15-2	地域分権区分					
事業内容	<p>交番が無い地区内東側に空き店舗等の活用を考慮した「安全安心ステーション」を設置します。安全安心ステーションは、地域の安全を見守るための地区防犯協会の拠点施設として位置づけられます。</p> <p>場所の確保をはじめ、ステーションの運用方法などについて、関係団体や各機関と連携しながら設置へ向けた準備を進めます。</p> <p>1 検討会を設置し、場所や運営方法についての検討 2 他の地域資産有効活用事業との連携、合同研究の検討</p>					
活動指標	検討会開催数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体には、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し、地域の安全安心な環境作りの準備を進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	検討・実施	実施	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域資源の有効活用について地元意見の把握と集約が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	ボランティアセンター設立・運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-71-11-15-3	地域分権区分					
事業内容	<p>ボランティアが果たす役割への期待が高まる中、拠点となるボランティアセンターの設置が求められています。設置場所の確保をはじめとして、ボランティアの募集と研修、実施するサービス内容などについて、地区社会福祉協議会を中心に検討を進めます。</p> <p>高齢者や障がい者の日常生活の支援を地域で担えるようにします。</p> <p>1 福祉関連団体を中心とした検討会の設置 2 設置場所の選定、実施事業、事業の担い手の検討、決定 3 他の地域資産有効活用事業との連携、合同研究の検討</p>					
活動指標	検討会開催数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体には、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し、住民が助け合うまちづくりを進める役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	実施	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	関連地域団体や地元意見及びニーズの把握と集約が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	市民の家有効活用推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-8-71-11-15-4	地域分権区分						
事業内容	<p>地区内に2か所ある市民の家(明治・羽鳥)について、より多くの人が有効に利用できるように、今までの形態にこだわらない新しい市民の家のあり方を、地元の意見を集約し市全体の方針と協調しながら検討します。</p> <p>1 利用者の意見の集約, 利用状況の把握, 課題の抽出  2 施設のあり方や管理方策の検討  3 他の地域資産有効活用事業との連携, 合同研究の検討</p>						
	活動指標	検討会開催数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	<p>関連地域団体は、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し公共資産の有効活用について情報共有を進める役割を担います。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→				
	(地域)						
(市域全体)							
期待される事業の成果	<p>関連地域団体や地元意見及びニーズの把握と集約が図られます。</p>						
担当部課	市民自治部明治市民センター						

事業名	健康プラザ改修事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-71-11-15-5	地域分権区分						
事業内容	<p>雨漏りの被害による不測の事態の予防及び公共施設の延命化を図るため、明治市民センター健康プラザ(体育館)の雨漏り補修工事を実施します。</p> <p>1 施設利用者との工事日程, 工事中施設利用方法等調整  2 改修工事実施</p>						
	活動指標	1年間で雨漏りにより施設利用を中止した日数					
	目標値	現状値	0日	3年後目標値	0日	6年後目標値	0日
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	<p>市は、施設利用者や関係各団体と連携・協議し、快適で使いやすい公共施設の継続維持を進めます。</p>					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	計画・実施						
	(地域)						
(市域全体)							
期待される事業の成果	<p>雨漏りが補修され快適な利用環境が提供できるとともに、公共施設の延命化が図られます。</p>						
担当部課	市民自治部明治市民センター						

事業名	商店街空き店舗対策検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-71-11-16-1	地域分権区分					
事業内容	<p>商店街空き店舗対策は、商店街の活性化だけでなく、まち全体、市域全体の活性化にもつながることから、全市で取り組む重要な課題のため、地域においては地元住民や商店街の人など関係者が同じ席に着いて商店街空き店舗対策検討会を開催し、情報の収集と共有を図ります。</p> <p>収集した情報は、その後の検討課題として整理し、有効活用を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 関係団体により従来の検討経過の整理、現状把握など情報の収集</li> <li>2 収集した情報の整理・分析</li> <li>3 方向性の検討</li> </ol>					
活動指標	検討会開催数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関連地域団体は、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し情報共有を進める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	商店街関係者・地元住民が協働した事業により商店街・消費者双方の情報について共有化が図られます。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	道路バリアフリー化促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-76-12-17-1	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者、障がい者及び外国の方々、気軽に楽しく過ごせたり訪れたりできるまちづくりを進めていくため、凸凹が多く、歩行や車椅子の通行に支障をきたしている藤沢羽鳥線の歩道を平坦にしバリアフリー化を進めます。</p> <p>また、外国語併記の地区案内板を設置し、言葉のバリアフリー化も図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 藤沢羽鳥線歩道のバリアフリー化の実施</li> <li>2 他の場所におけるバリアフリー化をすべき箇所の有無などの検討</li> <li>3 外国語併記案内板設置に向けた検討</li> </ol>					
活動指標	バリアフリー化されている道路の距離数(累計)					
目標値	現状値	0km	3年後目標値	1.5km	6年後目標値	1.5km
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と関連地域団体は、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し訪れる人にも優しいまちづくりを進める役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→		
(市域全体)						
期待される事業の成果	道路が平坦化され歩行者などに優しい道路となります。外国語併記案内板については、訪れる人にとって、地域のイメージアップにつながります。あわせて、障がい者・高齢者・健常者の誰もが歩きやすく楽しい道路の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部明治市民センター					

事業名	狭あい道路の解消促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-9-76-12-17-2	地域分権区分						
事業内容	<p>明治地区には狭あい道路が多く、地域の中でも多くの人が指摘する課題となっていますが、狭あい道路の解消は居住者や土地所有者の協力が欠かせません。</p> <p>通行の安全性の確保、防災の観点から地域として現状を再認識し、情報共有を進める検討会を開催し、狭あい道路の解消へ向け実施可能な箇所の選別を進め、具体の計画策定へ向け検討を進めます。</p> <p>1 地区内道路の現状把握 2 収集した情報の整理・分析 3 実施可能な箇所の選定</p>						
	活動指標	検討会開催数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と関連地域団体は、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し安全で暮らしやすいまちづくりについて情報共有を進める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	検討・実施	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	地元住民・行政で狭あい道路についての情報共有が進み、段階的かつ計画的な解消が図られます。						
担当部課	市民自治部明治市民センター						

事業名	なんでも気づき箱設置事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-76-12-18-1	地域分権区分						
事業内容	<p>日頃からまちを歩いていて何気なく何かに気づくことも少なくありません。こうした気づきと明治地区を訪れた人が明治地区に対して、どんなイメージを持つのかを把握し、次のまちづくり活動へと活かすために、「なんでも気づき箱」を設置します。</p> <p>「なんでも気づき箱」は、置き場所や置き方に工夫しながら道路や公共施設などに設置し、誰でもどんな意見でも気づいたことを発言できる「箱」で、いただいた意見は今後のまちづくりの参考とします。</p> <p>1 気づき箱の設置に向けた設置場所、意見回収方策の検討、実施 2 寄せられた気づきの整理・分類 3 事業への反映の検討</p>						
	活動指標	気づき箱設置数(累計)					
	目標値	現状値	0箱	3年後目標値	5箱	6年後目標値	5箱
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と関連地域団体は、地域市民の声を聞きながら、連携・協働に基づいた活動を展開し今後のまちづくりについて情報共有を進める役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	検討・実施	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	地域内の人だけでなく地域外から訪れた人の意見・要望を収集することができます。その中でも、地域外からの意見などは地元住民には気づきにくい貴重なものが含まれてくると推測しており、これらを有効活用することで、より一層の「市民力」の推進が図られます。						
担当部課	市民自治部明治市民センター						



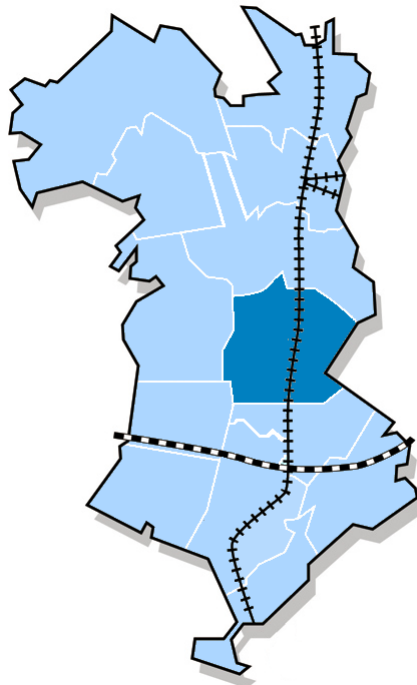


# 藤沢市新総合計画

## 善行地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち



---

## 地区のあらまし

---

「善い」事を「行う」と書いて「ぜんぎょう」と読みますが、私たちのまち「ぜんぎょう」は、藤沢市のほぼ中央部、神奈川県中西部から広がる相模野台地の南端に位置し、境川と引地川の両河川に挟まれた、面積6.09km<sup>2</sup>の区域です。

善行地区は、台地と谷間（たにあい）の入り組んだ複雑な地形をしており、豊かな自然と緑が織りなす景観に囲まれた、「坂道」に象徴されるまちで、2010年（平成22年）12月1日現在、藤沢市の人口の10.3%に当たる41,990人の人たちが暮らしています。65歳以上の方の占める割合（高齢化率）は21.0%で、市内では4番目に高い地区になります。

善行のまちは、1960年（昭和35年）の小田急線善行駅の開業をきっかけに、大きな変貌を遂げました。

ちょうどそのころ、市では善行地区を都市計画区域に指定し、善行駅を中心に大規模な開発事業に着手しました。

この結果、駅の東側は、県立体育センターや藤沢商業高等学校（現藤沢翔陵高等学校）、聖園女学院などの文教地区に、西南部は荏原製作所など、20社以上の企業が進出する工業地区となり、また、亀井野団地、善行団地の造成を始め、相次いだ住宅開発と周辺のインフラ整備を行う傍ら、緑の保全にも配慮がなされ現在の「ぜんぎょう」のまちが形づくられていきました。

最近では、地区の中部から西部を中心に、大規模なマンション建設や宅地開発が進み、子育て世代層の大量流入により、まち全体の人口構成も変化しつつあります。

---

## 地区の特色

---

～ “坂”，“ひと”そして“みどり”のまち「ぜんぎょう」～

善行は、元々の地名を「善行寺村」といって、現在の善行公園辺りにあったとされる「善行寺」に由来するものと言われてはいますが、確かな記録は残っていません。また、地名の由来をはるか遡る太古から生活の営みがあった所で、ナウマン象の化石や先土器、縄文・弥生各時代の遺物や住居跡が、地区内のあちこちから数多く出土しています。

江戸時代には、幕府直轄であった藤沢宿坂戸町の枝郷<sup>えだごう</sup>でしたが、宿の最北端にあったため、藤沢宿<sup>ちまた</sup>のようには巷に知られていない農村集落で、今もその営みの姿を残しています。

昭和初期、関東屈指の名門ゴルフコースと言われた藤澤カントリー倶楽部が開場、皇族をはじめ多くの著名人が訪れました。このゴルフ場は、後に、太平洋戦争という大きな時代の波にもまれ、数奇な運命を辿ることになりますが、現在も「グリーンハウス」と呼ばれたクラブハウスが残っており、瀟洒<sup>しょうしや</sup>な洋館として当時の面影を伝えています。

歴史の流れと独特の地形は、まちを個性的に育んできました。

こうしたあゆみを振り返る中で「ぜんぎょう」のまちは今，“坂”，“ひと”そして“みどり”のフレーズ抜きに語ることはできません。

### ★坂のまち「ぜんぎょう」

善行地区は、台地と谷間が織りなす起伏に富んだ地形をしており、日常生活から坂を切り離すことはできないほど生活に馴染んでいます。一方で坂道を登る辛さを覚える人、また傍らで景色の風情に浸る人、そして通い慣れた道を友として心の中でそっと語りかける人…。

善行の坂には、そこに暮らす人たちにとって思いの物語があります。



### ★人のまち「ぜんぎょう」

善行の人たちは、ボランティアの精神がとても旺盛です。様々な地域団体がそれぞれの立場から、また、お互いに協力しあって、一生住み続けたい「ぜんぎょう」のまちをめざしてみんなが元気に地域活動を続けています。

高齢者の生活支援や生きがいがづくり、子育て世代への支援を行う地域独自の団体や、希薄になりつつある地域のコミュニケーション力を取り戻そうとする試みなど、地域の課題に対する、善行ならではの独創的な取り組みが身近なところで積極的になされています。



### ★みどりのまち「ぜんぎょう」

善行地区は、緑豊かな自然と景観に恵まれた地区です。地区のほぼ中央に広がる緑地や台地からの眺望、地区の両翼を流れる河川沿いに広がる田園風景や台地の谷間に広がる谷戸といった自然環境はそこに住む人びとに安らぎを与え、やさしさを育ててきました。

また、古くからの農業の営みは現在も続き、新鮮な大地の恵みを届けてくれます。



---

### 善行地区地域経営会議（地域経営会議「ぜんぎょう」）

---

地域経営会議「ぜんぎょう」は、私たちのまちをもう一度歩いてみました。気づいたことを聞いて集めてみました。あなたの声で「善行」が変わるかも知れません。私たちがそれをお手伝いします。これからのまち「善行」を創るのは主役の“あなた”です。

あなたの声をお聞かせください。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること

【地域まちづくり目標】

01 さりげないサポートの「まち」

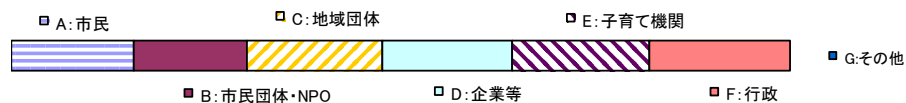
【成果指標】

①提供する環境や仕組みに対する信頼性が増すこと

【現状値】 ①45%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①65%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:17% D:17% E:17% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 暮らしに活かす地域の力

<成果の視点> 地域の声をいつでも聞きながら、誰にもやさしく手をさしのべられ、求められるやさしさをさりげなく案内するための情報発信ができていくこと

【主要な指標】 善行の地区情報の発信媒体数、情報共有の場の設置数

○実施事業 「ぜんぎょう」を知ろう事業

善行市民活動サポートセンター開設・運営事業

地域活動ネットワーク事業

善行ささえあいマップ作成事業

高齢者ミニデイサロン事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

## 02 子どもを守りはぐくむ「まち」

### 【成果指標】

①善行が楽しいと感じる子どもの割合

【現状値】①24%

【めざそう値】3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:19% B:18% C:16% D:11% E:19% F:17% G:0%



### 《地域まちづくり活動》

《活動－2》 まるごと遊べる楽しい地域

<成果の視点> まちのどこでも子どもたちは安心して遊べ、親たちも安心して遊ばせられる地域の環境が整っていること

【主要な指標】 各事業の子どもの参加者数

○実施事業 コミュニティひろば事業

善行ファミリーサポート事業

はばたけ！ぜんぎょうの子どもたち事業

### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 19 治安の良い環境であること

### 【地域まちづくり目標】

#### 03 みんなで作る安全安心な「まち」

### 【成果指標】

①日常生活において安全安心を実感できる人の割合

【現状値】①25%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:20% B:15% C:18% D:12% E:15% F:20% G:0%



### 《地域まちづくり活動》

《活動－3》 防犯意識が高まる地域

<成果の視点> 地域の安全を隅々まで見渡す、安心のやさしい目をみんながもてるまちであること

【主要な指標】 自主パトロールや 防災訓練への参加者数

○実施事業 みんなで取り組む防災事業

防犯パトロール強化事業

都市ビジョン2  
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること

【地域まちづくり目標】

04 笑顔でふれあう「まち」

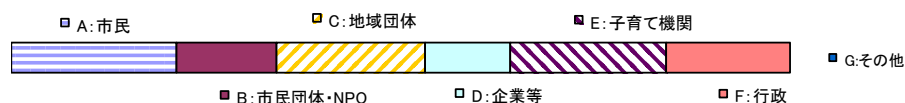
【成果指標】

①まちのあちこちで挨拶や会釈を交わす人の割合

【現状値】 ①41%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:21% B:13% C:19% D:11% E:20% F:16% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-4》 出会うよろこび感じる地域

<成果の視点> いつでも、どこでも、誰でもできるコミュニケーションの原点である気軽なあいさつが浸透していること

〔主要な指標〕 あいさつ運動推進キャンペーン実施回数

○実施事業 あいさつ運動推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

【地域まちづくり目標】

05 坂道とやさしくつきあう「まち」

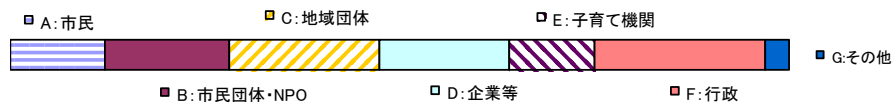
【成果指標】

①「坂」に対する不満・不便を感じる人の割合

【現状値】 ①56%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:16% C:19% D:17% E:11% F:22% G:3%



### 《地域まちづくり活動》

《活動－5》 らくらく動ける便利な地域

<成果の視点> 地域みんなが快適に地域内を行き来できること

〔主要な指標〕 善行の坂に対して、不満・不便を感じている60歳以上の人の割合

- 実施事業 善行の坂道対策事業
- 高齢者等移動支援事業

### ふじさわ未来課題

#### 43 子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること

【地域まちづくり目標】

##### 06 郷土や自然を愛する「まち」

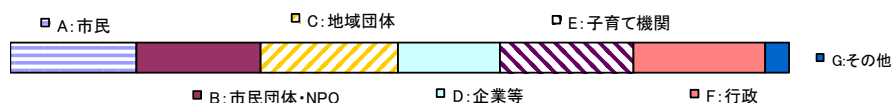
【成果指標】

①善行に愛着を持つ人の割合

【現状値】 ①52%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:18% D:13% E:17% F:17% G:3%



### 《地域まちづくり活動》

《活動－6》 心をつなぐ地域の資産

<成果の視点> 生活に密着した、身近な資源から地域や自然への愛着が深まっていること

〔主要な指標〕 善行地区に愛着を持っている人の年代別割合

- 実施事業 「ぜんぎょう」を知ろう事業
- 「ぜんぎょうの坂に愛称を！」事業

### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげていくことをめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

##### 07 善い行いがあふれる「まち」

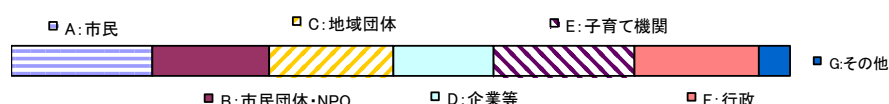
【成果指標】

①公共マナーが向上していると感じる人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:16% D:13% E:18% F:16% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 つくって守る地域のルール

＜成果の視点＞ ルールとマナーを守ってやさしい環境が維持され、お互いが快適な毎日をご  
せる環境であること

〔主要な指標〕 キャンペーン参加者数

○実施事業 「きれいなまち、みんなで作る善行」クリーン推進事業

### 都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

#### 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

#### 57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

#### 08 みんながつどう楽しい「まち」

【成果指標】

①市民センター・公民館利用者の満足度

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①47% 6年後：①53%

【役割の担い手】 ①A:18% B:16% C:18% D:13% E:18% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 力が集まる地域の拠点

＜成果の視点＞ 誰もが気軽に立ち寄り、語らいそしていきいきと活動のできる  
施設であること

〔主要な指標〕 施設有効活用の検討・調査結果として提案案件数

○実施事業 善行市民センター建て替え事業  
市民の家有効活用検討事業



## ふじさわ未来課題

### 62 産業の活力を高め、地域が元気になること

【地域まちづくり目標】

#### 09 大地のめぐみを育てる「まち」

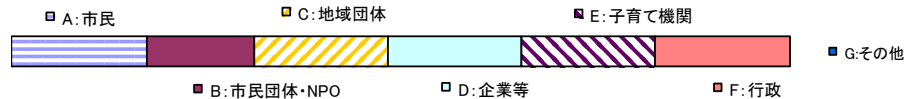
【成果指標】

①善行の地場産農産物を購入している人の割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:17% B:14% C:17% D:17% E:17% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 「食」と「農」とをつなげる地域

<成果の視点> 生産者にやりがいと、消費者には味わいと安心を与えられる環境であること

〔主要な指標〕 地場産農産物の販売チャンネル数

○実施事業 「農業を元気に！」事業

## ふじさわ未来課題

### 63 地域の人材が働ける機会を創造すること

【地域まちづくり目標】

#### 10 いきがい、やりがい、ささえあいの「まち」

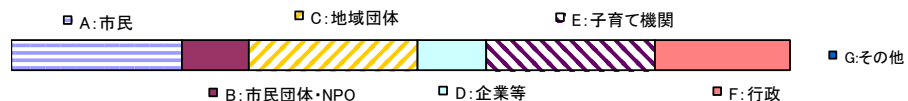
【成果指標】

①善行に住んで良かったと思う人の数

【現状値】 ①53%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:22% B:9% C:22% D:8% E:22% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－10》 だれもがいきいき地域の一員

<成果の視点> 誰もが生きがいを持って、地域で活躍できていること

〔主要な指標〕 設立団体（NPO）の実施事業への参加者数

○実施事業 （仮称）「元気集団・ぜんぎょう」事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

### 68 日常生活に安らぎや豊かさを与えてくれる場所があること

【地域まちづくり目標】

#### 11 自然とふれあう健康な「まち」

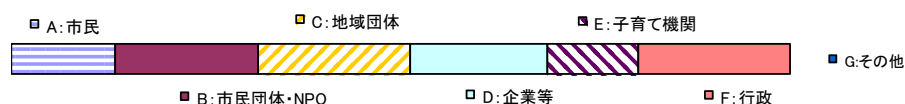
【成果指標】

①地域内の自然を楽しむ人の割合

【現状値】 ①41%

【めざそう値】 3年後：①55% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:13% B:18% C:19% D:18% E:12% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－11》 みんなでつくる癒しの地域

＜成果の視点＞ 地域の資源である緑と土に、様々な世代が親しみながら心と体を癒す環境があること

〔主要な指標〕 活動参加者数

○実施事業 ぜんぎょう里山づくり事業  
まちに花いっぱい事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

ふじさわ未来課題

### 73 活気があり、開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

#### 12 活気あふれる元気な「まち」

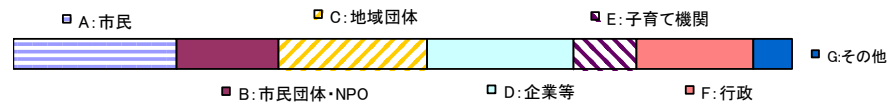
【成果指標】

①商店街各店舗を訪れる割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①67.5%

【役割の担い手】 ①A:21% B:13% C:19% D:19% E:8% F:15% G:5%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 出かけたくなるワクワク地域

<成果の視点> まちの玄関口である商店街が元気であること

[主要な指標] 商店街でのイベント数

○実施事業 たのしい商店街事業

事業名	「ぜんぎょう」を知ろう事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-1-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>善行に関する様々な情報を提供することで、地区住民の日常生活の利便性を向上するとともに、わがまち「ぜんぎょう」を知ること、郷土愛の醸成を図ります。</p> <p>1 善行地区ポータルサイトの運営  2 善行地区広報の発行  3 善行お役立ちマップ(便利帳)の作成  4 地区内の生涯学習活動等との連携  5 その他、善行に関する情報提供と郷土愛の醸成</p>					
活動指標	善行に関する情報が様々な形で発信されていると感じる人の割合					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	40%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議を中心に、地域全体が担い手となり、協働して事業を進めます。市は、ポータルサイトの運営などに支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、地域の声をいつでも聞きながら、求められるやさしさを案内する”さりげないサポートの「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	善行市民活動サポートセンター開設・運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-1-01-1-2	地域分権区分					
事業内容	<p>援助して欲しい、何かボランティアをしたいというような、様々なニーズに応じて、市民をサポート・支援するための仕組みづくりをめざして、善行地区の地域資源や地域活動団体、NPO等の支援団体、制度などを紹介(仲介)するシステムを開設、運営します。</p> <p>1 善行市民活動サポートセンターの開設検討  2 善行市民活動サポートセンターの開設・運営</p>					
活動指標	延べ利用者数(年間)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	500人	6年後目標値	700人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体やボランティア、NPOが主体となって推進していきます。市はサポートセンターの開設支援等を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	検討・実施	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、誰にもやさしく手をさしのべられる”さりげないサポートの「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	地域活動ネットワーク事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-1-01-1-3	地域分権区分					
事業内容	<p>善行地区を中心に活動している様々な地域活動団体やボランティア団体をネットワークで結び、相互交流や情報交換、活動に参加しやすい環境づくりを支える仕組みをつくります。このネットワークの活用を推進することで、善行の地域活動をより一層活発にします。</p> <p>1 地域活動のネットワーク化の推進 2 相互交流、情報交換、参加しやすい環境の構築</p>					
活動指標	新たなネットワークが構築され活用されていること					
目標値	現状値	なし	3年後目標値	構築されている	6年後目標値	活用されている
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民や団体が中心となって展開していきます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、誰にもやさしく手をさしのべられる”さりげないサポートの「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	善行ささえあいマップ作成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-1-01-1-4	地域分権区分					
事業内容	<p>善行地区に住む高齢者の居場所をマップ化し、災害、防犯、行方不明等の緊急事態に備えるとともに、地区の活動への支援体制を充実させます。</p> <p>1 高齢者の居場所マップの作成 2 マップの活用啓発と維持管理</p>					
活動指標	マップが作成されていること					
目標値	現状値	なし	3年後目標値	作成されている	6年後目標値	活用されている
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体や住民、NPOが主体となって事業を担い、市は側面的な支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、緊急時にも安心できる体制を整え、求められるやさしさを提供できる”さりげないサポートの「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

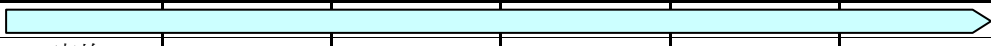
事業名	高齢者ミニデイサロン事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-1-01-1-5	地域分権区分					
事業内容	<p>地区内の公共施設等を活用し、高齢者がつどい、交流し、元気になれる温かい居場所を提供します。</p> <p>1 高齢者の居場所となるミニデイサロンの設置・運営 2 高齢者が集まりたくなる事業の実施</p>					
活動指標	延べ利用者数(年間)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	600人	6年後目標値	800人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	NPOや市民団体、市民ボランティアが中心となって推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	検討・実施	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、高齢者同士のつながりによる暮らしやすさの向上を図り、“さりげないサポートの「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	コミュニティひろば事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-02-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが利用でき、ふれあいや体験、相談ができる多世代交流型の子育て広場や身近な公共施設等を利用した巡回型交流広場を開設し、地域で子育てを応援します。</p> <p>1 多世代交流型の子育て広場の設置 2 巡回型広場の開設</p>					
活動指標	延べ利用者数(年間)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	600人	6年後目標値	800人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	NPOや市民団体、市民ボランティアが中心となって推進していきます。市は、広場の設置等を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、子どもたちが安心して遊べ、親たちも安心して遊ばせられる”子どもを守りはぐくむ「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	善行ファミリーサポート事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-2-13-02-2-2	地域分権区分						
事業内容	<p>安心して子育てができるように、地域内に、子育て中の親子への支援、相談、情報提供を行う仕組みをつくります。</p> <p>1 子育て中の親と子どもへの支援、相談、情報提供の仕組みの検討</p> <p>2 地域団体や教育機関、ボランティアからの情報発信</p>						
	活動指標	延べ利用者数(年間)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	300人	6年後目標値	500人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域内の団体や教育機関、ボランティアなどが連携して取り組む地域主体の事業を実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	検討・実施	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	この事業により、子育て環境の充実と子育てが楽しい地域づくりを進め、”子どもを守りはぐくむ「まち」”の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部善行市民センター						

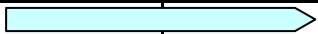
事業名	はばたけ！ぜんぎょうの子どもたち事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-2-13-02-2-3	地域分権区分						
事業内容	<p>子どもたちが協力し、みんなで企画運営する事業を、地域や大人たちが応援します。</p> <p>また、教員、民間企業と協力し、学校施設などを活用した子どもたちの学習をサポートする場を提供します。</p> <p>1 地域団体などが子どもたちと協力して企画運営する事業への支援</p> <p>2 子どもたちの学習サポートの実施</p>						
	活動指標	善行が楽しいと感じる子どもたちの割合					
	目標値	現状値	24%	3年後目標値	30%	6年後目標値	50%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域内の団体や企業、教育機関、ボランティアなどが連携して取り組む地域主体の事業です。市は、連携を支援するとともに、活動環境を整えます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	この事業により、子どもたちの自主性や学ぶ楽しさを育み、”子どもを守りはぐくむ「まち」”の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部善行市民センター						

事業名	みんなで取り組む防災事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-03-3-1	地域分権区分					
事業内容	地域の防災意識を高めるとともに、いざというときに備えた支援体制や情報伝達システムの確立を図ります。 1 災害時通信システムの検討 2 小規模(自治会単位)防災訓練の実施方法検討 3 防災資機材充実のための援助 4 その他防災意識の啓発事業					
活動指標	小規模防災訓練の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	0回	6年後目標値	5回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	事業やシステムの検討は地域団体や住民が担い、市は財政面での支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
						
	検討	検討・実施	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、地域の防災力を高め、緊急時に落ち着いた対応ができるようになることで”みんなで作る安全安心な「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	防犯パトロール強化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-03-3-2	地域分権区分					
事業内容	安全安心のまちづくりをめざし、地域活動団体、自治会・町内会などと連携・協働して、防犯パトロール事業の充実強化を図ります。 1 善行地区専用パトロールカー(動く安全安心ステーション)の配置 2 地区内自主パトロール隊への上記車両の貸出 3 自治会単位での自主パトロール隊の編成の推進 4 自主パトロール隊の実践活動支援					
活動指標	自主パトロール隊編成数(累計)					
目標値	現状値	12団体	3年後目標値	20団体	6年後目標値	20団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体及び自治会・町内会が主体となる事業です。市は、動く安全安心ステーションの配置等を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
						
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、犯罪のないまちを地域の協働により築き、持続的な”みんなで作る安全安心な「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					



事業名	あいさつ運動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-24-04-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>くらしまちづくり会議の取り組みで蓄積されたノウハウを活用して、あいさつや会釈を交わす運動を推進するために、善行地区の地域活動団体や学校などが自主的にあいさつ運動に取り組めるよう、また各グループが連携してこの運動を展開していくことができるように支援と実践活動を行います。</p> <p>1 あいさつ運動の実施 2 あいさつ運動の拡大のための支援</p>					
活動指標	まちのあちこちで挨拶や会釈を交わす人が増えたと実感する割合					
目標値	現状値	41%	3年後目標値	55%	6年後目標値	70%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域内の住民や企業、団体などが連携して取り組む地域主体の事業です。市は、側面的な支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	この事業により、コミュニケーションの原点となる挨拶が広く交わされ、地域の中で知り合うことで”笑顔でふれあう「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	善行の坂道対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-37-05-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>坂のまち「善行」で、少しでも快適に坂道とつきあうため、駅や公共施設、商店街に通じる主要な坂道のバリアフリー事業を実施します。</p> <p>1 主要な坂への手すりの設置 2 休憩所補修、新設等 3 滑りやすいレンガ舗装の改修</p>					
活動指標	坂道に対する対策の考案と実施					
目標値	現状値	0	3年後目標値	3案の実施	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域の視点で地域の人々が対策を考えることにより、市がバリアフリー対応を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施	→				
期待される事業の成果	この事業により、快適に地域内を移動できるようになり、”坂道とやさしくつきあう「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	高齢者等移動支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-37-05-5-2	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者等の交通弱者が、坂道を意識せず、区内を快適に移動できるよう、移動手段や手法など、移動支援の実施に向けた検討と調整を行います。</p> <p>1 交通弱者が区内を快適に移動できる手段、手法の検討</p> <p>2 区内の移動手段の整備に関する事業者等との調整</p>					
活動指標	高齢者等、交通弱者への移動支援手段が確立されている路線					
目標値	現状値	0路線	3年後目標値	1路線	6年後目標値	1路線
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民参加による検討を進め、交通事業者若しくは市民ボランティアの協力などにより推進します。市は、地域の声を聞きながら、事業者等との調整や支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		—————>			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、誰もが快適に移動できる手段を確保し、“坂道とやさしくつきあう「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	「ぜんぎょう」を知ろう事業(再掲)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-43-06-6-1	地域分権区分					
事業内容	<p>善行に関する様々な情報を提供することで、地区住民の日常生活の利便性を向上するとともに、わがまち「ぜんぎょう」を知ること、郷土愛の醸成を図ります。</p> <p>1 善行地区ポータルサイトの運営</p> <p>2 善行地区広報の発行</p> <p>3 善行お役立ちマップ(便利帳)の作成</p> <p>4 区内の生涯学習活動等との連携</p> <p>5 その他、善行に関する情報提供と郷土愛の醸成</p>					
活動指標	善行に関する情報が様々な形で発信されていると感じる人の割合					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	40%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議を中心に、地域全体が担い手となり、協働して事業を進めます。市は、ポータルサイトの運営などに支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	—————>					
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、地域を知り、地域への愛着を深めることで“郷土や自然を愛する「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	「ぜんぎょうの坂に愛称を！」事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-5-43-06-6-2	地域分権区分						
事業内容	善行の生活環境や自然環境への愛着を持ち、郷土愛を深めるため、地区内にある主要な坂道へ愛称を付ける事業を実施します。 1 対象となる坂の検討 2 名称の募集と選考 3 案内板等の設置						
	活動指標	地区内の主要な坂道に愛称がついていること					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議を中心に、市民参加により推進していく事業です。市は、愛称の普及に関しての案内等の設置を進めます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(地域)	→		→			
	(市域全体)	検討	→	実施			
期待される事業の成果	この事業により、生活に密着した地域の坂への愛着を深め、「郷土や自然を愛する「まち」」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部善行市民センター						

事業名	「きれいなまち、みんなで作る善行」クリーン推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-49-07-7-1	地域分権区分						
事業内容	きれいなまちの実現と住民のマナーアップをめざし、現在各団体や有志で行っている清掃活動と連携して、地区全体を巻き込んだクリーン推進啓発事業を展開します。 1 環境美化に関する啓発活動の推進 2 現在実施されている清掃活動との連携の推進						
	活動指標	キャンペーン実施回数(年間)					
	目標値	現状値	2回	3年後目標値	4回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	関係地域団体と連携しての事業となるため、担い手は地域中心となります。市は側面的に活動を支援します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(地域)	→		→			
	(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	この事業により、ルールとマナーを守って優しい環境が維持され、お互いが快適な毎日を過ごせる「善い行いがあふれる「まち」」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部善行市民センター						

事業名	善行市民センター建て替え事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-7-57-08-8-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	地域ニーズにあった地域の拠点施設としての市民センター機能、利用のあり方を調査研究し、市に対して、市民センター建て替えに向けた提言を行います。 1 善行市民センターの建て替えに向けた市民センターのあり方の調査研究 2 地域に必要な機能を有した市民センターの建て替えへの提案						
	活動指標	提案書の策定率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	提案書策定に関する方向性やあるべき市民センター像の検討などは、担い手が地域中心となります。整備関連については市が適切な進捗管理及び予算管理、必要な交渉・調整等を行います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	提案					
(市域全体)	検討	→	実施	→	→	→	
期待される事業の成果	この事業により、誰もが気軽に立ち寄り、活動できる公共施設がある”みんなが”つどう楽しい「まち」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部善行市民センター						

事業名	市民の家有効活用検討事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-7-57-08-8-2	地域分権区分						
事業内容	住民が自由に集い、語り、学ぶなど、地域活動や親睦の場としての活用を進めるため、市民の家の現状の課題や今後のあり方などの調査研究を行います。 1 市民の家の現状調査、課題整理 2 市民の家の今後のあり方に関する研究						
	活動指標	さらなる活用に向けた調査・研究報告書の作成率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民が担い手の中心となって事業を行います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	提案	実施				
(市域全体)							
期待される事業の成果	この事業により、身近な公共施設を利用した、様々な活動ができるようになり、”みんなが”つどう楽しい「まち」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部善行市民センター						

事業名	「農業を元気に！」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-62-09-9-1	地域分権区分					
事業内容	<p>農家の活力を高め、地域住民が参加するなどにより、連携・協働による農の元気を生み出すとともに、生産者にはやりがい、消費者には安全・安心な地場産品の提供が図られるよう、定期市の開催や休耕地の利活用策などについて検討を行います。</p> <p>1 援農などによる農業の活性化策の検討 2 休耕地の活用策、定期市の開催、名産品の創造などの検討</p>					
活動指標	実施に向けた環境づくり(実施案づくり)(累計)					
目標値	現状値	0案	3年後目標値	1案	6年後目標値	2案
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	調査・研究、企画・立案の担い手は地域が中心となります。市は、関係法令、関連手続等に関する側面的な支援を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
		実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、生産者にはやりがいを、消費者には味わいと安心を提供できる”大地のめぐみを育てる「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	(仮称)「元気集団・ぜんぎょう」事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-63-10-10-1	地域分権区分					
事業内容	<p>リタイアした団塊の世代や地域デビューを希望する元気な高齢者などが活動できる場として、有償ボランティア団体を立ち上げ、支援の必要な高齢者などをサポートします。</p> <p>1 元気な高齢者などが活躍できる場としての有償ボランティア団体の設立 2 ボランティアニーズの把握とサービスの提供</p>					
活動指標	実施団体の設立数					
目標値	現状値	0団体	3年後目標値	1団体	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	NPOや市民ボランティアが中心となって推進していきます。市は組織の立ち上げの支援等を行います。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	検討・実施	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、誰もが生きがいを持って、地域で活躍できる”いきがい、やりがい、ささえあいの「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	ぜんぎょう里山づくり事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-68-11-11-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>善行駅付近に残るみどりや土を活用し、癒しの空間を演出するため、一体的整備について検討するとともに、グリーンハウスや石川丸山谷戸など地域を包む豊かな自然や緑を結ぶグリーンネットワークを構築し、「ぜんぎょうの里山」として自然環境の保全・形成に努めます。</p> <p>1 ボランティアによる里山づくり 2 一体的整備の検討及び提言 3 地域のグリーンネットワークの構築</p>					
活動指標	地区内の自然を楽しむ人の割合					
目標値	現状値	41%	3年後目標値	55%	6年後目標値	70%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	里山やネットワークづくりは地域経営会議を中心に市民ボランティアが担いますが、一体的整備計画に基づく整備などは市が実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	実施	→	→
(市域全体)	検討・実施	→	→	実施		
期待される事業の成果	この事業により、地域の資源である緑と土に触れ、様々な世代が心と体をいやすことができる”自然とふれあう健康な「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	まちに花いっぱい事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-68-11-11-2	地域分権区分					
事業内容	<p>ボランティア活動などにより、公園や駅、歩道の花壇や空き地に花や木を植え、花いっぱいの魅力あるまちを実現します。</p> <p>1 植栽場所や花木の選定 2 協力者、協力団体の募集と植栽活動</p>					
活動指標	活動場所数(年間)					
目標値	現状値	2か所	3年後目標値	4か所	6年後目標値	4か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体や市民ボランティアなどが中心となって事業活動を担い、市は財政的な支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	この事業により、身近な自然と親しみながら心をやすことができる”自然とふれあう健康な「まち」”の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部善行市民センター					

事業名	たのしい商店街事業				
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業			
3-9-73-12-12-1	地域分権区分				
事業内容	<p>駅前のにぎわいを取り戻すために、商店街を元気にし、訪れる人が楽しくなるような事業の検討・実施や、空き店舗の有効活用策などを検討します。</p> <p>1 商店街の魅力を高める事業の検討・実施 2 空き店舗の有効活用策の検討</p>				
活動指標	商店街各店舗などを訪れる割合				
目標値	現状値	59%	3年後目標値	60%	6年後目標値 68%
実績値	H23		H24		H25
役割期待	地域でのニーズを聞きながら、駅前商店街が中心となり活動を進めます。				
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25		
	実施	→	→	→	→
(市域全体)					
期待される事業の成果	この事業により、商店街で様々な活動が行われ、出かけたくなるような地域づくりを進めることで、“活気あふれる元気な「まち」”の実現に寄与します。				
担当部課	市民自治部善行市民センター				



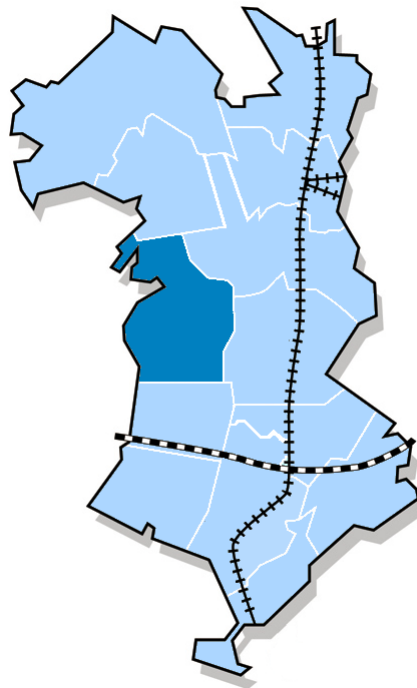


# 藤沢市新総合計画

## 湘南大庭地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

住みたい，住み続けたいまち，湘南大庭



---

## 地区のあらまし

---

湘南大庭地区の人口は、2010年（平成22年）12月1日現在で、31,985人で全市の7.9%を占めています。65歳以上の人口が占める割合（高齢化率）は、19.6%で13地区の中では6番目に低い地区となっていますが、10年後の2020年（平成32年）には、33.7%と推計されており、13地区で一番高齢化率が高い地区となり、急激に高齢化が進む地区となっています。

湘南大庭地区は、藤沢市の西北部、藤沢駅から4km、辻堂駅から2kmに位置し、面積は5.16km<sup>2</sup>、相模原台地、座間・高座丘陵の南端に属したゆるやかな起伏に富んだみどり豊かな丘陵地で、東境には引地川が流れ、大庭千石と呼ばれた水田地帯が広がり、西境には茅ヶ崎市のみどりと隣接する自然の豊かなところです。

15万年くらいまでは海底だったと言われ、1万年前くらい前に小さな集落ができたことが、大庭の城山・築山の遺構から推測されており、大庭城址をはじめとする歴史的文化的文化財も点在しているところです。

湘南大庭地区のまちづくりは、昭和40年代に押し寄せてきた無秩序な開発の波によるスプロール化を防ぎ、計画的な開発を行い優れた自然環境を保ち、農地と調和した新しい住宅市街地をつくることを目的として「都市と農業の調和するまち 湘南ライフタウン」の総合的まちづくりが行われたことによって始まっています。

---

## 地区の特色

---

「湘南ライフタウン」と呼ばれているこの地区の特色は、総合的なまちづくりが行われたゆえに、身近な自然を計画的に配置するなど様々な都市機能を併せ持つ藤沢市を代表する良好な住環境が魅力となっているまちであることです。

道路は、機能別に配置されており、生活道路は幹線道路の通過交通が入らない構造となっています。また、歩行者専用道路が設けられるなど歩行者の安全・安心も確保されています。

公園も計画的に配置され、街路樹も充実したみどり豊かな環境を提供しています。特に、四季折々に姿を変える大庭城址公園は、桜の名所でもあり、お花見の季節には市内外の多くの方々が楽しまれています。

大庭城にまつわる地名として二番構など数々の地名が残っており、舟地藏伝説は大庭城落城にまつわる悲しい物語として伝承されています。また、臺谷戸稲荷の森は昔の大庭の原風景を見ることのできる貴重な自然としてひっそりと残されており、市天然記念物にも指定がされています。

コミュニティは、「湘南大庭ふるさとまつり」によって成熟が図られてきています。湘南大庭市民センター・公民館の立地を活かして多くの人たちの参加によって地域全体が楽しめるコミュニティの場として発展をし、毎年、1万人の方々が地域あげてのまつりを楽しんでいます。



---

## 湘南大庭経営会議

---

10年後には、市内で一番高齢化率の高い地区になると予想されている湘南大庭地区では、高齢化への対応が大きな課題です。湘南大庭に長年住んでいる生活者の視点で高齢化を前提とした事業について、まちづくり課題検討部会など3部会を設け、真剣な議論をしています。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 人と人がつながり、ご近所力が発揮されるまち

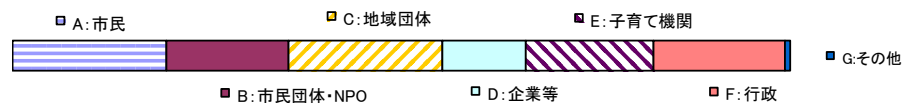
【成果指標】

①地域活動に参加したことがある人の割合

【現状値】①43%

【めざそう値】3年後：①50% 6年後：①57.5%

【役割の担い手】①A:20% B:16% C:20% D:10% E:16% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 あいさつ・声かけ運動の推進

<成果の視点> あいさつ・声かけ運動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 年代別地域活動に参加したことがある人の割合 (20代~40代)

○実施事業 地域見守り隊事業

地域交流コミュニティプラザ開設事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

【地域まちづくり目標】

02 地域の育みがあり、親子が安心して健やかな子育てができるまち

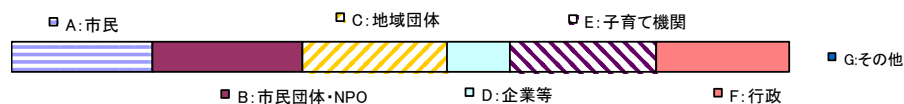
【成果指標】

①様々な活動団体が、子育てに関わっていると感じる人の割合

【現状値】①31%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:19% C:19% D:8% E:19% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－２》 子育てに関する人の交流と情報交換の場の拡充

<成果の視点> 子育ての交流の場を利用する人が増えていること

〔主要な指標〕 子育てサロン利用者数

○実施事業 ニコニコ子育て応援隊事業

子育てサロン拡充事業

中高生プラザ開設事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

### 23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 地域に根ざした身近な保健・福祉・医療・健康のあるまち

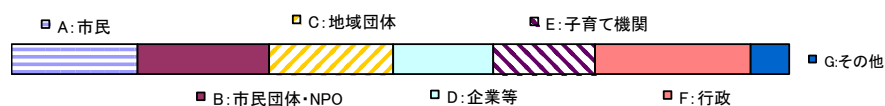
【成果指標】

①健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①37%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①52.5%

【役割の担い手】 ①A:16% B:17% C:16% D:13% E:13% F:20% G:5%



《地域まちづくり活動》

《活動－３》 保健・福祉・医療が連携するネットワークの推進

<成果の視点> 保健・福祉・医療に関するサービスが充実していること

〔主要な指標〕 相談者数

○実施事業 健康なんでも相談事業

都市ビジョン2  
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

04 誰でもが安心して暮らしやすいまち

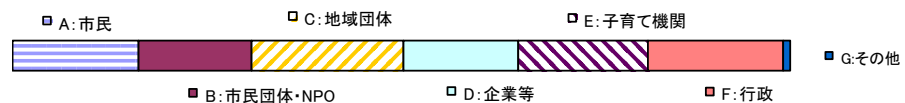
【成果指標】

①地域に暮らしやすさを感じる人の割合

【現状値】 ①72%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①90%

【役割の担い手】 ①A:16% B:15% C:19% D:15% E:17% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-4》 要援護者支援体制の推進

<成果の視点> 要援護者支援体制を整備した自治会が増えていること

〔主要な指標〕 地域に暮らしやすさを感じる 70歳以上の人の割合

○実施事業 要援護者把握促進支援事業

《活動-5》 高齢者・障がい者が暮らしやすい環境の推進

<成果の視点> バリアフリー化が進んでいること

〔主要な指標〕 地域に暮らしやすさを感じる 70歳以上の人の割合

○実施事業 歩行空間バリアフリー事業

中高層住宅エレベーター設置事業

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

【地域まちづくり目標】

05 地域の安全・安心を地域の活動で支え合えるまち

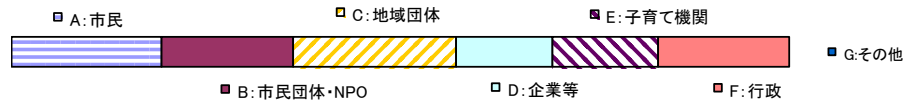
【成果指標】

①防犯パトロール参加者実績

【現状値】 ①20,290人

【めざそう値】 3年後：①23,000人 6年後：①25,000人

【役割の担い手】 ①A:19% B:17% C:21% D:12% E:14% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 安全・安心のまちづくり実践活動の充実と推進

<成果の視点> 防犯活動・交通安全啓発活動・防災活動などが活発であること

〔主要な指標〕 交通安全教室などイベントへの参加者数

○実施事業 安全安心活動推進事業

【地域まちづくり目標】

06 地域の人と顔と顔がわかるふれ合いのまち

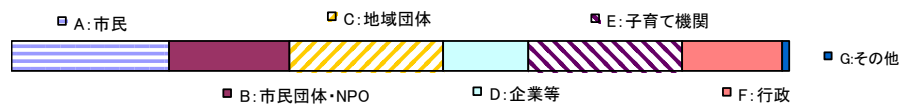
【成果指標】

①近所の方に挨拶や声かけをしている人の割合

【現状値】 ①59%

【めざそう値】 3年後：①65% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:20% B:15% C:20% D:11% E:20% F:13% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 地域住民が多数参加するイベント・事業の充実

<成果の視点> イベントや活動などが自治会でも活発に行われていること

〔主要な指標〕 物品の貸出等活動支援問い合わせ件数

○実施事業 ふれあい活動推進事業

【地域まちづくり目標】

07 自治会と様々な地域まちづくり活動が連携しているまち

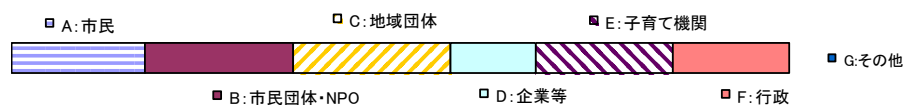
【成果指標】

①地域に支えられていると実感する人の割合

【現状値】 ①26%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:17% B:19% C:20% D:11% E:18% F:15% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 自治会と地域団体との連携事業の推進

<成果の視点> 様々な共催・連携事業が活発に行われていること

〔主要な指標〕 地域に支えられていると実感する若い人の数

○実施事業 地域団体参加者増加事業

《活動－9》 地区防災活動事業（共助）の推進

<成果の視点> 防災訓練などの防災活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 防災リーダー会活動事業数

○実施事業 防災活動推進事業

## 藤沢づくりのめざす方向性

### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

## ふじさわ未来課題

### 35 まちと自然環境の調和がとれていること

【地域まちづくり目標】

#### 08 住民参加で自然環境が守られているまち

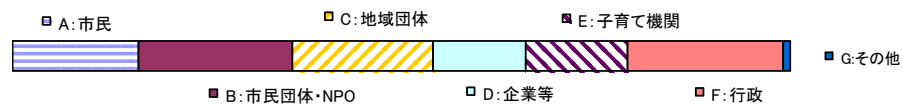
【成果指標】

①公園愛護会・美化ネット等の参加者数

【現状値】①2,757人

【めざそう値】3年後：①2,800人 6年後：①2,900人

【役割の担い手】①A:16% B:20% C:18% D:12% E:13% F:20% G:1%



## 《地域まちづくり活動》

《活動-10》 花と緑あふれるまちづくり活動の推進

<成果の視点> 公園愛護会や美化ネットが積極的に活動していること

〔主要な指標〕 公園愛護会・美化ネット等の活動数

○実施事業 街路樹景観保全事業

## 藤沢づくりのめざす方向性

### 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

## ふじさわ未来課題

### 49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

#### 09 エコタウンの実現が地域力・市民力で実践されるまち

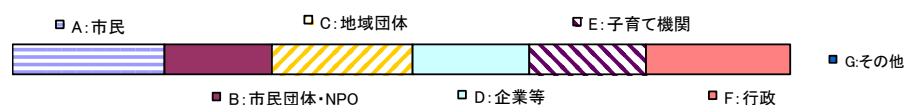
【成果指標】

①ごみの分別や節電など環境を意識した行動をしている人の割合

【現状値】①73%

【めざそう値】3年後：①80% 6年後：①87.5%

【役割の担い手】①A:19% B:14% C:18% D:15% E:15% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－11》 CO2 排出量削減に向けての啓蒙啓発活動の推進

＜成果の視点＞ 地域での低炭素社会への理解が広がっていること

〔主要な指標〕 一人当たりのゴミ排出量

- 実施事業 エコタウン化啓発事業  
ハイブリット発電導入事業

【地域まちづくり目標】

10 環境美化の向上が地域住民の高い意識で進められるまち

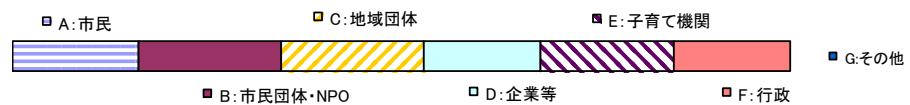
【成果指標】

①地区内環境美化活動の実施回数

【現状値】 ①143 件

【めざそう値】 3年後：①165 件 6年後：①180 件

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:19% D:15% E:17% F:15% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 環境美化活動への参加の促進

＜成果の視点＞ 地区内の環境美化活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 ボランティア清掃参加者数

- 実施事業 地域のゴミゼロ運動推進事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

11 若い人が住みたい、住み続けたいまち

【成果指標】

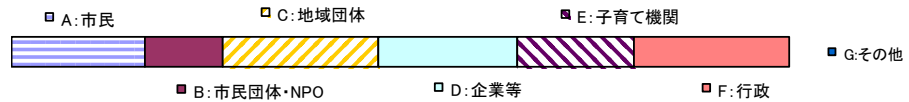
①地域に住み続けたいと思う人の割合

【現状値】 ①67%

【めざそう値】 3年後：①75% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:17% B:10% C:20% D:18% E:15% F:20% G:0%





《地域まちづくり活動》

《活動－13》 住宅環境・生活利便性・子育て環境等の向上

<成果の視点> 地域に若い人の活気があふれていること

[主要な指標] 地域に住み続けたいと思う若い人の割合 (40歳以下)

○実施事業 住まいの環境等調査研究事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

12 様々な公共的施設が誰からも親しまれ、守られ、活用されるまち

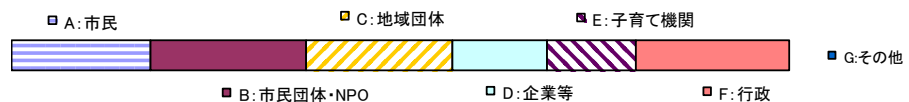
【成果指標】

①地域の公共施設を次世代のためによりよい状態で引き継いでいると感じる人の割合

【現状値】 ①19%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①32.5%

【役割の担い手】 ①A:18% B:20% C:19% D:12% E:11% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 市民の家、自治会館等を利用した新たな地域コミュニティ活動の推進

<成果の視点> 公共施設の利用がより活発になっていること。

[主要な指標] コミュニティサロン利用者数

○実施事業 コミュニティサロン開設事業

【地域まちづくり目標】

13 地域住民が活用できる憩いのある公園のあるまち

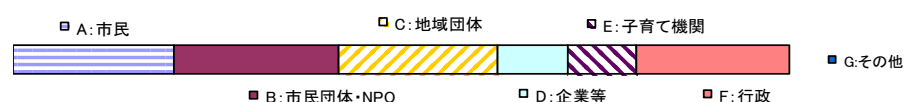
【成果指標】

①地域に、公園などの憩いの場があると感じる人の割合

【現状値】 ①78%

【めざそう値】 3年後：①80% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:21% B:21% C:20% D:9% E:9% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－15》 地域に親しまれ、憩える公園としての維持・整備・活用の推進  
＜成果の視点＞ 身近な公園が活発に利用されていること。

〔主要な指標〕 公園の整備・改修進捗率

- 実施事業 二番構公園再整備事業
- 健康増進公園改修事業

藤沢づくりのめざす方向性

**9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出**

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげていくことをめざします。

ふじさわ未来課題

**76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること**

【地域まちづくり目標】

**14 湘南大庭のライフスタイルが感じられるまち**

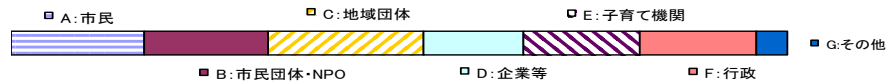
【成果指標】

①ライフスタイルが尊重されていると感じる人の割合

【現状値】 ①33%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:20% D:13% E:15% F:15% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 地域資源を活用した魅力ある事業の推進

＜成果の視点＞ 各種イベントに訪れる人が年々増えていること

〔主要な指標〕 マップ配布数

- 実施事業 地域魅力発掘事業

【地域まちづくり目標】

**15 人に優しい交通アクセスによって訪れたい・住みたいまち**

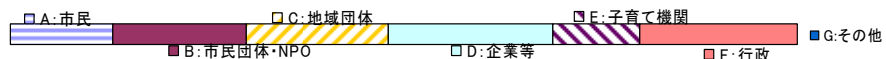
【成果指標】

①交通利便性が高いと感じている人の割合

【現状値】 ①48%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:13% B:17% C:18% D:21% E:11% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－17》 効率的でまちに優しい新たな交通システムの検討の促進

＜成果の視点＞ 地域住民の意見が十分に検討に活かされていること

〔主要な指標〕 新たな交通システムの企画立案数

- 実施事業 地域交通システム検討事業

事業名	地域見守り隊事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>子どもの安全安心に関する環境の変化が社会的問題となっており、学校・家庭・地域が連携して安全確保を図っていく必要があります。</p> <p>安全安心を推進するため既に活動している「おはようボランティア」、「スクールガードリーダー」、「学校安全サポーター」などによる声かけ・あいさつ運動を拡充し、学校・家庭・地域が連携して地域全体で見守る体制の整備により子どもたちの安全確保を図っていきます。</p> <p>1 声かけ・あいさつ運動の拡充 2 放課後見守り活動の推進</p>					
活動指標	おはようボランティア登録者(累計)					
目標値	現状値	43人	3年後目標値	55人	6年後目標値	70人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	安全安心活動をしている団体・個人が連携・協力することで、地域全体での見守り体制の整備・強化が進むことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	子どもの安全確保を目的とした事業により、地域の交流の輪が広がり気軽に声を掛け合える環境づくりが進むことから、「人と人とのつながり、ご近所力が発揮されるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	地域交流コミュニティプラザ開設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域交流コミュニティプラザは、複合的な目的・機能を有する新たな地域コミュニケーションの拠点として、遊休市有地(保留地等)を有効活用して開設を進めます。</p> <p>子どもから高齢者、障がい者まで、誰でもが集い活動することにより新たなコミュニケーションの醸成をめざします。</p> <p>1 地域住民や地域団体との調整 2 必要機能の検討</p>					
活動指標	コミュニティプラザ構想の策定率(提言)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民及び関連地域団体は、世代間の交流や活動団体間の交流などによって、新たな地域活動への発展及び新たなコミュニケーションにより地域力を高め、みんなで助け合う共助のまちづくりが期待されます。建設運営は公民連携事業として進めることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	計画・提案	実施	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	コミュニティプラザの必要性等を検討する過程で、地域の課題があらためて認識されるとともに、住民相互の意思疎通が図られることにより、「人と人とのつながり、ご近所力が発揮されるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	ニコニコ子育て応援隊事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-02-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>安心して子育てができる環境の整備や支援は、子育て環境の変化によって多くの潜在的ニーズがあり、子育てに優しいまちづくりを実現するためには、いつでも相談ができる体制づくりや親子の交流の促進を図る必要があります。</p> <p>子育て関係団体等の組織化・ネットワーク化を図ることにより、子育てサークル間の交流や子育て中の親同士の交流を促進し、地域の子育て環境を整備します。</p> <p>1 保育ボランティアや子育て経験者など子育て応援支援者の拡充と活用 2 組織化・ネットワーク化の推進</p>					
活動指標	子育て支援者の拡大とネットワーク化率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	80%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	子育て中の家庭をはじめ、ボランティア、地域団体が協力体制を強化することで、保育ボランティアや子育て経験者による子育てネットワーク化が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	子育て応援者や子育てサークル等のネットワーク化を図ることにより子育てコミュニケーションが醸成され、「地域の育みがあり、親子が安心して健やかな子育てができるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	子育てサロン拡充事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-02-2-2	地域分権区分					
事業内容	<p>大庭子育てサロン「ぴよぴよ広場」は、地域団体の運営により月1回開催されています。</p> <p>子育てサロンは、親子が気軽に集える場所、親子同士が気軽に交流できる場としてニーズが高いため、その拡充を検討します。</p> <p>1 開催回数増と開催場所の多様化の検討 2 ニコニコ子育て応援隊事業との連携による内容の充実</p>					
活動指標	サロンの開催数(月間)					
目標値	現状値	1回	3年後目標値	2回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	子育てサロンに関連する地域団体が活動の場の拡充を図ることにより、子育ての環境整備が推進されることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	子育て中の親と子どもが気軽に集える場として子育てサロンはニーズが高く、また、協力者相互の連帯感の強化や参加者同士の交流が将来の地域活動につながります。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	中高生プラザ開設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-13-02-2-3	地域分権区分					
事業内容	<p>子ども子育て環境の整備が進む中で、中高生の居場所づくりが課題として浮き彫りにされてきています。いつでも集える場所、仲間づくりの場所、子どもから中高生までの幅広いニーズに対応することができる中高生プラザの開設を進めます。</p> <p>中高生プラザについては、地域交流コミュニティプラザ内への開設とし、世代間交流ができる機会と場の提供もめざしていきます。</p> <p>1 実態調査の実施 2 青少年関連団体及び地区内学校との調整</p>					
活動指標	中高生プラザ構想の策定率(提言)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	学校をはじめ地域の青少年関係団体との連携をとりながら中高生の実態を把握する中で、地域全体で課題解決を図っていくことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25	→		
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→
期待される事業の成果	青少年の居場所づくりは地域課題の一つであり、この事業により中高生が地域にとけ込める環境づくりを進めることで、「地域の育みがあり、親子が安心して健やかな子育てができるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	健康なんでも相談事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-23-03-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>生き生きと安心して暮らせる環境を整えるためには、地域住民が自らの健康づくりを心がける必要があります。地域住民の健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。</p> <p>1 それぞれの世代にあった健康づくりに関する講演会及び健康相談会の開催 2 地域への啓蒙啓発活動の実施</p>					
活動指標	健康相談事業の実施階数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民個々が抱える健康への考え方が様々ある中で、医師会との連携を強化することで、地域医療体制の充実が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25	→		
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	湘南大庭地区で開業している医師を中心に講演・相談事業を実施することで、健康づくりがより日常的なものとなり、「地域に根ざした身近な保健・福祉・医療・健康のあるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	要援護者把握促進支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-31-04-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>要援護者支援を進めるためには、自治会・町内会もしくは自主防災会単位でその地区の要援護者の状況を把握する必要があります。</p> <p>市から提供される要援護者情報のほか、市では得られない要援護者情報を把握し、共助のまちづくりが推進されるよう関係機関と共に把握促進を支援し、災害時の安全確保の仕組みづくりを進めます。</p> <p>1 湘南大庭地区防災協議会との調整 2 自治会・町内会への啓蒙啓発活動の推進</p>					
活動指標	要援護者支援体制が確立された自治会・町内会数					
目標値	現状値	0自治会等	3年後目標値	20自治会等	6年後目標値	40自治会等
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	要援護者支援を進めるためには自治会・町内会、防災協会等の地域力を持って進めることが必要とされるため、関連地域団体の自主的活動が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	要援護者の把握は個人情報との関連から慎重な取り組みが求められますが、災害時等には人命に関わることから地区内への啓発活動を展開することで、「誰もが安心して暮らしやすいまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	歩行空間バリアフリー事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-31-04-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者・障がい者などすべての人にとって、「歩いて優しいまち」「歩いて楽しいまち」の実現に向けて、地域住民や団体等の意見を取り入れながら、歩行空間の整備を促進します。</p> <p>1 歩道の段差の解消等のバリアフリー化の推進</p>					
活動指標	歩道の段差の解消箇所数					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	75か所	6年後目標値	137か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	自治会・町内会や高齢者関連団体など、地域力を持って進めることが最も適切であるため、その役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→		
期待される事業の成果	急速な高齢化の進展が予測されている湘南大庭地区において、高齢者・障がい者が外出しやすいまちづくりを進めることで「誰もが安心して暮らしやすいまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					


事業名	中高層住宅エレベーター設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-31-04-5-2	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南大庭地区は、高層・中層・低層の住宅が計画的に配置された街並みになっています。</p> <p>急速な高齢化を迎える中で中層住宅における高齢者の移動手段が課題として浮き彫りになり、高齢者の引き籠もりも懸念がされるようになってきているため、中高層住宅へのエレベーター設置事業について調査・研究・検討を進めます。</p> <p>1 他都市の事例研究 2 地区内の実態調査 3 実現可能性の検討</p>					
活動指標	中高層住宅へエレベーター設置構想の策定率(提言)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民と地域団体による現状把握と対応策の検討が期待されるとともに、市は設置に伴う助成及び、代替措置の斡旋などの支援を検討します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->					
	検討	→	→			
(市域全体)						
期待される事業の成果	高齢者の社会参加を阻む要因を除外する方策を検討することで、「誰もが安心して暮らしやすいまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					


事業名	安全安心活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-34-05-6-1	地域分権区分					
事業内容	<p>安全・安心のまちづくりを地域活動により進めていくため、地域諸団体との協働により、安全安心活動推進事業を実施します。</p> <p>1 自治会町内会等における防犯パトロール隊の結成・活動の推進 2 防犯協会等による青色パトロール隊活動の推進 3 交通安全対策協議会と学校関係者及び地域住民による交通安全教室等交通マナー向上の推進 4 防災協議会等防災関係団体による防災意識の啓蒙活動の推進</p>					
活動指標	防犯パトロールへの参加者数(累計)					
目標値	現状値	20,290人	3年後目標値	23,000人	6年後目標値	25,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	事業の実施に当たっては、湘南大庭地区全域での活動展開が必要とされるため、安全安心活動を行っている諸団体等と市が連携して活動を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->					
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	防犯パトロール活動や防犯講演会の開催などにより地区内の犯罪発生を未然に防ぐとともに、高齢化が進んでも安心して暮らせる環境を地域住民の連携により維持することで、「地域の安全・安心を地域の活動で支えるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	ふれあい活動推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-34-06-7-1	地域分権区分						
事業内容	地域活動の基礎団体である自治会・町内会の活動を活性化することにより地域内のコミュニケーションの醸成と、地域住民のふれあい・助け合いの輪の発展を図る事業を実施します。 1 自主的活動に必要な物品等の貸出 2 活動推進への助言						
	活動指標	自治会等活動の支援団体数(累計)					
	目標値	現状値	22団体	3年後目標値	35団体	6年後目標値	50団体
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市民団体が中心となり自治会・町内会等の活動支援を実施することで、地域活動が盛んになるとともに、住民相互の交流事業が活発に行われることが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	近所づきあいが少なくなる中で、接点となる地域活動を活発化することで、「地域の人の顔と顔がわかるふれ合いのまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター						

事業名	地域団体参加者増加事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-4-34-07-8-1	地域分権区分						
事業内容	地域諸団体で活動している地域住民は固定化現象にあり、活動の発展への足がかりが求められています。各団体の活動目的に対する意欲ある地域住民の参加によって、団体も発展が図られることから地域活動への参加を促進します。 1 団体活動説明会の開催 2 地域団体意見交換会の開催						
	活動指標	地域諸団体会議の開催					
	目標値	現状値	2回	3年後目標値	3回	6年後目標値	4回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域諸団体では、住民参加によりそれぞれ目的を持った活動が行われており、地域の様々な分野で行政の補完的役割を担っているため、新たな地域力を持った住民が参加する活動が期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	地域諸団体の活動内容を自治会長・町内会長に紹介することで、地域活動への参加者数が増加して「自治会と様々な地域まちづくり活動が連携しているまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター						

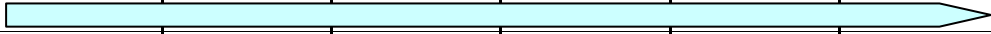


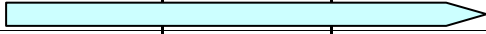
事業名	防災活動推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-34-07-9-1	地域分権区分						
事業内容	自治会・町内会等における自主防災組織において、その団体ごとの防災意識に大きな差異が見られており、地域全体での地域防災力の強化を進めるための支援が必要となっています。 現在活動している意識と意欲ある地域住民を主体として、防災活動を進めます。 1 自主防災ネットワークの構築 2 災害ボランティアネットワークサテライトの設立 3 新たな防災団体としての防災リーダー会の活動支援						
	活動指標	防災リーダー会参加人数(累計)					
	目標値	現状値	50人	3年後目標値	70人	6年後目標値	90人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、防災意識の高い住民による地域防災力の強化を図るため、防災協議会が中心となって、自治体・町内会等の組織間のコミュニケーションを円滑にするとともに、啓発活動を実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	湘南大庭地区内における防災意識は自治会・町内会により大きな差があるため、防災活動推進事業を進めることにより、「自治会と様々な地域まちづくり活動が連携しているまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター						

事業名	街路樹景観保全事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-5-35-08-10-1	地域分権区分						
事業内容	まちと自然が調和している街路樹は、地域資源として重要であり、中央けやき通りのけやき並木は藤沢市景観ベストテンにも選定されています。 この地域資源としての景観を長く保全し、維持していくため、けやきを良好な状態に保つ景観保全事業を実施します。 1 地域住民及び関連地域団体からの意見収集 2 けやきの剪定						
	活動指標	けやき並木の景観整備率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、地域住民の意見を聞きながら事業を推進します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
							
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	地域のシンボルであるけやき並木の景観を保つことにより、地域への愛着を住民が持ち続けることが地区内全域の環境保護意識の啓発につながり、「住民参加で自然環境が守られているまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター						

事業名	エコタウン化啓発事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-09-11-1	地域分権区分					
事業内容	一人ひとりの小さなエコ活動から始まるエコタウンを実現するため、省エネやエコ対策などの講習会を開催し地域住民の意識の啓発を図るとともに、エコ商品の活用・転換の促進を図ります。 1 環境関連団体等との活動内容の調整 2 研修会・講習会の開催					
活動指標	啓発事業の実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域での低炭素社会に向けた取り組みを進めるためには、地域住民一人ひとりのエコ活動が必要とされるため、その自主性を支援する取り組みを地域団体と市で進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地区内でエコ活動の啓発活動を進めることで、「人々の環境への意識が高く、快適なまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	ハイブリッド発電導入事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-09-11-2	地域分権区分					
事業内容	地区内の公園は、地域の憩いの場であるとともに災害時の一時避難場所等にも利用されるため、園灯と園内の公衆トイレを改修して公園の省エネ化と災害時の照明確保と電力供給を図ります。 1 公園内に設置してある園灯のハイブリッド発電灯への転換 2 園内の公衆トイレへの太陽光発電装置の設置					
活動指標	省エネ園灯の設置数(累計)					
目標値	現状値	0灯	3年後目標値	8灯	6年後目標値	20灯
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、公園利用者の意見を聞きながら、利用者視点に立った整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
		検討・実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	公園という身近な場所にハイブリッド発電灯を導入し、地域住民の環境意識啓発を図ることで、「人々の環境への意識が高く、快適なまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	地域のゴミゼロ運動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-6-49-10-12-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の環境美化活動として実施されている「ポイ捨て無くし隊」は、道路・公園のポイ捨てごみ(不法投棄ごみ)を多くのボランティアが清掃する事業です。</p> <p>この活動への参加者の拡充を図ることにより、ごみの落ちていない、きれいなまちの実現を図るとともに地域一体となった環境美化活動の推進を図ります。</p> <p>1 ポイ捨て無くし隊活動の拡充 2 美化ネット・公園愛護会との連携</p>					
活動指標	ボランティア清掃回数(年間)					
目標値	現状値	143件	3年後目標値	165件	6年後目標値	180件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域の環境美化活動としてのボランティア清掃や団体活動としてのポイ捨て無くし隊活動が積極的に行われています。市は、地域のゴミゼロ運動をさらに推進するため、地域住民が主体的な活動を継続実施できるような支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	事業には小学生から高齢者まで幅広い年齢層が参加するため、年代を超えて、自分たちのまちの環境は自分たちで守るという意識の高揚が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	住まいの環境等調査研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-57-11-13-1	地域分権区分					
事業内容	<p>次世代の若い人が住みたいと思うような環境づくりについて、住まいの環境や生活利便性及び保育所の整備などの子育て環境等の条件について調査し、今後の「住みたい、住み続けたいまち湘南大庭」のまちづくりについて研究を行います。</p> <p>1 地域住民からの意見収集の実施 2 調査結果の分析と対策の検討</p>					
活動指標	住まいの環境等調査の実施率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	住まいの環境等調査研究事業は、住みたい住み続けたいまちであるための住環境等の条件調査を実施するものであり、地域住民が生活者の視点で、市と連携し調査を行い、研究します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施	→	→			
期待される事業の成果	第2世代が湘南大庭地区に住まないことが課題となっている中で、その原因を調査し対応策を検討することで、「若い人が住みたい、住み続けたいまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

事業名	コミュニティサロン開設事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-71-12-14-1	地域分権区分						
事業内容	地区内の公共的施設としてその利用率が課題とされている市民の家、自治会館、小中学校の空き教室を活用して新たな地域コミュニティ活動の推進の場となるコミュニティサロンを開設します。 1 地区内公共施設の実態調査の実施 2 関連団体との調整						
	活動指標	コミュニティサロンの開設数(累計)					
	目標値	現状値	0か所	3年後目標値	4か所	6年後目標値	10か所
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民で構成される自治会・町内会や地域団体が主体的にコミュニティサロン開設事業に取り組むことで、地域住民への交流の場の提供と地区内の公共施設等の有効活用が図られることが期待されます。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	施設の有効活用と身近な場所で気軽に参加することができる、新たなコミュニティの場の設置が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター						

事業名	二番構公園再整備事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-71-13-15-1	地域分権区分						
事業内容	二番構公園が持つ特性を活かし、地域の憩いの公園として、また、人々が交流できる場として整備を図ります。 1 地区内で唯一水辺のある公園として、水辺の再生・整備 2 誰でも利用できる公園として園内のバリアフリー化の整備 3 憩える公園としてサクラ・フジ・水辺のライトアップ事業の実施						
	活動指標	憩いの公園への整備率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域住民と連携し意見を聞きながら、整備を進めます。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→				
(市域全体)							
期待される事業の成果	計画的なまちづくりが行われた湘南大庭地区を象徴する公園として、二番構公園を再整備することにより、「地域住民が活用できる憩いのある公園のあるまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター						

事業名		健康増進公園改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-71-13-15-2	地域分権区分						
事業内容	<p>生き生き健康づくりのまちづくりを推進するため、日頃からの健康づくりを身近なところで行えるよう街区公園に健康遊具を設置し健康増進公園として整備します。</p> <p>1 公園愛護会・老人会等の関連団体との協議 2 大庭・滝の沢・駒寄・小糸の4地区に2公園ずつ8公園を整備</p>						
活動指標	健康遊具の設置公園数						
目標値	現状値	1公園	3年後目標値	4公園	6年後目標値	8公園	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市は、公園愛護会や老人会などの地域住民と連携し、整備を進めます。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(地域)	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→			
(市域全体)							
期待される事業の成果	身近にある公園を健康づくりに役立てる場として位置づけることにより、「地域住民が活用できる憩いのある公園のあるまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター						

事業名		地域魅力発掘事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-9-76-14-16-1	地域分権区分						
事業内容	<p>地域の歴史・文化をはじめとする地域魅力の発掘を図り、改訂版「ふるさとマップ」を作成し、広く地域魅力の発信を行います。</p> <p>1 実施団体の選定 2 地域資源の調査研究 3 改訂版「ふるさとマップ」の作成 4 湘南大庭地域指定文化財(独自)の指定を検討</p>						
活動指標	地域の魅力を発信するマップ作成進捗率						
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地域住民・地域団体が主体的に地域魅力発掘事業に取り組むことが期待されます。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(地域)	H23	H24	H25				
	検討	検討・実施	実施				
(市域全体)							
期待される事業の成果	地域の名所、旧跡をあらためて調査、発掘することで地域の魅力を再認識し、「訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があるまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター						

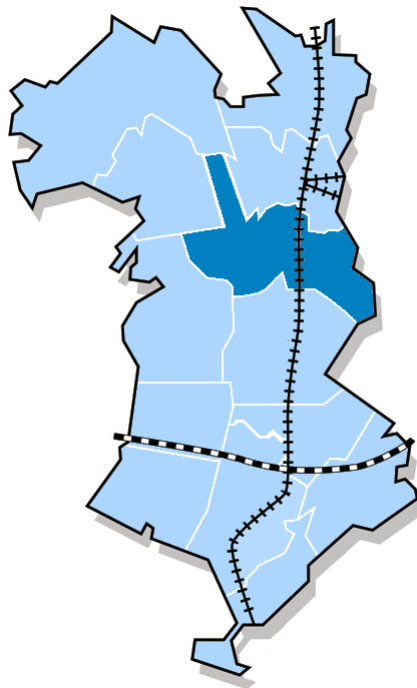
事業名	地域交通システム検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-9-76-15-17-1	地域分権区分					
事業内容	<p>公共交通システムとしてバス交通のみが唯一の手段である湘南大庭地区における、低炭素時代に応じた新交通システムの調査研究を行います。</p> <p>また、急激な高齢化の進展を考慮した移動に優しい交通システムについても調査研究を行います。</p> <p>1 新南北線推進事業との調整 2 バス交通支援事業との調整</p>					
活動指標	新たな地域にあった交通システムの研究進捗率(提言)					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域住民が生活者の視点で、現行の交通システムから次世代に向けた新たな交通システムへの転換、改善等を調査研究することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	-----	-----	→			
(市域全体)	検討	→	提案			
期待される事業の成果	都心部に通勤していた年代層のリタイアによって必要とされる交通システムが変化してきています。現状を分析し将来にわたってこの地区に必要とされる交通システムを検討することにより、「訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南大庭市民センター					

# 藤沢市新総合計画

## 六会地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

素的なふるさと六会



---

## 地区のあらまし

---

1878年（明治11年）大小区制の廃止と郡区町村編成法の制定によって亀井野・石川・西俣野・円行・今田・下土棚による6ヶ村組合が設立され、1888年（明治21年）町村制の施行により六会村が誕生しました。以後約55年間、村政が維持され、1942年（昭和17年）に藤沢市と合併し、現在に至っています。

藤沢市に合併当時の六会村は、人口4,996人の農業中心の地区でした。しかし、昭和30年代の工場誘致などを機に北部開発、六会・石川東部土地区画整理事業の進捗と小田急湘南台駅開設に伴い急激に都市化が進みました。この間、1972年（昭和47年）に下土棚が長後地区に、平成元年に円行・今田の大部分が湘南台地区へ移行し、2010年（平成22年）12月1日現在、人口32,815人が住む自然に恵まれた宅地、農地共存の地域となりました。

---

## 地区の特色

---

六会地区は自然環境に恵まれて、俣野地区を中心に多くの山林が残っています。地区を挟むように流れる境川・引地川の川面やそこに流れを注ぐ一色川周辺の河津桜などの風景、そして地域の歴史も古く、様々ないわれを伝える名所旧跡など散策に適したところが多いです。



地区の南部には多くの農地があり、四季折々に新鮮な野菜や果樹が生産されており、地域に暮らす人々にとってまさに地産地消を実践できる所となっています。その農地の広がりや遠くに望む富士山や丹沢連峰の山並みは人々の安らぎになっています。

地域に生活する方々にとって、皆さんに親しまれている市民センターと自治会を中心に、暮らしの環境について考え、地区団体等と連携し活動を展開している事は大きな特色です。

また、子どもたちを育む所が多いことも挙げられます。幼稚園・保育園をはじめ大学までが点在し、県や市の教育に関する施設もあります。その様な環境から、学校では親だけでなく、地域との連携も図りながら、子どもたちを育む活動を活発に行っています。

---

## 六会地区地域経営会議

---

2009年（平成21年）の12月、自治会加入の全世帯、小・中・大学生などを対象に「まちづくりアンケート」を実施し、約4,300人の方から回答をいただきました。

アンケートでご指摘いただいた個別課題は、「今後の六会のまちづくり」に活用させていただきます。

これからも、地域の皆さんの声を大切に分野別の4つのまちづくり部会を中心に地域主体のまちづくりを進め、新たなまちづくりのテーマや課題には、既存部会とは別に検討部会を立ち上げる等柔軟に対応し、地域の課題解決と「素的なふるさと六会」の実現をめざします。



都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 みんなが公共のマナーを守るまち

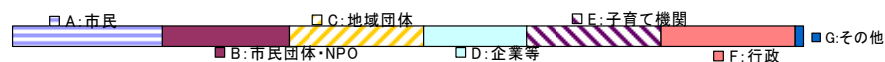
【成果指標】

①公共のマナーが守られていると感じている人の割合

【現状値】 ①22%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:17% D:13% E:17% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 迷惑行為撲滅活動の推進

<成果の視点> 地域から迷惑行為がなくなっていること

〔主要な指標〕 不法投棄件数

○実施事業 迷惑行為撲滅活動事業

《活動－2》 歩行者、自転車、車の通行ルール遵守活動の推進

<成果の視点> みんなが交通ルールを守り安全に移動できること

〔主要な指標〕 交通事故発生件数

○実施事業 人・自転車の事故を無くす活動事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

(関連未来課題 14)

【地域まちづくり目標】

02 子どもたちがのびのびと育っているまち

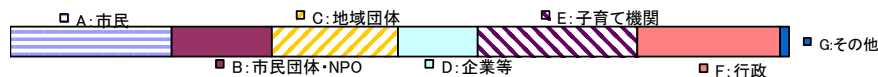
【成果指標】

①子どもたちがのびのびと育つ環境が整っていると感じている人の割合

【現状値】①31%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:21% B:13% C:16% D:10% E:20% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動-3》 身近で安心して子どもを産み育てやすい環境づくりの推進

<成果の視点> 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること

〔主要な指標〕 保育ボランティア登録数

○実施事業 子育て教室充実事業

《活動-4》 子どもたちが安心して遊べる環境の充実

<成果の視点> 子どもたちが安全で安心して遊べる環境が整っていること

〔主要な指標〕 子どもたちがのびのびと育つ環境が整っていると感じている親世代の割合（30代～40代）

○実施事業 モデル公園提案事業

《活動-5》 子どもたちの個々の能力を引き出し、高める教育の充実

<成果の視点> 教育環境が充実していること

〔主要な指標〕 学校支援コーディネーター数

○実施事業 学校支援活動充実事業

藤沢づくりのめざす方向性

3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

03 すべての世代がいきいきと活躍しているまち

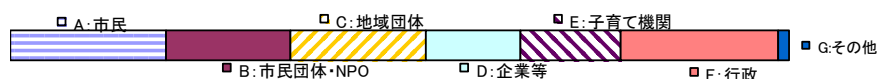
【成果指標】

①すべての世代がいきいきと活躍していると感じている人の割合

【現状値】①19%

【めざそう値】3年後：①30% 6年後：①45%

【役割の担い手】①A:20% B:16% C:17% D:12% E:13% F:21% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 福祉に関するコミュニティビジネスの創出

＜成果の視点＞ 地域のコミュニティビジネスが充実していること

〔主要な指標〕 地区内雇用相談件数

○実施事業 福祉に関するコミュニティビジネス創出事業

《活動－7》 高齢者や障がい者がおられる家庭への支援の充実

＜成果の視点＞ 高齢者や障がい者の方が暮らしやすいと感じていること

〔主要な指標〕 地区内ニーズへの対応件数

○実施事業 高齢者や障がい者がおられる家庭への支援充実事業

《活動－8》 高齢者が活躍できる環境づくりの推進

＜成果の視点＞ 高齢者が持っている能力を活かし、活躍できる環境が整っていること

〔主要な指標〕 高齢者を対象にした地区内講座数

○実施事業 高齢者の地域活動推進事業

都市ビジョン2  
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

(関連未来課題 24)

【地域まちづくり目標】

04 地域で支え合うあたたかいまち

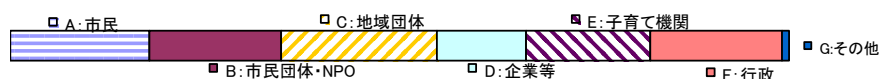
【成果指標】

①地域で支え合っていると感じている人の割合

【現状値】 ①28%

【めざそう値】 3年後：①35% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:20% D:11% E:16% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 地域の人たちの連帯感と信頼関係醸成活動の推進

＜成果の視点＞ 地域の人たちが信頼感を持って生活していること

〔主要な指標〕 地域の情報発信の頻度（媒体数や更新数）

○実施事業 地域活動の広報・宣伝活動の推進事業

《活動－10》 ボランティア活動の推進

＜成果の視点＞ 地域でボランティアが育ち活発な活動が行われていること

〔主要な指標〕 ボランティアの活動件数

- 実施事業 ボランティアセンターの設立と組織化事業  
まちづくりボランティアセンターの設立事業

《活動－11》 六会日大前駅周辺のにぎわいの創出

＜成果の視点＞ 街のにぎわいがあふれていること

〔主要な指標〕 六会日大前駅商店街会員数

- 実施事業 六会日大前駅周辺まちおこし事業

《活動－12》 地域の目と声で創る防犯活動の推進

＜成果の視点＞ 防犯パトロールや声かけで、犯罪のないまちにすること

〔主要な指標〕 防犯パトロール参加者数

- 実施事業 犯罪を減少させる活動事業

《活動－13》 ともに助け合う災害への備えの充実

＜成果の視点＞ お互いに支え合う連帯と信頼関係の中で、災害への備えが  
できていること

〔主要な指標〕 自主防災組織を保有する自治会数、地域で支え合っていると感  
じている60代、70代の人の割合

- 実施事業 要援護者対策の活動事業  
公園バリアフリー化提案事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

【地域まちづくり目標】

05 豊かな自然と文化を守り育てるまち

【成果指標】

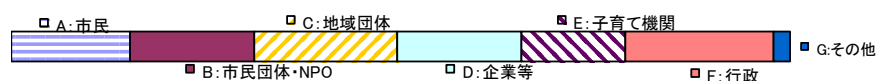
①自然が大切にされていると感じている人の割合

②文化が大切にされていると感じている人の割合

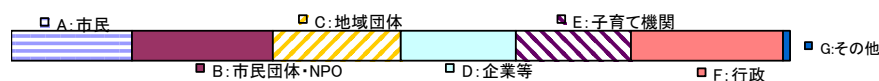
【現状値】 ①36% ②15%

【めざそう値】 3年後：①47.5% ②22.5% 6年後：①55% ②30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:18% D:16% E:13% F:20% G:2%



②A:15% B:18% C:16% D:15% E:15% F:20% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－14》 自然、景観の保全

＜成果の視点＞ 地域の自然環境や暮らしやすい街の景観が維持されていること

〔主要な指標〕 川のゴミ回収量

- 実施事業 引地川及び支流水質向上事業
- 引地川自然環境向上事業
- 石川丸山谷戸の保全事業

《活動－15》 文化的史跡の保全

＜成果の視点＞ 地域の伝統や文化が継承されていること

〔主要な指標〕 六会の指定文化財数

- 実施事業 六会の名所・旧跡保全事業
- 六会の伝統文化と歴史調査事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげてをめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること

【地域まちづくり目標】

06 みんなでつくろう きれいなまち

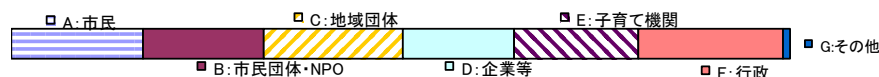
【成果指標】

①きれいなまちであると感じている人の割合

【現状値】 ①37%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:18% D:14% E:16% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 エコタウンむつあいの実現

＜成果の視点＞ エコ活動が地域全体で取り組まれていること

〔主要な指標〕 資源ゴミ排出量

- 実施事業 防犯灯LED化事業
- レジ袋削減事業

《活動－17》 住民による自主清掃活動の推進

＜成果の視点＞ みんなが地域の環境に関心を持ち自ら行動していること

〔主要な指標〕 地域清掃活動参加者数

○実施事業 地域清掃活動推進事業

《活動－18》 地域の美化活動の推進

＜成果の視点＞ 緑や花などによって街並みがきれいであること

〔主要な指標〕 美化活動参加人数

○実施事業 花の植栽活動による美しいまちづくり事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

07 生活しやすい交通環境ができていくまち

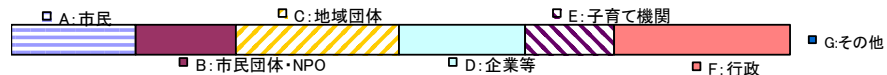
【成果指標】

- ①誰にも歩きやすい道路であると感じている人の割合
- ②道路や踏切が、通行するのに危ないと感じている人の割合
- ③道路や交通機関など、外出しやすい環境が整っていると感じている人の割合

【現状値】①21% ②55% ③35%

【めざそう値】3年後:①30% ②47.5% ③40% 6年後:①50% ②37.5% ③47.5%

【役割の担い手】①A:16% B:13% C:21% D:16% E:11% F:23% G:0%



②A:13% B:10% C:20% D:16% E:15% F:26% G:0%



③A:12% B:14% C:16% D:19% E:14% F:23% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－19》 高齢者，障がい者も安心して通行できる交通環境づくりの推進

<成果の視点> 誰もが安心して移動できる街であること

[主要な指標] 歩きやすい道路であると感じている60歳以上の人の割合

○実施事業 **バリアフリー化支援活動事業**

《活動－20》 交通の利便性と安全性の充実

<成果の視点> 誰もが安全に移動できヒヤリハットがない街であること

[主要な指標] 交通事故発生件数

○実施事業 **踏み切り安全対策事業**

**交通不便地区解消検討事業**

藤沢づくりのめざす方向性

**8 公共資産の維持管理と有効活用**

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに，公共施設の集約・移転等により生じる跡地，施設の有効活用，地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには，公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて，既存施設の保全，再構築，機能更新など，社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

**71 多様な連携を通じて，市民が望むサービスが提供されていること**

【地域まちづくり目標】

**08 市民センターによる効率的なサービス提供がされるまち**

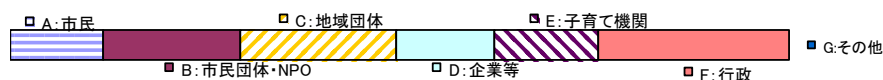
【成果指標】

①多機能な市民センターを身近に感じている人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:12% B:18% C:20% D:13% E:13% F:24% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－21》 市民センターを中心とした多機能化の推進

<成果の視点> 地域の人たちの意見が建て替え計画に十分反映されていること

[主要な指標] 市民センターの利用者数

○実施事業 **市民センター多機能化事業**

《活動－22》 公共資産の有効活用の推進

<成果の視点> 公共施設などが地域の人たちに十分活用されていること

[主要な指標] 市民の家稼働率

○実施事業 **公共施設の有効活用事業**

藤沢づくりのめざす方向性

## 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 79 市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること

【地域まちづくり目標】

##### 09 住んでいることを自慢できるまち

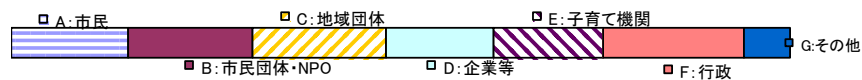
【成果指標】

①六会を自慢できる人の割合

【現状値】 ①52%

【めざそう値】 3年後：①60% 6年後：①70%

【役割の担い手】 ①A:15% B:16% C:17% D:14% E:14% F:18% G:6%



《地域まちづくり活動》

《活動－23》 地域活動情報受発信の充実

＜成果の視点＞ 誰もが容易に地域の情報を受発信できること

〔主要な指標〕 地区ポータルサイトPV数（ページビュー数）

○実施事業 地区ポータルサイトの受発信の充実事業

《活動－24》 地区内団体との連携をベースにした地域経営会議の充実

＜成果の視点＞ 誰もが住み続けたいと思う地域であること

〔主要な指標〕 地域経営会議との連携団体数

○実施事業 地区内団体との連携事業



事業名 <b>迷惑行為撲滅活動事業</b>						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>自転車の運転・駐輪・ペットの飼育・ゴミ処理などの公共のマナーが守られていないことが、様々な迷惑行為となって市民生活に支障となっているため、生活環境協議会と協議し、地域市民が一体となったパトロールの実施等の具体的な迷惑行為撲滅活動を検討、実施します。</p> <p>1 迷惑行為撲滅活動の検討 2 地域市民が一体となったパトロール等の取り組みの検討</p>					
活動指標	公共マナーの意識改善率					
目標値	現状値	22%	3年後目標値	35%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民一人ひとりが担い手となり、地域が一体となって日常生活のマナーの遵守を呼びかける活動であることから、市民・地域・行政が連携して進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			→		
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域市民が一体となったパトロール等の取り組みを推進することにより、「みんなが公共のマナーを守るまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名 <b>人・自転車の事故を無くす活動事業</b>						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>バリアフリー化にあわせ、人・自転車の事故を無くす活動について、交通安全対策協議会とその活動計画を協議し、同協議会主導で活動を進め、地域経営会議が協力して活動を推進します。</p> <p>1 人・自転車の事故を無くす活動の推進</p>					
活動指標	交通事故件数(累計)					
目標値	現状値	126件	3年後目標値	111件	6年後目標値	96件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民と市、交通安全対策協議会が連携して事業を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			→		
	検討	計画	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	交通事故を無くす活動の推進により、「みんなが公共のマナーを守るまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	子育て教室充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-9-02-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>未就学児を持つ親の不安を解消するために、未就学児を持つ親を対象にした「子育て教室」の充実や、公共施設を利用した保育所の設置を検討します。</p> <p>また、事業の担い手である保育ボランティアの育成や人材バンクへの登録制度の創設も検討します。</p> <p>1 子育て教室の充実 2 公共施設を利用した保育所の設置検討 3 保育ボランティアの育成と人材バンク登録制度の検討</p>					
活動指標	保育ボランティア数(累計)					
目標値	現状値	12人	3年後目標値	30人	6年後目標値	50人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民と地域が協力し、市と連携しながら事業を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	市では、待機児童が年々増加しています。六会地区では待機児童数0を目標に活動を展開することで、すべての親が子どもを身近で安心してのびのびと育てられる環境づくり体制の整備が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	モデル公園提案事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-9-02-4-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>地区内には28の公園があります。立地条件・規模・利用者の現状等それぞれ特徴がありますが、子どもから大人まで安心して遊べる公園等について、地域の要望(自治会・町内会、公園愛護会連絡協議会等)も踏まえ多方面から検討し、地域の特徴を活かして全世代が利用しやすい公園を提案します。</p> <p>1 地区内の公園に関するニーズ調査の実施 2 日本大学生物資源科学部などとの協働によるモデル公園のコンセプト、イメージ等の検討 3 モデル公園の設計</p>					
活動指標	28公園の提案書提出率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	60%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	一般利用者(市民)や自治会(市民団体)及び公園愛護会(市民ボランティア)等関連する主体が連携して進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	提案	検討・提案	→	→
(市域全体)			検討	計画・実施	→	→
期待される事業の成果	全世代が利用しやすい理想に近い公園像を提案することにより、子育て環境の充実が図られるとともに、地域の安らぎやコミュニケーションの空間が創設され、「子どもたちがのびのびと育っているまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

<b>事業名</b> 学校支援活動充実事業							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-2-9-02-5-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	「学校支援コーディネーター」と共に、地域全体で子どもの「育ち」や「学び」を支援する体制を整備します。また人材バンクの設置や学園都市むつあい協力者会議(三者連携)との連携を進めます。 1 地域で子どもたちの「育ち」「学び」を支援するための人材確保体制(人材バンク)の検討・設置 2 学園都市むつあい協力者会議(三者連携)との連携による事業実施 3 学校・家庭・地域の連携体制の一層の強化						
	活動指標	教育等の人材バンクの登録者数(累計)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	35人	6年後目標値	70人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	既に三者連携事業等で関係機関の協力が得られているため、引き続き、学校・家庭・地域が連携して事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→	→					
	検討	実施	→	→	→	→	
(地域)	→					→	
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→	
期待される事業の成果	学校支援活動の充実により、地域ぐるみで子どもたちを育てる環境・風土が形成され、「子どもたちがのびのびと育っているまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

<b>事業名</b> 福祉に関するコミュニティビジネス創出事業							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-23-03-6-1	地域分権区分						
事業内容	医療・介護・福祉に関する地域の課題を地域の資源(人材、施設等)を活用し、地域住民自らが主体となって有償ボランティアを含むビジネスの手法を用いて課題の解決に取り組みます。運営に当たっては、提供した商品・サービスの「対価・報酬」を得て活動し、組織の維持・継続性を保ち、地域の活性化にもつながる事業を創出します。 具体的には、有償運送や介護保険事業・障がい福祉サービス事業などで、2011年度(平成23年度)上期に対象とする候補事業名の抽出を行います。 1 福祉に関するコミュニティ・ビジネスの検討 2 事業の採算性、資金体制等のシミュレーション 3 ビジネスモデルの事業化						
	活動指標	コミュニティビジネスの雇用者数(累計)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	5人	6年後目標値	10人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市が適切な情報を提供し、支援することにより、NPOや市民が積極的にコミュニティビジネスを行える環境づくりを担うことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	→	→					
	検討	→	実施	→	→	→	
(地域)	→					→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	福祉に関するコミュニティビジネスの創出は雇用等の地域経済に好影響をもたらすなど地域の活性化につながり、「すべての世代がいきいきと活躍しているまち」の実現に寄与します。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

事業名	高齢者や障がい者がおられる家庭への支援充実事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-23-03-7-1	地域分権区分					
事業内容	理容美容出張サービスや希望に応じた食事の配達など、高齢者、障がい者がおられる家庭の家事、介護、環境改善、自立などの支援の充実を図ります。2011年度(平成23年度)上期に対象とする候補事業名を抽出します。 1 地域での独自支援メニューの検討 2 事業化検討					
活動指標	サービス利用者数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	50人	6年後目標値	200人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民ボランティアと地区社会福祉協議会が主体となって事業を担い、市は地域への理解促進を市民ボランティア等と連携して行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	老老介護などの課題に対して、日常生活の負担の軽減と人とのコミュニケーションの機会の拡充を図ることにより、「すべての世代がいきいきと活躍しているまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	高齢者の地域活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-03-8-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	高齢者の知識や経験を地域へ役立てるため、人材バンクへの登録や講座の講師として活躍できる環境づくりを行います。 また、公民館の出張講座などにより、地域活動への参加機会を拡大します。 1 高齢者が地域活動をしやすい環境づくり 2 人材バンクの登録や登録者の懇話会等の検討					
活動指標	①シニア講座数(累計) ②シニアボランティアの登録者数(累計)					
目標値	現状値	①17回②0人	3年後目標値	①30回②40人	6年後目標値	①40回②80人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	高齢者が地域で元気に活躍する場を提供するため、市は地域市民と連携し、その主要な場の提供を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	高齢者が地域で元気に活躍するための環境づくりを進めるとともに、高齢者の経験や資産を社会に還元することにより「すべての世代がいきいきと活躍しているまち」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	地域活動の広報・宣伝活動の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-34-04-9-1	地域分権区分					
事業内容	自治会活動へのさらなる参加拡大をめざし、身近な防犯・防災情報に加え、自治会活動を紹介する情報を掲載した冊子を作成し、地域の連帯感や信頼関係の強化につなげられるよう、六会地区の転入者等に配付します。 1 地域での防犯, 防災, 自治会活動をはじめとする公共的な生活情報の収集 2 情報冊子の作成					
活動指標	自治会への加入率					
目標値	現状値	76%	3年後目標値	80%	6年後目標値	85%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民, 自治会(市民団体), 市が相互に連携して事業を進めます。特に市民の視点で必要な情報と地域コミュニティへの参加がしやすくなるような情報の掲載を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域活動の広報・宣伝活動の推進により、地域コミュニティへの参加を促進し、「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	ボランティアセンターの設立と組織化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-34-04-10-1	地域分権区分					
事業内容	高齢者、障がい者等の家事支援、生活支援、生きがいをづくりの支援等を行うボランティアセンターを設立し、運営に当たっては、ボランティアの担い手(支援者)と受ける人(利用者)また賛助者を組織化します。 また、ボランティアセンターでは、その事業のひとつとしてボランティアの育成を行います。 1 地区ボランティアセンターの設立・運営 2 ボランティアの育成					
活動指標	ボランティア登録数(累計)					
目標値	現状値	13人	3年後目標値	50人	6年後目標値	100人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	超高齢社会を間近に控えて、高齢者や障がい者及びその家族の多岐にわたるニーズへの対応の必要性は、福祉団体や地域ボランティアに浸透しており、市はセンター設立において、それらの主体と連携しながら実施する役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	ボランティアセンターの設立と組織化により、地域福祉の向上が図られるとともに、地域での共助・互助が促進され、「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	まちづくりボランティアセンターの設立事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-34-04-10-2	地域分権区分						
事業内容	ボランティアセンター(福祉関係)を含む、教育・生涯学習・子育て・登下校見守り・夜間パトロール・防災・防犯・公園美化・街の清掃・あいさつ声かけ運動などを包括する「まちづくりボランティアセンター」を設立します。 1 まちづくりボランティアセンターの設立 2 まちづくりへの市民参加の意識向上策の実施 3 地域での様々なニーズへの対応やボランティア確保に関する手法の検討						
	活動指標	ボランティア登録数(累計)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	500人	6年後目標値	800人
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	まちづくりボランティアセンターの必要性については地域団体や市民ボランティアなどに認識の共有が進んでおり、市はそれらの主体と連携しながら実施していく役割を担います。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	まちづくりボランティアセンターの設立により、地域まちづくりへの市民意識の向上が図られるとともに、まちづくりに多くの地域市民が携わる「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

事業名	六会日大前駅周辺まちおこし事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-34-04-11-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	六会に住む住民の多くは、娯楽や買い物をする際に、利便性が高い湘南台や藤沢に行く傾向があります。この現象に歯止めをかけ、まちの活性化につなげるために、六会日大前駅周辺のにぎわいを創出する事業を実施します。 具体的には、魅力あるイベント等を開催することで地域活性化の起爆剤とし、第2段階として様々なまちづくり事業を展開します。 1 六会日大前駅周辺やわいわい市藤沢店など地域のにぎわい分析 2 人の賑わいをまちのにぎわいに変える魅力創出のための動向調査 3 イベントの実施と実施評価による再構築						
	活動指標	イベント開催数(年間)					
	目標値	現状値	1回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域の学生、市民団体、行政が連携して事業を実施します。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)	検討	→	実施	→	→	→	
期待される事業の成果	六会日大前駅周辺のにぎわいの創出は、地域経済に良い影響を与えるだけでなく、地域でのコミュニティ形成のきっかけとなり、地域で支え合う温かいまちづくりの推進が図られます。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

事業名	犯罪を減少させる活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-34-04-12-1	地域分権区分					
事業内容	防犯協会に活動の維持・拡大を依頼し、活動の円滑化を支援します。警察に情報の発信を依頼し、地域への周知方法を確立します。 1 地区防犯協会等による活動の推進 2 防犯活動の円滑化への支援 3 犯罪情報と犯罪抑止策の地域での共有を警察に依頼					
活動指標	犯罪件数(年間)					
目標値	現状値	622件	3年後目標値	591件	6年後目標値	560件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	防犯パトロールは市民活動として地域に根付いており、行政と市民活動団体との連携により事業を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→
期待される事業の成果	地域ぐるみでの防犯活動を推進することにより「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	要援護者対策の活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-34-04-13-1	地域分権区分					
事業内容	災害が発生したときは、自助(自分のことは自分で守る)と共助(共に互いに助け合う)が重要になります。自治会連合会及び防災リーダー連絡会と協議して要援護者対策を実施します。 1 未設自治会に対し自主防災組織の設立に向けた依頼 2 全自治会において、要援護者対策の確立を依頼 3 地区全体の防災計画の検討					
活動指標	要援護者の対策策定済自治会数(全 37自治会)					
目標値	現状値	0自治会	3年後目標値	20自治会	6年後目標値	37自治会
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	人命に関わる事業であり、自治会町内会の関心も強いことから、自治会を中心に市民一人ひとりへの関心の輪を広げるとともに、市は制度面で支援を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	日頃からの地域のつながりを促進し、助け合う環境をつくることにより、「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	公園バリアフリー化提案事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-34-04-13-2	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	災害時、一時避難所に指定されている公園に要援護者や障がい者が安全に避難できるように、公園出入口の段差解消などバリアフリー化事業を提案します。 1 公園一部出入口の段差解消の提案						
	活動指標	全28公園のバリアフリー化整備率					
	目標値	現状値	10%(3か所)	3年後目標値	30%	6年後目標値	60%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域住民と施設管理団体等と協力し事業を進め、制度的側面で行政が連携して体制づくりを行います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	提案	計画・実施	→	→	
(市域全体)			検討	計画・実施	→	→	
期待される事業の成果	公園での地域コミュニティと災害時の共助による援護体制を強化することにより、「地域で支え合うあたたかいまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

事業名	引地川及び支流水質向上事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-5-37-05-14-1	地域分権区分						
事業内容	六会地区を流れる引地川やその支流において、行政・NPO・ボランティア団体が協働して産業排水、生活排水の改善やゴミの不法投棄対策に取り組む活動を支援します。 1 産業排水、生活排水の改善に向けた啓発活動の実施 2 ゴミの不法投棄対策と引地川清掃活動						
	活動指標	引地川清掃活動回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市・NPO団体・ボランティア団体が協働して事業を実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	地域の中の自然環境の保全を図ることにより、「豊かな自然と文化を守り育てるまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						



事業名	引地川自然環境向上事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-5-37-05-14-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	円行新橋から引地川親水公園までの引地川沿いに、緑道をつくる等、憩いの空間として活用できるよう提案します。 1 地域ニーズの把握を目的とした調査・分析 2 空間に求められる要素、機能の検討 3 市及び関係機関への提案					
活動指標	引地川沿いの活用提案実施率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議は、市民団体と協力しながら、引地川の自然環境の向上を図る役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	提案			
(市域全体)	検討	→	計画	計画・実施	→	→
期待される事業の成果	引地川の自然環境が向上することにより、地域の自然と人との調和や豊かな心を育む環境を創出し、「豊かな自然と文化を守り育てるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	石川丸山谷戸の保全事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-5-37-05-14-3	地域分権区分					
事業内容	石川丸山谷戸の植物、生物の保全やゴミの不法投棄防止活動の支援を行います。 1 石川丸山谷戸保全活動の推進への協力・支援 2 身近な自然環境としての石川丸山谷戸の地域への紹介					
活動指標	ゴミの不法投棄防止活動数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	1回	6年後目標値	1回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議は、市民団体と協力しながら、谷戸の保全活動を行う役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	石川丸山谷戸の植物、生物の保全やゴミの不法投棄防止活動の支援を行うことにより、地域の自然に目を向け、環境への配慮などへの意識を高め、「豊かな自然と文化を守り育てるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	六会の名所・旧跡保全事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-5-37-05-15-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	六会地区の名所・旧跡の現状を調査し、案内板の整備や維持管理の体制づくりを行います。 1 地区内の史跡・旧跡の現状調査 2 新たな地域資源となる名所等の調査 3 名所・史跡・旧跡の案内板等の作成 4 名所・史跡・旧跡の維持保存体制の検討						
	活動指標	案内板整備率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議は、市民団体と協力しながら、六会の名所・旧跡の保全活動に向けた事業を行います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
	(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	案内板を整備することは、地域市民が六会の名所旧跡を再認識することにつながるとともに、地域の歴史を見直し地域を知ることによって地域への愛着を高め、豊かな地域の資源・財産を継承・発展させるまちの実現が図られます。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

事業名	六会の伝統文化と歴史調査事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-5-37-05-15-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	六会地区に伝わる民話、伝統芸能、伝統ものづくりを調査し、冊子にまとめて伝承します。また、六会地区の歴史を調査して、六会地区歴史年表を作成します。 1 地区に伝承する民話、芸能、ものづくりの調査 2 地区の歴史調査 3 調査結果のまとめとしての冊子、年表の刊行						
	活動指標	伝統文化冊子刊行状況					
	目標値	現状値	未刊行	3年後目標値	伝統文化刊行	6年後目標値	歴史年表作成
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議は、市民、行政、市民団体が連携して事業を実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
	(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→
期待される事業の成果	地域に伝承される民話、芸能等を知ることにより、地域への愛着を高め、次世代に伝えることにより、「豊かな自然と文化を守り育てるまち」の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

事業名		防犯灯LED化事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
2-6-47-06-16-1		地域分権区分		地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)			
事業内容		<p>地域の目と声で犯罪を抑止しようと防犯パトロール等を実施していますが、さらに、地域活動を発展させるため、防犯灯のLED化事業を行い照明効率・光度のアップを図り、地域の目による犯罪抑止をめざします。あわせて、省電力化によるエコタウン化を図ります。</p> <p>2015年(平成27年)を目途に日本照明器具工業協会が行う規格統一や低価格化の状況を踏まえ、事業化を図ります。</p> <p>1 防犯灯のLED化による地域防犯力の向上と環境配慮の促進 2 LED照明に関する情報収集と自治会・町内会への情報提供</p>					
活動指標		防犯灯LED化数(累計)					
目標値		現状値	0灯	3年後目標値	0灯	6年後目標値	250灯
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		防犯活動に対する地域の関心は高く、防犯灯がLED化されることで、自治会の負担が軽減され、環境意識が高まることから、市はこの事業の普及に向けた地域活動の支援を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25	→		
(市域全体)		検討	→	→	検討・実施	→	→
期待される事業の成果		地域防犯の意識啓発を図るとともに、低コストと省電力化によるエコタウンむつあいの実現が図られます。					
担当部課		市民自治部六会市民センター					

事業名		レジ袋削減事業					
体系コード		事業区分		まちづくり地域事業			
2-6-47-06-16-2		地域分権区分					
事業内容		<p>レジ袋の削減策は大手スーパー等では進みつつありますが、商店等では進みにくい現状があります。このため、消費者の意識の高まりによる、消費者先行型の取り組みを進めることにより、地域におけるレジ袋削減の推進が一層図られます。</p> <p>地区内企業や商店と連携し、エコバックの活用とレジ袋の削減に向けた活動を行います。リサイクルの促進やゴミ減量への意識啓発を進めます。</p> <p>1 エコバックの活用推進 2 レジ袋削減に向けた活動の推進</p>					
活動指標		レジ袋の使用量の削減率					
目標値		現状値	基準(100%)	3年後目標値	5%削減	6年後目標値	10%削減
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域経営会議は、生活環境協議会と協働し、地区内企業・商店と連携して事業を行います。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25	→		
(市域全体)		検討	検討・実施	実施	→	→	→
期待される事業の成果		ゴミの削減は市民一人ひとりの意識が変わらないと達成出来ない課題であり、地域全体で取り組むことにより、環境にやさしいまちづくりの実現に寄与します。					
担当部課		市民自治部六会市民センター					

事業名		地域清掃活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-47-06-17-1	地域分権区分						
事業内容	自治会・町内会が主体になって行う、きれいなまちづくりをするために、定期的な地域清掃活動を定着させるとともに、近隣の人が共同で作業することで、地域のコミュニケーション(あいさつや声かけ)や連帯感を深めます。 清掃活動の内容としては、公共の場のゴミひろい・公共の場の雑草取り・公共の場からゴミ箱の撤去とゴミを持ち帰る習慣の推進と集合住宅のゴミ出し改善を行います。 1 定期的な清掃活動の推進 2 環境美化とゴミ減量化の推進						
	活動指標	自主清掃実施自治会数(累計)					
	目標値	現状値	5自治会	3年後目標値	10自治会	6年後目標値	25自治会
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	ゴミ減量と資源化に向け、自治会・町内会への啓発活動を実施するとともに、市は、市民、地域団体等と協働し、環境美化を進めます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	自治会・町内会が主体になって、地域清掃活動を定期的実施することは、まちの美観形成に役立つだけでなく、地域のコミュニケーションや連帯意識を深めることに寄与します。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

事業名		花の植栽活動による美しいまちづくり事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-6-47-06-18-1	地域分権区分						
事業内容	地区内の公園・小中学校・保育園・幼稚園・老人ホーム・養護学校等で花の植栽活動の支援を行い、自然とのふれあいを深めるとともに、美しいまちづくりを進めます。 また、「庭自慢・植栽活動花自慢フォトコンテスト」を行い、美しいまちづくりの啓発活動を進めます。 1 花の植栽による景観性の向上の推進 2 「庭自慢・植栽活動花自慢フォト・コンテスト」の開催						
	活動指標	花の植栽活動を行う団体数(累計)					
	目標値	現状値	20団体	3年後目標値	30団体	6年後目標値	30団体
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	花の植栽活動は老若男女の誰もが参加できる地域ふれあい事業であり、ボランティアを中心に地域市民が一体となって進めます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	地区の美化活動を推進することにより、美しいまち六会の景観形成に寄与します。						
担当部課	市民自治部六会市民センター						

事業名	バリアフリー化支援活動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-65-07-19-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>市のバリアフリー化計画(六会日大前駅周辺道路)にあわせ、高齢者、障がい者も安心して通行できる、道路環境づくりの具体策を検討し、市との連携により具現化します。</p> <p>1 バリアフリー化が必要な箇所の点検・取りまとめ  2 バリアフリー化計画の進捗と計画内容に関する情報共有、協議  3 地域ニーズの把握と市への意見提案</p>					
活動指標	六会日大前駅周辺バリアフリー化進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が中心となり、地域経営会議が地域市民の声を聞きながら、地域と連携・協働して進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→		
(市域全体)	計画	実施	→	→		
期待される事業の成果	地域のニーズに合ったバリアフリー化事業を推進することにより、生活しやすい交通環境が形成されます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	踏み切り安全対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-65-07-20-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>六会日大前駅南側踏み切りの問題は、地区の長年の課題です。踏み切りの安全対策について具体的な改造提案をして課題解決を図ります。</p> <p>1 地域での課題、要望等についての取りまとめ  2 踏み切りの安全対策及び道路改良等についての市への提案</p>					
活動指標	踏切安全対策検討提案進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域市民と市が連携し進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	計画・提案	→		
(市域全体)				計画・実施		
期待される事業の成果	安全な交通環境を確保し駅東西の交流を促進することで「生活しやすい交通環境ができていくまち」の実現に寄与します。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	交通不便地区解消検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-65-07-20-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>六会地区には西俣野地区などバスなどの公共交通機関がなく、駅に出るのに徒歩での移動手段しか無い交通不便地区があり、地域での移動の課題となっています。</p> <p>高齢社会に対応し、高齢者等が特に駅、病院等に容易に出掛けられるよう、新たな交通手段の検討を進めます。</p> <p>1 地域ニーズの把握と適切な手段とルートの検討</p>					
活動指標	交通不便地区解消提案数(累計)					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	10件	6年後目標値	20件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	企業と市の役割だけでなく、適切にニーズを伝え、事業の担い手の可能性について多角的な検討するなど、地域での役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	→	提案	実施	→	→
期待される事業の成果	交通不便地区解消により、地区内の移動を円滑化し「生活しやすい交通環境ができていくまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	市民センター多機能化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-71-08-21-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>六会市民センターの改築にあわせ、これまでの市の出先機関から地域主体のまちづくりの拠点施設として、地域の特性やニーズに対応できる機能をあわせ持つ多機能な市民センターを検討します。</p> <p>1 地域住民が合意する建設場所 2 地域住民の意向に基づく、必要な施設設備の機能と規模 3 施設設備の整備・運営に関する公民連携等の事業手法 4 石川分館も含めた市民センター機能の充実策</p>					
活動指標	市民センターの多機能化提案進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議を中心に地域で考え、地域でまとめた考え方にに基づき、市が整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	→	実施	→		
期待される事業の成果	多機能な市民センターを検討することにより、必要となる施設設備が機能的に設置され、「市民センターによる効率的なサービス提供がされるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名		公共施設の有効活用事業				
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-71-08-22-1	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>2011年度(23年度)～2013年度(25年度)は市民の家の利用率向上、転用、撤去を含めた有効活用について検討します。</p> <p>2014年度(26年度)以降は市民の家以外の他の公共施設の有効活用を検討します。</p> <p>1 市民の家の利用状況と必要とされる機能の提案</p> <p>2 その他公共施設の有効活用の検討</p>					
活動指標	市民の家・多機能化提案状況(公共施設有効活用提案)					
目標値	現状値	なし	3年後目標値	市民の家提案	6年後目標値	他の施設提案
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	利用者(地域団体・市民)の受益に直接影響するものであり、市民団体と市が協働して、検討と実施の役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	提案	検討・提案	→	→
(市域全体)				実施		
期待される事業の成果	様々な意見に基づく調査検討を踏まえることにより、公共施設がより有効に活用され、効果的、効率的に市民が望むサービスが提供されます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名		地区ポータルサイトの受発信の充実事業				
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-79-09-23-1	地域分権区分					
事業内容	<p>六会地区地域経営会議をはじめ地域団体では、地域情報や活動状況を広く市民に公開するためのホームページ作りを進めます。</p> <p>これらのホームページの情報を各団体で組織する運営委員会が、ポータルサイトとして、管理運営することで、情報提供者と利用者の双方にとって利便性が高い情報受発信手段として充実を図ります。</p> <p>1 地域ポータルサイトの構築</p> <p>2 地域市民にとって有用なコンテンツの発信</p>					
活動指標	地域ポータルサイトの参加団体数(累計)					
目標値	現状値	10団体	3年後目標値	30団体	6年後目標値	50団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域情報や行政情報等が地域のニーズにあって提供されるよう、地域団体を中心に様々な主体が連携して情報発信を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	生活情報が簡単に入手できるようになり、新たな地域文化やコミュニティが創生され、「住んでいることを自慢できるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

事業名	地区内団体との連携事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-9-79-09-24-1	地域分権区分					
事業内容	地域のまちづくりは「つながりづくり」です。地域まちづくり活動を効果的に進めるために、地区内の各団体と連携を図ります。 1 地区内団体間の関係強化の推進					
活動指標	自治会・町内会との意見交換会開催数(年間)					
目標値	現状値	1回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区内団体は、相互に連携を図り、地域まちづくり活動を実施することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地区内団体との連携により、地域ぐるみでのまちづくりが進み、「住んでいることを自慢できるまち」の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部六会市民センター					

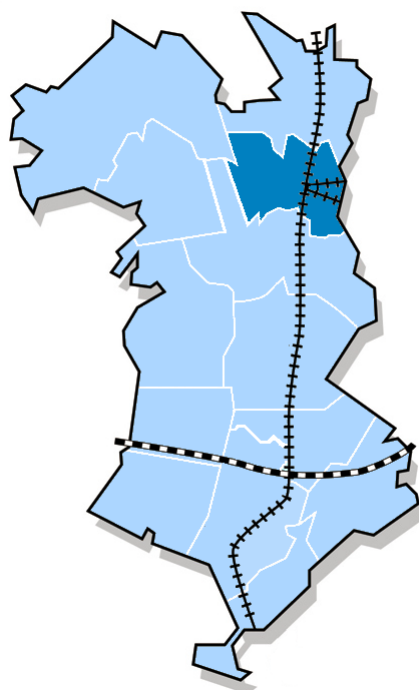


# 新総合計画実施計画

## 湘南台地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

川と緑に囲まれ，豊かな居住環境あふれる文化創造のまち湘南台



---

## 地区のあらまし

---

湘南台地区は藤沢市の北部に位置し、昭和40年代に土地区画整理事業により約200ヘクタールの住宅地として拓けた新しいまちです。地勢は、境川と引地川に挟まれた台地であり、地区内は、ほぼ平坦な地形となっています。

人口は、2010年（平成22年）12月1日現在、28,331人で、全市の7.0%を占めています。65歳以上の人口が占める割合は15.5%で、市内で最も高齢化率が低い地区です。

1971年（昭和41年）に小田急電鉄江ノ島線湘南台駅が開業し、現在では、横浜市営地下鉄や相鉄いずみの線も乗り入れ、1日の乗降客数が約15万人にのぼる市北部のターミナル駅として活況を呈しています。

湘南台駅の東西は商業地区として拓け、その周辺は住宅街を形成しています。湘南台地区の西部には、いすゞ自動車、桐原工業団地などの工業集積があり、藤沢市全体の製造品出荷額の約60%近くを占めています。また、湘南台駅は、多摩大学湘南キャンパスや慶応大学湘南藤沢キャンパスなどの最寄り駅となっており、若者の多いまちです。

湘南台地区には、湘南台文化センター、総合市民図書館、湘南台小学校、湘南台中学校、湘南台高校などの文化・教育施設のほか、藤沢北警察署、北消防署、藤沢北郵便局などの公共施設が集中しています。

---

## 地区の特色

---

湘南台駅東口には、大きな地球儀と宇宙儀がシンボルとなっている湘南台文化センターがあります。そのすぐそばには、湘南台公園の芝生広場や豊かな緑が広がり、憩いの場として多くの市民に利用されています。さらにその東側には境川遊水地があり、大きく羽根を広げた鷺舞橋から多くの野鳥が観察され親しまれています。



湘南台駅西口の商店街を抜けると、整備された竹林が広がる円行公園があります。その隣を流れる引地川の両側は、見事な桜並木が続いており、春には市民の目を楽しませてくれています。引地川を利用して、5月には鯉流し、8月には灯籠流しが開催され、湘南台の風物詩となっています。

湘南台駅地下道には、クリスマスの時期に市民の力で大ツリーが設置されます。子どもたちの手作りのオーナメントも飾り付けられ、イルミネーションの輝きが多くの乗降客にくつろぎのひとつときを与えてくれます。

藤沢市民まつり湘南台ファンタジアは、地区一番のお祭りで、湘南台駅東西でパレードが盛大に催され、毎年、多くの観光客が見物に訪れています。

また、湘南台には外国籍の方々が多く居住しており、湘南台市民センターには外国人相談室が設置されているほか、公民館では、日本語学習や外国の文化や習慣を紹介する国際交流事業などが行われています。

---

## 湘南台地域経営会議（わくわく未来づくり会議）

---

モデル地区として2009年（平成21年）6月に委員27人で発足。地域の人の輪を広げ、地域活性化を図る数々のイベントや地区まちづくりアンケートを実施したほか、コミュニティルームの開設など、1年目からフル稼働してきました。今後は、地域の課題解決に取り組み、湘南台らしいまちづくりを進めていきます。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

5 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること

(関連未来課題 7)

【地域まちづくり目標】

01 幅広い年齢層が声を掛け合い、地域活動に参加するまち

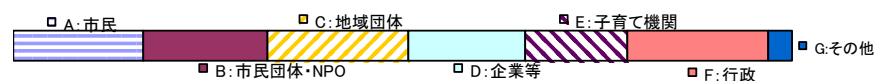
【成果指標】

①地区が暮らしやすいと感じている人の割合

【現状値】 ①58%

【めざそう値】 3年後：①63% 6年後：①69%

【役割の担い手】 ①A:17% B:16% C:18% D:15% E:13% F:18% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 若者、学生、来街者を含め、いろいろな人の参加交流の促進

<成果の視点> 住民の地域活動への参加が盛んなこと

[主要な指標] イベント参加者数(属性別)

○実施事業 人が集える環境づくり事業

《活動-2》 企業と住民との間の情報やイベントの交流促進

<成果の視点> 企業と住民間の交流が盛んなこと

[主要な指標] 交流活動回数

○実施事業 企業交流促進事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

(関連未来課題 26)

【地域まちづくり目標】

02 安心して子育てができるまち

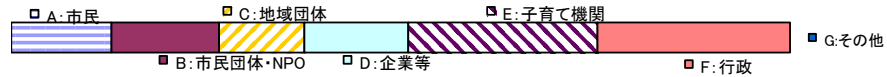
【成果指標】

- ①幼稚園，保育園などの施設に関する満足度
- ②子育てしやすいまちだと感じる人の割合

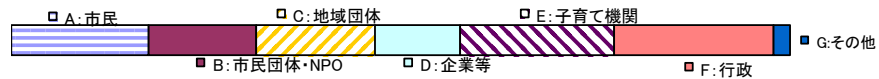
【現状値】 ①23% ②30%

【めざそう値】 3年後：①30% ②35% 6年後：①35% ②40%

【役割の担い手】 ①A:13% B:14% C:11% D:13% E:24% F:25% G:0%



②A:17% B:14% C:15% D:11% E:20% F:21% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－3》 保育や医療などの子育て環境の充実

<成果の視点> 子育てを支援する社会資源が整っていること

〔主要な指標〕 寄せられた子育て相談件数

○実施事業 子育てネットワーク事業

ふじさわ未来課題

13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

(関連未来課題 14・24)

【地域まちづくり目標】

03 子どもたちが安全に暮らせるまち

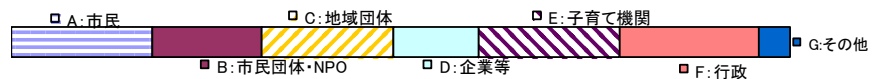
【成果指標】

- ①地域の子どもが安全に暮らすことができていると思う人の割合
- ②地域の様々な活動団体が，子育てに関わっていると感じる人の割合

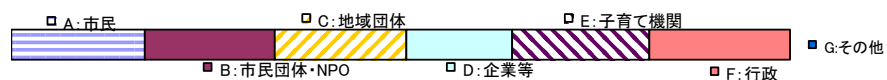
【現状値】 ①23% ②24%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①40% ②40%

【役割の担い手】 ①A:18% B:14% C:17% D:11% E:18% F:18% G:4%



②A:17% B:17% C:17% D:13% E:18% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－4》 地域で見守り育てる環境の推進

<成果の視点> 子どもの安全を守る環境が整っていること

〔主要な指標〕 子ども安全ネットワークの活動数

○実施事業 子ども安全ネットワーク事業

《活動－5》 地域活動に子どもや若者が参加し、一緒に楽しむ環境の推進

<成果の視点> 子どもが参加できる地域活動が盛んなこと

〔主要な指標〕 活動への子どもの参加人数

○実施事業 子ども地域参加事業

ふじさわ未来課題

## 16 子どもたちが身近な生活の中で自然を感じていられること

【地域まちづくり目標】

### 04 子どもが自然とともに育つまち

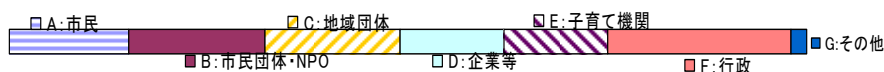
【成果指標】

①地域の自然環境が豊かであると感じる人の割合

【現状値】 ①46%

【めざそう値】 3年後：①51% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:17% D:13% E:13% F:23% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 子どもたちへの環境教育の推進

<成果の視点> 子どもたちの環境意識を高める活動が盛んなこと

〔主要な指標〕 環境講座への子どもの参加人数

○実施事業 子ども環境教育事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

## 17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

### 05 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまち

【成果指標】

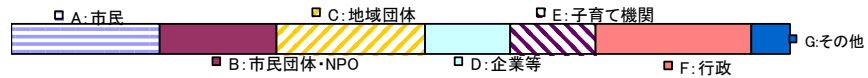
①お年寄りや障がいをもった方に配慮されたまちであると感じる人の割合

②身近で健康づくりを支える環境が充実していると感じる人の割合

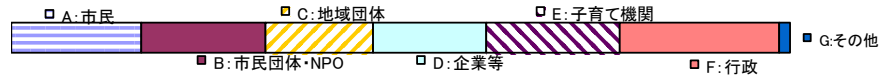
【現状値】 ①23% ②24%

【めざそう値】 3年後：①30% ②30% 6年後：①44% ②40%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:19% D:11% E:11% F:20% G:5%



②A:17% B:16% C:14% D:14% E:17% F:21% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 医療（病院）と福祉（介護施設）のネットワークの推進

<成果の視点> 高齢者や障がい者が身近な場所で相談できること

〔主要な指標〕 高齢者や障がい者のネットワーク利用者数

○実施事業 医療・福祉ネットワーク推進事業

《活動－8》 地域防災体制の充実

<成果の視点> 災害に対する備えができていていること

〔主要な指標〕 自治会が策定する避難支援プラン数

○実施事業 災害時要援護者支援事業

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

06 夜間でも安全に歩行できるまち

【成果指標】

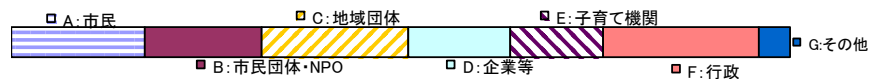
①夜間でも安全に歩行できると感じる人の割合

②犯罪発生件数

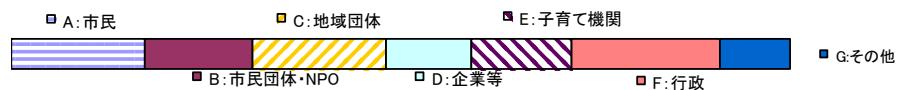
【現状値】 ①22% ②600件

【めざそう値】 3年後：①30% ②500件 6年後：①40% ②400件

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:19% D:13% E:12% F:20% G:4%



②A:17% B:14% C:17% D:11% E:13% F:19% G:9%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 街路照明等による明るい環境の推進

<成果の視点> 湘南台のまちが明るくなること

〔主要な指標〕 夜間の犯罪発生件数

○実施事業 防犯灯LED化実験事業

【地域まちづくり目標】

07 地域で声を掛け合い犯罪に遭わないまち

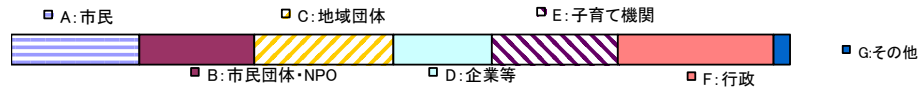
【成果指標】

- ①過去一年間に、湘南台地区で犯罪の危険を感じたことがある人の割合（地区全体）
- ②過去一年間に、湘南台駅周辺で、犯罪の危険を感じたことがある人の割合（駅周辺）
- ③犯罪発生件数

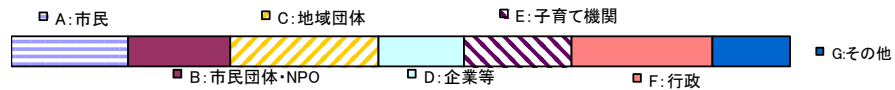
【現状値】①27% ②26% ③600件

【めざそう値】3年後：①20%②20%③500件 6年後：①18%②15%③400件

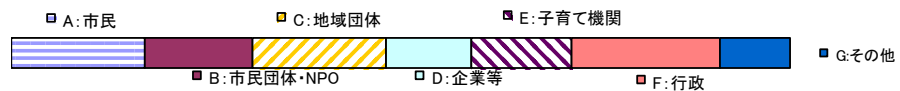
【役割の担い手】①A:16% B:15% C:18% D:13% E:16% F:20% G:2%



②A:15% B:13% C:19% D:11% E:14% F:18% G:10%



③A:17% B:14% C:17% D:11% E:13% F:19% G:9%



#### 《地域まちづくり活動》

《活動－10》 様々な条件の人が参加できる防犯活動の推進

<成果の視点> 防犯活動が活発なこと

〔主要な指標〕 刑法犯認知件数

○実施事業 防犯活動活性化事業

#### 都市ビジョン2

#### 地域から地球に広がる環境行動都市

#### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

#### ふじさわ未来課題

#### 30 お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動していること

【地域まちづくり目標】

08 みんなが交通ルールを守り、安全に生活できるまち

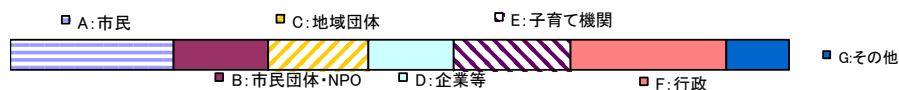
【成果指標】

- ①藤沢北警察署管内の交通事故発生件数
- ②藤沢北警察署管内の交通違反件数
- ③住民の交通ルールは守られていると感じる人の割合

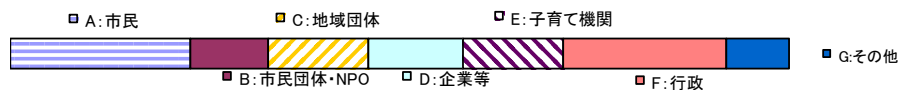
【現状値】①1,098件 ②19,124件 ③32%

【めざそう値】3年後：①850件②15,000件③40% 6年後：①700件 ②10,000件③50%

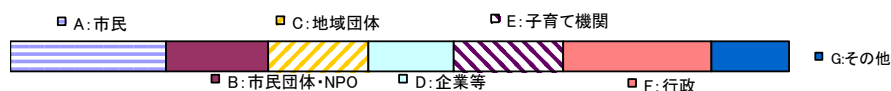
【役割の担い手】 ①A:21% B:12% C:13% D:11% E:15% F:20% G:8%



②A:23% B:10% C:13% D:12% E:13% F:21% G:8%



③A:20% B:13% C:13% D:11% E:14% F:19% G:10%



### 《地域まちづくり活動》

《活動－1 1》 誰でも安全に通行できる道路環境の充実

<成果の視点> 道路環境が安全な状態にあること

〔主要な指標〕 危険区域の交通事故発生件数

○実施事業 道路安全対策事業

高倉遠藤線の延伸事業

《活動－1 2》 交通ルールを守る意識啓発の推進

<成果の視点> 住民の交通ルールを守る意識が高いこと

〔主要な指標〕 交通安全教室等啓発事業への参加者数

○実施事業 交通安全意識啓発推進事業

### ふじさわ未来課題

#### 31 社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

09 高齢者や障がい者にやさしいまち

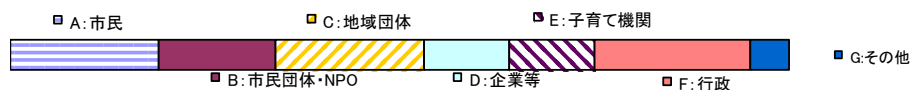
【成果指標】

①お年寄りや障がいをもった方に配慮されたまちであると感じる人の割合

【現状値】 ①23%

【めざそう値】 3年後：①31.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:19% C:17% D:13% E:14% F:19% G:0%



### 《地域まちづくり活動》

《活動－1 3》 高齢者も障がい者もいつでも誰でも楽しく集える環境の充実

<成果の視点> 高齢者や障がい者の居場所があること

〔主要な指標〕 高齢者・障がい者カフェへの参加者数

○実施事業 高齢者・障がい者カフェ事業



## ふじさわ未来課題

### 29 いろいろな世代，いろいろな国の人たちと交流できること

#### 【地域まちづくり目標】

10 様々な人がお互いに尊重し，協力し合い，安心して暮らせるまち

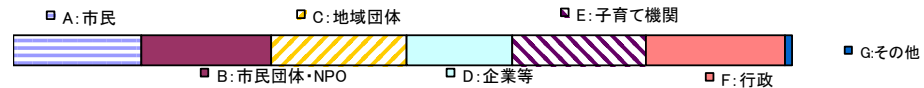
#### 【成果指標】

①外国の人にとって，暮らしやすいまちであると感じている人の割合

【現状値】①16%

【めざそう値】3年後：①27.5% 6年後：①40%

【役割の担い手】①A:16% B:17% C:17% D:14% E:17% F:18% G:1%



#### 《地域まちづくり活動》

《活動－14》 異文化理解や外国人への支援の推進

<成果の視点> 外国人への支援活動が活発であること

〔主要な指標〕 交流事業への参加者数

○実施事業 外国人支援交流事業

《活動－15》 多言語メディアによる広報の充実

<成果の視点> 外国人にも情報が伝わること

〔主要な指標〕 外国籍市民からの相談件数

○実施事業 街中サインユニバーサル化事業

《活動－16》 多文化共生をはじめ新しい文化の創造

<成果の視点> 日本人と外国籍市民との交流が活発なこと

〔主要な指標〕 文化創造事業への参加者数

○実施事業 地域に根ざした文化創造事業

#### 藤沢づくりのめざす方向性

### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境，景観，歴史・文化資産など，先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ，次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め，地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

## ふじさわ未来課題

### 45 地域の未来の担い手が育成されていること

#### 【地域まちづくり目標】

11 いろいろな世代の人が交流する場が豊富にあるまち

#### 【成果指標】

①地域に支えられていると実感することがある人の割合

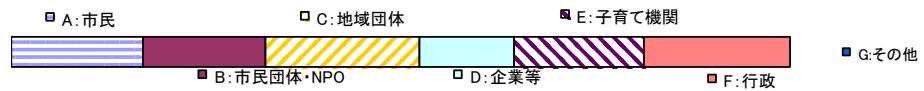
②湘南台コミュニティールーム登録団体数

③湘南台コミュニティールームの利用率（稼働率）

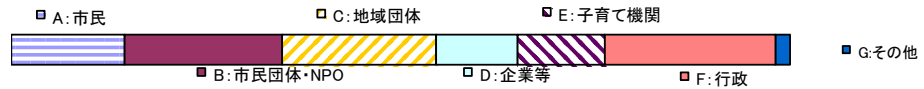
【現状値】①18% ②6団体 ③23%

【めざそう値】3年後：①23.5%②10団体③30% 6年後：①30%②12団体③40%

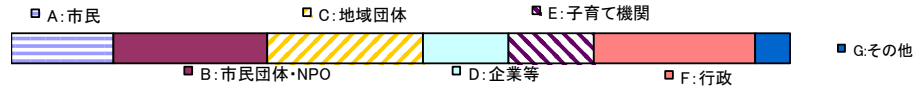
【役割の担い手】①A:17% B:16% C:19% D:12% E:17% F:19% G:0%



②A:14% B:20% C:20% D:11% E:11% F:22% G:2%



③A:13% B:20% C:20% D:11% E:11% F:21% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－17》 市民活動団体相互の交流の推進

<成果の視点> 交流活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 各団体の湘南台コミュニティールーム利用回数（年間）

○実施事業 湘南台コミュニティールーム活用促進事業

《活動－18》 若い世代の地域活動への参加促進

<成果の視点> 若者が主体的に参加する事業が活発なこと

〔主要な指標〕 地域活動への参加する若者の数（10代，20代，30代）

○実施事業 若者参加促進事業（湘南台検定事業）

【地域まちづくり目標】

12 様々なまちづくり団体が連携して活動し，地域を支える人材が育つまち

【成果指標】

①地域の未来を担う担い手が育っていると感じる人の割合

【現状値】 ①12%

【めざそう値】 3年後：①18% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:18% B:15% C:17% D:13% E:17% F:18% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－19》 地域を支える人材育成の推進

<成果の視点> 地域活動に参加したい人が増えること

〔主要な指標〕 地域活動への新規参加者数

○実施事業 地域人材育成事業

## 藤沢づくりのめざす方向性

### 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

## ふじさわ未来課題

### 49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

(関連未来課題 37・48・66)

#### 【地域まちづくり目標】

#### 13 住民の環境への意識が高く、豊かな自然環境と調和したまち

#### 【成果指標】

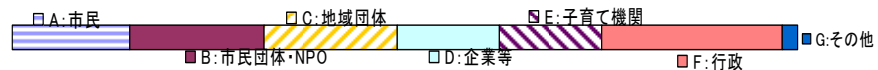
①地域の自然環境が豊かであると感じる人の割合

②ごみの分別や節電など環境を意識した行動をしている人の割合

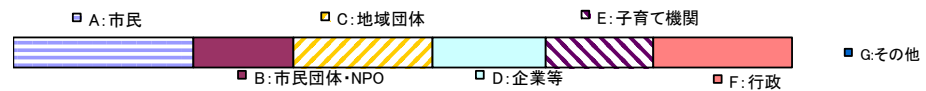
【現状値】 ①46% ②66%

【めざそう値】 3年後：①51% ②70% 6年後：①60% ②80%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:17% D:13% E:13% F:23% G:2%



②A:23% B:13% C:18% D:14% E:14% F:18% G:0%



#### 《地域まちづくり活動》

##### 《活動－20》 住民の環境意識の向上への取り組みの促進

<成果の視点> 地域環境美化活動が活発なこと

〔主要な指標〕 一人当たりのゴミ排出量

○実施事業 環境意識啓発事業

##### 《活動－21》 良好な自然環境の保全と緑化の促進

<成果の視点> 自然環境保全活動が活発なこと

〔主要な指標〕 緑の回遊路の周知活動数

○実施事業 緑の回遊路整備事業（レインボータウン湘南台計画）

##### 《活動－22》 地域・家庭での地球温暖化防止への取り組みの推進

<成果の視点> 地球温暖化防止活動が活発なこと

〔主要な指標〕 コミュニティサイクルの利用率

○実施事業 地球温暖化防止活動 湘南台駅地下照明LED化事業  
コミュニティサイクル（バイクシェアリング）事業

都市ビジョン3  
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

63 地域の人材が働ける機会を創造すること

【地域まちづくり目標】

14 地域貢献する企業と地域と一緒に活動するまち

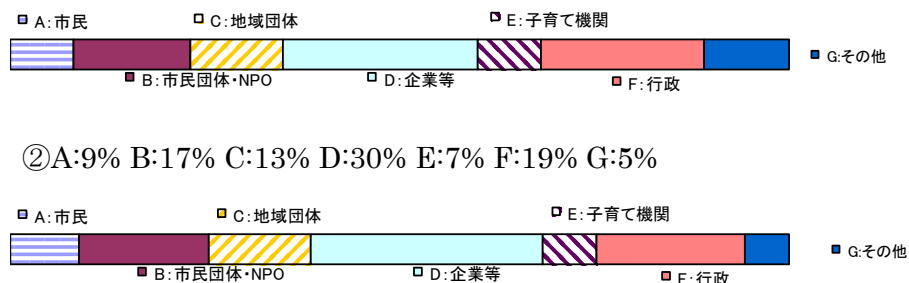
【成果指標】

- ①地区内の企業が地域貢献していると感じる人の割合
- ②企業と地域と一緒に活動する事業数

【現状値】 ①27% ②4件

【めざそう値】 3年後：①30% ②5件 6年後：①35% ②8件

【役割の担い手】 ①A:8% B:15% C:12% D:25% E:8% F:21% G:11%



《地域まちづくり活動》

《活動－23》 住民と企業の参加・交流の推進

<成果の視点> 住民と企業の交流が増えること

[主要な指標] 交流事業への参加者数・参加企業数

○実施事業 住民・企業参加交流事業

《活動－24》 企業の地域貢献が活発化する施策の推進

<成果の視点> 企業の地域貢献が活発化すること

[主要な指標] 地域貢献事業の実施企業数

○実施事業 企業の地域貢献推進事業

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

(関連未来課題 64)

【地域まちづくり目標】

15 楽しく集い、ほしい物が身近に揃うまち

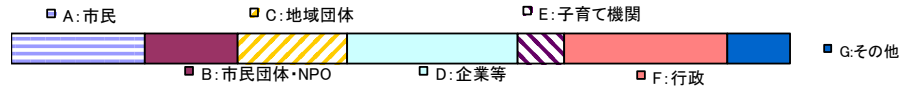
【成果指標】

- ①地元商店街を利用する人の割合
- ②地元商店街に対する住民の満足度

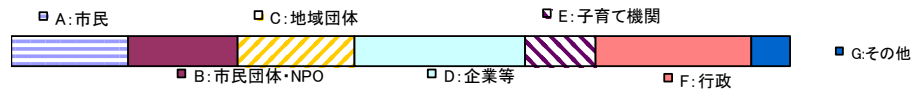
【現状値】 ①8% ②38%

【めざそう値】 3年後：①15% ②42.5% 6年後：①30% ②49.5%

【役割の担い手】 ①A:17% B:12% C:14% D:22% E:6% F:21% G:8%



②A:15% B:14% C:15% D:22% E:9% F:20% G:5%



《地域まちづくり活動》

《活動－25》 消費者ニーズを把握した個性ある楽しい商店街の充実

<成果の視点> 住民が楽しく買い物ができること

〔主要な指標〕 商店街店舗数、年間小売販売額

○実施事業 魅力ある商店街づくり事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

16 公共施設が有効に活用され、市民活動が活発に行われているまち

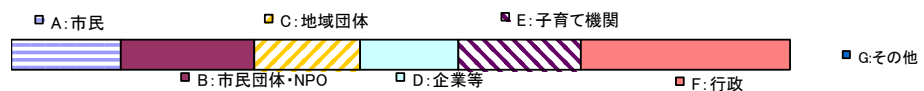
【成果指標】

- ①図書館、公民館等のサービスに満足している人の割合

【現状値】 ①12%

【めざそう値】 3年後：①22% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:14% B:17% C:14% D:13% E:15% F:27% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－26》 公共施設有効活用方策の推進

<成果の視点> 公共施設が効率的に活用されていること

〔主要な指標〕 有効活用施設数

○実施事業 湘南台駅地下の壁面広告看板設置事業  
公共施設有効活用事業

《活動－27》 市民活動に対する支援の充実

<成果の視点> 市民活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 コミュニティルーム稼働率

○実施事業 市民活動支援のための環境整備事業

【地域まちづくり目標】

17 明るく快適な駅があり、ふれあいのイベントが常に行われている利便性の高いまち

【成果指標】

①駅の施設や周辺空間などが有効に活用されていると感じる人の割合

【現状値】 ①35%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:9% B:14% C:11% D:20% E:9% F:25% G:12%



《地域まちづくり活動》

《活動－28》 利用者の立場に立った湘南台駅の充実

<成果の視点> 駅施設が快適であること

〔主要な指標〕 駅地下の通行量

○実施事業 駅地下への店舗設置検討事業

駅地下休憩場所（ベンチ）増設事業

《活動－29》 ふれあいイベントによるまちの活性化推進

<成果の視点> まちに活気があること

〔主要な指標〕 イベントの総参加者数

○実施事業 地域イベント再構築事業

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

（関連未来課題 35・36・73・74）

【地域まちづくり目標】

18 街並みの景観が整い、水と緑があるまち

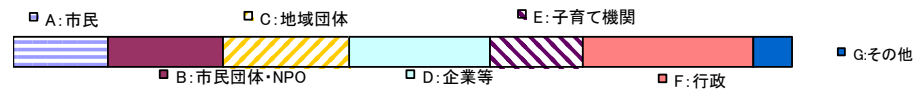
【成果指標】

①湘南台地区に好きな街並みや景観がある人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①35%

【役割の担い手】 ①A:12% B:15% C:16% D:18% E:12% F:22% G:5%



《地域まちづくり活動》

《活動－30》 住民が憩える公園や緑地等の確保と利用の推進

<成果の視点> 公園が利用しやすいこと

[主要な指標] 公園利用者数

○実施事業 公園ユニバーサル化事業

《活動－31》 個性ある景観形成の推進

<成果の視点> 住民が誇れる街並みになること

[主要な指標] 景観形成の調査・提案進捗度（事業別）

○実施事業 個性ある景観形成検討事業

【地域まちづくり目標】

19 産・学・地域の交流が盛んなまち

【成果指標】

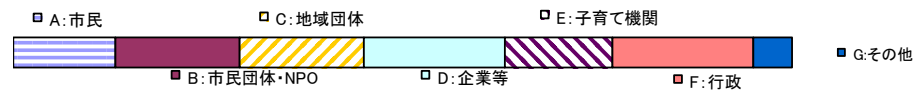
①湘南台のまちに活気があると思う人の割合

②産・学・地域の交流事業数

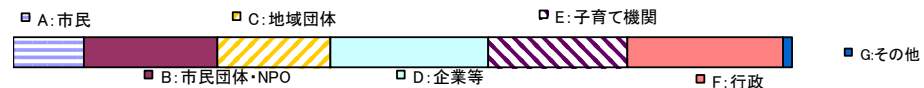
【現状値】 ①24% ②2件

【めざそう値】 3年後：①30% ②4件 6年後：①40% ②6件

【役割の担い手】 ①A:13% B:16% C:16% D:18% E:14% F:18% G:5%



②A:9% B:17% C:15% D:20% E:18% F:20% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－32》 湘南台を中心とした産業・大学・地域の交流促進

<成果の視点> 交流事業が活発なこと

[主要な指標] 研究事業の成果発表数

○実施事業 産・学・地域研究事業

事業名	人が集える環境づくり事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-5-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台は、交通の利便性が高く、地域住民以外に通勤・通学など多くの人が行き交うまちです。これを活かして、若者・学生・来街者など様々な人が地域の活動に参加し、相互に協力することにより、暮らしやすい湘南台のまちを築くことをめざします。</p> <p>1 若者や来街者など、人が集まる環境づくりやイベントの担い手として様々な人の協力を得る仕組みの検討 2 イベントの企画・実施</p>					
活動指標	若者が参画するイベント数(年間)					
目標値	現状値	4件	3年後目標値	6件	6年後目標値	10件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体・ボランティア団体・市民・大学等の参加が期待され、市は連携協力して事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		→			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	若者・学生・来街者を含め、いろいろな人の参加交流が図られ、暮らしやすいまちづくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	企業交流促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-5-01-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台の西に広がる工業集積を地域資源として捉え、集積する企業と地域が交流することにより、地域の活性化をめざします。</p> <p>既に、いすゞ自動車藤沢工場では、地元自治会役員、市内小学校向けに工場見学会を行い、地域との交流の取り組みが行われており、こうした取り組みも参考に事業を推進します。</p> <p>1 地域経営会議の賛助会員制度の検討、実施 2 地域の様々な情報を事業所に提供する仕組みの構築 3 事業所の情報を地域経営会議を通して地域に提供する仕組みの構築</p>					
活動指標	地域経営会議賛助会員数(個人/企業)					
目標値	現状値	0人/0社	3年後目標値	25人/10社	6年後目標値	40人/15社
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	自治会等の地域団体と事業所等の企業との連携協力による事業推進が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		→			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	企業と地域住民との間の情報交換やイベントによる相互交流が促進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					



事業名	子育てネットワーク事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-9-02-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台は若い世代が多く住むまちであり、地域で子育てを支えることが求められています。</p> <p>そのため、地区内の保育園・幼稚園・子育て支援センター・ファミリーサポートセンター・地区福祉窓口・民生委員児童委員協議会・公民館等が地域資源としてゆるやかなネットワークをつくり、子育てに関する不安の解消を図ります。</p> <p>1 子育てに関する情報共有方法の検討 2 子育てに関する相談・支援</p>					
活動指標	連絡会議参加団体数(累計)					
目標値	現状値	0団体	3年後目標値	12団体	6年後目標値	20団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体やボランティア団体と行政関係機関が連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		▶			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域での子育て支援が推進され、子育てネットワークの担い手の拡大が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	子ども安全ネットワーク事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-13-03-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>2010年(平成22年)7月に地域協力者会議の働きかけにより、地区内関係団体や関係機関が連携体制を築き、発足した子ども安全ネットワークを、今後地域に定着させ、子どもの安全安心を推進します。</p> <p>1 子ども安全ネットワークの周知 2 ネットワーク推進会議の開催 3 講演会や研修会の実施</p>					
活動指標	ネットワーク参加団体数(累計)					
目標値	現状値	28団体	3年後目標値	30団体	6年後目標値	33団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体や市民ボランティア団体と行政関係機関が連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		▶			
	検討・実施	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域ぐるみで子どもの安全を見守り、子どもの安全を守る環境の充実が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	子ども地域参加事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-13-03-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>子どもが地域で安全に暮らすためには、地域で顔の見える関係を広げていく必要があります。子どもや若者等の意見を反映した、子どもが楽しく参加できる取り組みが必要です。</p> <p>子ども会・青少年育成協力会・学校・PTA・公民館等の様々な団体の現状を把握して、今後の方策の検討を行います。</p> <p>1 子どもが楽しく参加できる取り組みの検討 2 地域団体等の現状把握 3 地域団体等が協力する方策の検討</p>					
活動指標	子ども地域参加協力団体数(累計)					
目標値	現状値	8団体	3年後目標値	12団体	6年後目標値	16団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体や市民ボランティア団体と行政関係機関が連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	計画	実施	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	子どもが楽しく参加できる事業を推進することにより、地域の担い手の拡大が図られ、地域の人々の協働による暮らしやすいまちづくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	子ども環境教育事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-16-04-6-1	地域分権区分					
事業内容	<p>現在、地区生活環境協議会による子どもを対象とした環境講座や、境川探検クラブによる子どもの自然体験を通して環境の大切さを理解させる実践活動が行われています。</p> <p>こうした様々な活動が個別に行われるだけでなく、相互に連携できれば、より大きな力を発揮するため、そのあり方を検討し、子どもが楽しく参加できる環境教育を推進します。</p> <p>1 環境講座・自然体験活動の実施 2 環境教育団体の相互連携のあり方の検討 3 相互連携による新たな取り組みの実施</p>					
活動指標	環境教育団体数(累計)					
目標値	現状値	7団体	3年後目標値	10団体	6年後目標値	14団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体や市民ボランティア団体と行政関係機関が連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	実施	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	子どもが楽しく参加できる環境教育事業を推進することにより、子どもの環境に対する意識の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	医療・福祉ネットワーク推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-17-05-7-1	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者も障がい者も誰でも安心して暮らすためには、医療と福祉の連携が重要であるため、医療と福祉のネットワークの構築をめざします。</p> <p>1 医療・福祉ネットワークのあり方の検討 2 地域でのネットワーク活用方策の検討</p>					
活動指標	ネットワーク参加団体数(累計)					
目標値	現状値	0団体	3年後目標値	8団体	6年後目標値	10団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	医療機関や福祉施設及び市民ボランティア団体と行政関係機関が連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		—————>			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の医療、福祉の連携を推進することで、安心して暮らせる環境整備が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

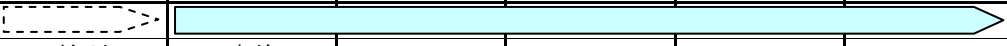
事業名	災害時要援護者支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-17-05-8-1	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者も障がい者も安心して暮らせるようにするため、特に災害時に援護が必要な人たちに対して、確実できめ細かな援護対策を実施します。</p> <p>1 災害時要援護者に対する支援策の検討 2 地区全体での取り組み方策の検討</p>					
活動指標	支援に取り組む自治会数					
目標値	現状値	17自治会	3年後目標値	20自治会	6年後目標値	30自治会
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	自治会や市民ボランティア団体と行政関係機関が連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		—————>			
	検討	実施	→	→		
(市域全体)						
期待される事業の成果	災害時の要援護者支援の充実が図られ、誰もが安心して暮らせるようになります。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

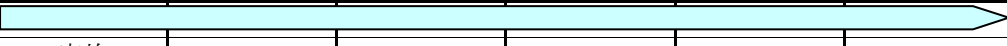
事業名		防犯灯LED化実験事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-19-06-9-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>治安のよい環境をつくり、夜間でも安全に歩行できるよう、現在の20W蛍光灯の防犯灯を実験的にLED照明に切り替えます。</p> <p>最終的には、地区内の防犯灯全灯のLED照明への切り替えをめざします。</p> <p>1 実験的な防犯灯のLED照明への切り替え</p> <p>2 防犯効果やコスト等の検証</p>						
活動指標	LED防犯灯設置数(累計)						
目標値	現状値	0件	3年後目標値	105件	6年後目標値	210件	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	市民や地域団体と協力し、夜間通行の安全を確保するため、市は防犯灯をLED化する事業を自治会と協力して推進します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			→	
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	防犯灯LED化により、夜間でも安心して歩行できる環境の整備が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名		防犯活動活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-3-19-07-10-1	地域分権区分						
事業内容	<p>「うちゅう家族まもり隊」が2005年(平成17年)に結成され、当初約60人の参加者が現在は500人を超えています。</p> <p>防犯パトロールをこれからも充実、継続していくためには、新しい活動方法、活動の担い手の確保が必要とされており、湘南台駅東西商店街、学童見守り隊、湘南台地区青少年育成協力会と連携を密にし、防犯活動の強化を図ります。</p> <p>1 「うちゅう家族まもり隊」の組織と活動の強化</p> <p>2 多様な世代の参加方策の検討</p>						
活動指標	防犯活動参加者数(年間)						
目標値	現状値	500人	3年後目標値	600人	6年後目標値	700人	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地域団体や市民ボランティア団体と行政関係機関が連携協力し、事業を推進します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			→	
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	様々な条件の人が参加できる防犯活動を推進することにより、地域の担い手の拡大と犯罪発生の抑制が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名		道路安全対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-30-08-11-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>横浜市域の環状4号線が整備され下根広町線への交通量が増加し、総合市民図書館南側交差点の渋滞頻度が高くなりました。その渋滞を避けるため、湘南台7丁目の住宅地内への通過車両が増加し、出会い頭の交通事故の発生も増えています。</p> <p>湘南台地区東部の住宅地に横浜市から流入する通過車両から歩行者の安全を確保し、円滑な車両の通行を確保するため、地元の意見調整の結果を踏まえて検討し整備を進めます。</p> <p>1 現地調査, 地元の意見調整 2 道路整備の実施</p>						
	活動指標	道路整備率(累計)					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民や市民団体による地域の調整が期待され、市は連携協力し、事業を推進します。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	計画	→	実施	→		
(市域全体)	検討	計画	→	実施	→		
期待される事業の成果	自治会や地域住民が主体となり、市と連携協力し、道路安全対策事業を推進することにより、誰でも安全に通行できる道路環境の整備が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名		高倉遠藤線の延伸事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-30-08-11-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>都市計画道路高倉遠藤線は、境川までの計画区間が整備終了していますが、地域の誰もが交通ルールを守り、安全に生活できるまちを築くためには、道路環境のさらなる充実が必要です。</p> <p>交通結節点となっている湘南台周辺を含む藤沢市北部の交通体系の整備は、地区にとって大きな課題となっているため、その一環として、境川で終結している都市計画道路高倉遠藤線の横浜市への延伸について検討します。</p> <p>1 関係機関・団体との調整 2 地元の意見調整 3 横浜市への働きかけ</p>						
	活動指標	関係機関・団体との調整率(累計)					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	20%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	自治会や地域住民が主体となり地元の意見調整を行うことが期待され、市は協力して進めます。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→				
(市域全体)	検討	→	→				
期待される事業の成果	自治会や地域住民が主体となって意見調整し、市と連携して道路の延伸事業を検討することで、地域の意見を反映した道路環境の充実が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名	交通安全意識啓発推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-30-08-12-1	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台地区は鉄道やバスなどの公共交通機関や幹線道路の結節点であり、道路上では歩行者や自転車、車両が終日行き来し、交通事故に遭う危険性が増大しています。</p> <p>交通事故を減らし、安全なまちを築くためには、交通ルールやマナーを守ることが不可欠であり、人と車、自転車が共存し、地域の誰もが安全に生活できる環境をつくるため、子どもから大人まで交通ルールに対する正しい知識を身につけ、交通ルールを守る意識の向上を図ります。</p> <p>1 交通ルールの周知方法の検討 2 交通安全教室の検討、実施</p>					
活動指標	意識啓発事業数(年間)					
目標値	現状値	2件	3年後目標値	4件	6年後目標値	6件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民団体や地域団体、学校や警察等関係機関が連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
						
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	交通安全に対する意識啓発を行うことにより、交通ルールを守る意識が高まり、安全に生活できるまちづくりが促進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	高齢者・障がい者カフェ事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-31-09-13-1	地域分権区分					
事業内容	<p>高齢者や障がい者にやさしいまちを築くため、バリアフリー化等のハード面の整備のほか、誰でも気軽に集える場づくりやいつでも誰でも迎え入れられる地域の環境づくりを進めます。</p> <p>地域の福祉施設等と連携を図り、高齢者や障がい者が気軽に立ち寄り、参加者相互及びボランティアと交流できる場づくりを進めます。</p> <p>1 誰でも参加できるサロン・カフェの定期開催</p>					
活動指標	参加者数(1回当たり)					
目標値	現状値	8人	3年後目標値	20人	6年後目標値	30人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民、市民団体、市民ボランティアと協力して事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
						
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	高齢者や障がい者にやさしいまちづくりに寄与します。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	外国人支援交流事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-29-10-14-1	地域分権区分						
事業内容	<p>湘南台公民館には、いくつかの日本語サークルがあり、外国籍市民に対する日本語指導が行われています。</p> <p>様々な人がお互いに尊重し、協力し合い、安心して暮らせるまちを築くため、こうした活動への支援や外国人住民との相互理解を目的とした交流事業を実施します。</p> <p>1 外国人市民との交流会の定期的開催 2 日本語サークル活動への支援方策の検討</p>						
	活動指標	外国人支援交流事業数(年間)					
	目標値	現状値	4事業	3年後目標値	10事業	6年後目標値	15事業
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	日本語を教える市民団体や大学生等のボランティアと市が連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	様々な人が互いに尊重し、協力し合えるまちづくりが推進されます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名	街中サインユニバーサル化事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-4-29-10-15-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	<p>湘南台駅は鉄道・バス等の公共交通機関の結節点になっていることから、出張や留学などを含め、様々な人が行き交うとともに、多くの外国人が住んでいます。</p> <p>言語や生活習慣等が異なる様々な人が安心して生活できるような環境整備を実施します。</p> <p>1 誰もが理解できる街中サインの検討 2 街中サインの設置</p>						
	活動指標	ユニバーサルサイン設置数(累計)					
	目標値	現状値	0基	3年後目標値	12基	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議が主体となり調整を進め、外国籍市民や市民団体、市と連携協力し、事業を推進することが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→				
(市域全体)	検討・実施	→	→				
期待される事業の成果	外国人を含め、湘南台を訪れる様々な人たちが、安心して暮らせるまちづくりが図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名	地域に根ざした文化創造事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-29-10-16-1	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台のまちの特徴である駅を中心とした都市環境を活用した新たな文化創造事業を検討し、様々な人がお互いに尊重し、協力して湘南台らしい文化創造を進めます。</p> <p>1 地域特性を活用した新たな取り組みの検討, 実施 2 実施主体の育成方法の検討, 実施</p>					
活動指標	新たな文化創造事業数(年間)					
目標値	現状値	0事業	3年後目標値	1事業	6年後目標値	3事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民団体や地域団体, 学校や商店街等と市が連携協力し, 事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	多文化共生をはじめ新しい文化を創造することで, 活発な交流が促進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	湘南台コミュニティールーム活用促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-45-11-17-1	地域分権区分					
事業内容	<p>様々な世代の交流や, 地域の未来の担い手を育成するために, 湘南台コミュニティールームを活用し, 市民活動団体相互の自主性を尊重しながら, 交流できる環境づくりを進めます。</p> <p>また, 子育てネットワーク, 子ども安全ネットワーク, 医療・福祉ネットワーク, 外国人交流等の場としても積極的に活用します。</p> <p>1 現在の湘南台コミュニティールームの活用促進策の検討 2 湘南台コミュニティールームのあり方検討</p>					
活動指標	コミュニティールームの利用率(年間)					
目標値	現状値	23%	3年後目標値	40%	6年後目標値	70%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	様々な地域活動の拠点として市民, 市民団体等の協力により事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域活動の拠点を整備することにより, 様々な世代の人の交流と未来の担い手の育成が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					



事業名	若者参加促進事業(湘南台検定事業)						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-5-45-11-18-1	地域分権区分						
事業内容	若い世代の地域活動への参加促進を図るには、地区周辺の大学生、湘南台高校、地域出身の若者たちが地域を知ることが重要であり、地域情報の広報や役割参加できる機会として、湘南台検定を実施します。 また、若者の参加のほか、商店街との連携や企業協賛など、様々な主体と連携できる仕組みづくりを検討します。 1 検定制度の検討						
	活動指標	受検者数(年間)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	50人	6年後目標値	100人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議が、市民、地域団体、市等と協力して事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	計画	実施	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)							
期待される事業の成果	検定の実施により、若い世代の地域理解と地域活動への参加が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名	地域人材育成事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
2-5-45-12-19-1	地域分権区分						
事業内容	地域活動を支える人材の高齢化とともに後継者不足が課題となっており、その課題解決を図るため、地域を支える人材を育成し、地域での実践活動を通して社会貢献や地域貢献を支援します。 1 新たな人材発見のための人材交流サロンの検討、実施 2 地域活動の核となる人材を養成する地域プロデューサー養成講座の検討、実施 3 ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス等による、各種地域課題への取り組みの促進						
	活動指標	地域を支える人材育成講座への参加者(年間)					
	目標値	現状値	17人	3年後目標値	30人	6年後目標値	50人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議が、地域活動に意欲を持つ市民を対象に、様々な活動団体や市と連携し事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)							
期待される事業の成果	人材の交流・養成を図ることにより、地域を支える人材の確保が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名	環境意識啓発事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-6-49-13-20-1	地域分権区分					
事業内容	<p>住民の環境に対する意識を高めるため、地球から地域まで様々な環境問題を身近に感じるとような意識啓発と具体的な活動を結びつける「環境意識啓発事業」の取り組みを進めます。</p> <p>1 参加者がメリットを感じる仕組みの検討</p>					
活動指標	環境事業参加者数(年間)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	300人	6年後目標値	500人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民団体、企業、行政等が協力して事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域環境活動を促進することにより、住民の環境に対する意識の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	緑の回遊路整備事業(レインボータウン湘南台計画)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-13-21-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>湘南台地区には、湘南台公園や円行公園、境川や引地川などの緑と水に囲まれた良好な自然環境があり、また、湘南台文化センターやこども館、総合市民図書館など多くの市民が利用する公共施設が点在しています。</p> <p>このような地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる新たな湘南台の魅力づくりを推進します。</p> <p>1 案内表示や回遊路マップの作成、周知 2 回遊する施設それぞれの特色づくりの検討及び地域との協議</p>					
活動指標	緑の回遊路案内板設置数(累計)					
目標値	現状値	0基	3年後目標値	4基	6年後目標値	10基
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域経営会議や市民団体と協力し事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→		
(市域全体)	検討	実施	→	→		
期待される事業の成果	自然環境や公共施設等の地域資源を活用し、新たな湘南台の魅力づくりを進め、快適なまちづくりが図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名 <b>地球温暖化防止活動 湘南台駅地下照明LED化事業</b>						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-13-22-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	地球温暖化防止への取り組みの一環として、湘南台駅地下通路に設置されている照明灯をLED化し、消費電力を抑え、二酸化炭素排出量を削減するとともに、湘南台から地球温暖化防止への情報発信を行い、地域住民が誇りに思える駅地下空間を実現します。 1 湘南台駅地下通路照明灯のLED化 2 地球温暖化防止への情報発信					
活動指標	CO2削減量(年間)					
目標値	現状値	0t	3年後目標値	60t	6年後目標値	150t
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議と市が協力し、地域市民と連携・協働しながら環境整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	
(市域全体)	検討	→	実施	→	→	
期待される事業の成果	身近な環境の改善により、住民の地球温暖化防止など環境に対する意識の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名 <b>コミュニティサイクル(バイクシェアリング)事業</b>						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-6-49-13-22-2	地域分権区分					
事業内容	地区内の回遊、商店街での買い物など、地域の活性化に貢献するとともに、環境に配慮した取り組みとして、バイクシェアリング(自転車共同利用)を検討し、実施します。 1 地区内及び地区周辺の大学や企業と共同でステーションの設置に向けた検討 2 企業協賛を得たレンタルバイクを配置し、通勤・通学に活用					
活動指標	コミュニティサイクル事業利用登録者数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	50人	6年後目標値	100人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、企業、行政による協力体制により推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	実施		
(市域全体)						
期待される事業の成果	住民の利便性を向上する仕組みづくりを進め、環境への意識向上が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	住民・企業参加交流事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-63-14-23-1	地域分権区分					
事業内容	<p>企業が地域に参加する方法としては、地域事業への協賛や後援のほか住民と企業が共催で行う事業がありますが、さらに多様な方法により住民と企業が交流できる方策を検討し、実施します。</p> <p>1 企業協力による地域事業(湘南台ファンタジア・イルミネーション湘南台等)の実施 2 住民と企業が交流できる方策の検討</p>					
活動指標	交流事業数(年間)					
目標値	現状値	2事業	3年後目標値	4事業	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が中心となり、市民、市民団体、企業が協力して事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	実施	→			
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域に対する企業の参加が活発化し、住民と企業双方の交流が促進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	企業の地域貢献推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-63-14-24-1	地域分権区分					
事業内容	<p>企業が社会的責任を果たし、地域の一員として関わる方策として地域貢献事業があります。こうした地域貢献事業は、一方的に企業の負担を強いるものでは長続きしません。したがって、地域の事業や地域で必要とされていることを企業に知ってもらうとともに、地域貢献活動を促進できるような方策や地域の環境整備を検討し、実施します。</p> <p>1 企業の地域貢献活動の現状把握 2 地域貢献活動を促進する方策の検討、実施</p>					
活動指標	地域貢献推進事業への参加事業数(年間)					
目標値	現状値	0事業	3年後目標値	3事業	6年後目標値	5事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、企業と協力し事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	企業の特性を活かした地域貢献事業が推進され、企業と地域の連携が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	魅力ある商店街づくり事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-7-62-15-25-1	地域分権区分						
事業内容	湘南台地区まちづくりアンケートでは、書籍、衣料、家電製品、美容院、ファッションなどの店舗整備を求める声が多くある一方で、辻堂、戸塚、高座渋谷等の近隣駅前の再整備により、湘南台の商店街としての魅力が相対的に低下する懸念があるため、商店街の今後の方向性を検討します。 1 東西商店街、商工会議所等と連携し、湘南台にふさわしい店舗誘致の検討 2 起業支援の検討						
	活動指標	新たな誘致・起業店舗数(年間)					
	目標値	現状値	0店舗	3年後目標値	1店舗	6年後目標値	2店舗
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	商店街を中心に市民団体、行政が協力し検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→			
	(地域)						
(市域全体)							
期待される事業の成果	楽しく買い物ができる商店街づくりを通して、まちの活性化が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名	湘南台駅地下の壁面広告看板設置事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-71-16-26-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	現在の駅地下道通路は、空間は広いが殺風景で魅力に欠けています。 湘南台駅には一日15万人の乗降客があることから、公共空間である地下道壁面を活用して広告看板を設置し、地域活動に必要な収入を確保するとともに、広告により、地下から地上へと人の回遊性を創出する環境整備の検討を行います。 1 広告看板の設置方法の検討 2 広告看板の活用方法の検討						
	活動指標	広告看板の稼働率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	60%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市と地域経営会議が中心となり検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
	(地域)						
(市域全体)	検討	実施					
期待される事業の成果	公共施設の有効活用が図られるとともに、駅地下から地上への回遊性の向上が図られます。						
担当部課	市民自治部湘南台市民センター						

事業名	公共施設有効活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-71-16-26-2	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>高倉市民の家, 円行市民の家など, 地区内の公共施設は多くの市民に利用されていますが, さらに有効活用を図るための方策を検討します。</p> <p>1 利用状況等現状把握 2 公共施設の有効利用策の検討</p>					
活動指標	有効活用事業数(年間)					
目標値	現状値	0事業	3年後目標値	1事業	6年後目標値	3事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が中心となり, 企業, 行政と協力して推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			→		
	検討	→	実施	→		
(市域全体)	検討	→	実施	→		
期待される事業の成果	市民の目線による検討を進めることにより, 公共施設の有効活用が促進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	市民活動支援のための環境整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-71-16-27-1	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台地区では, 各種の地域団体やボランティア団体等が活動しており, その活動拠点として, 2010年(平成22年)3月に湘南台コミュニティールームを開設しました。</p> <p>この施設の利用促進を図ることが地域活動の活性化につながることから, 設備の充実等の環境整備の検討を行います。</p> <p>1 湘南台コミュニティールームの設備充実の検討 2 公民館等公共施設のより多様な利用方法の検討</p>					
活動指標	湘南台コミュニティールーム登録団体数(年間)					
目標値	現状値	34団体	3年後目標値	50団体	6年後目標値	70団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	様々な地域団体や市民団体の活動実態に則した施設の充実を図るため, 市は利用団体の協力により事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			→		
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	市民活動の環境整備を進めることで, より一層の市民活動の活発化が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	駅地下への店舗設置検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-71-17-28-1	地域分権区分					
事業内容	<p>駅地下を利用する住民の利便性や快適性を高め、地上との回遊性の起点とするため、湘南台駅地下広場へ店舗設置を検討します。</p> <p>湘南台駅地下は、道路法や建築基準法等から店舗設置が認められていない現状であるため、まずはイベント等多様な利用方法について検討します。</p> <p>1 湘南台駅地下広場の有効活用の検討</p>					
活動指標	駅地下イベント回数(年間)					
目標値	現状値	3回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民や市民団体、企業の協力により、駅地下の利便性や快適性を高める事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	イベントの開催など駅利用者の快適性を高め、地上との回遊性の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	駅地下休憩場所(ベンチ)増設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-71-17-28-2	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台駅は利用者が多い割に待ち合わせなどをする居場所が少ないため、サークルベンチを増設し、くつろぎの空間をつくり、地上との回遊への起点とするための休憩場所の増設を行います。</p> <p>1 駅地下広場へのベンチの設置</p>					
活動指標	駅地下休憩場所(ベンチ)設置数(累計)					
目標値	現状値	4基	3年後目標値	5基	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が中心となり、地域市民の声を聞きながら、市と協力して事業を推進することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施					
(市域全体)						
期待される事業の成果	駅利用者のくつろぎの空間を提供し、地上との回遊性の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	地域イベント再構築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-71-17-29-1	地域分権区分					
事業内容	<p>現在、湘南台地区で行われている各種地域イベントをさらに活性化するために、将来にわたり実施可能な執行体制を再構築します。</p> <p>1 事業主体・推進体制・事業内容・事業費等の検討</p>					
活動指標	再構築された地域イベントの数(累計)					
目標値	現状値	0事業	3年後目標値	3事業	6年後目標値	5事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、市民団体、企業、行政等が協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		—————▶			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	様々な地域イベントの事業主体や推進体制等を再構築することにより、ふれあいと活気のあるまちづくりが図られます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	公園ユニバーサル化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-76-18-30-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	<p>区内21公園のうち緑地1か所を除く20公園の中で、バリアフリー化されているのは、渋谷ヶ原公園・原谷公園・大塚戸公園の3か所です。</p> <p>区内の公園は日常の憩いの場であるとともに災害時一時避難場所としても利用されるものであり、安全で安心して暮らせるまちづくりのため計画的に公園のユニバーサル化を図ります。</p> <p>1 現地調査 2 ユニバーサル化計画の検討、実施</p>					
活動指標	ユニバーサル化された公園数(累計)					
目標値	現状値	3公園	3年後目標値	8公園	6年後目標値	14公園
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民団体と協力して事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		—————▶			
	計画	実施	→	→	→	
(市域全体)	計画	実施	→	→	→	
期待される事業の成果	住民の誰もが安心して憩えるよう公園を整備することで、公園の利用が促進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					



事業名	個性ある景観形成検討事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-9-76-18-31-1	地域分権区分					
事業内容	<p>湘南台地区まちづくりアンケートにおいて、駅前等の景観に対する要望は多く、地区全体集会や意見カードでも要望が寄せられていることから、関係部署や都市マスタープランの内容とも連携を図りつつ、都市景観形成のあり方の検討を行います。</p> <p>1 湘南台らしい景観形成の検討</p>					
活動指標	景観検討回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	3回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民、市民団体、企業、地権者及び行政が協力して事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			----->		
	検討	→	→	→		
(市域全体)						
期待される事業の成果	個性ある景観形成に向けた取り組みが促進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					

事業名	産・学・地域研究事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-76-19-32-1	地域分権区分					
事業内容	<p>将来の湘南台の位置、湘南台がめざすべき方向性について、湘南台地区の産業集積や知的集積を活用し、産・学・地域が協力して他都市との比較研究などを行いながら検討します。</p> <p>1 乗降客一日15万人のまちのあり方の検討 2 地域づくりのテーマの具体化 3 地域人材の発掘と育成 4 湘南台まちづくりシンポジウムの開催</p>					
活動指標	研究会開催数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	10回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、企業、大学、市民団体と連携協力し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			----->		
	検討	→	実施	→		
(市域全体)						
期待される事業の成果	産業・大学・地域の交流が活発化し、湘南台地区の将来方向の検討が促進されます。					
担当部課	市民自治部湘南台市民センター					



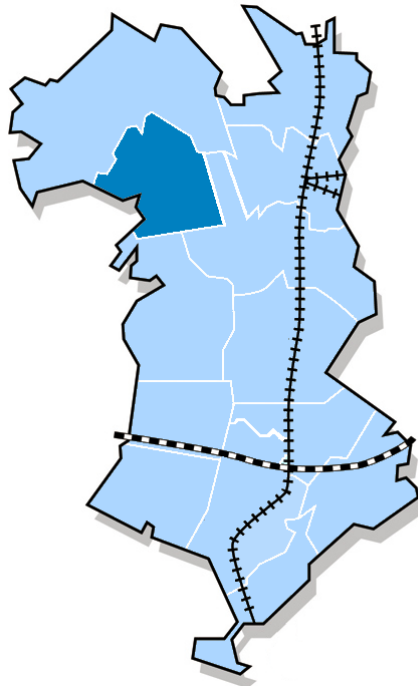
# 藤沢市新総合計画

## 遠藤地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し

“人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤をめざします。



---

## 地区のあらまし

---

人口については、2010年（平成22年）12月1日現在で11,055人で全市の2.7%を占め、市内13地区では一番少ない地区になります。65歳以上の人口の占める割合（高齢化率）は17.0%で湘南台地区について2番目に低い地区となっています。

遠藤地区は、藤沢市の西北部に位置し、面積は4.96km<sup>2</sup>、農地が多く、東は六会地区石川、西は御所見地区打戻との間に挟まれ、南北に長い地形となっています。地区は台地部と谷戸部に分けられ、台地上の北東部から南東部にかけて、中世の頃から発達した集落が多く存在し、谷戸部は琵琶島等に源流を持つ小出川を中心に形成され、古くからその富んだ地形を利用して農業を中心に町を形成してきました。

昭和60年代に入り、西部に「健康と文化の森」構想が展開されたことを契機に大きな変化を遂げました。現在は慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスが開校され、周辺一帯の幹線道路が複数整備されるなど都市基盤整備も進展しています。

---

## 地区の特色

---

総じて農地をはじめ空閑地が多く、都市部に比べのどかな雰囲気のある地区で、自然や田園が地区の財産と言えます。

地区の西部には藤沢三大谷戸の一つである遠藤笹窪谷（谷戸）があり、樹林地、湿地には多様な生物が生息している一方、竹林では竹炭祭が開催されタケノコなど農産物が販売されるなど、にぎわいを見せています。



小出川では、市民団体がボランティアで管理するあじさいや彼岸花など、四季おりおりの自然が残されています。あじさいや彼岸花の時期には祭りが開催され、市内外から大勢の観光客が集まり、散策を楽しむ一方、地域内の畑地で栽培された野菜などを販売する直売所で、買い物を楽しむ方も多く、北部地域の新しい観光地として注目を集めているところです。

一方、秋葉台公園の文化体育館は藤沢市北部方面のスポーツ拠点で、夏期は多くの市民が複合プールを訪れています。

---

## 遠藤地域経営会議（遠藤まちづくり推進協議会）

---

地域活動団体等からの推薦委員と公募委員で構成し、地域振興部会（地域活性化まちづくり事業他）、道路・交通・安全部会（安全安心まちづくり推進事業他）、公園・自然環境部会（公園整備運営管理事業他）、健康の森部会（健康と文化の森まちづくり推進事業他）、福祉・教育部会（ボランティア活動推進事業他）、広報・文化部会（広報活動充実事業他）の6つの部会を中心に進めていきます。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 助け合いの輪が広がる夢のあるまち遠藤

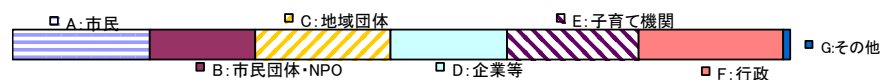
【成果指標】

①助け合いのある地域だと感じる者の割合

【現状値】 ①14%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:17% B:14% C:17% D:15% E:17% F:19% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 地域活動の充実と人材育成

<成果の視点> 地域活動が充実していること

〔主要な指標〕 ボランティアセンターの活動に参加した人の延べ人数

○実施事業 ボランティア活動推進事業  
地域活動の広報充実事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

14 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること

【地域まちづくり目標】

02 大人と子どもが相互に支え合う交流のあるまち遠藤

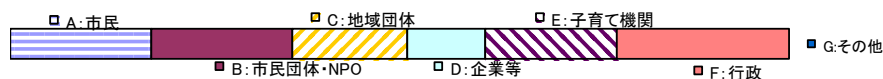
【成果指標】

①子ども一人当たりの公民館におけるイベント参加件数

【現状値】 ①2.5件

【めざそう値】 3年後：①3件 6年後：①4件

【役割の担い手】 ①A:18% B:18% C:15% D:10% E:17% F:22% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－２》 学校・家庭・地域等の連携による教育環境の充実

＜成果の視点＞ 地域での教育環境が充実していると感じられること

〔主要な指標〕 世代別活動参加者数（50代以上，40代～20代，10代）

○実施事業 青少年育成推進事業  
世代間交流事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

### 19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

#### 03 住民同志の交流が活発で安全なまち遠藤

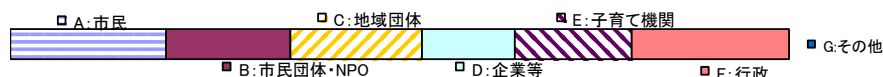
【成果指標】

①地区の犯罪発生件数

【現状値】 ①361件

【めざそう値】 3年後：①285件 6年後：①240件

【役割の担い手】 ①A:20% B:16% C:17% D:12% E:15% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－３》 防犯活動の充実

＜成果の視点＞ 日常生活で防犯に対して不安を感じないこと

〔主要な指標〕 防犯活動への参加者数

○実施事業 防犯活動推進事業  
安全安心ステーション設置事業  
地域安全マップ作成事業

《活動－４》 地域力による防災活動の充実

＜成果の視点＞ 日常生活で防災に対して不安を感じないこと

〔主要な指標〕 自治会単位の防災訓練参加者数

○実施事業 地区自主防災組織強化推進事業

《活動－５》 交通安全対策の推進

<成果の視点> 日常生活でヒヤリ・ハットを感じないこと  
 [主要な指標] 安全キャンペーン参加者数  
 ○実施事業 交通安全対策推進事業

都市ビジョン2  
 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性  
**4 共に生き、共に創る地域社会の創出**  
 すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

**24 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること**

【地域まちづくり目標】

**04 みんなの心がかよう夢のあるまち遠藤**

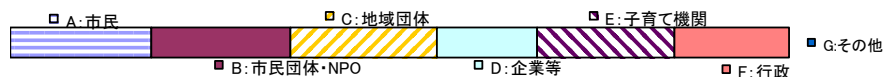
【成果指標】

①市民同士のコミュニケーションがとれていると感じる者の割合

【現状値】 ①33%

【めざそう値】 3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】 ①A:18% B:18% C:19% D:13% E:17% F:15% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-6》 地域市民交流の促進

<成果の視点> 地域市民の交流が活発に行われていると感じられること

[主要な指標] 事業への遠藤地区住民参加者数

○実施事業 地域総ぐるみ挨拶・声かけ運動事業  
 地域イベントへの参加促進事業

藤沢づくりのめざす方向性  
**5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展**  
 藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

**45 地域の未来の担い手が育成されていること**

【地域まちづくり目標】

**05 豊かな自然を将来まで受け継いでいく夢のあるまち遠藤**

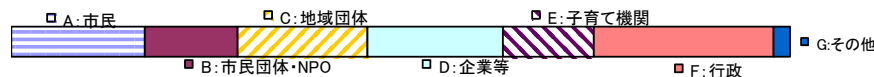
【成果指標】

①地区の総面積に占める耕地面積の割合

【現状値】①14%

【めざそう値】3年後：①20% 6年後：①20%

【役割の担い手】①A:17% B:12% C:17% D:17% E:12% F:23% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－7》 緑地空間の保全・継承の推進

<成果の視点> 自然が豊かだと感じられること

〔主要な指標〕 農作業体験など観光農業を目的とした活動数

- 実施事業 観光農業推進事業
- 地場産物直売促進事業

藤沢づくりのめざす方向性

6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

47 みんなが協力して、いつでもまちがきれいであること

【地域まちづくり目標】

06 きれいで住みよい夢のあるまち遠藤

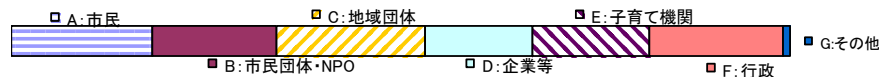
【成果指標】

①まちがきれいだ実感できた人の割合

【現状値】①29%

【めざそう値】3年後：①40% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:18% B:16% C:19% D:14% E:15% F:17% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－8》 地域環境美化活動の促進

<成果の視点> 環境美化活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 地区内清掃活動、花・木いっぱい運動の実施回数

- 実施事業 環境意識向上推進事業
- 不法投棄防止対策事業
- 花・木いっぱい運動推進事業



都市ビジョン3  
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

65 市内の交通・物流がスムーズに行われること

【地域まちづくり目標】

07 便利な交通ネットワークのある活気あふれる豊かなまち遠藤

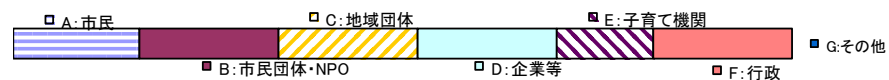
【成果指標】

①交通の便がよいと感じる者の割合

【現状値】①29%

【めざそう値】3年後：①30% 6年後：①31.5%

【役割の担い手】①A:16% B:18% C:18% D:18% E:12% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 新交通等の早期実現に向けた活動の促進と地域活性化の推進

＜成果の視点＞ 地域の交通課題解決に向けた取り組みが活発に行われていること

〔主要な指標〕 道路に関する苦情・要望件数

○実施事業 生活交通路改良事業

集团的狭あい道路整備事業

相鉄いずみ野線延伸計画促進事業

《活動－10》 交通の利便性の向上

＜成果の視点＞ 主要鉄道ターミナル駅からのアクセスが改善されていること

〔主要な指標〕 主要駅からのバス運行本数

○実施事業 バス便増加促進事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

### 66 市民の財産である自然を守り、育てられていること

【地域まちづくり目標】

#### 08 自然環境を守り、育てるみんなのまち遠藤

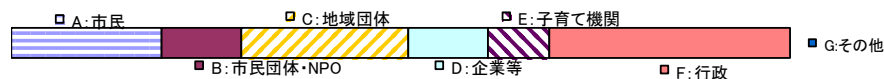
【成果指標】

①地区の総面積に占める公園・緑の広場の面積の割合

【現状値】 ①0.3%

【めざそう値】 3年後：①0.5% 6年後：①1.0%

【役割の担い手】 ①A:19% B:10% C:22% D:10% E:8% F:31% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－11》 健康づくり活動の推進

<成果の視点> 豊かな自然が受け継がれていること

〔主要な指標〕 公園ボランティア活動の参加者数

○実施事業 健康の森整備促進事業

公園・緑の広場活用推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげていくことをめざします。

ふじさわ未来課題

### 73 活気があり、開放的で温かいまちであること

【地域まちづくり目標】

#### 09 開放的な世代間交流があるまち遠藤

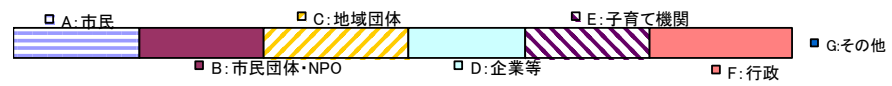
【成果指標】

①地域のお祭りに来場した人の割合

【現状値】 ①16%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:16% B:16% C:19% D:15% E:16% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 多種多様なイベント活動の充実

<成果の視点> 各種イベントに訪れる人が年々増えていること

[主要な指標] イベント参加者数

- 実施事業 伝統文化継承事業
- 三大祭り継承事業
- 北部観光広域連携推進事業

事業名	ボランティア活動推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-7-01-1-1	地域分権区分						
事業内容	<p>「遠藤まちづくり推進協議会」から独立したボランティア活動団体「シェークハンズ遠藤」に対して、円滑な事業運営を図るため、支援会員を増員し、研修会や講演会等を開催するなど人材育成を行い地域ボランティアセンターとしての組織体制の確立を支援します。</p> <p>また、手助けが必要とされている高齢者や子育て中の親等多くの人が気軽に利用できるセンターとして、幅広いボランティア活動(生活支援、生きがいづくり支援)を推進します。さらには、地区内にある他のボランティア活動団体と連携し、一体となったボランティア組織の構築をめざします。</p> <p>1 地域ボランティアセンターとしての組織体制確立 2 幅広いボランティア活動の推進</p>						
	活動指標	ボランティアセンター活動回数(年間)					
	目標値	現状値	0回	3年後目標値	100回	6年後目標値	150回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体には、自主的な活動が期待されるとともに、市はその活動に支援を行い、また、企業等からの協力も望まれます。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→			
期待される事業の成果	地域ボランティアセンター「シェークハンズ遠藤」の活動体制の充実と地区内ボランティア活動団体との連携した組織づくりが図られます。						
担当部課	市民自治部遠藤市民センター						

事業名	地域活動の広報充実事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-7-01-1-2	地域分権区分						
事業内容	<p>現在発行している「遠藤まちづくりニュース」等の各地域団体の広報紙について、地域活動の案内や報告を充実させ豊富な内容とするとともに、地域市民が主体となって、市ホームページ、ふじさわサイネージ及び遠藤地区ポータルサイト(研修会を開催)を活用して、地域イベント情報の発進の場として活性化させるなど、各種媒体を用いた効果的な情報提供に取り組めます。</p> <p>1 各地域団体の広報紙の充実化 2 ホームページ、サイネージ及び遠藤地区ポータルサイトでの地域イベント情報の発信</p>						
	活動指標	広報活動の実施回数(年間)					
	目標値	現状値	10回	3年後目標値	20回	6年後目標値	40回
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	遠藤地域経営会議を中心に現状を調査研究し、地域への情報提供を図ります。						
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	検討	実施	→	→	→	→	
期待される事業の成果	地域市民が主体となり地域イベント情報を各種媒体を用いた効果的な情報提供に取り組むことで、地域の活性化が図られます。						
担当部課	市民自治部遠藤市民センター						

事業名	青少年育成推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-14-02-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>青少年育成協会及び学校等を中心として、青少年育成のために、充実した事業を実施します。</p> <p>「子ども健全育成の集い」においては、次世代を担う青少年を非行から守り、健全な育成に努めるため、遠藤地区学区内で活動している各種団体、学校、幼稚園、保育園等が協力し、地域に理解と協力の輪を広げ、地域ぐるみの集いを開催します。</p> <p>また、「少年キャンプ」においては、豊かな自然の中での団体生活や多面的な野外活動を通じて、豊かな心や創造性、協調性を養い、児童の健全育成を図ります。</p> <p>1 「子ども健全育成の集い」の開催 2 「少年キャンプ」の実施</p>					
活動指標	子ども、青少年の地域活動参加者数(年間)					
目標値	現状値	290人	3年後目標値	320人	6年後目標値	350人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体には、自主的な活動が期待されるとともに、市はその活動に支援を行い、また、企業等からの協力も望まれます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	青少年の豊かな心や創造性、協調性が養われるなど、青少年の健全な育成に寄与します。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	世代間交流事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-14-02-2-2	地域分権区分					
事業内容	<p>青少年育成協会、社会福祉協議会及び秋葉台サンシャイン等を中心に、世代間交流事業を推進します。また、地域ふれあいのつどいでは、祖父母、父母、子の三世代が伝統芸能等を通じて交流することにより、核家族化により希薄になっている世代間のふれあいを図ります。</p> <p>さらに、中学生交流事業では、秋葉台中学校学校教育課程の時間を利用し、地域住民と地区青少年育成協会の協力により、地域に伝わる伝統的な事柄を中学生に教えながら、地域の大人との交流を促進することで、青少年の健全な育成を図ります。</p> <p>1 地域ふれあいのつどいの実施 2 中学生交流事業の実施</p>					
活動指標	地域活動への参加者数(年間)					
目標値	現状値	320人	3年後目標値	350人	6年後目標値	400人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体には、自主的な活動が期待されるとともに、市はその活動に支援を行い、また、企業等からの協力も望まれます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	世代間交流を促進し、青少年の健全な育成支援が図られます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	防犯活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-19-03-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>犯罪のない安全・安心まちづくりを実現するため、現在実施している防犯教室や防犯キャンペーン活動の周知機会の拡大や充実により、防犯意識のさらなる高揚を図り、「自らの安全は自ら守る、地域の安全は地域で守る」の考え方を基本とした地域住民による積極的な自主防犯活動を促進します。</p> <p>防犯灯の設置状況から夜間の暗がり箇所が多数生じており、設置必要箇所を遠藤地区全域で調査し、把握・検討を行い、市への設置依頼を促進することにより、夜間の暗がり箇所の早期解消をめざします。</p> <p>1 防犯パトロール等、防犯活動の充実及び周知機会の拡大 2 防犯灯設置必要箇所の把握・検討及び市への設置依頼</p>					
活動指標	パトロール実施回数(年間)					
目標値	現状値	107回	3年後目標値	150回	6年後目標値	200回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	遠藤地区防犯協会が中心となって現状を調査研究し、地域への情報提供を図るなど地域の防犯意識の向上に努めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の活動により、犯罪のない安全・安心まちづくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	安全安心ステーション設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-03-3-2	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地区には交番がなく、唯一「石川交番」が担当地区として治安を担っている状況にあります。</p> <p>安全・安心のまちづくりの推進を図るためにも、交番が必要との声が多くあることから、市民力・地域力による「安全安心ステーション」を設置し、地域の治安の向上に努めます。</p> <p>1 安全安心ステーション(民間交番)の設置</p>					
活動指標	民間交番設置数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	1か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域市民及び地域団体の自主的な活動が期待されるとともに、市はその活動に支援を行い、また、企業等からの協力も望まれます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	市民力・地域力による安全で安心なまちづくりの環境の整備が図られます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	地域安全マップ作成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-03-3-3	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地区内における入りやすく見えにくい場所等の犯罪に弱い危険な箇所をまとめた「地域安全マップ」の作成に取り組みます。</p> <p>3か年計画で各自治会ごとに実地調査・作成を行い、最終的にそれらをまとめた遠藤地区全域の安全マップを作成し、有効活用を図ります。</p> <p>作成後は必要に応じて安全マップの見直し等に取り組み、継続した地域の安全確保に努めます。</p> <p>1 地域安全マップの作成 2 地区全域の安全マップの作成、有効活用</p>					
活動指標	完成自治会数(累計)					
目標値	現状値	0自治会	3年後目標値	10自治会	6年後目標値	10自治会
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	遠藤地区防犯協会が中心となって、地域安全マップを作成し、地域の安全確保に努めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	検討	実施	検討
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域団体の活動により、危険箇所が明らかになることで、安全安心まちづくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	地区自主防災組織強化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-19-03-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地区では災害時における自助(自力で困難を乗り切る)の意識が高い一方で、共助(共に助け合う)の意識が低い傾向があり、また、自治会での自主防災の取り組みも十分とは言えない状況にあることから、災害発生時の対応に不安があります。</p> <p>このような課題を解決するために、各自治会の災害に対する意識を向上させ、万が一の時に備える取り組みを進めるとともに、助けが必要な要援護者に対する支援体制の強化を図ります。</p> <p>1 各自治会における災害に対する意識の向上 2 要援護者に対する支援体制の強化</p>					
活動指標	防災訓練を実施した自治会数(年間)					
目標値	現状値	2自治会	3年後目標値	5自治会	6年後目標値	10自治会
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区自主防災協議会や市が中心となり、地域市民の声を踏まえ、連携・協働・実施することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域市民の災害に対する意識向上と自主的な災害活動が行う自治会組織の強化と要援護者の支援体制が確立されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	交通安全対策推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-19-03-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>従来から実施している交通安全キャンペーンや街頭指導のさらなる充実に取り組むほか、地域住民が交通ルールの遵守や交通マナーの実践のひとこえを呼びかけあい、交通安全への注意を促す「交通安全ひとこえ運動」や遠藤地区内で交通事故が起こりやすい危険な箇所をまとめた「地域交通安全マップ」の作成を推進し、地域ぐるみでの交通安全意識の向上に取り組むことで、交通事故防止を進めます。</p> <p>1 交通安全キャンペーンの実施 2 地域交通安全マップ作成の推進</p>					
活動指標	キャンペーン実施回数(年間)					
目標値	現状値	5回	3年後目標値	7回	6年後目標値	9回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	遠藤地区交通安全協会が中心となって現状を調査研究し、地域への情報提供を図るなど地域の交通安全意識の向上に努めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域ぐるみによる交通安全意識の向上が図られます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	地域総ぐるみ挨拶・声かけ運動事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-24-04-6-1	地域分権区分					
事業内容	<p>学校・保護者及び地域住民等が連携し、お互いにあいさつ等の声かけを積極的に行うことで、犯罪を未然に防止し、安全で住みよいまちづくりを推進します。</p> <p>現在、PTAや地域ボランティアを中心に実施している、おはようボランティア見守り活動事業や、青少年指導員による街頭指導及びおやじパトロール隊活動等に加え、自治会や防犯協会、秋葉台サンシャイン等の地域団体にも活動を呼びかけ、地域全体での声かけ運動を展開します。</p> <p>1 地域全体での声かけ運動の展開</p>					
活動指標	キャンペーン実施回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民ボランティア、地域団体の活動により地域交流の促進が期待されるとともに、市は企業等とも連携を図り、安全で住みよいまちづくりを推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域のボランティア活動を中心として地域全体で声かけ運動を展開し、市民同士の心がかようまちづくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					



事業名	地域イベントへの参加促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-24-04-6-2	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地区では、竹炭祭り・遠藤あじさいまつり・小出川彼岸花まつりの三大祭りを中心とした各種地域イベントが積極的に開催されています。</p> <p>これらのイベントに子どもから高齢者まで多くの方に参加してもらうため、イベント情報提供の手法を検討し、地域活性化や世代間交流の促進に努めます。</p> <p>1 三大祭り等イベントの情報提供手法の検討</p>					
活動指標	遠藤三大まつり来場者数(年間)					
目標値	現状値	67,000人	3年後目標値	80,000人	6年後目標値	100,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体の自主的な活動が期待されるとともに、市はその活動に支援を行い、また、企業等からの協力も望まれます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	各種地域イベントの参加により、地域活性化、世代間交流が促進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	観光農業推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-45-05-7-1	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地域経営会議の呼びかけにより、地域果樹園経営者等市民が集まり、これからの観光農業について研究を進めます。また、遠藤地区の地域の財産を活かした新しい都市型農業経営として、観光果樹園、農作業体験、収穫体験、それら農業体験ツアープログラム、自然食レストラン、モダンガーデン環境形成などを対象として様々な検討を行います。この研究を通して、これからの都市住民の自然志向要望に十分に対応できる品質・健康・手軽さなどをもった美しいエリア作りを、観光マップの編集制作を含め協働で推進します。</p> <p>1 観光農業についての研究 2 観光マップの編集制作</p>					
活動指標	観光マップ配布枚数(年間)					
目標値	現状値	0枚	3年後目標値	10,000枚	6年後目標値	10,000枚
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議及び農業経営者などの自主的な活動により、新しい観光農業の推進が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	→	実施	検討・実施	→	→
期待される事業の成果	遠藤地区の地域の財産を活かした新しい都市型農業経営の取り組みによる地域の活性化が推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	地場産物直売促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-5-45-05-7-2	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地域経営会議の呼びかけにより、地域農業生産者等市民が集まり、地場産物直売の将来計画と実現についての研究を行います。</p> <p>自然を中心とした和文化伝承意識を根底に持ち、遠藤固有のよもぎ団子や竹炭製品などの商品開発、売り込み、デザイン、IT技術を活用した直売、ネット販売、魅力ある現地販売などを共同で検討し、試行事業実施展開、評価をローリングしながら推進します。</p> <p>1 地場産物直売の将来計画及び実現に係る研究</p>					
活動指標	直売実施回数(年間)					
目標値	現状値	5回	3年後目標値	8回	6年後目標値	12回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議と農業生産者が主体となり新しい都市農業経営を研究し、地域活性化を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	遠藤地区の地域の財産を活かした新しい都市型農業経営の取り組みによる地域の活性化が推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	環境意識向上推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-6-47-06-8-1	地域分権区分					
事業内容	<p>きれいで住みよい環境づくりをめざし、従来から実施しているゴミ分別指導やキャンペーン等による地域住民への積極的な周知のほか、新たに環境マナーやエコ・リサイクルについての環境教室を実施するなど、地域ぐるみでのポイ捨て行為をさせない雰囲気づくりを進め、環境意識の向上を図ります。</p> <p>また、生活環境協議会の道路清掃や各自治会の清掃活動を、地域住民への周知や実施機会の増加等により充実させ、地域ぐるみでの活動を促進するとともに、ゴミゼロクリーンキャンペーンや全市一斉一日清掃デー等の全市的な取り組みへの参加も積極的に呼びかけ、美化意識の向上を図ります。</p> <p>1 環境マナーやエコ・リサイクルについての環境教室の実施</p>					
活動指標	地区内一日清掃デー参加者数					
目標値	現状値	1,142人	3年後目標値	1,200人	6年後目標値	1,400人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	遠藤地区生活環境協議会を中心に現状を調査研究し、行政と連携し事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域力の発揮による様々な取り組みを通じて、環境意識の向上が図られ、いつでもきれいなまちづくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	不法投棄防止対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-47-06-8-2	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地区は市街化調整区域が多く、人目が届かない場所が数多く存在することから、不法投棄が絶えない現状を改善するため、地域経営会議が生活環境協議会や関係団体と調整を図り、不法投棄防止対策を強化します。</p> <p>これまでの実態をもとに危険地帯を現地調査、発生要件を整理のうえ、マップを作成し地権者と調整を行い計画的にインパクトのある啓発看板を設置します。また、防犯カメラの設置についても検討を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 不法投棄防止対策の強化</li> <li>2 マップを作成し、啓発看板を計画的に設置</li> <li>3 防犯カメラの設置検討</li> </ol>					
活動指標	不法投棄通報件数(年間)					
目標値	現状値	24件	3年後目標値	20件	6年後目標値	16件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議、関係団体、市民との連携により不法投棄を防ぐことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	→	→	→	→		
	検討	実施	検討	検討・実施	→	
(市域全体)						
期待される事業の成果	不法投棄の防止に取り組むことで、地域の自然環境を守り、いつでもきれいなまちづくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	花・木いっぱい運動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-47-06-8-3	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地区はこれまでも保全、育成されたアジサイや彼岸花による自然豊かなイメージで、市民に好評を得ています。今後さらに花や木を適所に配置することで、ソフト面で住民への花・木いっぱいに向けた意識啓発を進め、未来へ豊かな自然継承を図ります。</p> <p>既に存在するエリアを充実するとともに地区全体調査を行い、街路樹を含めた公共用地や民地を総合した緑の計画を作成します。一方、地権者の理解を得て苗木や花をボランティアで育て配植するとともに、専門講座も充実させます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 花や木の適所配置</li> <li>2 緑の計画の作成</li> <li>3 ボランティアによる苗木・花の栽培、配植及び専門講座の充実</li> </ol>					
活動指標	植え付け本数(累計)					
目標値	現状値	200本	3年後目標値	2,000本	6年後目標値	2,500本
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が中心となり計画を作り、地域地権者、ボランティア協力により緑化を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	→	→	→	→	→	→
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域力を発揮した花・木いっぱい運動の推進により、緑を増やし癒やしの環境づくりときれいなまちづくりが推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名		生活交通路改良事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-65-07-9-1	地域分権区分						
事業内容	<p>市民生活に欠くことのできない生活交通路において、車両、歩行者の円滑な通行と交通利便の向上を図るため、道路危険箇所の改良工事を実施します。</p> <p>1 検討委員会の設置 2 道路危険箇所の改良工事</p>						
活動指標	道路施設整備延長(累計)						
目標値	現状値	0m	3年後目標値	230m	6年後目標値	460m	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地域経営会議に検討委員会を設置、地域市民の意見を集約し、事業化を検討します。整備の実施箇所選定に基づき市が工事を実施します。事業化検討に関する方向性、基礎的な調査及び整備路線の選定は地域経営会議が中心となります。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(地域)	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	検討・実施	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	車両及び歩行者の円滑な通行と交通の利便性の向上が図られます。						
担当部課	市民自治部遠藤市民センター						

事業名		集团的狭あい道路整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-65-07-9-2	地域分権区分						
事業内容	<p>市民生活の安全・安心を確保するため、地域団体主導により地区内における狭あい道路の整備を進めます。</p> <p>1 幅員4m以上として集团的な道路拡幅の実施 2 危険ブロック塀の解消等防災対策の実施</p>						
活動指標	道路整備延長(累計)						
目標値	現状値	0m	3年後目標値	50m	6年後目標値	150m	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地域経営会議が地域市民の意見を集約し事業化を検討します。事業実施についても用地交渉まで行い、市は連携して用地整理事務及び工事を実施します。						
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期		
(地域)	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	狭あい道路の整備により、緊急車両、歩行者の円滑な通行が確保され、市民生活の安全・安心が確保されます。						
担当部課	市民自治部遠藤市民センター						

事業名	相鉄いずみ野線延伸計画促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-65-07-9-3	地域分権区分					
事業内容	<p>神奈川県、藤沢市、慶應義塾大学及び相模鉄道株式会社の4者により設立された「いずみ野線延伸実現に向けた検討会」の検討状況について、地域経営会議への情報提供を随時行います。また、情報提供を受けて慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス付近までの沿線の土地利用を含めたまちづくりの検討と延伸計画の早期実現に向けた運動を展開します。</p> <p>1 「いずみ野線延伸実現に向けた検討会」の検討状況についての情報提供  2 沿線の土地利用を含めたまちづくりの検討  3 延伸計画の早期実現に向けた運動の展開</p>					
活動指標	地区での広報実施回数(年間)					
目標値	現状値	2回	3年後目標値	4回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	遠藤地域経営会議を中心に現状を調査研究し、市と連携し、交通事業者の協力により事業を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	→	→	実施	→	→
期待される事業の成果	新交通等の早期実現に向けた活動を促進させることで、地域活性化が推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	バス便増加促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-65-07-10-1	地域分権区分					
事業内容	<p>既存の鉄道を利用しづらい遠藤地区においては、バス便の利用は必要不可欠であるため、地区内のバス便の現状を調査研究し、新たな路線の検討や既存路線の増発など、バス事業者に対し要望活動を推進します。</p> <p>1 地区内のバス便の現状の調査研究  2 バス事業者に対する要望</p>					
活動指標	地区内のバス便の本数(累計)					
目標値	現状値	251本	3年後目標値	270本	6年後目標値	300本
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	遠藤地域経営会議を中心に現状を調査研究し、市と連携し、交通事業者の協力により事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	検討	→	→	検討・実施	→	→
期待される事業の成果	新たな路線の運行や既存路線の増発により、交通の利便性が向上されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名		健康の森整備促進事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
3-8-66-08-11-1		地域分権区分					
事業内容		<p>健康の森については「あり方検討会」において基本構想が策定され、これに基づき基本計画の策定が進められています。また、鉄(軌)道系導入計画が市の重要な事業として進められており、遠藤地区としても市民力をもって、この拠点を育成し、活性化するために計画づくりの支援を図ります。</p> <p>健康の森に関連して整備が望まれる菖蒲園、健康都市公園等の設置とその活用、くまがい草やホタルの育生、フットパスや周辺の景観づくり、高度医療施設の誘致等について遠藤地域経営会議を中心としてそれらの研究を行い、十分な協議を深め、協力し推進します。</p> <p>1 健康の森の育成、活性化</p>					
活動指標		地区住民に対する周知回数(年間)					
目標値		現状値	2回	3年後目標値	5回	6年後目標値	7回
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域経営会議が主体となり研究し、市との協議・提案・協力し推進します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		検討	実施	→	→		
(市域全体)							
期待される事業の成果		健康の森及び周辺地域の整備により、健康都市の実現と地域活性化が推進されます。					
担当部課		市民自治部遠藤市民センター					

事業名		公園・緑の広場活用推進事業					
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(地域)			
3-8-66-08-11-2		地域分権区分					
事業内容		<p>遠藤地区は市街化調整区域が多く、公園数が少ないのが現状です。「いけのかしら公園」は地域経営会議公園自然環境部会を中心に老人会、学校が一体となり理想的な自主管理がなされていますが、さらなる充実を図るために、「緑の広場」の改良、新設を推進し活用方法を検討します。</p> <p>地域経営会議が中心となり適切な配置計画を検討、ボランティア育成、地権者調整を図り事業の実現を進めます。</p> <p>1 「緑の広場」の改良、新設の推進 2 「緑の広場」の活用方法の検討</p>					
活動指標		公園・緑の広場改良件数(年間)					
目標値		現状値	0件	3年後目標値	3件	6年後目標値	4件
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域経営会議と各種市民団体の力で、活用のための改良を検討し整備を進めます。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)		H23	H24	H25			
		検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)							
期待される事業の成果		快適な公園、緑の広場環境づくりが地域と協働で推進されます。					
担当部課		市民自治部遠藤市民センター					

事業名	伝統文化継承事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-73-09-12-1	地域分権区分					
事業内容	<p>遠藤地区には、藤沢市で最初の無形文化財に指定された「遠藤盆おどり」があり、誰もが参加でき、共に楽しむことのできる地域の文化資源となっています。</p> <p>また、地域特有のわら草履作りやよもぎ団子作りや凧作り等もあり、これらの文化事業を若い世代に引き継いでいくことが重要であるため、子どもたちを対象に小中学校や公民館で伝統文化を担う地域の大人との交流を促進するなど伝統文化継承事業を展開します。</p> <p>1 伝統文化継承事業の実施</p>					
活動指標	継承事業参加者数(年間)					
目標値	現状値	333人	3年後目標値	350人	6年後目標値	400人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民ボランティア、地域団体には地域の交流を促進する役割が期待され、市は活動の周知を図ります。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	世代間交流を通じて、地域の伝統文化が次世代に継承されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	三大祭り継承事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-9-73-09-12-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域市民が主体となりそれぞれ竹炭の会・あじさいの会・彼岸花の会を設立し、自然環境整備を中心とした活動を行っています。</p> <p>また、その集大成として竹炭祭り(4月)、あじさい祭り(6月)、小出川彼岸花まつり(9月)を毎年開催し、多くの観客が足を運んでおり、遠藤地区における中心的な祭り・イベントとして認知されています。</p> <p>この三大祭りの継承を図るため、継続した各団体活動を担う若手の参画と育成の対策を講じます。</p> <p>1 各団体活動を担う若手の参画及び育成対策</p>					
活動指標	遠藤三大祭り会員数(累計)					
目標値	現状値	590人	3年後目標値	600人	6年後目標値	620人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体の自主的な活動が期待されるとともに、市はその活動に支援を行い、また、企業等からの協力も望まれます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	三大祭りの担い手の育成により、地域イベントの継続と次世代への継承に寄与します。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

事業名	北部観光広域連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-73-09-12-3	地域分権区分					
事業内容	<p>小出川彼岸花団体協議会においては、藤沢市(遠藤地区・打戻地区), 茅ヶ崎市(芹沢地区)に加えて2010年(平成22年)から寒川町(大蔵地区)が参加し、2市1町の広域的連携による観光資源づくりが進んでいます。このような状況の中、各市町で保有している観光資源を活用し、さらに連携した取り組みを検討する中で藤沢北部地域の観光誘客を推進します。</p> <p>1 北部観光資源活用による観光誘客の推進</p>					
活動指標	遠藤三大祭り来場者数					
目標値	現状値	67,000人	3年後目標値	80,000人	6年後目標値	100,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広域連携で地域団体が実施する事業に対し市も連携し、マナー啓発や地域PR等面で北部観光への誘客を図ります。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域活性化に向け各種イベントを活用し、広域的連携を図る中で北部観光地の誘客が推進されます。					
担当部課	市民自治部遠藤市民センター					

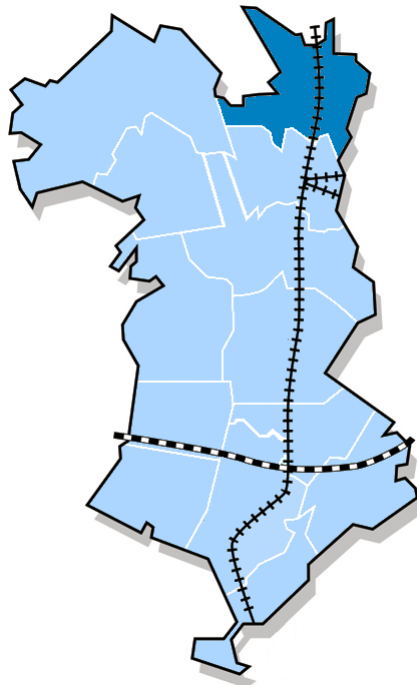


# 藤沢市新総合計画

## 長後地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環



---

## 地区のあらまし

---

長後地区の人口は2010年（平成22年）12月1日現在で、32,213人で全市の7.9%を占めており、市内13地区では、6番目に多い地区になります。

長後地区は、藤沢市の北東部に位置し、面積は5.21㎢で東に境川、西に引地川が流れ長後・高倉・下土棚・土棚の4つの地域から形成されています。この地域は、古くから、大山街道(旧横浜・伊勢原線)と滝山街道(旧藤沢町田線)が交差する交通の要衝、宿場町として、江戸時代から旅籠や商店が建ち並び、付近の農村の中心地として栄えていました。また、マユ取引の場として人々が集まり、商人が店を構えるようになり、養蚕が盛んになった明治中頃からは、横浜港における生糸貿易の隆盛と連動し、大正、昭和の初期まで栄え、当時の農家の重要な収入源となっていました。

時代は移り、当地の最大の交通機関である「小田急江ノ島線」が開通し、「長後駅」が誕生したのは1929年（昭和4年）4月のことであり、現在も北部の交通の中心となっています。町としての形成は、1955年（昭和30年）に高座郡渋谷町から「長後・高倉」が藤沢市に編入され、その後、六会地区の下土棚と土棚が編入され現在に至っています。

---

## 地区の特色

---

長後地区は、古くから農耕に適し優良な水田地帯として開発が進んでいました。また、周辺は、緑豊かで、果樹園が散在し、季節の果実を産出し「果物の長後」として有名です。この長後の土地に適しているのが梨の栽培で、藤沢の梨栽培の中心地となっています。また、ブドウも長後の地にあい、積極的に栽培されています。なかでも「藤稔」という品種は長後の農家の方により品種改良され、全国ブランドとなっており、果樹栽培は長後地区の農家の貴重な支えとなっています。また、この地域は古代遺跡や旧跡が多く、平安時代の末期には、桓武平氏の流れをくむと言われる「渋谷氏」がこの地に移住し、渋谷氏の居城であった天満宮は現在では長後地域の鎮守として毎年9月に盛大に祭礼が行われています。



里山などのどかな自然環境を満喫できる箇所が点在し、新旧の住民が互いに尊重しあい、人情味あふれる街として発展しています。

---

## 長後地区地域経営会議

---

29人の委員で発足した「長後地域経営会議」は、これまでに4つの部会が設置され、各部会において長後地区のまちづくりの目標を定め、それを実現していくための検討作業に取り組んでまいりました。この結果、地区の特性に応じた「長後地区まちづくり実施計画」が策定され、今後は、この計画を実行する中で、各地域団体から推薦された委員と公募による委員がさらに議論を重ね、よりよいまちづくりを進めてまいります。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること

【地域まちづくり目標】

01 快適で円滑な交通移動をめざす長後<sup>まち</sup>

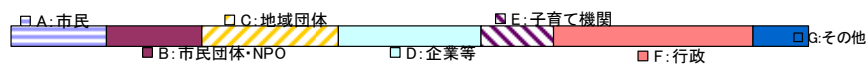
【成果指標】

①長後駅周辺において快適で円滑な交通移動ができていると感じる人の割合

【現状値】①13%

【めざそう値】3年後：①25% 6年後：①37.5%

【役割の担い手】①A:12% B:12% C:17% D:18% E:9% F:25% G:7%



《地域まちづくり活動》

《活動－1》 駅付近に集中する車両交通渋滞を緩和し、円滑な移動を推進

<成果の視点> 駅周辺公共交通ネットワークに不便を感じないこと

〔主要な指標〕 駅付近の渋滞総距離

○実施事業 長後地区コミュニティバス路線開設事業

【地域まちづくり目標】

02 みんなが安全に安心して歩くことのできる長後<sup>まち</sup>

【成果指標】

①安全に安心して歩くことができると感じる人の割合

【現状値】①6%

【めざそう値】3年後：①15% 6年後：①20%

【役割の担い手】①A:13% B:13% C:17% D:16% E:12% F:25% G:4%



《地域まちづくり活動》

《活動－2》 安全に安心して通行できるよう道路歩行環境を向上

<成果の視点> 道路歩行時に不安や障害を感じないこと

〔主要な指標〕 自動車と歩行者の接触事故件数

○実施事業 長後地区道路安全確保事業

長後地区歩道等交通安全施設整備事業

長後地区狭あい道路解消推進事業

長後地区道路交通誘導推進事業

ふじさわ未来課題

6 誰でも気軽に市内の情報を発信したり、得ることができること

【地域まちづくり目標】

03 地域の情報が大切に扱われる<sup>まち</sup>長後

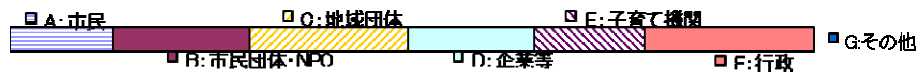
【成果指標】

①地域情報の住民への浸透度

【現状値】①24%

【めざそう値】3年後：①30% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:13% B:17% C:19% D:16% E:14% F:21% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－3》 地域情報の充実

<成果の視点> 地域情報が住民に浸透していること

〔主要な指標〕 地域情報紙の発行部数

○実施事業 地域情報発信事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

9 子どもを安心して育てられる環境があること

【地域まちづくり目標】

04 子育てをみんなで支える<sup>まち</sup>長後

【成果指標】

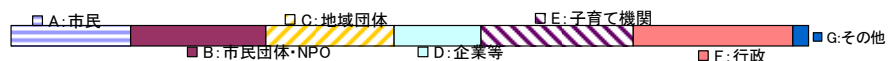
①子育てをしやすい地域と思う人の割合

②放課後児童クラブの設置数

【現状値】①10% ②3箇所

【めざそう値】3年後：①24% ②4箇所 6年後：①37.5% ②5箇所

【役割の担い手】①A:15% B:17% C:16% D:11% E:19% F:20% G:2%



②A:16% B:21% C:12% D:9% E:17% F:25% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－4》 地域で安心して子育てができる環境の推進

<成果の視点> 公園等、子育て施設が設置され、地域の子育て支援団体、サークルの活動が盛んであること

〔主要な指標〕 子育て支援団体の活動の参加者数

- 実施事業 長後すくすく応援事業
- 放課後子ども支援事業

ふじさわ未来課題

### 13 地域が子どもを見守り育てる環境であること

(関連未来課題 14)

【地域まちづくり目標】

#### 05 学校・家庭・地域が手を結び子どもを育む長後<sup>まち</sup>

【成果指標】

①地域で子どもを支える体制が充実していると感じている人の割合

【現状値】 ①11%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:18% D:13% E:18% F:17% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動-5》 学校・家庭・地域とのネットワークの推進

<成果の視点> 地域を見守るパトロールや世代間交流が実施されていること

〔主要な指標〕 会議や交流事業への参加者数

- 実施事業 長後子ども安全ネットワークの充実
- 地域世代間交流事業の推進

藤沢づくりのめざす方向性

### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

### 17 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと

【地域まちづくり目標】

#### 06 誰もが健康でいきいきと暮らせる長後<sup>まち</sup>

【成果指標】

①地域保健に対する満足度

②安心できる医療体制が充実していると感じている人の割合

③介護サービスの満足度

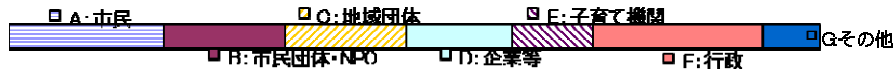
【現状値】 ①13% ②28% ③13%

【めざそう値】 3年後：①23.5% ②37.5% ③20% 6年後：①36.5%  
②49% ③42.5%

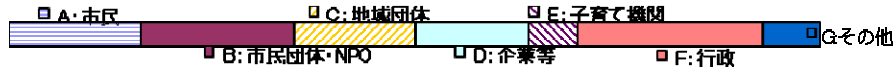
【役割の担い手】 ①A:20% B:18% C:17% D:13% E:11% F:21% G:0%



②A:19% B:15% C:15% D:13% E:10% F:21% G:7%



③A:16% B:19% C:15% D:14% E:6% F:23% G:7%



《地域まちづくり活動》

《活動－6》 健康維持の推進

<成果の視点> スポーツ活動や健康増進事業が盛んであること

[主要な指標] スポーツ活動など、イベントへの参加者数

- 実施事業 体育活動支援事業
- 健康増進策の調査・研究事業

《活動－7》 地域医療体制の推進

<成果の視点> 地域の医療体制や地域の救急医療体制に満足していること

[主要な指標] 地域の医療機関における夜間休日の急患対応（患者数）

- 実施事業 医療提供体制支援事業

《活動－8》 地域に密着した介護サービスの推進

<成果の視点> 施設が整備され、施設入所待機者が少なく、地域ボランティアが盛んであること

[主要な指標] 介護サービスの担い手（事業所、ボランティア）の数

- 実施事業 介護サービス基盤整備支援事業

ふじさわ未来課題

18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること

【地域まちづくり目標】

07 子どもから高齢者まで安心して暮らせる<sup>まち</sup>長後

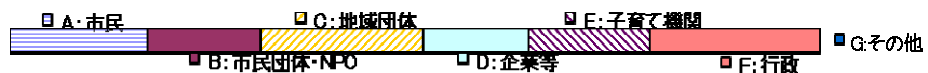
【成果指標】

- ①防災に対する満足度
- ②交通安全対策に対する満足度

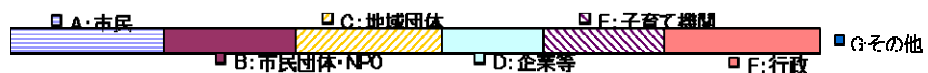
【現状値】 ①5% ②18%

【めざそう値】 3年後：①20% ②30% 6年後：①40% ②45%

【役割の担い手】 ①A:17% B:14% C:20% D:13% E:15% F:21% G:0%



②A:16% B:14% C:18% D:14% E:18% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 防災・交通安全活動の拡充

<成果の視点> 防災・交通安全に関する活動が盛んであること

- 〔主要な指標〕 防災や交通安全の活動・イベント参加者数  
 ○実施事業 防災知識の普及啓発事業  
 交通安全知識の普及啓発事業

ふじさわ未来課題

19 治安の良い環境であること

【地域まちづくり目標】

08 犯罪を防ぐ、起こさせない長後<sup>まち</sup>

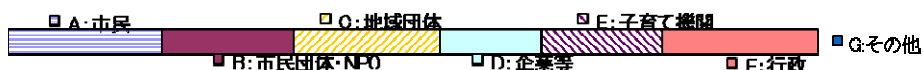
【成果指標】

①防犯対策に関する満足度

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①45%

【役割の担い手】 ①A:19% B:16% C:18% D:13% E:15% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－10》 防犯活動の拡充

<成果の視点> 防犯に関する活動が盛んであること

〔主要な指標〕 防犯活動参加者数

- 実施事業 安全・安心ステーションの設置運営事業  
 防犯活動の強化推進事業

都市ビジョン2  
 地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

26 子育て世代を支える環境が充実していること

【地域まちづくり目標】

09 子育てをみんなで支える長後<sup>まち</sup>

【成果指標】

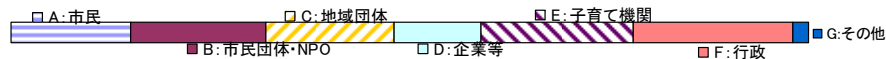
①子育てをしやすい地域と思う人の割合

②放課後児童クラブの設置数

【現状値】 ①10% ②3箇所

【めざそう値】 3年後：①24% ②4箇所 6年後：①37.5% ②5箇所

【役割の担い手】 ①A:15% B:17% C:16% D:11% E:19% F:20% G:2%



②A:16% B:21% C:12% D:9% E:17% F:25% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－1 1》 地域で安心して子育てができる環境の推進

＜成果の視点＞ 公園等，子育て施設が設置され，地域の子育て支援団体，サークルの活動が盛んであること

〔主要な指標〕 子育て支援団体の活動の参加者数

- 実施事業 長後すくすく応援事業
- 放課後子ども支援事業

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

(関連未来課題 31)

【地域まちづくり目標】

10 一人ひとりが安心して楽しく暮らせる<sup>まち</sup>長後

【成果指標】

- ① 65才以上で要介護認定を受けていない人の割合
- ② 共生社会の満足度

【現状値】 ①87% ②20%

【めざそう値】 3年後：①90% ②30% 6年後：①90% ②40%

【役割の担い手】 ①A:19% B:18% C:19% D:12% E:14% F:18% G:0%



②A:18% B:19% C:19% D:12% E:15% F:17% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－1 2》 地域で支える高齢者の生活支援の推進

＜成果の視点＞ 地域福祉の取り組みが充実していること

〔主要な指標〕 「みまもりネットワーク」など福祉支援利用者数

- 実施事業 長後システム構築事業

《活動－1 3》 共生に関わる地域ボランティア団体等の活動の推進

＜成果の視点＞ 地域ボランティア・NPO 団体の育成と活動の支援がなされていること

〔主要な指標〕 ボランティアセンター利用者数

- 実施事業 長後ボランティアセンター設置事業

ふじさわ未来課題

30 お互いにマナーを守り，協力して地域のために活動していること

【地域まちづくり目標】



## 11 さわやかなまち‘マナーUP 長後‘

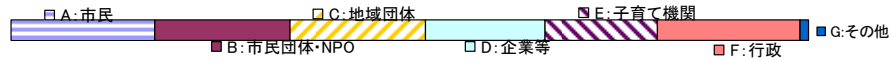
### 【成果指標】

①生活環境の満足度

【現状値】①24%

【めざそう値】3年後：①34% 6年後：①42.5%

【役割の担い手】①A:18% B:17% C:17% D:15% E:14% F:18% G:1%



### 《地域まちづくり活動》

#### 《活動－14》 環境美化活動の拡充

<成果の視点> 環境美化に関する活動が活発であること

〔主要な指標〕 環境美化活動のキャンペーン規模（販促物の数や参加者数）

- 実施事業 ペットの飼い主のマナー普及啓発事業  
ポイ捨て・不法投棄の防止事業

### 藤沢づくりのめざす方向性

#### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

### ふじさわ未来課題

#### 37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること

### 【地域まちづくり目標】

#### 12 親しみやすいみどりの空間がある長後

### 【成果指標】

①公園や広場等が充実していると感じる人の割合

【現状値】①24%

【めざそう値】3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】①A:7% B:12% C:14% D:20% E:16% F:31% G:0%



### 《地域まちづくり活動》

#### 《活動－15》 公園及び広場等の充実と維持管理の向上

<成果の視点> 公園や広場がきれいで親しみが持てること

〔主要な指標〕 公園や広場美化のための団体の活動数・参加者数

- 実施事業 長後地区良好な緑地保全事業  
長後地区公園愛護会等公園維持管理活動推進事業

### ふじさわ未来課題

#### 45 地域の未来の担い手が育成されていること

### 【地域まちづくり目標】

#### 13 未来にバトンが引き継がれる長後

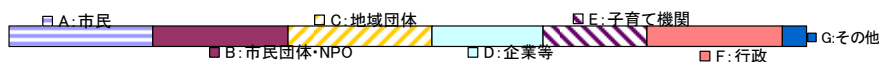
【成果指標】

①地域の様々な取り組みに、多様な人材が参加していると感じる人の割合

【現状値】①9%

【めざそう値】3年後：①17.5% 6年後：①29%

【役割の担い手】①A:18% B:17% C:18% D:14% E:13% F:17% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 地域活動の継承と促進

<成果の視点> 地域団体の活動が継続していること

〔主要な指標〕 地域団体の活動数と活動期間

○実施事業 地域人材育成事業

藤沢づくりのめざす方向性

**6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資**

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

**46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること**

(関連未来課題 49)

【地域まちづくり目標】

14 さわやかなまち ‘マナーUP 長後 ‘

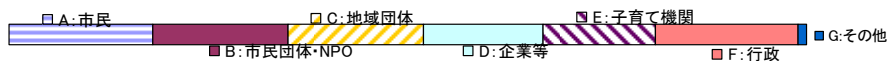
【成果指標】

①生活環境の満足度

【現状値】①24%

【めざそう値】3年後：①34% 6年後：①42.5%

【役割の担い手】①A:18% B:17% C:17% D:15% E:14% F:18% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－17》 環境美化活動の拡充

<成果の視点> 環境美化に関する活動が活発であること

〔主要な指標〕 環境美化活動のキャンペーン規模（販促物の数や参加者数）

○実施事業 ペットの飼い主のマナー普及啓発事業  
ポイ捨て・不法投棄の防止事業

都市ビジョン3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

ふじさわ未来課題

62 産業の活力を高め、地域が元気になること

(関連未来課題 59・63)

【地域まちづくり目標】

15 「長後宿」がよみがえる長後<sup>まち</sup>

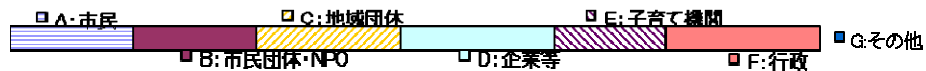
【成果指標】

①まちに少しずつ活気が戻ったと感じる人の割合

【現状値】 ①7%

【めざそう値】 3年後：①10% 6年後：①13%

【役割の担い手】 ①A:15% B:15% C:18% D:19% E:14% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動-18》 ひととモノの行き交う賑やかな長後への再生

<成果の視点> 地産地消の推進等によって交流が盛んに行われること

〔主要な指標〕 地産地消や観光をテーマとしたイベントの来場者数

- 実施事業 地産地消推進事業
- 観光資源開拓事業
- 地域ブランド育成事業

ふじさわ未来課題

64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気あるまちになること

【地域まちづくり目標】

16 商店街と地域が連携して生活が営まれる長後<sup>まち</sup>

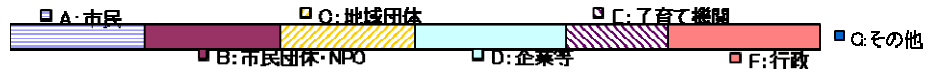
【成果指標】

①商店街で買い物をする地域住民の割合

【現状値】 ①51%

【めざそう値】 3年後：①56.5% 6年後：①67.5%

【役割の担い手】 ①A:17% B:17% C:16% D:19% E:12% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－19》 活き活きとした商店街を持つ長後への推進

<成果の視点> 商店街再生のバックアップがなされていること

〔主要な指標〕 商店街への来客数

○実施事業 商店街活性化事業

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

【地域まちづくり目標】

17 未来にバトンが引き継がれる長後<sup>まち</sup>

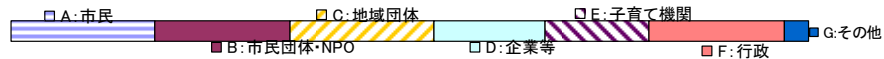
【成果指標】

①地域の様々な取り組みに、多様な人材が参加していると感じる人の割合

【現状値】 ①9%

【めざそう値】 3年後：①17.5% 6年後：①29%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:18% D:14% E:13% F:17% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－20》 地域活動の継承と促進

<成果の視点> 地域団体の活動が継続していること

〔主要な指標〕 地域団体の活動数と活動期間

○実施事業 地域人材育成事業

ふじさわ未来課題

66 市民の財産である自然を守り、育てられていること

【地域まちづくり目標】

18 みどりを増やし育む長後<sup>まち</sup>

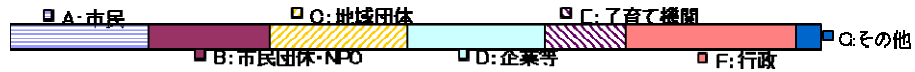
【成果指標】

①身近なみどりに関して満足している人の割合

【現状値】 ①34%

【めざそう値】 3年後：①45% 6年後：①60%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:17% D:17% E:10% F:21% G:3%



《地域まちづくり活動》

《活動－21》 みどりの保全及び継承の推進

＜成果の視点＞ 農地や山林が維持され、家庭でもみどりを増やそうとしていること

〔主要な指標〕 緑地面積，みどりをふやす活動への参加者数

- 実施事業 長後地区身近なみどりをふやそう！事業
- 長後地区身近なみどりを守り残そう！事業

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化，ブランド力などの地域の特性を活かした，魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし，その魅力と価値を発信します。そして，市民一人ひとりが豊かな心を育み，地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て，文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげingことをめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

19 快適で円滑な交通移動をめざす長後

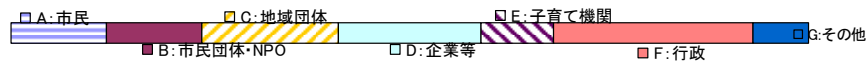
【成果指標】

①長後駅周辺において快適で円滑な交通移動ができていると感じる人の割合

【現状値】 ①13%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①37.5%

【役割の担い手】 ①A:12% B:12% C:17% D:18% E:9% F:25% G:7%



《地域まちづくり活動》

《活動－22》 駅付近に集中する車両交通渋滞を緩和し，円滑な移動を推進

＜成果の視点＞ 駅周辺公共交通ネットワークに不便を感じないこと

〔主要な指標〕 駅付近の渋滞総距離

- 実施事業 長後地区コミュニティバス路線開設事業

ふじさわ未来課題

81 地域の記憶や文化が継承され，発展すること

（関連未来課題 83）

【地域まちづくり目標】

20 歴史・文化の継承と活動支援のある長後

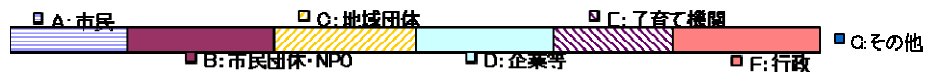
【成果指標】

①歴史・芸術文化活動に対する満足度

【現状値】 ①9%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:14% B:18% C:18% D:17% E:15% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－23》 地域が有する様々な歴史や伝統ある芸術文化活動の推進

<成果の視点> 地域の歴史，伝統文化に対する関心が高まること

〔主要な指標〕 伝統行事や文化活動への参加者数

○実施事業 長後カルチャー創造事業

事業名	長後地区コミュニティバス路線開設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-1-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>公共交通機関の結節点である長後駅周辺は、地区の中心部としてスムーズな交通の流れの確保と改善及び公共交通の機能強化に努め、踏切部を含め快適で円滑な交通移動ができるようにする必要があります。</p> <p>市街地の拠点である長後駅周辺から離れた地区の居住者が、移動手段として自家用自動車及びバイクを利用しなくてもよい交通手段を確保するため、コミュニティバス路線網の構築と運行を推進し、快適で円滑な交通移動を図ります。</p> <p>1 コミュニティバスに関するニーズ等の調査 2 コミュニティバス路線網の検討</p>					
活動指標	交通不便地域3地域(上谷台・高倉・下土棚)へのバス等運行路線数(累計)					
目標値	現状値	0路線	3年後目標値	0路線	6年後目標値	1路線
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議は、市民参加による基本的な調査を行い、交通事業者の協力により事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->					
	検討	→	→	→	実施	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	駅付近に集中する交通混雑を緩和することにより、快適で円滑な交通移動を進め、身近なところでの暮らしやすさの向上が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	長後地区道路安全確保事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-1-02-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>すべての人々が安全に安心して歩くことができるよう、まちづくりを進めるために、地域住民が中心となり行政連携の道路安全確認パトロールを行い、道路の安全実態調査をし、道路安全施設等必要箇所の抽出をし、道路安全実態報告書を策定します。</p> <p>1 長後地区内をブロック分けし、マンパワーによる道路安全確認パトロールの実施 2 長後地区内道路の現況把握の実施(幅員・危険箇所・安全施設の設置状況他) 3 長後地区内道路の人、自転車及び自動車等の主導線確認、並びに交通量調査の実施 4 道路改良及び歩道等交通安全施設等を必要とする路線の抽出 5 「(仮称)長後地区道路安全実態報告書」の策定</p>					
活動指標	4地域の道路安全実態報告書の策定件数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	4件	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議を中心とした市民が、地元地域を当初1年半でパトロール調査し3年目に報告書を作成した内容をもとに、市民、地域と市が長後地区歩道等交通安全施設整備事業、長後地区狭あい道路解消推進事業、長後地区道路交通誘導推進事業等について連携して取り組みます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->					
	実施	→	→			
(市域全体)						
期待される事業の成果	安全に安心して通行できるよう道路歩行環境を向上することにより、すべての人々が安全に安心して歩くことのできる長後の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	長後地区歩道等交通安全施設整備事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-1-02-2-2	地域分権区分						
事業内容	<p>すべての人々が安全に安心して歩くことができるよう、まちづくりを進める一環として歩道の設置及びバリアフリー化を推進します。推進に当たっては、駅周辺道路及び公共施設周辺の歩道整備推進並びに歩道バリアフリー化計画を策定し、これに基づくバリアフリー整備を実施します。</p> <p>1 「(仮称)長後地区道路安全実態報告書」に基づくバリアフリー化計画の策定 2 駅及び公共施設付近の歩道設置及びバリアフリー化工事</p>						
	活動指標	主要バリアフリー化路線数(累計)					
	目標値	現状値	0路線	3年後目標値	0路線	6年後目標値	2路線
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	<p>地域経営会議を中心とした市民が、長後地区道路安全確保事業によって策定された(仮称)安全実態報告書を基に、市は障がいをもつ方、子ども及び高齢者の各々の団体と今後の整備の方針について協議を行いながら、バリアフリー化計画書を策定し、必要箇所を整備する役割を担います。</p>					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	計画	→	→	実施	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	安全に安心して通行できるよう道路歩行環境を向上することにより、すべての人々が安全に安心して歩くことのできる長後の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名	長後地区狭あい道路解消推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-1-02-2-3	地域分権区分						
事業内容	<p>すべての人々が安全に安心して歩くことができるよう、狭あい道路整備事業により道路用地を確保し、確保した空間を整備推進します。</p> <p>1 「(仮称)長後地区道路安全実態報告書」に基づく、地区内狭あい道路の把握 2 ”見た目狭あい道路”(生け垣、庭木及び雑草の繁茂等)の解消啓発活動 3 狭あい道路事業を地権者に周知 4 用地買収及び道路整備</p>						
	活動指標	狭あい道路解消を推進する路線数(累計)					
	目標値	現状値	0路線	3年後目標値	0路線	6年後目標値	5路線
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	<p>地域経営会議は地域の中心となり、”見た目狭あい道路”の解消を促進するとともに狭あい道路事業の周知を行い、市は、確保した道路用地を整備する役割を担います。</p>					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	計画	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	安全に安心して通行できるよう道路歩行環境を向上することにより、すべての人々が安全に安心して歩くことのできる長後の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						



事業名		長後地区道路交通誘導推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-1-1-02-2-4	地域分権区分						
事業内容	<p>すべての人々が安全に安心して歩くことができるよう生活道路の交通誘導計画を推進します。推進に当たっては、幅員の狭い道路について、安全で円滑な交通が図れるよう、生活道路における自動車やバイクの誘導案等を策定し、改善提案を実施します。</p> <p>1 「(仮称)長後地区道路安全実態報告書」を基に、地区内交通導線を把握  2 地区内道路の交通誘導計画を策定  3 道路規制関係部署に交通誘導計画を提案</p>						
活動指標	交通誘導計画(長後地区)の策定						
目標値	現状値	0部	3年後目標値	0部	6年後目標値	1部	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	地域経営会議は、市民の目線による編集方針に基づく地域情報を提供し、地域の認知度も高く、40年の歴史を持つ「長後だより」と連携し、(仮称)地域経営会議ニュースを発行する役割を担います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25				
	----->			→			
	計画	→	→	実施			
(市域全体)							
期待される事業の成果	安全に安心して通行できるよう道路歩行環境を向上することにより、すべての人々が安全に安心して歩くことのできる長後の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名		地域情報発信事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-1-6-03-3-1	地域分権区分						
事業内容	<p>地域情報発信の充実を図るため、「長後だより」との連携を強化し、同時に、(仮)「地域経営会議ニュース」等の定期的な発行に取り組みます。</p> <p>さらに、新たな情報発信媒体として、インターネットの活用について検討に着手します。</p> <p>1 地域情報のインターネットを活用した提供に向けた検討  2 インターネットの利活用に適したコンテンツの検討  3 インターネットを活用した情報発信</p>						
活動指標	新たな情報発信媒体の検討を含めた、地域情報の充実(年間)						
目標値	現状値	1媒体	3年後目標値	2媒体以上	6年後目標値	—	
実績値	H23		H24		H25		
役割期待	既に、市民の目線による編集方針に基づく地域情報を提供し、40年の歴史を持つ「長後だより」が発行されており、地域の認知度も高いため、地域団体が連携して進めます。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25				
	----->			→			
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	地域生活に有用な情報が地域で浸透していることにより、暮らしやすさの向上や地域への理解、愛着を高めることに寄与します。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名	長後すくすく応援事業(再掲)					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-9-04-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>若い子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会し「子育て支援ネットワーク会議」を開催します。</p> <p>子育て世代の親子の仲間づくりと子育てに役立つ情報の収集、提供、交換、さらに、子育て経験を有する人たちとの交流により、子育ての悩みや戸惑いについてアドバイスを受けるなど、地域で子育てを支援していく体制を整備します。</p> <p>1 子育て支援ネットワーク会議の開催 2 子育て世代に役立つ情報や相談機会の提供</p>					
活動指標	子育て支援ネットワーク会議開催回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	子育て支援サークルが利用者に十分周知され、効果的に利用されることにより、地域で安心して子どもを育てる環境を地域ぐるみで整えていくことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		----->			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域で安心して子育てができる環境の整備を推進することにより、子育てをすべての人々が支える長後の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	放課後子ども支援事業(再掲)					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-9-04-4-2	地域分権区分					
事業内容	<p>放課後児童クラブについては、現在、小学2校区において3か所開設され、原則として小学校4年生の児童までを対象として、放課後から午後6時まで実施しています。</p> <p>子育てに対する意識の多様化や共働き家庭の増加など、子どもを取り巻く環境が変化していく中で、放課後に子どもが安全で健やかに過ごせる体制づくりを進めるため、利用児童数の見極めや利用時間の延長、休日の利用意向など地域のニーズを把握しながら、放課後子ども支援施設の増設等、必要性について調査を行います。</p> <p>1 地域で求められる児童クラブの運営内容の調査、検討 2 分館設置等の子育て支援手法の検討</p>					
活動指標	分館の増設を含めたあり方の検討箇所数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	4か所	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	就労形態の多様化に伴い、子育て家庭のニーズも多様化しています。子どもが健やかに育つよう、家庭、地域、学校等地域全体が子育てを支援することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		----->			
	検討	→	提案			
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域で安心して子育てができる環境の整備を進めることにより、子育てをすべての人々が支える長後の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	長後子ども安全ネットワークの充実					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-2-13-05-5-1	地域分権区分					
事業内容	<p>児童生徒が登下校時に事故や犯罪などに巻き込まれることなく、安心して通学できるよう、スクールガードを中心とした子どもを守るネットワークの強化と情報交換を実施します。</p> <p>具体的には、子ども安全ネットワーク(安全安心ひろめ班・スクールガードリーダー・防犯パトロール・校外委員・青少年指導員)を主軸として会議を開催し防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図るとともに、地域ぐるみで安全パトロールを実施します。</p> <p>1 子ども安全ネットワークを主軸とした会議の開催 2 安全パトロールの実施</p>					
活動指標	子ども安全ネットワーク会議開催数(年間)					
目標値	現状値	1回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回以上
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	ボランティアや町内会等地域の関係団体等には、一体となって安全に通学できる環境をつくり、安全でだれもが安心して暮らせるまちづくりを進める役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の人々や関係団体等が一体となって地域の安全を確保します。また、防犯パトロールの実施により犯罪の未然防止に努めるとともに、一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪にあわない取り組みが推進されることにより、地域が子どもを見守り育てる環境の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	地域世代間交流事業の推進					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-13-05-5-2	地域分権区分					
事業内容	<p>核家族化が進み、近所づきあいなどが希薄化しつつある中で、「地区社会福祉協議会」や「老人クラブ連合会」等が、これまで培ってきた知識・経験・技能を地域活動に活かすため、地域の小学校とのふれあいや交流の場づくりなどの取り組みを進めます。</p> <p>また、子どもたちが様々な経験等を有する方々と交流することにより、子どもも社会の一員であることを学ぶなど、世代を超えた交流により健康で明るく暮らせる地域づくりを進めます。</p> <p>1 地域の小学校と高齢者とのふれあい・交流の場づくりの推進</p>					
活動指標	地域における世代間交流事業実施回数(年間)					
目標値	現状値	5回	3年後目標値	6回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体には多くの世代の市民とが連携、協働しながら、世代間交流事業を推進する役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	高齢者等が地域活動に積極的に参加し長年培ってきた知識、経験、技能を地域活動に活かすことや、高齢者や子どもを含めた地域の人々のふれあい活動や異世代間交流などを通じて、地域で子どもを育てる環境が整うこと、また地域の人々の連携に伴う健全な人間関係が形成されることに寄与します。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名 <b>体育活動支援事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-17-06-6-1	地域分権区分						
事業内容	社会環境や生活様式の変化に伴い、運動する機会が減少し、体力や健康に影響を与えることが考えられます。 こうしたことから、地域における住民相互の交流と健康増進を目的として、気軽に楽しめるスポーツの普及を図るため、体育協会と連携し、地域のスポーツの振興と健康の維持増進を図ります。 1 気軽に楽しめるスポーツの普及 2 地域間、世代間交流の推進						
	活動指標	スポーツを通じた健康づくり、地域交流事業数(年間)					
	目標値	現状値	1回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回以上
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	スポーツは、技術力の向上のほか、交流の楽しみ、健康づくり、ストレスの発散などに重要な役割を持っています。地域団体等には、誰もが気軽に楽しむことができるスポーツを通じ、地域間、世代間の交流の輪を広げる役割を担うことが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	スポーツを通じて交流の機会を広げ、健康で気軽に楽しめるスポーツ活動を推進することにより、生涯にわたる健康を維持するとともに、スポーツ・レクリエーションを通じた地域コミュニティの形成が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名 <b>健康増進策の調査・研究事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-17-06-6-2	地域分権区分						
事業内容	生涯にわたって健康づくりを進めていくには、身近な地域で気軽に参加できる環境が必要です。 このため、地域の専門機関と連携、協力し、一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と健康づくり事業の普及啓発、各種健康づくりキャンペーン等を行うなど、地域に根ざした健康づくり事業を推進します。 1 健康づくり事業の実施と実施効果の検証に基づく調査・研究 2 かかりつけ医の普及促進、食育指導や運動指導などの健康教育、指導の推進						
	活動指標	健康づくり事業の実施運営参加者延べ人数(年間)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	100人	6年後目標値	200人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、一人ひとりの健康づくりの意識の高揚を図るため、地域の中核医療機関と連携し地域主体の健康づくり活動を支援します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	実施	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	健康に関心を持ち、積極的に健康づくり事業に参加するなど、健康づくりの意識の高揚と健康の保持、増進が進むことにより、地域社会ぐるみでの健康の維持・増進が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名		医療提供体制支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-3-17-06-7-1	地域分権区分						
事業内容	<p>市民が安心して医療が受けられるよう、休日当番医や休日病院輪番制の充実が図られてきていますが、全国的に不足している小児科医等の確保については、藤沢市においても同様の課題となっています。</p> <p>少子高齢化が進展する中で、安心して子どもを産み育てることができ、また、身近な地域で質の高い、安心して信頼される医療が受けられる体制を確保するため、地域住民及び開業医、病院勤務医等の協力を得て、今後の地域医療のあり方や地域に必要な医療サービスを把握することを目的にアンケート調査を実施し、地域における医療体制のあり方を検討するための基礎資料を作成します。</p> <p>1 地域における医療サービスのニーズ調査</p>						
	活動指標	充実した地域医療体制への提案進捗率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市は、医師会をはじめとした関係医療機関等との連携により、患者と家族が安心して在宅医療を受けられる体制を支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(地域)	-----	-----	-----			
	(市域全体)	検討	検討・計画	提案			
期待される事業の成果	地域で望まれる医療体制の構築や医療情報やサービス情報がスムーズに把握できる取り組みを進めることで、病気やけがのときにも安心して暮らせる地域の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名		介護サービス基盤整備支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
1-3-17-06-8-1	地域分権区分						
事業内容	<p>地域において、介護サービスを利用している人やその家族が介護保険について、どのような認識や要望を持っているのか、また、介護サービスをどのように利用しているのか、さらに、介護サービスについて満足しているのか、利用に際して問題が生じていないかなどの地域の声を把握し、地域で必要としている介護サービスの提供を支援する取り組みを進めます。</p> <p>1 介護サービスのニーズ調査 2 地域で必要とされる介護サービスの提供を支援する取り組みの推進</p>						
	活動指標	介護サービスの基盤整備事業数					
	目標値	現状値	在宅系6事業	3年後目標値	在宅系7事業	6年後目標値	—
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議をはじめとする地域団体は、地域での介護サービスに対する声を聞きながら、住み慣れた地域で安心して介護サービスを受け、快適に生活できるよう、サービス基盤の整備を支援します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(地域)	-----	-----	-----			
	(市域全体)	検討	検討・計画	提案			
期待される事業の成果	介護福祉サービス利用者のニーズを把握し、在宅サービス、地域に密着したサービスなど、地域に密着した、適切な介護支援サービスの提供が図られることにより、生活環境が整い、暮らしやすいまちの実現が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名	防災知識の普及啓発事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-18-07-9-1	地域分権区分					
事業内容	<p>自分の身は自分で守る自助が防災の基本であり、市及び防災関係機関による公助が有効に機能するためには、地域住民が日ごろから災害に対して備えることが重要です。</p> <p>また、広域かつ甚大な被害が予想される大規模災害時には、自主防災組織等の共助による防災力が不可欠であることから、地区・家庭防災の推進のため、防災知識の普及・防災意識の高揚を図ります。</p> <p>1 防災知識の普及・防災意識の高揚を図る事業の実施 2 自助・共助による地域防災力を高める訓練等の実施</p>					
活動指標	啓発紙(全戸配布)の発行回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域経営会議をはじめとした地域団体との連携、協働により、防災意識と地域防災力を高めるよう活動を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域市民への防災知識の普及・防災意識の高揚により、地区・家庭防災力が向上し、災害に強く、災害に不安のないまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	交通安全知識の普及啓発事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-18-07-9-2	地域分権区分					
事業内容	<p>歩行して交通事故に遭いやすい、子どもや高齢者などの安全な移動環境を確保するため、車やバイク・自転車等の運転者の交通マナーの向上をめざし、交通安全知識の普及・交通安全意識の高揚を図ります。</p> <p>1 交通安全に関する啓発紙の発行</p>					
活動指標	啓発紙(全戸配布)の発行回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、地域経営会議その他地域団体の活動と連携し、より効果的な啓発紙となるよう進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域市民への交通安全知識の普及・交通安全意識の高揚により、子どもや高齢者などの安全な移動の進み、安全なまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	安全・安心ステーションの設置運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-08-10-1	地域分権区分					
事業内容	防犯情報の共有や打合せ等の情報交換, 防犯パトロール活動等の推進及び関係機関相互の連携・協力を得るためのネットワークづくりなどの地域防犯活動の拠点となる施設である安全・安心ステーションの長後地区内への設置とその運営方法について検討します。 1 安全・安心ステーションの設置に向けた検討 2 安全・安心ステーションの設置・運営					
活動指標	安心・安全ステーションの設置運営率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議は地域団体などと連携し, 地区にふさわしい安全・安心ステーションのあり方, 場所, 運営方法等について検討を行います。市は, その検討を踏まえ, 整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	安全で誰もが安心して暮らせるまちをめざして, 地域防犯活動の拠点となる安全・安心ステーションの地区内への設置及び運営方法を検討することにより, 犯罪抑止活動を推進し, 治安の良い環境の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	防犯活動の強化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-19-08-10-2	地域分権区分					
事業内容	スクールガード活動の強化・リーダー制の推進及び自主防犯パトロール組織との連携強化と地域住民の防犯意識の普及啓発を行います。 1 スクールガード活動の強化 2 スクールガードリーダー制の推進 3 自主防犯パトロール活動との連携強化					
活動指標	啓発キャンペーンの開催回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体は, 市と連携して, 事業を推進します。特に地域経営会議は, 団体間の連携強化等を図る役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	安全で誰もが安心して暮らせるまちをめざし, スクールガード活動の強化・リーダー制の推進及び自主防犯パトロール組織との連携強化と地域住民への防犯意識の普及啓発により, 犯罪抑止活動を推進し, 治安の良い環境の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					


事業名	長後すくすく応援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-26-09-11-1	地域分権区分					
事業内容	<p>若い子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やグループ、ボランティア等が一堂に会し「子育て支援ネットワーク会議」を開催します。</p> <p>子育て世代の親子の仲間づくりと子育てに役立つ情報の収集、提供、交換、さらに、子育て経験を有する人たちとの交流により、子育ての悩みや戸惑いについてアドバイスを受けるなど、地域で子育てを支援していく体制を整備します。</p> <p>1 子育て支援ネットワーク会議の開催 2 子育て世代に役立つ情報や相談機会の提供</p>					
活動指標	子育て支援ネットワーク会議開催回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	子育て支援サークルが利用者に十分周知され、効果的に利用されることにより、地域で安心して子どもを育てる環境を地域ぐるみで整えていくことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域で安心して子育てができる環境の整備を推進することにより、子育てをすべての人々が支える長後の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

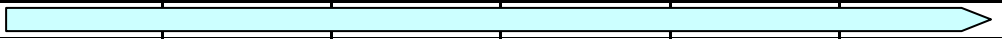
事業名	放課後子ども支援事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-26-09-11-2	地域分権区分					
事業内容	<p>放課後児童クラブについては、現在、小学2校区において3か所開設され、原則として小学校4年生の児童までを対象として、放課後から午後6時まで実施しています。</p> <p>子育てに対する意識の多様化や共働き家庭の増加など、子どもを取り巻く環境が変化していく中で、放課後に子どもが安全で健やかに過ごせる体制づくりを進めるため、利用児童数の見極めや利用時間の延長、休日の利用意向など地域のニーズを把握しながら、放課後子ども支援施設の増設等、必要性について調査を行います。</p> <p>1 地域で求められる児童クラブの運営内容の調査、検討 2 分館設置等の子育て支援手法の検討</p>					
活動指標	分館の増設を含めたあり方の検討箇所数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	4か所	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	就労形態の多様化に伴い、子育て家庭のニーズも多様化しています。子どもが健やかに育つよう、家庭、地域、学校等地域全体が子育てを支援することが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	提案			
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域で安心して子育てができる環境の整備を進めることにより、子育てをすべての人々が支える長後の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					



事業名	長後システム構築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-34-10-12-1	地域分権区分					
事業内容	<p>核家族化, 少子高齢社会を迎え, 人と人の関係が希薄になっていると言われていた中で, 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう, 地域とのつながりの中で, 互いに支えあい, 助け合う福祉コミュニティの形成をめざします。また, 地域で暮らし, 活動している人々と協働で「みまもりネットワーク」を構築し, 地域が主体となった「長後流ふくしシステム」による支えあうまちづくりをめざします。</p> <p>1 地域で助け合う福祉コミュニティの形成 2 地域での協働による「みまもりネットワーク」の構築</p>					
活動指標	みまもりネットワークの設置進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, 隣近所, 地域の団体等と連携し見守り, 声かけを行うなど地域が主体となったネットワークづくりを行い, 安心して暮らせるまちづくりを進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域や隣近所で互いに支えあい, 助け合う関係が築かれる環境づくりと, 隣近所, 地域の団体及び地域包括支援センター等とが連携した「みまもりネットワーク」づくりを進めることにより, 一人ひとりが安心して楽しく暮らせるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	長後ボランティアセンター設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-34-10-13-1	地域分権区分					
事業内容	<p>ボランティアがしたい, ボランティアを希望するなど, お互いのニーズをつなぐボランティアコーディネート事業やボランティア活動の育成援助, 情報提供, 学習の場づくり等の事業を実施します。</p> <p>また, 地域の方々やボランティア団体, NPOなどの各種団体や関係機関などとの協働と連携を図るための役割を担う拠点づくりを行います。</p> <p>1 ボランティアのニーズをつなぐボランティアセンターの設置 2 ボランティアコーディネート・ボランティア活動の育成援助・情報提供・学習の場づくり等の実施</p>					
活動指標	ボランティアセンターの設置箇所数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	1か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は, みんなで支えあう地域社会をめざし, 地域でボランティア活動を行っている各種団体などと連携を図りながら, いつでも誰でも参加できるボランティア活動の拠点づくりとその活動を推進する機関の設置と運営等について検討します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域に根ざした様々な課題やニーズを発見し, 地域の支えあい活動に結びつけるとともに, 保健福祉サービスの情報提供や相談支援体制を整えることにより, 地域で支え合い暮らせる環境の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	ペットの飼い主のマナー普及啓発事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-30-11-14-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域住民とペットが共生できる住みよい環境づくりのため、犬の散歩時のフン放置やリード(引き綱)なしの防止及び猫の室内飼いの推進等、近隣への迷惑・危険防止を目的とした啓発ティッシュ等の配布により、飼い主のモラル向上とマナーの普及を図ります。</p> <p>1 マナー向上の啓発のためのティッシュ配付 2 地域住民とペットが共生できる環境づくりのための啓発キャンペーンの実施</p>					
活動指標	啓発キャンペーンの開催回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センター・公民館と地域経営会議は、地域市民の声を聞きながら連携・協働して事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	啓発活動を推進し、お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動することにより、きれいでさわやかなまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	ポイ捨て・不法投棄の防止事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-4-30-11-14-2	地域分権区分					
事業内容	<p>駅周辺や公園、歩道でのポイ捨てや空き地・雑木林・河川等への不法投棄の未然防止のため、看板設置や啓発ティッシュ等の配布により、環境美化に対する意識の高揚を図ります。</p> <p>1 不法投棄防止のための看板設置 2 環境美化意識高揚を図るためのティッシュ等の配付</p>					
活動指標	啓発キャンペーンの開催回数(累計)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センター・公民館と地域経営会議は、地域市民の声を聞きながら連携・協働して事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	啓発活動を推進し、お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動することにより、きれいでさわやかなまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					


事業名	長後地区良好な緑地保全事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-37-12-15-1	地域分権区分					
事業内容	<p>遊び、憩い及びふれあい等の場としての公園や広場等は、多目的に利用される貴重な空間であり、地区の状況に応じて適切な配置をめざす必要があります。</p> <p>また地域で公園や広場等の質の高い維持管理を進め、次世代に継承することをめざします。</p> <p>みどりの広場や憩いの森等の確保及び継続につとめ都市公園の役割を補います。(都市公園の不足を補い機能を充実させ、良好な維持管理を継続する)</p> <p>1 「(仮称)長後の緑地愛護会」を設立し、マンパワーによる良好な緑地保全の推進</p> <p>2 「みどりの広場」及び「憩いの森」の新設啓発活動</p>					
活動指標	「(仮称)長後の緑地愛護会」の設立数(累計)					
目標値	現状値	0団体	3年後目標値	0団体	6年後目標値	5団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民団体(愛護会)のボランティア活動を主体とし、地域住民やその他の地域団体等と連携して事業を実施します。市は、活動を支援するとともに、適切な緑地の配置に向け、地域での声を聞きながら検討し、実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		—————▶			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	公園や広場を整備し、地域の方で良好な環境を保つことにより、緑に対する愛着が生まれ、親しみやすいみどりの空間があるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	長後地区公園愛護会等公園維持管理活動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-37-12-15-2	地域分権区分					
事業内容	<p>遊び、憩い及びふれあい等の場としての公園や広場等は、多目的に利用される貴重な空間であることから、地区の状況に応じて適切な配置をめざす必要があります。</p> <p>また地域で公園や広場等の質の高い維持管理を進め、次世代に継承することをめざします。</p> <p>公園愛護会活動やボランティアによる公園や広場等の維持管理活動を広め、推進し、地域住民が利用しやすい公園づくりを行います。</p> <p>1 公園愛護会未設置の公園について、公園愛護会の設立を推進・維持管理研修会の開催</p> <p>2 定期的維持管理活動・ボランティア団体募集</p>					
活動指標	公園愛護会の設立数(累計)					
目標値	現状値	11団体	3年後目標値	14団体	6年後目標値	19団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民団体(愛護会)のボランティア活動を主体とし、地域住民やその他の地域団体等と連携して事業を実施します。市は、活動を支援するとともに、適切な緑地の配置とニーズに合った公園設備の設置等に向け、地域での声を聞きながら検討し、実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		—————▶			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	公園や広場を整備し、地域の方で良好な環境を保つことにより、緑に対する愛着が生まれ、親しみやすいみどりの空間があるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	地域人材育成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-5-45-13-16-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域社会の様々な活動を支えるため、自治連等地域団体の果たしてきた役割は極めて重要であり、価値観が多様化し、地域の連帯意識が希薄化する中で、今後の組織維持の展望は極めて厳しい状況にあります。</p> <p>特に、一部を除き、役員の高齢化が顕著となっており、次代を担う人材の発掘は喫緊の課題となっています。人材の発掘や育成について、情報交換の場作り等の検討に取り組みます。</p> <p>1 地域の新たな担い手の発掘のための仕組みづくり 2 地域の新たな担い手の育成のためのプログラムづくり</p>					
活動指標	地域団体を担う人材の発掘による役員充足率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と地域経営会議は、地域課題解決のための方策の検討や実施、地域団体への支援等を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の新たな担い手を育成することで、地域のコミュニティの広がりや持続的に地域活動が行われることにより、次世代に受け継がれるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	ペットの飼い主のマナー普及啓発事業(再掲)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-46-11-17-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域住民とペットが共生できる住みよい環境づくりのため、犬の散歩時のフン放置やリード(引き綱)なしの防止及び猫の室内飼いの推進等、近隣への迷惑・危険防止を目的とした啓発ティッシュ等の配布により、飼い主のモラル向上とマナーの普及を図ります。</p> <p>1 マナー向上の啓発のためのティッシュ配付 2 地域住民とペットが共生できる環境づくりのための啓発キャンペーンの実施</p>					
活動指標	啓発キャンペーンの開催回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センター・公民館と地域経営会議は、地域市民の声を聞きながら連携・協働して事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	啓発活動を推進し、お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動することにより、きれいでさわやかなまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	ポイ捨て・不法投棄の防止事業(再掲)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-46-11-17-2	地域分権区分					
事業内容	<p>駅周辺や公園、歩道でのポイ捨てや空き地・雑木林・河川等への不法投棄の未然防止のため、看板設置や啓発ティッシュ等の配布により、環境美化に対する意識の高揚を図ります。</p> <p>1 不法投棄防止のための看板設置 2 環境美化意識高揚を図るためのティッシュ等の配付</p>					
活動指標	啓発キャンペーンの開催回数(累計)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	4回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民センター・公民館と地域経営会議は、地域市民の声を聞きながら連携・協働して事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	啓発活動を推進し、お互いにマナーを守り、協力して地域のために活動することにより、きれいでさわやかなまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	地産地消推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-62-15-18-1	地域分権区分					
事業内容	<p>長後地区は、これまでブドウや梨の近隣有数の産地として、多くの顧客の来訪があり、今後はこれをさらに拡大し地産地消の推進を図り、地域の活性化につなげます。</p> <p>具体的には、毎年春秋の2回、空き店舗と近隣駐車場の貸し切りにより会場を確保し、「健康・地産地消フェア」を開催します。そこでは、地区内の病院の協力により、健康相談、体力測定等を中心とした「健康ブース」と、旬の地場産農産物の試食即売、地場産品を活用した料理教室の開催等を実施します。</p> <p>1 健康・地産地消フェアの開催 2 地区地産地消事業のPR活動の推進</p>					
活動指標	健康・地産地消フェアの開催回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	2回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市制施行70周年記念の地域事業として、既に実行委員会を組織し、市民団体、JA、商店街連合会、市が連携した実績があり、今後も地域の多様な主体との連携が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
						
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	空き店舗活用、地産地消の推進、健康事業を一体的に進めることにより、産業の活性化と健康増進が図られ、元気のある地域としての発展が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名 <b>観光資源開拓事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-62-15-18-2	地域分権区分						
事業内容	地域への交流人口の増加を図るため、観光資源としての可能性を秘めた地域イベントや点在する果樹園、豊かな自然環境を集約した観光マップ等を作成し、観光事業者や公共交通機関等への宣伝活動に取り組みます。 1 観光マップの作成 2 観光事業者、公共交通機関等への宣伝活動の実施						
	活動指標	観光マップの作成と広報宣伝の実施率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	既に地域では、地域イベントの開催や「ウォーキングマップ」の作成等が市民団体主体で進められており、こうした背景を踏まえながら、市と地域経営会議は、藤沢市観光協会等との連携も視野に入れ、幅広い協働のもとに事業を実施します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	地域の活性化には、地域住民による活動に加え、地域を訪れる交流人口の拡大も重要であるため、まちの宣伝の充実化を進めることにより、活力ある地域の創出が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名 <b>地域ブランド育成事業</b>							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-62-15-18-3	地域分権区分						
事業内容	「藤稔」のようなフルーツが、これまで地域を代表する地場産品として、生産農家の直売施設を中心に地域への人の往来を支えてきました。これに加え、市民グループが栽培している「黒米」が、健康食品としてのブームもあり一部流通し好評を博していることから、付加価値を高めるための二次産品の開発に取り組みます。 既に、地元企業と連携し、「うどん」や「クッキー」の商品化に取り組んでおり、今後は、「煎餅」や「パン」を取り入れ、「健康・地産地消フェア」で披露し、新たな地場産品のブランド化に取り組みます。また、2011年度(平成23年度)には、小学校給食での活用を図ります。 1 新たな地域ブランドの創出・育成      2 地産地消を推進する小学校給食への活用						
	活動指標	新たな地域ブランドの育成状況					
	目標値	現状値	—	3年後目標値	1ブランド	6年後目標値	1ブランド
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	既に、市民のグループを中心に「黒米」の栽培と普及に取り組んでいる実績があるため、市と地元企業がこれをバックアップする体制を整え、事業を推進します。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	「地産地消推進事業」と連携し、地場産品のブランド化を進め、地域を代表する産業である農業の活性化を図ることにより、元気な地域を創出が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名	商店街活性化事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-64-16-19-1	地域分権区分						
事業内容	商店街の空き店舗対策として、将来、地産地消の推進に向けた「アンテナショップ」や「世代間交流施設」の設置を展望し、2011年度(平成23年度)から検討に着手します。施設を設置しそれが継続して運営されることを担保するには、具体的な空き店舗の選定、事業の受け皿、収支を含めた継続を可能とする事業計画の策定が必要となりますので、商店街と地域経営会議が連携し検討を行います。 1 商店街活性化のための調査・事例研究 2 アンテナショップ等多目的な活用についての検討						
	活動指標	空き店舗の活用件数(累計)					
	目標値	現状値	1店舗	3年後目標値	2店舗以上	6年後目標値	2店舗以上
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	商店街の活性化は、これまで商店街連合会等が様々な事業に取り組んでいることがあるため、それを市が支援し実施します。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	----->			----->			
	検討	→	実施	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)							
期待される事業の成果	今後一層進展する高齢化に対応し、日常生活を近隣で賄える状況を維持することにより、商店街を活性化し、活気のあるまちの実現を図ります。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名	地域人材育成事業(再掲)						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-8-71-17-20-1	地域分権区分						
事業内容	地域社会の様々な活動を支えるため、自治連等地域団体の果たしてきた役割は極めて重要であり、価値観が多様化し、地域の連帯意識が希薄化する中で、今後の組織維持の展望は極めて厳しい状況にあります。 特に、一部を除き、役員の高齢化が顕著となっており、次代を担う人材の発掘は喫緊の課題となっています。人材の発掘や育成について、情報交換の場作り等の検討に取り組みます。 1 地域の新たな担い手の発掘のための仕組みづくり 2 地域の新たな担い手の育成のためのプログラムづくり						
	活動指標	地域団体を担う人材の発掘による役員充足率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市と地域経営会議は、地域課題解決のための方策の検討や実施、地域団体への支援等を行います。						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	----->			----->			
	検討	→	→	→	→	→	
(地域)							
(市域全体)							
期待される事業の成果	地域の新たな担い手を育成することで、地域のコミュニティの広がりや持続的に地域活動が行われることにより、次世代に受け継がれるまちの実現が図られます。						
担当部課	市民自治部長後市民センター						

事業名	長後地区身近なみどりをふやそう！事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-66-18-21-1	地域分権区分					
事業内容	<p>先代より培われた農地及び山林等のみどりや生活の中のみどりを、長後地区のかけがえない潤いとして、また生物生息の貴重な空間として、今後も守っていくことをめざします。地域住民、企業及び行政の協働により、みどりの啓発活動を推進し、身近なみどりの保全・継承を推進します。</p> <p>1 みどりや花を広める団体の懇談会・意見交換会 2 自宅のみどりや花を増やす啓発活動 3 ボランティア団体との交流</p>					
活動指標	団体の懇談会開催及び啓発活動回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	6回	6年後目標値	12回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民ボランティア団体を中心となり、活動を推進します。市と地域経営会議は活動を支援するとともに、団体間の連携等に努めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		----->			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地区の特性である緑を財産として継承・発展させる活動と活動を通じた地域での協働により、みどりを増やし育むまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	長後地区身近なみどりを守り残そう！事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-8-66-18-21-2	地域分権区分					
事業内容	<p>先代より培われた農地及び山林等のみどりや生活の中のみどりを、長後地区のかけがえない潤いとして、また生物生息の貴重な空間として、今後も守っていくことをめざします。特に地区内の貴重な山林、水辺環境及び農地を保全・継承するための調査及び啓発活動を実施します。</p> <p>1 長後の残したいみどりの調査 2 緑地保全啓発活動(写真展等)</p>					
活動指標	調査活動並びに啓発活動回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	0回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が中心となる市民及び市民団体の草の根活動として、多くの地域住民の協力を得ながら事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		----->			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地区の特性である緑を財産として継承・発展させるための啓発活動により、みどりを増やし育むまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					



事業名	長後地区コミュニティバス路線開設事業(再掲)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-76-19-22-1	地域分権区分					
事業内容	<p>公共交通機関の結節点である長後駅周辺は、地区の中心部としてスムーズな交通の流れの確保と改善及び公共交通の機能強化に努め、踏切部を含め快適で円滑な交通移動ができるようにする必要があります。</p> <p>市街地の拠点である長後駅周辺から離れた地区の居住者が、移動手段として自家用自動車及びバイクを利用しなくてもよい交通手段を確保するため、コミュニティバス路線網の構築と運行を推進し、快適で円滑な交通移動を図ります。</p> <p>1 コミュニティバスに関するニーズ等の調査 2 コミュニティバス路線網の検討</p>					
活動指標	交通不便地域3地域(上谷台・高倉・下土棚)へのバス等運行路線数(累計)					
目標値	現状値	0路線	3年後目標値	0路線	6年後目標値	1路線
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議は、市民参加による基本的な調査を行い、交通事業者の協力により事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			----->		
	検討	→	→	→	実施	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	駅付近に集中する交通混雑を緩和することにより、快適で円滑な交通移動を進め、身近なところでの暮らしやすさの向上が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					

事業名	長後カルチャー創造事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-81-20-23-1	地域分権区分					
事業内容	<p>少子高齢化が進展する中で、地域住民同士のつながりや語らいの機会が少なくなっています。</p> <p>このため、地域の成り立ちや長後地区に古くから伝承されている文化の継承、季節ごとの行事など忘れられつつある事象の記録、保存、再生に向け、専門家を招いて地区住民に対する講演会等を行います。</p> <p>1 長後の文化、行事を伝承し、発展させるための記録、保存、再生 2 地域での活動を推進するための講演会の開催 3 地域学習や世代間交流など伝承組織の育成</p>					
活動指標	郷土の歴史、文化活動に対する支援回数(年間)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	2回	6年後目標値	4回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域市民と市が一体となり、町内に数多く残る文化財や生活文化に基づく年中行事、芸能などを地域資源として積極的に保存、活用しながら魅力的な地域づくりを進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->			----->		
	検討	検討・実施	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	長後のまちの歴史や文化に理解を深め町内にある文化財の情報を提供し、あわせて、地域の歴史、伝統文化を地域資源として積極的に保存、活用することで魅力ある長後の形成が図られます。					
担当部課	市民自治部長後市民センター					



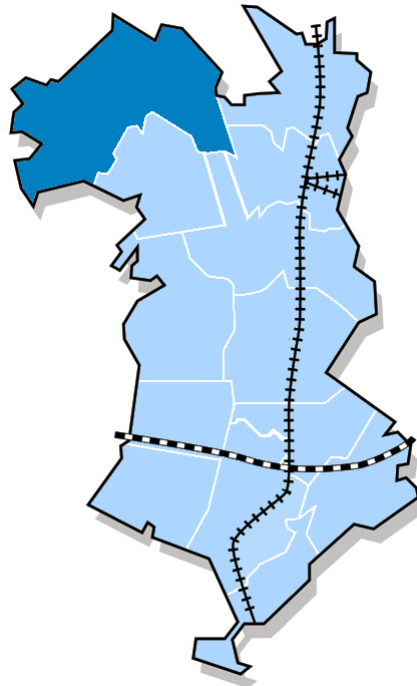
# 藤沢市新総合計画

## 御所見地区まちづくり実施計画

地域まちづくりのテーマ

住んで、見て、歩いてわかるまちの良さ

＝地域資源を活かし，北部新中心拠点をめざします＝



---

## 地区のあらまし

---

「御所見」の由来については、平安時代に桓武天皇第三皇子葛原親王より出た坂東平氏の一族である長田氏の垂木主膳（長田武蔵守忠望）が葛原の地に館を構え、それが「垂木御所」と呼ばれるようになり、その御所が菖蒲沢の塚より展望できたのでこの塚を「御所見塚」と呼ぶようになったと言われていました。

1889年（明治22年）市制町村制実施により、用田・葛原・菖蒲沢・打戻・獺郷・宮原の六つの村が合併して一つの村となり、菖蒲沢にあった御所見塚にちなんで御所見村と名づけられました。その昔、江戸から十四里（56km）のところに位置し、大山街道（現在の県道横浜伊勢原線）と中原街道（現在の県道丸子中山茅ヶ崎線）が交わる用田辻付近は、用田宿として旅籠や茶店が集まり、大山参りの人たちでにぎわっていたとされています。その後、1955年（昭和30年）藤沢市合併後に現在の御所見地区となりました。2010年（平成22年）12月1日現在、人口は、18,174人です。

---

## 地区の特色

---

御所見地区は、地勢を活かした農業が盛んになっており、生産品目は野菜、植木、養豚等が中心の都市型農業であり、本市における農業振興地域として農業基盤整備を中心にまちづくりが進められてきました。そのために多くの自然が残っています。

この農業の活性化の一つとして、地産地消を推奨すべくファーマーズマーケット「ごしょみーな」を2009年度（平成21年度）より事業化しています。

打戻地区の小出川（遠藤から打戻を通り芹沢（茅ヶ崎市）に至る延長3km）には、古くから彼岸花が自然群生しており、周囲の景観を堪能しながら川縁を散策するコースとなっています。この彼岸花は、15年ほど前から観光協会のホームページでも紹介され、今では観光情報誌にも度々取り入れられるなど関心を集め、近年、小田急電鉄や観光協会探訪クラブが主催するウォーキングイベントが開催されるなど、開花時期には多くの方々にぎわいを見せています。



また、宮原地区では毎年5月になると「レンゲの里まつり」が催されます。これは、宮原地域から荒廃地を無くすことを目的として、2002年（平成14年）に地元農業者による自主活動としてスタートしたものです。耕作放棄地を活用した景観形成の取り組みが、農地・水・環境保全を向上させたばかりでなく、地域観光の資源として育っています。

---

## 御所見地域経営会議（ごしょみつく）

---

地域活動団体等からの推薦委員と公募委員で構成し、「御所見の将来をみんなでつくろう」をスローガンに、各地域団体の活動及び地域の課題などを現状分析し、解決に向けた取り組みを行います。また地域の活性化や地域振興に向けた事業を計画するなど、後世につながる御所見地区の将来像について話し合っていきます。

都市ビジョン1  
市民の力が育てる生活充実都市

藤沢づくりのめざす方向性

1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や地域資源を活かして、地域に住み、働き、学ぶ人たちが協働して、地域から生み出す付加価値を享受するために、各地区ごとに個性のある地域経営を進めるとともに、行政は財政改革と行政改革を進めるとともに、新たな行政システムを構築し、市民、地域と協働して市民主体、地域自律型の「藤沢づくり」をめざします。

ふじさわ未来課題

7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること

【地域まちづくり目標】

01 交通事故のない安全運転のまち

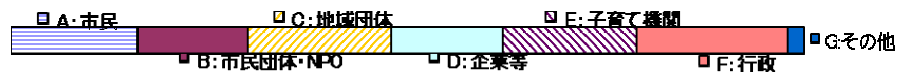
【成果指標】

①事故発生件数

【現状値】①120件

【めざそう値】3年後：①100件 6年後：①80件

【役割の担い手】①A:16% B:14% C:18% D:14% E:17% F:19% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動-1》 自転車・歩行者もマナーを守って安全に

<成果の視点> 通行に危険な箇所が改善されていること

〔主要な指標〕 自転車と歩行者の接触事故件数

○実施事業 ボランティアを活用した自転車・歩行者のマナーアップ推進事業  
安全・安心な道路点検改修事業

ふじさわ未来課題

1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること

【地域まちづくり目標】

02 自然と街並みの調和のとれたまち

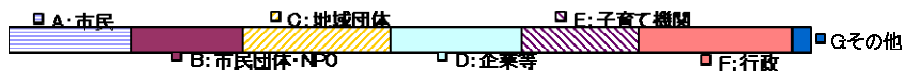
【成果指標】

①御所見地区に住み続けたい人の割合

【現状値】①54%

【めざそう値】3年後：①60% 6年後：①65%

【役割の担い手】①A:15% B:14% C:19% D:16% E:15% F:19% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動-2》 身近な街並みと緑の保全の推進

<成果の視点> 緑を守る活動に取り組み、地域における緑の保全がなされていること

〔主要な指標〕 緑地面積

○実施事業 緑と花いっぱい運動推進事業  
里山・樹木の育成事業

《活動－3》 日常の買い物に便利な環境整備の促進  
 <成果の視点> 地元で買い物をする人が多くなること  
 [主要な指標] 商店会など店舗数/顧客数  
 ○実施事業 買い物利便性向上推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育てていくため、安心して子どもを産み、育てられる生活環境や多様な教育ニーズへの対応、家庭・地域・学校の教育連携など、教育環境を持続・発展させることをめざします。

ふじさわ未来課題

10 子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること

【地域まちづくり目標】

03 地域文化を守り育てるまち

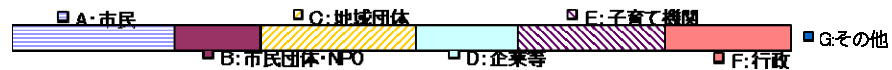
【成果指標】

- ①伝統行事に参加する子どもたちの割合
- ②地域に文化的な魅力を感じている人の割合

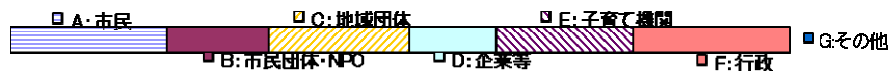
【現状値】 ①67% ②49%

【めざそう値】 3年後：①70% ②51% 6年後：①75% ②55%

【役割の担い手】 ①A:21% B:11% C:20% D:13% E:19% F:16% G:0%



②A:20% B:13% C:18% D:11% E:18% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－4》 伝統文化の継承の推進

<成果の視点> 太鼓・お囃子等の育成活動が活発であること

[主要な指標] 伝統教室への延べ参加者数

○実施事業 地元文化の継承と育成事業

藤沢づくりのめざす方向性

### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

コミュニティを維持・発展させ、市民が一生安心して暮らせる保健・医療（介護）・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害への不安解消などによる、安全で安心できる地域社会を創り上げることをめざします。また、病気の予防やスポーツなどを通じた身体的な健康のみならず、心も健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる私たちの健康づくりをめざします。

ふじさわ未来課題

## 23 福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること

【地域まちづくり目標】

### 04 地域で見守る安全・安心のまち

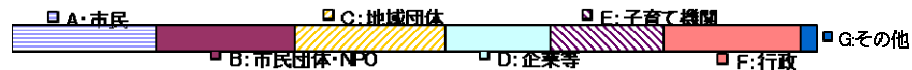
【成果指標】

①地域活動・ボランティアへの参加率

【現状値】 ①5%

【めざそう値】 3年後：①12.5% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:19% D:13% E:14% F:17% G:2%



《地域まちづくり活動》

《活動－5》 夜間の安全確保など防犯対策の推進

<成果の視点> 犯罪に遭う人が減少していること

〔主要な指標〕 夜間の犯罪件数

○実施事業 犯罪抑止力の強化推進事業  
くらし防犯対策事業

《活動－6》 自助・共助による災害への備え

<成果の視点> 自主防災組織活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 自主防災組織の組織率

○実施事業 実践活動等による防災意識の高揚事業  
家具転倒防止対策推進事業  
くらし防災対策事業

《活動－7》 福祉・医療ネットワークの構築

<成果の視点> 地域の住民が福祉・医療に対して満足していること

〔主要な指標〕 地区内医療・福祉サービス受給者うちボランティア利用者の割合

○実施事業 身近な福祉活動の推進事業

《活動－8》 地域の人材が活かされるコミュニティの形成

<成果の視点> 新しいコミュニティ（地域活動）が増えていること

〔主要な指標〕 新規ボランティア参加者数・新規地域活動数

○実施事業 全員参加の地域活動促進事業

都市ビジョン2  
地域から地球に広がる環境行動都市

藤沢づくりのめざす方向性

4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民が、差別や偏見を持つことなく、互いを認め合い、共に生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境を実現するため、それぞれの人権を尊重し、男女が共同で参画し、高齢者、若者なども積極的に参画できる、多文化が共生する穏やかな地域の社会環境を創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

34 地域で支え合い暮らせる環境であること

【地域まちづくり目標】

05 健全なコミュニティが形成されているまち

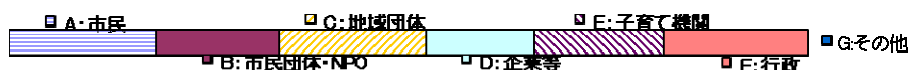
【成果指標】

①ご近所など日常で挨拶がきちんとできていると感じている人の割合

【現状値】 ①62%

【めざそう値】 3年後：①70% 6年後：①78%

【役割の担い手】 ①A:18% B:16% C:18% D:14% E:16% F:18% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－9》 人々がいきいきと活躍できる、世代を超えた交流の促進

<成果の視点> 地域の事業への参加が活発であること

〔主要な指標〕 地域交流の場の数

○実施事業 地域交流の場づくり推進事業

《活動－10》 地域における身近な情報提供の充実

<成果の視点> 地域の情報利活用が充実していること

〔主要な指標〕 地域情報メディアに訪れる人の数（PV数）

○実施事業 情報伝達手段の拡大推進事業

藤沢づくりのめざす方向性

5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢の自然環境、景観、歴史・文化資産など、先人から引き継いできた地域固有の資源をさらに発展させ、次世代に継承することによって都市としてのアイデンティティを高め、地域資源を活かしたまちをつくることをめざします。

ふじさわ未来課題

45 地域の未来の担い手が育成されていること

【地域まちづくり目標】

06 地域ぐるみで青少年を育成するまち

【成果指標】

①御所見に誇りを持ち、住み続けたい子どもたちの割合



【現状値】①42%

【めざそう値】3年後：①45.5% 6年後：①50%

【役割の担い手】①A:19% B:14% C:17% D:14% E:17% F:18% G:1%



《地域まちづくり活動》

《活動－11》 家庭・学校・地域の連携の推進

<成果の視点> 青少年を見守る活動が活発に行われていること

〔主要な指標〕 青少年の犯罪率

○実施事業 三者連携の強化推進事業

四季の遊び・工作と食べ物作り教室事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

地球温暖化などの環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題について、地球規模の視点に立って地域で取り組み、持続可能なまちと低炭素社会をつくりあげることがめざします。また、地域の大学力や企業力を活かして、産学官による協働と連携によって、最先端の環境技術を生み出す産業構造や環境に優しい都市システムを創り出すことをめざします。

ふじさわ未来課題

## 46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること

【地域まちづくり目標】

### 07 子どもから高齢者まで誰にも優しいまち

【成果指標】

①段差等により通行に支障や危険があると感じた人の割合

【現状値】①38%

【めざそう値】3年後：①35% 6年後：①20%

【役割の担い手】①A:12% B:18% C:19% D:18% E:13% F:20% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－12》 身近な場所でバリアフリーの推進

<成果の視点> 改善が必要な箇所が適切に改善されていること

〔主要な指標〕 子ども・高齢者の交通事故件数

○実施事業 木障切り推進事業

バリアフリー推進事業

ふじさわ未来課題

## 49 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること

【地域まちづくり目標】

### 08 身近な環境を自ら守るまち

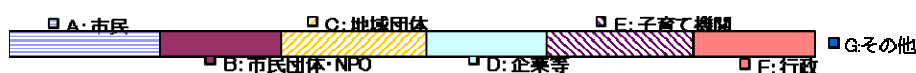
【成果指標】

①身近な環境を自ら守ることを行っている人の割合

【現状値】①70%

【めざそう値】 3年後：①77.5% 6年後：①85%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:18% D:15% E:18% F:15% G:0%



#### 《地域まちづくり活動》

《活動－13》 不法投棄のないクリーンなまちの実現

<成果の視点> 不法投棄がなくなっていること

〔主要な指標〕 清掃活動への参加者数

○実施事業 **きれいな生活環境の推進事業**  
**人力と機械の目で不法投棄撲滅推進事業**

《活動－14》 心安らぐ景観の整備・保全の推進

<成果の視点> 地域住民が環境保全活動に積極的に取り組んでいること

〔主要な指標〕 美化ネット活動団体会員数

○実施事業 **景観保全の推進事業**  
**宮原中川あじさいロード整備事業**

### 都市ビジョン3

#### さらなる可能性を追求する創造発信都市

#### 藤沢づくりのめざす方向性

##### 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活の基盤を支える都市機能を強化していくために、新たな拠点地区の整備や連携する道路、鉄道等の公共交通、海上交通のネットワーク化など、土地利用の方向性も含んだ「新たな都市構造の再構築」をめざします。また、産業の活力を高め、雇用の機会を増やし地産地消の推進を図るため、市民、地域の持つ資源を活かしつつ、商業、工業、観光、農水産業など、市民力、地域力、大学力、企業力などの連携によって地域経済の活力再生をめざします。

#### ふじさわ未来課題

##### 57 すべての世代がのびのび・いきいきと活躍していること

【地域まちづくり目標】

##### 09 新たなコミュニティを形成するまち

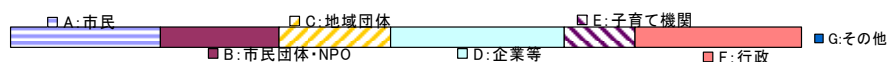
【成果指標】

①いろいろな世代の方が地域活動に参加していると感じる人の割合

【現状値】 ①20%

【めざそう値】 3年後：①25% 6年後：①33%

【役割の担い手】 ①A:18% B:17% C:18% D:14% E:15% F:18% G:0%



#### 《地域まちづくり活動》

《活動－15》 地域の祭礼等を通じた世代間の交流の促進

<成果の視点> 地域独自の伝統行事や祭礼が活発に行われていること

〔主要な指標〕 伝統教室参加者数（延べ数）

○実施事業 祭りを活かした世代間の交流の場づくり推進事業

ふじさわ未来課題

**63 地域の人材が働ける機会を創造すること**

【地域まちづくり目標】

10 地産地消など新たな農業経営に取り組むまち

【成果指標】

- ①出荷物に対する満足度の割合
- ②農業生産者の数

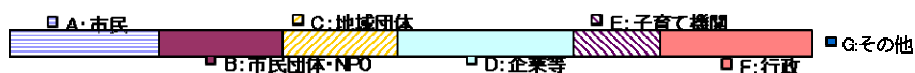
【現状値】 ①12% ②659人

【めざそう値】 3年後：①15% ②665人 6年後：①20% ②670人

【役割の担い手】 ①A:19% B:14% C:14% D:21% E:10% F:22% G:0%



②A:19% B:15% C:14% D:22% E:11% F:19% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－16》 ファーマーズマーケットの充実

<成果の視点> 新しい出荷者組合員が増えていること

〔主要な指標〕 ファーマーズマーケット出荷物売上実績・来場者数

○実施事業 ファーマーズパーク構想推進事業

ふじさわ未来課題

**65 市内の交通・物流がスムーズに行われること**

【地域まちづくり目標】

11 北部新中心拠点の形成

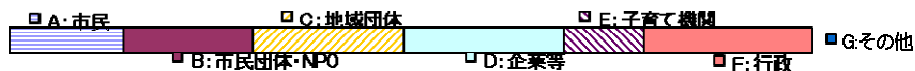
【成果指標】

- ①地域の交通ネットワークが充実していると感じる人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:14% B:16% C:19% D:20% E:10% F:21% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－17》 混雑なく移動しやすい交通環境の整備

<成果の視点> 交通アクセスが便利になっていること

〔主要な指標〕 主要道路の渋滞総距離

○実施事業 (仮称) 綾瀬スマートインターチェンジ設置促進事業

## 62 産業の活力を高め、地域が元気になること

【地域まちづくり目標】

### 12 活気あふれる商店街の創出

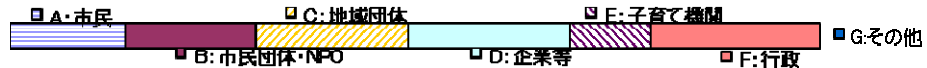
【成果指標】

①買い物に便利なまちだと感じている人の割合

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①25%

【役割の担い手】 ①A:19% B:15% C:14% D:22% E:9% F:21% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－18》 商店街を知ってもらおう

<成果の視点> 商店街で新しい取り組みが活発に行われていること

〔主要な指標〕 商店街利用顧客者数

- 実施事業 商業環境整備事業
- 誘客宣伝事業

藤沢づくりのめざす方向性

## 8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地などの公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新など、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

## 69 市民が利用する身近な施設が大切にされていること

【地域まちづくり目標】

### 13 みんながつどう公共施設があるまち

【成果指標】

①公共施設の役割が地域ニーズにあっていると感じている人の割合

【現状値】 ①25%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:14% B:14% C:20% D:16% E:13% F:22% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－19》 使いたい、使いやすい施設とするための活用方策の推進

<成果の視点> 公共施設がより利用しやすくなっていること

〔主要な指標〕 公共施設利用者数

- 実施事業 自主財源確保推進事業
- 公共施設有効活用事業

《活動－２０》 環境など地域に配慮した施設整備の推進

＜成果の視点＞ 地域の施設が地域の環境に配慮した運営・維持管理を行っていること

〔主要な指標〕 公共施設において、実践されている環境対策数

○実施事業 地域に配慮した施設整備促進事業

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などを通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることがめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

【地域まちづくり目標】

14 地域資源を活かした観光の振興に取り組むまち

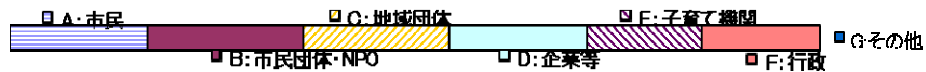
【成果指標】

①地域でのイベント参加人数

【現状値】 ①56,600人

【めざそう値】 3年後：①58,000人 6年後：①60,000人

【役割の担い手】 ①A:17% B:19% C:18% D:17% E:14% F:15% G:0%



《地域まちづくり活動》

《活動－２１》 主産業である農業を活かした集客の実現

＜成果の視点＞ 各種イベントに訪れる人が年々増えていること

〔主要な指標〕 御所見地区に訪れる観光客数

○実施事業 地場資源を活かした地域活性化推進事業  
収穫祭イベント及びコンテスト事業  
総合案内マップ作成事業

事業名	ボランティアを活用した自転車・歩行者のマナーアップ推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-1-7-01-1-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の貴重な財産である子どもたちを安全・安心な環境の中で守り育てるため、家庭だけでなく地域が見守り、お互いに支え合う活動を進めます。</p> <p>1 見守りボランティア参加者の拡大 2 見守りボランティア活動の充実</p>					
活動指標	見守りボランティア数(累計)					
目標値	現状値	30人	3年後目標値	50人	6年後目標値	80人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域の市民ボランティアが主体となり、多くの参加者を募りながら事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	子どもたちへの見守りと誘導、指導を通じて、自転車・歩行者もマナーを守る安全なまちが実現されます。また、ボランティア活動を通じた地域のつながりや地域への愛着が生まれ、暮らしやすい地域が形成されます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	安全・安心な道路点検改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-7-01-1-2	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見地区の道路は、車両の大型化等や都市計画道路の整備に伴う抜け道となっている事により振動、騒音及び路面の劣化が発生しています。</p> <p>また、その他の生活道路では排水設備がなく冠水する道路もあります。このような道路の点検・改修を地域より早急に要望されているので、自治会・町内会が点検し、道路改修個所の優先順位を決める道路点検事業を3年間で実施します。</p> <p>1 生活道路をはじめとする身近な道路の点検 2 点検に基づく優先改修箇所の検討</p>					
活動指標	道路点検改修(累計)					
目標値	現状値	0路線	3年後目標値	18路線	6年後目標値	37路線
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	基礎的な調査及び整備の優先順位付けは、自治会・町内会が中心となり、地域全体での分析・検討は地域経営会議が行います。改修整備については、市が適切に進捗管理及び予算管理を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	道路の点検・整備を進めることにより、危険箇所の把握や改修によって、安全・安心なまちが実現します。また、道路の改修以外にも、道路への関心が高まることによって、案内板の設置や清掃といった多様な活動への広がりが図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	緑と花いっぱい運動推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-1-02-2-1	地域分権区分					
事業内容	<p>緑や花のある環境は、住む人、訪れる人の気持ちを安らげます。御所見地区は緑の多い地区であり、その緑の資源を市民ボランティアによる植栽や剪定によって、人の手で丹精が込められた温もりのある緑が形成されることによって、緑への愛着が一層高まるため、「家庭内花いっぱい運動」や「花の里づくり推進」を進め、親しみのある生活環境の整備促進を進めます。</p> <p>1 アヤメの里の拡充 2 花桃の植樹</p>					
活動指標	植樹した花卉、樹木の本数(累計)					
目標値	現状値	0本	3年後目標値	100本	6年後目標値	500本
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民ボランティアと関係団体が協力し、緑と花のある環境を整備促進します。新たな市民ボランティアの参加が望まれます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	身近な街並みと緑の保全が推進されることにより、自然や地域への愛着が高まり、住み続けたいまちが実現します。また、訪れる方にとっても心温まるまちとなることによって、地域の特性と強みを活かした住んでみたいまちの形成が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	里山・樹木の育成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-1-02-2-2	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見地区に残されている里山は、市民全体の貴重な財産です。その里山が維持管理ができず、荒廃してしまうことが少なくありません。</p> <p>里山を守り後生に継承するため、景観に優れた里山を選定し、ボランティアによる維持・管理に努めます。また、地域内各地区のランドマークとなるシンボルツリーの植樹を進めます。</p> <p>1 景観に優れた里山の選定と維持・管理のための助成制度等の検討 2 地域内各地区へのシンボルツリーの植樹・育成</p>					
活動指標	整備・登録した里山面積(累計)					
目標値	現状値	0㎡	3年後目標値	1,000㎡	6年後目標値	3,000㎡
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民ボランティア等による維持・管理を進めるために効果的な助成・支援を進めます。実際の維持・管理は、地域でのノウハウを活かしながら市民ボランティアにより勧められることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	御所見地区の特性でもある身近な自然のひとつとして、遊びや食などの生活にもつながる里山を育成することで、地域の良さや緑に対する愛着が感じられ、住み続けたいまちの形成が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名		買い物利便性向上推進事業				
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-1-1-02-3-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地区内にはスーパーマーケットやコンビニの店舗数が少なく、また市の中でも高齢化率が進んでおり、買い物に不便を感じている人が多い地区となっています。その課題を解決するために、買い物の利便性の向上を図るための事業を推進します。</p> <p>1 地区内の需要を把握，必要とされるサービスと継続的な実施可能性等の調査・研究  2 移動販売サービスの検討・企画  3 お使い代行サービス(有料)の周知・充実</p>					
活動指標	新規導入店舗数(累計)					
目標値	現状値	0店舗	3年後目標値	2店舗	6年後目標値	4店舗
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議は、地域での調査を踏まえ、地域のニーズに見合ったサービスの検討を進めます。また、実施に当たっては、既存の店舗や新しいコミュニティビジネスとしての担い手が期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	
(市域全体)						
期待される事業の成果	高齢者をはじめ地区内での買い物の利便性の向上が図られることにより、いつまでも安心して住み続けられるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名		地元文化の継承と育成事業				
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-2-10-03-4-1	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見地区には、昔から続く伝統的な行事が残され、地区の歴史を知り、世代間の交流を図る貴重な機会となっています。</p> <p>これらの地区特有の歴史・伝統芸能や食文化を子どもたちに継承するために、指導者の育成と参加する子どもの拡大を図る事業を推進します。</p> <p>1 地区の歴史・伝統芸能や食文化の伝承者となる指導者の養成  2 だんご焼き作り教室(どんと焼き)  3 御所見の歴史を巡る野外活動教室</p>					
活動指標	伝承教室実施数(累計)					
目標値	現状値	0教室	3年後目標値	2教室	6年後目標値	8教室
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	現在の担い手だけでなく幅広く市民が参加し、その中から次の世代に引き継ぐ指導者が養成されることが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	
(市域全体)						
期待される事業の成果	地区の文化を知り、子どもからお年寄りまでが一堂に集うことにより、地区の財産を継承・発展させ、愛着のある永続的なまちづくりが実現されます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					



事業名	犯罪抑止力の強化推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-23-04-5-1	地域分権区分						
事業内容	<p>現在も地区内の防犯パトロール等の活動を実施していますが、地域防犯力の一層の向上を図るため、より地域に密着し、活動と情報の拠点となる安全・安心ステーションの設置を進めます。</p> <p>また、施設の運営に携わるボランティアを養成し、その参加者の拡大を図ります。</p> <p>1 「安全・安心ステーション」の早期設置 2 「安全・安心ステーション」の運営に携わるボランティアの養成・参加者の拡大</p>						
	活動指標	ステーション運営スタッフ数(累計)					
	目標値	現状値	0人	3年後目標値	10人	6年後目標値	30人
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域団体が主体となり、ボランティア、市と連携、協働して施設と事業の運営を行います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	夜間の安全確保や地区内の防犯に関する情報の蓄積により、防犯対策が推進され、安全で安心なまちの実現が図られます。						
担当部課	市民自治部御所見市民センター						

事業名	くらし防犯対策事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
1-3-23-04-5-2	地域分権区分						
事業内容	<p>御所見地区では、2008年度(平成20年度)より防犯協会で玄関灯等の夜間常時点灯を地域に呼びかけていますが、電気代の増加などの理由で普及は進んでいません。</p> <p>そのため、最近のLED電球の低コスト化や長寿命化などの技術革新が進む中、初期投資の費用が従来よりも安価になったLED電球の普及を広めるために、モデル事業としてLED電球の購入費用に対して補助を行い、あわせてLED防犯灯を設置します。</p> <p>1 LED電球の購入費用に対する補助制度の実施 2 LED防犯灯の設置</p>						
	活動指標	犯罪件数(年間)					
	目標値	現状値	251件	3年後目標値	225件	6年後目標値	200件
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域団体がモデル地区を決めて、市が取りまとめて実施します。基礎的な調査及び整備の優先順位付けは、担い手が地域中心となります。整備関連については、市が適切に進捗管理及び予算管理を行います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	LED防犯灯の設置により、ランニングコストを抑制した防犯対策と環境配慮型の活動を実施することにより、防犯対策が推進され、安全で安心なまちの実現が図られます。						
担当部課	市民自治部御所見市民センター						

事業名	実践活動等による防災意識の高揚事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-6-1	地域分権区分					
事業内容	<p>災害発生時には特に自助、共助による対応が必要になります。普段から不測の事態にも対応できる準備と能力を高めるために、防災リーダー講習会や各種研修会の積極的な参加促進による意識高揚を行います。</p> <p>また、災害時要援護者対策の実効性を高めるため、実践的な活動を推進します。</p> <p>1 防災リーダー講習会, 防災ジュニアリーダー講習会への参加促進  2 各種研修会への積極的な参加促進  3 災害時要援護者対策の実践的な活動の推進</p>					
活動指標	防災リーダー講習会等の参加者数(年間)					
目標値	現状値	25人	3年後目標値	40人	6年後目標値	70人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区自主防災組織が中心となり、地区住民の積極的な参加を促進しながら地域防災力を高めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	→					
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	自助・共助による災害への備えの充実が図られることにより、地域防災力を高め、災害時にも安心して暮らせるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	家具転倒防止対策推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-6-2	地域分権区分					
事業内容	<p>2004年(平成16年)に発生した新潟県中越地震では、負傷者の4割以上が家具類の転倒や落下物により負傷しています。</p> <p>地震災害の最も身近で確実な対策である家具の転倒防止について啓発を進め、各家庭での対策を促進します。</p> <p>1 家具転倒防止対策の方法等についての周知  2 家庭での対策促進に向けた啓発活動の実施</p>					
活動指標	地区内における家具転倒防止対策済み世帯率					
目標値	現状値	30%	3年後目標値	60%	6年後目標値	90%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区自主防災組織は、市と連携し、周知・啓発事業等を推進します。また、家庭では「自分の身は自分で守る」という自助の対策として、家具転倒防止対策の推進が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	→					
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	家具転倒防止対策は自助の活動ではありますが、自助の推進に向けた共助による周知・啓発活動により、災害への備えの充実や防災意識の向上が図られ、地域防災力の高い、安心なまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	くらし防災対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
1-3-23-04-6-3	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見地区では地震災害等の非常事態時における停電に対して、地域市民の互助の必要性をアピールするとともに、地域の防災活動としての夜間の照明や防災井戸の汲み上げ等の初期対応の充実を推進します。</p> <p>6地区の防災倉庫に発電機を設置し、非常事態での停電時に照明や井戸ポンプの電源を確保します。</p> <p>1 非常時に最低限必要な照明、ポンプ等の電力需要の検証 2 6地区の防災倉庫への発電機の設置</p>					
活動指標	発電機の設置箇所数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	6か所	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体が設置場所を含めた検討を行い、市が設置を進めます。管理は地域で担い、必要に応じて操作訓練等を行っていくことが期待されます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	共助による災害への備えの充実が図られることにより、地域防災力を高め、災害時にも安心して暮らせるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	身近な福祉活動の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-7-1	地域分権区分					
事業内容	<p>少子高齢化社会における地域の福祉ニーズにきめ細かく対応するために、地区ボランティアセンターを設置し、地区福祉活動の拠点とします。</p> <p>また、福祉ボランティアの参加しやすい環境づくり等、運営方法の検討を行います。</p> <p>1 ボランティアセンターの設置 2 人材バンクの登録 3 ボランティア・ポイント制など運営方法の企画・検討</p>					
活動指標	福祉ボランティア登録者数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	20人	6年後目標値	50人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地区社会福祉協議会をはじめとする地域団体が中心となり、市民ボランティアと協働して事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地区ボランティアセンターの活動を推進することにより、福祉・医療ネットワークの構築を進めるとともに地域の人と人のつながりを大きくし、支え合う地域社会の実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	全員参加の地域活動促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
1-3-23-04-8-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域コミュニティは挨拶から形成されます。そのため、各種メディアを活用し、地区全員参加による挨拶運動をめざした活動を推進します。</p> <p>また、住民へ各種行事やボランティアへの積極的な参加の促進を図ります。</p> <p>1 各種メディアを活用した全員参加による挨拶運動の推進 2 各種行事やボランティアへの積極的な参加の促進</p>					
活動指標	地区内における挨拶運動の認知率					
目標値	現状値	20%	3年後目標値	50%	6年後目標値	80%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体は団体間相互の連携、協働を行いながら、ボランティアの参加を促進し、事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->	----->				
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	挨拶からはじまる地域のコミュニティを育み、地域の人材が活かされるコミュニティの形成が推進されることにより、人のネットワークの拡がりのある、暮らしやすいまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	地域交流の場づくり推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-4-34-05-9-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域での生活を通じたコミュニケーションは、日常において様々な課題の解決に寄与します。</p> <p>そのため、各種地域事業に携わるボランティアの育成と拡大を行うとともに、地域産業の特性を活かし、商店街・直売所等を通じた店主・生産者との交流を促進します。</p> <p>1 地域事業に携わるボランティアの育成・参加者の拡大 2 商店街・直売所等を通じた店主・生産者との交流促進</p>					
活動指標	地域活動のボランティア登録者数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	10人	6年後目標値	50人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民ボランティアが主体となり、日常生活に関係の深い場所、事業において、コミュニケーションを高める事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->	----->				
	検討	→	→	実施	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域で人々がいきいきと活躍でき、世代を超えた交流が促進されることにより、地域でのコミュニケーションを活性化し、暮らしやすいまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

<b>事業名</b> 情報伝達手段の拡大推進事業							
<b>体系コード</b>		<b>事業区分</b>		まちづくり行政事業(地域)			
2-4-34-05-10-1		<b>地域分権区分</b>					
<b>事業内容</b>		IT(情報技術)ツールを活用した情報提供方法の充実を図ります。 全戸配布の紙媒体で見える人に加え、ウェブ経由で見える人を増やします。将来的に、ホームページ、ブログ、twitter、YouTube、Ustream等の活用により、双方向のソーシャルメディアをめざします。 1 活用ツールや手法、コンテンツの検討 2 双方向メディアとしてのあり方、将来性を踏まえた方向性の検討					
<b>活動指標</b>		情報伝達のためのメディア数(累計)					
<b>目標値</b>		現状値	1メディア	3年後目標値	2メディア	6年後目標値	4メディア
<b>実績値</b>		H23		H24		H25	
<b>役割期待</b>		市は、市民ボランティア等による情報の受発信に多様な主体が関係できる仕組み等を協働により検討し、作業やシステム構築を支援します。					
<b>事業スケジュール</b>		第1期			第2期	第3期	第4期
<b>(地域)</b>		H23	H24	H25			
<b>(市域全体)</b>							
<b>期待される事業の成果</b>		地域における身近な情報が充実し、多様な手段で入手できるようになることにより、必要な情報が必要な時に得られる、暮らしやすいまちの実現が図られます。					
<b>担当部課</b>		市民自治部御所見市民センター					

<b>事業名</b> 三者連携の強化推進事業							
<b>体系コード</b>		<b>事業区分</b>		まちづくり地域事業			
2-5-45-06-11-1		<b>地域分権区分</b>					
<b>事業内容</b>		子どもたちが健やかに成長していくためには、多くの人たちとの触れ合いや、様々な体験が必要です。そこで学校に依存しがちであった教育を学校・家庭・地域が連携し、本来それぞれの地域が持っている特色を十分に活かし、互いに活用しながら、地域社会全体で子どもたちの健やかな成長を支援する学校・家庭・地域連携推進事業を実施します。 1 「ふれあい共育ネットワーク」の機能強化 2 各種問題解決に当たる実践的活動の検討・実施					
<b>活動指標</b>		解決すべき個別案件検討数(累計)					
<b>目標値</b>		現状値	0件	3年後目標値	1件	6年後目標値	4件
<b>実績値</b>		H23		H24		H25	
<b>役割期待</b>		御所見地区ふれあい共育ネットワークを主体とし、学校・家庭・地域に関係する人々と連携して事業を推進します。					
<b>事業スケジュール</b>		第1期			第2期	第3期	第4期
<b>(地域)</b>		H23	H24	H25			
<b>(市域全体)</b>							
<b>期待される事業の成果</b>		家庭・学校・地域の連携が推進されることにより、地域社会全体の教育力を向上し、子どもたちが健やかに成長する「ふれあい」のある地域社会づくりが進められます。地域のコミュニティが醸成され、子どもも大人も暮らしやすいまちの実現が図られます。					
<b>担当部課</b>		市民自治部御所見市民センター					

事業名	四季の遊び・工作と食べ物作り教室事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-5-45-06-11-2	地域分権区分						
事業内容	地域の文化は地域の貴重な財産です。また、四季を忘れがちな現代において、四季それぞれの遊びにふれ、自然を感じることで、地域の良さを実感できます。これらを次の世代に継承・発展させるため、お年寄りによる昔ながらの遊びや工作、地域に伝わる今昔の食べ物作りを伝承します。 1 高齢者と子どもたちの伝承遊びによる世代間交流 2 地域の伝統料理教室の開催						
	活動指標	教室開催数(累計)					
	目標値	現状値	0教室	3年後目標値	2教室	6年後目標値	5教室
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	市民が主体となって地域の文化の発掘、保存、伝承に向けた事業を行います。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	実施	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	地域での世代間交流が推進され、高齢者を敬い、共に生きる地域の実現を図るとともに、自然にふれ、四季おりおりの顔を見せる地域への愛着心が高まります。						
担当部課	市民自治部御所見市民センター						

事業名	木障切り推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
2-6-46-07-12-1	地域分権区分						
事業内容	庭木や生垣などは景観や防災面において大変有用なものですが、維持管理が適切でないと歩道等での交通の支障となることがあります。通行者への思いやりの心をもって剪定等を行っていくことを推進するために、木障切りに関しての生垣、植木の剪定依頼の回覧等周知活動を行います。 また、道路にはみ出している枝の剪定を自治会からセンターに要望し、センターで是正指導を行います。 1 生垣、植木の木障切りに関する周知 2 木障切りの推進に向けた点検と是正指導の実施						
	活動指標	枝剪定の要望件数(年間)					
	目標値	現状値	30件	3年後目標値	6件	6年後目標値	2件
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	個人の所有する木の剪定については、住民がそれぞれ行うものですが、自治会から寄せられた声を集約し、地域経営会議と市が協働して事業を進めることが期待されます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	地域ぐるみでの点検・改善を図ることにより、交通上の支障がないようにし、また景観を向上することによって、暮らしやすいまちの実現が図られます。						
担当部課	市民自治部御所見市民センター						

事業名	バリアフリー推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-46-07-12-2	地域分権区分					
事業内容	<p>道路は日々利用するものであり、誰にでも安全に利用できるよう整備を進める必要があります。</p> <p>実際の通行者の視点での実態調査に基づき、自治会・町内会が道路の段差解消を必要とする箇所の選定を行い優先順位を検討し、危険箇所の改修事業を推進します。</p> <p>1 道路の段差解消を必要とする箇所の調査 2 自治会・町内会における段差解消を実施する箇所の検討 3 段差改良工事の施工</p>					
活動指標	段差解消箇所数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	3か所	6年後目標値	6か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体が点検し優先順位を決めて、市が改修していく事業です。基礎的な調査及び整備の優先順位付けは、担い手となる地域が中心となります。整備関連については、市が適切に進捗管理及び予算管理を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	身近な場所でのバリアフリーが推進されることにより、子どもからお年寄りまで、また障がいのある人でも暮らしやすいまちが形成されます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	きれいな生活環境の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-6-49-08-13-1	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見地区では、人目につかない場所への不法投棄や通行車両からのポイ捨てなどが後を絶ちません。特に田畑に投げ捨てられたゴミは、生産者にとって非常に迷惑なものとなっています。</p> <p>このような実態を地域の課題として捉え、田畑を含めた清掃活動や、不法投棄をされないための環境整備を促進します。</p> <p>1 田んぼ・畑や沿道の整理・清掃の推進 2 ゴミゼロ運動の強化・推進</p>					
活動指標	各種清掃活動(年間)					
目標値	現状値	4回	3年後目標値	8回	6年後目標値	12回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体が中心となり、多くの地域住民の参加、協力を得ながら、市民主体で事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	不法投棄のないクリーンなまちが実現されることにより、快適に暮らすことができるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	人力と機械の目で不法投棄撲滅推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-08-13-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の不法投棄に対する監視体制を強化し、きれいな環境を維持するため、ごみゼロ運動の延長として、クリーンアップ事業終了後の重点ポイントに機械の目による監視を行い、不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。</p> <p>1 センサーライトの設置箇所の調査と設置 2 監視カメラの設置箇所の調査、設置と監視体制の構築</p>					
活動指標	センサー、カメラ設置台数(累計)					
目標値	現状値	4台	3年後目標値	8台	6年後目標値	12台
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、市民ボランティア等による状況調査に基づき、地域での検討を踏まえセンサーライトや監視カメラの設置を進めます。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->		▶			
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	不法投棄のないクリーンなまちが実現されることにより、快適に暮らすことができるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	景観保全の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
2-6-49-08-14-1	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見地区の景観を彩るアヤメを活かしたアヤメの里づくりと、環境美化活動の推進による景観形成を進めていくために、アヤメの里の整備拡大と、各地区での美化ネット活動の展開を進めます。</p> <p>1 アヤメの里の整備拡大 2 地域内各地区での美化ネット活動の推進</p>					
活動指標	美化ネット活動団体数(累計)					
目標値	現状値	4団体	3年後目標値	6団体	6年後目標値	8団体
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民ボランティアが中心となり、地域団体や市と連携して各種事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	▶					
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	心安らぐ景観の整備と保全が推進されるとともに、景観づくりに多くの市民が携わることで、愛着のある地域の景観が形成され、快適に暮らすことができるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					



事業名	宮原中川あじさいロード整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
2-6-49-08-14-2	地域分権区分					
事業内容	<p>宮原地域から荒廃地を無くすことを目的として、2002年(平成14年)に地元農業者で自主的に「宮原耕地検討委員会」を立ち上げられ、現在まで、耕作放棄地に小学生がレンゲの種を播き、レンゲの里祭りを開催するレンゲの里事業などを進めてきました。</p> <p>今後も景観形成活動を進めることによって、地域の環境に対する意識の向上を図り、地域の活性化を図ります。</p> <p>1 あじさいロードの延長・整備の推進</p>					
活動指標	整備済み道路距離(累計)					
目標値	現状値	250m	3年後目標値	400m	6年後目標値	600m
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、宮原耕地検討委員会を中心としたボランティアや地域団体との協働により事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->	—————>				
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	心安らく景観の整備と保全が進められることにより、快適に暮らすことができるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	祭りを活かした世代間の交流の場づくり推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-57-09-15-1	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見地区では毎年盛大にお祭りが開催されていますが、地域での担い手の固定化や高齢化が課題となっています。そこで多様な担い手を育て、地域の活性化や一体感を高める必要があります。</p> <p>御所見夏まつり実行委員会の組織構成見直しによる、世代間交流を促進します。また、地域イベントの参加者拡大による交流の場づくりを行います。</p> <p>1 御所見夏まつり実行委員会の構成の見直し 2 地域イベントにおける世代間交流の機会の拡大</p>					
活動指標	御所見夏まつりの参加者人数					
目標値	現状値	5,000人	3年後目標値	7,000人	6年後目標値	9,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市民主体により、市民参加を促すことをめざして事業を推進します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	----->	—————>				
	検討	→	実施	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の祭礼等を通じた世代間交流を促進し、地域の活性化を図ることによって、人々が生き生きとつながるまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	ファーマーズパーク構想推進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)					
3-7-63-10-16-1	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)					
事業内容	地域の特性を活かし、経済を活性化するため、地域のランドマークともなる施設設置に向けた検討を進めます。 大型複合商業施設を設置し、観光農園、農業体験、ドッグラン施設を併設した北部新拠点(ハブ)施設を想定した施設整備を検討します。 1 先進的に実施している各地の施設の視察調査、事例研究 2 設置場所の選考と実施主体の確定 3 市への要望、意見提案の実施と協議						
	活動指標	事業の進捗率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	50%	6年後目標値	100%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議と市民センターは、地域市民の声を聞き、連携・協働しながら事業検討を進めます。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	検討	→	→	→	→	→	
(市域全体)	検討	→	→	→	→	→	
期待される事業の成果	大型複合商業施設として、北部の新拠点が整備されることにより、地域と地域経済が活性化し、元気と魅力のあるまちの実現が図られます。						
担当部課	市民自治部御所見市民センター						

事業名	(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ設置促進事業						
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業					
3-7-65-11-17-1	地域分権区分						
事業内容	現在、神奈川県を中心に、東名高速道路に(仮称)綾瀬スマートインターチェンジを設置する計画が進められています。近隣に設置されるインターチェンジは接続道路や他の地域内の道路整備計画とあわせ、地域の道路基盤の強化と産業活性化につながります。 2010年度(平成22年度)に設立された(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会に対して事業の促進を求めています。 1 (仮称)綾瀬スマートインターチェンジの検討状況に関する情報共有 2 地域でのニーズと効果を踏まえた事業促進に向けた要望						
	活動指標	インター設置進捗率					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	70%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議と市民センターが中心となり、(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会に対して事業の促進を求めています。					
事業スケジュール (地域)	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	実施	→	→	→	→	→	
(市域全体)							
期待される事業の成果	混雑なく移動しやすい交通環境の整備が進められることにより、地域産業の活性化や生活の利便性が向上することにより、活力ある地域の実現が図られます。						
担当部課	市民自治部御所見市民センター						

事業名	商業環境整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-7-62-12-18-1	地域分権区分					
事業内容	<p>用田宿の時代からこの地区の要所となっている商店街において、買い物客が安全に安心して商店街に来られるよう、歩道の整備(バリアフリー・拡幅)を関係各機関に要望し、魅力あるまちづくりを推進します。</p> <p>1 商店街の中で、まだ施工されていない歩道の整備箇所や補修部分に関する調査 2 関係機関への要望</p>					
活動指標	歩道の整備進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	20%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域において、調査や点検を進め、関係機関と連携しながら事業を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->					
	検討	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	商店街を中心に安全・安心な歩道整備を進めることにより買い物客の安全・安心が図られ、暮らしやすいまちの形成が進みます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	誘客宣伝事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-7-62-12-18-2	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見地区では「ごしょみーな」で地域のにぎわいが創出されていますが、にぎわいの一層の発展をめざし、現在の商店街紹介ホームページをもとに、商店街に限らず地区内の店舗の情報も加えて拡大させます。</p> <p>意見箱をさらに活用し客の要望を集めて今後の活動に活かします。これらに連動させて地域内でのイベントやキャンペーンの実施を図ります。</p> <p>1 地区内の店舗情報の発信の拡大 2 意見箱を活用した顧客ニーズの把握と事業への反映 3 地域内でのイベントやキャンペーンの実施</p>					
活動指標	ホームページ上の登録店数(累計)					
目標値	現状値	34店	3年後目標値	80店	6年後目標値	100店
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議と商店街が連携し、協働して、地域市民の声を聞きながら実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	----->					
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	情報提供を推進し、商店街をより知ってもらうことにより、誘客が推進され、地域経済が活性化することにより、暮らしやすいまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	自主財源確保推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-69-13-19-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域でできる自発的まちづくりを拡大し、地域の特性に応じた御所見らしい事業を進めるために、公共施設などの資源を使い、地域経営会議の自主財源の確保に努めます。</p> <p>1 市民センター等を活用した地域経営会議を中心とした事業展開による自主財源の確保</p>					
活動指標	自主財源の件数(累計)					
目標値	現状値	1件	3年後目標値	3件	6年後目標値	6件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が地域団体及び地域市民の意見を聞き、市と協働して事業の進捗管理を実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	使いたい、使いやすい施設とするための活用方策が推進されることにより、公共施設の活用が進むとともに、地域内での還元による、地域まちづくりの推進が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	公共施設有効活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-69-13-19-2	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の公共施設は市民センターの改築や、小学校の大規模改修が行われてきました。地域内の施設の利用状況や新たな市民ニーズに基づき、施設のあり方を地域で考え、必要な機能を必要な場所に有効に再配置することや、利活用の検討を進める必要があります。</p> <p>そこで市民の家の統廃合や新たな活用、バリアフリー対応等を検討するとともに、小学校の余裕教室を地域のニーズにあわせて活用することを検討します。</p> <p>1 地域市民の家のバリアフリー対応、活用方法、機能等の検討 2 小学校の余裕教室の活用検討</p>					
活動指標	有効活用事業数(累計)					
目標値	現状値	1件	3年後目標値	2件	6年後目標値	6件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が地域団体及び地域市民の意見を聞き、市と協働して事業の進捗管理を実施するので、その役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(地域)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	使いたい、使いやすい施設とするための活用方策を検討し、実施することにより、公共施設の利用において暮らしやすさが追及されたまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	地域に配慮した施設整備促進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり地域事業				
3-8-69-13-20-1	地域分権区分					
事業内容	<p>地域の環境を守るため、新規施設の建設時の環境への配慮を進めるとともに、既存施設についても環境など地域に配慮した運営・維持管理の促進を図ります。</p> <p>1 新規施設建設時における地域環境への配慮の促進 2 既存施設の運営、維持管理における地域環境への配慮の促進</p>					
活動指標	施設整備箇所数(累計)					
目標値	現状値	0か所	3年後目標値	1か所	6年後目標値	2か所
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議が地域団体及び地域市民の意見を聞き、市と協働して事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	建設から維持管理まで、施設のライフサイクルにおける一貫した地域環境への配慮がなされ、環境など地域に配慮した施設整備が推進されることにより、地域での暮らしやすさの向上が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	地場資源を活かした地域活性化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-76-14-21-1	地域分権区分					
事業内容	<p>農業交流施設として整備された宮原コミュニティ施設を活用して、農業をテーマとした交流活動、地域農業の活性化等をめざします。</p> <p>今後の宮原コミュニティ施設の一層の有効活用を図るため、農業お手伝いボランティアの発掘を行います。</p> <p>1 宮原コミュニティ施設の有効活用の推進 2 農業お手伝いボランティアの発掘</p>					
活動指標	お手伝いボランティア数(累計)					
目標値	現状値	0人	3年後目標値	30人	6年後目標値	60人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	既存施設を活用し、市民ボランティアが主体となって事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(市域全体)						
期待される事業の成果	地域の主産業である農業を活かし、地域の内外の方がおもてなし感を得られる、訪れる人に配慮したまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	収穫祭イベント及びコンテスト事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-76-14-21-2	地域分権区分					
事業内容	<p>食育, 地産地消, エコをキーワードとしたイベントやコンテストを実施し, 御所見地区の特色である農業とその地場産品を活かした活動を推進するとともに, 地域の自然が生み出す環境イメージの形成を図り, 御所見らしさの一層の創出をめざす事業を推進します。</p> <p>1 食育, 地産地消, エコをキーワードとしたイベントの実施 2 イベントへの参加を促進するコンテストの実施</p>					
活動指標	イベントの開催数(累計数)					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	3回	6年後目標値	6回
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域団体は, 事業の主体となって, 地域でのニーズや楽しさ, にぎわいを創出する, 御所見らしい事業を, 地域経営会議や市と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	地域の主産業である農業を活かし, 生産, 消費, 環境をテーマとしたイベント等の活動を進めることにより, 地域の内外の方がおもてなし感を得られる, 訪れる人に配慮したまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

事業名	総合案内マップ作成事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(地域)				
3-9-76-14-21-3	地域分権区分					
事業内容	<p>御所見を知り, また多くの地域外の方に知ってもらうことで, 御所見らしさの輝くまちとなるため, 御所見地区内に残る里山の原風景や農畜産物など観光資源を発掘し, 観光振興を図り, 地域の文化と経済の活性化を推進することを目的とした総合案内マップを作成します。</p> <p>1 現在ある「ぶら〜り御所見ふるさと発見マップ」「ふじさわグリーンマップ」を活用した総合案内マップの作成 2 市内の交通拠点, 商業・観光拠点での頒布の検討・調整 3 ホームページでの閲覧</p>					
活動指標	延べ誘客数(年間)					
目標値	現状値	60,000人	3年後目標値	100,000人	6年後目標値	200,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議, まちづくり推進協議会が協働し, 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の知的資源, ノウハウでの支援を得るとともに, 地域市民の声を聞きながら事業を実施します。					
事業スケジュール	第1期		第2期	第3期	第4期	
(地域)	H23	H24	H25			
(市域全体)	実施	→	→	→	→	→
期待される事業の成果	地域の主産業である農業や地域の特長である自然環境を活かし, 来訪に魅力を感じさせる, 満足感の得られる地域となるとともに, 内外の方へのおもてなし, 訪れる人に配慮したまちづくりを進めることにより, 御所見らしい, 暮らし続けたいまちの実現が図られます。					
担当部課	市民自治部御所見市民センター					

# 第 6 章

## 参考

地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)

計画の区分	事業番号	事業名	担当部課
地域	3-8-67-12-12-1	市民センター・公民館分館研究事業	市民自治部鶴沼市民センター
地域	3-8-71-11-15-1	地域拠点施設再編プラン提言事業	市民自治部辻堂市民センター
地域	3-7-57-08-8-1	善行市民センター建て替え事業	市民自治部善行市民センター
地域	3-8-71-08-21-1	市民センター多機能化事業	市民自治部六会市民センター
市域	3-8-69-22-75-5	市民センター改築事業	市民自治部市民自治推進課
地域	3-8-71-10-17-1	公共施設のあり方検証事業	生涯学習部藤沢公民館
市域	3-8-69-22-75-10	藤沢公民館改築事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-4-26-06-7-2	村岡子育て支援館開設検討事業	生涯学習部村岡公民館
地域	3-8-71-12-13-1	地域コミュニティ施設建設案検討事業	生涯学習部村岡公民館
市域	3-8-69-22-75-11	村岡公民館改築事業	生涯学習部村岡公民館
地域	3-7-62-09-16-1	藤沢駅北口周辺検証事業	生涯学習部藤沢公民館
市域	3-7-62-17-63-3	藤沢都心部再整備事業	まちづくり推進部藤沢駅周辺地区整備担当
地域	2-5-36-06-11-1	横須賀水道路検証事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-5-36-06-11-2	藤沢バイパスの降り口検証事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	3-7-62-09-16-2	藤沢本町駅周辺検証事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	3-9-74-12-19-1	大清水親水公園検証事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	3-9-74-12-19-2	西富憩いの森検証事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	1-2-9-02-4-1	モデル公園提案事業	市民自治部六会市民センター
地域	2-4-34-04-13-2	公園パリアフリー化提案事業	市民自治部六会市民センター
地域	3-7-65-07-20-1	踏み切り安全対策事業	市民自治部六会市民センター
地域	3-8-71-08-22-1	公共施設の有効活用事業	市民自治部六会市民センター

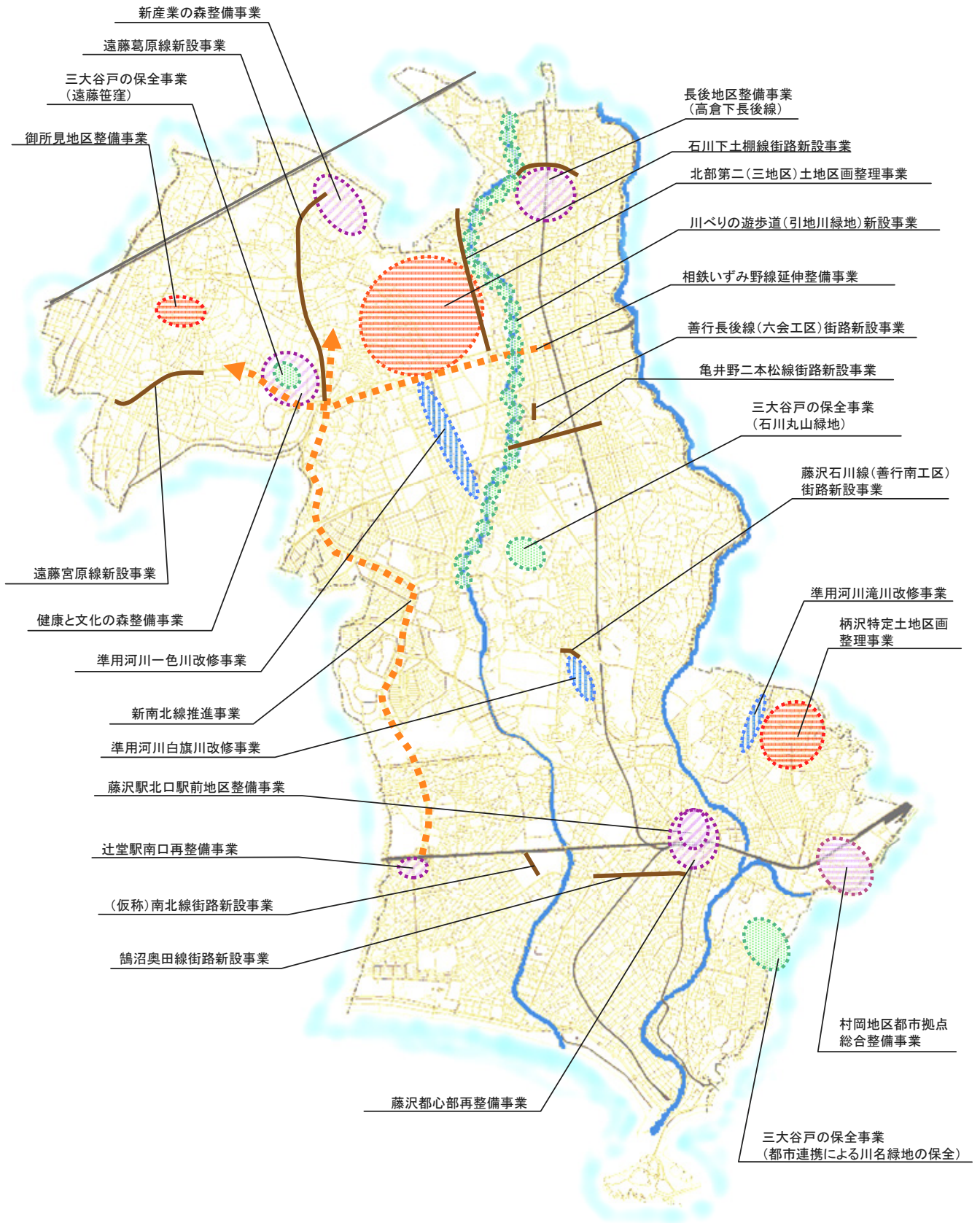
地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)

計画の区分	事業番号	事業名	担当部課
市域	1-1-5-02-6-1	市民活動推進センター分館整備運営事業	市民自治部市民自治推進課
市域	1-1-5-02-6-3	地域経営会議支援事業	市民自治部市民自治推進課
市域	1-1-5-02-6-4	地域まちづくり基金積立事業	市民自治部市民自治推進課
市域	1-1-5-02-8-3	藤沢ブランド推進事業	経営企画部経営企画課
市域	1-1-7-01-1-1	藤沢づくり推進事業	経営企画部経営企画課
市域	1-1-7-01-1-2	国県資産活用推進事業	経営企画部経営企画課
市域	1-1-7-01-1-4	公民連携推進事業	経営企画部市民経営推進課
市域	1-1-7-01-2-1	引地川水系利活用事業	経営企画部経営企画課
市域	1-2-8-03-11-1	地域子育て支援拠点事業	こども青少年部子育て支援課
市域	1-2-8-03-11-2	市民との協働による子育て支援事業	こども青少年部子育て支援課
市域	1-2-8-03-12-12	家庭的保育等推進事業	こども青少年部保育課
市域	1-2-14-04-13-3	青少年会館整備事業	こども青少年部青少年課
市域	1-2-14-04-14-2	思春期青少年の居場所づくり事業	こども青少年部青少年課
市域	1-2-14-04-14-3	学校支援事業	教育総務部教育政策推進課
市域	1-2-14-04-16-3	学校施設環境整備事業	教育総務部学校施設課
市域	1-3-18-06-25-2	災害時要援護者支援事業	保健福祉部保健医療福祉課
市域	1-3-18-06-25-4	地域災害連携事業	消防本部警防課
市域	1-3-18-06-26-1	防犯対策強化事業	市民自治部市民自治推進課
市域	1-3-18-06-27-4	市民センター非常用自家発電設備整備事業	総務部災害対策課
市域	1-3-18-06-27-11	防災まちづくり支援事業	計画建築部都市計画課
市域	1-3-18-06-28-1	プレジャーボート対策事業	計画建築部建設総務課
市域	1-3-18-06-28-4	かながわの川づくり計画促進事業	土木部土木経営課
市域	2-4-34-08-32-3	ぜんきょう里山づくり支援事業	市民自治部市民自治推進課
市域	2-4-34-08-33-1	地区ボランティアセンター事業	保健福祉部保健医療福祉課
市域	2-5-37-10-42-1	グリーンネットワーク構築事業	計画建築部建設総務課、まちづくり推進部まちづくりみどり推進課
市域	2-5-37-10-42-4	三大谷戸の保全事業(遠藤笹窪)	まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所
市域	2-5-37-11-44-1	景観形成推進事業	計画建築部景観課
市域	2-6-49-14-50-3	地域公共交通システム充実促進事業	計画建築部都市計画課
市域	3-7-61-19-67-5	観光拠点施設推進事業	経済部観光課
市域	3-7-62-15-55-2	健康と文化の森整備事業	まちづくり推進部西北部長後地区整備事務所
市域	3-7-62-17-61-4	公園愛護会育成事業	まちづくり推進部まちづくりみどり推進課、市民自治部各市民センター、生涯学習部各公民館
市域	3-8-69-22-73-5	都市基盤施設一括維持管理手法研究事業	土木部土木維持課、まちづくり推進部まちづくりみどり推進課
市域	3-8-69-22-75-9	学校施設長寿命化事業	教育総務部学校施設課
市域	3-8-69-22-76-1	学校教育施設の有効活用推進事業	教育総務部教育総務課
市域	3-9-76-23-79-1	市指定史跡耕余塾の跡整備事業	生涯学習部生涯学習課
地域	1-2-14-02-2-2	プレイパーク設置事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-18-03-3-1	プレジャーボート対策事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-18-03-3-2	災害等危険箇所把握事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-18-03-4-1	災害時要援護者支援事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-19-05-7-1	地域安全マップ事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-19-05-8-2	交通ルール、マナー向上事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-23-04-5-2	ひとり暮らし高齢者見守り事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-23-04-5-4	まちかど相談事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-23-04-6-1	地域の居場所あり方検討事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-23-04-6-2	青少年居場所事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	2-5-40-07-10-1	民俗文化財等継承事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	2-5-40-07-11-2	緑と花いっぱい推進活動事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	2-6-49-08-12-1	レジ袋削減推進活動事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	2-6-49-08-12-2	グリーン活動推進事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	3-7-57-09-13-1	買い物マップ作成事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	3-8-67-11-15-1	パリアフリーの推進事業	市民自治部片瀬市民センター



計画の区分	事業番号	事業名	担当部課
地域	3-8-67-11-15-2	便利な交通体系のあり方検討事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	3-8-71-10-14-1	公的資産有効活用推進事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	3-9-73-12-16-2	江の島道の整備事業	市民自治部片瀬市民センター
地域	1-3-17-03-3-2	特養誘致促進研究事業	市民自治部鶴沼市民センター
地域	3-7-59-10-10-1	駐輪場対策による本鶴沼駅周辺活性化研究事業	市民自治部鶴沼市民センター
地域	3-7-59-11-11-1	観光拠点(海の駅等)開発研究事業	市民自治部鶴沼市民センター
地域	3-8-67-12-12-2	鶴沼海岸駅周辺混雑解消研究事業	市民自治部鶴沼市民センター
地域	3-8-67-12-12-3	江ノ電鶴沼駅バリアフリー化研究事業	市民自治部鶴沼市民センター
地域	1-2-14-02-3-2	健全育成のための公園環境整備事業	生涯学習部村岡公民館
地域	2-4-31-07-8-1	歩道等バリアフリー化対策事業	生涯学習部村岡公民館
地域	3-8-71-12-14-1	公共交通ネットワーク調査事業	生涯学習部村岡公民館
地域	1-1-5-02-4-1	郷土愛普及活動事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	1-1-5-02-4-2	地域人材育成事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	1-1-7-01-2-1	公共マナー向上事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	1-2-9-03-5-1	子どもの見守り活動事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	1-2-9-03-6-1	地域子ども交流事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	1-3-19-04-7-1	地域安全活動事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	1-3-19-04-7-2	安全・安心マップ作成事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-4-31-05-9-1	地域生活改善事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-4-31-05-10-1	ボランティア活動推進事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-5-36-06-11-3	高齢者等移動支援事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-6-48-08-14-1	地域緑化運動事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-6-48-08-14-2	河川周辺整備事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-6-49-07-12-1	地域の歴史的資産発信事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-6-49-07-12-2	地域の歴史的資産保存環境整備事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	2-6-49-07-13-1	地域資源活性化事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	3-7-62-09-15-1	地域経済活性化事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	3-9-76-11-18-1	地域の魅力発見事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	3-9-76-11-18-2	地域おもてなし運動事業	生涯学習部藤沢公民館
地域	3-8-68-11-11-1	ぜんぎよう里山づくり事業	市民自治部善行市民センター
地域	1-2-9-02-5-1	学校支援活動充実事業	市民自治部六会市民センター
地域	1-3-23-03-8-1	高齢者の地域活動推進事業	市民自治部六会市民センター
地域	2-4-34-04-11-1	六会日大前駅周辺まちおこし事業	市民自治部六会市民センター
地域	2-5-37-05-14-2	引地川自然環境向上事業	市民自治部六会市民センター
地域	2-5-37-05-15-1	六会の名所・旧跡保全事業	市民自治部六会市民センター
地域	2-5-37-05-15-2	六会の伝統文化と歴史調査事業	市民自治部六会市民センター
地域	2-6-47-06-16-1	防犯灯LED化事業	市民自治部六会市民センター
地域	3-7-65-07-19-1	バリアフリー化支援活動事業	市民自治部六会市民センター
地域	3-7-65-07-20-2	交通不便地区解消検討事業	市民自治部六会市民センター
地域	1-3-19-06-9-1	防犯灯LED化実験事業	市民自治部湘南台市民センター
地域	2-4-30-08-11-1	道路安全対策事業	市民自治部湘南台市民センター
地域	2-4-30-08-11-2	高倉遠藤線の延伸事業	市民自治部湘南台市民センター
地域	2-4-29-10-15-1	街中サインユニバーサル化事業	市民自治部湘南台市民センター
地域	2-6-49-13-21-1	緑の回遊路整備事業(レインボータウン湘南台計画)	市民自治部湘南台市民センター
地域	2-6-49-13-22-1	地球温暖化防止活動 湘南台駅地下照明LED化事業	市民自治部湘南台市民センター
地域	3-8-71-16-26-1	湘南台駅地下の壁面広告看板設置事業	市民自治部湘南台市民センター
地域	3-8-71-16-26-2	公共施設有効活用事業	市民自治部湘南台市民センター
地域	3-9-76-18-30-1	公園ユニバーサル化事業	市民自治部湘南台市民センター
地域	3-7-63-10-16-1	ファーマーズパーク構想推進事業	市民自治部御所見市民センター

藤沢市新総合計画～「私たちの政府」が創る、藤沢づくり～  
 実施計画における主要な都市基盤整備・推進事業等状況図



藤沢市新総合計画～「私たちの政府」が創る，藤沢づくり～  
 広域交通ネットワーク図

